日　本　大　学　学　則

第１章　総　　則

第１節　目的及び使命

第１条　本大学は，日本精神にもとづき，道統をたつとび，憲章にしたがい，自主創造の気風をやしない，文化の進展をはかり，世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。

第２条　本大学は，広く知識を世界にもとめて，深遠な学術を研究し，心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。

第２節　大学組織

第３条　本大学は，学部及び大学院をもって，これを組織する。

２　本大学の学部及び学科は，次のとおりである。

学部名	学科名
法学部	法律学科　政治経済学科 新聞学科　経営法学科 公共政策学科
文理学部	哲学科　史学科 国文学科　中国語中国文化学科 英文学科　ドイツ文学科 社会学科　社会福祉学科 教育学科　体育学科 心理学科　地理学科 地球科学科　数学科 情報科学科　物理学科 生命科学科　化学科
経済学部	経済学科　産業経営学科 金融公共経済学科
商学部	商業学科　経営学科 会計学科

芸術学部	写真学科　映画学科 美術学科　音楽学科 文芸学科　演劇学科 放送学科　デザイン学科
国際関係学部	国際総合政策学科　国際教養学科
危機管理学部	危機管理学科
スポーツ科学部	競技スポーツ学科
理工学部	土木工学科　交通システム工学科 建築学科　海洋建築工学科 まちづくり工学科　機械工学科 精密機械工学科　航空宇宙工学科 電気工学科　電子工学科 応用情報工学科　物質応用化学科 物理学科　数学科
生産工学部	機械工学科　電気電子工学科 土木工学科　建築工学科 応用分子化学科　マネジメント工学科 数理情報工学科　環境安全工学科 創生デザイン学科
工学部	土木工学科　建築学科 機械工学科　電気電子工学科 生命応用化学科　情報工学科
医学部	医学科
歯学部	歯学科
松戸歯学部	歯学科

生物資源科学部	バイオサイエンス学科　動物学科 海洋生物学科　森林学科 環境学科　アグリサイエンス学科 食品開発学科　食品ビジネス学科 国際共生学科　獣医保健看護学科 獣医学科　生命農学科 生命化学科　動物資源科学科 森林資源科学科　海洋生物資源科学科 生物環境工学科　食品生命学科 国際地域開発学科　応用生物科学科 くらしの生物学科
薬学部	薬学科

3　本大学の大学院研究科及び専攻は，次のとおりである。

博士課程（博士後期課程）・修士課程（博士前期課程）

研究科名	専攻名	
	博士前期課程 又は修士課程	博士後期課程 又は博士課程
法学研究科	公法学専攻 私法学専攻 政治学専攻	公法学専攻 私法学専攻 政治学専攻
新聞学研究科	新聞学専攻	新聞学専攻
文学研究科	哲学専攻 史学専攻 国文学専攻 中国学専攻 英文学専攻 ドイツ文学専攻 社会学専攻	哲学専攻 日本史専攻 外国史専攻 国文学専攻 中国学専攻 英文学専攻 ドイツ文学専攻

	教育学専攻 心理学専攻 人文地理学専攻	社会学専攻 教育学専攻 心理学専攻
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻 相関理化学専攻	地球情報数理科学専攻 相関理化学専攻
経済学研究科	経済学専攻	経済学専攻
商学研究科	商学専攻 経営学専攻 会計学専攻	商学専攻 経営学専攻 会計学専攻
芸術学研究科	文芸学専攻 映像芸術専攻 造形芸術専攻 音楽芸術専攻 舞台芸術専攻	芸術専攻
国際関係研究科	国際関係研究専攻	国際関係研究専攻
危機管理学研究科	危機管理学専攻	
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	
理工学研究科	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻 まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻 まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻

	電子工学専攻 情報科学専攻 物質応用化学専攻 物理学専攻 数学専攻 地理学専攻 量子理工学専攻	電子工学専攻 情報科学専攻 物質応用化学専攻 物理学専攻 数学専攻 地理学専攻 量子理工学専攻
生産工学研究科	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻
工学研究科	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻
医学研究科		生理系 病理系 社会医学系 内科系 外科系
歯学研究科		歯学専攻
松戸歯学研究科		歯学専攻

生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻
獣医学研究科		獣医学専攻
薬学研究科		薬学専攻
総合社会情報研究科	国際情報専攻 文化情報専攻 人間科学専攻	総合社会情報専攻

専門職学位課程

研究科名	専攻名
法務研究科	法務専攻

４　第２項及び第３項に定める学部及び学科，大学院研究科の課程及び専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については，別表１に定める。

第３節　教職員及び教授会

第４条　本大学の教員を分けて教授・准教授・講師・助教及び助手とする。

２　教職員に関する規定は，別に定める。

第５条　本大学各学部に教授会を置き，専任教授全員，３名以内の専任准教授代表及び事務局長をもって，これを組織する。

第６条　教授会は，学部長が招集し，その議長となる。

第７条　教授会は，総会員の半数以上の出席によって成立する。

第８条　議長は，議事録を作成し，出席者中２名の署名押印を得るものとする。

第９条　教授会は，次の事項を審議し，学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

①　学生の入学及び卒業に関すること。

②　学位の授与に関すること。

③　前２号に掲げる事項のほか，教育研究に関する重要な事項で，教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項。

２　前項第３号の事項については，別に定める「学長裁定」による。

３　教授会は，第１項に規定するもののほか，学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について教育研究上の専門的な観点から審議し，並びに学長及び学部長の求めに応じ，意見を述べることができる。なお，本大学の諸規程において教授会が審議することと定められている事項については，教授会はこれを審議し，意見を述べなければならない。

４　教授会の意見を集約する必要がある場合は，出席者の過半数によるものとする。

第 10 条　前条の教授会における審議とは，論議・検討することを意味し，決定権を含意するものではない。

第 11 条　教授会は，次の事項について報告を受けるものとする。

①　大学院に関すること。

②　学位論文の審査に関すること。

③　当該学部の予算及び決算に関すること。

④　その他学長及び学部長が必要と認めたこと。

第４節　学生定員

第 12 条　本大学学部の学生定員は，次のとおりである。

第一部

学部名	学科名	毎年入学定員	収容定員
法学部	法律学科	533	2,132
	政治経済学科	350	1,400
	新聞学科	200	800
	経営法学科	200	800
	公共政策学科	250	1,000
	計	1,533	6,132
	哲学科	88	352
	史学科	133	532
	国文学科	133	532
	中国語中国文化学科	70	280
	英文学科	133	532

文理学部	ドイツ文学科	80	320
	社会学科	210	840
	社会福祉学科	60	240
	教育学科	120	480
	体育学科	200	800
	心理学科	130	520
	地理学科	80	320
	地球科学科	80	320
	数学科	73	292
	情報科学科	80	320
	物理学科	70	280
	生命科学科	70	280
	化学科	90	360
	計	1,900	7,600
経済学部	経済学科	916	3,664
	産業経営学科	450	1,800
	金融公共経済学科	200	800
	計	1,566	6,264
商学部	商業学科	666	2,664
	経営学科	350	1,400
	会計学科	250	1,000
	計	1,266	5,064
芸術学部	写真学科	100	400
	映画学科	150	600
	美術学科	60	240
	音楽学科	90	360
	文芸学科	120	480
	演劇学科	126	504

	放送学科	120	480
	デザイン学科	100	400
	計	866	3,464
国際関係学部	国際総合政策学科	383	1,532
	国際教養学科	283	1,132
	計	666	2,664
危機管理学部	危機管理学科	300	1,200
スポーツ科学部	競技スポーツ学科	300	1,200
理工学部	土木工学科	220	880
	交通システム工学科	120	480
	建築学科	250	1,000
	海洋建築工学科	120	480
	まちづくり工学科	100	400
	機械工学科	160	640
	精密機械工学科	140	560
	航空宇宙工学科	120	480
	電気工学科	160	640
	電子工学科	100	400
	応用情報工学科	100	400
	物質応用化学科	200	800
	物理学科	140	560
	数学科	100	400
	計	2,030	8,120
	機械工学科	198	792
	電気電子工学科	176	704
	土木工学科	198	792
	建築工学科	198	792

生産工学部	応用分子化学科	176	704
	マネジメント工学科	176	704
	数理情報工学科	154	616
	環境安全工学科	132	528
	創生デザイン学科	132	528
	計	1,540	6,160
工学部	土木工学科	160	640
	建築学科	190	760
	機械工学科	180	720
	電気電子工学科	180	720
	生命応用化学科	130	520
	情報工学科	190	760
	計	1,030	4,120
医学部	医学科	120	720
歯学部	歯学科	130	780
松戸歯学部	歯学科	130	780
生物資源科学部	バイオサイエンス学科	210	840
	動物学科	136	544
	海洋生物学科	146	584
	森林学科	120	480
	環境学科	130	520
	アグリサイエンス学科	140	560
	食品開発学科	146	584
	食品ビジネス学科	146	584
	国際共生学科	146	584
	獣医保健看護学科	80	320
	獣医学科	120	720
	生命農学科	0	0
	生命化学科	0	0

	動物資源科学科	0	0
	森林資源科学科	0	0
	海洋生物資源科学科	0	0
	生物環境工学科	0	0
	食品生命学科	0	0
	国際地域開発学科	0	0
	応用生物科学科	0	0
	くらしの生物学科	0	0
	計	1,520	6,320
薬学部	薬学科	244	1,464

第二部

法学部	法律学科	200	800

（備考）　第一部は，昼間授業，第二部は，夜間授業とする。

２　本大学大学院研究科の学生定員は，次のとおりである。

博士課程（博士後期課程）・修士課程（博士前期課程）

研究科名	専攻名	毎年入学定員	収容定員
法学研究科	公法学専攻（博士前期課程）	30	60
	私法学専攻（博士前期課程）	30	60
	政治学専攻（博士前期課程）	15	30
	公法学専攻（博士後期課程）	4	12
	私法学専攻（博士後期課程）	4	12
	政治学専攻（博士後期課程）	4	12
新聞学研究科	新聞学専攻（博士前期課程）	10	20
	新聞学専攻（博士後期課程）	3	9
	哲学専攻（博士前期課程）	10	20
	史学専攻（博士前期課程）	20	40
	国文学専攻（博士前期課程）	15	30
	中国学専攻（博士前期課程）	10	20
	英文学専攻（博士前期課程）	20	40
	ドイツ文学専攻（博士前期課程）	5	10

文学研究科	社会学専攻（博士前期課程）	15	30
	教育学専攻（博士前期課程）	10	20
	心理学専攻（博士前期課程）	20	40
	人文地理学専攻（修士課程）	20	40
	哲学専攻（博士後期課程）	3	9
	日本史専攻（博士後期課程）	3	9
	外国史専攻（博士後期課程）	3	9
	国文学専攻（博士後期課程）	3	9
	中国学専攻（博士後期課程）	3	9
	英文学専攻（博士後期課程）	3	9
	ドイツ文学専攻（博士後期課程）	3	9
	社会学専攻（博士後期課程）	3	9
	教育学専攻（博士後期課程）	3	9
	心理学専攻（博士後期課程）	3	9
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻（博士前期課程）	12	24
	相関理化学専攻（博士前期課程）	23	46
	地球情報数理科学専攻（博士後期課程）	2	6
	相関理化学専攻（博士後期課程）	2	6
経済学研究科	経済学専攻（博士前期課程）	30	60
	経済学専攻（博士後期課程）	6	18
商学研究科	商学専攻（博士前期課程）	30	60
	経営学専攻（博士前期課程）	30	60
	会計学専攻（博士前期課程）	30	60
	商学専攻（博士後期課程）	3	9
	経営学専攻（博士後期課程）	5	15
	会計学専攻（博士後期課程）	5	15
芸術学研究科	文芸学専攻（博士前期課程）	20	40
	映像芸術専攻（博士前期課程）	20	40
	造形芸術専攻（博士前期課程）	15	30
	音楽芸術専攻（博士前期課程）	10	20
	舞台芸術専攻（博士前期課程）	10	20
	芸術専攻（博士後期課程）	8	24

国際関係研究科	国際関係研究専攻　（博士前期課程）	10	20
	国際関係研究専攻　（博士後期課程）	3	9
危機管理学研究科	危機管理学専攻　（修士課程）	8	16
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻　（修士課程）	8	16
理工学研究科	土木工学専攻　（博士前期課程）	40	80
	交通システム工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	建築学専攻　（博士前期課程）	50	100
	海洋建築工学専攻　（博士前期課程）	30	60
	まちづくり工学専攻　（博士前期課程）	15	30
	機械工学専攻　（博士前期課程）	35	70
	精密機械工学専攻　（博士前期課程）	25	50
	航空宇宙工学専攻　（博士前期課程）	25	50
	電気工学専攻　（博士前期課程）	35	70
	電子工学専攻　（博士前期課程）	35	70
	情報科学専攻　（博士前期課程）	15	30
	物質応用化学専攻　（博士前期課程）	40	80
	物理学専攻　（博士前期課程）	25	50
	数学専攻　（博士前期課程）	20	40
	地理学専攻　（博士前期課程）	20	40
	量子理工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	土木工学専攻　（博士後期課程）	5	15
	交通システム工学専攻　（博士後期課程）	5	15
	建築学専攻　（博士後期課程）	5	15
	海洋建築工学専攻　（博士後期課程）	5	15
	まちづくり工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	機械工学専攻　（博士後期課程）	4	12
	精密機械工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	航空宇宙工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	電気工学専攻　（博士後期課程）	5	15
	電子工学専攻　（博士後期課程）	5	15
	情報科学専攻　（博士後期課程）	4	12

	物質応用化学専攻　（博士後期課程）	7	21
	物理学専攻　（博士後期課程）	5	15
	数学専攻　（博士後期課程）	5	15
	地理学専攻　（博士後期課程）	5	15
	量子理工学専攻　（博士後期課程）	5	15
生産工学研究科	機械工学専攻　（博士前期課程）	30	60
	電気電子工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	土木工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	建築工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	応用分子化学専攻　（博士前期課程）	20	40
	マネジメント工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	数理情報工学専攻　（博士前期課程）	10	20
	機械工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	電気電子工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	土木工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	建築工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	応用分子化学専攻　（博士後期課程）	3	9
	マネジメント工学専攻　（博士後期課程）	3	9
	数理情報工学専攻　（博士後期課程）	3	9
工学研究科	土木工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	建築学専攻　（博士前期課程）	20	40
	機械工学専攻　（博士前期課程）	25	50
	電気電子工学専攻　（博士前期課程）	20	40
	生命応用化学専攻　（博士前期課程）	30	60
	情報工学専攻　（博士前期課程）	25	50
	土木工学専攻　（博士後期課程）	2	6
	建築学専攻　（博士後期課程）	2	6
	機械工学専攻　（博士後期課程）	2	6
	電気電子工学専攻　（博士後期課程）	2	6
	生命応用化学専攻　（博士後期課程）	2	6
	情報工学専攻　（博士後期課程）	2	6

医学研究科	生理系（博士課程）	12	48
	病理系（博士課程）	6	24
	社会医学系（博士課程）	8	32
	内科系（博士課程）	16	64
	外科系（博士課程）	22	88
歯学研究科	歯学専攻（博士課程）	30	120
松戸歯学研究科	歯学専攻（博士課程）	30	120
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻（博士前期課程）	27	54
	生物資源利用科学専攻（博士前期課程）	22	44
	応用生命科学専攻（博士前期課程）	22	44
	生物環境科学専攻（博士前期課程）	22	44
	生物資源経済学専攻（博士前期課程）	22	44
	生物資源生産科学専攻（博士後期課程）	6	18
	生物資源利用科学専攻（博士後期課程）	5	15
	応用生命科学専攻（博士後期課程）	5	15
	生物環境科学専攻（博士後期課程）	5	15
	生物資源経済学専攻（博士後期課程）	5	15
獣医学研究科	獣医学専攻（博士課程）	6	24
薬学研究科	薬学専攻（博士課程）	5	20
総合社会情報研究科	国際情報専攻（博士前期課程）	30	60
	文化情報専攻（博士前期課程）	30	60
	人間科学専攻（博士前期課程）	30	60
	総合社会情報専攻（博士後期課程）	9	27

専門職学位課程

法務研究科	法務専攻（専門職学位課程）	60	180

第５節　学年・学期及び休業日

第 13 条　学年は，毎年４月１日に始まり，翌年３月 31 日に終わる。

第 14 条　学期は，次のとおりとする。ただし，事情によって異なる場合がある。

前学期　４月１日から９月 30 日まで

後学期　10 月１日から３月 31 日まで

第 15 条　休業日は，次のとおりとする。ただし，休業日でも特に授業又は試験を行うことがある。

①　日曜日

②　国民の祝日に関する法律に規定する休日

③　本学創立記念日（10 月４日）

④　春季休業　３月 11 日から３月 31 日まで

⑤　夏季休業　７月 11 日から９月 10 日まで

⑥　冬季休業　12 月 21 日から翌年１月 10 日まで

２　休業日の変更及び臨時の休業日については，そのつどこれを定める。

第６節　入学・在学・転部・転科・転籍・休学・復学・留学・退学及び除籍

第 16 条　入学の時期は，学年の始め又は学期の始めとする。

第 17 条　学部に入学できる者は，次の各号のいずれかに該当する資格を持ち，本大学の選抜試験に合格した者とする。

①　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

②　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者
（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）

③　外国において学校教育による 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

④　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

⑤　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

⑥　文部科学大臣の指定した者

⑦　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）

⑧　学校教育法第 90 条第２項の規定により大学に入学した者であって，本大学におい

て，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑨　本大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，18 歳に達したもの

２　前項の規定にかかわらず,高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める分野において特に優れた資質を有すると認めるものであり，かつ，本大学の選抜試験に合格した者を入学させることができる。

第 18 条　入学を志願する者は，各学部所定の手続によって願い出るものとする。

第 19 条　入学の選抜試験に合格した者は,所定の期日までに入学手続を完了しなければならない。

第 20 条　修業年限とは，本大学の教育課程を修了するために必要な期間のことをいう。

２　在学年限とは,本大学において学生の身分を有することができる期間のことをいう。

３　修業年限は，最低４年とし，在学年限は，８年とする。

４　医学部・歯学部・松戸歯学部・生物資源科学部獣医学科及び薬学部の修業年限は，最低６年とし，在学年限は，12 年とする。

５　前２項の規定にかかわらず，学生が職業を有している等の事情により，修業年限を超えて在学年限の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは，その計画的な履修を認めることができる。

６　第３項の規定にかかわらず，文部科学大臣の定めるところにより，本大学に３年以上在学した者（これに準ずる文部科学大臣の定める者を含む）が，卒業の要件として定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合には，その卒業を認めることができる。ただし，第 21 条第２項第１号から第４号の資格で編入学した場合は，この規定による卒業は認められない。

第 21 条　編入学とは，他の種類の学校を卒業した者が，教育課程の一部を省いて途中から履修すべく本大学に入学することをいう。ただし，大学を卒業した者又は大学に１年以上在学した者が，教育課程の一部を省いて途中から履修すべく本大学に入学する場合も編入学とする。

２　学部に編入学できる者は，次の各号のいずれかに該当する資格を持ち，本大学の編入学試験に合格した者とする。ただし，定員に余裕があり，かつ在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り，選考の上編入学を許可することがある。

①　短期大学（専門職短期大学，外国の短期大学及び我が国における外国の短期大学

相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（短期大学相当）日本校）を含む）を卒業した者

② 高等専門学校を卒業した者

③ 高等学校，中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

④ 専修学校の専門課程で文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

⑤ 大学（専門職大学，外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）を卒業した者

⑥ 大学（専門職大学，外国の大学及び我が国における外国の大学相当として指定された学校（文部科学大臣指定外国大学（大学相当）日本校）を含む）に１年以上在学し，編入学できる学部等が定める単位数を修得している者

３ 編入学を願い出た者については,学部等の所定の手続によって願い出るものとする。

４ 編入学の選抜試験に合格した者は，学部等の所定の期日までに手続を完了しなければならない。

５ 編入学の時期は，学年の始め又は学期の始めとする。

６ 編入学の年次は，２年次又は３年次とする。

７ 編入学者の在学年限は，許可された編入学年次に応じ，第 20 条第３項又は第４項に定める在学年限から編入学年次数を控除し，それに１を加えて得た年数とする。

８ 編入学者は，編入学年次の教育課程によって履修するものとする。

９ 編入学者の既修単位は，低年次配当科目を優先し，原則として２年次編入学者は，40 単位，３年次編入学者は，70 単位を基準とし，認定することができる。

10 通信教育部における編入学については，別に定める規程による。

第 22 条 転部とは，所属する学部とは異なる学部（通信教育部内を含む）へ異動することをいう。なお，法学部における第一部及び第二部間の異動についても転部とする。

２ 転科とは，所属する学部の異なる学科へ異動することをいう。

３ 転籍とは，通信教育課程を有する学部において，同一学部の通学課程と通信教育課程の間を異動することをいう。ただし，通学課程と通信教育課程の間で異なる学部への異動については，転部とする。

４ 転部・転科及び転籍できる者は，次の各号に該当する資格を持つものとする。ただし，定員に余裕があり，かつ，在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り，選考の上，許可することがある。

① 本大学に在学中の者で，転部・転科及び転籍できる学部等が定める単位数を修得しているもの

② 人物及び在学中の成績が妥当な者

5 転部・転科及び転籍を願い出た者については，学部等の所定の手続によって願い出るものとする。

6 転部・転科及び転籍の選考に合格した者は，学部等の所定の期日までに手続を完了しなければならない。

7 転部・転科及び転籍の時期は，学年の始め又は学期の始めとする。

8 転部・転科及び転籍の年次は，２年次又は３年次とする。ただし，４年次への転籍（同一学科間）は，許可することができる。

9 転部・転科及び転籍した者の在学年限は，許可された転部・転科及び転籍年次に応じ，第 20 条第３項又は第４項に定める在学年限から転部・転科及び転籍が許可された年次数を控除し，それに１を加えて得た年数とする。

10 転部・転科及び転籍した者は，転部・転科及び転籍が許可された年次の教育課程によって履修するものとする。

11 転部・転科及び転籍した場合，既修の授業科目は，異動した課程の定める基準の範囲内において認定することができる。

12 通信教育部における転部・転科及び転籍については，別に定める規程による。

第 23 条 （削除）

第 24 条 （削除）

第 25 条 休学とは，病気その他やむを得ない事由により，３か月以上修学できない状態のことをいう。

2 復学とは，休学期間満了によって，再び修学することをいう。

3 休学しようとする者は，その事実を証明する書類を添え，保証人連署で願い出て，その許可を得て原則として入学年度を除き，休学することができる。ただし，入学年度の後学期については，修学困難な事由の場合は認めることがある。

4 休学期間は，１学期又は１年とし，通算して在学年限の半数を超えることができない。

5 休学者は，その事由が解消された場合，保証人連署で願い出て，許可を得て復学することができる。

6 休学者は，学期の始めでなければ復学することができない。

７　休学期間は，在学年数に算入する。

第 26 条　（削除）

第 27 条　留学とは，本大学が教育上有益と認めたときは，休学することなく，外国の大学において，許可を得て一定期間修学することをいう。

２　留学の期間は，修業年数に算入する。

第 28 条　退学とは，在学の中途において在籍関係を解除することをいう。退学には，その手続により，次のものがある。

①　病気その他やむを得ない事由による，学生の意志に基づく願い出によるもの。ただし，その事実を証明する書類を添え，保証人連署で退学願を提出して，許可を受けなければならない。

②　学生が死亡したことによる，保証人からの届出によるもの

③　第 30 条に基づく除籍によるもの

④　第 76 条及び第 77 条に基づく懲戒によるもの

２　第 36 条に基づく年度の ＧＰＡ が 1.50 未満で，修学指導の結果，改善が見込まれないと判断した場合は，退学勧告を行う。

第 29 条　再入学とは，病気その他やむを得ない事由によって退学した者が，当該学部等に再び入学することをいう。

２　病気その他やむを得ない事由によって退学した者が，その事由が解消し，当該学部等に再入学を志望したときは，退学前に在籍していた学科の定員に余裕があり，かつ在学生の学修に支障がないと認めた場合に限り，選考の上再入学を許可することがある。この場合には，既修の授業科目の全部又は一部の再履修を命ずることがある。

３　再入学できる者は，次の各号に該当するものとする。

①　本大学に原則として１年以上在学し，再入学しようとする学部等が定める単位数を修得している者

②　病気その他やむを得ない事由で退学した者

③　人物及び在学中の成績が妥当な者

４　除籍によって退学になった者については，事情勘案の上，前項に準じて再入学を認めることができる。

５　再入学の学科については，原則として退学時の学科とする。

６　再入学を願い出た者については,学部等の所定の手続によって願い出るものとする。

７　再入学の選考に合格した者は，学部等の所定の期日までに手続を完了しなければな

らない。

８　再入学の時期は，学年の始め又は学期の始めとする。

９　再入学の年次は，退学時の学年次を原則とするが，修得単位数等の事情により年次を下げて許可することができる。また，学年末の退学者については，修得単位数等の事情により年次を上げて入学を許可することができる。

10　再入学者の在学年限は，許可された再入学年次に応じ，第 20 条第３項又は第４項に定める在学年限から再入学年次数を控除し，それに１を加えて得た年数とする。ただし，医学部・歯学部・松戸歯学部・生物資源科学部獣医学科及び薬学部においては，在学年限を定めることができる。

11　再入学者は，再入学年次の教育課程によって履修するものとする。ただし，学則変更等の事情により再入学前の入学年度の教育課程によることができる。

12　退学前の既修単位は認定する。ただし，教育課程等の変更により，退学前の既修単位が認定されないことがある。

13　通信教育部における再入学については，別に定める規程による。

第 30 条　除籍とは，学生の帰すべき事由により在籍関係を強制的に解除し，退学させることをいう。

２　次の各号のいずれかに該当する者は，除籍することができる。

①　故なくして学費の納付を怠った者

②　故なくして欠席が長期にわたる者

③　在学年限を超えた者

第 31 条　（削除）

第７節　履修規定

第 32 条　各授業科目の単位数は，１単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし，授業の方法に応じ，当該授業による教育効果，授業時間外に必要な学修等を考慮して，次の基準により計算するものとする。また，教育上必要と認められる場合には，修得すべき単位の一部の修得について，これに相当する授業時間の履修をもって代えることができる。

①　講義及び演習については，15 時間から 30 時間までの範囲で学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって１単位とする。

②　実験，実習及び実技については，30 時間から 45 時間までの範囲で学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって１単位とする。ただし，芸術学部における個

人指導による実技の授業については 15 時間の授業をもって１単位とする。

③　講義，演習，実験，実習又は実技のうち二つ以上の方法の併用により授業を行う場合については，その組み合わせに応じ，前２号に規定する基準を考慮して学部又は大学院研究科が定める時間の授業をもって１単位とする。

２　前項の規定にかかわらず，卒業論文，卒業研究，卒業制作等の授業科目については，これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

第 32 条の２　前条に規定する講義，演習，実験，実習又は実技による授業は，文部科学大臣が別に定めるところによって，多様なメディアを高度に利用して，当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

第 33 条　教育職員の免許状を得ようとする者は,別に定める規定によって教職課程を履修しなければならない。

第 34 条　学業成績は，授業科目ごとに行う試験によって，これを定める。ただし，授業科目によっては，その他の方法で査定することができる。

２　試験には，平常試験・定期試験・追試験及び再試験がある。

①　平常試験とは，当該授業科目履修者を対象に授業科目担当教員が学期の途中に適宜行う試験のことをいう。

②　定期試験とは，当該授業科目履修者を対象に大学の定めた試験期間中に行う試験のことをいう。定期試験は学期末又は学年末に行う。

③　追試験とは，やむを得ない事由のため定期試験を受けることのできなかった者のために行う試験のことをいう。

④　再試験とは，受験の結果不合格となった者のために行う試験のことをいう。

３　追試験及び再試験は，当該学部において必要と認めたときに限り，これを行う。

第 35 条　修学についての所定の条件を備えていない者は，受験資格を失うことがある。

第 36 条　学業成績の判定は，Ｓ，Ａ，Ｂ，Ｃ，Ｄ及びＥの６種をもってこれを表し，Ｓ（100～90 点），Ａ（89～80 点），Ｂ（79～70 点），Ｃ（69～60 点），Ｄ（59 点以下），Ｅ（履修登録したが成績を示さなかったもの）をもって表し，Ｓ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格，Ｄ，Ｅを不合格とする。合格した授業科目については，所定の単位数が与えられる。

２　第１項の学業成績の学修結果を総合的に判断する指標として，総合平均点（Grade Point Average，以下「ＧＰＡ」という）を用いることができる。

３　前項に定めるＧＰＡは，学業成績のうち，Ｓにつき４，Ａにつき３，Ｂにつき２，Ｃにつき１，Ｄ及びＥにつき０をそれぞれ評価点として与え，各授業科目の評価点に

その単位数を乗じて得た積の合計を，総履修単位数（Ｐ又はＮとして表示された科目を除く）で除して算出する。ＧＰＡは，小数点以下第３位を四捨五入し，小数点以下第２位まで有効とする。

４　第１項の規定にかかわらず，履修登録後，所定の中止手続を取ったものはＰ，修得単位として認定になったものはＮと表示する。

５　ＧＰＡ算出の対象科目は，卒業要件単位数に含まれる授業科目（単位認定科目としてＮと表示された科目を除く）とする。

６　ＧＰＡは，学期のＧＰＡ，年度のＧＰＡ及び入学時からの累積のＧＰＡとする。

７　通年科目は，学期のＧＰＡ算出の際には，後学期のＧＰＡに算入する。

８　授業科目を再履修した場合，累積のＧＰＡ算出の際には，直近の履修による学業成績及び単位数のみを算入するものとし，以前の学業成績及び単位数は算入しない。

９　試験において不正行為を行った場合は，処分を受けた条件に基づき，評価をＥ，評価点はなしとして取り扱う。

第 37 条　各学部を卒業するために必要な最低単位数は,第２章教育課程及び履修方法に定めるところによる。

２　学生が許可を受けて在籍する学部以外の学部で履修した授業科目の単位については,当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

３　前項に定める授業科目の履修については，別に定める。

４　学生が許可を受けて他の大学，専門職大学，短期大学又は専門職短期大学で履修した授業科目の単位については，当該学生が在籍する学部の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

５　前項の規定は，学生が許可を受けて外国の大学又は短期大学に留学する場合，外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

６　学生が許可を受けて行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修は，当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし，学部の定めるところにより単位を与えることができる。

７　学生が本大学に入学する前に大学，専門職大学，短期大学又は専門職短期大学において履修した授業科目について修得した単位については，当該学生が在籍する学部の

授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

8　学生が本大学に入学する前に行った第６項に規定する学修は，当該学生が在籍する学部の授業科目の履修とみなし，学部の定めるところにより単位を与えることができる。

9　第２項，第４項，第５項及び第７項により修得したものとみなす単位並びに第６項及び第８項により与えることのできる単位は，合わせて 60 単位を超えない範囲で，卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第 37 条の２　第 32 条の２に規定する授業によって修得した単位は，60 単位を超えない範囲で，卒業するために必要な単位数に算入することができる。

第８節　卒業及び学士の学位

第 38 条　第 20 条に定めた修業年限に達し，所定の授業科目及び単位を修得し，卒業した者に学士の学位を授与する。

第 39 条　前条の学位に付記する専攻分野の名称は次のとおりとする。

学部名	学科名	専攻分野の名称
法学部	法律学科 政治経済学科 新聞学科 経営法学科 公共政策学科	法学
文理学部	哲学科 史学科 国文学科 中国語中国文化学科 英文学科 ドイツ文学科	文学
	社会学科	社会学
	社会福祉学科	社会福祉学
	教育学科	教育学
	体育学科	体育学
	心理学科	心理学
	地理学科	地理学
	地球科学科 数学科 情報科学科 物理学科 生命科学科	理学

	化学科	
経済学部	経済学科 産業経営学科 金融公共経済学科	経済学
商学部	商業学科 経営学科 会計学科	商学
芸術学部	写真学科 映画学科 美術学科 音楽学科 文芸学科 演劇学科 放送学科 デザイン学科	芸術
国際関係学部	国際総合政策学科 国際教養学科	国際関係
危機管理学部	危機管理学科	危機管理学
スポーツ科学部	競技スポーツ学科	体育学
理工学部	土木工学科 交通システム工学科 建築学科 海洋建築工学科 まちづくり工学科 機械工学科 精密機械工学科 航空宇宙工学科 電気工学科 電子工学科 応用情報工学科 物質応用化学科	工学
	物理学科 数学科	理学
生産工学部	機械工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築工学科 応用分子化学科	工学

	マネジメント工学科 数理情報工学科 環境安全工学科 創生デザイン学科	
工学部	土木工学科 建築学科 機械工学科 電気電子工学科 生命応用化学科 情報工学科	工学
医学部	医学科	医学
歯学部	歯学科	歯学
松戸歯学部	歯学科	歯学
生物資源科学部	バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 生命農学科 生命化学科 動物資源科学科 森林資源科学科 海洋生物資源科学科 生物環境工学科 食品生命学科 国際地域開発学科 応用生物科学科 くらしの生物学科	生物資源学
	獣医学科	獣医学
薬学部	薬学科	薬学

第９節　学費及び貸給費

第 40 条　授業料その他所定の学費は,別表２の定めるところにより納付するものとする。

２　編入学・再入学・転部・転科及び転籍の学費の取扱いについては，別に定める。

３　休学及び留学を許可された学生の休学及び留学期間中の学費の取扱いについては，別に定める。

第 41 条　授業料を分納しようとする者は，事由を述べた書面により，保証人連署で願い出るものとする。

第 42 条　証明手数料等については別表３の定めるところにより納付するものとする。

第 43 条　既納の学費は，いかなる理由があっても返還しない。

第 44 条　停学を命ぜられた学生は，停学期間中も授業料を納付しなければならない。

第 45 条　学業人物ともに優秀な学生であって，学費支弁の方法のない者には，学費を減免し，又は貸与・給付することがある。

２　減免・貸給費については，別に定める。

第 10 節　委託生及び外国人留学生

第 46 条　国又は公共団体から，一定の在学期間と履修科目とを定めて，入学を願い出た者に対しては，選考の上，委託生として入学を許可することがある。

第 47 条　委託生の入学資格については，第 17 条の規定を準用する。

第 48 条　委託生は，その履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には，願い出によって単位取得証明書を与えることができる。

第 49 条　委託生として４年以上在学し，所属学部における所定の単位を修得した者には，学士の学位を授与する。

第 50 条　委託生の授業料その他本大学に納付するために必要な学費は，委託者から納付するものとする。

第 51 条　外国人留学生の入学･編入学及び再入学については，第６節の規定を準用する。ただし，特別に選考を行い入学を許可することができる。

２　外国人留学生については，学修の必要に応じて第２章に掲げる授業科目の一部に代え又はこれに加えて日本語科目及び日本事情に関する科目（以下「日本語科目等」という）を開設することができる。

３　前項に定める日本語科目等の授業科目については，当該学部の教授会がこれを審議する。

４　帰国生についても第１項及び第２項の規定を準用することができる。

第 52 条　委託生，外国人留学生に関して，本節各条に規定しない事項については，学部学生に関する規定を準用する。

第 11 節　科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び研究生

第 53 条　学部の授業科目中の１科目又は数科目の履修を希望する者に対して,科目等履修生として入学を許可することがある。

２　科目等履修生の出願手続等については，別に定める。

第 54 条　科目等履修生は，履修した授業科目について，試験を受けることができる。試験に合格した者には，所定の単位を与えることができる。

第 55 条　学部の授業科目中の１科目又は数科目の聴講を希望する者に対して,聴講生として入学を許可することがある。

２　聴講生の出願手続等については，別に定める。

第 56 条　国内又は国外の他の大学，専門職大学，短期大学又は専門職短期大学の学生が学部の授業科目の履修を希望するときは，特別聴講学生として入学を許可することがある。

２　特別聴講学生の出願手続等については，別に定める。

第 57 条　各学部において，特殊な事項に関する研究に従事しようとする者に対しては，研究生として入学を許可することがある。

２　研究生は，指導教員の個人指導を受けて研究に従事するものとする。

第 58 条　研究生として入学することができる者は，その学部において選考の上，適当と認められた者に限る。

第 59 条　研究生として入学を志願する者は,所定の出願書類に研究しようとする事項を記載して，学期の始めに願い出るものとする。

第 60 条　研究生の在学年限は，１年とする。ただし，事情によって期間の延長を願い出ることができる。

第 61 条　研究生は，指導教員及び担任教員の承諾を経て，学部の講義・演習及び実験等に出席することができる。

第 62 条　研究生として，相当の成績を示したと認められる者には研究証明書を与える。

第 63 条　研究生に関して，本節各条に規定しない事項については，学部学生に関する規定を準用する。

第12節　教職課程

第64条　本大学に，教職課程を置く。

２　教育職員の免許状を必要とする者は，教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び同法施行規則に基づき，本大学に設置する教職課程について，所定の単位を修得しなければならない。

３　教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）は，次のとおりである。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
				必修を含め，中学校36単位以上，高等学校28単位以上を履修しなければならない。ただし，高等学校（英語）は32単位以上を履修しなければならない。	
国語科教育法Ⅰ	2	2		各教科教育法については，当該の1教科教育法を必修するものとする。	
国語科教育法Ⅱ	2	2			
国語科教育法Ⅲ	2		2	各教科教育法Ⅲ・Ⅳは，中学校に必修。	
国語科教育法Ⅳ	2		2	ただし，中学校（社会）の場合は，社会科・地理歴史科教育法Ⅰ，社会科・地理歴史科教育法Ⅱ，社会科・公民科教育法Ⅰ及び社会科・公民科教育法Ⅱを必修とする。また，高等学校（地理歴史）の場合は，社会科・地理歴史科教育法Ⅰ及び社会科・地理歴史科教育法Ⅱを必修とする。また，高等学校（公民）の場合は，社会科・公民科教育法Ⅰ及び社会科・公民科教育法Ⅱを必修とする。	
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅰ	2		2		
社会科・公民科教育法Ⅱ	2		2		
数学科教育法Ⅰ	2	2			
数学科教育法Ⅱ	2	2			
数学科教育法Ⅲ	2		2		
数学科教育法Ⅳ	2		2		
理科教育法Ⅰ	2	2			
理科教育法Ⅱ	2	2			
理科教育法Ⅲ	2		2		
理科教育法Ⅳ	2		2		
音楽科教育法Ⅰ	2	2			

音楽科教育法Ⅱ	2	2				
音楽科教育法Ⅲ	2		2			
音楽科教育法Ⅳ	2		2			
美術科教育法Ⅰ	2	2				
美術科教育法Ⅱ	2	2				
美術科教育法Ⅲ	2		2			
美術科教育法Ⅳ	2		2			
保健体育科教育法Ⅰ	2	2				
保健体育科教育法Ⅱ	2	2				
保健体育科教育法Ⅲ	2		2			
保健体育科教育法Ⅳ	2		2			
英語科教育法Ⅰ	2	2				
英語科教育法Ⅱ	2	2				
英語科教育法Ⅲ	2	2				
英語科教育法Ⅳ	2	2				
中国語科教育法Ⅰ	2	2				
中国語科教育法Ⅱ	2	2				
中国語科教育法Ⅲ	2		2			
中国語科教育法Ⅳ	2		2			
ドイツ語科教育法Ⅰ	2	2				
ドイツ語科教育法Ⅱ	2	2				
ドイツ語科教育法Ⅲ	2		2			
ドイツ語科教育法Ⅳ	2		2			
宗教科教育法Ⅰ	2	2				
宗教科教育法Ⅱ	2	2				
宗教科教育法Ⅲ	2		2			
宗教科教育法Ⅳ	2		2			
技術科教育法Ⅰ	2	2				
技術科教育法Ⅱ	2	2				
技術科教育法Ⅲ	2	2				

技術科教育法Ⅳ	2	2			
工芸科教育法Ⅰ	2	2			
工芸科教育法Ⅱ	2	2			
書道科教育法Ⅰ	2	2			
書道科教育法Ⅱ	2	2			
情報科教育法Ⅰ	2	2			
情報科教育法Ⅱ	2	2			
農業科教育法Ⅰ	2	2			
農業科教育法Ⅱ	2	2			
工業科教育法Ⅰ	2	2			
工業科教育法Ⅱ	2	2			
商業科教育法Ⅰ	2	2			
商業科教育法Ⅱ	2	2			
水産科教育法Ⅰ	2	2			
水産科教育法Ⅱ	2	2			
教育原論	2		2	1科目選択必修	
教育の理念と歴史	2		2		
現代教職論	2	2			
教育制度論	2		2	1科目選択必修	
教育の社会学	2		2		
発達と学習	2		2	1科目選択必修	
教育心理学	2		2		
特別支援教育概論	1	1			
教育課程論	2	2			
道徳教育の理論と方法※	2		2	中学校必修	※高等学校は，「大学が独自に設定する科目」の選択科目。
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	2			
教育方法・ICT活用論	2		2	1科目選択必修	
教授学習論	2		2		
生徒指導・進路指導論	2	2			
教育相談	2	2			

教育実習Ⅰ	4		4	1科目選択必修。ただし，中学校は教育実習Ⅰ必修。	
教育実習Ⅱ	2		2		
教育実習事前・事後指導	1	1			
教職実践演習(中・高)	2	2			

第65条　本大学の学部において，取得できる教員免許状は，次の表に掲げるとおりとする。

1　中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状

第一部

学部名	学科名	免許教科の種類	
		中学校一種免許状	高等学校一種免許状
法学部	法律学科	社会	地理歴史　公民
	政治経済学科	社会	地理歴史　公民
	新聞学科	社会	地理歴史　公民
	経営法学科	社会	公民
	公共政策学科	社会	地理歴史　公民
文理学部	哲学科	社会　宗教	公民　宗教
	史学科	社会	地理歴史
	国文学科	国語	国語　書道
	中国語中国文化学科	国語　中国語	国語　中国語
	英文学科	英語	英語
	ドイツ文学科	ドイツ語	ドイツ語
	社会学科	社会	公民
	教育学科	社会	公民
	体育学科	保健体育	保健体育
	地理学科	社会　理科	地理歴史　理科
	地球科学科	理科	理科
	数学科	数学	数学
	情報科学科	数学	数学　情報
	物理学科	理科	理科
	生命科学科	理科	理科
	化学科	理科	理科

経済学部	経済学科	社会	地理歴史 公民 商業
	産業経営学科	社会	公民 商業
商学部	商業学科		商業
	経営学科		商業
	会計学科		商業
芸術学部	美術学科	美術	美術 工芸
	音楽学科	音楽	音楽
	文芸学科	国語	国語
	デザイン学科	美術	美術 工芸
国際関係学部	国際教養学科	英語	英語
理工学部	土木工学科	数学 理科 技術	数学 理科 工業
	交通システム工学科	数学 理科 技術	数学 理科 工業
	建築学科	数学 理科 技術	数学 理科 工業
	海洋建築工学科	技術	工業
	まちづくり工学科		工業
	機械工学科	数学 理科 技術	数学 理科 工業
	精密機械工学科	数学 理科 技術	数学 理科 工業
	航空宇宙工学科	技術	工業
	電気工学科	数学 理科 技術	数学 理科 情報 工業
	電子工学科	技術	情報 工業
	応用情報工学科	数学	数学 情報
	物質応用化学科	理科 技術	理科 工業
	物理学科	数学 理科	数学 理科 情報
	数学科	数学	数学 情報
生産工学部	機械工学科	理科	理科 工業
	電気電子工学科	理科	理科 工業
	土木工学科	理科	理科 工業
	建築工学科	理科	理科 工業
	応用分子化学科	理科	理科 工業
	マネジメント工学科		工業
	数理情報工学科	数学	数学 情報
	環境安全工学科	理科	理科 工業

	創生デザイン学科	理科	理科　工業
工学部	土木工学科	技術	工業
	建築学科	技術	工業
	機械工学科	技術	工業
	電気電子工学科	技術	情報　工業
	生命応用化学科	理科	理科
	情報工学科	数学	数学　情報
生物資源科学部	バイオサイエンス学科	理科	理科　農業
	動物学科	理科	理科
	海洋生物学科	理科	理科　水産
	森林学科	理科	理科　農業
	環境学科	理科	理科
	アグリサイエンス学科	理科	理科　農業
	食品開発学科	理科	理科
	食品ビジネス学科	社会	公民　農業
	国際共生学科	社会	地理歴史　公民
	獣医保健看護学科	理科	理科
	獣医学科	理科	理科

第二部

法学部	法律学科	社会	地理歴史　公民

２　特別支援学校教諭一種免許状

学部名	学科名	免許状の特別支援教育領域
文理学部	教育学科	知的障害者　肢体不自由者　病弱者

第66条　前条の免許状は，所属学部によってその授業科目を限定されることなく，所定の単位の修得によってこれを授与されるものとする。

第67条　所定の単位の修得によって，２種以上の免許状を受けることができる。この場合，同一授業科目についての修得単位は相互の流用が認められる。

第68条　授業科目の種類によっては，教職課程によって修得した単位の若干を，学部において修得すべき単位数の中に含めることができる。

第69条　本大学に，２年以上在学して所定の単位を修得した者には，中学校教諭二種免許状が授与される。

第70条　本大学に，４年以上在学して学士の学位を有し，所定の単位を修得した者には，基礎資格及び修得単位に応じて中学校教諭一種免許状，高等学校教諭一種免許状が授与される。

第71条　普通免許状を有する者で,本大学の所定の単位を修得した者は,基礎資格及び修得単位に応じて特別支援学校教諭一種免許状の授与を受けることができる。

第72条　本大学大学院に，２年以上在学して修士の学位を有し，所定の単位を修得した者には，中学校教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状が授与される。

２　本大学大学院において，取得できる中学校教諭専修免許状及び高等学校教諭専修免許状の免許教科の種類は，次の表に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	免許教科の種類	
		中学校 専修免許状	高等学校 専修免許状
法学研究科	公法学専攻	社会	公民
	私法学専攻	社会	公民
	政治学専攻	社会	公民
新聞学研究科	新聞学専攻	社会	公民
文学研究科	哲学専攻	社会	公民
	史学専攻	社会	地理歴史
	国文学専攻	国語	国語
	中国学専攻	国語	国語
	英文学専攻	英語	英語
	ドイツ文学専攻	ドイツ語	ドイツ語
	社会学専攻	社会	公民
	教育学専攻	社会　保健体育	公民　保健体育
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻	数学　理科	数学　理科　情報
	相関理化学専攻	理科	理科
経済学研究科	経済学専攻	社会	公民　商業
商学研究科	商学専攻		商業
	経営学専攻		商業
	会計学専攻		商業
芸術学研究科	文芸学専攻	国語	国語
	造形芸術専攻	美術	美術　工芸

	音楽芸術専攻	音楽	音楽
理工学研究科	土木工学専攻		工業
	交通システム工学専攻		工業
	建築学専攻		工業
	海洋建築工学専攻		工業
	機械工学専攻	技術	工業
	精密機械工学専攻	技術	工業
	航空宇宙工学専攻	技術	工業
	電気工学専攻	技術	工業
	電子工学専攻	技術	情報　工業
	情報科学専攻		情報
	物質応用化学専攻	理科	理科　工業
	物理学専攻	理科	理科
	数学専攻	数学	数学
	地理学専攻	理科　社会	理科　地理歴史
	量子理工学専攻	理科	理科
生産工学研究科	機械工学専攻	理科	理科
	電気電子工学専攻	理科	理科
	土木工学専攻		工業
	建築工学専攻		工業
	応用分子化学専攻	理科	理科
	マネジメント工学専攻		工業
	数理情報工学専攻	数学	数学
工学研究科	土木工学専攻		工業
	建築学専攻		工業
	機械工学専攻	技術	工業
	電気電子工学専攻	技術	工業
	生命応用化学専攻	理科	理科
	情報工学専攻	数学	数学
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻	理科	理科
	生物資源利用科学専攻	理科	理科
	応用生命科学専攻	理科	理科
	生物環境科学専攻	理科	理科
	生物資源経済学専攻	社会	公民

第73条　（削除）

第13節　通信教育

第74条　本大学に，通信教育の課程を置く。

２　通信教育に関する規程は，別に定める。

第14節　賞罰

第75条　人物及び学業成績が優秀な者には，授賞することがある。

２　授賞に関する規定は，別に定める。

第76条　学生が本大学の規則・命令に背き若しくは大学の秩序を乱し，又は学生としての本分に反する行為があった場合にはその情状によって懲戒を行うことがある。

第77条　懲戒は，退学・停学及び訓告の３種とする。

２　前項の退学は，次の各号のいずれかに該当する者について行う。

①　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

②　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

③　正当の理由がなくて出席常でない者

④　大学の秩序を乱し，その他学生としての本分に反した者

３　停学とは，一定期間，授業の受講及び施設設備の利用等を禁止し，その他の課外活動等についても禁止することをいう。

４　訓告とは，文書で戒めることをいう。

５　懲戒の手続に関する規定は，別に定める。

第15節　寄宿舎

第78条　寄宿舎に関する規定は，別に定める。

第２章　教育課程及び履修方法

第１節　法学部

第 79 条　法学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，総計 124 単位以上を修得しなければならない。

なお，第64条第３項の教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）のうち次の授業科目については，10 単位を限度に卒業に必要な総単位数に算入することができる。

現代教職論，教育原論，発達と学習，教育制度論，教育課程論，生徒指導・進路指導，教育相談

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

２　Ⅰ群　共通科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
キャリア入門	2		2	2単位以上を修得しなければならない。	
キャリア・デザイン	2		2		
キャリア･デベロップメント	2		2		
インターンシップ	2		2		
コンピュータ･リテラシー	2		2		
日本大学の歴史	2		2		
共通科目特論	2		2		
社会貢献	1		1		
日本国憲法	2		2		

３　Ⅱ群　総合科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学Ⅰ	2		2	20単位以上を修得しなければならない。	
哲学Ⅱ	2		2		

論理学Ⅰ	2		2			
論理学Ⅱ	2		2			
倫理学Ⅰ	2		2			
倫理学Ⅱ	2		2			
宗教学Ⅰ	2		2			
宗教学Ⅱ	2		2			
日本文学Ⅰ	2		2			
日本文学Ⅱ	2		2			
世界の文学Ⅰ	2		2			
世界の文学Ⅱ	2		2			
芸術論Ⅰ	2		2			
芸術論Ⅱ	2		2			
日本の前近代Ⅰ	2		2			
日本の前近代Ⅱ	2		2			
日本の近現代Ⅰ	2		2			
日本の近現代Ⅱ	2		2			
アジアの歴史Ⅰ	2		2			
アジアの歴史Ⅱ	2		2			
西洋の歴史Ⅰ	2		2			
西洋の歴史Ⅱ	2		2			
社会思想の歴史Ⅰ	2		2			
社会思想の歴史Ⅱ	2		2			
科学の歴史Ⅰ	2		2			
科学の歴史Ⅱ	2		2			
社会学Ⅰ	2		2			
社会学Ⅱ	2		2			
文化人類学Ⅰ	2		2			
文化人類学Ⅱ	2		2			
地理学Ⅰ	2		2			
地理学Ⅱ	2		2			
環境論Ⅰ	2		2			
環境論Ⅱ	2		2			
教育学Ⅰ	2		2			

教育学Ⅱ	2		2		
心理学Ⅰ	2		2		
心理学Ⅱ	2		2		
精神分析学	2		2		
自然人類学	2		2		
健康科学Ⅰ	2		2		
健康科学Ⅱ	2		2		
体育スポーツ科学Ⅰ	2		2		
体育スポーツ科学Ⅱ	2		2		
数学Ⅰ	2		2		
数学Ⅱ	2		2		
統計学Ⅰ	2		2		
統計学Ⅱ	2		2		
地球科学Ⅰ	2		2		
地球科学Ⅱ	2		2		
生命の科学Ⅰ	2		2		
生命の科学Ⅱ	2		2		
日本の文化A	2		2		
日本の文化B	2		2		
日本の社会A	2		2	外国人留学生のみ履修できる。	
日本の社会B	2		2		
日本の自然A	2		2		
日本の自然B	2		2		
総合講座A	2		2		
総合講座B	2		2		
社会文化論A	2		2		
社会文化論B	2		2		
思想文化論A	2		2		
思想文化論B	2		2		
文章表現演習Ⅰ	2		2		
文章表現演習Ⅱ	2		2		
教養演習A	2		2		
教養演習B	2		2		

4　Ⅲ群　外国語科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語A	1		1	外国語科目のうち,英語8単位以上，ドイツ語・フランス語･中国語の中から1か国語6単位以上，計14単位以上を修得しなければならない。 外国人留学生については，日本語8単位以上，英語・ドイツ語・フランス語・中国語の中から1か国語（母国語を除く）6単位以上,計14単位以上を修得しなければならない。また，スペイン語・韓国語・ロシア語は,母国語を除き履修できる。	
英語B	1		1		
英語C	1		1		
英語D	1		1		
英語E	1		1		
英語F	1		1		
英語G	1		1		
英語H	1		1		
人文系英語演習A	1		1		
人文系英語演習B	1		1		
社会系英語演習A	1		1		
社会系英語演習B	1		1		
英検／IELTS　ⅠA	1		1		
英検／IELTS　ⅠB	1		1		
英検／IELTS　ⅡA	1		1		
英検／IELTS　ⅡB	1		1		
英検／IELTS　ⅢA	1		1		
英検／IELTS　ⅢB	1		1		
英検／IELTS　ⅣA	1		1		
英検／IELTS　ⅣB	1		1		
TOEFL　ⅠA	1		1		
TOEFL　ⅠB	1		1		
TOEFL　ⅡA	1		1		
TOEFL　ⅡB	1		1		
TOEFL　ⅢA	1		1		
TOEFL　ⅢB	1		1		
TOEFL　ⅣA	1		1		
TOEFL　ⅣB	1		1		
TOEIC　ⅠA	1		1		

TOEIC ⅠB	1		1			
TOEIC ⅡA	1		1			
TOEIC ⅡB	1		1			
TOEIC ⅢA	1		1			
TOEIC ⅢB	1		1			
TOEIC ⅣA	1		1			
TOEIC ⅣB	1		1			
CommunicationⅠA	1		1			
CommunicationⅠB	1		1			
CommunicationⅡA	1		1			
CommunicationⅡB	1		1			
CommunicationⅢA	1		1			
CommunicationⅢB	1		1			
CommunicationⅣA	1		1			
CommunicationⅣB	1		1			
ReadingⅠA	1		1			
ReadingⅠB	1		1			
ReadingⅡA	1		1			
ReadingⅡB	1		1			
ReadingⅢA	1		1			
ReadingⅢB	1		1			
WritingⅠA	1		1			
WritingⅠB	1		1			
WritingⅡA	1		1			
WritingⅡB	1		1			
WritingⅢA	1		1			
WritingⅢB	1		1			
国際研修（英）ⅠA	1		1			
国際研修（英）ⅠB	1		1			
国際研修（英）Ⅱ	2		2			
国際研修（英）Ⅲ	2		2			
国際研修（英）Ⅳ	2		2			
国際研修（英）Ⅴ	2		2			

ドイツ語基礎表現A	1		1			
ドイツ語基礎表現B	1		1			
ドイツ語基礎文法A	1		1			
ドイツ語基礎文法B	1		1			
人文系ドイツ語演習A	1		1			
人文系ドイツ語演習B	1		1			
社会系ドイツ語演習A	1		1			
社会系ドイツ語演習B	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅠA	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅠB	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅡA	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅡB	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅢA	1		1			
ドイツ語資格試験対策ⅢB	1		1			
国際研修（独）ⅠA	1		1			
国際研修（独）ⅠB	1		1			
国際研修（独）Ⅱ	2		2			
国際研修（独）Ⅲ	2		2			
コミュニケーション（独）ⅠA	1		1			
コミュニケーション（独）ⅠB	1		1			
コミュニケーション（独）ⅡA	1		1			
コミュニケーション（独）ⅡB	1		1			
コミュニケーション（独）ⅢA	1		1			
コミュニケーション（独）ⅢB	1		1			
ライティング（独）ⅠA	1		1			
ライティング（独）ⅠB	1		1			
ライティング（独）ⅡA	1		1			
ライティング（独）ⅡB	1		1			
フランス語基礎表現A	1		1			
フランス語基礎表現B	1		1			
フランス語基礎文法A	1		1			
フランス語基礎文法B	1		1			
人文系フランス語演習A	1		1			
人文系フランス語演習B	1		1			

社会系フランス語演習A	1		1			
社会系フランス語演習B	1		1			
フランス語資格試験対策ⅠA	1		1			
フランス語資格試験対策ⅠB	1		1			
フランス語資格試験対策ⅡA	1		1			
フランス語資格試験対策ⅡB	1		1			
フランス語資格試験対策ⅢA	1		1			
フランス語資格試験対策ⅢB	1		1			
国際研修（仏）ⅠA	1		1			
国際研修（仏）ⅠB	1		1			
国際研修（仏）Ⅱ	2		2			
国際研修（仏）Ⅲ	2		2			
コミュニケーション（仏）ⅠA	1		1			
コミュニケーション（仏）ⅠB	1		1			
コミュニケーション（仏）ⅡA	1		1			
コミュニケーション（仏）ⅡB	1		1			
コミュニケーション（仏）ⅢA	1		1			
コミュニケーション（仏）ⅢB	1		1			
ライティング（仏）ⅠA	1		1			
ライティング（仏）ⅠB	1		1			
ライティング（仏）ⅡA	1		1			
ライティング（仏）ⅡB	1		1			
中国語基礎表現A	1		1			
中国語基礎表現B	1		1			
中国語基礎文法A	1		1			
中国語基礎文法B	1		1			
人文系中国語演習A	1		1			
人文系中国語演習B	1		1			
社会系中国語演習A	1		1			
社会系中国語演習B	1		1			
中国語資格試験対策ⅠA	1		1			
中国語資格試験対策ⅠB	1		1			
中国語資格試験対策ⅡA	1		1			

中国語資格試験対策ⅡB	1		1		
中国語資格試験対策ⅢA	1		1		
中国語資格試験対策ⅢB	1		1		
国際研修（中）ⅠA	1		1		
国際研修（中）ⅠB	1		1		
国際研修（中）Ⅱ	2		2		
国際研修（中）Ⅲ	2		2		
コミュニケーション（中）ⅠA	1		1		
コミュニケーション（中）ⅠB	1		1		
コミュニケーション（中）ⅡA	1		1		
コミュニケーション（中）ⅡB	1		1		
コミュニケーション（中）ⅢA	1		1		
コミュニケーション（中）ⅢB	1		1		
ライティング（中）ⅠA	1		1		
ライティング（中）ⅠB	1		1		
ライティング（中）ⅡA	1		1		
ライティング（中）ⅡB	1		1		
日本語ⅠA	1		1		
日本語ⅠB	1		1		
日本語ⅡA	1		1		
日本語ⅡB	1		1		
日本語ⅢA	1		1	外国人留学生のみ履修できる。	
日本語ⅢB	1		1		
日本語ⅣA	1		1		
日本語ⅣB	1		1		
スペイン語ⅠA	1		1		
スペイン語ⅠB	1		1		
スペイン語ⅡA	1		1		
スペイン語ⅡB	1		1		
韓国語ⅠA	1		1		
韓国語ⅠB	1		1		
韓国語ⅡA	1		1		

韓国語ⅡB	1		1		
国際研修（韓）	2		2		
ロシア語ⅠA	1		1		
ロシア語ⅠB	1		1		
ロシア語ⅡA	1		1		
ロシア語ⅡB	1		1		

5　Ⅳ群　体育・健康科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
体育スポーツ実習A	1		1	2単位以上を修得しなければならない。 ただし,法律学科法曹コースを除く。	
体育スポーツ実習B	1		1		
体育スポーツ実習C	2		2		
体育スポーツ健康演習	1		1		

6　Ⅴ群・Ⅵ群・Ⅶ群・Ⅷ群　専門科目

Ⅰ　法律学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群　専門基幹科目				法曹コースは，必修単位数30単位に加えて， Ⅴ群より， 憲法Ⅱ（統治機構） 行政法Ⅱ 民法Ⅱ（物権法） 民法Ⅲ（担保物権法） 民法Ⅳ（債権法総論） 民法Ⅴ（債権法各論） 家族法 商法Ⅱ（会社法Ⅱ） 民事訴訟法Ⅱ 刑法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅱ を必修とし，36単位以上， Ⅵ群より4単位以上， Ⅶ群より， 憲法基礎演習 民法基礎演習 刑法基礎演習 を必修とし，14単位以上， 全学共通教育科目，Ⅴ群及びⅥ群より4単位以上， 合計88単位以上を修得しなければならない。	
法学Ⅰ	2	2			
法学Ⅱ	2		2		
憲法Ⅰ（人権）	4	4			
憲法Ⅱ（統治機構）	4		4		
行政法Ⅰ	4	4			
行政法Ⅱ	4		4		
民法Ⅰ（民法総則）	4	4			
民法Ⅱ（物権法）	2		2		
民法Ⅲ（担保物権法）	2		2		
民法Ⅳ（債権法総論）	4		4		
民法Ⅴ（債権法各論）	4		4		
民法Ⅵ（親族法）	2		2		
民法Ⅶ（相続法）	2		2		
家族法	2		2		

商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4	4		総合法コースは，必修単位数30単位に加えて， Ⅴ群より， 法学Ⅱ 憲法Ⅱ（統治機構） 行政法Ⅱ 民法Ⅱ（物権法） 民法Ⅲ（担保物権法） 民法Ⅳ（債権法総論） 民法Ⅴ（債権法各論） 民法Ⅵ（親族法） 民法Ⅶ（相続法） 商法Ⅱ（会社法Ⅱ） 商法Ⅲ（商取引法） 商法Ⅳ（支払システム法） 商法Ⅴ（保険法） 民事訴訟法Ⅱ 民事執行・保全法 刑法Ⅱ 刑事訴訟法Ⅱ のうちから8単位以上， Ⅵ群より， Ⅰ類4単位以上， Ⅱ類4単位以上， Ⅲ類4単位以上， Ⅶ群より， 公法演習（憲法）Ⅰ 公法演習（行政法）Ⅱ 民事法演習（要件事実）Ⅰ 民事法演習（判例演習）Ⅱ 民事法演習（会社法）Ⅲ 民事法演習（商法）Ⅳ 民事法演習（不動産・商業登記法）Ⅴ 民事法演習（民事手続法）Ⅵ 刑事法演習Ⅰ 刑事法演習Ⅱ 刑事法演習Ⅲ 刑事法演習Ⅳ ゼミナール のうちから8単位以上を含む計14単位以上， 全学共通教育科目，Ⅴ群及びⅥ群より22単位以上， 合計86単位以上を修得しなければならない。
商法Ⅱ（会社法Ⅱ）	4		4	
商法Ⅲ（商取引法）	2		2	
商法Ⅳ（支払システム法）	2		2	
商法Ⅴ（保険法）	2		2	
民事訴訟法Ⅰ	4	4		
民事訴訟法Ⅱ	2		2	
民事執行・保全法	4		4	
刑法Ⅰ	4	4		
刑法Ⅱ	4		4	
刑事訴訟法Ⅰ	4	4		
刑事訴訟法Ⅱ	4		4	
Ⅵ群　専門展開科目				
Ⅰ　類				
法哲学Ⅰ	2		2	
法哲学Ⅱ	2		2	
ローマ法Ⅰ	2		2	
ローマ法Ⅱ	2		2	
日本法制史Ⅰ	2		2	
日本法制史Ⅱ	2		2	
東洋法制史Ⅰ	2		2	
東洋法制史Ⅱ	2		2	
西洋法制史Ⅰ	2		2	
西洋法制史Ⅱ	2		2	
法思想史Ⅰ	2		2	
法思想史Ⅱ	2		2	
Ⅱ　類				
外国法A（英米）Ⅰ	2		2	
外国法A（英米）Ⅱ	2		2	
外国法A（独仏・EU）Ⅰ	2		2	
外国法A（独仏・EU）Ⅱ	2		2	

外国法A（アジア）	2		2			
外国法B（英米） Ⅰ	2		2			
外国法B（英米） Ⅱ	2		2			
外国法B（独仏・EU） Ⅰ	2		2			
外国法B（独仏・EU） Ⅱ	2		2			
外国法B（アジア）	2		2			
Ⅲ 類						
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2		2			
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2		2			
税法ⅡA（所得税法）	2		2			
税法ⅡB（法人税法）	2		2			
税法ⅢA（資産税法）	2		2			
税法ⅢB(消費・諸税法)	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2		2			
国際関係法〔公法系〕Aⅱ	2		2			
国際関係法〔公法系〕BⅠ	2		2			
国際関係法〔公法系〕Bⅱ	2		2			
国際関係法〔私法系〕AⅠ	2		2			
国際関係法〔私法系〕Aⅱ	2		2			
国際関係法〔私法系〕BⅠ	2		2			
国際関係法〔私法系〕Bⅱ	2		2			
倒産法 Ⅰ	2		2			
倒産法 Ⅱ	2		2			
労働法 Ⅰ	2		2			
労働法 Ⅱ	2		2			
経済法 Ⅰ	2		2			
経済法 Ⅱ	2		2			
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	2		2			
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	2		2			
知的財産法B（意匠）	2		2			
知的財産法C（商標・不正競争）	2		2			
知的財産法D（著作権）Ⅰ	2		2			
知的財産法D（著作権）Ⅱ	2		2			

知的財産法E（関連条約）Ⅰ	2		2			
知的財産法E（関連条約）Ⅱ	2		2			
環　境　法	2		2			
Ⅳ　類						
地方自治法Ⅰ	2		2			
地方自治法Ⅱ	2		2			
比較憲法Ⅰ	2		2			
比較憲法Ⅱ	2		2			
経済刑法Ⅰ	2		2			
経済刑法Ⅱ	2		2			
少年法Ⅰ	2		2			
少年法Ⅱ	2		2			
刑事政策Ⅰ	2		2			
刑事政策Ⅱ	2		2			
法医学Ⅰ	2		2			
法医学Ⅱ	2		2			
経済行政法Ⅰ	2		2			
経済行政法Ⅱ	2		2			
社会保障法Ⅰ	2		2			
社会保障法Ⅱ	2		2			
金融商品取引法Ⅰ	2		2			
金融商品取引法Ⅱ	2		2			
金融法Ⅰ	2		2			
金融法Ⅱ	2		2			
法律外国語AⅠ	1		1			
法律外国語AⅡ	1		1			
法律外国語BⅠ	1		1			
法律外国語BⅡ	1		1			
ジェンダーと法Ⅰ	2		2			
ジェンダーと法Ⅱ	2		2			
消費者法	2		2			
不動産法	2		2			
政治学原論	2		2			

現代政治理論	2		2			
ミクロ経済学Ⅰ	2		2			
マクロ経済学Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅱ	2		2			
Ⅶ群　専門演習関連科目						
憲法基礎演習	2		2			
民法基礎演習	2		2			
刑法基礎演習	2		2			
法学演習Ａ Ⅰ	2		2			
法学演習Ａ Ⅱ	2		2			
法学演習Ｂ Ⅰ	2		2			
法学演習Ｂ Ⅱ	2		2			
公法演習（憲法）Ⅰ	4		4			
公法演習（行政法）Ⅱ	4		4			
民事法演習（要件事実）Ⅰ	4		4			
民事法演習（判例演習）Ⅱ	4		4			
民事法演習（会社法）Ⅲ	4		4			
民事法演習（商法）Ⅳ	4		4			
民事法演習（不動産・商業登記法）Ⅴ	4		4			
民事法演習（民事手続法）Ⅵ	4		4			
刑事法演習Ⅰ	4		4			
刑事法演習Ⅱ	4		4			
刑事法演習Ⅲ	4		4			
刑事法演習Ⅳ	4		4			
ゼミナール	8		8			
Ⅷ群　教職課程教科専門科目						
日本史概論Ⅰ	2		2			
日本史概論Ⅱ	2		2			
東洋史概論Ⅰ	2		2			
東洋史概論Ⅱ	2		2			
西洋史概論Ⅰ	2		2			
西洋史概論Ⅱ	2		2			

人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地誌学概論Ⅰ	2		2		
地誌学概論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		

Ⅱ　政治経済学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群　専門基幹科目				必修単位数36単位を含め，合計76単位以上を修得しなければならない。	
Ⅰ　類					
政治学Ⅰ	2	2		国際政治経済コースは， Ⅵ群 Ⅰ類より， 国際関係論Ⅰ 国際関係史Ⅰ 西洋政治史Ⅰ 西洋政治史Ⅱ を必修とし， 国際関係論Ⅱ 平和学 国際関係史Ⅱ 国際経済論Ⅰ 国際経済論Ⅱ 国際金融論Ⅰ 国際金融論Ⅱ アメリカ政治論 アメリカ経済論 ヨーロッパ政治論Ⅰ ヨーロッパ政治論Ⅱ ヨーロッパ経済論 アジア政治論 地域研究 アジア経済論 のうちから８単位以上， 計16単位以上， Ⅱ類～Ⅳ類より8単位以上， Ⅴ類より8単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
政治学Ⅱ	2	2			
経済学Ⅰ	2	2			
経済学Ⅱ	2	2			
政治経済研究入門	2	2			
Ⅱ　類					
国際政治学Ⅰ	2	2			
国際政治学Ⅱ	2	2			
Ⅲ　類					
日本政治論Ⅰ	2	2			
日本政治論Ⅱ	2	2			
Ⅳ　類					
行政学Ⅰ	2	2			

行政学Ⅱ	2	2			
Ⅴ類				日本政治経済コースは， Ⅵ群 Ⅰ類・Ⅲ類・Ⅳ類より8単位以上， Ⅱ類より， 日本政治史Ⅰ 日本政治史Ⅱ 日本政治思想史Ⅰ 経済史 を必修とし， 日本政治思想史Ⅱ 日本政治過程論 国会論 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ のうちから8単位以上， 計16単位以上， Ⅴ類より８単位以上， Ⅶ群より８単位以上を修得しなければならない。	
政治学原論	2	2			
現代政治理論	2	2			
ミクロ経済学Ⅰ	2	2			
マクロ経済学Ⅰ	2	2			
Ⅵ群　専門展開科目					
Ⅰ類					
国際関係論Ⅰ	2		2		
国際関係論Ⅱ	2		2		
平和学	2		2		
国際関係史Ⅰ	2		2		
国際関係史Ⅱ	2		2		
国際経済論Ⅰ	2		2	地方行財政コースは， Ⅵ群 Ⅰ類・Ⅱ類・Ⅳ類より8単位以上， Ⅲ類より， 地方自治論Ⅰ 公共経済学Ⅰ 地方財政論Ⅰ 地方財政論Ⅱ を必修とし， 地方自治論Ⅱ 公共選択論 公共経済学Ⅱ 経済政策論 地域開発論 産業立地論 のうちから8単位以上， 計16単位以上， Ⅴ類より8単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
国際経済論Ⅱ	2		2		
国際金融論Ⅰ	2		2		
国際金融論Ⅱ	2		2		
西洋政治史Ⅰ	2		2		
西洋政治史Ⅱ	2		2		
アメリカ政治論	2		2		
アメリカ経済論	2		2		
ヨーロッパ政治論Ⅰ	2		2		
ヨーロッパ政治論Ⅱ	2		2		
ヨーロッパ経済論	2		2		
アジア政治論	2		2		
地域研究	2		2		
アジア経済論	2		2		

Ⅱ 類				政治経済理論コースは， Ⅵ群 Ⅰ類～Ⅲ類より8単位以上， Ⅳ類より， 西洋政治思想史Ⅰ 西洋政治思想史Ⅱ 比較政治学 財政学Ⅰ を必修とし， 比較政党論 政治制度論 政治社会学 選挙制度論 政治過程論 立法過程論 政治哲学Ⅰ 政治哲学Ⅱ 計量政治学 ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 財政学Ⅱ 経済思想史Ⅰ 経済思想史Ⅱ 計量経済学 のうちから8単位以上， 計16単位以上， Ⅴ類より8単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。		
日本政治史Ⅰ	2		2		
日本政治史Ⅱ	2		2		
日本政治思想史Ⅰ	2		2		
日本政治思想史Ⅱ	2		2		
日本政治過程論	2		2		
国会論	2		2		
日本経済論Ⅰ	2		2		
日本経済論Ⅱ	2		2		
経済史	2		2		
Ⅲ 類					
地方自治論Ⅰ	2		2		
地方自治論Ⅱ	2		2		
公共選択論	2		2		
公共経済学Ⅰ	2		2		
公共経済学Ⅱ	2		2		
地方財政論Ⅰ	2		2		
地方財政論Ⅱ	2		2		
経済政策論	2		2		
地域開発論	2		2		
産業立地論	2		2		
Ⅳ 類					
西洋政治思想史Ⅰ	2		2		

西洋政治思想史Ⅱ	2		2			
比較政治学	2		2			
比較政党論	2		2			
政治制度論	2		2			
政治社会学	2		2			
選挙制度論	2		2			
政治過程論	2		2			
立法過程論	2		2			
政治哲学Ⅰ	2		2			
政治哲学Ⅱ	2		2			
計量政治学	2		2			
ミクロ経済学Ⅱ	2		2			
マクロ経済学Ⅱ	2		2			
財政学Ⅰ	2		2			
財政学Ⅱ	2		2			
経済思想史Ⅰ	2		2			
経済思想史Ⅱ	2		2			
計量経済学	2		2			
Ⅴ 類						
法学Ⅰ	2	2				
憲法A（人権）	2	2				
憲法B（統治機構）	2	2				
行政法Ⅰ	4		4			
行政法Ⅱ	4		4			
刑事法Ⅰ	2		2			
刑事法Ⅱ	2		2			
民法総則	2		2			
物権・担保物権法	2		2			
債権法総論	2		2			

債権法各論	2		2			
民法Ⅵ（親族法）	2		2			
民法Ⅶ（相続法）	2		2			
商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4		4			
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2		2			
地方自治法Ⅰ	2		2			
地方自治法Ⅱ	2		2			
Ⅶ群　専門演習関連科目						
政治経済演習Ⅰ	4		4			
政治経済演習Ⅱ	4		4			
ゼミナール	8		8			
Ⅷ群　教職課程教科専門科目						
日本史概論Ⅰ	2		2			
日本史概論Ⅱ	2		2			
東洋史概論Ⅰ	2		2			
東洋史概論Ⅱ	2		2			
西洋史概論Ⅰ	2		2			
西洋史概論Ⅱ	2		2			
人文地理学概論Ⅰ	2		2			
人文地理学概論Ⅱ	2		2			
自然地理学概論Ⅰ	2		2			
自然地理学概論Ⅱ	2		2			
地誌学概論Ⅰ	2		2			
地誌学概論Ⅱ	2		2			
哲学概論Ⅰ	2		2			
哲学概論Ⅱ	2		2			
倫理学概論Ⅰ	2		2			

倫理学概論Ⅱ	2		2		

Ⅲ　新聞学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群　専門基幹科目				必修単位数36単位を含め，合計72単位以上を修得しなければならない。	
Ⅰ　類					
新聞学入門	2	2		Ⅵ群 Ⅰ類より， 文章作法 社会調査 メディア調査 のうちから2単位以上， メディアと社会 メディアと文化 情報の科学Ⅰ 政治コミュニケーション のうちから2単位以上， 東アジア・メディア研究 グローバル・コミュニケーション 地域社会とメディア のうちから2単位以上， 外国ジャーナリズム史 メディア史 日本ジャーナリズム史Ⅱ のうちから2単位以上， ジャーナリズム倫理Ⅰ メディアと法Ⅱ コミュニケーション政策Ⅰ のうちから2単位以上， メディア産業 出版研究 広告広報研究 放送研究 コンテンツ・ビジネス のうちから2単位以上， 計20単位以上， Ⅱ類より， 法学Ⅰ 法学Ⅱ のうちから4単位以上， 又は， 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ のうちから4単位以上， 又は， 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 経営学Ⅰ 経営学Ⅱ のうちから4単位以上のいずれかを修得し， 計8単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
新聞学基礎	2	2			
Ⅱ　類					
メディアの世界	2	2			
メディア・テクストの基礎	2	2			
ニュース英語Ⅰ	2	2			
ニュース英語Ⅱ	2	2			
Ⅲ　類					
コミュニケーション論	2	2			
コミュニケーションとインターネット	2	2			
メディアと歴史	2	2			
日本ジャーナリズム史Ⅰ	2	2			
ジャーナリズム論A	2	2			
ジャーナリズム論B	2	2			
マス・コミュニケーション論	2	2			
メディア・コミュニケーション論	2	2			
映像ジャーナリズム論	2	2			
メディアと法Ⅰ	2	2			

Ⅵ群　専門展開科目						
Ⅰ　類						
文　章　作　法	2		2			
社　会　調　査	2		2			
メ デ ィ ア 調 査	2		2			
メ デ ィ ア と 社 会	2		2			
メ デ ィ ア と 文 化	2		2			
情 報 の 科 学 Ⅰ	2		2			
政治コミュニケーション	2		2			
東アジア・メディア研究	2		2			
グローバル・コミュニケーション	2		2			
地域社会とメディア	2		2			
外国ジャーナリズム史	2		2			
メ デ ィ ア 史	2		2			
日本ジャーナリズム史Ⅱ	2		2			
ジャーナリズム倫理Ⅰ	2		2			
メ デ ィ ア と 法 Ⅱ	2		2			
コミュニケーション政策Ⅰ	2		2			
メ デ ィ ア 産 業	2		2			
出　版　研　究	2		2			
広 告 広 報 研 究	2		2			
放　送　研　究	2		2			
コンテンツ・ビジネス	2		2			
情 報 の 科 学 Ⅱ	2		2			

ジャーナリズム倫理Ⅱ	2		2			
コミュニケーション政策Ⅱ	2		2			
新聞学特論A	2		2			
新聞学特論B	2		2			
新聞学特論C	2		2			
新聞学原書研究	2		2			
Ⅱ 類						
憲法A（人権）	2	2				
憲法B（統治機構）	2	2				
法学Ⅰ	2		2			
法学Ⅱ	2		2			
刑事法Ⅰ	2		2			
刑事訴訟法Ⅰ	4		4			
民法総則	2		2			
物権・担保物権法	2		2			
民事訴訟法Ⅰ	4		4			
商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4		4			
法情報学Ⅰ	2		2			
知的財産法D（著作権）Ⅰ	2		2			
政治学Ⅰ	2		2			
政治学Ⅱ	2		2			
行政学Ⅰ	2		2			
行政学Ⅱ	2		2			
政治学原論	2		2			

現代政治理論	2		2			
国際政治学Ⅰ	2		2			
国際政治学Ⅱ	2		2			
アジア政治論	2		2			
日本政治論Ⅰ	2		2			
日本政治史Ⅰ	2		2			
立法過程論	2		2			
地方自治論Ⅰ	2		2			
行政広報論	2		2			
経済学Ⅰ	2		2			
経済学Ⅱ	2		2			
経営学Ⅰ	2		2			
経営学Ⅱ	2		2			
ミクロ経済学Ⅰ	2		2			
マクロ経済学Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅱ	2		2			
マーケティング論Ⅰ	2		2			
国際マーケティング論Ⅰ	2		2			
コーポレート・ファイナンス論Ⅰ	2		2			
Ⅶ群　専門演習関連科目						
新聞学演習Ⅰ	4		4			
新聞学演習Ⅱ	4		4			
ゼミナール	8		8			

Ⅷ群　教職課程教科専門科目					
日本史概論Ⅰ	2		2		
日本史概論Ⅱ	2		2		
東洋史概論Ⅰ	2		2		
東洋史概論Ⅱ	2		2		
西洋史概論Ⅰ	2		2		
西洋史概論Ⅱ	2		2		
人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地誌学概論Ⅰ	2		2		
地誌学概論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		

Ⅳ　経営法学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群　専門基幹科目				必修単位数22単位を含め，ビジネス法コースは合計78単位以上，国際法務コース及び知的財産コースは合計80単位以上を修得しなければならない。	
法学Ⅰ	2	2			
法学Ⅱ	2	2			
基礎経営法学	2	2		ビジネス法コースは， Ⅴ群より， 商法Ⅰ（会社法Ⅰ） マーケティング論Ⅰ	
憲法A（人権）	2	2			

憲法B（統治機構）	2	2		マーケティング論Ⅱ を必修とし，12単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より8単位以上， Ⅱ類より8単位以上， Ⅴ類より20単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
民法Ⅰ（民法総則）	4	4			
商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4		4		
民事訴訟法Ⅰ	4	4			
国際関係法〔私法系〕AⅠ	2		2		
国際関係法〔私法系〕AⅡ	2		2		
国際取引法AⅠ	2		2		
国際取引法AⅡ	2		2		
法律外国語AⅠ	1		1		
法律外国語AⅡ	1		1		
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ	2		2	国際法務コースは， Ⅴ群より， 商法Ⅰ（会社法Ⅰ） 国際関係法（私法系）AⅠ 国際関係法（私法系）AⅡ 国際取引法AⅠ 国際取引法AⅡ 法律外国語AⅠ 法律外国語AⅡ を必修とし，14単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より10単位以上， Ⅲ類より16単位以上， Ⅴ類より10単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ	2		2		
知的財産法B（意匠）	2		2		
知的財産法C（商標・不正競争）	2		2		
知的財産法D（著作権）Ⅰ	2		2		
知的財産法D（著作権）Ⅱ	2		2		
経営学Ⅰ	2	2			
経営学Ⅱ	2	2			
マーケティング論Ⅰ	2		2		
マーケティング論Ⅱ	2		2		
簿記論Ⅰ	2		2		
簿記論Ⅱ	2		2	知的財産コースは， Ⅴ群より， 知的財産法A（特許・実用新案）Ⅰ 知的財産法A（特許・実用新案）Ⅱ 知的財産法B（意匠） 知的財産法C（商標・不正競争） 知的財産法D（著作権）Ⅰ 知的財産法D（著作権）Ⅱ を必修とし，12単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より8単位以上， Ⅳ類より16単位以上， Ⅴ類より14単位以上， Ⅶ群より8単位以上を修得しなければならない。	
会計学Ⅰ	2		2		
会計学Ⅱ	2		2		
Ⅵ群　専門展開科目					
Ⅰ　類					
民法Ⅱ（物権法）	2		2		
民法Ⅲ（担保物権法）	2		2		
民法Ⅳ（債権法総論）	4		4		
民法Ⅴ（債権法各論）	4		4		

民法Ⅵ（親族法）	2		2			
民法Ⅶ（相続法）	2		2			
商法Ⅲ（商取引法）	2		2			
商法Ⅳ(支払システム法)	2		2			
商法Ⅴ（保険法）	2		2			
民事執行・保全法	4		4			
刑事法Ⅰ	2		2			
刑事法Ⅱ	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2		2			
Ⅱ 類						
労働法Ⅰ	2		2			
労働法Ⅱ	2		2			
企業法務Ⅰ	2		2			
企業法務Ⅱ	2		2			
経済行政法Ⅰ	2		2			
経済行政法Ⅱ	2		2			
経済法Ⅰ	2		2			
経済法Ⅱ	2		2			
金融商品取引法Ⅰ	2		2			
金融商品取引法Ⅱ	2		2			
金融法Ⅰ	2		2			
金融法Ⅱ	2		2			
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2		2			
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2		2			
税法ⅡA（所得税法）	2		2			
税法ⅡB（法人税法）	2		2			
税法ⅢA（資産税法）	2		2			
税法ⅢB(消費･諸税法)	2		2			
倒産法Ⅰ	2		2			
倒産法Ⅱ	2		2			
消費者法	2		2			
Ⅲ 類						

外国法A（英米）Ⅰ	2		2			
外国法A（英米）Ⅱ	2		2			
外国法A（独仏・EU）Ⅰ	2		2			
外国法A（独仏・EU）Ⅱ	2		2			
外国法A（アジア）	2		2			
外国法B（英米）Ⅰ	2		2			
外国法B（英米）Ⅱ	2		2			
外国法B（独仏・EU）Ⅰ	2		2			
外国法B（独仏・EU）Ⅱ	2		2			
外国法B（アジア）	2		2			
国際契約法Ⅰ	2		2			
国際契約法Ⅱ	2		2			
国際関係法〔私法系〕BⅠ	2		2			
国際関係法〔私法系〕BⅡ	2		2			
国際経済法Ⅰ	2		2			
国際経済法Ⅱ	2		2			
国際取引法BⅠ	2		2			
国際取引法BⅡ	2		2			
国際税法Ⅰ	2		2			
国際税法Ⅱ	2		2			
国際民事紛争処理法	2		2			
国際仲裁	2		2			
法律外国語BⅠ	1		1			
法律外国語BⅡ	1		1			
Ⅳ 類						
知的財産管理技能検定	2		2			
ビジネス著作権検定	2		2			
知的財産法E（関連条約）Ⅰ	2		2			
知的財産法E（関連条約）Ⅱ	2		2			
知的財産政策	2		2			
産学連携と知的財産	2		2			
イノベーションと知的財産	2		2			
産業技術と知財A（ICT・ｺﾝﾃﾝﾂ）Ⅰ	2		2			

産業技術と知財A（ICT・コンテンツ）Ⅱ	2		2			
産業技術と知財B（機械・エネルギー）	2		2			
産業技術と知財C（バイオ・環境化学）	2		2			
産業技術と知財D（エレクトロニクス）	2		2			
知的財産英語	2		2			
Ⅴ 類						
国際マーケティング論Ⅰ	2		2			
国際マーケティング論Ⅱ	2		2			
組織論Ⅰ	2		2			
組織論Ⅱ	2		2			
コーポレート・ガバナンス論Ⅰ	2		2			
コーポレート・ガバナンス論Ⅱ	2		2			
ファイナンス論Ⅰ	2		2			
ファイナンス論Ⅱ	2		2			
コーポレート・ファイナンス論Ⅰ	2		2			
コーポレート・ファイナンス論Ⅱ	2		2			
流通システム論Ⅰ	2		2			
流通システム論Ⅱ	2		2			
経営戦略論Ⅰ	2		2			
経営戦略論Ⅱ	2		2			
多国籍企業論Ⅰ	2		2			
多国籍企業論Ⅱ	2		2			
イノベーション・マネジメントⅠ	2		2			
イノベーション・マネジメントⅡ	2		2			
財務会計論Ⅰ	2		2			
財務会計論Ⅱ	2		2			
監査論Ⅰ	2		2			
監査論Ⅱ	2		2			
管理会計論Ⅰ	2		2			
管理会計論Ⅱ	2		2			
原価計算論Ⅰ	2		2			
原価計算論Ⅱ	2		2			
Ⅵ 類						

ミクロ経済学Ⅰ	2		2			
マクロ経済学Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅱ	2		2			
国際金融論Ⅰ	2		2			
国際金融論Ⅱ	2		2			
コミュニケーション政策Ⅰ	2		2			
コミュニケーション政策Ⅱ	2		2			
人的資源管理論Ⅰ	2		2			
人的資源管理論Ⅱ	2		2			
労働事情	2		2			
経営情報システム論Ⅰ	2		2			
経営情報システム論Ⅱ	2		2			
Ⅶ群　専門演習関連科目						
経営法学演習Ⅰ	4		4			
経営法学演習Ⅱ	4		4			
ゼミナール	8		8			
Ⅷ群　教職課程教科専門科目						
日本史概論Ⅰ	2		2			
日本史概論Ⅱ	2		2			
東洋史概論Ⅰ	2		2			
東洋史概論Ⅱ	2		2			
西洋史概論Ⅰ	2		2			
西洋史概論Ⅱ	2		2			
人文地理学概論Ⅰ	2		2			
人文地理学概論Ⅱ	2		2			
自然地理学概論Ⅰ	2		2			
自然地理学概論Ⅱ	2		2			
地誌学概論Ⅰ	2		2			
地誌学概論Ⅱ	2		2			
哲学概論Ⅰ	2		2			
哲学概論Ⅱ	2		2			
倫理学概論Ⅰ	2		2			

倫理学概論Ⅱ	2		2		

Ⅴ　公共政策学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅴ群　専門基幹科目				必修単位数8単位を含め，行政職課程は合計80単位以上，公安・自治体コース及び公共・公益マネジメントコースは合計74単位以上を修得しなければならない。	
Ⅰ　類					
行政学Ⅰ	2		2		
行政学Ⅱ	2		2		
経営学Ⅰ	2		2	行政職課程は， Ⅴ群 Ⅰ類より， 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ を必修とし，8単位以上， Ⅱ類より， 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 行政管理論 行政組織論 行政広報論 政策過程論 政策評価論 政策法務論 比較行政論 公務員制度論 ソーシャル・キャピタル論 福祉契約論 公共経営論 社会情報システム論 のうちから8単位以上， 計14単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より10単位以上， Ⅱ類より， 行政管理研究 行政組織研究 行政広報研究 社会情報システム研究 のうちから2単位以上， 計8単位以上， Ⅲ類より14単位以上， Ⅳ類より8単位以上， Ⅶ群より， 行政実務演習 を必修とし，計10単位以上を修得しなければならない。	
経営学Ⅱ	2		2		
政治学Ⅰ	2		2		
政治学Ⅱ	2		2		
経済学Ⅰ	2		2		
経済学Ⅱ	2		2		
法学Ⅰ	2		2		
Ⅱ　類					
公共政策論	2	2			
公共政策基礎演習	2	2			
地方自治論Ⅰ	2		2		
地方自治論Ⅱ	2		2		
社会保障論Ⅰ	2		2		
社会保障論Ⅱ	2		2		
社会政策論Ⅰ	2		2		
社会政策論Ⅱ	2		2		
現代行政論Ⅰ	2		2		
現代行政論Ⅱ	2		2		
会計学Ⅰ	2		2		
会計学Ⅱ	2		2		

人的資源管理論Ⅰ	2		2		
人的資源管理論Ⅱ	2		2		
経営情報システム論Ⅰ	2		2	公安・自治体コースは， Ⅴ群 Ⅰ類より， 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ 経営学Ⅰ 経営学Ⅱ のうちから4単位以上， 計8単位以上， Ⅱ類より， 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 社会政策論Ⅰ 社会政策論Ⅱ 現代行政論Ⅰ 現代行政論Ⅱ 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ 人的資源管理論Ⅱ 経営情報システム論Ⅰ 経営情報システム論Ⅱ のうちから8単位以上， 計14単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より， 都市政策 地域政策 警察政策 消防政策 のうちから4単位以上， 計10単位以上， Ⅱ類より， 社会情報システム研究 経営分析論 コーポレート・ファイナンス論Ⅱ のうちから2単位以上， 計8単位以上， Ⅲ類より12単位以上， Ⅳ類より6単位以上， Ⅶ群より， 公共政策実践演習Ⅰ 公共政策実践演習Ⅱ 公共政策応用演習Ⅰ 公共政策応用演習Ⅱ ゼミナール のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
人的資源管理論Ⅱ	2		2		
経営情報システム論Ⅱ	2		2		
行政管理論	2		2		
行政組織論	2		2		
行政広報論	2		2		
政策過程論	2		2		
政策評価論	2		2		
政策法務論	2		2		
比較行政論	2		2		
公務員制度論	2		2		
ソーシャル・キャピタル論	2		2		
福祉契約論	2		2		
公共経営論	2		2		
経営管理論	2		2		
経営組織論	2		2		
社会情報システム論	2		2		
労働事情	2		2		
コーポレート・ファイナンス論Ⅰ	2		2		
Ⅵ群　専門展開科目					
Ⅰ　類					
福祉政策	2		2		
教育政策	2		2		
都市政策	2		2		
地域政策	2		2		

環境政策	2		2		
農業政策	2		2		
警察政策	2		2	公共・公益マネジメントコースは， Ⅴ群 Ⅰ類より， 経営学Ⅰ を必修とし， 行政学Ⅰ 行政学Ⅱ 経営学Ⅱ のうちから2単位以上， 計8単位以上， Ⅱ類より， 地方自治論Ⅰ 地方自治論Ⅱ 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 社会政策論Ⅰ 社会政策論Ⅱ 現代行政論Ⅰ 現代行政論Ⅱ 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ 人的資源管理論Ⅱ 経営情報システム論Ⅰ 経営情報システム論Ⅱ ソーシャル・キャピタル論 福祉契約論 公共経営論 経営管理論 経営組織論 社会情報システム論 労働事情 コーポレート・ファイナンス論Ⅰ のうちから8単位以上， 計14単位以上， Ⅵ群 Ⅰ類より10単位以上， Ⅱ類より， 社会情報システム研究 経営分析論 コーポレート・ファイナンス論Ⅱ のうちから2単位以上， 計8単位以上， Ⅲ類より12単位以上， Ⅳ類より6単位以上， Ⅶ群より， 公共政策実践演習Ⅰ 公共政策実践演習Ⅱ 公共政策応用演習Ⅰ 公共政策応用演習Ⅱ ゼミナール のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
Ⅱ 類					
行政管理研究	2		2		
行政組織研究	2		2		
行政広報研究	2		2		
社会情報システム研究	2		2		
経営分析論	2		2		
コーポレート・ファイナンス論Ⅱ	2		2		
犯罪心理学	2		2		
政策研究	2		2		
西洋社会福祉事業史	2		2		
日本社会福祉事業史	2		2		
Ⅲ 類					
政治学原論	2		2		
現代政治理論	2		2		
政治哲学Ⅰ	2		2		
日本政治思想史Ⅰ	2		2		

日本政治思想史Ⅱ	2		2			
西洋政治思想史Ⅰ	2		2			
西洋政治思想史Ⅱ	2		2			
日本政治史Ⅰ	2		2			
日本政治史Ⅱ	2		2			
西洋政治史Ⅰ	2		2			
西洋政治史Ⅱ	2		2			
政治制度論	2		2			
政治過程論	2		2			
日本政治過程論	2		2			
国際政治学Ⅰ	2		2			
国際政治学Ⅱ	2		2			
国際関係論Ⅰ	2		2			
国際関係論Ⅱ	2		2			
国際関係史Ⅰ	2		2			
国際関係史Ⅱ	2		2			
ミクロ経済学Ⅰ	2		2			
マクロ経済学Ⅰ	2		2			
経済思想史Ⅰ	2		2			
経済思想史Ⅱ	2		2			
経済史	2		2			
財政学Ⅰ	2		2			
財政学Ⅱ	2		2			
公共経済学Ⅰ	2		2			
公共経済学Ⅱ	2		2			
地方財政論Ⅰ	2		2			

地方財政論Ⅱ	2		2			
国際経済論Ⅰ	2		2			
国際経済論Ⅱ	2		2			
国際金融論Ⅰ	2		2			
国際金融論Ⅱ	2		2			
経済政策論	2		2			
Ⅳ 類						
憲法A（人権）	2	2				
憲法B（統治機構）	2	2				
行政法Ⅰ	4		4			
行政法Ⅱ	4		4			
地方自治法Ⅰ	2		2			
地方自治法Ⅱ	2		2			
刑法Ⅰ	4		4			
刑法Ⅱ	4		4			
刑事政策Ⅰ	2		2			
刑事政策Ⅱ	2		2			
少年法Ⅰ	2		2			
少年法Ⅱ	2		2			
民法Ⅰ（民法総則）	4		4			
民法Ⅱ（物権法）	2		2			
民法Ⅲ（担保物権法）	2		2			
民法Ⅳ（債権法総論）	4		4			
民法Ⅴ（債権法各論）	4		4			
民法Ⅵ（親族法）	2		2			
民法Ⅶ（相続法）	2		2			

商法Ⅰ（会社法Ⅰ）	4		4			
商法Ⅲ（商取引法）	2		2			
商法Ⅳ(支払システム法)	2		2			
商法Ⅴ（保険法）	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅠ	2		2			
国際関係法〔公法系〕AⅡ	2		2			
税法Ⅰ（基礎理論Ⅰ）	2		2			
税法Ⅰ（基礎理論Ⅱ）	2		2			
経済行政法Ⅰ	2		2			
経済行政法Ⅱ	2		2			
経済法Ⅰ	2		2			
経済法Ⅱ	2		2			
知的財産法A(特許・実用新案)Ⅰ	2		2			
知的財産法A(特許・実用新案)Ⅱ	2		2			
知的財産法B（意匠）	2		2			
知的財産法C(商標・不正競争)	2		2			
社会保障法Ⅰ	2		2			
社会保障法Ⅱ	2		2			
法医学Ⅰ	2		2			
法医学Ⅱ	2		2			
労働法Ⅰ	2		2			
労働法Ⅱ	2		2			
Ⅶ群　専門演習関連科目						
行政実務演習	2		2			
公共政策実践演習Ⅰ	2		2			
公共政策実践演習Ⅱ	2		2			

公共政策応用演習Ⅰ	2		2		
公共政策応用演習Ⅱ	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル	8		8		
Ⅷ群　教職課程教科専門科目					
日 本 史 概 論 Ⅰ	2		2		
日 本 史 概 論 Ⅱ	2		2		
東 洋 史 概 論 Ⅰ	2		2		
東 洋 史 概 論 Ⅱ	2		2		
西 洋 史 概 論 Ⅰ	2		2		
西 洋 史 概 論 Ⅱ	2		2		
人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地 誌 学 概 論 Ⅰ	2		2		
地 誌 学 概 論 Ⅱ	2		2		
哲 学 概 論 Ⅰ	2		2		
哲 学 概 論 Ⅱ	2		2		
倫 理 学 概 論 Ⅰ	2		2		
倫 理 学 概 論 Ⅱ	2		2		

第80条　（削除）

第２節　文理学部

第81条　文理学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め，総計124単位以上を修得しなければならない。

なお，許可を得て修得した第64条第３項の教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）については，卒業に必要な総単位数に算入することができる（各教科教育法Ⅰ～Ⅳ，教育実習事前・事後指導，教育実習Ⅰ，教育実習Ⅱ及び教職実践演習（中・高）を除く）。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　総合教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
総合Ⅰ群				総合Ⅰ群または総合Ⅱ群の区別なく，人文系科目，社会系科目，理学系科目のうちから，それぞれ2単位以上を含め，合計16単位以上を修得しなければならない。	
人文系科目					
哲学	2		2		
論理学	2		2		
倫理学	2		2		
美学	2		2		
宗教学	2		2		
歴史学	2		2		
考古学	2		2		
文学	2		2		
言語学	2		2		
民俗学	2		2		
社会系科目					
法学	2		2		
憲法	2		2		
社会学	2		2		
社会福祉学	2		2		
政治学	2		2		

経済学	2		2			
地理学	2		2			
教育学	2		2			
心理学	2		2			
身体科学	2		2			
理学系科目						
数学	2		2			
物理学	2		2			
化学	2		2			
生命科学	2		2			
地球科学	2		2			
宇宙科学	2		2			
統計学	2		2			
情報科学	2		2			
科学史	2		2			
総合Ⅱ群						
人文系科目						
「生きる」ことの哲学	2		2			
現代思想論	2		2			
異文化間コミュニケーション論	2		2			
日本の歴史・社会・文化	2		2			
欧米の歴史・社会・文化	2		2			
アジアの歴史・社会・文化	2		2			
イスラム圏の歴史・社会・文化	2		2			
美術史	2		2			
演劇論	2		2			
映像文化論	2		2			
身体表現論	2		2			
音楽文化論	2		2			
言語学から見た世界	2		2			
社会系科目						
デジタル産業革命と社会の変容	2		2			
国民国家とグローバル資本主義	2		2			
戦後日本の政治	2		2			

経済発展と人口変動	2		2			
日常生活の中の経済学	2		2			
公と私の社会科学	2		2			
多文化共生社会を生きる	2		2			
少子化・高齢化社会を生きる	2		2			
メディア論	2		2			
ジェンダー論	2		2			
市民社会と法	2		2			
現代ビジネスと企業の社会的責任	2		2			
労働と労働者の権利	2		2			
国際法	2		2			
国際情勢	2		2			
国際経済論	2		2			
スポーツ文化論	2		2			
理学系科目						
人類の進化	2		2			
データと対話するための統計学	2		2			
身のまわりの生命現象	2		2			
環境と生命のつながり	2		2			
ゲノム改変と私たちの生活	2		2			
日本の自然と災害	2		2			
地球環境の変動と生命史	2		2			
身体の健康	2		2			
心の健康	2		2			
数学を楽しむ	2		2			
宇宙を理解する	2		2			
原子の世界	2		2			
現代社会を支える化学	2		2			
現代社会を支える科学技術	2		2			
情報とコミュニケーション	2		2			
情報と社会	2		2			
情報と数理	2		2			
総合Ⅲ群						

プロジェクト教育科目						
総合研究 1	2		2			
総合研究 2	2		2			
総合研究 3	2		2			
総合研究 4	2		2			
総合研究 5	2		2			
総合研究 6	2		2			
総合研究 7	2		2			
総合研究 8	2		2			
キャリア教育科目						
キャリア・ストレスマネジメント	2		2			
キャリアデザイン	2		2			
インターンシップ	2		2			
国際教養科目						
（国際日本学）						
History of Japan 1	2		2			
History of Japan 2	2		2			
Japanese Society 1	2		2			
Japanese Society 2	2		2			
Japanese Literature 1	2		2			
Japanese Literature 2	2		2			
Japanese Culture 1	2		2			
Japanese Culture 2	2		2			
Environmental Geography of Japan 1	2		2			
Environmental Geography of Japan 2	2		2			
Japan in the World 1	2		2			
Japan in the World 2	2		2			
国際日本学入門 1	2		2			
国際日本学入門 2	2		2			
(アカデミック・ライティング)						
アカデミック・ライティング(日本語) 1	2		2			
アカデミック・ライティング(日本語) 2	2		2			
アカデミック・ライティング(英語) 1	2		2			

アカデミック・ライティング(英語) 2	2		2		
（日本語教育関連科目）					
日本語教育学入門	2		2		
日本語教育のための文法	2		2		
教材・教具論	2		2		
日本語教育実習	3		3		

3　外国語教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語 1	1		1	中国語中国文化学科においては中国語1～14，14単位,英文学科においては英語1～12，12単位，ドイツ文学科においてはドイツ語1～12，12単位を必修外国語として修得し,選択外国語として必修外国語以外のいずれか1言語の中から4単位以上を修得しなければならない。 その他の学科においては開講科目の中からいずれか1言語もしくは2言語(各言語4単位以上)8単位以上を修得しなければならない。 中国語中国文化学科及びドイツ文学科においては，選択外国語として英語を選択した場合は,英語1～4を修得しなければならない。また，中国語中国文化学科及びドイツ文学科の外国人留学生は選択外国語として，日本語（または日本語初級）4単位以上を修得しなければならない。 英文学科の外国人留学生は選択外国語として,日本語（または日本語初級）4単位以上を修得しなければならない。	
英語 2	1		1		
英語 3	1		1		
英語 4	1		1		
英語 5	1		1		
英語 6	1		1		
英語 7	1		1		
英語 8	1		1		
英語 9	1		1		
英語 10	1		1		
英語 11	1		1		
英語 12	1		1		
実用英語検定 1	1		1		
実用英語検定 2	1		1		
TOEIC 1	1		1		
TOEIC 2	1		1		
TOEIC 3	1		1		
TOEIC 4	1		1		
TOEFL 1	1		1		
TOEFL 2	1		1		
IELTS 1	1		1		
IELTS 2	1		1		
通訳英語	1		1		
ビジネス英語	1		1		

観光英語	1		1	その他の学科においては，英語を選択した場合は，英語1～8（2言語選択の場合は英語1～4)を修得しなければならない。また，その他の学科の外国人留学生は日本語1～8(または日本語初級1～8）8単位以上を修得しなければならない。		
英文翻訳法	1		1			
英文ライティング 1	1		1			
英文ライティング 2	1		1			
メディア・インターネット英語	1		1			
オーラル英語 1	1		1			
オーラル英語 2	1		1			
オーラル英語 3	1		1			
オーラル英語 4	1		1			
検定英語 1	6		6			
検定英語 2	4		4			
検定英語 3	2		2			
ドイツ語 1	1		1			
ドイツ語 2	1		1			
ドイツ語 3	1		1			
ドイツ語 4	1		1			
ドイツ語 5	1		1			
ドイツ語 6	1		1			
ドイツ語 7	1		1			
ドイツ語 8	1		1			
ドイツ語 9	1		1			
ドイツ語 10	1		1			
ドイツ語 11	1		1			
ドイツ語 12	1		1			
ドイツ語コミュニケーション 1	1		1			
ドイツ語コミュニケーション 2	1		1			
ドイツ語コミュニケーション 3	1		1			
ドイツ語コミュニケーション 4	1		1			
ドイツ語講読 1	1		1			
ドイツ語講読 2	1		1			
ドイツ語講読 3	1		1			
ドイツ語講読 4	1		1			
ドイツ語検定 1	6		6			

ドイツ語検定 2	4		4			
ドイツ語検定 3	2		2			
ドイツ語検定 4	2		2			
ドイツ語検定 5	2		2			
ドイツ語検定 6	4		4			
フランス語 1	1		1			
フランス語 2	1		1			
フランス語 3	1		1			
フランス語 4	1		1			
フランス語 5	1		1			
フランス語 6	1		1			
フランス語 7	1		1			
フランス語 8	1		1			
フランス語コミュニカティフ 1	1		1			
フランス語コミュニカティフ 2	1		1			
フランス語コミュニカティフ 3	1		1			
フランス語コミュニカティフ 4	1		1			
フランス語コミュニカティフ 5	1		1			
フランス語コミュニカティフ 6	1		1			
時事フランス語 1	1		1			
時事フランス語 2	1		1			
フランス語検定 1	6		6			
フランス語検定 2	4		4			
フランス語検定 3	2		2			
フランス語検定 4	2		2			
フランス語検定 5	2		2			
フランス語検定 6	4		4			
中国語 1	1		1			
中国語 2	1		1			
中国語 3	1		1			
中国語 4	1		1			
中国語 5	1		1			
中国語 6	1		1			

中国語 7	1		1			
中国語 8	1		1			
中国語 9	1		1			
中国語 10	1		1			
中国語 11	1		1			
中国語 12	1		1			
中国語 13	1		1			
中国語 14	1		1			
スペイン語 1	1		1			
スペイン語 2	1		1			
スペイン語 3	1		1			
スペイン語 4	1		1			
スペイン語 5	1		1			
スペイン語 6	1		1			
スペイン語 7	1		1			
スペイン語 8	1		1			
韓国語／朝鮮語 1	1		1			
韓国語／朝鮮語 2	1		1			
韓国語／朝鮮語 3	1		1			
韓国語／朝鮮語 4	1		1			
韓国語／朝鮮語 5	1		1			
韓国語／朝鮮語 6	1		1			
韓国語／朝鮮語 7	1		1			
韓国語／朝鮮語 8	1		1			
ロシア語 1	1		1			
ロシア語 2	1		1			
ロシア語 3	1		1			
ロシア語 4	1		1			
ロシア語 5	1		1			
ロシア語 6	1		1			
ロシア語 7	1		1			
ロシア語 8	1		1			

日本語初級 1	1		1	外国人留学生のみ履修できる	
日本語初級 2	1		1		
日本語初級 3	1		1		
日本語初級 4	1		1		
日本語初級 5	1		1		
日本語初級 6	1		1		
日本語初級 7	1		1		
日本語初級 8	1		1		
日本語 1	1		1		
日本語 2	1		1		
日本語 3	1		1		
日本語 4	1		1		
日本語 5	1		1		
日本語 6	1		1		
日本語 7	1		1		
日本語 8	1		1		
ビジネス日本語 1	1		1		
ビジネス日本語 2	1		1		
海外語学研修	2		2		
海外文化交流	2		2		

4　基礎教育科目

Ⅰ　健康・スポーツ教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
健康・スポーツ教育論	2	2		必修単位数3単位を修得しなければならない。	
健康・スポーツ教育実習1	1	1			
健康・スポーツ教育実習2	1		1		
健康・スポーツ教育実習3	1		1		
健康・スポーツ教育実習4	1		1		
健康・スポーツ教育実習5	1		1		

Ⅱ　コンピュータ科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報リテラシー	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
アカデミックICT基礎	2		2		

データ処理基礎	2		2		
情報倫理・情報セキュリティ	2		2		
プレゼンテーション法	2		2		
アルゴリズムとプログラミング基礎	2		2		
アルゴリズムとプログラミング応用	2		2		
ビッグデータサイエンス	2		2		
ＩＣＴ機器活用法	2		2		
ネットワーク設計基礎（含演習）	3		3		
ネットワーク設計活用	2		2		
ネットワーク設計応用	2		2		
情報セキュリティ基盤構築基礎	2		2		
情報セキュリティ基盤構築応用	2		2		
次世代情報基盤構築基礎	2		2		
次世代情報基盤構築応用	2		2		
Windowsサーバー管理の基礎（含演習）	3		3		
サーバーの仮想化環境の構築（含演習）	3		3		

５　学科専門科目

Ⅰ　哲学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数28単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうちA群から4単位，B群から16単位，C群から6単位，D群から16単位を含め，合計42単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
クリティカル・シンキング1	1	1			
クリティカル・シンキング2	1	1			
哲学概論	2	2			
哲学講究	2	2			
倫理学概論	2	2			
倫理学講究	2	2			
美学概論	2	2			
美学講究	2	2			
宗教学概論	2	2			
宗教学講究	2	2			
哲学基礎講読 1	1		1		
哲学基礎講読 2	1		1		

倫理学基礎講読 1	1		1	A群	
倫理学基礎講読 2	1		1		
美学基礎講読 1	1		1		
美学基礎講読 2	1		1		
宗教学基礎講読 1	1		1		
宗教学基礎講読 2	1		1		
思想史 1	2		2	B群	
思想史 2	2		2		
思想史 3	2		2		
思想史 4	2		2		
思想史 5	2		2		
思想史 6	2		2		
思想史 7	2		2		
思想史 8	2		2		
美学史 1	2		2		
美学史 2	2		2		
美学史 3	2		2		
美学史 4	2		2		
宗教史 1	2		2		
宗教史 2	2		2		
宗教史 3	2		2		
宗教史 4	2		2		
記号論理 1	2		2		
記号論理 2	2		2		
古典語・古典学 1	1		1		
古典語・古典学 2	1		1		
古典語・古典学 3	1		1		
古典語・古典学 4	1		1		
古典語・古典学 5	1		1		
古典語・古典学 6	1		1		
古典語・古典学 7	1		1		
古典語・古典学 8	1		1		

哲学演習 1	1		1		
哲学演習 2	1		1		
哲学演習 3	1		1		
哲学演習 4	1		1		
哲学演習 5	1		1		
哲学演習 6	1		1		
哲学演習 7	1		1		
哲学演習 8	1		1		
倫理学演習 1	1		1		
倫理学演習 2	1		1		
倫理学演習 3	1		1		
倫理学演習 4	1		1		
美学演習 1	1		1		
美学演習 2	1		1		
美学演習 3	1		1		
美学演習 4	1		1		
美学演習 5	1		1		
美学演習 6	1		1		
美学演習 7	1		1		
美学演習 8	1		1		
宗教学演習 1	1		1		
宗教学演習 2	1		1		
宗教学演習 3	1		1		
宗教学演習 4	1		1		
哲学課題研究 1	1		1	C群	
哲学課題研究 2	1		1		
哲学課題研究 3	1		1		
哲学課題研究 4	1		1		
哲学課題研究 5	1		1		
哲学課題研究 6	1		1		
哲学課題研究 7	1		1		
哲学課題研究 8	1		1		
倫理学課題研究 1	1		1		
倫理学課題研究 2	1		1		

倫理学課題研究 3	1		1		
倫理学課題研究 4	1		1		
倫理学課題研究 5	1		1		
倫理学課題研究 6	1		1		
美学課題研究 1	1		1		
美学課題研究 2	1		1		
美学課題研究 3	1		1		
美学課題研究 4	1		1		
美学課題研究 5	1		1		
美学課題研究 6	1		1		
宗教学課題研究 1	1		1		
宗教学課題研究 2	1		1		
宗教学課題研究 3	1		1		
宗教学課題研究 4	1		1		
宗教学課題研究 5	1		1		
宗教学課題研究 6	1		1		
哲学特殊講義 1	2		2		
哲学特殊講義 2	2		2		
哲学特殊講義 3	2		2		
哲学特殊講義 4	2		2		
哲学特殊講義 5	2		2		
哲学特殊講義 6	2		2		
哲学特殊講義 7	2		2		
哲学特殊講義 8	2		2		
倫理学特殊講義 1	2		2		
倫理学特殊講義 2	2		2		
倫理学特殊講義 3	2		2		
倫理学特殊講義 4	2		2		
倫理学特殊講義 5	2		2		
倫理学特殊講義 6	2		2		
倫理学特殊講義 7	2		2		
倫理学特殊講義 8	2		2		
美学特殊講義 1	2		2	D群	
美学特殊講義 2	2		2		
美学特殊講義 3	2		2		

美学特殊講義 4	2		2			
美学特殊講義 5	2		2			
美学特殊講義 6	2		2			
美学特殊講義 7	2		2			
美学特殊講義 8	2		2			
宗教学特殊講義 1	2		2			
宗教学特殊講義 2	2		2			
宗教学特殊講義 3	2		2			
宗教学特殊講義 4	2		2			
宗教学特殊講義 5	2		2			
宗教学特殊講義 6	2		2			
宗教学特殊講義 7	2		2			
宗教学特殊講義 8	2		2			
教理学 1	2		2			
教理学 2	2		2			
卒業論文 1	4	4				
卒業論文 2	4	4				
Ⅱ区分						
日本史概説	2		2			
日本史講究	2		2			
東洋史概説	2		2			
東洋史講究	2		2			
西洋史概説	2		2			
西洋史講究	2		2			
地理学概論	2		2			
地理学詳論	2		2			
地誌学	2		2			
法学通論	2		2			
国際法	2		2			
政治学概論	2		2			
国際情勢	2		2			
社会学概論	2		2			
社会学各論	2		2			
経済学概論	2		2			

国際経済論	2		2		

Ⅱ　史学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数12単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2		Ⅰ区分の選択単位数のうちA群から4単位,B群から8単位，C群から16単位，D群から2単位，E群から4単位，F群から8単位を含め，合計54単位以上を修得しなければならない。	
史学概論	2	2			
日本史研究法入門	2		2	A群	
東洋史研究法入門	2		2		
西洋史研究法入門	2		2		
考古学研究法入門	2		2		
日本史概説	2		2	B群	
日本史講究	2		2		
東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
日本考古学概説 1	2		2		
日本考古学概説 2	2		2		
外国考古学概説 1	2		2		
外国考古学概説 2	2		2		
日本史特講 1	2		2		
日本史特講 2	2		2		
日本史特講 3	2		2		
日本史特講 4	2		2		
日本史特講 5	2		2		
日本史特講 6	2		2		
日本史特講 7	2		2		
日本史特講 8	2		2		
東洋史特講 1	2		2		
東洋史特講 2	2		2		

東洋史特講	3	2		2		
東洋史特講	4	2		2		
東洋史特講	5	2		2		
東洋史特講	6	2		2		
東洋史特講	7	2		2		
東洋史特講	8	2		2	C群	
西洋史特講	1	2		2		
西洋史特講	2	2		2		
西洋史特講	3	2		2		
西洋史特講	4	2		2		
西洋史特講	5	2		2		
西洋史特講	6	2		2		
西洋史特講	7	2		2		
西洋史特講	8	2		2		
考古学特講	1	2		2		
考古学特講	2	2		2		
考古学特講	3	2		2		
考古学特講	4	2		2		
考古学特講	5	2		2		
考古学特講	6	2		2		
考古学特講	7	2		2		
考古学特講	8	2		2		
日本史基礎実習	1	1		1		
日本史基礎実習	2	1		1		
東洋史基礎実習	1	1		1		
東洋史基礎実習	2	1		1	D群	
西洋史基礎実習	1	1		1		
西洋史基礎実習	2	1		1		
考古学基礎実習	1	1		1		
考古学基礎実習	2	1		1		
日本史研究実習	1	1		1		
日本史研究実習	2	1		1		
東洋史研究実習	1	1		1		

東洋史研究実習 2	1		1			
西洋史研究実習 1	1		1			
西洋史研究実習 2	1		1			
考古学研究実習 1	1		1			
考古学研究実習 2	1		1			
日本史料研究 1	2		2			
日本史料研究 2	2		2			
日本史料研究 3	2		2			
日本史料研究 4	2		2			
古文書・古記録学 1	2		2			
古文書・古記録学 2	2		2			
古文書・古記録学 3	2		2	E群		
古文書・古記録学 4	2		2			
東洋史料文献研究 1	2		2			
東洋史料文献研究 2	2		2			
東洋史料文献研究 3	2		2			
東洋史料文献研究 4	2		2			
西洋史料文献研究 1	2		2			
西洋史料文献研究 2	2		2			
西洋史料文献研究 3	2		2			
西洋史料文献研究 4	2		2			
考古学方法論 1	2		2			
考古学方法論 2	2		2			
考古学方法論 3	2		2			
考古学方法論 4	2		2			
日本史ゼミナール 1	2		2			
日本史ゼミナール 2	2		2			
日本史ゼミナール 3	2		2			
日本史ゼミナール 4	2		2			
東洋史ゼミナール 1	2		2			
東洋史ゼミナール 2	2		2			
東洋史ゼミナール 3	2		2			
東洋史ゼミナール 4	2		2			

西洋史ゼミナール 1	2		2	F群	
西洋史ゼミナール 2	2		2		
西洋史ゼミナール 3	2		2		
西洋史ゼミナール 4	2		2		
考古学ゼミナール 1	2		2		
考古学ゼミナール 2	2		2		
考古学ゼミナール 3	2		2		
考古学ゼミナール 4	2		2		
文化財ゼミナール 1	2		2		
文化財ゼミナール 2	2		2		
文化財ゼミナール 3	2		2		
文化財ゼミナール 4	2		2		
遺跡解題 1	2		2		
遺跡解題 2	2		2		
考古学実地研究 1	2		2		
考古学実地研究 2	2		2		
歴史民俗学 1	2		2		
歴史民俗学 2	2		2		
文化財学 1	2		2		
文化財学 2	2		2		
卒業論文	8	8			
Ⅱ区分					
地理学概論	2		2		
地理学詳論	2		2		
人文地理学概論	2		2		
人文地理学詳論	2		2		
自然地理学概論	2		2		
自然地理学詳論	2		2		
地誌学	2		2		
法学通論	2		2		
政治学概論	2		2		
経済学概論	2		2		
社会学概論	2		2		

社会学各論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		

Ⅲ　国文学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数30単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうちA群から12単位,B群から8単位を含め，合計30単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
日本文学入門1	2	2			
日本文学入門2	2	2			
日本語学入門1	2	2			
日本語学入門2	2	2			
上代文学史	2		2	A群	
中古文学史	2		2		
中世文学史	2		2		
近世文学史	2		2		
近代文学史	2		2		
現代文学史	2		2		
日本語史1	2		2		
日本語史2	2		2		
基礎演習1	2	2			
基礎演習2	2	2			
日本語文法論	2		2	A群	
日本語文法史	2		2		
日本語音声学	2		2		
漢文学1	2		2		
漢文学2	2		2		
上代文学講義	2		2		
中古文学講義	2		2		
中世文学講義	2		2		

近世文学講義	2		2		
近代文学講義	2		2	B群	
現代文学講義	2		2		
現代日本語学講義 1	2		2		
現代日本語学講義 2	2		2		
文献日本語学講義	2		2		
神話・伝承研究	2		2		
詩歌研究	2		2		
物語研究	2		2		
芸能文化研究	2		2		
出版文化研究	2		2		
書物文化研究	2		2		
文献資料研究	2		2		
児童文学研究	2		2		
批評研究	2		2		
創作方法論（実習含む）	3		3		
書学	2		2		
文字文化研究	2		2		
現代日本語学の方法 1	2		2		
現代日本語学の方法 2	2		2		
文献日本語学の方法	2		2		
フィールドワーク 1	3		3		
フィールドワーク 2	3		3		
フィールドワーク 3	3		3		
応用研究 1	2		2		
応用研究 2	2		2		
応用研究 3	2		2		
応用研究 4	2		2		
応用研究 5	2		2		
特殊研究ゼミナール 1	2	2			
特殊研究ゼミナール 2	2	2			
特殊研究ゼミナール 3	2	2			
特殊研究ゼミナール 4	2	2			

卒業論文 1	4	4			
卒業論文 2	4	4			
Ⅱ区分					
文章表現法	2		2		
書法 1	1		1		
書法 2	1		1		
書道（漢字）	1		1		
書道（かな）	1		1		
書道（創作）	1		1		
書道（篆刻）	1		1		
書道史	2		2		
書論	2		2		
書の鑑賞	2		2		

Ⅳ　中国語中国文化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数10単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうちA群から2単位,B群から3単位，C群又はD群から4単位，E群から2単位又はF群から8単位を含め，合計48単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
中国学入門 1	2	2			
中国学入門 2	2	2			
中国学入門 3	2	2			
中国学入門 4	2	2			
中国古典文学概説 1	2		2		
中国古典文学概説 2	2		2		
中国現代文学概説 1	2		2		
中国現代文学概説 2	2		2		
中国古典文学研究 1	2		2		
中国古典文学研究 2	2		2		
中国現代文学研究 1	2		2		
中国現代文学研究 2	2		2		
中国古代思想概説	2		2		
中国現代思想概説	2		2		
中国社会論 1	2		2		

中国社会論 2	2		2			
中国文化論 1	2		2			
中国文化論 2	2		2			
アジアの表象文化 1	2		2			
アジアの表象文化 2	2		2			
アジアの文化と社会 1	2		2			
アジアの文化と社会 2	2		2			
中国語情報処理 1	1		1			
中国語情報処理 2	1		1			
中国語情報処理 3	1		1			
中国語情報処理 4	1		1			
中国語学概説 1	2		2			
中国語学概説 2	2		2			
中国語スピーキング 1	1		1			
中国語スピーキング 2	1		1			
中国語リーディング 1	1		1			
中国語リーディング 2	1		1	A群		
中国語ライティング 1	1		1			
中国語ライティング 2	1		1			
中国語リスニング 1	1		1			
中国語リスニング 2	1		1			
中国古典文学演習 1	1		1			
中国古典文学演習 2	1		1			
中国古典文学演習 3	1		1			
中国古典文学演習 4	1		1			
中国現代文学演習 1	1		1			
中国現代文学演習 2	1		1			
中国現代文学演習 3	1		1			
中国現代文学演習 4	1		1			
中国語学演習 1	1		1			
中国語学演習 2	1		1			
中国語学演習 3	1		1			
中国語学演習 4	1		1			

中国社会文化演習 1	1		1	B群	
中国社会文化演習 2	1		1		
中国社会文化演習 3	1		1		
中国社会文化演習 4	1		1		
中国語スピーキング 3	1		1		
中国語スピーキング 4	1		1		
中国語リーディング 3	1		1		
中国語リーディング 4	1		1		
中国語ライティング 3	1		1		
中国語ライティング 4	1		1		
中国語リスニング 3	1		1		
中国語リスニング 4	1		1		
上級中国語 1	1		1		
上級中国語 2	1		1		
上級中国語 3	1		1		
上級中国語 4	1		1		
中国学特別研究 1	2		2	C群	
中国学特別研究 2	2		2		
研究ゼミ 1	2		2	D群	
研究ゼミ 2	2		2		
卒業特別研究 1	1		1	E群	
卒業特別研究 2	1		1		
卒業ゼミ 1	4		4	F群	
卒業ゼミ 2	4		4		
Ⅱ区分					
日本語学入門 1	2		2		
日本語学入門 2	2		2		
日本語音声学	2		2		
文章表現法	2		2		
日本文学入門 1	2		2		
日本文学入門 2	2		2		
上代文学史	2		2		
中古文学史	2		2		
中世文学史	2		2		

近世文学史	2		2		
近代文学史	2		2		
現代文学史	2		2		
書法 1	1		1		
書法 2	1		1		

Ⅴ　英文学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数48単位を修得しなければならない。 選択単位数のうち，A群から4単位，B群から6単位，C群から4単位を含め，合計14単位以上を修得しなければならない。	
Academic English1	1	1			
Academic English2	1	1			
英語文学概説 1	2	2			
英語文学概説 2	2	2			
英語学概説 1	2	2			
英語学概説 2	2	2			
Academic English3	1	1			
Academic English4	1	1			
イギリス文学史 1	2	2			
イギリス文学史 2	2	2			
アメリカ文学史 1	2	2			
アメリカ文学史 2	2	2			
英文法 1	2	2			
英文法 2	2	2			
英語音声学 1	2	2			
英語音声学 2	2	2			
英米文学演習 1	1	1			
英米文学演習 2	1	1			
英語学演習 1	1	1			
英語学演習 2	1	1			
異文化間コミュニケーション概論 1	2		2		
異文化間コミュニケーション概論 2	2		2		
文学・文化批評理論 1	2		2		
文学・文化批評理論 2	2		2		

イギリス社会論	2		2	A群	
アメリカ社会論	2		2		
英語史 1	2		2		
英語史 2	2		2		
Advanced Communication 1	1		1		
Advanced Communication 2	1		1		
イギリス文学史 3	2	2			
イギリス文学史 4	2	2			
英米詩演習 1	1		1	B群	
英米詩演習 2	1		1		
英語圏文学演習 1	1		1		
英語圏文学演習 2	1		1		
英語意味論演習 1	1		1		
英語意味論演習 2	1		1		
英語統語論演習 1	1		1		
英語統語論演習 2	1		1		
TESOL 演習 1	1		1		
TESOL 演習 2	1		1		
英語コーパス演習 1	1		1		
英語コーパス演習 2	1		1		
エリザベス朝文学演習 1	1		1		
エリザベス朝文学演習 2	1		1		
ヴィクトリア朝文学演習 1	1		1		
ヴィクトリア朝文学演習 2	1		1		
現代イギリス文学演習 1	1		1		
現代イギリス文学演習 2	1		1		
19世紀アメリカ文学演習 1	1		1		
19世紀アメリカ文学演習 2	1		1		
現代アメリカ文学演習 1	1		1		
現代アメリカ文学演習 2	1		1		
応用言語学演習 1	1		1		
応用言語学演習 2	1		1		
卒業論文研究ゼミ 1	1	1			
卒業論文研究ゼミ 2	1	1			

イギリス文学特殊講義 1	2		2	C群	
イギリス文学特殊講義 2	2		2		
アメリカ文学特殊講義 1	2		2		
アメリカ文学特殊講義 2	2		2		
英語学特殊講義 1	2		2		
英語学特殊講義 2	2		2		
卒業論文	8	8			

Ⅵ　ドイツ文学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数22単位を修得しなければならない。 選択単位数のうちA群又はB群から4単位，C群又はD群から4単位，E群又はF群から4単位，G群とH群からあわせて6単位又はK群から6単位，Ⅰ群から8単位，Ⅱ群から6単位，Ⅲ群から3単位，Ⅳ群から3単位を含め，合計38単位以上を修得しなければならない。	
ドイツ文学入門 1	2	2			
ドイツ文学入門 2	2	2			
ドイツ語学入門 1	2	2			
ドイツ語学入門 2	2	2			
ドイツ文学史講義 1	2		2	A群	
ドイツ文学史講義 2	2		2		
ドイツ文学史講義 3	2		2	B群	
ドイツ文学史講義 4	2		2		
ドイツ語学講義 1	2		2	C群	
ドイツ語学講義 2	2		2		
ドイツ語学講義 3	2		2	D群	
ドイツ語学講義 4	2		2		
ドイツ文化講義 1	2		2	E群	
ドイツ文化講義 2	2		2		
ドイツ文化講義 3	2		2	F群	
ドイツ文化講義 4	2		2		
ドイツ語基礎演習 1	1	1			
ドイツ語基礎演習 2	1	1			
ドイツ語基礎演習 3	1	1			
ドイツ語基礎演習 4	1	1			
ドイツ語表現演習 1	1	1			

ドイツ語表現演習 2	1	1			
ドイツ語コミュニケーション研究 1	2		2		
ドイツ語コミュニケーション研究 2	2		2		
ドイツ文学演習 1	1	1			
ドイツ文学演習 2	1	1			
ドイツ語学演習 1	1	1			
ドイツ語学演習 2	1	1			
ドイツ文化演習 1	1	1			
ドイツ文化演習 2	1	1			
ドイツ語表現演習 3	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語表現演習 4	1		1	Ⅳ群	
ドイツ語表現演習インテンシヴ 1	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語表現演習インテンシヴ 2	1		1	Ⅳ群	
卒業予備研究 1	2		2	G群	
卒業予備研究 2	2		2		
ドイツ語コミュニケーション研究 3	2		2	Ⅰ群	
ドイツ語コミュニケーション研究 4	2		2	Ⅱ群	
ドイツ文学専門講義 1	2		2	Ⅰ群	
ドイツ文学専門講義 2	2		2	Ⅱ群	
ドイツ文学専門講義 3	2		2	Ⅰ群	
ドイツ文学専門講義 4	2		2	Ⅱ群	
ドイツ語学専門講義 1	2		2	Ⅰ群	
ドイツ語学専門講義 2	2		2	Ⅱ群	
ドイツ語学専門講義 3	2		2	Ⅰ群	
ドイツ語学専門講義 4	2		2	Ⅱ群	
ドイツ文化専門講義 1	2		2	Ⅰ群	
ドイツ文化専門講義 2	2		2	Ⅱ群	
ドイツ文化専門講義 3	2		2	Ⅰ群	
ドイツ文化専門講義 4	2		2	Ⅱ群	
ドイツ文学演習 3	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文学演習 4	1		1	Ⅳ群	
ドイツ文学演習 5	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文学演習 6	1		1	Ⅳ群	

ドイツ文学演習 7	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文学演習 8	1		1	Ⅳ群	
ドイツ語学演習 3	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語学演習 4	1		1	Ⅳ群	
ドイツ語学演習 5	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語学演習 6	1		1	Ⅳ群	
ドイツ語学演習 7	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語学演習 8	1		1	Ⅳ群	
ドイツ文化演習 3	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文化演習 4	1		1	Ⅳ群	
ドイツ文化演習 5	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文化演習 6	1		1	Ⅳ群	
ドイツ文化演習 7	1		1	Ⅲ群	
ドイツ文化演習 8	1		1	Ⅳ群	
ドイツ語表現演習 5	1		1	Ⅲ群	
ドイツ語表現演習 6	1		1	Ⅳ群	
ﾄﾞｲﾂ語表現演習ｲﾝﾃﾝｼﾌﾞ3	1		1	Ⅲ群	
ﾄﾞｲﾂ語表現演習ｲﾝﾃﾝｼﾌﾞ4	1		1	Ⅳ群	
卒業研究 1	1		1	H群	
卒業研究 2	1		1		
卒業論文	6		6	K群	

Ⅶ　社会学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分					
Ⅰ　入門科目				Ⅰ区分のⅠ　入門科目から必修単位数14単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2		2		
社会学概論	2	2			
社会学各論	2	2			
社会学の方法	2	2			
社会学入門 1	2	2			
社会学入門 2	2	2			
社会調査入門	2	2			
データ収集･分析法入門	2	2			

Ⅱ　基本科目				Ⅰ区分のⅡ　基本科目から必修単位数4単位を含め,16単位以上を修得しなければならない。	
社会学史1	2	2			
社会学史2	2	2			
社会学演習	1		1		
社会学応用演習	1		1		
現代家族論	2		2		
社会史	2		2		
文化人類学	2		2		
基礎統計学	2		2		
初等多変量解析	2		2		
質的分析法	2		2		
社会思想の基礎	2		2		
社会変動論	2		2		
現代社会と社会学	2		2		
マス･コミュニケーション論	2		2		
マス・メディア論	2		2		
社会問題論	2		2		
都市と地域の社会学	2		2		
企業と働き方の社会学	2		2		
Ⅲ　応用科目 （理論・学説科目群）				Ⅰ区分のⅢ　応用科目から28単位以上を修得しなければならない。	
現代社会学理論	2		2		
知識社会学	2		2		
社会思想の展開	2		2		
歴史社会学	2		2		
社会病理学	2		2		
理論･学説名著講読1	2		2		
理論･学説名著講読2	2		2		
国際社会論	2		2		
現代日本の社会構造	2		2		
（文化・情報メディア科目群）					
日常生活文化論	2		2		
社会情報論	2		2		
民俗文化論	2		2		

ジャーナリズム論	2		2			
流行の社会学	2		2			
メディアとファッションの社会学	2		2			
ビジュアル社会学	2		2			
社会心理学	2		2			
芸術社会学	2		2			
（実証・応用科目群）						
家族社会学	2		2			
福祉社会学	2		2			
経営戦略とビジネスモデルの社会学	2		2			
産業社会学	2		2			
災害社会学	2		2			
災害情報論	2		2			
環境社会学	2		2			
東京と東京人の社会学	2		2			
ネットワーク・サイエンス入門	2		2			
差別の社会学	2		2			
社会運動論	2		2			
データサイエンス入門	2		2			
（共通科目群）						
社会学特殊講義Ⅰ	2		2			
社会学特殊講義Ⅱ	2		2			
社会学特殊講義Ⅲ	2		2			
社会学特殊講義Ⅳ	2		2			
社会学特殊講義Ⅴ	2		2			
社会学総合特講Ⅰ	2		2			
社会学総合特講Ⅱ	2		2			
社会学総合特講Ⅲ	2		2			
（社会調査科目群）						
データ分析演習	2		2			
社会調査実習 1	2		2			
社会調査実習 2	2		2			

Ⅳ　完成科目				Ⅰ区分のⅣ　完成科目のうち，A群から8単位及びB群から4単位，又はA群から4単位，B群から4単位，C群4単位，又はC群4単位及び卒業論文 8 単位のいずれかを選択して，合計12単位以上を修得しなければならない。	
理論・学説特殊研究Ⅰ	2		2	A群	
理論・学説特殊研究Ⅱ	2		2		
政治とジャーナリズム研究	2		2		
情報メディア特殊研究	2		2		
実証・応用特殊研究Ⅰ	2		2		
実証・応用特殊研究Ⅱ	2		2		
社会学特殊研究Ⅰ	2		2	B群	
社会学特殊研究Ⅱ	2		2		
社会学特殊研究Ⅲ	2		2		
社会学特殊研究Ⅳ	2		2		
社会学特殊研究Ⅴ	2		2		
ゼミナール 1	1		1	C群	
ゼミナール 2	1		1		
ゼミナール 3	1		1		
ゼミナール 4	1		1		
卒業論文	8		8		
Ⅱ区分					
日本史概説	2		2		
日本史講究	2		2		
東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
地理学概論	2		2		
地理学詳論	2		2		
地誌学	2		2		
法学通論	2		2		
国際法	2		2		
政治学概論	2		2		
国際情勢	2		2		
経済学概論	2		2		
国際経済論	2		2		

哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		

Ⅷ　社会福祉学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
共通科目群				必修単位数32単位を修得しなければならない。 選択単位数から31単位以上を修得しなければならない。	＊社会福祉士国家試験受験資格を希望する者は，社会福祉士指定科目を修得すること。
学問の扉	2	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職	2	2			
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	2			
社会福祉概論 1	2	2			
社会福祉概論 2	2	2			
福祉社会実践基礎講義 1	2	2			
福祉社会実践基礎講義 2	2	2			
福祉マネジメント論	2	2			
社会保障論 1	2	2			
社会保障論 2	2	2			
社会福祉基礎科目群(講義)					
児童福祉論	2		2		
障害者福祉論	2		2		
高齢者福祉論	2		2		
公的扶助論	2		2		
地域福祉の理論と方法 1	2		2		
地域福祉の理論と方法 2	2		2		
社会理論と社会システム	2		2		
ソーシャルワークコース科目群(講義)					
心理学理論と心理的支援	2		2		
人体の構造と機能及び疾病	2		2		
社会福祉調査法	2		2		
保健医療サービス論	2		2		

ソーシャルワークの理論と方法 1	2		2			
ソーシャルワークの理論と方法 2	2		2			
ソーシャルワークの理論と方法(専門) 1	2		2			
ソーシャルワークの理論と方法(専門) 2	2		2			
社会福祉経営論	2		2			
権利擁護と成年後見制度	2		2			
福祉政策論	2		2			
ソーシャルワークコース科目群(演習・実習)						
ソーシャルワーク演習	1		1			
ソーシャルワーク演習 (専門) 1	1		1			
ソーシャルワーク演習 (専門) 2	1		1			
ソーシャルワーク演習 (専門) 3	1		1			
ソーシャルワーク演習 (専門) 4	1		1			
ソーシャルワーク実習指導 1	1		1			
ソーシャルワーク実習指導 2	1		1			
ソーシャルワーク実習指導 3	1		1			
ソーシャルワーク実習 1	6		6			
ソーシャルワーク実習 2	2		2			
スクールソーシャルワーク科目群						
スクールソーシャルワーク論	2		2			
スクールソーシャルワーク演習	1		1			
スクールソーシャルワーク実習指導	2		2			
精神保健学	2		2			
スクールソーシャルワーク実習	2		2			
福祉産業系科目群						
福祉社会フィールドワーク 1	1		1			
福祉社会フィールドワーク 2	1		1			
産業福祉インターンシップ 1	1		1			
産業福祉インターンシップ 2	1		1			
社会的企業論	2		2			
福祉公務員系科目群						
福祉法学基礎	2		2			
社会福祉法制	2		2			

福祉政策運営管理	2		2		
地方行財政	2		2		
司法福祉論	2		2		
福祉専門研究／福祉教養科目群					
児童福祉制度論	2		2		
障害者の理解	2		2		
高齢者ソーシャルワーク	2		2		
高齢者福祉制度論	2		2		
介護演習	1		1		
養護原理	2		2		
家庭支援論	2		2		
社会福祉調査演習	1		1		
精神障害者の福祉と生活	2		2		
コミュニティワーク推進研究	2		2		
社会事業史	2		2		
国際社会福祉	2		2		
統合学習					
ゼミナール 1	1	1			
ゼミナール 2	1	1			
ゼミナール 3	1	1			
ゼミナール 4	1	1			
卒業論文	8	8			

Ⅸ　教育学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数30単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分及びⅡ区分の選択単位数から26単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2		2		
教育学基礎論 1	2	2			
教育学基礎論 2	2	2			
外国教育史	2	2			
教育の理念と歴史	2	2			
日本教育史	2	2			
教育の文化史	2	2			

教育心理学	2	2				
教育と社会変動	2	2				
教育の社会学	2	2				
教育社会学と現代教育	2	2				
教育学演習 1	1	1				
教育学演習 2	1	1				
教育学演習 3	1	1				
教育学演習 4	1	1				
教育人間学	2		2			
教育思想論	2		2			
教育課程論	2		2			
教授学習論	2		2			
教育制度論	2		2			
教育行政論	2		2			
教育経営論	2		2			
教育法規論	2		2			
中等教育論	2		2			
高等教育論	2		2			
現代教職論	2		2			
道徳教育の理論と方法	2		2			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2		2			
教育相談	2		2			
生徒指導・進路指導論	2		2			
生涯学習論	2		2			
社会教育論	2		2			
地域教育論	2		2			
青少年教育論	2		2			
社会教育経営論 1	2		2			
社会教育経営論 2	2		2			
比較教育論	2		2			
国際理解教育論	2		2			
アジアの教育	2		2			
ヨーロッパの教育思想	2		2			

ヨーロッパの教育制度	2		2			
アメリカの教育	2		2			
教育とメディア	2		2			
授業開発論	2		2			
教育と産業社会	2		2			
教育と開発	2		2			
環境教育論	2		2			
ジェンダーと教育	2		2			
幼児教育論	2		2			
障害児教育論	2		2			
発達と認知	2		2			
野外教育論（含実習）1	2		2			
野外教育論（含実習）2	2		2			
教育学特殊講義 1	2		2			
教育学特殊講義 2	2		2			
教育学特殊講義 3	2		2			
教育学特殊講義 4	2		2			
卒業論文	6	6				
教育学研究法 1	2		2			
教育学研究法 2	2		2			
Ⅱ区分						
特別支援教育総論	2		2			
特別ニーズ教育の原理と歴史	2		2			
知的障害者の心理・生理・病理	2		2			
肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2			
病弱者の心理・生理・病理	2		2			
知的障害教育論	2		2			
肢体不自由教育論	2		2			
病弱教育論	2		2			
国際特別ニーズ教育論	2		2			
特別支援教育課程論	2		2			
特別支援教育演習	1		1			
発達障害者の心理・生理・病理	2		2			

発達障害教育論	2		2		
視覚障害教育総論	1		1		
聴覚障害教育総論	1		1		
教育実習(特別支援学校)事前・事後指導	1		1		
教育実習(特別支援学校)	2		2		
Ⅲ区分					
日本史概説	2		2		
日本史講究	2		2		
東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
地理学概論	2		2		
地理学詳論	2		2		
地誌学	2		2		
法学通論	2		2		
国際法	2		2		
政治学概論	2		2		
国際情勢	2		2		
社会学概論	2		2		
社会学各論	2		2		
経済学概論	2		2		
国際経済論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		

Ⅹ　体育学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2		2	必修単位数 16 単位を修得しなければならない。	
体育学概論	2	2			

解剖学	2	2		選択単位数のうち A 群から 1 単位,B 群から 1 単位, C 群から 2 単位, D 群から 1 単位, E 群から 4 単位, F 群から 4 単位又は G 群から 8 単位を含め, 合計 52 単位以上を修得しなければならない。	
機能解剖学	2		2		
生理学	2	2			
保健学概論	2		2		
発育発達論	2		2		
衛生学及び公衆衛生学	2		2		
スポーツ運動学	2		2		
トレーニング理論	2		2		
運動生理学（基礎）	2	2			
運動生理学（応用）	2	2			
スポーツ社会学	2		2		
スポーツプロモーション論	2		2		
体力測定法	2		2		
測定評価	2		2		
スポーツ心理学	2		2		
スポーツメンタルマネジメント	2		2		
スポーツ教育学	2		2		
学校保健管理論	2		2		
学校保健教育論	2		2		
スポーツバイオメカニクス	2		2		
スポーツ栄養学	2		2		
体育・スポーツ史	2		2		
体育･スポーツ制度及び行政	2		2		
体育経営管理	2		2		
スポーツ医学（内科）	2		2		
スポーツ医学（外科）	2		2		
救急処置	2		2		
安全教育	2		2		
コーチング論（原論）	2		2		
コーチング論(判定スポーツ)	2		2		
コーチング論(評定スポーツ)	2		2		
コーチング論(測定スポーツ)	2		2		
スポーツリハビリテーション	2		2		
オリンピック･パラリンピック論	2		2		
アダプテッドスポーツ論	2		2		

スポーツ実習（水泳）	1		1	A群		
スポーツ実習(器械運動)	1		1			
スポーツ実習(陸上競技)	1		1			
スポーツ実習（剣道）	1		1	B群		
スポーツ実習（柔道）	1		1			
スポーツ実習（ダンス）	1		1			
スポーツ実習(創作ダンス)	1		1			
スポーツ実習(バスケットボール)	1		1	C群		
スポーツ実習(バレーボール)	1		1			
スポーツ実習(サッカー)	1		1			
スポーツ実習（テニス）	1		1			
スポーツ実習(ラグビー)	1		1			
スポーツ実習(ハンドボール)	1		1			
スポーツ実習（卓球）	1		1			
スポーツ実習(バドミントン)	1		1			
野外実習(アイススポーツ)	1		1	D群		
野外実習(スノースポーツ)	1		1			
野外実習(オーシャンスポーツ)	1		1			
野外実習（キャンプ）	1		1			
スポーツ方法論（水泳）	2		2	E群		
スポーツ方法論(体操競技･器械運動)	2		2			
スポーツ方法論（陸上競技）	2		2			
スポーツ方法論（バスケットボール）	2		2			
スポーツ方法論(バレーボール)	2		2			
スポーツ方法論（サッカー）	2		2			
スポーツ方法論(テニス)	2		2			
スポーツ方法論（剣道）	2		2			
スポーツ方法論（柔道）	2		2			
スポーツ方法論(ダンス)	2		2			
スポーツ指導法（水泳）	2		2			
スポーツ指導法（サッカー）	2		2			
スポーツ指導法（柔道）	2		2			
スポーツ指導法(ダンス)	2		2			

体育学基礎演習 1	2	2			
体育学基礎演習 2	2	2			
トレーニング演習	2		2		
スポーツ社会学演習	2		2		
運動生理学演習	2		2		
スポーツ心理学演習	2		2		
測定評価演習	2		2		
スポーツバイオメカニクス演習	2		2		
スポーツ運動学演習	2		2		
スポーツ栄養学演習	2		2		
スポーツ教育学演習	2		2		
学校保健演習	2		2		
保健体育科授業実践演習(教材研究)	2		2		
保健体育科授業実践演習(模擬授業)	2		2		
スポーツ医学演習	2		2		
スポーツリハビリテーション演習	2		2		
インターンシップ 1	2		2		
インターンシップ 2	2		2		
インターンシップ 3	2		2		
インターンシップ 4	2		2		
ゼミナール	2	2			
卒業研究 1	2		2	F群	
卒業研究 2	2		2		
卒業論文	8		8	G群	

ＸＩ　心理学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数32単位を修得しなければならない。 選択単位数のうちA群から18単位以上，B群から14単位以上，C群から1単位，D群から1単位を含め，合計34単位以上を修得しなければならない。	
心理学概論 1	2	2			
心理学概論 2	2	2			
心理学統計法 1	2	2			
心理学統計法 2	2	2			
心理学研究法	2	2			
心理調査概説	2	2			

心理的アセスメント	2	2			
行動心理学概論	2	2			
臨床心理学概論	2	2			
発達心理学	2		2		
社会･集団･家族心理学A(社会心理学)	2		2		
社会･集団･家族心理学B(家族心理学)	2		2		
感情･人格心理学A(パーソナリティ心理学)	2		2		
感情・人格心理学 B(感情心理学)	2		2		
知覚・認知心理学	2		2		
学習・言語心理学	2		2	A群	
神経・生理心理学	2		2		
司法・犯罪心理学	2		2		
産業・組織心理学	2		2		
教育・学校心理学	2		2		
精神疾患とその治療	2		2		
臨床心理学特講	2		2		
カウンセリング特講	2		2		
心理面接特講	2		2		
心理検査法特講	2		2		
認知心理学特講	2		2		
社会心理学特講	2		2	B群	
生理心理学特講	2		2		
環境心理学特講	2		2		
健康心理学特講	2		2		
臨床社会心理学特講	2		2		
老年心理学特講	2		2		
心理学研究	2	2			
心理学ゼミ 1	2	2			
心理学ゼミ 2	2	2			
心理学ゼミ 3	2	2			

心理学ゼミ 4	2	2			
心理学実験	1	1			
心理情報処理実習 1	1	1			
心理情報処理実習 2	1		1		
心理検査法実習	1		1	C群	
認知心理学実験	1		1		
生理心理学実験	1		1		
社会心理学実験・実習	1		1		
環境心理学実験・実習	1		1		
行動心理学実験・実習	1		1		
臨床心理学実習	1		1	D群	
心理調査法実習	1		1		
心理演習 B	1		1		
卒業論文	8		8		

〔公認心理師に関する科目〕

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
公認心理師の職責	2		2	許可を得て履修することができる。なお，卒業に必要な単位数に含まない。	
人体の構造と機能及び疾病	2		2		
関係行政論 A	2		2		
関係行政論 B	2		2		
健康・医療心理学	2		2		
福祉心理学	2		2		
障害者・障害児心理学	2		2		
心理学的支援法 A	2		2		
心理学的支援法 B	2		2		
心理演習 A	1		1		

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
心理実習	80		80	許可を得て履修することができる。	

ＸⅡ　地理学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数38単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうちA群から6単位を含め,合計36単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
自然地理学の基礎	2	2			
人文地理学の基礎	2	2			
日本地誌	2	2			
地理統計の基礎	2		2		
地形学	2	2			
地理情報システム（含実習）	2	2			
気候学	2	2			
地図学	2	2			
経済地理学	2	2			
社会地理学	2	2			
文化地理学	2	2			
地理学課題研究 1	2	2			
地理学課題研究 2	2	2			
地理学卒業研究 1	4	4			
地理学卒業研究 2	4	4			
地形学実験	1		1		
気候学実験	1		1		
野外調査法（含実習）	2	2			
アジア地誌	2		2	A群	
ヨーロッパ地誌	2		2		
アメリカ地誌	2		2		
オセアニア地誌	2		2		
アフリカ地誌	2		2		
自然災害論	2		2		
地域政策論	2		2		
観光地理学	2		2		
農業地理学	2		2		
工業地理学	2		2		
都市地理学	2		2		

商業地理学	2		2			
歴史地理学	2		2			
農山村再生論	2		2			
都市空間論	2		2			
マーケティング論	2		2			
地域景観論	2		2			
人文地理学特別講義 1	2		2			
人文地理学特別講義 2	2		2			
ツーリズム論	2		2			
人間環境論	2		2			
現代人口論	2		2			
エスニック論	2		2			
リモートセンシング（含実習）	2		2			
地理情報科学	2		2			
地域分析法（含実習）	2	2				
GIS 分析法（含実習）	2		2			
応用空間分析法（含実習）	2		2			
測量学	2		2			
測量学実習	1		1			
環境地質学	2		2			
自然資源論	2		2			
気候変動論	2		2			
地形営力論	2		2			
生物地理学	2		2			
生態史論	2		2			
自然地理学特別講義 1	2		2			
自然地理学特別講義 2	2		2			
環境地理学実験	1		1			
Ⅱ区分						
日本史概説	2		2			
日本史講究	2		2			

東洋史概説	2		2		
東洋史講究	2		2		
西洋史概説	2		2		
西洋史講究	2		2		
法学通論	2		2		
政治学概論	2		2		
社会学概論	2		2		
社会学各論	2		2		
経済学概論	2		2		
哲学概論	2		2		
哲学講究	2		2		
倫理学概論	2		2		
倫理学講究	2		2		
宗教学概論	2		2		
宗教学講究	2		2		
物理学概論 1	2		2		
物理学概論 2	2		2		
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
理科実験（物理）	1		1		
理科実験（化学）	1		1		
理科実験（生物）	1		1		

ⅩⅢ　地球科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数24単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
地球科学概論 1	2	2		Ⅰ区分の選択単位数のうち，講義演習群から46単位以上，実験群から3単位以上の合計49単位以上を修得しなければならない。	
地球科学概論 2	2	2			
地球科学概論 3	2	2			

基礎数学	2		2			
基礎物理学	2		2			
基礎化学	2		2			
物理数学	2		2			
気圏科学	2		2			
水圏科学	2		2			
地圏科学	2		2			
環境化学	2		2			
地球物理学 1	2		2			
地球物理学 2	2		2			
火山学	2		2			
岩石・鉱物学	2		2			
地球環境統計学	2		2			
古生物・古生態学	2		2			
環境地球科学	2		2			
海洋科学	2		2			
技術者英語 1	2		2			
技術者英語 2	2		2			
地球科学特講 1	2		2		講義演習群	
地球科学特講 2	2		2			
環境気候学	2		2			
陸水学	2		2			
物質移行科学	2		2			
同位体地球科学	2		2			
測地学	2		2			
地殻力学	2		2			
火山地質学	2		2			
地殻形成論	2		2			
気象力学	2		2			
環境生物学	2		2			
第四紀学	2		2			
恐竜学	2		2			
日本列島形成史	2		2			

地球史	2		2		
地質情報科学	2		2		
地震学	2		2		
自然災害科学	2		2		
堆積学	2		2		
地球科学デザイン論1	2		2		
地球科学デザイン論2	2		2		
フィールド調査法	2		2		
固体地球科学基礎実験1	1	1			
流体地球科学基礎実験1	1	1			
固体地球科学基礎実験2	1		1	実験群	
流体地球科学基礎実験2	1		1		
気圏科学実験 1	1		1		
気圏科学実験 2	1		1		
地圏科学実験 1	1		1		
地圏科学実験 2	1		1		
古環境・古生態学実験	1		1		
水圏科学実験	1		1		
環境化学実験	1		1		
地球物理学実験	1		1		
固体地球物質科学実験	1		1		
測地学実習	1		1		
地球科学調査研究法1	2	2			
地球科学調査研究法2	2	2			
卒業テーマ演習 1	1	1			
卒業テーマ演習 2	1	1			
卒業テーマ研究 1	4	4			
卒業テーマ研究 2	4	4			
Ⅱ区分					
物理学概論 1	2		2		
物理学概論 2	2		2		
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		

生物学概論 2	2		2		
理科実験（物理）	1		1		
理科実験（化学）	1		1		
理科実験（生物）	1		1		
理科実験（地学）	1		1		

ⅩⅣ　数学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学問の扉	2	2		必修単位数30単位を修得しなければならない。 選択単位数から35単位以上を修得しなければならない。	
線形代数1（含演習）	3	3			
線形代数2（含演習）	3	3			
微分積分学1（含演習）	3	3			
微分積分学2（含演習）	3	3			
コンピュータ基礎	2	2			
命題と論理	2	2			
数学講究 1	3	3			
数学講究 2	3	3			
数学研究 1	2	2			
数学研究 2	4	4			
解析入門	2		2		
数学序論 1	2		2		
数学序論 2	2		2		
初等整数論	2		2		
線形空間論（含演習）	3		3		
微分積分学続論(含演習)	3		3		
多変数微分積分学	2		2		
集合と写像（含演習）	3		3		
距離と位相	2		2		
プログラミング入門	2		2		
数理統計（含演習）	3		3		
群論入門	2		2		

環論	2		2		
ガロア理論	2		2		
曲線と曲面	2		2		
幾何構造	2		2		
無限次元線形空間論	2		2		
複素解析学	2		2		
数学教育学概論	2		2		
数学教育実践論	2		2		
常微分方程式入門	2		2		
力学系入門	2		2		
関数空間論	2		2		
ホモロジー論	2		2		
多様体論	2		2		
確率論	2		2		

ＸＶ　情報科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ｉ区分				必修単位数20単位を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
情報科学実習 1	1	1		Ｉ区分の選択単位数のうちA群及びB群から26単位（A群10単位以上を含む），C群から24単位を含め，合計58単位以上を修得しなければならない。	
情報科学実習 2	1	1			
基礎プログラミング 1	2	2			
基礎プログラミング 2	2	2			
情報処理入門 1	2		2	A群	
情報処理入門 2	2		2		
基礎線形代数 1	2		2		
基礎線形代数 2	2		2		
基礎微分積分 1	2		2		
基礎微分積分 2	2		2		
情報科学実習 3	1	1			
情報科学実習 4	1	1			

実践プログラミング 1	2		2	B群	
実践プログラミング 2	2		2		
オブジェクト指向プログラミング入門	2		2		
Web プログラミング	2		2		
マルチメディア表現	2		2		
データ科学 1	2		2		
コンピューティング 1	2		2		
線形代数 1	2		2		
線形代数 2	2		2		
解析学 1	2		2		
解析学 2	2		2		
代数学	2		2		
離散数学	2		2		
確率論	2		2		
情報科学講究 1	2	2			
情報科学講究 2	2	2			
オブジェクト指向プログラミング	2		2	C群	
発展プログラミング	2		2		
情報可視化	2		2		
デジタルコンテンツ	2		2		
マルチメディア情報処理	2		2		
ヒューマンインタフェース	2		2		
データ構造	2		2		
アルゴリズム	2		2		
オートマトンと形式言語	2		2		
論理と計算	2		2		
データベース	2		2		
データ科学 2	2		2		
コンピューティング 2	2		2		
情報理論 1	2		2		
情報理論 2	2		2		
数理計画	2		2		
幾何学	2		2		
暗号理論	2		2		

情報科学研究 1	2	2			
情報科学研究 2	4	4			
Ⅱ区分					
情報と職業	2		2		
情報と社会	2		2		
情報とコミュニケーション	2		2		
Windowsサーバー管理の基礎(含演習)	3		3		
サーバーの仮想化環境の構築(含演習)	3		3		
ネットワーク設計基礎(含演習)	3		3		
ネットワーク設計活用	2		2		
情報セキュリティ基盤構築基礎	2		2		
次世代情報基盤構築基礎	2		2		

ⅩⅥ　物理学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数66単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数から12単位以上を修得しなければならない。	
力学入門	2	2			
力学 1	2	2			
電磁気学入門	2	2			
線形代数 1	2	2			
線形代数 2	2	2			
微分・積分 1	2	2			
微分・積分 2	2	2			
物理学概論 1	2	2			
物理学概論 2	2	2			
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
地学概論 1	2		2		
地学概論 2	2		2		
基礎物理実験 A	1	1			
基礎物理実験 B	1	1			

物理数学 1	2	2				
物理数学 2	2	2				
物理学演習 1	2	2				
物理学演習 2	2	2				
熱力学	2	2				
力学 2	2	2				
量子力学入門	2	2				
電磁気学 1	2	2				
電磁気学 1 演習	1	1				
電磁気学 2	2	2				
電磁気学 2 演習	1	1				
物性物理学入門	2	2				
振動と波動	2	2				
物理実験 A	1	1				
物理実験 B	1	1				
数値計算入門 1	2		2			
数値計算入門 2	2		2			
統計力学 1	2	2				
統計力学 1 演習	1	1				
統計力学 2	2	2				
統計力学 2 演習	1	1				
量子力学 1	2	2				
量子力学 1 演習	1	1				
量子力学 2	2	2				
量子力学 2 演習	1	1				
電磁気学 3	2		2			
物理数学 3	2		2			
解析力学	2		2			
相対性理論	2		2			
物性物理学 1	2		2			
物性物理学 2	2		2			
連続体力学	2		2			
生物物理学	2		2			

計算物理学	2		2		
発展物理実験A	1	1			
発展物理実験B	1	1			
超伝導の科学	2		2		
量子光学	2		2		
原子核と素粒子	2		2		
量子力学3	2		2		
宇宙物理学	2		2		
特別研究A	3	3			
特別研究B	3	3			
Ⅱ区分					
理科実験（化学）	1		1		
理科実験（生物）	1		1		
理科実験（地学）	1		1		

ⅩⅦ　生命科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ区分				必修単位数57単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうち，A群から18単位以上，B群から2単位以上の合計20単位以上を修得しなければならない。	
学問の扉	2	2			
生命科学概論1	2	2			
生命科学概論2	2	2			
基礎数学1	2	2			
基礎数学2	2	2			
基礎物理1	2	2			
基礎物理2	2	2			
基礎化学1	2	2			
基礎化学2	2	2			
生化学1	2	2			
生化学2	2	2			
分子生物学1	2	2			
分子生物学2	2	2			
細胞生物学1	2	2			
細胞生物学2	2	2			

遺伝学 1	2	2			
遺伝学 2	2	2			
微生物学	2	2			
進化系統学	2	2			
生態学 1	2	2			
生態学 2	2	2			
生体エネルギー科学	2		2		
生体計測学	2		2		
生体情報学 1	2		2		
生体情報学 2	2		2		
細胞内ダイナミクス	2		2		
脳神経科学	2		2		
生物物理学	2		2		
発生生物学 1	2		2	A群	
発生生物学 2	2		2		
生命医科学 1	2		2		
生命医科学 2	2		2		
光生物学	2		2		
植物分子科学	2		2		
構造生物学	2		2		
構造生物学演習	1		1		
免疫学	2		2		
保全生態学	2		2		
生物統計学基礎	2	2			
生物統計学実践	2		2	A群	
生命科学データ処理	1	1			
プログラミング入門	1		1	A群	
生命科学特別講義 1(バイオテクノロジー)	2		2		
生命科学特別講義 2(食品科学)	2		2		
生命科学特別講義 3(健康美容科学)	2		2		
基礎科学実験 1	1	1			
基礎科学実験 2	1	1			

生命科学基礎実験 1	1	1			
生命科学基礎実験 2	1	1			
生 命 科 学 実 験 1	1		1	B群	
生 命 科 学 実 験 2	1		1		
生 命 科 学 実 験 3	1		1		
生命科学専門実験 1	1		1		
生命科学専門実験 2	1		1		
特 別 研 究 1	4	4			
特 別 研 究 2	4	4			
Ⅱ区分					
地 学 概 論 1	2		2		
地 学 概 論 2	2		2		
理 科 実 験 (物 理)	1		1		
理 科 実 験 (化 学)	1		1		
理 科 実 験 (生 物)	1		1		
理 科 実 験 (地 学)	1		1		

ⅩⅧ　化学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
Ⅰ区分				必修単位数52単位を修得しなければならない。 Ⅰ区分の選択単位数のうち，A群から4単位，B群から6単位，C群から2単位を含め，合計24単位以上を修得しなければならない。	
基　礎　化　学	2	2			
無機化学 1(原子・分子の構造と性質)	2	2			
無機化学 2(金属・イオン固体と酸化還元)	2	2			
有機化学 1(有機分子の基礎と構造)	2	2			
有機化学 2(有機分子の反応性)	2	2			
物 理 化 学 1 (量 子 論 入 門)	2	2			
分析化学 1(データ処理・化学平衡の基礎)	2	2			
基 礎 化 学 実 験	1	1			
化　学　実　験	1	1			
無 機 化 学 3 (酸 塩 基 と 錯 体 化 学)	2	2			
有機化学 3(有機分子の官能基と変換)	2	2			
物 理 化 学 2 (反 応 速 度 論)	2	2			

物理化学 3(熱力学)	2	2			
分析化学 2(分離・検出の基礎)	2	2			
分析化学 3(バイオ分析・機器分析の基礎)	2	2			
生物化学 1(基礎)	2	2			
生物化学 2(生体分子の構造と機能)	2	2			
無機・分析化学実験(含演習)	2	2			
有機化学実験(含演習)	2	2			
最前線の化学	2	2			
機器・物理化学実験(含演習)	4	4			
生物化学実験(含演習)	2	2			
化学特別研究 1(卒業研究)	4	4			
化学特別研究 2(卒業研究)	4	4			
学問の扉	2		2		
化学の情報技術	2		2		
化学英語	2		2		
発展無機化学	2		2	A群	
有機反応化学	2		2		
化学数学	2		2		
機器分析化学	2		2		
周期表の化学	2		2		
元素の化学	2		2		
応用無機化学	2		2		
有機構造化学	2		2		
有機合成化学	2		2		
有機応用化学	2		2		
分光化学	2		2		
量子化学	2		2	B群	
固体化学	2		2		
資源化学	2		2		
無機分析化学	2		2		
環境化学	2		2		
物質代謝学	2		2		
エネルギー代謝学	2		2		

発展無機化学特論	2		2	C群	
展開無機化学特論	2		2		
応用無機化学特論	2		2		
発展有機化学特論	2		2		
展開有機化学特論	2		2		
応用有機化学特論	2		2		
発展物理化学特論	2		2		
展開物理化学特論	2		2		
応用物理化学特論	2		2		
基礎分析化学特論	2		2		
応用分析化学特論	2		2		
生物化学特論	2		2		
Ⅱ区分					
物理学概論 1	2		2		
物理学概論 2	2		2		
化学概論 1	2		2		
化学概論 2	2		2		
生物学概論 1	2		2		
生物学概論 2	2		2		
地学概論 1	2		2		
地学概論 2	2		2		
理科実験（物理）	1		1		
理科実験（化学）	1		1		
理科実験（生物）	1		1		
理科実験（地学）	1		1		

6　選択コース科目（各学科共通）

Ⅰ　教職コース					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
〔大学が独自に設定する科目〕				許可を得て履修することができる。また，修得した場合，卒業に必要な総単位数に算入することができる。 教育学科は，「社会教育論」及び「教育法規論」を履修できない。	
社会教育論	2		2		
教育と福祉	2		2		
教育法規論	2		2		
教職特別講義	2		2		

Ⅱ　司書教諭コース					
授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
学校経営と学校図書館	2		2	許可を得て履修することができる。また，修得した場合，卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
学校図書館メディアの構成	2		2		
学習指導と学校図書館	2		2		
読書と豊かな人間性	2		2		
情報メディアの活用	2		2		

Ⅲ　司書コース					
授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
図書館情報学概論	2		2	許可を得て履修することができる。また，修得した場合，卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
図書館サービス概論	2		2		
情報資源組織論	2		2		
図書館情報資源概論	2		2		
図書館基礎特論	2		2		
情報サービス論	2		2		
情報サービス演習 1	1		1		
情報サービス演習 2	1		1		
図書館情報資源特論	2		2		
情報資源組織演習 1	1		1		
情報資源組織演習 2	1		1		
図書館制度・経営論	2		2		
図書館情報技術論	2		2		
図書館サービス特論	2		2		

Ⅳ　学芸員コース					
授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
博物館概論	2		2	許可を得て履修することができる。また，修得した場合，卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
博物館経営論	2		2		
博物館資料論	2		2		
博物館情報･メディア論	2		2		

博物館資料保存論 1	2		2		
博物館資料保存論 2	2		2		
博 物 館 展 示 論	2		2		
博物館実習 1（学内）	1		1		
博物館実習 2（学内）	1		1		
博物館実習 3（見学）	1		1		
博物館実習 4（館務）	1		1		
博 物 館 教 育 論	2		2		

Ⅴ　社会教育主事コース

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
社 会 教 育 演 習 1	1		1	許可を得て履修することができる。また，修得した場合，卒業に必要な総単位数に算入することができる。	
社 会 教 育 演 習 2	1		1		
社会教育課題研究 1	1		1		
社会教育課題研究 2	1		1		
生 涯 学 習 支 援 論 1	2		2		
生 涯 学 習 支 援 論 2	2		2		
社 会 教 育 実 習	1		1		

第３節　経済学部

第82条　経済学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め，総計124単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

２　総合教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
日本語表記	2		2	選択単位数20単位以上を修得しなければならない。	
哲学A	2		2		
哲学B	2		2		
倫理学A	2		2		
倫理学B	2		2		
日本史A	2		2		
日本史B	2		2		
外国史A	2		2		
外国史B	2		2		
古典文学A	2		2		
古典文学B	2		2		
近現代文学A	2		2		
近現代文学B	2		2		
日本語表現Ⅰ	2		2		
日本語表現Ⅱ	2		2		
日本の文化A	2		2		
日本の文化B	2		2		
日本国憲法	2		2		
法学A	2		2		
法学B	2		2		
社会学A	2		2		

社会学B	2		2			
政治学A	2		2			
政治学B	2		2			
地理学A	2		2			
地理学B	2		2			
心理学A	2		2			
心理学B	2		2			
文化人類学A	2		2			
文化人類学B	2		2			
日本の社会A	2		2			
日本の社会B	2		2			
物理学A	2		2			
物理学B	2		2			
生物学A	2		2			
生物学B	2		2			
科学史A	2		2			
科学史B	2		2			
地球科学A	2		2			
地球科学B	2		2			
日本の科学技術A	2		2		外国人留学生のみ履修できる。	
日本の科学技術B	2		2			
現代思想論	2		2			
メディア文化論	2		2			
ジェンダー論	2		2			
国際関係論	2		2			
生命科学	2		2			
地域と文化A	2		2			
地域と文化B	2		2			
スポーツ科学論	2		2			
教養研究（一）	4		4			
教養研究（二）	4		4			
研究論文	4		4			
キャリア形成論	2		2			

特　　論　　A	2		2		
特　　論　　B	2		2		
海　外　特　研　A	2		2		
海　外　特　研　B	2		2		
海　外　特　研　C	2		2		
海　外　特　研　D	2		2		
海　外　特　研　E	2		2		

3　外国語科目（各学科共通）

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
Ⅰ　英語科目				外国語科目のうち，英語科目は，必修単位数 10 単位，第二外国語科目は，ドイツ語，フランス語，中国語，スペイン語のいずれか 1 か国語を選択し，各外国語の入門，基礎，総合の 6 単位，合計 16 単位以上を修得しなければならない。 ただし，外国人留学生は，上記の履修方法によらず， 日本語 A 日本語 B 日本語 C 日本語 D の 8 単位を必修とし，5 専門教育科目の選択単位数 8 単位を含め，合計 16 単位以上を修得しなければならない。	
A　基盤英語					
英語リーディング・ライティング	2	2			
英語コミュニケーション	2	2			
英語ワークショップ A	1	1			
英語ワークショップ B	1	1			
B　キャリア形成英語					
TOEIC ワークショップ A	2	2			
TOEIC ワークショップ B	1	1			
TOEIC ワークショップ C	1	1			
ビジネス英語 A	1		1		
ビジネス英語 B	1		1		
メディア英語 A	1		1		
メディア英語 B	1		1		
C　アカデミック英語					
英語特殊研究 A	1		1		
英語特殊研究 B	1		1		
D　資格試験英語					
TOEFL　A	2		2		
TOEFL　B	2		2		
TOEIC Advanced A	1		1		
TOEIC Advanced B	1		1		
Ⅱ　外国人留学生用外国語科目					

日本語A	2		2	外国人留学生のみ履修できる。	
日本語B	2		2		
日本語C	2		2		
日本語D	2		2		
Ⅲ　第二外国語科目					
入門ドイツ語	2		2		
基礎ドイツ語	2		2		
総合ドイツ語	2		2		
コミュニケーションドイツ語	2		2		
メディアドイツ語	2		2		
入門フランス語	2		2		
基礎フランス語	2		2		
総合フランス語	2		2		
コミュニケーションフランス語	2		2		
メディアフランス語	2		2		
入門中国語	2		2		
基礎中国語	2		2		
総合中国語	2		2		
コミュニケーション中国語	2		2		
メディア中国語	2		2		
入門スペイン語	2		2		
基礎スペイン語	2		2		
総合スペイン語	2		2		
コミュニケーションスペイン語	2		2		
メディアスペイン語	2		2		
Ⅳ　その他					
海外語学研究Ⅰ	2		2		
海外語学研究Ⅱ	2		2		
海外語学研究Ⅲ	2		2		
海外語学研究Ⅳ	2		2		

4　保健体育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

健康・スポーツの基礎	2	2		必修単位数 2 単位を修得しなければならない。	
ス ポ ー ツ A	1		1		
ス ポ ー ツ B	1		1		

5　専門教育科目

Ⅰ　経済学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				A群～C群のうちから，必修単位数 8 単位を含め，合計 60 単位以上（国際コースは合計 80 単位以上）を修得しなければならない。 理論・政策プログラムは， A群より， 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 経済史A 経済史B B群より， 行動経済学Ⅰ 行動経済学Ⅱ 現代マクロ経済学A 現代マクロ経済学B 企業経済学Ⅰ 企業経済学Ⅱ 経済学方法論A 経済学方法論B 国際経済論A 国際経済論B 国際貿易論Ⅰ 国際貿易論Ⅱ 金融論A 金融論B 地方財政論A 地方財政論B ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 経済学史Ⅰ 経済学史Ⅱ 経済思想史Ⅰ 経済思想史Ⅱ 比較経済体制論A 比較経済体制論B 産業組織論A 産業組織論B 日本経済史A 日本経済史B 欧米経済史A 欧米経済史B 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ アメリカ経済論Ⅰ アメリカ経済論Ⅱ 新興経済論A 新興経済論B 中国経済論A	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4	4			
経済学入門	2		2		
基礎数理	2		2		
経済分析入門	2		2		
日本経済論Ⅰ	2		2		
日本経済論Ⅱ	2		2		
経済史A	2		2		
経済史B	2		2		
経済特殊講義A	2		2		
経済特殊講義B	2		2		
B群					
行動経済学Ⅰ	2		2		
行動経済学Ⅱ	2		2		
現代マクロ経済学A	2		2		
現代マクロ経済学B	2		2		
企業経済学Ⅰ	2		2		
企業経済学Ⅱ	2		2		
経済学方法論A	2		2		
経済学方法論B	2		2		
国際経済論A	2		2		
国際経済論B	2		2		
国際貿易論Ⅰ	2		2		
国際貿易論Ⅱ	2		2		

金融論 A	2		2	中国経済論 B	
金融論 B	2		2	経済開発論 A	
地方財政論 A	2		2	経済開発論 B	
地方財政論 B	2		2	財政学 A	
ミクロ経済学 A	2		2	財政学 B	
ミクロ経済学 B	2		2	租税論 A	
マクロ経済学 A	2		2	租税論 B	
マクロ経済学 B	2		2	国際金融論 A	
Microeconomics	2		2	国際金融論 B	
Macroeconomics	2		2	金融政策論 A	
経済学史 Ⅰ	2		2	金融政策論 B	
経済学史 Ⅱ	2		2	社会政策論 A	
経済思想史 Ⅰ	2		2	社会政策論 B	
経済思想史 Ⅱ	2		2	社会保障論 A	
比較経済体制論 A	2		2	社会保障論 B	
比較経済体制論 B	2		2	人口経済論 A	
産業組織論 A	2		2	人口経済論 B	
産業組織論 B	2		2	公共経済学 A	
日本経済史 A	2		2	公共経済学 B	
日本経済史 B	2		2	法と経済学 A	
欧米経済史 A	2		2	法と経済学 B	
欧米経済史 B	2		2	アジア経済論 A	
経済政策論 Ⅰ	2		2	アジア経済論 B	
経済政策論 Ⅱ	2		2	地域経済論 A	
農業経済論 A	2		2	地域経済論 B	
農業経済論 B	2		2	近代経済学史 A	
Japanese Economy A	2		2	近代経済学史 B	
Japanese Economy B	2		2	ゲーム理論Ⅰ	
アメリカ経済論 Ⅰ	2		2	ゲーム理論Ⅱ	
アメリカ経済論 Ⅱ	2		2	アジア経済史 A	
新興経済論 A	2		2	アジア経済史 B	
新興経済論 B	2		2	ヨーロッパ経済論Ⅰ	
				ヨーロッパ経済論Ⅱ	
				組織と情報の経済学 A	
				組織と情報の経済学 B	
				地域社会論 A	
				地域社会論 B	
				中級ミクロ経済学Ⅰ	
				中級ミクロ経済学Ⅱ	
				中級マクロ経済学Ⅰ	
				中級マクロ経済学Ⅱ	
				交通経済論 A	
				交通経済論 B	
				C群より,	
				ICT リテラシーA	
				ICT リテラシーB	
				基礎統計Ⅰ	
				基礎統計Ⅱ	
				経済数学Ⅰ	
				経済数学Ⅱ	
				システム管理論 A	
				システム管理論 B	
				統計学Ⅰ	
				統計学Ⅱ	
				計量経済学Ⅰ	
				計量経済学Ⅱ	
				経済統計学Ⅰ	
				経済統計学Ⅱ	
				中級経済数学Ⅰ	
				中級経済数学Ⅱ	
				社会データ科学 A	
				社会データ科学 B	
				応用計量経済学Ⅰ	
				応用計量経済学Ⅱ	
				留学専門講義Ⅰ	
				留学専門講義Ⅱ	

中国経済論 A	2	2	留学専門講義Ⅲ 留学専門講義Ⅳ 留学専門講義Ⅴ 留学専門講義Ⅵ 留学専門講義Ⅶ 留学専門講義Ⅷ のうちから 24 単位以上を取得しなければならない。 更に，C 群より， 専門研究（一） 又は 2　総合教育科目より， 教養研究（一） のうちから 4 単位以上 を修得しなければならない。 ただし，国際コースは除く。 産業・生活プログラムは， A 群より， 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 経済史 A 経済史 B B 群より， 行動経済学Ⅰ 行動経済学Ⅱ 現代マクロ経済学 A 現代マクロ経済学 B 企業経済学Ⅰ 企業経済学Ⅱ 国際経済論 A 国際経済論 B 国際貿易論Ⅰ 国際貿易論Ⅱ 金融論 A 金融論 B 地方財政論 A 地方財政論 B ミクロ経済学 A ミクロ経済学 B マクロ経済学 A マクロ経済学 B 産業組織論 A 産業組織論 B 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ 農業経済論 A 農業経済論 B アメリカ経済論Ⅰ アメリカ経済論Ⅱ 新興経済論 A 新興経済論 B 中国経済論 A 中国経済論 B 経済開発論 A 経済開発論 B 経済地理学 A 経済地理学 B 財政学 A 財政学 B 租税論 A 租税論 B 国際金融論 A 国際金融論 B 金融政策論 A 金融政策論 B 社会政策論 A	
中国経済論 B	2	2		
経済開発論 A	2	2		
経済開発論 B	2	2		
経済地理学 A	2	2		
経済地理学 B	2	2		
財政学 A	2	2		
財政学 B	2	2		
租税論 A	2	2		
租税論 B	2	2		
国際金融論 A	2	2		
国際金融論 B	2	2		
金融政策論 A	2	2		
金融政策論 B	2	2		
社会政策論 A	2	2		
社会政策論 B	2	2		
労働経済論Ⅰ	2	2		
労働経済論Ⅱ	2	2		
社会保障論 A	2	2		
社会保障論 B	2	2		
人口経済論 A	2	2		
人口経済論 B	2	2		
公共経済学 A	2	2		
公共経済学 B	2	2		
法と経済学 A	2	2		
法と経済学 B	2	2		
環境経済論Ⅰ	2	2		
環境経済論Ⅱ	2	2		
社会保障法 A	2	2		
社会保障法 B	2	2		
アジア経済論 A	2	2		
アジア経済論 B	2	2		

都市問題論 A	2		2	社会政策論 B 社会保障論 A 社会保障論 B 人口経済論 A 人口経済論 B 公共経済学 A 公共経済学 B 法と経済学 A 法と経済学 B 環境経済論Ⅰ 環境経済論Ⅱ アジア経済論 A アジア経済論 B 都市問題論 A 都市問題論 B 地域環境論 A 地域環境論 B アジア経済論 A アジア経済論 B ゲーム理論Ⅰ ゲーム理論Ⅱ ヨーロッパ経済論Ⅰ ヨーロッパ経済論Ⅱ 地域システム論 A 地域システム論 B 組織と情報の経済学 A 組織と情報の経済学 B 地域社会論 A 地域社会論 B 中小企業論 A 中小企業論 B 中級ミクロ経済学Ⅰ 中級ミクロ経済学Ⅱ 中級マクロ経済学Ⅰ 中級マクロ経済学Ⅱ 家族社会学 交通経済論 A 交通経済論 B 公共経営論	
都市問題論 B	2		2		
地域環境論 A	2		2		
地域環境論 B	2		2		
地域経済論 A	2		2		
地域経済論 B	2		2		
近代経済学史 A	2		2		
近代経済学史 B	2		2		
ゲーム理論Ⅰ	2		2		
ゲーム理論Ⅱ	2		2		
アジア経済史 A	2		2		
アジア経済史 B	2		2		
ヨーロッパ経済論Ⅰ	2		2		
ヨーロッパ経済論Ⅱ	2		2		
地域システム論 A	2		2		
地域システム論 B	2		2		
組織と情報の経済学 A	2		2		
組織と情報の経済学 B	2		2		
地域社会論 A	2		2		
地域社会論 B	2		2		
中小企業論 A	2		2		
中小企業論 B	2		2		
中級ミクロ経済学Ⅰ	2		2		
中級ミクロ経済学Ⅱ	2		2		
中級マクロ経済学Ⅰ	2		2		
中級マクロ経済学Ⅱ	2		2		
家族社会学	2		2		
交通経済論 A	2		2		
交通経済論 B	2		2		
公共経営論	2		2		
International Economics A	2		2		
International Economics B	2		2		

C群より，
ICTリテラシーA
ICTリテラシーB
基礎統計Ⅰ
基礎統計Ⅱ
経済数学Ⅰ
経済数学Ⅱ
システム管理論 A
システム管理論 B
統計学Ⅰ
統計学Ⅱ
計量経済学Ⅰ
計量経済学Ⅱ
経済統計学Ⅰ
経済統計学Ⅱ
中級経済数学Ⅰ
中級経済数学Ⅱ
社会データ科学 A
社会データ科学 B
応用計量経済学Ⅰ
応用計量経済学Ⅱ
のうちから24単位以上を
修得しなければならない。
更に，C群より，
専門研究（一）
又は2　総合教育科目より，
教養研究（一）
のうちから4単位以上

Economic Development A	2		2	を修得しなければならない。ただし，国際コースは除く。	
Economic Development B	2		2	国際経済・地域経済プログラムは， A群より， 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 経済史A 経済史B B群より， 行動経済学Ⅰ 行動経済学Ⅱ 企業経済学Ⅰ 企業経済学Ⅱ 経済学方法論A 経済学方法論B 国際経済論A 国際経済論B 国際貿易論Ⅰ 国際貿易論Ⅱ 金融論A 金融論B 地方財政論A 地方財政論B ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 経済学史Ⅰ 経済学史Ⅱ 経済思想史Ⅰ 経済思想史Ⅱ 比較経済体制論A 比較経済体制論B 日本経済史A 日本経済史B 欧米経済史A 欧米経済史B 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ 農業経済論A 農業経済論B アメリカ経済論Ⅰ アメリカ経済論Ⅱ 新興経済論A 新興経済論B 中国経済論A 中国経済論B 経済開発論A 経済開発論B 経済地理学A 経済地理学B 財政学A 財政学B 国際金融論A 国際金融論B 社会保障論A 社会保障論B 人口経済論A 人口経済論B 環境経済論Ⅰ 環境経済論Ⅱ アジア経済論A アジア経済論B 都市問題論A 都市問題論B	
Economic Development B	2		2		
Global Economy A	2		2		
Global Economy B	2		2		
Global Economy C	2		2		
Global Economy D	2		2		
Japanese Business A	2		2		
Japanese Business B	2		2		
英語セミナーA	1		1		
英語セミナーB	1		1		
英語セミナーC	1		1		
英語セミナーD	1		1		
英語特殊演習A	1		1		
英語特殊演習B	1		1		
英語実践演習A	1		1		
英語実践演習B	1		1		
英語インテンシブ・リーディングA	1		1		
英語インテンシブ・リーディングB	1		1		
英語インテンシブ・リスニングA	1		1		
英語インテンシブ・リスニングB	1		1		
Overseas Study	2		2		
英語エッセイ・ライティングA	1		1		
英語エッセイ・ライティングB	1		1		
英語ビジネス・コミュニケーションA	1		1		
英語ビジネス・コミュニケーションB	1		1		
留学のための英語 LRA	1		1		
留学のための英語 LRB	1		1		
留学のための英語 SWA	1		1		
留学のための英語 SWB	1		1		
Special Topics in Economics A	2		2		
Special Topics in Economics B	2		2		
Special Topics in Economics C	2		2		

Special Topics in Economics D	2		2	地域環境論 A	
Special Topics in Economics E	2		2	地域環境論 B アジア経済論 A	
Special Topics in Economics F	2		2	アジア経済論 B 近代経済学史 A	
C群				近代経済学史 B ゲーム理論Ⅰ	
ＩＣＴ リテラシーA	2		2	ゲーム理論Ⅱ アジア経済史 A アジア経済史 B	
ＩＣＴ リテラシーB	2		2	ヨーロッパ経済論Ⅰ ヨーロッパ経済論Ⅱ	
基 礎 統 計 Ⅰ	2		2	地域システム論 A 地域システム論 B	
基 礎 統 計 Ⅱ	2		2	組織と情報の経済学 A 組織と情報の経済学 B	
経 済 数 学 Ⅰ	2		2	地域社会論 A 地域社会論 B	
経 済 数 学 Ⅱ	2		2	中小企業論 A 中小企業論 B	
システム管理論 A	2		2	家族社会学 交通経済論 A	
システム管理論 B	2		2	交通経済論 B 公共経営論	
統 計 学 Ⅰ	2		2	C群より， ICT リテラシーA	
統 計 学 Ⅱ	2		2	ICT リテラシーB 基礎統計Ⅰ	
計 量 経 済 学 Ⅰ	2		2	基礎統計Ⅱ 経済数学Ⅰ	
計 量 経 済 学 Ⅱ	2		2	経済数学Ⅱ システム管理論 A	
経 済 統 計 学 Ⅰ	2		2	システム管理論 B 統計学Ⅰ	
経 済 統 計 学 Ⅱ	2		2	統計学Ⅱ 計量経済学Ⅰ	
中 級 経 済 数 学 Ⅰ	2		2	計量経済学Ⅱ 経済統計学Ⅰ	
中 級 経 済 数 学 Ⅱ	2		2	経済統計学Ⅱ 中級経済数学Ⅰ	
社会データ科学 A	2		2	中級経済数学Ⅱ 社会データ科学 A	
社会データ科学 B	2		2	社会データ科学 B 応用計量経済学Ⅰ	
応用計量経済学Ⅰ	2		2	応用計量経済学Ⅱ のうちから 24 単位以上を	
応用計量経済学Ⅱ	2		2	修得しなければならない。 更に，C群より，	
民 法 A	2		2	専門研究（一） 又は２ 総合教育科目より，	
民 法 B	2		2	教養研究（一） のうちから４単位以上	
商法（総則等）A	2		2	を修得しなければならない。 ただし，国際コースは除く。	
商法（総則等）B	2		2	国際コースは， 英語セミナーA	
会 社 法 A	2		2	英語セミナーB 英語セミナーC	
会 社 法 B	2		2	英語セミナーD を必修とし，４単位，	
労 働 法 A	2		2	Microeconomics Macroeconomics	
労 働 法 B	2		2	Japanese Economy A Japanese Economy B	
				International Economics A	

租税法Ⅰ	2		2	International Economics B Economic Development A Economic Development B Global Economy A Global Economy B Global Economy C Global Economy D Japanese Business A Japanese Business B Special Topics in Economics A Special Topics in Economics B Special Topics in Economics C Special Topics in Economics D Special Topics in Economics E Special Topics in Economics F のうちから 20 単位以上, 英語特殊演習 A 英語特殊演習 B 英語実践演習 A 英語実践演習 B 英語インテンシブ・リーディング A 英語インテンシブ・リーディング B 英語インテンシブ・リスニング A 英語インテンシブ・リスニング B Overseas Study 英語エッセイ・ライティング A 英語エッセイ・ライティング B 英語ビジネス・コミュニケーション A 英語ビジネス・コミュニケーション B 留学のための英語 LRA 留学のための英語 LRB 留学のための英語 SWA 留学のための英語 SWB のうちから 12 単位以上，計 36 単位以上を修得しなければならない。 更に，C 群より， 専門研究（一） 又は 2　総合教育科目より， 教養研究（一） のうちから 4 単位以上を修得しなければならない。	
租税法Ⅱ	2		2		
留学専門講義Ⅰ	2		2		
留学専門講義Ⅱ	2		2		
留学専門講義Ⅲ	2		2		
留学専門講義Ⅳ	2		2		
留学専門講義Ⅴ	1		1		
留学専門講義Ⅵ	1		1		
留学専門講義Ⅶ	1		1		
留学専門講義Ⅷ	1		1		
総合講座 A	2		2		
総合講座 B	2		2		
専門研究（一）	4		4		
専門研究（二）	4		4		
卒業論文	6		6		
D群					
日本史概説Ⅰ	2		2		
日本史概説Ⅱ	2		2		
外国史概説Ⅰ	2		2		
外国史概説Ⅱ	2		2		
人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地誌学Ⅰ	2		2		
地誌学Ⅱ	2		2		
法律学概論Ⅰ	2		2		
法律学概論Ⅱ	2		2		
国際政治論Ⅰ	2		2		
国際政治論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		

倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		
情報処理実習Ⅰ	1		1		
情報処理実習Ⅱ	1		1		

Ⅱ　産業経営学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				A群～C群のうちから，必修単位数 8 単位を含め，合計 60 単位以上を修得しなければならない。	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4		4	経営・マーケティングプログラムは，	
経営学	4	4		A群より	
現代企業論A	2		2	基礎マクロ経済学	
現代企業論B	2		2	現代企業論A	
経営史A	2		2	現代企業論B	
経営史B	2		2	経営史A	
会計学Ⅰ	2		2	経営史B	
会計学Ⅱ	2		2	会計学Ⅰ	
基礎簿記Ⅰ	2		2	会計学Ⅱ	
基礎簿記Ⅱ	2		2	基礎簿記Ⅰ	
経営時事問題A	2		2	基礎簿記Ⅱ	
経営時事問題B	2		2	経営時事問題A	
産業経営特殊講義A	2		2	経営時事問題B	
産業経営特殊講義B	2		2	B群より，	
B群				経営戦略論A	
経営戦略論A	2		2	経営戦略論B	
経営戦略論B	2		2	経営管理論A	
経営管理論A	2		2	経営管理論B	
経営管理論B	2		2	経営組織論A	
経営組織論A	2		2	経営組織論B	
経営組織論B	2		2	マーケティング論Ⅰ	
				マーケティング論Ⅱ	
				生産管理論A	
				生産管理論B	
				経営財務論A	
				経営財務論B	
				管理会計論A	
				管理会計論B	
				経営情報論Ⅰ	
				経営情報論Ⅱ	
				マルチメディア論A	
				マルチメディア論B	
				国際経営論A	
				国際経営論B	
				国際経済論A	
				国際経済論B	
				消費者行動論A	
				消費者行動論B	
				流通経済論A	
				流通経済論B	

マーケティング論Ⅰ	2		2	企業分析論 A 企業分析論 B リスクマネジメント論 A リスクマネジメント論 B 人的資源管理論Ⅰ 人的資源管理論Ⅱ 産業・組織心理学 A 産業・組織心理学 B 中小企業論 A 中小企業論 B 多国籍企業論 A 多国籍企業論 B ロジスティクス論 A ロジスティクス論 B 国際マーケティング論 A 国際マーケティング論 B 広告コミュニケーション論 A 広告コミュニケーション論 B ブランド論 A ブランド論 B 現代産業論 A 現代産業論 B のうちから 24 単位以上を修得しなければならない。 更に，C 群より， 専門研究（一） 又は 2　総合教育科目より， 教養研究（一） のうちから 4 単位以上 を修得しなければならない。 会計・ファイナンスプログラムは， A 群より， 基礎マクロ経済学 現代企業論 A 現代企業論 B 経営史 A 経営史 B 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 基礎簿記Ⅰ 基礎簿記Ⅱ 経営時事問題 A 経営時事問題 B B 群より， 経営戦略論 A 経営戦略論 B 経営管理論 A 経営管理論 B 経営組織論 A 経営組織論 B マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ 生産管理論 A 生産管理論 B 経営財務論 A 経営財務論 B 管理会計論 A 管理会計論 B 経営情報論Ⅰ 経営情報論 マルチメディア論 A マルチメディア論 B 財務会計論 A 財務会計論 B
生産管理論 A	2		2	
生産管理論 B	2		2	
経営財務論 A	2		2	
経営財務論 B	2		2	
管理会計論 A	2		2	
管理会計論 B	2		2	
経営情報論Ⅰ	2		2	
経営情報論Ⅱ	2		2	
マルチメディア論 A	2		2	
マルチメディア論 B	2		2	
国際経営論 A	2		2	
国際経営論 B	2		2	
国際経済論 A	2		2	
国際経済論 B	2		2	
消費者行動論 A	2		2	
消費者行動論 B	2		2	
流通経済論 A	2		2	
流通経済論 B	2		2	
財務会計論 A	2		2	
財務会計論 B	2		2	
中級簿記 A	2		2	
中級簿記 B	2		2	
原価計算論 A	2		2	
原価計算論 B	2		2	
証券市場論 A	2		2	
証券市場論 B	2		2	
金融論 A	2		2	
金融論 B	2		2	
企業分析論 A	2		2	
企業分析論 B	2		2	

リスクマネジメント論A	2		2	中級簿記 A 中級簿記 B 原価計算論 A 原価計算論 B 証券市場論 A 証券市場論 B 金融論 A 金融論 B 企業分析論 A 企業分析論 B リスクマネジメント論 A リスクマネジメント論 B 国際会計論 A 国際会計論 B 公会計論 監査論 A 監査論 B 金融工学Ⅰ 金融工学Ⅱ C群より， 租税法Ⅰ 租税法Ⅱ のうちから 24 単位以上を修得しなければならない。 更に，C群より， 専門研究（一） 又は２　総合教育科目より， 教養研究（一） のうちから 4 単位以上を修得しなければならない。	
リスクマネジメント論B	2		2		
人的資源管理論Ⅰ	2		2		
人的資源管理論Ⅱ	2		2		
産業・組織心理学A	2		2		
産業・組織心理学B	2		2		
中小企業論A	2		2		
中小企業論B	2		2		
多国籍企業論A	2		2		
多国籍企業論B	2		2		
ロジスティクス論A	2		2		
ロジスティクス論B	2		2		
国際マーケティング論A	2		2		
国際マーケティング論B	2		2		
広告コミュニケーション論A	2		2		
広告コミュニケーション論B	2		2		
ブランド論A	2		2		
ブランド論B	2		2		
現代産業論A	2		2		
現代産業論B	2		2		
国際会計論A	2		2		
国際会計論B	2		2		
公会計論	2		2		
監査論A	2		2		
監査論B	2		2		
金融工学Ⅰ	2		2		
金融工学Ⅱ	2		2		
C群					
ＩＣＴリテラシーA	2		2		
ＩＣＴリテラシーB	2		2		
基礎統計Ⅰ	2		2		
基礎統計Ⅱ	2		2		

経済数学Ⅰ	2		2			
経済数学Ⅱ	2		2			
システム管理論A	2		2			
システム管理論B	2		2			
統計学Ⅰ	2		2			
統計学Ⅱ	2		2			
計量経済学Ⅰ	2		2			
計量経済学Ⅱ	2		2			
経済統計学Ⅰ	2		2			
経済統計学Ⅱ	2		2			
中級経済数学Ⅰ	2		2			
中級経済数学Ⅱ	2		2			
社会データ科学A	2		2			
社会データ科学B	2		2			
応用計量経済学Ⅰ	2		2			
応用計量経済学Ⅱ	2		2			
民法A	2		2			
民法B	2		2			
商法（総則等）A	2		2			
商法（総則等）B	2		2			
会社法A	2		2			
会社法B	2		2			
労働法A	2		2			
労働法B	2		2			
租税法Ⅰ	2		2			
租税法Ⅱ	2		2			
留学専門講義Ⅰ	2		2			
留学専門講義Ⅱ	2		2			
留学専門講義Ⅲ	2		2			
留学専門講義Ⅳ	2		2			
留学専門講義Ⅴ	1		1			
留学専門講義Ⅵ	1		1			

留学専門講義Ⅶ	1		1		
留学専門講義Ⅷ	1		1		
総合講座A	2		2		
総合講座B	2		2		
専門研究（一）	4		4		
専門研究（二）	4		4		
卒業論文	6		6		
D群					
日本史概説Ⅰ	2		2		
日本史概説Ⅱ	2		2		
外国史概説Ⅰ	2		2		
外国史概説Ⅱ	2		2		
人文地理学概論Ⅰ	2		2		
人文地理学概論Ⅱ	2		2		
自然地理学概論Ⅰ	2		2		
自然地理学概論Ⅱ	2		2		
地誌学Ⅰ	2		2		
地誌学Ⅱ	2		2		
法律学概論Ⅰ	2		2		
法律学概論Ⅱ	2		2		
国際政治論Ⅰ	2		2		
国際政治論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		
情報処理実習Ⅰ	1		1		
情報処理実習Ⅱ	1		1		

Ⅲ　金融公共経済学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				A群～C群のうちから，必修単位数10単位を含め，合計60単位以上を修得しなければならない。	
基礎ミクロ経済学	4	4			
基礎マクロ経済学	4	4		公共経済プログラムは，プログラム共通科目に加え，B群より，	
金融公共分析手法入門Ⅰ	2	2		ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 金融公共分析手法入門Ⅱ 経済データ分析Ⅰ 経済データ分析Ⅱ 中級ミクロ経済学Ⅰ 中級ミクロ経済学Ⅱ 公共経済学A 公共経済学B 財政学A 財政学B 経済政策論Ⅰ 経済政策論Ⅱ 都市問題論A 都市問題論B 社会保障論A 社会保障論B 交通経済論A 交通経済論B 法と経済学A 法と経済学B 公共経営論 公共政策企画論	
B群					
行動経済学Ⅰ	2		2		
行動経済学Ⅱ	2		2		
現代マクロ経済学A	2		2		
現代マクロ経済学B	2		2		
ゲーム理論Ⅰ	2		2		
ゲーム理論Ⅱ	2		2		
金融論A	2		2		
金融論B	2		2		
地方財政論A	2		2		
地方財政論B	2		2		
ミクロ経済学A	2		2		
ミクロ経済学B	2		2		
マクロ経済学A	2		2	C群より，	
マクロ経済学B	2		2	計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 応用計量経済学Ⅰ 応用計量経済学Ⅱ	
日本経済論Ⅰ	2		2	のうちから20単位以上を修得しなければならない。	
日本経済論Ⅱ	2		2	更に，C群より，	
金融公共分析手法入門Ⅱ	2		2	専門研究（一） 又は2　総合教育科目より， 教養研究（一）	
経済データ分析Ⅰ	2		2	のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
経済データ分析Ⅱ	2		2		
財務会計論A	2		2	金融プログラムは，B群より，	
財務会計論B	2		2	金融論A 金融論B ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 金融公共分析手法入門Ⅱ 経済データ分析Ⅰ 経済データ分析Ⅱ 財務会計論A	
中級ミクロ経済学Ⅰ	2		2		
中級ミクロ経済学Ⅱ	2		2		
組織と情報の経済学A	2		2		

組織と情報の経済学B	2		2	財務会計論Ｂ 中級ミクロ経済学Ⅰ 中級ミクロ経済学Ⅱ	
企業経済学Ⅰ	2		2	企業経済学Ⅰ 企業経済学Ⅱ	
企業経済学Ⅱ	2		2	金融システム論Ⅰ 金融システム論Ⅱ	
公共経済学Ａ	2		2	金融市場論Ⅰ 金融市場論Ⅱ	
公共経済学Ｂ	2		2	企業金融論Ⅰ 企業金融論Ⅱ	
財政学Ａ	2		2	管理会計論Ａ 管理会計論Ｂ	
財政学Ｂ	2		2	金融工学Ⅰ 金融工学Ⅱ	
経済政策論Ⅰ	2		2	クレジットリスクマネジメントⅠ	
経済政策論Ⅱ	2		2	クレジットリスクマネジメントⅡ	
都市問題論Ａ	2		2	フィナンシャルエコノミクスⅠ	
都市問題論Ｂ	2		2	フィナンシャルエコノミクスⅡ	
社会保障論Ａ	2		2	Ｃ群より， 計量経済学Ⅰ	
社会保障論Ｂ	2		2	計量経済学Ⅱ 応用計量経済学Ⅰ	
交通経済論Ａ	2		2	応用計量経済学Ⅱ のうちから20単位以上を	
交通経済論Ｂ	2		2	修得しなければならない。 更に，Ｃ群より，	
法と経済学Ａ	2		2	専門研究（一） 又は２　総合教育科目より，	
法と経済学Ｂ	2		2	教養研究（一） のうちから４単位以上	
公共経営論	2		2	を修得しなければならない。	
公共政策企画論	2		2		
金融システム論Ⅰ	2		2		
金融システム論Ⅱ	2		2		
金融市場論Ⅰ	2		2		
金融市場論Ⅱ	2		2		
企業金融論Ⅰ	2		2		
企業金融論Ⅱ	2		2		
管理会計論Ａ	2		2		
管理会計論Ｂ	2		2		
金融工学Ⅰ	2		2		
金融工学Ⅱ	2		2		
クレジットリスクマネジメントⅠ	2		2		
クレジットリスクマネジメントⅡ	2		2		
フィナンシャルエコノミクスⅠ	2		2		

フィナンシャルエコノミクスⅡ	2		2				
証券市場論A	2		2				
証券市場論B	2		2				
国際金融論A	2		2				
国際金融論B	2		2				
金融政策論A	2		2				
金融政策論B	2		2				
C群							
ＩＣＴリテラシーA	2		2				
ＩＣＴリテラシーB	2		2				
基礎統計Ⅰ	2		2				
基礎統計Ⅱ	2		2				
経済数学Ⅰ	2		2				
経済数学Ⅱ	2		2				
システム管理論A	2		2				
システム管理論B	2		2				
統計学Ⅰ	2		2				
統計学Ⅱ	2		2				
計量経済学Ⅰ	2		2				
計量経済学Ⅱ	2		2				
経済統計学Ⅰ	2		2				
経済統計学Ⅱ	2		2				
中級経済数学Ⅰ	2		2				
中級経済数学Ⅱ	2		2				
社会データ科学A	2		2				
社会データ科学B	2		2				
応用計量経済学Ⅰ	2		2				
応用計量経済学Ⅱ	2		2				
民法A	2		2				
民法B	2		2				
商法（総則等）A	2		2				
商法（総則等）B	2		2				

会社法A	2		2			
会社法B	2		2			
労働法A	2		2			
労働法B	2		2			
租税法Ⅰ	2		2			
租税法Ⅱ	2		2			
留学専門講義Ⅰ	2		2			
留学専門講義Ⅱ	2		2			
留学専門講義Ⅲ	2		2			
留学専門講義Ⅳ	2		2			
留学専門講義Ⅴ	1		1			
留学専門講義Ⅵ	1		1			
留学専門講義Ⅶ	1		1			
留学専門講義Ⅷ	1		1			
総合講座A	2		2			
総合講座B	2		2			
専門研究（一）	4		4			
専門研究（二）	4		4			
卒業論文	6		6			
D群						
日本史概説Ⅰ	2		2			
日本史概説Ⅱ	2		2			
外国史概説Ⅰ	2		2			
外国史概説Ⅱ	2		2			
人文地理学概論Ⅰ	2		2			
人文地理学概論Ⅱ	2		2			
自然地理学概論Ⅰ	2		2			
自然地理学概論Ⅱ	2		2			
地誌学Ⅰ	2		2			
地誌学Ⅱ	2		2			
法律学概論Ⅰ	2		2			
法律学概論Ⅱ	2		2			

国際政治論Ⅰ	2		2		
国際政治論Ⅱ	2		2		
哲学概論Ⅰ	2		2		
哲学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		
情報処理実習Ⅰ	1		1		
情報処理実習Ⅱ	1		1		

第４節　商学部

第83条　商学部における各学科の授業科目，その単位数及び履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，総計124単位を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　総合科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学A	2		2	20単位以上を修得しなければならない。	
哲学B	2		2		
論理学A	2		2		
論理学B	2		2		
倫理学A	2		2		
倫理学B	2		2		
宗教学	2		2		
歴史学A	2		2		
歴史学B	2		2		
文章表現A	2		2		
文章表現B	2		2		
文学A	2		2		
文学B	2		2		
文学史A	2		2		
文学史B	2		2		
日本文化論A	2		2		
日本文化論B	2		2		
日本国憲法	2		2		
法学	2		2		
社会学A	2		2		

社会学B	2		2			
政治学A	2		2			
政治学B	2		2			
地理学A	2		2			
地理学B	2		2			
文化人類学	2		2			
教育学A	2		2			
教育学B	2		2			
数学A	2		2			
数学B	2		2			
統計学	2		2			
心理学A	2		2			
心理学B	2		2			
科学技術史A	2		2			
科学技術史B	2		2			
環境と生態A	2		2			
環境と生態B	2		2			
地球科学A	2		2			
地球科学B	2		2			
生物科学A	2		2			
生物科学B	2		2			
健康とスポーツ	2		2			
異文化コミュニケーションA	2		2			
異文化コミュニケーションB	2		2			
総合研究A	2		2			
総合研究B	2		2			
総合研究C	2		2			
総合研究D	2		2			
総合科目特殊講義A	2		2			
総合科目特殊講義B	2		2			

３　外国語科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語 1	1		1	英語1～8の8科目8単位を修得し，さらに，ドイツ語1～6，フランス語1～6，スペイン語1～6，中国語1～6及び韓国語／朝鮮語1～6のうち，いずれか1か国語6単位を修得しなければならない。 （日本語1～8は外国人留学生のみ履修できる） 外国人留学生は，日本語1～8の8科目8単位を修得し，さらに，英語（英語が母語の場合はドイツ語，フランス語，スペイン語，中国語及び韓国語／朝鮮語のうちいずれか1か国語）1～6の6科目6単位を修得しなければならない。	
英語 2	1		1		
英語 3	1		1		
英語 4	1		1		
英語 5	1		1		
英語 6	1		1		
英語 7	1		1		
英語 8	1		1		
日本語 1	1		1		
日本語 2	1		1		
日本語 3	1		1		
日本語 4	1		1		
日本語 5	1		1		
日本語 6	1		1		
日本語 7	1		1		
日本語 8	1		1		
ドイツ語 1	1		1		
ドイツ語 2	1		1		
ドイツ語 3	1		1		
ドイツ語 4	1		1		
ドイツ語 5	1		1		
ドイツ語 6	1		1		
フランス語 1	1		1		
フランス語 2	1		1		
フランス語 3	1		1		
フランス語 4	1		1		
フランス語 5	1		1		
フランス語 6	1		1		
スペイン語 1	1		1		

スペイン語2	1		1			
スペイン語3	1		1			
スペイン語4	1		1			
スペイン語5	1		1			
スペイン語6	1		1			
中国語1	1		1			
中国語2	1		1			
中国語3	1		1			
中国語4	1		1			
中国語5	1		1			
中国語6	1		1			
韓国語／朝鮮語1	1		1			
韓国語／朝鮮語2	1		1			
韓国語／朝鮮語3	1		1			
韓国語／朝鮮語4	1		1			
韓国語／朝鮮語5	1		1			
韓国語／朝鮮語6	1		1			
英会話A	1		1			
英会話B	1		1			
英会話C	1		1			
英会話D	1		1			
英会話E	1		1			
英会話F	1		1			
ドイツ語会話A	1		1			
ドイツ語会話B	1		1			
フランス語会話A	1		1			
フランス語会話B	1		1			
スペイン語会話A	1		1			
スペイン語会話B	1		1			
中国語会話A	1		1			
中国語会話B	1		1			

韓国語／朝鮮語会話A	1		1		
韓国語／朝鮮語会話B	1		1		

4　スポーツ科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
スポーツA	1	1		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
スポーツB	1	1			

5　専門教育科目

Ⅰ　商業学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め，合計74単位以上を修得しなければならない。	
商学入門1	2	2			
経営学入門1	2	2		専門基礎科目として， 商学入門2 経営学入門2 会計学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門 金融入門 経済・ビジネス数学入門 ビジネス統計入門 キャリアデザイン入門 コンピュータリテラシーA コンピュータリテラシーB 簿記論1 のうちから，8単位以上を修得しなければならない。	
会計学入門1	2	2			
経済学入門1	2	2			
商学入門2	2		2		
経営学入門2	2		2		
会計学入門2	2		2		
経済学入門2	2		2		
ビジネス法務入門	2		2		
金融入門	2		2		
経済･ビジネス数学入門	2		2		
ビジネス統計入門	2		2		
キャリアデザイン入門	2		2		
コンピュータリテラシーA	2		2		

コンピュータリテラシーB	2		2			
簿記論1	4		4			
【専門科目】				専門科目のうち，学科所属科目として， マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング エリア・マーケティング デジタル・マーケティング 消費者行動論A 消費者行動論B 消費論 電子商取引 マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB マーケティング管理A マーケティング管理B 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B MarketingA MarketingB ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 国際商業史A 国際商業史B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B Global Business A Global Business B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 行政法1 行政法2 経済法		
マーケティング論	4		4			
ブランド･マネジメント	2		2			
サービス･マーケティング	2		2			
エリア･マーケティング	2		2			
デジタル･マーケティング	2		2			
消費者行動論A	2		2			
消費者行動論B	2		2			
消費論	2		2			
電子商取引	2		2			
マーケティング･リサーチ	2		2			
広告コミュニケーションA	2		2			
広告コミュニケーションB	2		2			
ビジネス統計	2		2			
ソーシャル・マーケティング	2		2			
グローバル・マーケティングA	2		2			
グローバル・マーケティングB	2		2			
戦略マーケティングA	2		2			
戦略マーケティングB	2		2			
観光マーケティングA	2		2			
観光マーケティングB	2		2			
マーケティング管理A	2		2			
マーケティング管理B	2		2			

流通システム論A	2		2	消費者法 税法A 税法B 紛争処理法	
流通システム論B	2		2	労働法 国際取引法 事業承継法	
物流論	4		4	金融機関論A 金融機関論B マネー論	
国際ビジネスA	2		2	金融数学 保険論A 保険論B	
国際ビジネスB	2		2	金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B	
貿易論1	2		2	リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 損害保険論A	
貿易論2	2		2	損害保険論B 生命保険論A 生命保険論B	
貿易政策A	2		2	経済統計学A 経済統計学B 財政学A	
貿易政策B	2		2	財政学B サービス経済論A サービス経済論B	
Marketing A	1		1	経済地理学A 経済地理学B 日本経済論A	
Marketing B	1		1	日本経済論B 公共経済学A 公共経済学B	
ミクロ経済学A	2		2	経済政策A 経済政策B 産業組織論A	
ミクロ経済学B	2		2	産業組織論B 経済学説史A 経済学説史B	
マクロ経済学A	2		2	労働経済論A 労働経済論B Finance & Economy A	
マクロ経済学B	2		2	Finance & Economy B から22単位以上を修得しなければならない。	
国際商業史A	2		2		
国際商業史B	2		2		
近代経済史A	2		2		
近代経済史B	2		2		
政治経済学A	2		2	マーケティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング	
政治経済学B	2		2	エリア・マーケティング デジタル・マーケティング 消費者行動論A	
金融論A	2		2	消費者行動論B 消費論 電子商取引	
金融論B	2		2	マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB	
金融史	2		2	ビジネス統計	
国際金融論A	2		2		

国際金融論B	2		2	ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 マーケティング管理A マーケティング管理B 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法 MarketingA MarketingB ミクロ経済学A ミクロ経済学B 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権 のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
国際経済学A	2		2		
国際経済学B	2		2		
アジア経済論A	2		2		
アジア経済論B	2		2		
社会保障論A	2		2		
社会保障論B	2		2		
Global Business A	1		1		
Global Business B	1		1		
民法A（総則・物権）	4		4		
民法B（債権法）	4		4		
商法A（企業取引法）	4		4		
商法B（会社法）	4		4		
行政法1	2		2		
行政法2	2		2		
経済法	2		2		
消費者法	2		2		
税法A	2		2		
税法B	2		2		
紛争処理法	2		2	グローバル・ビジネスコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて，	
労働法	2		2	マーケティング論 サービス・マーケティング デジタル・マーケティング 電子商取引 マーケティング・リサーチ グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1	
国際取引法	2		2		
事業承継法	2		2		
金融機関論A	2		2		
金融機関論B	2		2		
マネー論	2		2		

金融数学	2		2	貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法	
保険論A	2		2	Marketing A Marketing B ミクロ経済学A	
保険論B	2		2	ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B	
金融商品取引法	2		2	国際商業史A 国際商業史B 近代経済史A	
証券市場論A	2		2	近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B	
証券市場論B	2		2	金融論A 金融論B 金融史	
リスク・マネジメントA	2		2	国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A	
リスク・マネジメントB	2		2	国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B	
損害保険論A	2		2	社会保障論A 社会保障論B Global Business A	
損害保険論B	2		2	Global Business B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法）	
生命保険論A	2		2	商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 行政法1	
生命保険論B	2		2	行政法2 税法A 税法B	
経済統計学A	2		2	紛争処理法 労働法 国際取引法	
経済統計学B	2		2	事業承継法 金融商品取引法 経済統計学A	
財政学A	2		2	経済統計学B Finance & Economy A Finance & Economy B	
財政学B	2		2	経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A	
サービス経済論A	2		2	ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2	
サービス経済論B	2		2	グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A	
経済地理学A	2		2	比較経営論B アントルプルナーシップ論 知的財産権	
経済地理学B	2		2	Management A Management B Entrepreneurship A	
日本経済論A	2		2	Entrepreneurship B 財務会計論1 国際会計論A	
日本経済論B	2		2	国際会計論B Accounting A Accounting B	
公共経済学A	2		2	のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
公共経済学B	2		2		
経済政策A	2		2		

経　済　政　策　B	2		2	金融エコノミーコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， 電子商取引 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B 金融機関論A 金融機関論B マネー論 金融数学 保険論A 保険論B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 損害保険論A 損害保険論B 生命保険論A 生命保険論B 経済統計学A 経済統計学B 財政学A 財政学B サービス経済論A サービス経済論B 経済地理学A 経済地理学B 日本経済論A 日本経済論B 公共経済学A 公共経済学B 経済政策A 経済政策B 産業組織論A 産業組織論B 経済学説史A 経済学説史B 労働経済論A 労働経済論B Finance & Economy A Finance & Economy B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
産　業　組　織　論　A	2		2		
産　業　組　織　論　B	2		2		
経　済　学　説　史　A	2		2		
経　済　学　説　史　B	2		2		
労　働　経　済　論　A	2		2		
労　働　経　済　論　B	2		2		
Finance & Economy A	1		1		
Finance & Economy B	1		1		
経　営　管　理　論　A	2		2		
経　営　管　理　論　B	2		2		
経　営　戦　略　論　A	2		2		
経　営　戦　略　論　B	2		2		
経　営　組　織　論　A	2		2		
経　営　組　織　論　B	2		2		
経　　営　　史　　A	2		2		
経　　営　　史　　B	2		2		
ベンチャービジネス論A	2		2		
ベンチャービジネス論B	2		2		
デ　ー　タ　解　析　1	2		2		
デ　ー　タ　解　析　2	2		2		
グローバル・マネジメントA	2		2		
グローバル・マネジメントB	2		2		
比　較　経　営　論　A	2		2		
比　較　経　営　論　B	2		2		

経営心理学A	2		2	マネジメントコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 デジタル・マーケティング ビジネス統計 グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB マーケティング管理A マーケティング管理B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 国際取引法 事業承継法 リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B Management A Management B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業倫理A 企業倫理B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 非営利組織経営学A 非営利組織経営学B 環境経営論 経営学説史 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
経営心理学B	2		2		
アントルプルナーシップ論	2		2		
知的財産権	2		2		
Management A	1		1		
Management B	1		1		
コーポレート・ファイナンスA	2		2		
コーポレート・ファイナンスB	2		2		
ベンチャー・ファイナンス	2		2		
人的資源管理論A	2		2		
人的資源管理論B	2		2		
企業倫理A	2		2		
企業倫理B	2		2		
企業形態論	2		2		
生産管理論A	2		2		
生産管理論B	2		2		
非営利組織経営学A	2		2		
非営利組織経営学B	2		2		
環境経営論	2		2		
経営学説史	2		2		
中小企業論A	2		2		
中小企業論B	2		2		
中小企業経営論	2		2		
中小企業政策論	2		2		
テクノロジー・マネジメントA	2		2		

テクノロジー・マネジメントB	2		2	事業創造コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 ブランド・マネジメント デジタル・マーケティング 電子商取引 ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB 金融論A 金融論B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 労働法 事業承継法 証券市場論A 証券市場論B リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 労働経済論A 労働経済論B 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 中小企業論A 中小企業論B 中小企業経営論 中小企業政策論 テクノロジー・マネジメントA テクノロジー・マネジメントB 情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス コンピュータ・システム プログラミング マルチメディア論A マルチメディア論B 情報倫理 情報社会と職業 経営情報システムA 経営情報システムB オペレーションズ・リサーチ1 オペレーションズ・リサーチ2 情報システム分析論 情報システム設計論 Entrepreneurship A Entrepreneurship B 財務会計論1	
情報ネットワーク論A	2		2		
情報ネットワーク論B	2		2		
情報システム	2		2		
データサイエンス	2		2		
コンピュータ・システム	2		2		
プログラミング	2		2		
マルチメディア論A	2		2		
マルチメディア論B	2		2		
情報倫理	2		2		
情報社会と職業	2		2		
経営情報システムA	2		2		
経営情報システムB	2		2		
オペレーションズ・リサーチ1	2		2		
オペレーションズ・リサーチ2	2		2		
情報システム分析論	2		2		
情報システム設計論	2		2		
Entrepreneurship A	1		1		
Entrepreneurship B	1		1		
簿記論2	4		4		
簿記論3	4		4		

簿記論4	4		4	原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。		
財務会計論1	4		4			
財務会計論2	2		2			
財務会計論3	2		2			
原価計算論1	4		4			
原価計算論2	2		2	アカウンティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B データ解析1 データ解析2 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス 経営情報システムA 経営情報システムB 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 制度会計論 コンピュータ会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 環境会計論 経営監査論A 経営監査論B 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
原価計算論3	2		2			
会計監査論1	4		4			
会計監査論2	2		2			
会計監査論3	2		2			
管理会計論A	2		2			
管理会計論B	2		2			
財務諸表分析論1	2		2			
財務諸表分析論2	2		2			
会計実践演習	2		2			
制度会計論	4		4			
コンピュータ会計論	2		2			
税務会計論A	2		2			
税務会計論B	2		2			
会計学説史A	2		2			
会計学説史B	2		2			
国際会計論A	2		2			
国際会計論B	2		2			

環境会計論	2		2	会計専門職コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 生産管理論A 生産管理論B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 簿記論2 制度会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 簿記論3 簿記論4 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 経営監査論A 経営監査論B 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論2 会計監査論3 所得税法 消費税法 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。 上記履修方法で定める単位数以外に，専門基礎科目及び専門科目から18単位以上を修得しなければならない。	
経営監査論A	2		2		
経営監査論B	2		2		
非営利組織会計論	2		2		
所得税法	2		2		
消費税法	2		2		
Accounting A	1		1		
Accounting B	1		1		
外国書講読A	1		1		
外国書講読B	1		1		
職業指導	4		4		
特殊講義A	2		2		
特殊講義B	2		2		
特殊講義C	2		2		
プロジェクト研究A	2		2		
プロジェクト研究B	2		2		
プロジェクト研究C	2		2		
プロジェクト研究D	2		2		
ゼミナール1	2		2		
ゼミナール2	2		2		
ゼミナール3	2		2		
ゼミナール4	2		2		
卒業論文	6		6		

Ⅱ　経営学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め，合計74単位以上を修得しなければならない。	
商学入門1	2	2			
経営学入門1	2	2		専門基礎科目として， 商学入門2 経営学入門2 会計学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門 金融入門 経済・ビジネス数学入門 ビジネス統計入門 キャリアデザイン入門 コンピュータリテラシーA コンピュータリテラシーB 簿記論1 のうちから，8単位以上を修得しなければならない。	
会計学入門1	2	2			
経済学入門1	2	2			
商学入門2	2		2		
経営学入門2	2		2		
会計学入門2	2		2		
経済学入門2	2		2		
ビジネス法務入門	2		2		
金融入門	2		2		
経済･ビジネス数学入門	2		2		
ビジネス統計入門	2		2		
キャリアデザイン入門	2		2		
コンピュータリテラシーA	2		2		
コンピュータリテラシーB	2		2		
簿記論1	4		4		
【専門科目】				専門科目のうち，学科所属科目として， 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B	
マーケティング論	4		4		
ブランド･マネジメント	2		2		
サービス･マーケティング	2		2		
エリア･マーケティング	2		2		
デジタル･マーケティング	2		2		
消費者行動論A	2		2		
消費者行動論B	2		2		

消費論	2		2	アントルプルナーシップ論 知的財産権 Management A Management B	
電子商取引	2		2	コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB	
マーケティング・リサーチ	2		2	ベンチャー・ファイナンス 人的資源管理論A 人的資源管理論B	
広告コミュニケーションA	2		2	企業倫理A 企業倫理B	
広告コミュニケーションB	2		2	企業形態論 生産管理論A 生産管理論B	
ビジネス統計	2		2	非営利組織経営学A 非営利組織経営学B	
ソーシャル・マーケティング	2		2	環境経営論 経営学説史 中小企業論A	
グローバル・マーケティングA	2		2	中小企業論B 中小企業経営論 中小企業政策論	
グローバル・マーケティングB	2		2	テクノロジー・マネジメントA テクノロジー・マネジメントB 情報ネットワーク論A	
戦略マーケティングA	2		2	情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス	
戦略マーケティングB	2		2	コンピュータ・システム プログラミング マルチメディア論A	
観光マーケティングA	2		2	マルチメディア論B 情報倫理 情報社会と職業	
観光マーケティングB	2		2	経営情報システムA 経営情報システムB オペレーションズ・リサーチ1	
マーケティング管理A	2		2	オペレーションズ・リサーチ2 情報システム分析論 情報システム設計論	
マーケティング管理B	2		2	Entrepreneurship A Entrepreneurship B	
流通システム論A	2		2	から22単位以上を修得しなければならない。	
流通システム論B	2		2		
物流論	4		4		
国際ビジネスA	2		2	マーケティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて，	
国際ビジネスB	2		2	マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング	
貿易論1	2		2	エリア・マーケティング デジタル・マーケティング 消費者行動論A	
貿易論2	2		2	消費者行動論B 消費論 電子商取引	
貿易政策A	2		2	マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB	
貿易政策B	2		2	ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA	
Marketing A	1		1	グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB	

Ｍａｒｋｅｔｉｎｇ　Ｂ	1		1	観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 マーケティング管理A マーケティング管理B 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法 Marketing A Marketing B ミクロ経済学A ミクロ経済学B 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権 のうちから18単位以上を修得しなければならない。 グローバル・ビジネスコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 サービス・マーケティング デジタル・マーケティング 電子商取引 マーケティング・リサーチ グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法 Marketing A Marketing B ミクロ経済学A ミクロ経済学B	
ミクロ経済学Ａ	2		2		
ミクロ経済学Ｂ	2		2		
マクロ経済学Ａ	2		2		
マクロ経済学Ｂ	2		2		
国際商業史Ａ	2		2		
国際商業史Ｂ	2		2		
近代経済史Ａ	2		2		
近代経済史Ｂ	2		2		
政治経済学Ａ	2		2		
政治経済学Ｂ	2		2		
金融論Ａ	2		2		
金融論Ｂ	2		2		
金融史	2		2		
国際金融論Ａ	2		2		
国際金融論Ｂ	2		2		
国際経済学Ａ	2		2		
国際経済学Ｂ	2		2		
アジア経済論Ａ	2		2		
アジア経済論Ｂ	2		2		
社会保障論Ａ	2		2		
社会保障論Ｂ	2		2		
Global Business A	1		1		
Global Business B	1		1		
民法A（総則・物権）	4		4		

民法B（債権法）	4		4	マクロ経済学A マクロ経済学B 国際商業史A 国際商業史B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B Global Business A Global Business B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 行政法1 行政法2 税法A 税法B 紛争処理法 労働法 国際取引法 事業承継法 金融商品取引法 経済統計学A 経済統計学B Finance & Economy A Finance & Economy B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B アントルプルナーシップ論 知的財産権 Management A Management B Entrepreneurship A Entrepreneurship B 財務会計論1 国際会計論A 国際会計論B Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
商法A（企業取引法）	4		4		
商法B（会社法）	4		4		
行政法1	2		2		
行政法2	2		2		
経済法	2		2		
消費者法	2		2		
税法A	2		2		
税法B	2		2		
紛争処理法	2		2		
労働法	2		2		
国際取引法	2		2		
事業承継法	2		2		
金融機関論A	2		2		
金融機関論B	2		2		
マネー論	2		2		
金融数学	2		2		
保険論A	2		2		
保険論B	2		2		
金融商品取引法	2		2		
証券市場論A	2		2		
証券市場論B	2		2		
リスク・マネジメントA	2		2		
リスク・マネジメントB	2		2		
損害保険論A	2		2		
損害保険論B	2		2		

生命保険論A	2		2	金融エコノミーコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， 電子商取引 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B 金融機関論A 金融機関論B マネー論 金融数学 保険論A 保険論B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 損害保険論A 損害保険論B 生命保険論A 生命保険論B 経済統計学A 経済統計学B 財政学A 財政学B サービス経済論A サービス経済論B 経済地理学A 経済地理学B 日本経済論A 日本経済論B 公共経済学A 公共経済学B 経済政策A 経済政策B 産業組織論A 産業組織論B 経済学説史A 経済学説史B 労働経済論A 労働経済論B Finance & Economy A Finance & Economy B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス のうちから18単位以上を修得しなければならない。
生命保険論B	2		2	
経済統計学A	2		2	
経済統計学B	2		2	
財政学A	2		2	
財政学B	2		2	
サービス経済論A	2		2	
サービス経済論B	2		2	
経済地理学A	2		2	
経済地理学B	2		2	
日本経済論A	2		2	
日本経済論B	2		2	
公共経済学A	2		2	
公共経済学B	2		2	
経済政策A	2		2	
経済政策B	2		2	
産業組織論A	2		2	
産業組織論B	2		2	
経済学説史A	2		2	
経済学説史B	2		2	
労働経済論A	2		2	
労働経済論B	2		2	
Finance & Economy A	1		1	マネジメントコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 デジタル・マーケティング
Finance & Economy B	1		1	

経営管理論A	2		2	ビジネス統計 グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB マーケティング管理A マーケティング管理B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 国際取引法 事業承継法 リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B Management A Management B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業倫理A 企業倫理B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 非営利組織経営学A 非営利組織経営学B 環境経営論 経営学説史 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B	
経営管理論B	2		2		
経営戦略論A	2		2		
経営戦略論B	2		2		
経営組織論A	2		2		
経営組織論B	2		2		
経営史A	2		2		
経営史B	2		2		
ベンチャービジネス論A	2		2		
ベンチャービジネス論B	2		2		
データ解析1	2		2		
データ解析2	2		2		
グローバル・マネジメントA	2		2		
グローバル・マネジメントB	2		2		
比較経営論A	2		2		
比較経営論B	2		2		
経営心理学A	2		2		
経営心理学B	2		2		
アントルプルナーシップ論	2		2		
知的財産権	2		2		
Management A	1		1	のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
Management B	1		1		
コーポレート･ファイナンスA	2		2		
コーポレート･ファイナンスB	2		2	事業創造コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて，	
ベンチャー･ファイナンス	2		2	マーケティング論 ブランド・マネジメント デジタル・マーケティング 電子商取引 ビジネス統計	
人的資源管理論A	2		2		

人的資源管理論B	2		2	ソーシャル・マーケティング 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB	
企業倫理A	2		2	金融論A 金融論B	
企業倫理B	2		2	民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法）	
企業形態論	2		2	税法A 税法B 労働法	
生産管理論A	2		2	事業承継法 証券市場論A 証券市場論B	
生産管理論B	2		2	リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB	
非営利組織経営学A	2		2	労働経済論A 労働経済論B 経営管理論A	
非営利組織経営学B	2		2	経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B	
環境経営論	2		2	経営組織論A 経営組織論B ベンチャービジネス論A	
経営学説史	2		2	ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2	
中小企業論A	2		2	比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A	
中小企業論B	2		2	経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権	
中小企業経営論	2		2	コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス	
中小企業政策論	2		2	人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業形態論	
テクノロジー･マネジメントA	2		2	生産管理論A 生産管理論B 中小企業論A	
テクノロジー･マネジメントB	2		2	中小企業論B 中小企業経営論 中小企業政策論	
情報ネットワーク論A	2		2	テクノロジー・マネジメントA テクノロジー・マネジメントB 情報ネットワーク論A	
情報ネットワーク論B	2		2	情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス	
情報システム	2		2	コンピュータ・システム プログラミング マルチメディア論A	
データサイエンス	2		2	マルチメディア論B 情報倫理 情報社会と職業	
コンピュータ･システム	2		2	経営情報システムA 経営情報システムB オペレーションズ・リサーチ1	
プログラミング	2		2	オペレーションズ・リサーチ2 情報システム分析論 情報システム設計論	
マルチメディア論A	2		2	Entrepreneurship A Entrepreneurship B 財務会計論1	
マルチメディア論B	2		2	原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B	
情報倫理	2		2	財務諸表分析論1 財務諸表分析論2	
情報社会と職業	2		2		

経営情報システムA	2		2	会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
経営情報システムB	2		2		
オペレーションズ･リサーチ1	2		2		
オペレーションズ･リサーチ2	2		2	アカウンティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B データ解析1 データ解析2 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス 経営情報システムA 経営情報システムB 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 制度会計論 コンピュータ会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 環境会計論 経営監査論A 経営監査論B 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
情報システム分析論	2		2		
情報システム設計論	2		2		
Entrepreneurship A	1		1		
Entrepreneurship B	1		1		
簿記論2	4		4		
簿記論3	4		4		
簿記論4	4		4		
財務会計論1	4		4		
財務会計論2	2		2		
財務会計論3	2		2		
原価計算論1	4		4		
原価計算論2	2		2	会計専門職コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法	
原価計算論3	2		2		
会計監査論1	4		4		
会計監査論2	2		2		
会計監査論3	2		2		

管理会計論A	2		2	経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 生産管理論A 生産管理論B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 簿記論2 制度会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 簿記論3 簿記論4 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 経営監査論A 経営監査論B 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論2 会計監査論3 所得税法 消費税法 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
管理会計論B	2		2			
財務諸表分析論1	2		2			
財務諸表分析論2	2		2			
会計実践演習	2		2			
制度会計論	4		4			
コンピュータ会計論	2		2			
税務会計論A	2		2			
税務会計論B	2		2			
会計学説史A	2		2			
会計学説史B	2		2			
国際会計論A	2		2			
国際会計論B	2		2			
環境会計論	2		2			
経営監査論A	2		2			
経営監査論B	2		2			
非営利組織会計論	2		2	上記履修方法で定める単位数以外に，専門基礎科目及び専門科目から18単位以上を修得しなければならない。		
所得税法	2		2			
消費税法	2		2			
Accounting A	1		1			
Accounting B	1		1			
外国書講読A	1		1			
外国書講読B	1		1			
職業指導	4		4			
特殊講義A	2		2			

特殊講義B	2		2		
特殊講義C	2		2		
プロジェクト研究A	2		2		
プロジェクト研究B	2		2		
プロジェクト研究C	2		2		
プロジェクト研究D	2		2		
ゼミナール1	2		2		
ゼミナール2	2		2		
ゼミナール3	2		2		
ゼミナール4	2		2		
卒業論文	6		6		

Ⅲ　会計学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【専門基礎科目】				必修単位数8単位を含め，合計74単位以上を修得しなければならない。	
商学入門1	2	2			
経営学入門1	2	2		専門基礎科目として， 商学入門2 経営学入門2 会計学入門2 経済学入門2 ビジネス法務入門 金融入門 経済・ビジネス数学入門 ビジネス統計入門 キャリアデザイン入門 コンピュータリテラシーA コンピュータリテラシーB 簿記論1 のうちから，8単位以上を修得しなければならない。	
会計学入門1	2	2			
経済学入門1	2	2			
商学入門2	2		2		
経営学入門2	2		2		
会計学入門2	2		2		
経済学入門2	2		2		
ビジネス法務入門	2		2		
金融入門	2		2		
経済･ビジネス数学入門	2		2		

ビジネス統計入門	2		2		
キャリアデザイン入門	2		2		
コンピュータリテラシーA	2		2		
コンピュータリテラシーB	2		2		
簿記論1	4		4		
【専門科目】				専門科目のうち，学科所属科目として， 簿記論2 簿記論3 簿記論4 財務会計論1 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論1 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論1 会計監査論2 会計監査論3 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 制度会計論 コンピュータ会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 環境会計論 経営監査論A 経営監査論B 非営利組織会計論 所得税法 消費税法 Accounting A Accounting B から22単位以上を修得しなければならない。	
マーケティング論	4		4		
ブランド･マネジメント	2		2		
サービス･マーケティング	2		2		
エリア･マーケティング	2		2		
デジタル･マーケティング	2		2		
消費者行動論A	2		2		
消費者行動論B	2		2		
消費論	2		2		
電子商取引	2		2		
マーケティング･リサーチ	2		2		
広告コミュニケーションA	2		2		
広告コミュニケーションB	2		2		
ビジネス統計	2		2		
ソーシャル・マーケティング	2		2		
グローバル･マーケティングA	2		2	マーケティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 ブランド・マネジメント サービス・マーケティング エリア・マーケティング デジタル・マーケティング 消費者行動論A 消費者行動論B 消費論 電子商取引 マーケティング・リサーチ 広告コミュニケーションA 広告コミュニケーションB	
グローバル･マーケティングB	2		2		
戦略マーケティングA	2		2		
戦略マーケティングB	2		2		
観光マーケティングA	2		2		

観光マーケティングB	2		2	ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 マーケティング管理A マーケティング管理B 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 経済法 Marketing A Marketing B ミクロ経済学A ミクロ経済学B 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権 のうちから18単位以上を修得しなければならない。 グローバル・ビジネスコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 サービス・マーケティング デジタル・マーケティング 電子商取引 マーケティング・リサーチ グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 観光マーケティングA 観光マーケティングB 消費者法 流通システム論A 流通システム論B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B	
マーケティング管理A	2		2		
マーケティング管理B	2		2		
流通システム論A	2		2		
流通システム論B	2		2		
物流論	4		4		
国際ビジネスA	2		2		
国際ビジネスB	2		2		
貿易論1	2		2		
貿易論2	2		2		
貿易政策A	2		2		
貿易政策B	2		2		
Marketing A	1		1		
Marketing B	1		1		
ミクロ経済学A	2		2		
ミクロ経済学B	2		2		
マクロ経済学A	2		2		
マクロ経済学B	2		2		
国際商業史A	2		2		
国際商業史B	2		2		
近代経済史A	2		2		
近代経済史B	2		2		
政治経済学A	2		2		
政治経済学B	2		2		
金融論A	2		2		

金融論B	2		2	経済法 Marketing A Marketing B ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 国際商業史A 国際商業史B 近代経済史A 近代経済史B 政治経済学A 政治経済学B 金融論A 金融論B 金融史 国際金融論A 国際金融論B 国際経済学A 国際経済学B アジア経済論A アジア経済論B 社会保障論A 社会保障論B Global Business A Global Business B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 行政法1 行政法2 税法A 税法B 紛争処理法 労働法 国際取引法 事業承継法 金融商品取引法 経済統計学A 経済統計学B Finance & Economy A Finance & Economy B 経営史A 経営史B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B アントルプルナーシップ論 知的財産権 Management A Management B Entrepreneurship A Entrepreneurship B 財務会計論1 国際会計論A 国際会計論B Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
金融史	2		2		
国際金融論A	2		2		
国際金融論B	2		2		
国際経済学A	2		2		
国際経済学B	2		2		
アジア経済論A	2		2		
アジア経済論B	2		2		
社会保障論A	2		2		
社会保障論B	2		2		
Global Business A	1		1		
Global Business B	1		1		
民法A（総則・物権）	4		4		
民法B（債権法）	4		4		
商法A（企業取引法）	4		4		
商法B（会社法）	4		4		
行政法1	2		2		
行政法2	2		2		
経済法	2		2		
消費者法	2		2		
税法A	2		2		
税法B	2		2		
紛争処理法	2		2		
労働法	2		2		
国際取引法	2		2		
事業承継法	2		2		

金融機関論A	2		2			
金融機関論B	2		2			
マネー論	2		2			
金融数学	2		2			
保険論A	2		2			
保険論B	2		2			
金融商品取引法	2		2			
証券市場論A	2		2			
証券市場論B	2		2			
リスク・マネジメントA	2		2			
リスク・マネジメントB	2		2			
損害保険論A	2		2			
損害保険論B	2		2			
生命保険論A	2		2			
生命保険論B	2		2			
経済統計学A	2		2			
経済統計学B	2		2			
財政学A	2		2			
財政学B	2		2			
サービス経済論A	2		2			
サービス経済論B	2		2			
経済地理学A	2		2			
経済地理学B	2		2			
日本経済論A	2		2			
日本経済論B	2		2			
公共経済学A	2		2			
公共経済学B	2		2			
経済政策A	2		2			
経済政策B	2		2			
産業組織論A	2		2			
産業組織論B	2		2			
経済学説史A	2		2			
経済学説史B	2		2			
労働経済論A	2		2			
労働経済論B	2		2			
Finance & Economy A	2		2			
Finance & Economy B	2		2			
コーポレート・ファイナンスA	2		2			
コーポレート・ファイナンスB	2		2			
ベンチャー・ファイナンス	2		2			
電子商取引	2		2			
ミクロ経済学A	2		2			
ミクロ経済学B	2		2			
マクロ経済学A	2		2			
マクロ経済学B	2		2			
近代経済史A	2		2			
近代経済史B	2		2			
政治経済学A	2		2			
政治経済学B	2		2			
金融論A	2		2			
金融論B	2		2			
金融史	2		2			
国際金融論A	2		2			
国際金融論B	2		2			
国際経済学A	2		2			
国際経済学B	2		2			
アジア経済論A	2		2			
アジア経済論B	2		2			
社会保障論A	2		2			
社会保障論B	2		2			

日本経済論B	2		2	マネジメントコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 デジタル・マーケティング ビジネス統計 グローバル・マーケティングA グローバル・マーケティングB 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB マーケティング管理A マーケティング管理B 物流論 国際ビジネスA 国際ビジネスB 貿易論1 貿易論2 貿易政策A 貿易政策B 国際取引法 事業承継法 リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 経営史A 経営史B グローバル・マネジメントA グローバル・マネジメントB 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B Management A Management B コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業倫理A 企業倫理B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 非営利組織経営学A 非営利組織経営学B 環境経営論 経営学説史 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。		
公共経済学A	2		2		
公共経済学B	2		2		
経済政策A	2		2		
経済政策B	2		2		
産業組織論A	2		2		
産業組織論B	2		2		
経済学説史A	2		2		
経済学説史B	2		2		
労働経済論A	2		2		
労働経済論B	2		2		
Finance & Economy A	1		1		
Finance & Economy B	1		1		
経営管理論A	2		2		
経営管理論B	2		2		
経営戦略論A	2		2		
経営戦略論B	2		2		
経営組織論A	2		2		
経営組織論B	2		2		
経営史A	2		2		
経営史B	2		2		
ベンチャービジネス論A	2		2		
ベンチャービジネス論B	2		2		
データ解析1	2		2		
データ解析2	2		2		

グローバル・マネジメントA	2		2	事業創造コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， マーケティング論 ブランド・マネジメント デジタル・マーケティング 電子商取引 ビジネス統計 ソーシャル・マーケティング 戦略マーケティングA 戦略マーケティングB 金融論A 金融論B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 労働法 事業承継法 証券市場論A 証券市場論B リスク・マネジメントA リスク・マネジメントB 労働経済論A 労働経済論B 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B ベンチャービジネス論A ベンチャービジネス論B データ解析1 データ解析2 比較経営論A 比較経営論B 経営心理学A 経営心理学B アントルプルナーシップ論 知的財産権 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB ベンチャー・ファイナンス 人的資源管理論A 人的資源管理論B 企業形態論 生産管理論A 生産管理論B 中小企業論A 中小企業論B 中小企業経営論 中小企業政策論 テクノロジー・マネジメントA テクノロジー・マネジメントB 情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス コンピュータ・システム プログラミング マルチメディア論A マルチメディア論B 情報倫理 情報社会と職業 経営情報システムA 経営情報システムB オペレーションズ・リサーチ1 オペレーションズ・リサーチ2	
グローバル・マネジメントB	2		2		
比較経営論A	2		2		
比較経営論B	2		2		
経営心理学A	2		2		
経営心理学B	2		2		
アントルプルナーシップ論	2		2		
知的財産権	2		2		
Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ Ａ	1		1		
Ｍａｎａｇｅｍｅｎｔ Ｂ	1		1		
コーポレート･ファイナンスA	2		2		
コーポレート･ファイナンスB	2		2		
ベンチャー･ファイナンス	2		2		
人的資源管理論A	2		2		
人的資源管理論B	2		2		
企業倫理A	2		2		
企業倫理B	2		2		
企業形態論	2		2		
生産管理論A	2		2		
生産管理論B	2		2		
非営利組織経営学A	2		2		
非営利組織経営学B	2		2		
環境経営論	2		2		
経営学説史	2		2		
中小企業論A	2		2		
中小企業論B	2		2		

中小企業経営論	2		2	情報システム分析論 情報システム設計論 Entrepreneurship A Entrepreneurship B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 経営監査論A 経営監査論B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
中小企業政策論	2		2		
テクノロジー・マネジメントA	2		2		
テクノロジー・マネジメントB	2		2		
情報ネットワーク論A	2		2		
情報ネットワーク論B	2		2		
情報システム	2		2		
データサイエンス	2		2		
コンピュータ・システム	2		2	アカウンティングコースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 証券市場論A 証券市場論B データ解析1 データ解析2 コーポレート・ファイナンスA コーポレート・ファイナンスB 情報ネットワーク論A 情報ネットワーク論B 情報システム データサイエンス 経営情報システムA 経営情報システムB 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 会計実践演習 簿記論2 制度会計論 コンピュータ会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 環境会計論 経営監査論A 経営監査論B 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
プログラミング	2		2		
マルチメディア論A	2		2		
マルチメディア論B	2		2		
情報倫理	2		2		
情報社会と職業	2		2		
経営情報システムA	2		2		
経営情報システムB	2		2		
オペレーションズ・リサーチ1	2		2		
オペレーションズ・リサーチ2	2		2		
情報システム分析論	2		2		
情報システム設計論	2		2		
Entrepreneurship A	1		1		
Entrepreneurship B	1		1		
簿記論2	4		4		

簿記論3	4		4	会計専門職コースは，学科所属として修得した授業科目の単位を除いて， ビジネス統計 ミクロ経済学A ミクロ経済学B マクロ経済学A マクロ経済学B 民法A（総則・物権） 民法B（債権法） 商法A（企業取引法） 商法B（会社法） 税法A 税法B 金融商品取引法 経営管理論A 経営管理論B 経営戦略論A 経営戦略論B 経営組織論A 経営組織論B 生産管理論A 生産管理論B 財務会計論1 原価計算論1 管理会計論A 管理会計論B 財務諸表分析論1 財務諸表分析論2 簿記論2 制度会計論 税務会計論A 税務会計論B 会計監査論1 簿記論3 簿記論4 会計学説史A 会計学説史B 国際会計論A 国際会計論B 経営監査論A 経営監査論B 財務会計論2 財務会計論3 原価計算論2 原価計算論3 会計監査論2 会計監査論3 所得税法 消費税法 非営利組織会計論 Accounting A Accounting B のうちから18単位以上を修得しなければならない。	
簿記論4	4		4		
財務会計論1	4		4		
財務会計論2	2		2		
財務会計論3	2		2		
原価計算論1	4		4		
原価計算論2	2		2		
原価計算論3	2		2		
会計監査論1	4		4		
会計監査論2	2		2		
会計監査論3	2		2		
管理会計論A	2		2		
管理会計論B	2		2		
財務諸表分析論1	2		2		
財務諸表分析論2	2		2		
会計実践演習	2		2		
制度会計論	4		4		
コンピュータ会計論	2		2		
税務会計論A	2		2	上記履修方法で定める単位数以外に，専門基礎科目及び専門科目から18単位以上を修得しなければならない。	
税務会計論B	2		2		
会計学説史A	2		2		
会計学説史B	2		2		

国際会計論A	2		2		
国際会計論B	2		2		
環境会計論	2		2		
経営監査論A	2		2		
経営監査論B	2		2		
非営利組織会計論	2		2		
所得税法	2		2		
消費税法	2		2		
Ａｃｃｏｕｎｔｉｎｇ Ａ	1		1		
Ａｃｃｏｕｎｔｉｎｇ Ｂ	1		1		
外国書講読A	1		1		
外国書講読B	1		1		
職業指導	4		4		
特殊講義A	2		2		
特殊講義B	2		2		
特殊講義C	2		2		
プロジェクト研究A	2		2		
プロジェクト研究B	2		2		
プロジェクト研究C	2		2		
プロジェクト研究D	2		2		
ゼミナール1	2		2		
ゼミナール2	2		2		
ゼミナール3	2		2		
ゼミナール4	2		2		
卒業論文	6		6		

第５節　芸術学部

第84条　芸術学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な単位数は，科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（第Ⅲ群の科目を除く）を含め，総計124単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

２　第Ⅰ群　芸術教養課程科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
芸術教養科目				芸術教養科目は,14単位以上を修得しなければならない。 外国語科目は，英語Ⅰ～Ⅷ，ドイツ語Ⅰ～Ⅷ，フランス語Ⅰ～Ⅷ,イタリア語Ⅰ～Ⅷ，中国語Ⅰ～Ⅷ，日本語Ⅰ～Ⅷ(外国人留学生のみ履修できる)から，1か国語4単位を含め,8単位以上を修得しなければならない。 なお,外国人留学生は母語となる外国語科目を履修できない。 保健体育科目は,必修単位数3単位を修得しなければならない。	
知の探究Ⅰ	2		2		
知の探究Ⅱ	2		2		
ロゴスの探究Ⅰ	2		2		
ロゴスの探究Ⅱ	2		2		
エチカの探究Ⅰ	2		2		
エチカの探究Ⅱ	2		2		
歴史と文化	2		2		
文学の世界Ⅰ	2		2		
文学の世界Ⅱ	2		2		
法と政治	2		2		
日本国憲法	2		2		
社会現象の解読Ⅰ	2		2		
社会現象の解読Ⅱ	2		2		
芸術文化の経済Ⅰ	2		2		
芸術文化の経済Ⅱ	2		2		
人間の心理Ⅰ	2		2		
人間の心理Ⅱ	2		2		

芸術と心理Ⅰ	2		2			
芸術と心理Ⅱ	2		2			
数学的思考の探究Ⅰ	2		2			
数学的思考の探究Ⅱ	2		2			
情報Ⅰ	2		2			
情報Ⅱ	2		2			
自然科学Ⅰ	2		2			
自然科学Ⅱ	2		2			
自然の探究Ⅰ	2		2			
自然の探究Ⅱ	2		2			
言葉のしくみ	2		2			
美学Ⅰ	2		2			
美学Ⅱ	2		2			
美学Ⅲ	2		2			
美学Ⅳ	2		2			
芸術学Ⅰ	2		2			
芸術学Ⅱ	2		2			
芸術学Ⅲ	2		2			
芸術学Ⅳ	2		2			
芸術の思想と表現Ⅰ	2		2			
芸術の思想と表現Ⅱ	2		2			
音楽と情報	2		2			
芸術文化と福祉	2		2			
色彩の基礎	2		2			
モード論	2		2			
日本の芸能史	2		2			
民俗芸能文化論	2		2			
アートと教育	2		2			
シナリオ分析	2		2			
メディア・リテラシーⅠ	2		2			

メディア・リテラシーⅡ	2		2			
東アジア世界の考古学Ⅰ	2		2			
東アジア世界の考古学Ⅱ	2		2			
形象文化論	2		2			
表演芸術論	2		2			
メディア芸術論	2		2			
芸術理論研究	2		2			
芸術特殊研究	2		2			
芸術総合講座Ⅰ	2		2			
芸術総合講座Ⅱ	2		2			
芸術総合講座Ⅲ	2		2			
芸術総合講座Ⅳ	2		2			
芸術総合講座Ⅴ	2		2			
芸術総合講座Ⅵ	2		2			
芸術総合講座Ⅶ	2		2			
芸術総合講座Ⅷ	2		2			
芸術総合講座Ⅸ	2		2			
芸術総合講座Ⅹ	2		2			
芸術と身体	1		1			
芸術理論演習Ⅰ	1		1			
芸術理論演習Ⅱ	1		1			
芸術批評演習Ⅰ	1		1			
芸術批評演習Ⅱ	1		1			
芸術リサーチ演習Ⅰ	1		1			
芸術リサーチ演習Ⅱ	1		1			
Culture and Society	1		1			
外国語科目						
英語Ⅰ	1		1			
英語Ⅱ	1		1			
英語Ⅲ	1		1			

英語	Ⅳ	1		1			
英語	Ⅴ	1		1			
英語	Ⅵ	1		1			
英語	Ⅶ	1		1			
英語	Ⅷ	1		1			
ドイツ語	Ⅰ	1		1			
ドイツ語	Ⅱ	1		1			
ドイツ語	Ⅲ	1		1			
ドイツ語	Ⅳ	1		1			
ドイツ語	Ⅴ	1		1			
ドイツ語	Ⅵ	1		1			
ドイツ語	Ⅶ	1		1			
ドイツ語	Ⅷ	1		1			
フランス語	Ⅰ	1		1			
フランス語	Ⅱ	1		1			
フランス語	Ⅲ	1		1			
フランス語	Ⅳ	1		1			
フランス語	Ⅴ	1		1			
フランス語	Ⅵ	1		1			
フランス語	Ⅶ	1		1			
フランス語	Ⅷ	1		1			
イタリア語	Ⅰ	1		1			
イタリア語	Ⅱ	1		1			
イタリア語	Ⅲ	1		1			
イタリア語	Ⅳ	1		1			
イタリア語	Ⅴ	1		1			
イタリア語	Ⅵ	1		1			
イタリア語	Ⅶ	1		1			
イタリア語	Ⅷ	1		1			
中国語	Ⅰ	1		1			

中国語Ⅱ	1		1			
中国語Ⅲ	1		1			
中国語Ⅳ	1		1			
中国語Ⅴ	1		1			
中国語Ⅵ	1		1			
中国語Ⅶ	1		1			
中国語Ⅷ	1		1			
日本語Ⅰ	1		1			
日本語Ⅱ	1		1			
日本語Ⅲ	1		1			
日本語Ⅳ	1		1			
日本語Ⅴ	1		1			
日本語Ⅵ	1		1			
日本語Ⅶ	1		1			
日本語Ⅷ	1		1			
応用英語Ⅰ	1		1			
応用英語Ⅱ	1		1			
応用英語Ⅲ	1		1			
応用英語Ⅳ	1		1			
応用英語Ⅴ	1		1			
応用英語Ⅵ	1		1			
応用英語Ⅶ	1		1			
応用英語Ⅷ	1		1			
実践ドイツ語Ⅰ	1		1			
実践ドイツ語Ⅱ	1		1			
実践ドイツ語Ⅲ	1		1			
実践ドイツ語Ⅳ	1		1			
実践フランス語Ⅰ	1		1			
実践フランス語Ⅱ	1		1			
実践フランス語Ⅲ	1		1			

実践フランス語Ⅳ	1		1		
実践イタリア語Ⅰ	1		1		
実践イタリア語Ⅱ	1		1		
実践中国語Ⅰ	1		1		
実践中国語Ⅱ	1		1		
実践日本語Ⅰ	1		1	外国人留学生のみ履修できる。	
実践日本語Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅰ	1		1		
韓国語Ⅱ	1		1		
スペイン語Ⅰ	1		1		
スペイン語Ⅱ	1		1		
ラテン語Ⅰ	1		1		
ラテン語Ⅱ	1		1		
海外語学研修Ⅰ	2		2		
海外語学研修Ⅱ	2		2		
海外語学研修Ⅲ	1		1		
海外語学研修Ⅳ	1		1		
検定英語	2		2		
検定ドイツ語	2		2		
検定フランス語	2		2		
検定イタリア語	2		2		
検定中国語	2		2		
保健体育科目					
健康・スポーツ科学	2	2			
体育実技Ⅰ	1	1			
体育実技Ⅱ	1		1		
体育実技Ⅲ	1		1		
体育実技Ⅳ	1		1		
体育実技Ⅴ	1		1		
体育実技Ⅵ	1		1		

3　第Ⅱ群　（学科別授業科目）

Ⅰ　写真学科					
授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
A　理論・歴史部門				必修単位数46単位を含め,合計58単位以上を修得しなければならない。 写真作家作品研究Ⅰ～Ⅵのうちから6単位以上を修得しなければならない。 所属学科以外の学科別授業科目は,指定された科目のみ履修することができる。	
写真芸術学Ⅰ	2	2			
写真芸術学Ⅱ	2	2			
写真史Ⅰ	2	2			
写真史Ⅱ	2	2			
イメージングプロセス論Ⅰ	2	2			
イメージングプロセス論Ⅱ	2	2			
写真光学	2	2			
カメラメカニズム	2		2		
写真色彩学概論	2	2			
写真印刷	2		2		
B　研究部門					
写真作家作品研究Ⅰ	2		2		
写真作家作品研究Ⅱ	2		2		
写真作家作品研究Ⅲ	2		2		
写真作家作品研究Ⅳ	2		2		
写真作家作品研究Ⅴ	2		2		
写真作家作品研究Ⅵ	2		2		
写真表現研究Ⅰ	2		2		
写真表現研究Ⅱ	2		2		
写真表現研究Ⅲ	2		2		
写真表現研究Ⅳ	2		2		
写真表現研究Ⅴ	2		2		
写真表現研究Ⅵ	2		2		
写真表現研究Ⅶ	2		2		
写真表現研究Ⅷ	2		2		
写真特別講座Ⅰ	2		2		
写真特別講座Ⅱ	2		2		
C　表現技術部門					
写真技術Ⅰ	2		2		

写真技術Ⅱ	2		2		
写真技術Ⅲ	2		2		
写真技術Ⅳ	2		2		
写真技術Ⅴ	2		2		
写真技術Ⅵ	2		2		
写真表現Ⅰ	4		4		
写真表現Ⅱ	2		2		
写真表現Ⅲ	2		2		
写真表現Ⅳ	2		2		
写真表現Ⅴ	2		2		
写真表現Ⅵ	2		2		
インターンシップ	2		2		
写真基礎演習Ⅰ	6	6			
写真基礎演習Ⅱ	6	6			
写真基礎演習Ⅲ	4	4			
ゼミナール	4	4			
論文・制作特殊研究	2	2			
卒業論文・制作	8	8			

Ⅱ　映画学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				必修単位数18単位を含め,合計58単位以上を修得しなければならない。 映像表現・理論コースは,映像表現･理論Ⅰ～Ⅱを必修とする。 監督コースは,映画演出Ⅰ～Ⅱを必修とする。 撮影・録音コースは,映画技術Ⅰ～Ⅱを必修とする。 演技コースは,映画演技基礎Ⅰ～Ⅱを必修とする。 所属学科以外の学科別授	
映画芸術学Ⅰ	2	2			
映画芸術学Ⅱ	2	2			
映画と諸芸術Ⅰ	2		2		
映画と諸芸術Ⅱ	2		2		
映像概論	2		2		
映像心理学Ⅰ	2		2		
映像心理学Ⅱ	2		2		
日本映画史Ⅰ	2	2			
日本映画史Ⅱ	2		2		

外国映画史Ⅰ	2	2		業科目は,指定された科目のみ履修することができる。	
外国映画史Ⅱ	2		2		
外国映画史Ⅲ	2		2		
外国映画史Ⅳ	2		2		
映画理論基礎	2		2		
前衛映画史Ⅰ	2		2		
前衛映画史Ⅱ	2		2		
ドキュメンタリー映画史Ⅰ	2		2		
ドキュメンタリー映画史Ⅱ	2		2		
B　研究部門					
シナリオ論Ⅰ	2	2			
シナリオ論Ⅱ	2		2		
映画作品研究Ⅰ	2		2		
映画作品研究Ⅱ	2		2		
映画鑑賞批評Ⅰ	2		2		
映画鑑賞批評Ⅱ	2		2		
作品批評演習Ⅰ	2		2		
作品批評演習Ⅱ	2		2		
映画文献研究Ⅰ	2		2		
映画文献研究Ⅱ	2		2		
映画特講Ⅰ	2		2		
映画特講Ⅱ	2		2		
映画特講Ⅲ	2		2		
映画特講Ⅳ	2		2		
映画特講Ⅴ	2		2		
映画特講Ⅵ	2		2		
映画特講Ⅶ	2		2		
映画特講Ⅷ	2		2		
映画特講Ⅸ	2		2		
映画特講Ⅹ	2		2		
映像企画発想論Ⅰ	2		2		
映像企画発想論Ⅱ	2		2		
映像メディア論Ⅰ	2		2		

映像メディア論Ⅱ	2		2			
映画ビジネスⅠ	2		2			
映画ビジネスⅡ	2		2			
映画ビジネスⅢ	2		2			
映画ビジネスⅣ	2		2			
映像特別講座Ⅰ	2		2			
映像特別講座Ⅱ	2		2			
C　表現技術部門						
映像表現・理論Ⅰ	3		3			
映像表現・理論Ⅱ	3		3			
映像表現・理論Ⅲ	3		3			
映像表現・理論Ⅳ	3		3			
映像表現・理論Ⅴ	3		3			
映像表現・理論Ⅵ	3		3			
映画基礎演習Ⅰ	1		1			
映画基礎演習Ⅱ	1		1			
映画演出論Ⅰ	2		2			
映画演出論Ⅱ	2		2			
映画演技論Ⅰ	2		2			
映画演技論Ⅱ	2		2			
映画音楽Ⅰ	2		2			
映画音楽Ⅱ	2		2			
映画技術論Ⅰ	2		2			
映画技術論Ⅱ	2		2			
センシトメトリーⅠ	2		2			
センシトメトリーⅡ	2		2			
映画演技研究Ⅰ	1		1			
映画演技研究Ⅱ	1		1			
音響基礎	2		2			
電気基礎	2		2			
映画批評研究Ⅰ	2		2			
映画批評研究Ⅱ	2		2			
映画理論演習	2		2			

シナリオ創作Ⅰ	1		1			
シナリオ創作Ⅱ	1		1			
シナリオ基礎	2		2			
シナリオ演習Ⅰ	2		2			
シナリオ演習Ⅱ	2		2			
映画演出Ⅰ	3		3			
映画演出Ⅱ	3		3			
映画演出Ⅲ	4		4			
映画演出Ⅳ	4		4			
映画演出Ⅴ	4		4			
映画演出Ⅵ	4		4			
映画演出基礎Ⅰ	2		2			
映画演出基礎Ⅱ	2		2			
演技指導演習Ⅰ	2		2			
演技指導演習Ⅱ	2		2			
映画演技基礎Ⅰ	1		1			
映画演技基礎Ⅱ	1		1			
映画演技実習Ⅰ	1		1			
映画演技実習Ⅱ	1		1			
映画演技実習Ⅲ	1		1			
映画演技実習Ⅳ	1		1			
発声Ⅰ	1		1			
発声Ⅱ	1		1			
発声Ⅲ	1		1			
発声Ⅳ	1		1			
発声Ⅴ	1		1			
発声Ⅵ	1		1			
音楽Ⅰ	1		1			
音楽Ⅱ	1		1			
音楽Ⅲ	1		1			
音楽Ⅳ	1		1			
音楽Ⅴ	1		1			
音楽Ⅵ	1		1			

日舞Ⅰ	1		1				
日舞Ⅱ	1		1				
日舞Ⅲ	1		1				
日舞Ⅳ	1		1				
日舞Ⅴ	1		1				
日舞Ⅵ	1		1				
洋舞Ⅰ	1		1				
洋舞Ⅱ	1		1				
洋舞Ⅲ	1		1				
洋舞Ⅳ	1		1				
洋舞Ⅴ	1		1				
洋舞Ⅵ	1		1				
映画技術基礎Ⅰ	2		2				
映画技術基礎Ⅱ	2		2				
映画技術Ⅰ	3		3				
映画技術Ⅱ	3		3				
映画技術Ⅲ	4		4				
映画技術Ⅳ	4		4				
映画技術Ⅴ	4		4				
映画技術Ⅵ	4		4				
撮影研究Ⅰ	2		2				
撮影研究Ⅱ	2		2				
映画編集	2		2				
録音研究Ⅰ	2		2				
録音研究Ⅱ	2		2				
映像技術基礎	2		2				
映像メディア演習	2		2				
映像メディア実習	2		2				
アニメーションⅠ	2		2				
アニメーションⅡ	2		2				
アニメーション研究Ⅰ	2		2				
アニメーション研究Ⅱ	2		2				
メディアアート概論	2		2				

メディアアート演習	2		2		
CGI演習Ⅰ	2		2		
CGI演習Ⅱ	2		2		
制作演習Ⅰ	1		1		
制作演習Ⅱ	1		1		
制作演習Ⅲ	1		1		
制作演習Ⅳ	1		1		
総合制作演習Ⅰ	1		1		
総合制作演習Ⅱ	1		1		
映画技術演習	1		1		
映画撮影演習	2		2		
卒業論文・制作・研究	8	8			

Ⅲ　美術学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				A　理論・歴史部門 B　研究部門	
美術学Ⅰ	2		2	C　表現技術部門　より	
美術学Ⅱ	2		2	必修単位数11単位を含め, 合計58単位以上を修得し	
解剖学	2		2	なければならない。	
美術史概論Ⅰ	2		2	コース共通で	
美術史概論Ⅱ	2		2	美術史概論Ⅰ～Ⅳ のうちから4単位以上,	
美術史概論Ⅲ	2		2	西洋美術史Ⅰ～Ⅱ 日本美術史Ⅰ～Ⅱ	
美術史概論Ⅳ	2		2	東洋美術史Ⅰ～Ⅱ	
西洋美術史Ⅰ	2		2	のうちから8単位以上,	
西洋美術史Ⅱ	2		2	美術作品研究Ⅰ～Ⅳ のうちから4単位以上を修	
日本美術史Ⅰ	2		2	得しなければならない。	
日本美術史Ⅱ	2		2	絵画(絵画)コースは,絵画	
東洋美術史Ⅰ	2		2	Ⅰ～Ⅷを必修とする。 絵画(版画)コースは,版画	
東洋美術史Ⅱ	2		2	Ⅰ～Ⅷを必修とする。	
B　研究部門					
美的構成研究Ⅰ	2		2	彫刻コースは,コース共通	

美的構成研究Ⅱ	2		2	で彫刻基礎Ⅰ～Ⅱ,彫刻応用Ⅰ～Ⅱを必修とする。	
版画概論Ⅰ	2		2	彫刻(彫刻)コースは,彫刻Ⅰ～Ⅳを必修とする。	
版画概論Ⅱ	2		2	彫刻(地域芸術)コースは,地域芸術Ⅰ～Ⅳを必修とする。	
美術作品研究Ⅰ	2		2		
美術作品研究Ⅱ	2		2		
美術作品研究Ⅲ	2		2	D 教職教科部門は卒業に必要な単位数より除く。	
美術作品研究Ⅳ	2		2		
美術特別講座Ⅰ	2		2	所属学科以外の学科別授業科目は,指定された科目のみ履修することができる。	
美術特別講座Ⅱ	2		2		
古美術研究Ⅰ	2		2		
古美術研究Ⅱ	2		2		
美術特別研究Ⅰ	2		2		
美術特別研究Ⅱ	2		2		
C 表現技術部門					
デッサン	1	1			
彫刻基礎Ⅰ	2		2		
彫刻基礎Ⅱ	5		5		
彫刻Ⅰ	5		5		
彫刻Ⅱ	5		5		
彫刻Ⅲ	5		5		
彫刻Ⅳ	5		5		
彫刻応用Ⅰ	5		5		
彫刻応用Ⅱ	5		5		
地域芸術Ⅰ	5		5		
地域芸術Ⅱ	5		5		
地域芸術Ⅲ	5		5		
地域芸術Ⅳ	5		5		
絵画Ⅰ	2		2		
絵画Ⅱ	5		5		
絵画Ⅲ	5		5		
絵画Ⅳ	5		5		
絵画Ⅴ	5		5		

絵画 Ⅵ	5		5		
絵画 Ⅶ	5		5		
絵画 Ⅷ	5		5		
版画 Ⅰ	2		2		
版画 Ⅱ	5		5		
版画 Ⅲ	5		5		
版画 Ⅳ	5		5		
版画 Ⅴ	5		5		
版画 Ⅵ	5		5		
版画 Ⅶ	5		5		
版画 Ⅷ	5		5		
版画基礎	1	1			
彫塑	1	1			
卒業論文・制作	8	8			
D 教職教科部門					
デザイン論	2		2		
図学	2		2		
映像メディア研究	1		1		
美術教材研究Ⅰ	2		2		
美術教材研究Ⅱ	2		2		
工芸演習	2		2		

Ⅳ 音楽学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門				必修単位数16単位を含め，合計58単位以上を修得しなければならない。 作曲・理論コースは，コース共通で 音楽形式学Ⅱ 和声Ⅰ～Ⅱ 副科ピアノⅠ～Ⅳ 副科声楽Ⅰ～Ⅱ 合唱Ⅰ～Ⅱ ソルフェージュⅠ～Ⅳ	
音楽学Ⅰ	2	2			
音楽学Ⅱ	2	2			
音楽学Ⅲ	2		2		
音楽学Ⅳ	2		2		
音楽概論	2		2		
音楽形式学Ⅰ	2	2			
音楽形式学Ⅱ	2		2		

音楽教育学Ⅰ	2		2	を必修とする。	
音楽教育学Ⅱ	2		2	作曲・理論(作曲)コースは,	
音声学	2		2	作曲論	
作曲論	2		2	記譜法	
演奏論Ⅰ	2		2	作曲Ⅰ～Ⅵ	
演奏論Ⅱ	2		2	和声Ⅲ～Ⅳ	
音楽史Ⅰ	2	2		フーガⅠ～Ⅱ	
音楽史Ⅱ	2		2	編曲法Ⅰ～Ⅱ	
音楽史Ⅲ	2		2	を必修とする。	
音楽史Ⅳ	2		2	作曲・理論(理論)コースは,	
音楽史Ⅴ	2		2	音楽学Ⅲ～Ⅳ	
B 研究部門				音楽文献原典講読Ⅰ	
				ゼミナールⅠ～Ⅱ	
音楽教育研究Ⅰ	2		2	プロジェクトⅠ～Ⅱ	
音楽教育研究Ⅱ	2		2	を必修とし,	
音楽教育研究Ⅲ	2		2	音楽作品研究	
音楽教育研究Ⅳ	2		2	音楽作品分析	
音楽教育研究Ⅴ	2		2	日本の伝統音楽研究	
音楽教育研究Ⅵ	2		2	民族音楽研究	
情報音楽基礎Ⅰ	2		2	のうちから，4単位以上を	
情報音楽実践Ⅰ	2		2	修得しなければならない。	
情報音楽基礎Ⅱ	2		2		
情報音楽実践Ⅱ	2		2	音楽教育コースは,	
情報音楽基礎Ⅲ	2		2	音楽形式学Ⅱ	
情報音楽実践Ⅲ	2		2	音楽教育学Ⅰ～Ⅱ	
情報音楽基礎Ⅳ	2		2	和声Ⅰ～Ⅱ	
情報音楽実践Ⅳ	2		2	副科ピアノⅠ～Ⅳ	
音楽療法研究Ⅰ	2		2	副科声楽Ⅰ～Ⅱ	
音楽療法研究Ⅱ	2		2	合唱Ⅰ～Ⅳ	
音楽作品研究	2		2	ソルフェージュⅠ～Ⅳ	
音楽作品分析	2		2	ゼミナールⅠ～Ⅱ	
				を必修とする。	
日本の伝統音楽研究	2		2		
				声楽コースは,	
民族音楽研究	2		2	音楽形式学Ⅱ	
				和声Ⅰ～Ⅱ	
				副科ピアノⅠ～Ⅳ	
				声楽Ⅰ～Ⅵ	
				合唱Ⅰ～Ⅳ	
				オペラⅠ～Ⅳ	
				ソルフェージュⅠ～Ⅳ	
				を必修とする。	
				ピアノコースは,	
				音楽形式学Ⅱ	

ジャズ研究	2	2	演奏論Ⅰ～Ⅱ 和声Ⅰ～Ⅱ	
ポピュラー音楽研究	2	2	ピアノⅠ～Ⅵ	
記譜法	2	2	副科声楽Ⅰ～Ⅱ 合唱Ⅰ～Ⅱ	
歌曲研究Ⅰ	2	2	ソルフェージュⅠ～Ⅳ	
歌曲研究Ⅱ	2	2	を必修とする。	
ミュージカル概論	2	2		
音楽マネージメント	2	2	弦管打楽コースは,コース	
吹奏楽研究	2	2	共通で 音楽形式学Ⅱ	
音楽文献原典講読Ⅰ	2	2	和声Ⅰ～Ⅱ	
音楽文献原典講読Ⅱ	2	2	副科ピアノⅠ～Ⅳ 副科声楽Ⅰ～Ⅱ	
音楽キャリア論	2	2	合唱Ⅰ～Ⅱ	
古楽概論	2	2	オーケストラⅠ～Ⅵ 室内楽Ⅰ～Ⅳ	
C 表現技術部門			ソルフェージュⅠ～Ⅱ	
作曲Ⅰ	2	2	を必修とする。	
作曲Ⅱ	2	2	弦管打楽(弦楽)コースは	
作曲Ⅲ	2	2	弦楽器Ⅰ～Ⅵ 室内楽Ⅴ～Ⅵ	
作曲Ⅳ	2	2	を必修とする。	
作曲Ⅴ	2	2	弦管打楽(管打楽)コースは	
作曲Ⅵ	2	2	管打楽器Ⅰ～Ⅵ 吹奏楽Ⅰ～Ⅵ	
作曲Ⅶ	2	2	を必修とする。	
作曲Ⅷ	2	2		
副科作曲Ⅰ	1	1	情報音楽コースは,	
副科作曲Ⅱ	1	1	情報音楽基礎Ⅰ～Ⅳ キーボード･ハーモニーⅠ	
副科作曲Ⅲ	1	1	ボーカル･トレーニングⅠ	
副科作曲Ⅳ	1	1	デジタルコンテンツ制作Ⅰ ゼミナールⅠ～Ⅱ	
和声Ⅰ	1	1	プロジェクトⅠ～Ⅳ	
和声Ⅱ	1	1	を必修とする。	
和声Ⅲ	1	1	所属学科以外の学科別授	
和声Ⅳ	1	1	業科目は,指定された科目 のみ履修することができる。	
和声Ⅴ	1	1		
和声Ⅵ	1	1		
フーガⅠ	1	1		

フーガⅡ	1		1			
編曲法Ⅰ	1		1			
編曲法Ⅱ	1		1			
ピアノⅠ	2		2			
ピアノⅡ	2		2			
ピアノⅢ	2		2			
ピアノⅣ	2		2			
ピアノⅤ	2		2			
ピアノⅥ	2		2			
ピアノⅦ	2		2			
ピアノⅧ	2		2			
副科ピアノⅠ	1		1			
副科ピアノⅡ	1		1			
副科ピアノⅢ	1		1			
副科ピアノⅣ	1		1			
副科ピアノⅤ	1		1			
副科ピアノⅥ	1		1			
特殊鍵盤楽器Ⅰ	1		1			
特殊鍵盤楽器Ⅱ	1		1			
特殊鍵盤楽器Ⅲ	1		1			
特殊鍵盤楽器Ⅳ	1		1			
伴奏法Ⅰ	1		1			
伴奏法Ⅱ	1		1			
伴奏法Ⅲ	1		1			
伴奏法Ⅳ	1		1			
声楽Ⅰ	2		2			
声楽Ⅱ	2		2			
声楽Ⅲ	2		2			
声楽Ⅳ	2		2			
声楽Ⅴ	2		2			
声楽Ⅵ	2		2			
声楽Ⅶ	2		2			
声楽Ⅷ	2		2			

副科声楽Ⅰ	1		1			
副科声楽Ⅱ	1		1			
副科声楽Ⅲ	1		1			
副科声楽Ⅳ	1		1			
副科声楽Ⅴ	1		1			
副科声楽Ⅵ	1		1			
合唱Ⅰ	1		1			
合唱Ⅱ	1		1			
合唱Ⅲ	1		1			
合唱Ⅳ	1		1			
合唱Ⅴ	1		1			
合唱Ⅵ	1		1			
合唱Ⅶ	1		1			
合唱Ⅷ	1		1			
オペラⅠ	1		1			
オペラⅡ	1		1			
オペラⅢ	1		1			
オペラⅣ	1		1			
オペラⅤ	1		1			
オペラⅥ	1		1			
弦楽器Ⅰ	2		2			
弦楽器Ⅱ	2		2			
弦楽器Ⅲ	2		2			
弦楽器Ⅳ	2		2			
弦楽器Ⅴ	2		2			
弦楽器Ⅵ	2		2			
弦楽器Ⅶ	2		2			
弦楽器Ⅷ	2		2			
副科弦楽器Ⅰ	1		1			
副科弦楽器Ⅱ	1		1			
副科弦楽器Ⅲ	1		1			
副科弦楽器Ⅳ	1		1			
管打楽器Ⅰ	2		2			

管打楽器Ⅱ	2		2				
管打楽器Ⅲ	2		2				
管打楽器Ⅳ	2		2				
管打楽器Ⅴ	2		2				
管打楽器Ⅵ	2		2				
管打楽器Ⅶ	2		2				
管打楽器Ⅷ	2		2				
副科管打楽器Ⅰ	1		1				
副科管打楽器Ⅱ	1		1				
副科管打楽器Ⅲ	1		1				
副科管打楽器Ⅳ	1		1				
オーケストラⅠ	1		1				
オーケストラⅡ	1		1				
オーケストラⅢ	1		1				
オーケストラⅣ	1		1				
オーケストラⅤ	1		1				
オーケストラⅥ	1		1				
オーケストラⅦ	1		1				
オーケストラⅧ	1		1				
吹奏楽Ⅰ	1		1				
吹奏楽Ⅱ	1		1				
吹奏楽Ⅲ	1		1				
吹奏楽Ⅳ	1		1				
吹奏楽Ⅴ	1		1				
吹奏楽Ⅵ	1		1				
吹奏楽Ⅶ	1		1				
吹奏楽Ⅷ	1		1				
室内楽Ⅰ	1		1				
室内楽Ⅱ	1		1				
室内楽Ⅲ	1		1				
室内楽Ⅳ	1		1				
室内楽Ⅴ	1		1				
室内楽Ⅵ	1		1				

室内楽Ⅶ	1		1			
室内楽Ⅷ	1		1			
ピアノデュオⅠ	2		2			
ピアノデュオⅡ	2		2			
ピアノデュオⅢ	2		2			
ピアノデュオⅣ	2		2			
キーボード・ハーモニーⅠ	1		1			
キーボード・ハーモニーⅡ	1		1			
ボーカル・トレーニングⅠ	1		1			
ボーカル・トレーニングⅡ	1		1			
デジタルコンテンツ制作Ⅰ	2		2			
デジタルコンテンツ制作Ⅱ	2		2			
ソルフェージュⅠ	1		1			
ソルフェージュⅡ	1		1			
ソルフェージュⅢ	1		1			
ソルフェージュⅣ	1		1			
ソルフェージュⅤ	1		1			
ソルフェージュⅥ	1		1			
指揮法演習Ⅰ	1		1			
指揮法演習Ⅱ	1		1			
音楽教材演習Ⅰ	1		1			
音楽教材演習Ⅱ	1		1			
教育用楽器等合奏法Ⅰ	1		1			
教育用楽器等合奏法Ⅱ	1		1			
音楽療法演習Ⅰ	1		1			
音楽療法演習Ⅱ	1		1			
音楽療法実習Ⅰ	1		1			
音楽療法実習Ⅱ	1		1			
ゼミナールⅠ	1		1			
ゼミナールⅡ	1		1			
ゼミナールⅢ	1		1			
ゼミナールⅣ	1		1			
音楽共同制作	1		1			

プロジェクトⅠ	1		1		
プロジェクトⅡ	1		1		
プロジェクトⅢ	1		1		
プロジェクトⅣ	1		1		
卒業論文・演奏・作品	8	8			

Ⅴ　文芸学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				A　理論・歴史部門 B　研究部門 C　表現技術部門　より，必修単位数 24 単位を含め，合計 58 単位以上を修得しなければならない。 D　教職教科部門は卒業に必要な単位数より除く。 所属学科以外の学科別授業科目は,指定された科目のみ履修することができる。	
言語学Ⅰ	2		2		
言語学Ⅱ	2		2		
海外文芸史Ⅰ	2		2		
海外文芸史Ⅱ	2		2		
海外文芸史Ⅲ	2		2		
海外文芸史Ⅳ	2		2		
古典文学史Ⅰ	2		2		
古典文学史Ⅱ	2		2		
現代文学史Ⅰ	2		2		
現代文学史Ⅱ	2		2		
日本文化史Ⅰ	2		2		
日本文化史Ⅱ	2		2		
思想の歴史	2		2		
思想の座標	2		2		
文芸入門講座Ⅰ	2		2		
文芸入門講座Ⅱ	2		2		
B　研究部門					
作家作品論Ⅰ	2		2		
作家作品論Ⅱ	2		2		
小説論Ⅰ	2		2		
小説論Ⅱ	2		2		
文芸創作論Ⅰ	2		2		
文芸創作論Ⅱ	2		2		

文芸創作論Ⅲ	2		2			
文芸創作論Ⅳ	2		2			
伝記論Ⅰ	2		2			
伝記論Ⅱ	2		2			
文芸批評論Ⅰ	2		2			
文芸批評論Ⅱ	2		2			
エッセイ研究Ⅰ	2		2			
エッセイ研究Ⅱ	2		2			
児童文学論Ⅰ	2		2			
児童文学論Ⅱ	2		2			
現代詩研究Ⅰ	2		2			
現代詩研究Ⅱ	2		2			
詩歌論Ⅰ	2		2			
詩歌論Ⅱ	2		2			
シナリオ研究Ⅰ	2		2			
シナリオ研究Ⅱ	2		2			
幻想小説論	2		2			
SF小説論Ⅰ	2		2			
SF小説論Ⅱ	2		2			
ミステリー小説論	2		2			
口承文芸論Ⅰ	2		2			
口承文芸論Ⅱ	2		2			
ノンフィクション論Ⅰ	2		2			
ノンフィクション論Ⅱ	2		2			
マンガ論Ⅰ	2		2			
マンガ論Ⅱ	2		2			
ジャーナリズム論Ⅰ	2		2			
ジャーナリズム論Ⅱ	2		2			
メディア論Ⅰ	2		2			
メディア論Ⅱ	2		2			
出版文化論Ⅰ	2		2			
出版文化論Ⅱ	2		2			
翻訳文学論Ⅰ	2		2			

翻訳文学論Ⅱ	2		2			
雑誌研究Ⅰ	2		2			
雑誌研究Ⅱ	2		2			
文芸特講Ⅰ	2		2			
文芸特講Ⅱ	2		2			
文芸特講Ⅲ	2		2			
文芸特講Ⅳ	2		2			
文芸特講Ⅴ	2		2			
文芸特講Ⅵ	2		2			
文芸特講Ⅶ	2		2			
文芸特講Ⅷ	2		2			
原典講読Ⅰ	1		1			
原典講読Ⅱ	1		1			
原典講読Ⅲ	1		1			
原典講読Ⅳ	1		1			
文芸特別講座Ⅰ	2		2			
文芸特別講座Ⅱ	2		2			
C　表現技術部門						
文芸研究Ⅰ	4	4				
文芸研究Ⅱ	4	4				
文芸研究Ⅲ	4	4				
文芸研究Ⅳ	4	4				
表現領域拡張講座Ⅰ	2		2			
表現領域拡張講座Ⅱ	2		2			
編集研究Ⅰ	2		2			
編集研究Ⅱ	2		2			
文芸情報処理演習Ⅰ	1		1			
文芸情報処理演習Ⅱ	1		1			
ＤＴＰ演習Ⅰ	1		1			
ＤＴＰ演習Ⅱ	1		1			
ＤＴＰ演習Ⅲ	1		1			
ＤＴＰ演習Ⅳ	1		1			
マンガ演習Ⅰ	1		1			

マンガ演習Ⅱ	1		1		
卒業論文・作品	8	8			
D　教職教科部門					
国語学Ⅰ	2		2		
国語学Ⅱ	2		2		
国文学Ⅰ	2		2		
国文学Ⅱ	2		2		
漢文学Ⅰ	2		2		
漢文学Ⅱ	2		2		
漢文学史Ⅰ	2		2		
漢文学史Ⅱ	2		2		
書道Ⅰ	2		2		
書道Ⅱ	2		2		

Ⅵ　演劇学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				必修単位数16単位を含め，合計58単位以上を修得しなければならない。 コース共通で ゼミナールⅠ～Ⅵのうちから2単位以上を修得しなければならない。 舞台構想コースは， 劇作演習 演出演習 音響演習 舞台監督演習 企画制作演習 のうちから1単位以上， 演技コースは演技演習， 舞台美術コースは， 舞台美術演習 舞台照明演習 のうちから1単位以上， 舞踊(日舞)コースは日本舞踊演習， 舞踊(洋舞)コースは西洋	
演劇概論Ⅰ	2	2			
演劇概論Ⅱ	2	2			
演劇学	2		2		
舞踊学	2		2		
劇場論Ⅰ	2		2		
劇場論Ⅱ	2		2		
戯曲論	2		2		
演出論	2		2		
演技論	2		2		
舞踊論Ⅰ	2		2		
舞踊論Ⅱ	2		2		
演劇教育論	2		2		
演劇史Ⅰ	2	2			
演劇史Ⅱ	2	2			
演劇史Ⅲ	2		2		

演劇史Ⅳ	2		2	舞踊演習， を修得しなければならない。		
演劇史Ⅴ	2		2			
舞踊史Ⅰ	2		2	所属学科以外の学科別授業科目は，指定された科目のみ履修することができる。		
舞踊史Ⅱ	2		2			
B　研究部門						
応用演劇研究	2		2			
演劇批評研究	2		2			
古典演劇研究Ⅰ	2		2			
古典演劇研究Ⅱ	2		2			
現代演劇研究Ⅰ	2		2			
現代演劇研究Ⅱ	2		2			
作家作品研究Ⅰ	2		2			
作家作品研究Ⅱ	2		2			
舞台美術研究	2		2			
舞台照明研究	2		2			
舞台技術研究Ⅰ	2		2			
舞台技術研究Ⅱ	2		2			
企画制作研究Ⅰ	2		2			
企画制作研究Ⅱ	2		2			
演劇特殊研究Ⅰ	2		2			
演劇特殊研究Ⅱ	2		2			
演劇特殊研究Ⅲ	2		2			
演劇特殊研究Ⅳ	2		2			
演劇特殊研究Ⅴ	2		2			
演劇特殊研究Ⅵ	2		2			
演劇特殊研究Ⅶ	2		2			
演劇特殊研究Ⅷ	2		2			
C　表現技術部門						
演劇基礎演習	1		1			
戯曲講読演習	1		1			
劇作演習	1		1			
演出演習	1		1			
音響演習	1		1			

舞台監督演習	1		1			
企画制作演習	1		1			
演技演習	2		2			
舞台美術演習	1		1			
舞台照明演習	1		1			
日本舞踊演習	2		2			
西洋舞踊演習	2		2			
演劇教育演習	1		1			
舞台扮装演習	1		1			
応用演劇演習	1		1			
特殊演習Ⅰ	1		1			
特殊演習Ⅱ	1		1			
特殊演習Ⅲ	1		1			
特殊演習Ⅳ	1		1			
劇作実習Ⅰ	2		2			
劇作実習Ⅱ	2		2			
演出実習Ⅰ	2		2			
演出実習Ⅱ	2		2			
音響実習Ⅰ	2		2			
音響実習Ⅱ	2		2			
舞台監督実習Ⅰ	2		2			
舞台監督実習Ⅱ	2		2			
企画制作実習Ⅰ	2		2			
企画制作実習Ⅱ	2		2			
演技実習Ⅰ	2		2			
演技実習Ⅱ	2		2			
演技実習Ⅲ	2		2			
舞台美術実習Ⅰ	2		2			
舞台美術実習Ⅱ	2		2			
舞台美術実習Ⅲ	2		2			
舞台照明実習Ⅰ	2		2			
舞台照明実習Ⅱ	2		2			
舞台照明実習Ⅲ	2		2			

日本舞踊実習Ⅰ	2		2		
日本舞踊実習Ⅱ	2		2		
日本舞踊実習Ⅲ	2		2		
西洋舞踊実習Ⅰ	2		2		
西洋舞踊実習Ⅱ	2		2		
西洋舞踊実習Ⅲ	2		2		
演劇特殊実習Ⅰ	2		2		
演劇特殊実習Ⅱ	2		2		
演劇特殊実習Ⅲ	1		1		
演劇特殊実習Ⅳ	1		1		
舞踊特殊実習Ⅰ	2		2		
舞踊特殊実習Ⅱ	2		2		
上演実習Ⅰ	2		2		
上演実習Ⅱ	2		2		
総合実習Ⅰ	3		3		
総合実習Ⅱ	3		3		
劇場実習	3		3		
ゼミナールⅠ	2		2		
ゼミナールⅡ	2		2		
ゼミナールⅢ	2		2		
ゼミナールⅣ	2		2		
ゼミナールⅤ	2		2		
ゼミナールⅥ	2		2		
卒業ゼミナール	2		2		
卒業研究	8	8			

Ⅶ　放送学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				必修単位数14単位を含め，合計58単位以上を修得しなければならない。	
放送概論Ⅰ	2		2		
放送概論Ⅱ	2		2		
ラジオ史Ⅰ	2		2	テレビ制作Ⅰ ラジオ制作Ⅰ	

ラジオ史Ⅱ	2		2	映像技術Ⅰ 音響技術Ⅰ	
テレビ史Ⅰ	2		2	CMⅠ	
テレビ史Ⅱ	2		2	脚本Ⅰ	
放送制度論	2		2	アナウンスⅠ のうちから1単位以上,	
放送契約論	2		2	テレビ制作Ⅱ～Ⅲ	
メディア研究Ⅰ	2		2	ラジオ制作Ⅱ～Ⅲ 映像技術Ⅱ～Ⅲ	
メディア研究Ⅱ	2		2	音響技術Ⅱ～Ⅲ	
メディア研究Ⅲ	2		2	CMⅡ～Ⅲ	
メディア研究Ⅳ	2		2	脚本Ⅱ～Ⅲ アナウンスⅡ～Ⅲ	
メディア研究Ⅴ	2		2	のうちから2単位以上,	
メディア研究Ⅵ	2		2	テレビ制作Ⅳ～Ⅴ ラジオ制作Ⅳ～Ⅴ	
メディア研究Ⅶ	2		2	映像技術Ⅳ～Ⅴ	
電気概論Ⅰ	2		2	音響技術Ⅳ～Ⅴ CMⅣ～Ⅴ	
電気概論Ⅱ	2		2	脚本Ⅳ～Ⅴ	
B　研究部門				アナウンスⅣ～Ⅴ のうちから2単位以上を修	
テレビの編成	2		2	得しなければならない。	
ラジオの編成	2		2		
制作技術研究Ⅰ	2		2	所属学科以外の学科別授 業科目は,指定された科目	
制作技術研究Ⅱ	2		2	のみ履修することができる。	
広告とマーケティング戦略Ⅰ	2		2		
広告とマーケティング戦略Ⅱ	2		2		
放送作品研究Ⅰ	2		2		
放送作品研究Ⅱ	2		2		
放送作品研究Ⅲ	2		2		
放送作品研究Ⅳ	2		2		
放送作品研究Ⅴ	2		2		
放送作品研究Ⅵ	2		2		
放送作品研究Ⅶ	2		2		
放送作品研究Ⅷ	2		2		
放送作品研究Ⅸ	2		2		
放送作品研究Ⅹ	2		2		
放送作品研究Ⅺ	2		2		
放送作品研究Ⅻ	2		2		

音響心理学Ⅰ	2		2			
音響心理学Ⅱ	2		2			
ゼミナールⅠ	2	2				
ゼミナールⅡ	2	2				
C　表現技術部門						
放送脚本論Ⅰ	2		2			
放送脚本論Ⅱ	2		2			
ラジオ演出論Ⅰ	2		2			
ラジオ演出論Ⅱ	2		2			
テレビ演出論Ⅰ	2		2			
テレビ演出論Ⅱ	2		2			
ドキュメンタリーの演出Ⅰ	2		2			
ドキュメンタリーの演出Ⅱ	2		2			
テレビドラマの表現Ⅰ	2		2			
テレビドラマの表現Ⅱ	2		2			
放送表現と人権Ⅰ	2		2			
放送表現と人権Ⅱ	2		2			
放送美術論Ⅰ	2		2			
放送美術論Ⅱ	2		2			
放送広告論Ⅰ	2		2			
放送広告論Ⅱ	2		2			
放送報道論Ⅰ	2		2			
放送報道論Ⅱ	2		2			
放送技術概論Ⅰ	2		2			
放送技術概論Ⅱ	2		2			
音響技術論Ⅰ	2		2			
音響技術論Ⅱ	2		2			
音響技術論Ⅲ	2		2			
音響技術論Ⅳ	2		2			
映像技術論Ⅰ	2		2			
映像技術論Ⅱ	2		2			
映像技術論Ⅲ	2		2			
映像技術論Ⅳ	2		2			

映像制作演習	1	1				
音響制作演習	1	1				
企画演習	1		1			
テレビ制作Ⅰ	1		1			
ラジオ制作Ⅰ	1		1			
映像技術Ⅰ	1		1			
音響技術Ⅰ	1		1			
CMⅠ	1		1			
脚本Ⅰ	1		1			
アナウンスⅠ	1		1			
テレビ制作Ⅱ	1		1			
テレビ制作Ⅲ	1		1			
ラジオ制作Ⅱ	1		1			
ラジオ制作Ⅲ	1		1			
映像技術Ⅱ	1		1			
映像技術Ⅲ	1		1			
音響技術Ⅱ	1		1			
音響技術Ⅲ	1		1			
CMⅡ	1		1			
CMⅢ	1		1			
脚本Ⅱ	1		1			
脚本Ⅲ	1		1			
アナウンスⅡ	1		1			
アナウンスⅢ	1		1			
テレビ制作Ⅳ	1		1			
テレビ制作Ⅴ	1		1			
ラジオ制作Ⅳ	1		1			
ラジオ制作Ⅴ	1		1			
映像技術Ⅳ	1		1			
映像技術Ⅴ	1		1			
音響技術Ⅳ	1		1			
音響技術Ⅴ	1		1			

C M Ⅳ	1		1		
C M Ⅴ	1		1		
脚本 Ⅳ	1		1		
脚本 Ⅴ	1		1		
アナウンス Ⅳ	1		1		
アナウンス Ⅴ	1		1		
番組企画構成演習Ⅰ	1		1		
番組企画構成演習Ⅱ	1		1		
番組企画構成演習Ⅲ	1		1		
番組企画構成演習Ⅳ	1		1		
コピーライティングⅠ	1		1		
コピーライティングⅡ	1		1		
照明演習Ⅰ	1		1		
照明演習Ⅱ	1		1		
ニュース分析Ⅰ	1		1		
ニュース分析Ⅱ	1		1		
ニュース分析Ⅲ	1		1		
ニュース分析Ⅳ	1		1		
取材調査演習Ⅰ	1		1		
取材調査演習Ⅱ	1		1		
卒業研究	8	8			

Ⅷ　デザイン学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　理論・歴史部門				必修単位数30単位を含め，合計58単位以上を修得しなければならない。	
デザイン論Ⅰ	2	2			
デザイン論Ⅱ	2	2			
美術学Ⅰ	2		2	日本建築史 西洋建築史 デザイン史Ⅰ～Ⅲ	
美術学Ⅱ	2		2	のうちから2単位以上， デザイン論Ⅲ～Ⅵ	
美術史概論	2		2	建築デザイン論	
工芸概論	2		2	のうちから2単位以上， タイポグラフィ論	
日本建築史	2		2	エルゴノミックデザイン論	

西洋建築史	2		2	マテリアル メカトロニクス概論	
デザイン史Ⅰ	2		2	デザインマネージメント論Ⅰ	
デザイン史Ⅱ	2		2	のうちから2単位以上,	
デザイン史Ⅲ	2		2	ドローイングⅡ 製図Ⅱ	
デザイン論Ⅲ	2		2	マテリアル＆コンストラクション	
デザイン論Ⅳ	2		2	のうちから2単位以上を修得しなければならない。	
デザイン論Ⅴ	2		2		
デザイン論Ⅵ	2		2	所属学科以外の学科別授業科目は,指定された科目のみ履修することができる。	
建築デザイン論	2		2		
B　研究部門					
タイポグラフィ論	2		2		
エルゴノミックデザイン論	2		2		
マテリアル	2		2		
メカトロニクス概論	2		2		
デザインマネージメント論Ⅰ	2		2		
デザインマネージメント論Ⅱ	2		2		
環境論Ⅰ	2		2		
環境論Ⅱ	2		2		
プランニングⅠ	2		2		
プランニングⅡ	2		2		
力学	2		2		
ストラクチャーⅠ	2		2		
ストラクチャーⅡ	2		2		
構法概論	2		2		
建築生産論	2		2		
建築設備	2		2		
建築法規	2		2		
図学Ⅰ	2		2		
図学Ⅱ	2		2		
デザイン特別講座Ⅰ	2	2			
デザイン特別講座Ⅱ	2		2		
建築一般構造	2		2		
C　表現技術部門					

(ベーシックデザインⅠ)						
ドローイングⅠ	2	2				
ドローイングⅡ	2		2			
製図Ⅰ	2	2				
製図Ⅱ	2		2			
カラー&コンポジション	2	2				
スタイル&フォーム	2	2				
マテリアル&コンストラクション	2		2			
デザインフィールドワークショップ	2	2				
ベーシックデザインワークショップ	2	2				
(ベーシックデザインⅡ)						
コンピュータ基礎	2		2			
ビジュアル基礎	2		2			
メディア基礎	2		2			
タイポグラフィックデザイン	2		2			
イラストレーション	2		2			
エディトリアルデザイン	2		2			
ライフデザインⅠ	2		2			
ライフデザインⅡ	2		2			
フォトグラフィ	2		2			
アーキテクチュアルドローイング	2		2			
プレゼンテーションテクニックⅠ	2		2			
プレゼンテーションテクニックⅡ	2		2			
CADⅠ	2		2			
CADⅡ	2		2			
(ビジュアルコミュニケーションデザイン)						
グラフィックデザインⅠ	2		2			
グラフィックデザインⅡ	2		2			
グラフィックデザインⅢ	2		2			
グラフィックデザインⅣ	2		2			
グラフィックデザインⅤ	2		2			
グラフィックデザインⅥ	2		2			
グラフィックデザインⅦ	2		2			

グラフィックデザインⅧ	2		2			
コミュニケーションデザインⅠ	2		2			
コミュニケーションデザインⅡ	2		2			
コミュニケーションデザインⅢ	2		2			
コミュニケーションデザインⅣ	2		2			
コミュニケーションデザインⅤ	2		2			
コミュニケーションデザインⅥ	2		2			
コミュニケーションデザインⅦ	2		2			
（プロダクトデザイン）						
プロダクトデザインⅠ	2		2			
プロダクトデザインⅡ	2		2			
プロダクトデザインⅢ	2		2			
プロダクトデザインⅣ	2		2			
プロダクトデザインⅤ	2		2			
プロダクトデザインⅥ	2		2			
プロダクトデザインⅦ	2		2			
プロダクトデザインⅧ	2		2			
プロダクトデザインⅨ	2		2			
（スペース・アーキテクチュアデザイン）						
スペースデザインⅠ	2		2			
スペースデザインⅡ	2		2			
スペースデザインⅢ	2		2			
スペースデザインⅣ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅠ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅡ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅢ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅣ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅤ	2		2			
アーキテクチュアデザインⅥ	2		2			
（ソーシャルデザイン）						
総合演習	2		2			
インターンシップ	2		2			
デザインゼミナール	4	4				

卒業論文・制作	8	8			

Ⅸ　共通専門教育科目（各学科共通）					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
連携型プロジェクトⅠ	2		2		
連携型プロジェクトⅡ	2		2		
連携型プロジェクトⅢ	2		2		

4　第Ⅲ群　（各学科共通）

①　学芸員課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
博物館概論	2		2	許可を得て履修することができる。	
博物館資料論	2		2		
博物館経営論	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館教育論	2		2		
博物館情報・メディア論	2		2		
生涯学習概論	2		2		
博物館資料保存論	2		2		
博物館実習Ⅰ	2		2		
博物館実習Ⅱ	1		1		

②　司書教諭課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
学校経営と学校図書館	2		2	許可を得て履修することができる。	
学校図書館メディアの構成	2		2		
学習指導と学校図書館	2		2		
読書と豊かな人間性	2		2		
情報メディアの活用	2		2		

③　司書課程科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生涯学習概論	2		2	許可を得て履修することができる。	
図書館概論	2		2		

図書館制度・経営論	2		2		
図書館情報技術論	2		2		
図書館サービス概論	2		2		
情報サービス論	2		2		
児童サービス論	2		2		
情報サービス演習	2		2		
図書館情報資源概論	2		2		
情報資源組織論	2		2		
情報資源組織演習	2		2		
図書館基礎特論	1		1		
図書館総合演習	1		1		

第６節　国際関係学部

第85条　国際総合政策学科及び国際教養学科における授業科目及び単位数並びに履修方法は，次のとおりである。各学科とも履修方法に指定された単位数，所属学科の必修科目及び選択必修科目のほか，国際関係学部の開講科目（教職課程科目（大学が独自に設定する科目）及び日本語教員養成科目を除く）の中から履修した単位を含め，124単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　基礎科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
キャリアデザイン	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

３　総合教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学	2		2	総合教育科目は,20単位以上を修得しなければならない。 その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目,学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
倫理学	2		2		
歴史学	2		2		
文化人類学	2		2		
心理学	2		2		
芸術	2		2		
世界の宗教	2		2		
世界の言語	2		2		
文学	2		2		
社会学	2		2		
法学	2		2		
日本国憲法	2		2		
政治学	2		2		
経済学	2		2		
商学	2		2		
経営学	2		2		

ジェンダーと社会	2		2		
数理の世界	2		2		
生命の科学	2		2		
情報論	2		2		
調査統計論	2		2		
科学思想史	2		2		

4　外国語科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語Ⅰ	2		2	外国語科目は，英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・韓国語・日本語（外国人留学生のみ)の中からいずれか１外国語を選択し8単位以上を修得しなければならない（ただし，母語を除く)。 その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目,学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
英語Ⅱ	2		2		
英語Ⅲ	2		2		
英語Ⅳ	2		2		
ドイツ語Ⅰ	2		2		
ドイツ語Ⅱ	2		2		
ドイツ語Ⅲ	2		2		
ドイツ語Ⅳ	2		2		
フランス語Ⅰ	2		2		
フランス語Ⅱ	2		2		
フランス語Ⅲ	2		2		
フランス語Ⅳ	2		2		
中国語Ⅰ	2		2		
中国語Ⅱ	2		2		
中国語Ⅲ	2		2		
中国語Ⅳ	2		2		
スペイン語Ⅰ	2		2		
スペイン語Ⅱ	2		2		
スペイン語Ⅲ	2		2		
スペイン語Ⅳ	2		2		
韓国語Ⅰ	2		2		
韓国語Ⅱ	2		2		
韓国語Ⅲ	2		2		
韓国語Ⅳ	2		2		

日本語Ⅰ	2		2	留学生のみ履修できる。	
日本語Ⅱ	2		2		
日本語Ⅲ	2		2		
日本語Ⅳ	2		2		

5　健康スポーツ科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
スポーツ科学と健康	2		2		
スポーツ総合	1		1		

6　専門基礎科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際関係論入門	2	2		専門基礎科目は，必修科目8単位を修得しなければならない。	
国際文化論入門	2	2			
日本近現代史	2	2			
世界近現代史	2	2			

7　専門教育科目

Ⅰ　国際総合政策学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
コース専門基礎科目				専門教育科目のうち，必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 国際関係コース，国際ビジネスコース，グローバルスタディコース，グローバル観光コースのいずれかを履修しなければならない。 コース専門基礎科目のうち，国際関係コースは，必修科目を含めて国際法概論，国際政治学，国際協力論の中から4単位以上を修得しなければならない。国際ビジネスコースは，必修科目を含めて国際経済学，	
国際関係論Ⅰ（理論）	2	2			
国際法概論	2		2		
国際政治学	2		2		
国際協力論	2		2		
国際経済学	2		2		
財務管理論	2		2		
組織論	2		2		
地球環境と持続可能な開発	2		2		
国際時事問題	2		2		
異文化コミュニケーション論	2		2		
比較文化論	2		2		
社会学概論	2		2		
コース専門科目					

国際法	4	4	財務管理論，組織論の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバルスタディコースは，必修科目を含めて地球環境と持続可能な開発,国際時事問題,比較文化論,社会学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバル観光コースは,必修科目を含めて地球環境と持続可能な開発，異文化コミュニケーション論,比較文化論,社会学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。 国際関係コースは，国際法,国際関係史,日本外交論,国際関係論Ⅱ,国際連合論,国際政治史,地域統合論，国際機構論，国際ジャーナリズム論,国際関係私法,国際関係学特別研究の中から16単位以上,平和学Ⅰ,安全保障論,戦略論，紛争研究，平和学Ⅱ,日本の平和と安全保障の中から8単位以上，NGO／NPO論,国際技術協力論,地方自治論,ボランティア援助技術，国際人事管理論,行政学の中から4単位以上，国際人口移動論，メディアと社会,都市社会学の中から4単位以上を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。 国際ビジネスコースは，簿記論，経済学原論，経営学原論，経営法務，金融論,国際金融論,会計学,
平和学Ⅰ	4	4	
国際関係史	4	4	
日本外交論	4	4	
安全保障論	4	4	
戦略論	4	4	
国際関係論Ⅱ	4	4	
国際連合論	4	4	
国際政治史	4	4	
地域統合論	4	4	
国際機構論	4	4	
国際ジャーナリズム論	4	4	
国際関係私法	4	4	
紛争研究	4	4	
平和学Ⅱ	4	4	
日本の平和と安全保障	4	4	
国際関係学特別研究	4	4	
証券市場論	4	4	
企業論	4	4	
簿記論	4	4	
ベンチャービジネス論	4	4	
情報メディアリテラシー	4	4	
経済学原論	4	4	
経営学原論	4	4	
経営法務	4	4	
現代経済社会	4	4	
金融論	4	4	
財政学	4	4	
租税論	4	4	
都市経済学	4	4	
経済学特別研究	4	4	
流通経済学	4	4	

経営情報論	4	4	マーケティング論の中から16単位以上，証券市場論，企業論，ベンチャービジネス論，現代経済社会，財政学，租税論，都市経済学，経済学特別研究，流通経済学，国際貿易論，経営学特別研究，ビジネス・インテリジェンス，食品流通論の中から12単位以上，情報メディアリテラシー，経営情報論,情報システム理論と演習,プログラミング，Webデザインと技術，ビジネス統計演習,国際経営論の中から4単位以上を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。	
国際貿易論	4	4		
国際金融論	4	4		
会計学	4	4		
マーケティング論	4	4		
経営学特別研究	4	4		
情報システム理論と演習	3	3		
プログラミング	1	1		
Webデザインと技術	3	3		
ビジネス統計演習	1	1		
ビジネス･インテリジェンス	4	4		
国際経営論	2	2		
ＮＧＯ／ＮＰＯ論	4	4		
開発教育論	4	4		
国際技術協力論	4	4		
社会開発論	4	4		
地方自治論	4	4	グローバルスタディコースは，開発教育論，社会開発論，開発経済論，交流マネージメント論,開発人類学，地域開発論，資源エネルギー論の中から12単位以上，地球環境問題，環境社会学，環境倫理，都市環境論,国際環境法規の中から8単位以上，国際ジャーナリズム論，世界の食文化，社会福祉論，フィールドワーク，国際人口移動論，メディアと社会，エスノグラフィー論の中から8単位以上を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。	
開発経済論	4	4		
ボランティア援助技術	4	4		
交流マネージメント論	4	4		
開発人類学	4	4		
国際人事管理論	4	4		
地域開発論	4	4		
世界の食文化	4	4		
食品流通論	4	4		
社会福祉論	4	4		
資源エネルギー論	4	4		
地球環境問題	4	4		
環境社会学	4	4		
環境倫理	4	4		
都市環境論	4	4	グローバル観光コースは，国際観光経営論，国際観光開発論，国際観光政策，国際観光文化論,観光法規Ⅰ，	
国際環境法規	4	4		
フィールドワーク	4	4		

国際人口移動論	4		4	観光法規Ⅱ，観光地理Ⅰ（国内），観光地理Ⅱ（海外），観光実務Ⅰ（国内），観光実務Ⅱ（海外）の中から14単位以上，世界の食文化，コミュニティ論，行政学，文化政策論，地域振興論，観光概論，ホスピタリティ論，旅行事業論，宿泊事業論，観光交通論，伊豆観光文化論の中から14単位以上，交流マネージメント論，イスラム文化，アメリカ文化，ヨーロッパ文化史，中国文化史の中から4単位以上を修得し，上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。 その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目，学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
メディアと社会	4		4		
都市社会学	4		4		
エスノグラフィー論	4		4		
コミュニティ論	4		4		
行政学	4		4		
文化政策論	4		4		
地域振興論	4		4		
国際観光経営論	4		4		
国際観光開発論	4		4		
国際観光政策	4		4		
国際観光文化論	4		4		
観光法規Ⅰ	2		2		
観光法規Ⅱ	2		2		
観光地理Ⅰ（国内）	2		2		
観光地理Ⅱ（海外）	2		2		
観光実務Ⅰ（国内）	2		2		
観光実務Ⅱ（海外）	2		2		
観光概論	2		2		
ホスピタリティ論	2		2		
旅行事業論	2		2		
宿泊事業論	2		2		
観光交通論	2		2		
伊豆観光文化論	2		2		
イスラム文化	4		4		
アメリカ文化	4		4		
ヨーロッパ文化史	4		4		
中国文化史	4		4		
全コース共通専門科目					
地域研究				地域研究は，6単位以上を修得しなければならない。	
地域研究（アメリカⅠ）	2		2		
地域研究（アメリカⅡ）	2		2		
地域研究（ヨーロッパⅠ）	2		2		

地域研究(ヨーロッパⅡ)	2		2		
地域研究(ヨーロッパⅢ)	2		2		
地域研究(ヨーロッパⅣ)	2		2		
地域研究（アジアⅠ）	2		2		
地域研究（アジアⅡ）	2		2		
地域研究（アジアⅢ）	2		2		
地域研究（中東）	2		2		
地域研究（アフリカ）	2		2		
地域研究（特別研究）	2		2		
国際交流（外国語実習）	2		2		
ティーチング・インターンシップ	2		2		
海外実地研究	1		1		
演習					
ゼミナールⅠ	1		1	演習は，必修1単位を修得しなければならない。	
ゼミナールⅡ	1		1		
ゼミナールⅢ	1		1		
ライフデザイン	1	1			
インターンシップ	2		2		
卒業論文	4		4		
情報					
情報処理Ⅰ	1		1		
情報処理Ⅱ	1		1		
情報処理Ⅲ	1		1		
観光外国語					
観光英語Ⅰ	1		1		
観光英語Ⅱ	1		1		
観光英語Ⅲ	1		1		
観光ドイツ語Ⅰ	1		1		
観光ドイツ語Ⅱ	1		1		
観光フランス語Ⅰ	1		1		
観光フランス語Ⅱ	1		1		
観光中国語Ⅰ	1		1		
観光中国語Ⅱ	1		1		

観光スペイン語Ⅰ	1		1			
観光スペイン語Ⅱ	1		1			
観光韓国語Ⅰ	1		1			
観光韓国語Ⅱ	1		1			
ジャパンスタディーズ						
日本政治	2		2			
日本経済	2		2			
日本史	2		2			
日本宗教思想	2		2			
日本文学史	2		2			
日本文化	2		2			
日本社会	2		2			
Japan Studies Ⅰ(宗教・思想)	2		2			
Japan Studies Ⅱ(日本文学)	2		2			
Japan Studies Ⅲ(文化史)	2		2			
Japan Studies Ⅳ(日本社会)	2		2			
Japan Studies Ⅴ(経済)	2		2			
Japan Studies Ⅵ(政治)	2		2			
Japan Studies Ⅶ(スペシャルレクチャー)	2		2			
Japan Studies Ⅷ(スペシャルレクチャー)	2		2			
専門外国語						
英語Ⅴ	1		1			
英語Ⅵ	1		1			
英語Ⅶ	1		1			
英語Ⅷ	1		1			
英語ディスカッション・ディベート	1		1			
英語文献講読Ⅰ	1		1			
英語文献講読Ⅱ	1		1			
ドイツ語Ⅴ	1		1			
ドイツ語Ⅵ	1		1			
ドイツ語Ⅶ	1		1			
ドイツ語Ⅷ	1		1			
ドイツ語文献講読Ⅰ	1		1			

ドイツ語文献講読Ⅱ	1		1		
フランス語Ⅴ	1		1		
フランス語Ⅵ	1		1		
フランス語Ⅶ	1		1		
フランス語Ⅷ	1		1		
フランス語文献講読Ⅰ	1		1		
フランス語文献講読Ⅱ	1		1		
中国語Ⅴ	1		1		
中国語Ⅵ	1		1		
中国語Ⅶ	1		1		
中国語Ⅷ	1		1		
中国語文献講読Ⅰ	1		1		
中国語文献講読Ⅱ	1		1		
スペイン語Ⅴ	1		1		
スペイン語Ⅵ	1		1		
スペイン語Ⅶ	1		1		
スペイン語Ⅷ	1		1		
スペイン語文献講読Ⅰ	1		1		
スペイン語文献講読Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅴ	1		1		
韓国語Ⅵ	1		1		
韓国語Ⅶ	1		1		
韓国語Ⅷ	1		1		
韓国語文献講読Ⅰ	1		1		
韓国語文献講読Ⅱ	1		1		
日本語Ⅴ	2		2	留学生のみ履修できる。	
日本語Ⅵ	2		2		
日本語Ⅶ	2		2		
特定言語初級	2		2		
特定言語中級	2		2		
特定言語上級	2		2		
複言語Ⅰ	1		1		
複言語Ⅱ	1		1		

Ⅱ　国際教養学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
コース専門基礎科目				専門教育科目のうち,必修科目を含めて62単位以上を修得しなければならない。 国際文化コース，国際コミュニケーションコース,グローバルスタディコース,グローバル観光コースのいずれかを履修しなければならない。 コース専門基礎科目のうち,国際文化コース及び国際コミュニケーションコースは,必修科目を含めて比較文化論，異文化コミュニケーション論,社会学概論の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバルスタディコースは,必修科目を含めて比較文化論，社会学概論,地球環境と持続可能な開発,国際時事問題の中から4単位以上を修得しなければならない。グローバル観光コースは,必修科目を含めて比較文化論,異文化コミュニケーション論,社会学概論,地球環境と持続可能な開発の中から4単位以上を修得しなければならない。 国際文化コースは,日米比較文化論，日欧比較文化論，日中比較文化論，現代思想，宗教文化，芸術表現論の中から4単位以上，イスラム文化，アメリカ文化，ヨーロッパ文化史，中国文化史の中から4単位以上，比較文学論，英語文学論，英語文学論演習，	
国際文化論	2	2			
比較文化論	2		2		
異文化コミュニケーション論	2		2		
社会学概論	2		2		
地球環境と持続可能な開発	2		2		
国際時事問題	2		2		
コース専門科目					
日米比較文化論	4		4		
日欧比較文化論	4		4		
日中比較文化論	4		4		
現代思想	4		4		
文化記号論	4		4		
宗教文化	4		4		
イスラム文化	4		4		
アメリカ文化	4		4		
ヨーロッパ文化史	4		4		
中国文化史	4		4		
サブカルチャー論	4		4		
芸術表現論	4		4		
比較文学論	4		4		
英語文学論	2		2		
英語文学論演習	1		1		
現代言語学	4		4		
英米言語文化研究	4		4		
ヨーロッパ言語文化研究	4		4		
批評理論	4		4		
漢字文化論	4		4		
日本言語文化研究	4		4		
フィールドワーク	4		4		
国際人口移動論	4		4		

メディアと社会	4		4	現代言語学,英米言語文化研究,ヨーロッパ言語文化研究,漢字文化論,日本言語文化研究の中から4単位以上,文化記号論,サブカルチャー論,批評理論,カルチュラルスタディーズ,表象文化論の中から4単位以上を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。 国際コミュニケーションコースは,フィールドワーク,メディアと社会,都市社会学,社会福祉論,現代社会学理論,人権論,開発教育論,社会心理学の中から4単位以上,国際人口移動論,エスノグラフィー論,親族と婚姻論の中から4単位を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。 グローバルスタディコースは,開発教育論,社会開発論,開発経済論,交流マネージメント論,開発人類学,地域開発論,資源エネルギー論の中から12単位以上,地球環境問題,環境社会学,都市環境論,環境倫理,国際環境法規の中から8単位以上,フィールドワーク,国際人口移動論,メディアと社会,社会福祉論,エスノグラフィー論,国際ジャーナリズム論,世界の食文化の中から8単位以上を修得し,上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計
都市社会学	4		4	
社会福祉論	4		4	
現代社会学理論	4		4	
エスノグラフィー論	4		4	
人権論	4		4	
開発教育論	4		4	
社会心理学	4		4	
親族と婚姻論	4		4	
カルチュラルスタディーズ	4		4	
表象文化論	4		4	
英語リーディング	2		2	
英語ライティング	2		2	
英語コミュニケーションⅠ	2		2	
英語コミュニケーションⅡ	2		2	
英語学	2		2	
英語音声学	2		2	
英文法	2		2	
英作文	2		2	
英語発達史	2		2	
ビジネス英語Ⅰ	1		1	
ビジネス英語Ⅱ	1		1	
英語翻訳法	2		2	
英語通訳法	2		2	
社会開発論	4		4	
開発経済論	4		4	
交流マネージメント論	4		4	
開発人類学	4		4	
地域開発論	4		4	
資源エネルギー論	4		4	
地球環境問題	4		4	
環境社会学	4		4	
都市環境論	4		4	
環境倫理	4		4	

国際環境法規	4		4	44単位以上を修得しなければならない。	
国際ジャーナリズム論	4		4		
世界の食文化	4		4	グローバル観光コースは，国際観光経営論，国際観光開発論，国際観光政策，国際観光文化論，観光法規Ⅰ，観光法規Ⅱ，観光地理Ⅰ（国内），観光地理Ⅱ（海外），観光実務Ⅰ（国内），観光実務Ⅱ（海外）の中から14単位以上，世界の食文化，コミュニティ論，行政学，文化政策論，地域振興論，観光概論，ホスピタリティ論，旅行事業論，宿泊事業論，観光交通論，伊豆観光文化論の中から14単位以上，イスラム文化，アメリカ文化，ヨーロッパ文化史，中国文化史，交流マネージメント論の中から4単位以上を修得し，上記同コース専門基礎科目並びに同コース専門科目から合計44単位以上を修得しなければならない。 その他，選択科目として，総合教育科目，外国語科目，健康スポーツ科目，専門教育科目，学部共通科目の中から22単位以上を修得しなければならない。	
コミュニティ論	4		4		
行政学	4		4		
文化政策論	4		4		
地域振興論	4		4		
国際観光経営論	4		4		
国際観光開発論	4		4		
国際観光政策	4		4		
国際観光文化論	4		4		
観光法規Ⅰ	2		2		
観光法規Ⅱ	2		2		
観光地理Ⅰ（国内）	2		2		
観光地理Ⅱ（海外）	2		2		
観光実務Ⅰ（国内）	2		2		
観光実務Ⅱ（海外）	2		2		
観光概論	2		2		
ホスピタリティ論	2		2		
旅行事業論	2		2		
宿泊事業論	2		2		
観光交通論	2		2		
伊豆観光文化論	2		2		
全コース共通専門科目					
地域研究				地域研究は，6単位以上を修得しなければならない。	
地域研究（アメリカⅠ）	2		2		
地域研究（アメリカⅡ）	2		2		
地域研究（ヨーロッパⅠ）	2		2		
地域研究（ヨーロッパⅡ）	2		2		
地域研究（ヨーロッパⅢ）	2		2		
地域研究（ヨーロッパⅣ）	2		2		
地域研究（アジアⅠ）	2		2		
地域研究（アジアⅡ）	2		2		

地域研究（アジアⅢ）	2		2		
地域研究（中東）	2		2		
地域研究（アフリカ）	2		2		
地域研究（特別研究）	2		2		
国際交流(外国語実習)	2		2		
ティーチング・インターンシップ	2		2		
海外実地研究	1		1		
演習					
ゼミナールⅠ	1		1	演習は，必修1単位を修得しなければならない。	
ゼミナールⅡ	1		1		
ゼミナールⅢ	1		1		
ライフデザイン	1	1			
インターンシップ	2		2		
卒業論文	4		4		
情報					
情報処理Ⅰ	1		1		
情報処理Ⅱ	1		1		
情報処理Ⅲ	1		1		
観光外国語					
観光英語Ⅰ	1		1		
観光英語Ⅱ	1		1		
観光英語Ⅲ	1		1		
観光ドイツ語Ⅰ	1		1		
観光ドイツ語Ⅱ	1		1		
観光フランス語Ⅰ	1		1		
観光フランス語Ⅱ	1		1		
観光中国語Ⅰ	1		1		
観光中国語Ⅱ	1		1		
観光スペイン語Ⅰ	1		1		
観光スペイン語Ⅱ	1		1		
観光韓国語Ⅰ	1		1		
観光韓国語Ⅱ	1		1		
ジャパンスタディーズ					
日本政治	2		2		

日本経済	2		2			
日本史	2		2			
日本宗教思想	2		2			
日本文学史	2		2			
日本文化	2		2			
日本社会	2		2			
Japan StudiesⅠ(宗教・思想)	2		2			
Japan StudiesⅡ(日本文学)	2		2			
Japan StudiesⅢ(文化史)	2		2			
Japan StudiesⅣ(日本社会)	2		2			
Japan StudiesⅤ(経済)	2		2			
Japan StudiesⅥ(政治)	2		2			
Japan StudiesⅦ(スペシャルレクチャー)	2		2			
Japan StudiesⅧ(スペシャルレクチャー)	2		2			
専門外国語						
英語Ⅴ	1		1			
英語Ⅵ	1		1			
英語Ⅶ	1		1			
英語Ⅷ	1		1			
英語ディスカッション・ディベート	1		1			
英語文献講読Ⅰ	1		1			
英語文献講読Ⅱ	1		1			
ドイツ語Ⅴ	1		1			
ドイツ語Ⅵ	1		1			
ドイツ語Ⅶ	1		1			
ドイツ語Ⅷ	1		1			
ドイツ語文献講読Ⅰ	1		1			
ドイツ語文献講読Ⅱ	1		1			
フランス語Ⅴ	1		1			
フランス語Ⅵ	1		1			
フランス語Ⅶ	1		1			
フランス語Ⅷ	1		1			
フランス語文献講読Ⅰ	1		1			
フランス語文献講読Ⅱ	1		1			

中国語Ⅴ	1		1		
中国語Ⅵ	1		1		
中国語Ⅶ	1		1		
中国語Ⅷ	1		1		
中国語文献講読Ⅰ	1		1		
中国語文献講読Ⅱ	1		1		
スペイン語Ⅴ	1		1		
スペイン語Ⅵ	1		1		
スペイン語Ⅶ	1		1		
スペイン語Ⅷ	1		1		
スペイン語文献講読Ⅰ	1		1		
スペイン語文献講読Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅴ	1		1		
韓国語Ⅵ	1		1		
韓国語Ⅶ	1		1		
韓国語Ⅷ	1		1		
韓国語文献講読Ⅰ	1		1		
韓国語文献講読Ⅱ	1		1		
日本語Ⅴ	2		2	留学生のみ履修できる。	
日本語Ⅵ	2		2		
日本語Ⅶ	2		2		
特定言語初級	2		2		
特定言語中級	2		2		
特定言語上級	2		2		
複言語Ⅰ	1		1		
複言語Ⅱ	1		1		

8　学部共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
スポーツ交流					
スポーツ科学	2		2		
スポーツと社会	2		2		
スポーツ指導論	2		2		
レクリエーション論	2		2		

資格外国語					
資格英語Ⅰ	1		1		
資格英語Ⅱ	1		1		
資格英語Ⅲ	1		1		
資格英語Ⅳ	1		1		
資格ドイツ語Ⅰ	1		1		
資格ドイツ語Ⅱ	1		1		
資格フランス語Ⅰ	1		1		
資格フランス語Ⅱ	1		1		
資格中国語Ⅰ	1		1		
資格中国語Ⅱ	1		1		
資格スペイン語Ⅰ	1		1		
資格スペイン語Ⅱ	1		1		
資格韓国語Ⅰ	1		1		
資格韓国語Ⅱ	1		1		
留学生用演習					
日本語演習Ⅰ	2		2	留学生のみ履修できる。	
日本語演習Ⅱ	2		2		
日本語演習Ⅲ	2		2		
日本語演習Ⅳ	2		2		
日本語演習Ⅴ	2		2		
特別教育					
学際研究Ⅰ	2		2		
学際研究Ⅱ	2		2		
特殊講義Ⅰ	2		2		
特殊講義Ⅱ	2		2		

9　教職課程科目（大学が独自に設定する科目）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
教育実践体験研究Ⅰ	2		2		
教育実践体験研究Ⅱ	2		2		
学校インターンシップ	2		2		
学校安全	2		2		

10　日本語教員養成科目

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
日本語教育概論	2		2		
日本語文法Ⅰ	2		2		
日本語文法Ⅱ	2		2		
日本語教授法（理論）	2		2		
日本語教授法（応用）	2		2		
日本語音声学	2		2		
日本語語彙論	2		2		
日本語教育実習	2		2		
日本語教育検定演習	1		1		

第７節　危機管理学部

第86条　危機管理学部危機管理学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，合計124単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　総合教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　総合科目				必修単位数6単位を含め，合計28単位以上を修得しなければならない。 C外国語科目については，英語Ⅰ～Ⅷの8単位，外国人留学生は日本語Ⅰ～Ⅷの8単位を修得しなければならない。	
生活と法	2		2		
哲学1	2		2		
哲学2	2		2		
論理学1	2		2		
論理学2	2		2		
倫理学1	2		2		
倫理学2	2		2		
宗教学1	2		2		
宗教学2	2		2		
歴史学1	2		2		
歴史学2	2		2		
近代史1	2		2		
近代史2	2		2		
文学1	2		2		
文学2	2		2		
文章表現1	2		2		
文章表現2	2		2		
教育学1	2		2		
教育学2	2		2		

社会学1	2		2			
社会学2	2		2			
政治学1	2		2			
政治学2	2		2			
経済学1	2		2			
経済学2	2		2			
地理学1	2		2			
地理学2	2		2			
心理学1	2		2			
心理学2	2		2			
文化人類学1	2		2			
文化人類学2	2		2			
数学1	2		2			
数学2	2		2			
統計学1	2		2			
統計学2	2		2			
科学技術史1	2		2			
科学技術史2	2		2			
地球科学1	2		2			
地球科学2	2		2			
健康の科学1	2		2			
健康の科学2	2		2			
救急処置法	2		2			
教養特殊講義1	2		2			
教養特殊講義2	2		2			
教養特殊講義3	2		2			
教養特殊講義4	2		2			
教養特殊講義5	2		2			
教養特殊講義6	2		2			
B　基礎教育科目						
Ⅰ　アカデミック・スキル科目						

アカデミック・スキルズ	2	2				
Ⅱ　コンピュータ科目						
コンピュータ・情報リテラシー	1	1				
Ⅲ　健康・スポーツ科目						
スポーツ実技1	1	1				
スポーツ実技2	1		1			
スポーツ実技3	1		1			
スポーツ講義	2	2				
C　外国語科目						
Ⅰ　英語科目						
英語Ⅰ	1		1			
英語Ⅱ	1		1			
英語Ⅲ	1		1			
英語Ⅳ	1		1			
英語Ⅴ	1		1			
英語Ⅵ	1		1			
英語Ⅶ	1		1			
英語Ⅷ	1		1			
Ⅱ　外国人留学生用科目						
日本語Ⅰ	1		1			
日本語Ⅱ	1		1			
日本語Ⅲ	1		1			
日本語Ⅳ	1		1			
日本語Ⅴ	1		1			
日本語Ⅵ	1		1			
日本語Ⅶ	1		1			
日本語Ⅷ	1		1			
Ⅲ　拡張外国語科目						
中国語Ⅰ	1		1			
中国語Ⅱ	1		1			
中国語Ⅲ	1		1			

中国語Ⅳ	1		1		
韓国語Ⅰ	1		1		
韓国語Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅲ	1		1		
韓国語Ⅳ	1		1		
英語演習1	1		1		
英語演習2	1		1		
英語演習3	1		1		
英語演習4	1		1		

３　専門基幹科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
法学概論	2	2		必修単位数12単位のほか，インテリジェンス ロジスティクス セキュリティ ヒューマンエラー 憲法と人権 立憲主義と統治 行政法と行政過程Ⅰ 行政法と行政過程Ⅱ 犯罪と法Ⅰ 民事法Ⅰ 民事法Ⅱ 民事法Ⅲ 企業組織と法 企業統治と法 企業取引と法 民事手続と法 情報技術と社会 リスクファイナンスⅠ リスクファイナンスⅡ より12単位以上を含め，合計30単位以上を修得しなければならない。	
危機管理学概論(レジリエンス)	2	2			
リスクマネジメント	2	2			
リスクコミュニケーション	2	2			
行政リスクガバナンス	2	2			
企業リスクガバナンス	2	2			
インテリジェンス	2		2		
ロジスティクス	2		2		
セキュリティ	2		2		
ヒューマンエラー	2		2		
憲法と人権	2		2		
立憲主義と統治	2		2		
行政法と行政過程Ⅰ	2		2		
行政法と行政過程Ⅱ	2		2		
犯罪と法Ⅰ	2		2		
民事法Ⅰ	2		2		
民事法Ⅱ	2		2		
民事法Ⅲ	2		2		
企業組織と法	2		2		
企業統治と法	2		2		
企業取引と法	2		2		
民事手続と法	2		2		
行政学	2		2		
経営学	2		2		
会計学	2		2		
社会心理学	2		2		
経済法	2		2		
外国法	2		2		
国際自然・環境論	2		2		
日本思想論	2		2		

比較宗教・文化論	2		2		
情報技術と社会	2		2		
リスクファイナンスⅠ	2		2		
リスクファイナンスⅡ	2		2		

4　専門展開科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　共通学修科目				必修単位数12単位を含め,合計56単位以上を修得しなければならない。	
社会調査論	2		2		
ボランティア論	2		2		
国際関係論	2		2		
感染症対策論	2		2		
専門英語コミュニケーション1	1		1		
専門英語コミュニケーション2	1		1		
専門英語プレゼンテーション1	1		1		
専門英語プレゼンテーション2	1		1		
事業継続論(BCP・BCM)	2		2		
観光リスクマネジメント	2		2		
国際地域研究1	2		2		
国際地域研究2	2		2		
キャリア・デザインⅠ	2		2		
キャリア・デザインⅡ	2		2		
危機管理特殊講義1	2		2		
危機管理特殊講義2	2		2		
危機管理特殊講義3	2		2		
危機管理特殊講義4	2		2		
危機管理特殊講義5	2		2		
危機管理特殊講義6	2		2		
危機管理実践研究1	2		2		
危機管理実践研究2	2		2		
危機管理実践研究3	2		2		
危機管理実践研究4	2		2		
海外実地研修	2		2		

B　領域科目				計44単位以上を修得しなければならない。	
Ⅰ　災害マネジメント領域科目					
災害対策論	2		2		
災害情報論	2		2		
自然災害論	2		2		
災害と法	2		2		
大規模事故論	2		2		
地域防災論	2		2		
災害史	2		2		
消防救急論	2		2		
事故責任法制	2		2		
原子力と安全	2		2		
復旧・復興論	2		2		
Ⅱ　パブリックセキュリティ領域科目					
社会安全政策論	2		2		
刑事司法手続Ⅰ	2		2		
犯罪と法Ⅱ	2		2		
国民保護	2		2		
犯罪心理学	2		2		
刑事司法手続Ⅱ	2		2		
被害者学	2		2		
少年法	2		2		
法医学	2		2		
経済刑法	2		2		
インテリジェンスコミュニティ	2		2		
テロリズム論	2		2		
犯罪と捜査	2		2		
警察行政	2		2		
インフラセキュリティ	2		2		
Ⅲ　グローバルセキュリティ領域科目				グローバルセキュリティ領域科目を主専攻に選択した場合は，国際法 国際政治学 のうちから2単位以上，	
安全保障論1(国際安全保障)	2		2		
国際政治学	2		2		
国際法	2		2		

防衛法制	2		2	グローバルセキュリティ領域科目から14単位以上, 副専攻に選択した領域科目から10単位以上, その他の各領域からそれぞれ4単位以上, さらに,専門展開科目から10単位以上, 計44単位以上を修得しなければならない。	
安全保障論2(国家安全保障)	2		2		
ストラテジー	2		2		
国際人権・人道法	2		2		
国際化と国境管理	2		2		
外交史	2		2		
防衛政策	2		2		
平和構築論	2		2		
Ⅳ 情報セキュリティ領域科目				情報セキュリティ領域科目を主専攻に選択した場合は, 情報法 情報倫理 のうちから2単位以上, 情報セキュリティ領域科目から14単位以上, 副専攻に選択した領域科目から10単位以上, その他の各領域からそれぞれ4単位以上, さらに,専門展開科目から10単位以上, 計44単位以上を修得しなければならない。	
情報法	2		2		
情報管理論	2		2		
メディアコミュニケーション論	2		2		
サイバーセキュリティ論	2		2		
情報倫理	2		2		
ジャーナリズム論	2		2		
情報技術	2		2		
プライバシーと法	2		2		
知財セキュリティ論	2		2		
デジタル･フォレンジック	2		2		
企業広報論	2		2		
C 統合学修科目					
基礎ゼミ	2	2			
ゼミナールⅠ	2	2			
ゼミナールⅡ	2	2			
ゼミナールⅢ	2	2			
ゼミナールⅣ	2	2			
ゼミナールⅤ	2	2			

第８節　スポーツ科学部

第87条　スポーツ科学部競技スポーツ学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，合計124単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　総合教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A　総合科目				必修単位数4単位を含め，合計28単位以上を修得しなければならない。 C外国語科目については，英語Ⅰ～Ⅷの8単位，外国人留学生は日本語Ⅰ～Ⅷの8単位を修得しなければならない。	
生活と法	2		2		
哲学1	2		2		
哲学2	2		2		
論理学1	2		2		
論理学2	2		2		
倫理学1	2		2		
倫理学2	2		2		
宗教学1	2		2		
宗教学2	2		2		
歴史学1	2		2		
歴史学2	2		2		
近代史1	2		2		
近代史2	2		2		
文学1	2		2		
文学2	2		2		
文章表現1	2		2		
文章表現2	2		2		
教育学1	2		2		
教育学2	2		2		
社会学1	2		2		
社会学2	2		2		

政治学1	2		2			
政治学2	2		2			
経済学1	2		2			
経済学2	2		2			
地理学1	2		2			
地理学2	2		2			
心理学1	2		2			
心理学2	2		2			
文化人類学1	2		2			
文化人類学2	2		2			
数学1	2		2			
数学2	2		2			
統計学1	2		2			
統計学2	2		2			
科学技術史1	2		2			
科学技術史2	2		2			
地球科学1	2		2			
地球科学2	2		2			
健康の科学1	2		2			
健康の科学2	2		2			
救急処置法	2		2			
教養特殊講義1	2		2			
教養特殊講義2	2		2			
教養特殊講義3	2		2			
教養特殊講義4	2		2			
教養特殊講義5	2		2			
教養特殊講義6	2		2			
B　基礎教育科目						
Ⅰ　コンピュータ科目						
コンピュータ・情報リテラシー	1	1				
Ⅱ　健康・スポーツ科目						
スポーツ実技1	1	1				
スポーツ実技2	1		1			

スポーツ実技3	1		1		
スポーツ講義	2	2			
C 外国語科目					
Ⅰ 英語科目					
英語Ⅰ	1		1		
英語Ⅱ	1		1		
英語Ⅲ	1		1		
英語Ⅳ	1		1		
英語Ⅴ	1		1		
英語Ⅵ	1		1		
英語Ⅶ	1		1		
英語Ⅷ	1		1		
Ⅱ 外国人留学生用科目					
日本語Ⅰ	1		1		
日本語Ⅱ	1		1		
日本語Ⅲ	1		1		
日本語Ⅳ	1		1		
日本語Ⅴ	1		1		
日本語Ⅵ	1		1		
日本語Ⅶ	1		1		
日本語Ⅷ	1		1		
Ⅲ 拡張外国語科目					
中国語Ⅰ	1		1		
中国語Ⅱ	1		1		
中国語Ⅲ	1		1		
中国語Ⅳ	1		1		
韓国語Ⅰ	1		1		
韓国語Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅲ	1		1		
韓国語Ⅳ	1		1		
英語演習1	1		1		
英語演習2	1		1		
英語演習3	1		1		
英語演習4	1		1		

３　専門科目

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
A　実習科目				必修単位数10単位を含め，合計80単位以上を修得しなければならない。 A実習科目について，計10単位以上を修得しなければならない。 B基礎科目について，必修単位数8単位を含め，計16単位以上を修得しなければならない。 C共通科目について，必修単位数2単位を含め，計16単位以上を修得しなければならない。 アスリートコースは， Dコース科目 Ⅰアスリート科目の a群から2単位以上， b群から2単位以上， c群から2単位以上， d群から2単位以上， a群，b群，c群，d群のうちから2単位以上の計10単位以上を修得しなければならない。 スポーツサポートコースは， Dコース科目 Ⅱスポーツサポート科目の a群から4単位以上， b群から4単位以上， a群，b群のうちから2単位以上の計10単位以上を修得しなければならない。 Eゼミナール・卒業演習・卒業研究･卒業論文については， a群から4単位以上， b群から4単位又は8単位以上の計8単位又は12単位以上修得しなければならない。	
競技スポーツ実習Ⅰ	1		1		
競技スポーツ実習Ⅱ	1		1		
競技スポーツ実習Ⅲ	1		1		
競技スポーツ実習Ⅳ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅰ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅱ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅲ	1		1		
競技スポーツ習得実習Ⅳ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅰ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅱ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅲ	1		1		
競技スポーツ方法実習Ⅳ	1		1		
スポーツトレーニング実習Ⅰ	1		1		
スポーツトレーニング実習Ⅱ	1		1		
スポーツトレーニング実習Ⅲ	1		1		
スポーツトレーニング実習Ⅳ	1		1		
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅰ	1		1		
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅱ	1		1		
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅲ	1		1		
トレーニングキャンプマネジメント実習Ⅳ	1		1		
B　基礎科目					
競技スポーツ原論	2	2			
トレーニング学原論	2	2			
スポーツの法と倫理	2		2		
近代スポーツ史	2		2		
スポーツ生理学の基礎	2		2		
スポーツ医学の基礎	2		2		
機能解剖学の基礎	2		2		
コーチング学原論	2	2			
スポーツ運動学原論	2	2			

スポーツ栄養学の基礎	2		2			
スポーツ心理学の基礎	2		2			
バイオメカニクスの基礎	2		2			
コーチングのための健康管理の基礎	2		2			
スポーツ社会学の基礎	2		2			
C　共通科目						
コーチング学研究法演習	2	2				
試　合　論	2		2			
スポーツ生化学	2		2			
メンタルマネジメント	2		2			
トレーニング計画論	2		2			
アダプテッド･スポーツ	2		2			
スポーツ生理学演習	2		2			
スポーツ社会学演習	2		2			
スポーツ運動学演習	2		2			
メンタルマネジメント演習	2		2			
トレーニング計画論演習	2		2			
タレントの発掘と育成	2		2			
スポーツ栄養学演習	2		2			
バイオメカニクス演習	2		2			
コーチング学演習	2		2			
スポーツ医学演習	2		2			
アダプテッド･スポーツ演習	2		2			
アンチドーピング論	2		2			
スポーツとメディア	2		2			
スポーツ観察演習Ⅰ	2		2			
スポーツ観察演習Ⅱ	2		2			
スポーツ観察演習Ⅲ	2		2			
スポーツ観察演習Ⅳ	2		2			
コーチング基礎演習Ⅰ	2		2			
コーチング基礎演習Ⅱ	2		2			
コーチング実践演習Ⅰ	2		2			
コーチング実践演習Ⅱ	2		2			
コーチング統合演習Ⅰ	2		2			

コーチング統合演習Ⅱ	2		2				
スポーツキャリアデザインⅠ	2		2				
スポーツキャリアデザインⅡ	2		2				
スポーツ・インターンシップ1	2		2				
スポーツ・インターンシップ2	2		2				
スポーツビジネス論	2		2				
スポーツマーケティング論	2		2				
オリンピック・パラリンピック論	2		2				
海外実地研修	2		2				
スポーツビジネス論演習	2		2				
D　コース科目							
Ⅰ　アスリート科目							
技術トレーニング論	2		2		a群		
体力トレーニング論	2		2				
戦術トレーニング論	2		2				
測定競技論	2		2		b群		
判定競技論	2		2				
評定競技論	2		2				
技術トレーニング論演習	2		2		c群		
体力トレーニング論演習	2		2				
戦術トレーニング論演習	2		2				
測定競技論演習	2		2		d群		
判定競技論演習	2		2				
評定競技論演習	2		2				
Ⅱ　スポーツサポート科目							
スポーツ制度・行政	2		2		a群		
スポーツ経営管理	2		2				
アスレチックリハビリテーション	2		2				
スポーツ測定評価	2		2				
チームマネジメント論	2		2				

スポーツマッサージ演習	2		2	b群	
ｱｽﾚﾁｯｸﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ演習	2		2		
コーチングのための栄養学	2		2		
スポーツ測定評価演習	2		2		
チームマネジメント論演習	2		2		
スポーツマネジメント演習Ⅰ	2		2		
スポーツマネジメント演習Ⅱ	2		2		
E ゼミナール・卒業演習・卒業研究・卒業論文					
競技スポーツ専門演習Ⅰ	2		2	a群	
競技スポーツ専門演習Ⅱ	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ	2		2		
ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ	2		2		
競技スポーツ専門演習Ⅲ	2		2	b群	
競技スポーツ専門演習Ⅳ	2		2		
卒 業 研 究	4		4		
卒 業 論 文	8		8		

第９節　理工学部

第88条　理工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法で定めた単位数（第88条第５号の学芸員課程科目を除く）を含め，126単位以上を修得しなければならない。

なお，第64条第３項の教科及び教職に関する科目（各教科の指導法に関する科目，教諭の教育の基礎的理解に関する科目等）の「現代教職論」について，修得した単位を教養教育科目に算入することができる。

１　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　教養教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（多文化と社会の理解）				16単位以上を修得しなければならない。	
倫理学	2		2	多文化と社会の理解から6単位以上，心と身体の表現から4単位以上，科学･技術のリテラシーから4単位以上を修得しなければならない。	
歴史学	2		2		
文学	2		2		
法学	2		2		
社会学	2		2		
経済学	2		2		
日本国憲法	2		2		
ドイツ語Ⅰ	1		1		
ドイツ語Ⅱ	1		1		
フランス語Ⅰ	1		1		
フランス語Ⅱ	1		1		
中国語Ⅰ	1		1		
中国語Ⅱ	1		1		
ことばと文化	2		2		
日本の文化	2		2	外国人留学生のみ履修できる。	
日本語Ⅰ	1		1		
日本語Ⅱ	1		1		

（心と身体の表現）					
哲学	2		2		
日本語表現の基礎	1		1		
クリティカル・シンキング	1		1		
感性芸術学	2		2		
心理学	2		2		
スポーツⅠ	1	1			
スポーツⅡ	1		1		
スポーツⅢ	1		1		
健康の科学	1		1		
(科学・技術のリテラシー)					
技術者倫理	2		2		
科学技術と人間	2		2		
科学技術と経済	2		2		
知的財産権論	2		2		
科学技術史	2		2		
現代物理学	2		2		
地球環境化学	2		2		
自然環境論	2		2		
地理学	2		2		
日本の科学技術	2		2	外国人留学生のみ履修できる。	
(総合・ゼミナール)					
総合講座	2		2		
教養基礎ゼミナール	1		1		

3　基礎教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(グローバルスキル分野)				必修単位数4単位を含め,合計22単位以上を修得しなければならない。 グローバルスキル分野から7単位以上を修得しなければならない。 英語ⅢA 英語ⅢB	
英語ⅠA	1	1			
英語ⅠB	1	1			
英語ⅡA	1	1			
英語ⅡB	1	1			

英　語　Ⅲ　A	1		1	English Communication Ⅰ English Communication Ⅱ のうちから2単位以上を修得しなければならない。 英語特殊講義A 英語特殊講義B のうちから1単位以上を修得しなければならない。	
英　語　Ⅲ　B	1		1		
English Communication Ⅰ	1		1		
English Communication Ⅱ	1		1		
英語特殊講義 A	1		1		
英語特殊講義 B	1		1		
（基礎科学分野　数学系）				基礎科学分野から，数学系，物理学系，化学系から各2単位以上を含めて，14単位以上を修得しなければならない。 土木工学科は，関数論Ⅰ，関数論Ⅱ，微分方程式Ⅰ，微分方程式Ⅱ，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱのうちから4単位以上を修得しなければならない。また，力と運動の物理学Ⅰ，力と運動の物理学Ⅱ，基礎物理学実験のうちから4単位以上を修得しなければならない。 交通システム工学科は，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，物理学Ⅰを必修とする。	
関　数　論　Ⅰ	2		2		
関　数　論　Ⅱ	2		2		
微分方程式Ⅰ	2		2		
微分方程式Ⅱ	2		2		
微分積分学Ⅰ	2		2		
微分積分学Ⅱ	2		2		
線形代数学Ⅰ	2		2		
線形代数学Ⅱ	2		2		
数理統計学Ⅰ	2		2		
数理統計学Ⅱ	2		2		
数学演習Ⅰ	1		1		
数学演習Ⅱ	1		1		
（基礎科学分野　物理学系）				機械工学科は，微分積分学Ⅰ，線形代数学Ⅰを必修とする。 精密機械工学科は，微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，物理学Ⅰ，物理学Ⅱを必修とする。 航空宇宙工学科は，基礎物理学実験を必修とする。	
熱とエントロピーの物理学	2		2		
電気と磁気の物理学	2		2		
物　理　学　Ⅰ	2		2		
物　理　学　Ⅱ	2		2		
力と運動の物理学Ⅰ	2		2		
力と運動の物理学Ⅱ	2		2		
物理学Ⅰ演習	1		1		
物理学Ⅱ演習	1		1		
力と運動の物理学Ⅰ演習	1		1		
力と運動の物理学Ⅱ演習	1		1		
基礎物理学実験	2		2		
（基礎科学分野　化学系）					

基礎化学実験	2		2		
物質の構造と状態	2		2	電気工学科は，関数論Ⅰ，微分方程式Ⅰ，微分方程式Ⅱ,微分積分学Ⅰ，微分積分学Ⅱ，線形代数学Ⅰ，線形代数学Ⅱ，数学演習Ⅰのうちから8単位以上を修得しなければならない。また，物理学Ⅰ，物理学Ⅱ，物理学Ⅰ演習，物理学Ⅱ演習のうちから2単位以上を修得しなければならない。 物理学科は，基礎物理学実験，物理学Ⅰ，物理学Ⅰ演習を必修とする。	
物質の変化と性質	2		2		
材料化学	2		2		

4　専門教育科目

Ⅰ　土木工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数18単位を含め,合計86単位以上を修得しなければならない。	
土木工学インセンティブ	2	2			
土木工学キャリアデザイン	1	1			
力学の基礎Ⅰ及び演習	3	3			
力学の基礎Ⅱ及び演習	3	3			
土木工学特別講義	2		2		
測量学Ⅰ	2		2		
測量実習Ⅰ	1	1			
測量学Ⅱ	2		2		
測量実習Ⅱ	1	1			
災害と土木の歴史	2		2		
データの解析	2		2		
建設材料	2		2		
デザイン基礎・演習	2		2		
コンクリート工学	2		2		
コンクリート構造設計	2		2		
コンクリート構造設計演習	1		1		

データの解析
土木工学のための統計分析
プログラミングⅠ
プログラミングⅡ
のうちから6単位以上を修得しなければならない。

応用力学Ⅰ
応用力学Ⅰ演習
応用力学Ⅱ
応用力学Ⅱ演習
建設材料
コンクリート工学
コンクリート構造設計
コンクリート構造設計演習
材料力学
材料力学演習
のうちから14単位以上を修得しなければならない。

応用力学Ⅰ	2		2		
応用力学Ⅰ演習	1		1		
応用力学Ⅱ	2		2	地盤力学Ⅰ 地盤力学Ⅰ演習 地盤力学Ⅱ 地盤力学Ⅱ演習 地盤工学Ⅰ のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
応用力学Ⅱ演習	1		1		
材料力学	2		2		
材料力学演習	1		1		
水理学Ⅰ	2		2	水理学Ⅰ 水理学Ⅰ演習 水理学Ⅱ 水理学Ⅱ演習 応用水理学 河川環境工学 のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
水理学Ⅰ演習	1		1		
水理学Ⅱ	2		2		
水理学Ⅱ演習	1		1		
応用水理学	2		2		
河川環境工学	2		2		
地盤力学Ⅰ	2		2	構造力学及び演習 地盤工学Ⅱ 応用水理学演習 海岸環境工学 設計システム論 橋の力学とデザイン まちづくり事業論 水質環境学及び演習 空間情報処理 地震工学 環境地盤工学 海岸施設の設計と管理 社会資本マネジメント 資源循環学 応用生態工学 砂防防災工学 道路工学 インフラ工学 のうちから10単位以上を修得しなければならない。	
地盤力学Ⅰ演習	1		1		
地盤力学Ⅱ	2		2		
地盤力学Ⅱ演習	1		1		
地盤工学Ⅰ	2		2		
マネジメント概論	2		2		
土木計画の基礎	2		2		
都市計画	2		2		
交通計画	2		2		
地球環境学	2		2		
環境汚染学	2		2		
上下水道工学	2		2		
上下水道工学演習	1		1		
土木工学のための統計分析	2		2		
プログラミングⅠ	2		2		
プログラミングⅡ	2		2		
景観・デザイン	2		2		
				材料実験 構造実験 土質実験 水理実験 水質実験 のうち	

				材料実験 土質実験 から1単位以上を含めて2単位以上を修得しなければならない。	
プロジェクトスタディⅠ	2		2		
ゼミナール	1		1		
設計システム論	2		2		
橋の力学とデザイン	2		2		
構造力学及び演習	3		3		
応用水理学演習	1		1		
海岸環境工学	2		2		
地盤工学Ⅱ	2		2		
水質環境学及び演習	3		3		
まちづくり事業論	2		2		
プロジェクトスタディⅡ	2		2		
空間情報処理	2		2		
インターンシップ	1		1		
地震工学	2		2		
海岸施設の設計と管理	2		2		
環境地盤工学	2		2		
社会資本マネジメント	2		2		
資源循環学	2		2		
応用生態工学	2		2		
砂防防災工学	2		2		
道路工学	2		2		
インフラ工学	2		2		
材料実験	1		1		
土質実験	1		1		
水理実験	1		1		
構造実験	1		1		
水質実験	1		1		
土木工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			
(B群)					

代数学Ⅰ	2		2		
代数学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅰ	2		2		
幾何学Ⅱ	2		2		
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅱ　交通システム工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数61単位を含め,合計86単位以上を修得しなければならない。	
交通システム工学インセンティブ	2	2			
交通システム工学キャリアデザイン	1	1		【エンジニアリングコース】は,	
環境・技術者倫理	2	2		構造力学Ⅰ 構造力学演習 道路工学 地盤・基礎構造 コンクリート構造 橋梁及び鋼構造演習 の6科目11単位を必修とする。	
国際コミュニケーション論Ⅰ	2		2		
国際コミュニケーション論Ⅱ	2		2		
数理統計学	2	2			
プログラミング	2		2		

多変量解析	2		2	地盤材料実験 鋼･コンクリート実験 舗装材料実験 のうちから2科目4単位以上を修得しなければならない。	
製図･デザイン基礎Ⅰ	2	2			
製図･デザイン基礎Ⅱ	2	2			
測量学	2	2			
測量実習	4	4			
交通総論	2	2			
交通施設計画概論	2	2			
交通流理論	2	2			
交通システム計画	2	2			
観光交通論	2		2		
オペレーションズ･リサーチ	2	2			
交通制御	2		2		
システム工学	2		2		
交通需要予測	1		1		
交通経済学	2		2		
交通事業論	2		2		
交通現象解析	2	2			
交通安全	2		2		
交通生理・心理学	2		2		
ロジスティクス概論	2		2	【マネジメントコース】は, 観光交通論 交通経済学 交通事業論 ロジスティクス概論 プロジェクトマネジメント 技術者のための会計学 国際開発援助論 マーケティング・リサーチ の8科目16単位を必修とする。	
都市計画	2	2			
交通情報工学	2	2			
景観デザイン工学	2		2		
プロジェクトマネジメント	2		2		
情報処理	1	1			
空間情報工学	2	2			
交通環境工学	2	2			
ユニバーサルデザイン	2		2		
技術者のための会計学	2		2		
国際開発援助論	2		2		
情報通信システム	2		2		
交通環境解析	2	2			
マーケティング・リサーチ	2		2		

都市衛生・防災	2		2			
基礎力学Ⅰ	2	2				
基礎力学Ⅱ	2	2				
構造力学Ⅰ	2		2			
構造力学Ⅱ	2		2			
構造力学演習	1		1			
水理学	2	2				
建設材料	2	2				
道路工学	2		2			
地盤力学	2	2				
地盤材料実験	2		2			
鋼･コンクリート実験	2		2			
舗装材料実験	2		2			
鉄道工学	2		2			
空港・港湾工学	2		2			
地盤・基礎構造	2		2			
コンクリート構造	2		2			
橋梁及び鋼構造演習	2		2			
舗装工学	2		2			
ゼミナール	2	2				
交通システムプロジェクト演習	2	2				
交通システム工学総合演習	1	1				
卒業研究	6	6				
(B群)						
代数学Ⅰ	2		2			
代数学Ⅱ	2		2			
幾何学Ⅰ	2		2			
幾何学Ⅱ	2		2			
物理学概論	2		2			
化学概論	2		2			
生物学概論	2		2			
生物学実験	1		1			
地学概論	2		2			

地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅲ　建築学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数49単位を含め,合計86単位以上を修得しなければならない。	
建築学インセンティブ	2	2			
建築学キャリアデザイン	1	1			
デザイン基礎Ⅰ	2	2			
デザイン基礎Ⅱ	2	2			
建築設計Ⅰ	2	2			
建築設計Ⅱ	2	2			
建築設計Ⅲ	2	2			
建築設計Ⅳ	2		2		
デザインワークショップ	1		1		
建築計画Ⅰ	2	2			
建築計画Ⅱ	2		2		
建築設計論Ⅰ	2		2		
建築設計論Ⅱ	2		2		
ユニバーサルデザイン	2		2		
ランドスケープデザイン	2		2		
建築デザインと歴史	2		2		

建築史Ⅰ	2	2				
建築史Ⅱ	2		2			
建築史Ⅲ	2		2			
建築史Ⅳ	2		2			
保存修復論	2		2			
都市計画Ⅰ	2	2				
都市計画Ⅱ	2		2			
都市計画Ⅲ	2		2			
住環境計画	2		2			
建築法規	2	2				
行政法規	2		2			
建築計画特別講義	2		2			
環境工学Ⅰ	2	2				
環境工学Ⅱ	2		2			
環境工学Ⅲ	2		2			
環境工学Ⅳ	2		2			
環境工学演習Ⅰ	1		1			
環境工学演習Ⅱ	1		1			
建築設備Ⅰ	2	2				
建築設備Ⅱ	2		2			
建築設備Ⅲ	2		2			
環境設備特別講義	2		2			
初等構造力学	2		2			
構造力学Ⅰ	2	2				
構造力学Ⅱ	2		2			
構造力学Ⅲ	2		2			
構造力学Ⅳ	2		2			
構造力学演習Ⅰ	1		1			
構造力学演習Ⅱ	1		1			
構造力学演習Ⅲ	1		1			
構造力学演習Ⅳ	1		1			
応用力学Ⅰ	2	2				
応用力学Ⅱ	2		2			

応用力学演習Ⅰ	1		1		
応用力学演習Ⅱ	1		1		
鉄筋コンクリート構造Ⅰ	2	2			
鉄筋コンクリート構造Ⅱ	2		2		
鋼構造	2	2			
建築基礎構造	2		2		
振動工学	2		2		
対地震構造	2		2		
構造設計	3		3		
建築構造特別講義	2		2		
建築材料Ⅰ	2	2			
建築材料Ⅱ	2		2		
建築構法Ⅰ	2		2		
建築構法Ⅱ	2		2		
建築施工	2	2			
建築積算・生産管理	2		2		
コンストラクションワークショップ	1		1		
建築基礎実験	1	1			
建築実験Ⅰ	1	1			
建築実験Ⅱ	1	1			
建築実験Ⅲ	1	1			
建築実験Ⅳ	1	1			
建築情報処理Ⅰ	1		1		
建築情報処理Ⅱ	1		1		
建築情報処理Ⅲ	1		1		
建築学の実践	2		2		
建築学総合演習	1	1			
卒業研究・設計	6	6			
(B群)					
代数学Ⅰ	2		2		
代数学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅰ	2		2		
幾何学Ⅱ	2		2		

物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅳ　海洋建築工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数53単位を含め,合計86単位以上を修得しなければならない。	
海洋建築工学インセンティブ	2	2			
海洋建築工学キャリアデザイン	1	1			
海洋建築工学キャリアスタディ	1		1		
海と建築	2	2			
応用数学及び演習	3		3		
情報基礎	1	1			
情報システム概論	1		1		
コンピュータプログラミング	1		1		
海洋建築実験ⅠA	1	1			
海洋建築実験ⅠB	1	1			
海洋建築実験ⅡA	1	1			

海洋建築実験ⅡB	1	1				
海洋建築実験Ⅲ	2	2				
基礎海洋学	2		2			
海洋及び環境計測	2		2			
海洋環境工学Ⅰ	2	2				
海洋環境工学Ⅱ	2		2			
海洋環境アセスメント	2		2			
海洋流体力学及び演習	3		3			
水波工学及び演習	3	3				
沿岸域工学及び演習	3		3			
建築環境工学	2	2				
建築設備	2	2				
ベーシックデザイン演習	2	2				
デザイン演習Ⅰ	2	2				
デザイン演習Ⅱ	2	2				
デザイン演習Ⅲ	2		2			
建築計画Ⅰ	2	2				
建築計画Ⅱ	2	2				
建築計画Ⅲ	2		2			
建築計画及び演習	3		3			
親水空間計画	2		2			
ウォーターフロント計画Ⅰ	2		2			
ウォーターフロント計画Ⅱ	2		2			
海洋施設計画	2		2			
建築デザイン史	2		2			
建築法規	2	2				
海洋空間計画と関連法規	2		2			
防災安全工学	2		2			
海洋資源と開発技術	2		2			
力学基礎	2		2			
構造力学及び演習Ⅰ	3	3				
構造力学及び演習Ⅱ	3	3				
構造力学及び演習Ⅲ	3	3				

構造力学及び演習Ⅳ	3		3		
建築構造及び材料Ⅰ	2		2		
建築構造及び材料Ⅱ	2		2		
建築施工法	2	2			
海洋建築の材料と施工法	2		2		
コンクリート構造及び演習	3		3		
鋼構造及び演習	3		3		
地盤環境工学	2		2		
構造解析	2		2		
振動工学	2		2		
海洋建築物の構造計画	2		2		
浮体工学及び演習	3		3		
ゼミナール	2		2		
総合演習	2	2			
海洋建築工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			
(B群)					
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅴ　まちづくり工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
まちづくり工学インセンティブ	2	2		必修単位数29単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
まちづくり工学キャリアデザイン	1	1			

まちづくり工学概論	2	2		基礎力学Ⅰ 基礎力学Ⅱ 構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ まちづくり関連法規 建築計画Ⅰ 都市計画Ⅰ 都市デザイン 都市・地域防災論 景観原論 観光原論 福祉のまちづくり まちづくりワークショップⅡ のうちから22単位以上を修得しなければならない。	
まちづくりと職能	2	2			
インターンシップ	2		2		
まちづくり技術の実践	2		2		
コンピュータ演習	1		1		
基礎力学Ⅰ	2		2		
基礎力学Ⅱ	2		2		
構造力学Ⅰ	2		2		
構造力学Ⅱ	2		2		
地盤力学	2		2		
水理学	2		2		
交通総論	2		2		
まちづくり関連法規	2		2		
デザイン基礎	1	1			
建築デザイン演習	2	2			
景観デザイン演習	2	2			
都市･地域デザイン演習	2		2		
まちづくり人間科学演習	1		1		
福祉環境実験	2	2			
住宅･都市のユニバーサルデザイン演習	2		2		
測量学	2		2		
測量実習Ⅰ	2	2			
測量実習Ⅱ	2	2			
都市環境学概論	2		2		
建築計画Ⅰ	2		2		
建築計画Ⅱ	2		2		
都市計画Ⅰ	2		2		
都市計画Ⅱ	2		2		
社会基盤デザイン	2		2		
都市デザイン	2		2		
都市・地域防災論	2		2		
景観原論	2		2		

景観まちづくり論	2		2		
グリーンランドスケープ	2		2		
観光原論	2		2		
観光まちづくり論	2		2		
福祉のまちづくり	2		2		
ユニバーサルデザイン	2		2		
地域健康づくり論	2		2		
住宅･都市のユニバーサルデザイン	2		2		
歴史･文化とまちづくり	2		2		
まちづくりワークショップⅠ	2	2			
まちづくりワークショップⅡ	2		2		
宅地建物学	2		2		
建築構法Ⅰ	2		2		
建築構法Ⅱ	2		2		
建築生産	2		2		
建築物の設備	2		2		
都市環境計画	2		2		
建設材料学	2		2		
国土・地域計画	2		2		
まちづくり事業･制度論	2		2		
ウォーターフロント計画	2		2		
建設マネジメント	2		2		
上下水道工学	2		2		
流域管理工学	2		2		
空間情報処理	2		2		
ゼミナール	2	2			
工業総論	2		2		
工業職業指導Ⅰ	2		2		
工業職業指導Ⅱ	2		2		
まちづくり工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			

Ⅵ　機械工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数40単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
機械工学インセンティブ	2	2			
機械工学キャリアデザイン	1	1			
機械工作実習A	2	2		機械力学Ⅲ 材料力学Ⅱ 材料力学Ⅲ のうちから2単位以上を修得しなければならない。	
機械工作実習B	2	2			
機械工学実験ⅠA	2	2			
機械工学実験ⅠB	2	2		流体力学Ⅱ 流体力学Ⅲ 熱力学Ⅱ 熱力学Ⅲ のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
機械工学実験ⅡA	2	2			
機械工学実験ⅡB	2	2			
機械設計製図ⅠA	2	2		機械工作法Ⅰ 機械工作法Ⅱ 機械要素Ⅰ 機械要素Ⅱ 機械の材料 のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
機械設計製図ⅠB	2	2			
機械設計製図ⅡA	2	2			
機械設計製図ⅡB	2	2			
CAD／CAM	2		2	メカニクス基礎 コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ 電気の基礎Ⅰ 電気の基礎Ⅱ エンジニアリングアナリシス 計測工学 のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
機械力学Ⅰ	2	2			
機械力学Ⅱ	2	2			
機械力学Ⅲ	2		2		
材料力学Ⅰ	2	2			
材料力学Ⅱ	2		2		
材料力学Ⅲ	2		2		
流体力学Ⅰ	2	2			

流体力学Ⅱ	2		2			
流体力学Ⅲ	2		2			
熱力学Ⅰ	2	2				
熱力学Ⅱ	2		2			
熱力学Ⅲ	2		2			
機械工作法Ⅰ	2		2			
機械工作法Ⅱ	2		2			
機械要素Ⅰ	2		2			
機械要素Ⅱ	2		2			
機械の材料	2		2			
メカニクス基礎	2		2			
コンピュータプログラミングⅠ	2		2			
コンピュータプログラミングⅡ	2		2			
電気の基礎Ⅰ	2		2			
電気の基礎Ⅱ	2		2			
エンジニアリングアナリシス	2		2			
計測工学	2		2			
機械力学・材料力学演習 A	1		1			
機械力学・材料力学演習 B	1		1			
流体力学・熱力学演習 A	1		1			
流体力学・熱力学演習 B	1		1			
振動工学	2		2			
動的システム	2		2			

制御工学Ⅰ	2		2			
制御工学Ⅱ	2		2			
ロボット工学	2		2			
自動車運動力学	2		2			
先進自動車システム	2		2			
弾性学Ⅰ	2		2			
弾性学Ⅱ	2		2			
軽量構造力学	2		2			
FEM構造解析	2		2			
流体工学Ⅰ	2		2			
流体工学Ⅱ	2		2			
数値熱流体工学	2		2			
伝熱工学	2		2			
熱流体工学	2		2			
内燃機関	2		2			
ガスタービン	2		2			
機械加工学	2		2			
工作機械	2		2			
塑性と加工	2		2			
生産システム	2		2			
機械工学特殊講義	2		2			
機械工学総合演習	1	1				
卒業研究	6	6				

(B 群)					
代　数　学　Ⅰ	2		2		
代　数　学　Ⅱ	2		2		
幾　何　学　Ⅰ	2		2		
幾　何　学　Ⅱ	2		2		
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
生　物　学　実　験	1		1		
地　学　概　論	2		2		
地　学　実　験	1		1		
木　材　加　工	2		2		
木 材 加 工 実 習	2		2		
電 気 （ 含 実 習 ）	2		2		
栽 培 （ 含 実 習 ）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

ＶⅡ　精密機械工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
(A群)				A群から必修単位数20単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
精密機械工学インセンティブ	2	2			
精密機械工学キャリアデザイン	1	1			

微分方程式の基礎Ⅰ	2		2	微分方程式の基礎Ⅰ 微分方程式の基礎Ⅱ 関数論の基礎Ⅰ 関数論の基礎Ⅱ 精密機械工学リテラシ コンピュータプログラミング 工業数学 のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
微分方程式の基礎Ⅱ	2		2		
関数論の基礎Ⅰ	2		2		
関数論の基礎Ⅱ	2		2		
精密機械工学リテラシ	2		2		
コンピュータプログラミング	2		2		
工業数学	2		2		
工作実習実験Ⅰ	1	1		工業力学Ⅰ 工業力学Ⅱ 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 流体力学 熱力学 のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
工作実習実験Ⅱ	1	1			
機械実験Ⅰ	1	1			
機械実験Ⅱ	1	1			
電気電子実験Ⅰ	1	1		電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ アナログ回路 デジタル回路 のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
電気電子実験Ⅱ	1	1			
機械設計製図ⅠA	1	1			
機械設計製図ⅠB	1	1			
機械設計製図ⅡA	1	1			
機械設計製図ⅡB	1	1			
工業力学Ⅰ	2		2	機械計測 制御工学Ⅰ 制御工学Ⅱ 制御システム 測定値計算法 ロボット工学Ⅰ のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
工業力学Ⅱ	2		2		
材料力学Ⅰ	2		2		
材料力学Ⅱ	2		2		
流体力学	2		2		
熱力学	2		2	機械要素 機構学 機械加工学Ⅰ 機械加工学Ⅱ 材料学 機械材料 のうちから8単位以上を修得しなければならない。	
工業熱力学	2		2		
流体工学	2		2		
電磁気学Ⅰ	2		2		
電磁気学Ⅱ	2		2		
電気回路Ⅰ	2		2		
電気回路Ⅱ	2		2		
アナログ回路	2		2		
デジタル回路	2		2		
機械計測	2		2		
制御工学Ⅰ	2		2		

制御工学Ⅱ	2		2			
制御システム	2		2			
測定値計算法	2		2			
ロボット工学Ⅰ	2		2			
ロボット工学Ⅱ	2		2			
機械要素	2		2			
機構学	2		2			
機械加工学Ⅰ	2		2			
機械加工学Ⅱ	2		2			
材料学	2		2			
機械材料	2		2			
振動工学	2		2			
マイクロマシニング	2		2			
光工学	2		2			
デジタル制御	2		2			
半導体工学	2		2			
コンピュータ工学	2		2			
メカトロニクス	2		2			
コンピュータシミュレーション	2		2			
コンピュータグラフィクス	2		2			
人工知能	2		2			
人間工学	2		2			
システム工学	2		2			
工学解析の方法Ⅰ	2		2			
工学解析の方法Ⅱ	2		2			
特別講義	2		2			
精密機械工学総合演習	1	1				
卒業研究	6	6				
(B群)						
代数学Ⅰ	2		2			
代数学Ⅱ	2		2			
幾何学Ⅰ	2		2			
幾何学Ⅱ	2		2			

物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅴ Ⅲ　航空宇宙工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A 群)				A群から必修単位数38単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
航空宇宙工学インセンティブ	2	2			
航空宇宙工学キャリアデザイン	1	1			
基礎製図Ⅰ	2	2		工業数学Ⅰ 工業数学Ⅱ 工業数学Ⅲ 工業数学Ⅳ のうちから4単位以上を修得しなければならない。	
基礎製図Ⅱ	2	2			
設計製図Ⅰ	2	2			
設計製図Ⅱ	2	2		コンピュータプログラミングⅠ コンピュータプログラミングⅡ 航空宇宙力学シミュレーション のうちから2単位以上を修得しなければならない。	
航空宇宙工学実験Ⅰ	4	4			
航空宇宙工学実験ⅡA	2	2			

航空宇宙工学実験ⅡB	2	2			
力学の基礎演習	1		1		
工業数学Ⅰ	2		2	工業力学Ⅱ及び演習 制御工学Ⅰ 飛行力学Ⅰ 宇宙機力学Ⅰ 材料力学Ⅱ及び演習 航空宇宙材料Ⅰ 航空機構造力学 振動工学 熱力学Ⅱ及び演習 伝熱工学Ⅰ 反応性流体力学 流体力学Ⅱ及び演習 航空力学Ⅰ 粘性流体力学 のうちから20単位以上を修得しなければならない。	
工業数学Ⅱ	2		2		
工業数学Ⅲ	2		2		
工業数学Ⅳ	2		2		
コンピュータプログラミングⅠ	1		1		
コンピュータプログラミングⅡ	1		1		
航空宇宙力学シミュレーション	1		1		
電気の基礎	2		2		
電子回路	2		2		
信号処理	2		2		
機械要素及び工作法	2		2		
システム工学	2		2		
宇宙機設計	2		2		
航空機構造設計製図	2		2		
機体生産技術	2		2		
工業力学Ⅰ及び演習	3	3			
工業力学Ⅱ及び演習	3		3		
制御工学Ⅰ	2		2		
制御工学Ⅱ	2		2		
制御工学Ⅲ	2		2		
飛行力学Ⅰ	2		2		

飛行力学Ⅱ	2		2		
宇宙機力学Ⅰ	2		2		
宇宙機力学Ⅱ	2		2		
材料力学Ⅰ及び演習	3	3			
材料力学Ⅱ及び演習	3		3		
材料力学Ⅲ	2		2		
航空宇宙材料Ⅰ	2		2		
航空宇宙材料Ⅱ	2		2		
航空機構造力学	2		2		
振動工学	2		2		
熱力学と流体力学の基礎	2		2		
熱力学Ⅰ及び演習	3	3			
熱力学Ⅱ及び演習	3		3		
伝熱工学Ⅰ	2		2		
伝熱工学Ⅱ	2		2		
ジェットエンジン	2		2		
反応性流体力学	2		2		
ロケットエンジン	2		2		
流体力学Ⅰ及び演習	3	3			
流体力学Ⅱ及び演習	3		3		
航空力学Ⅰ	2		2		
航空力学Ⅱ	2		2		
粘性流体力学	2		2		

圧縮性流体力学	2		2		
空力設計法	2		2		
航空宇宙工学工房演習Ⅰ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅱ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅲ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅳ	1		1		
航空宇宙工学工房演習Ⅴ	1		1		
航空宇宙工学特殊講義	2		2		
航空宇宙工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			
(B群)					
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅸ　電気工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数25単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
電気工学インセンティブ	2	2			
電気工学キャリアデザイン	1	1			
電気工学のための数学	2		2	電気工学のための数学 電気回路の基礎 電磁気の基礎 電気計測 エレクトロニクス計測 回路の過渡応答 回路とシステムの基礎 コンピュータプログラミング コンピュータシミュレーションⅠ コンピュータシミュレーションⅡ のうちから10単位以上を修得しなければならない。	
電気回路の基礎	2		2		
電磁気の基礎	2		2		
電気計測	2		2		
エレクトロニクス計測	2		2		
回路の過渡応答	2		2		
回路とシステムの基礎	2		2		
コンピュータプログラミング	1		1		
コンピュータシミュレーションⅠ	1		1		
コンピュータシミュレーションⅡ	1		1	電気回路Ⅰ及び演習 電気回路Ⅱ及び演習 電磁気学Ⅰ及び演習 電磁気学Ⅱ及び演習 のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
電気回路Ⅰ及び演習	3		3		
電気回路Ⅱ及び演習	3		3		
電磁気学Ⅰ及び演習	3		3		
電磁気学Ⅱ及び演習	3		3		
電気工学基礎実験	2	2			
電気工学実験Ⅰ	2	2			
電気電子工学実験	2	2			
電気工学実験Ⅱ	2	2			
回路デザイン実験	2	2			
電気工学実験Ⅲ	2	2			
電気工学ものづくり実験	2		2		
電気機器Ⅰ	2		2		
電気機器Ⅱ	2		2		
電力機器	2		2		
パワーエレクトロニクス	2		2		

電気機器設計	2		2			
送配電工学Ⅰ	2		2			
送配電工学Ⅱ	2		2			
発変電工学Ⅰ	2		2			
発変電工学Ⅱ	2		2			
制御の基礎	2		2			
制御工学	2		2			
電気法規及び施設管理	2		2			
情報の基礎	2		2			
情報エントロピーの科学	2		2			
情報工学	2		2			
情報ネットワーク	2		2			
通信工学	2		2			
ワイヤレスコミュニケーション	2		2			
電磁波の基礎	2		2			
電磁波工学	2		2			
画像処理	2		2			
音響工学	2		2			
超音波工学	2		2			
通信法規	2		2			
物性の基礎	2		2			
半導体デバイスの基礎	2		2			
電子デバイス	2		2			
電気材料	2		2			
先端材料工学	2		2			
放電プラズマ応用	2		2			
電子回路Ⅰ	2		2			
電子回路Ⅱ	2		2			
ディジタル回路	2		2			
電子回路ＣＡＤ	2		2			
オプトロニクス	2		2			
エレクトロケミストリ	2		2			

特別講義	2	2			
電気工学ゼミナール	1	1			
電気工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			
(B群)					
代数学Ⅰ	2		2		
代数学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅰ	2		2		
幾何学Ⅱ	2		2		
情報社会及び情報倫理	2		2		
情報通信ネットワークⅠ	2		2		
情報通信ネットワークⅡ	2		2		
情報と職業	2		2		
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

X　電子工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

(A 群)				A 群から必修単位数 43 単位を含め，合計 86 単位以上を修得しなければならない。	
電子工学インセンティブ	2	2			
電子工学キャリアデザイン	1	1			
電子工学実験Ⅰ	4	4			
電子工学実験Ⅱ	4	4			
電子工学実験Ⅲ	4	4			
電子工学実験Ⅳ	2	2			
回路理論Ⅰ	2	2			
回路理論Ⅱ	2	2			
電子回路Ⅰ	2	2			
電子回路Ⅱ	2	2			
電磁気学Ⅰ及び演習	3	3			
電磁気学Ⅱ及び演習	3	3			
回路理論のための基礎数学	2	2			
電磁気学のための基礎数学	2	2			
エレクトロニクス工作	1		1		
過渡現象	2		2		
分布定数回路	2		2		
回路合成	2		2		
アナログ集積回路基礎	2		2		
アナログ集積回路	2		2		
ディジタル回路	2		2		
集積回路工学	2		2		
集積回路デザイン	2		2		
制御工学	2		2		
ロボット工学	2		2		
電気計測	2		2		
電子計測システム	2		2		
光・電子応用計測	2		2		
基礎電子物性	2		2		
電子物性工学	2		2		
量子力学基礎	2		2		
量子物性工学	2		2		

半導体デバイス工学	2		2			
半導体物性工学	2		2			
光･電子機能マテリアル	2		2			
光･電子機能デバイス	2		2			
信号理論基礎	2		2			
ディジタル信号処理	2		2			
通信システム基礎	2		2			
無線通信システム	2		2			
電磁波工学	2		2			
アンテナ・電波伝搬	2		2			
光通信工学	2		2			
電磁波応用	2		2			
超高周波工学	2		2			
通信法規	2		2			
コンピュータリテラシ	1		1			
計算機ソフトウェア及び演習	3		3			
論理回路	2		2			
数値計算法	2		2			
計算機アーキテクチャ	2		2			
情報理論基礎	2		2			
プログラミング応用	1		1			
情報ネットワーク基礎	2		2			
ネットワークシステム	2		2			
システム工学	2		2			
生体情報工学	2		2			
ゼミナール	1	1				
電子工学総合演習	1	1				
卒業研究	6	6				
(B 群)						
情報社会及び情報倫理	2		2			
情報通信ネットワークⅠ	2		2			
情報通信ネットワークⅡ	2		2			
情報と職業	2		2			

木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

ＸＩ　応用情報工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用情報工学インセンティブ	2	2		必修単位数33単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
応用情報工学キャリアデザイン	1	1			
情報基礎演習Ⅰ	1		1		
情報基礎演習Ⅱ	1		1		
論理回路	2		2		
計算機工学Ⅰ	2		2		
計算機工学Ⅱ	2		2		
ソフトウェア工学	2		2		
オペレーティングシステム	2		2		
回路理論Ⅰ	2	2			
回路理論Ⅱ	2	2			
C プログラミング及び演習	3	3			
オブジェクト指向プログラミング	2		2		
Java プログラミング	2		2		

電気物理	2		2			
情報数学	2	2				
離散数学	2	2				
応用数学	2	2				
オートマトン	2		2			
数値解析	2		2			
数値計算法	2		2			
信号理論	2		2			
情報理論	2		2			
マネジメント工学	2		2			
交通情報システム	2		2			
環境情報	2		2			
データ構造とアルゴリズム及び演習	3		3			
人工知能	2		2			
データベース	2		2			
データマイニング	2		2			
応用統計	2		2			
画像処理	2		2			
パターン認識	2		2			
シミュレーション工学	2		2			
マルチメディア	2		2			
コンピュータグラフィックス	2		2			
情報セキュリティ基礎	2		2			

情報ネットワーク基礎	2		2			
ネットワークシステム	2		2			
通信システム基礎	2		2			
情報通信システム	2		2			
特殊無線概論	2		2			
組込回路Ⅰ	2		2			
組込回路Ⅱ	2		2			
組込システムⅠ	2		2			
組込システムⅡ	2		2			
情報デバイス	2		2			
制御理論	2		2			
システム工学	2		2			
ディジタル信号処理	2		2			
計測システム	2		2			
オプトエレクトロニクス	2		2			
ロボット工学	2		2			
情報工学実験Ⅰ	2	2				
情報工学実験Ⅱ	4	4				
情報工学実験Ⅲ	4	4				
代数概論Ⅰ	2		2			
代数概論Ⅱ	2		2			
幾何概論Ⅰ	2		2			
幾何概論Ⅱ	2		2			

情報社会と倫理	2		2		
情報職業論	2		2		
プロジェクト実習	2		2		
キャリアデザイン入門	1		1		
インターンシップ	1		1		
応用情報工学総合演習	1	1			
卒業研究	6	6			

ＸⅡ　物質応用化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数40単位を含め,合計86単位以上を修得しなければならない。	
物質応用化学インセンティブ	2	2			
物質応用化学キャリアデザイン	1	1			
化学実験	2	2			
コンピュータ解析	2		2		
基礎物理化学	2	2			
物理化学Ⅰ	2		2		
物理化学Ⅱ	2		2		
化学熱力学	2		2		
量子化学	2		2		
量論化学工学Ⅰ	2		2		
量論化学工学Ⅱ	2		2		
物質分離工学	2		2		
流動・伝熱操作	2		2		
環境化学Ⅰ	2		2		
環境化学Ⅱ	2		2		
エネルギー環境工学	2		2		
化学安全工学	2		2		

基礎無機化学	2	2				
無機化学Ⅰ	2		2			
無機化学Ⅱ	2		2			
無機固体化学	2		2			
無機材料物性	2		2			
セラミックス化学	2		2			
金属化学	2		2			
分析化学Ⅰ	2		2			
分析化学Ⅱ	2		2			
機器分析	2		2			
基礎有機化学	2	2				
有機化学Ⅰ	2		2			
有機化学Ⅱ	2		2			
有機合成化学	2		2			
分子構造決定法	2		2			
有機機能化学	2		2			
高分子科学	2		2			
高分子合成化学	2		2			
高分子物性	2		2			
高分子材料	2		2			
基礎生命科学	2	2				
生命科学Ⅰ	2		2			
生命科学Ⅱ	2		2			
生命科学Ⅲ	2		2			
分子生物学	2		2			
バイオマテリアル	2		2			
生命有機化学Ⅰ	2		2			
生命有機化学Ⅱ	2		2			
生活の生命科学	2		2			
専門化学実験Ⅰ	3	3				
専門化学実験Ⅱ	3	3				
専門化学実験Ⅲ	3	3				
専門化学実験Ⅳ	3	3				

専門化学実験Ⅴ	3	3			
専門化学実験Ⅵ	3	3			
研究基礎実験	2	2			
特別実験	4		4		
物質応用化学総合演習	1	1			
化学プレゼンテーション	2	2			
卒業研究	4	4			
(B群)					
物理学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論	2		2		
地学実験	1		1		
木材加工	2		2		
木材加工実習	2		2		
金属加工	2		2		
金属加工実習	2		2		
機械（含実習）	2		2		
電気（含実習）	2		2		
栽培（含実習）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

ⅩⅢ　物理学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(A群)				A群から必修単位数40単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
物理学インセンティブ	2	2			
物理学キャリアデザイン	1	1			
微分方程式論Ⅰ	2		2	物理数学Ⅲ 解析力学	

微分方程式論Ⅱ	2		2	電磁気学Ⅲ 原子物理学 量子力学Ⅱ 熱力学 統計物理学Ⅱ 物理学実験Ⅲ 物理学プロジェクト実験 数式・画像処理 計算機演習 のうちから16単位以上を修得しなければならない。	
複素関数論	2		2		
数理統計の基礎Ⅰ	2		2		
数理統計の基礎Ⅱ	2		2		
物理数学Ⅰ	2	2			
物理数学Ⅱ	2	2			
物理数学Ⅲ	2		2		
物理数学演習	2	2			
力学Ⅰ	2	2			
力学Ⅱ	2	2			
解析力学	2		2		
力学演習	2	2			
電磁気学Ⅰ	2	2			
電磁気学Ⅱ	2	2			
電磁気学Ⅲ	2		2		
電磁気学演習	2	2			
原子物理学	2		2		
量子力学Ⅰ	2	2			
量子力学Ⅱ	2		2		
量子力学Ⅲ	2		2		
量子力学演習	2	2			
熱力学	2		2		
統計物理学Ⅰ	2	2			

統計物理学Ⅱ	2		2			
統計物理学Ⅲ	2		2			
統計物理学演習	2	2				
光学	2		2			
相対論	2		2			
流体力学	2		2			
物性物理学Ⅰ	2		2			
物性物理学Ⅱ	2		2			
相対論的量子力学	2		2			
高エネルギー物理学	2		2			
プラズマ物理学	2		2			
核融合科学	2		2			
宇宙物理学	2		2			
天文学	2		2			
生物物理学	2		2			
科学史	2		2			
物理学実験Ⅰ	2	2				
物理学実験Ⅱ	2	2				
物理学実験Ⅲ	2		2			
物理学プロジェクト実験	2		2			
物理実験学	2		2			
回路理論	2		2			
制御理論	2		2			

電子回路	2		2			
計測物理学	2		2			
コンピュータリテラシ	1		1			
計算機基礎	2		2			
ネットワーク基礎論	2		2			
数式・画像処理	2		2			
アルゴリズムとプログラミングⅠ	2		2			
アルゴリズムとプログラミングⅡ	2		2			
コンピュータシミュレーション	2		2			
計算物理学	2		2			
計算機演習	2		2			
情報システム論	2		2			
物理学特殊講義	2		2			
物理学総合演習	1	1				
ゼミナール	2	2				
卒業研究	4	4				
(B群)						
代数学Ⅰ	2		2			
代数学Ⅱ	2		2			
幾何学Ⅰ	2		2			
幾何学Ⅱ	2		2			
情報社会及び情報倫理	2		2			
情報通信ネットワークⅠ	2		2			

情報通信ネットワークⅡ	2		2		
情　報　と　職　業	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
生　物　学　実　験	1		1		
地　学　概　論	2		2		
地　学　実　験	1		1		

ⅩⅣ　数学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
(A群)				A群から必修単位数42単位を含め，合計86単位以上を修得しなければならない。	
数学インセンティブ	2	2			
数学キャリアデザイン	1	1		代数学及び演習A 代数学及び演習B 幾何学及び演習A 幾何学及び演習B 解析学及び演習A 解析学及び演習B 複素解析学及び演習A 複素解析学及び演習B 数値解析学及び演習A 数値解析学及び演習B のうちから3科目9単位以上を修得しなければならない。	
代数学幾何学A	4	4			
代数学幾何学B	4	4			
代数学幾何学C	4	4			
代数学幾何学D	4	4			
微分積分学A	4	4			
微分積分学B	4	4			
微分積分学C	4	4			
微分積分学D	4	4			
数　学　入　門　A	2		2		
数　学　入　門　B	2		2		
数　学　入　門　C	2		2		
数　学　入　門　D	2		2		
代数学入門A	2		2		
代数学入門B	2		2		
代数学及び演習A	3		3		

代数学及び演習B	3		3			
現代代数学Ⅰ	2		2			
現代代数学Ⅱ	2		2			
幾何学及び演習A	3		3			
幾何学及び演習B	3		3			
現代幾何学Ⅰ	2		2			
現代幾何学Ⅱ	2		2			
解析学入門A	2		2			
解析学入門B	2		2			
解析学及び演習A	3		3			
解析学及び演習B	3		3			
複素解析学及び演習A	3		3			
複素解析学及び演習B	3		3			
現代解析学Ⅰ	2		2			
現代解析学Ⅱ	2		2			
数理統計学A	2		2			
数理統計学B	2		2			
確率統計A	2		2			
確率統計B	2		2			
コンピュータ概論A	2		2			
コンピュータ概論B	2		2			
ソフトウェア概論A	4		4			
ソフトウェア概論B	4		4			
数理情報論理学A	2		2			
数理情報論理学B	2		2			
数値解析学及び演習A	3		3			
数値解析学及び演習B	3		3			
アルゴリズム数理A	2		2			
アルゴリズム数理B	2		2			
情報通信ネットワーク論A	2		2			
情報通信ネットワーク論B	2		2			
離散数学A	2		2			
離散数学B	2		2			

コンピュータグラフィックス論A	2		2		
コンピュータグラフィックス論B	2		2		
教育数学	2		2		
数学総合研究	2		2		
数学総合演習	1	1			
ゼミナール	2	2			
卒業研究	4	4			
(B群)					
情報社会及び情報倫理	2		2		
情報と職業	2		2		

5　学芸員課程科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生涯学習概論	2		2	学芸員課程科目は,許可を受けて履修することができる。	
博物館概論	2		2		
博物館経営論	2		2		
博物館資料論	2		2		
博物館資料保存論	2		2		
博物館展示論	2		2		
博物館教育論	2		2		
博物館情報･メディア論	2		2		
博物館実習A（見学）	1		1		
博物館実習B（実務）	1		1		
博物館実習C（館園）	1		1		

第10節　生産工学部

第89条　生産工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定めた単位数を含め，総計128単位以上を修得しなければならない。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2　教養基盤科目

①学科共通科目及び②学科別基盤科目から必修科目を含め，合計38単位以上を修得しなければならない。

①学科共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
教養科目				必修単位数17単位，選択単位数は，教養科目から8単位以上，基盤科目から2単位以上を含め，合計38単位以上を修得しなければならない。	
科学基礎論	2		2		
教養探求	2		2		
芸術と文学	2		2		
歴史学	2		2	機械工学科，電気電子工学科，応用分子化学科応用化学システムコース，マネジメント工学科，数理情報工学科シミュレーション・データサイエンスコース，数理情報工学科メディアデザインコース，環境安全工学科，創生デザイン学科は， 化学 の2単位を必修とし， 科学基礎論 教養探求 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから4単位以上， 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論	
心理学	2		2		
比較文化論	2		2		
政治経済論	2		2		
社会学	2		2		
法学	2		2		
国際関係論	2		2		
体育	1	1			
総合科目	2		2		
国際コミュニケーション科目					
英語Ⅰ	1	1			
英語Ⅱ	1	1			
イングリッシュスキルA	1	1			
イングリッシュスキルB	1	1			

イングリッシュスキルC	1		1	総合科目 のうちから4単位以上，計 10単位以上を修得しなけ ればならない。	
イングリッシュスキルD	1		1		
英語コミュニケーション基礎	1		1		
英語コミュニケーション応用Ⅰ	1		1	土木工学科は， 科学基礎論 イングリッシュスキルC イングリッシュスキルD 微分積分学Ⅱ 物理学Ⅱ の6単位を必修とし， 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから2単位以上， 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論 総合科目 のうちから4単位以上，計 12単位以上を修得しなけ ればならない。 建築工学科は， 科学基礎論 イングリッシュスキルC イングリッシュスキルD 物理学Ⅱ 化学 の8単位を必修とし， 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから2単位以上， 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論 総合科目 のうちから4単位以上，計 14単位以上を修得しなけ ればならない。 応用分子化学科国際化学 技術者コースは， 科学基礎論 イングリッシュスキルC イングリッシュスキルD 微分積分学Ⅱ 確率統計 物理学Ⅱ	
英語コミュニケーション応用Ⅱ	1		1		
初習外国語	1		1		
日本語表現法	1		1		
日本の言葉	1		1		
基盤科目					
数学系					
微分積分学Ⅰ	2	2			
微分積分学Ⅱ	2		2		
線形代数学	2	2			
確率統計	2		2		
微分方程式	2		2		
物理系					
物理学Ⅰ	2	2			
物理学Ⅱ	2		2		
物理科学概論	2		2		
化学・生物系					
化学	2		2		
応用化学	2		2		
生物環境科学	2		2		
実技系					
科学基礎実験A	1	1			
科学基礎実験B	1	1			
工学基盤実験A	1	1			
工学基盤実験B	1	1			
科学系					
基礎科学演習	1		1		
物理数学演習	1		1		
計算科学基礎	2		2		
情報系					

情報リテラシー	2	2		生物環境科学 の12単位を必修とし， 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから2単位以上， 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論 総合科目 のうちから4単位以上，計18単位以上を修得しなければならない。 数理情報工学科コンピュータサイエンスコースは， 科学基礎論 イングリッシュスキルC イングリッシュスキルD 微分積分学Ⅱ 確率統計 化学 生物環境科学 の12単位を必修とし， 芸術と文学 歴史学 心理学 のうちから2単位以上， 比較文化論 政治経済論 社会学 法学 国際関係論 総合科目 のうちから4単位以上，計18単位以上を修得しなければならない。	
横断科目					
生産工学とSDGs	2		2		
エンジニアリングスキル	2		2		
工学基盤演習	1		1		
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ﾋﾞｼﾞﾈｽｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞⅠ	1		1		
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ﾋﾞｼﾞﾈｽｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞⅡ	1		1		
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ﾋﾞｼﾞﾈｽｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞⅢ	1		1		
技術と経営	1		1		
事業継承者･企業家の実務Ⅰ	1		1		
事業継承者･企業家の実務Ⅱ	1		1		
ロボットデザイン入門	1		1		
ロボットデザイン基礎Ⅰ	1		1		
ロボットデザイン基礎Ⅱ	1		1		
ロボットデザイン実践Ⅰ	1		1		
ロボットデザイン実践Ⅱ	1		1		
つくりかたマップ	1		1		
なんでも作るジム	1		1		
チャレンジ･ハッカソン	1		1		
教職課程科目					
日本国憲法	2		2		
健康と運動の科学	2		2		
教育と福祉	2		2		
教育法規	2		2		
教職特別講義	2		2		

②学科別基盤科目

Ⅰ　機械工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
物理学概論	2		2		
化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		

物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅱ　電気電子工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
地　学　概　論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅲ　土木工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
地　学　概　論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		

化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅳ　建築工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
地　学　概　論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅴ　応用分子化学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
地　学　概　論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		

職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅵ　マネジメント工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅶ　数理情報工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
情　報　と　職　業	2		2		

Ⅷ　環境安全工学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
物　理　学　概　論	2		2		
化　学　概　論	2		2		
生　物　学　概　論	2		2		
地　学　概　論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工　業　概　論	2		2		
職　業　指　導　Ⅰ	2		2		
職　業　指　導　Ⅱ	2		2		

Ⅸ　創生デザイン学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
物　理　学　概　論	2		2		

化学概論	2		2		
生物学概論	2		2		
地学概論	2		2		
物理学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
生物学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
地学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
化学実験（コンピュータ活用を含む）	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

3　生産工学系科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生産工学の基礎	2	2		必修単位数15単位以上を含め，合計20単位以上を修得しなければならない。 機械工学科，電気電子工学科，土木工学科，建築工学科，応用分子化学科応用化学システムコース，数理情報工学科シミュレーション・データサイエンスコース，数理情報工学科メディアデザインコース，環境安全工学科，創生デザイン学科は， プロジェクト演習 を必修とする。 応用分子化学科国際技術者コースは， エンジニアリングプロジェクト演習 を必修とする。 マネジメント工学科は， プロジェクト演習 生産管理 を必修とする。 数理情報工学科コンピュータサイエンスコースは， プロジェクト演習 産業関連法規 を必修とする。	
キャリアデザイン	2	2			
キャリアデザイン演習	1	1			
データサイエンス	2	2			
プロジェクト演習	1		1		
エンジニアリングプロジェクト演習	1		1		
生産実習	4	4			
SD コミュニケーション	2		2		
安全工学	2		2		
生産管理	2		2		
産業関連法規	2		2		
経営管理	2	2			
技術者倫理	2	2			
生産工学特別講義	2		2		

4　専門教育科目

Ⅰ　機械工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
材料力学Ⅰ及び演習	3	3		必修単位数38単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。また，上記単位数に他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 自動車コースは， 軽量構造力学 エネルギー変換工学 軽量材料 自動車工学 のうちから6単位以上を修得しなければならない。 航空宇宙コースは， 軽量構造力学 航空機力学 航空宇宙推進機 軽量材料 航空宇宙工学 のうちから6単位以上を修得しなければならない。 ロボット･機械創造コースは， マシンツール 機械構造材料 ロボット工学Ⅱ デザイン工学 ロボット工学Ⅰ のうちから6単位以上を修得しなければならない。	
材料力学Ⅱ	2		2		
有限要素法	2		2		
軽量構造力学	2		2		
航空機力学	2		2		
機械力学Ⅰ及び演習	3	3			
機械力学Ⅱ	2		2		
機械振動工学	2		2		
基礎製図製作	3	3			
機械要素	2		2		
実験計画法	2		2		
マシンツール	2		2		
流体力学Ⅰ及び演習	3	3			
流体力学Ⅱ	2		2		
熱流体解析	2		2		
熱力学Ⅰ及び演習	3	3			
熱力学Ⅱ	2		2		
伝熱工学	2		2		
内燃機関	2		2		
エネルギー変換工学	2		2		
航空宇宙推進機	2		2		
機械加工学A	2		2		
機械加工学B	2		2		
機械加工学概論	2	2			
機械材料	2	2			
軽量材料	2		2		
機械構造材料	2		2		
3次元グラフィックス演習	2	2			
要素製図製作	3	3			
機械設計製図ⅠA	1	1			

機械設計製図ⅠB	1	1			
機械設計製図ⅡA	1	1			
機械設計製図ⅡB	1	1			
基礎工学実験	2	2			
機械工学実験	2	2			
実践ものづくりⅠ	1		1		
実践ものづくりⅡ	1		1		
電気・電子工学	2		2		
計測工学	2		2		
制御工学Ⅰ	2		2		
制御工学Ⅱ	2		2		
ロボット工学Ⅱ	2		2		
人間・機械システム	2		2		
自動車工学	2		2		
デザイン工学	2		2		
システムモデリング演習	2		2		
プログラミング演習	2		2		
ロボット工学Ⅰ	2		2		
航空宇宙工学	2		2		
ゼミナール	1		1		
CAD／CAE 演習	2		2		
卒業研究 1	3	3			
卒業研究 2	3	3			

Ⅱ　電気電子工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電磁気学及び演習Ⅰ	2	2		必修単位数27単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。	
電磁気学及び演習Ⅱ	2	2			
電磁気学及び演習Ⅲ	2		2	電磁気学及び演習Ⅲ	
電磁気学及び演習Ⅳ	2		2	電磁気学及び演習Ⅳ	
回路理論及び演習Ⅰ	2	2		回路理論及び演習Ⅲ 回路理論及び演習Ⅳ	
回路理論及び演習Ⅱ	2	2		電子回路Ⅰ	
回路理論及び演習Ⅲ	2		2	電子回路Ⅱ 電気数学Ⅰ	

回路理論及び演習Ⅳ	2		2	電気数学Ⅱ 情報理論 科学技術欧文技法 電気電子工学特別講義 電気電子設計Ⅰ 電気電子設計Ⅱ のうちから13単位以上,修得しなければならない。 エネルギーシステムコースは, 電磁気学及び演習Ⅲ 電磁気学及び演習Ⅳ 回路理論及び演習Ⅲ 回路理論及び演習Ⅳ 電気電子計測Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ 電気数学Ⅰ 電気数学Ⅱ 電気電子材料 電気機器Ⅰ 電気機器Ⅱ パワーエレクトロニクス 高電圧プラズマ工学 電力発生工学 電力輸送工学 照明工学 電気化学 電気法規及び施設管理 論理ディジタル回路 コンピュータシステム 非破壊検査工学 情報理論 ディジタル信号処理 制御工学 電気音響工学 電気電子設計製図 生産工学実習A 生産工学実習B 過渡現象 科学技術欧文技法 電気電子工学特別講義 電気電子設計Ⅰ 電気電子設計Ⅱ 数値計算法 情報管理 ロボットテクノロジ のうちから41単位以上を修得しなければならない。 また,上記単位数に他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。	
電気電子計測Ⅰ	2	2			
電気電子計測Ⅱ	2		2		
電子回路Ⅰ	2		2		
電子回路Ⅱ	2		2		
伝送路システム	2		2		
電気数学Ⅰ	2		2		
電気数学Ⅱ	2		2		
電気電子材料	2		2		
電気機器Ⅰ	2		2		
電気機器Ⅱ	2		2		
パワーエレクトロニクス	2		2		
高電圧プラズマ工学	2		2		
電力発生工学	2		2		
電力輸送工学	2		2		
照明工学	2		2		
電気化学	2		2		
電気法規及び施設管理	2		2		
論理ディジタル回路	2		2		
プログラミング及び演習	2	2			
コンピュータシステム	2		2		
非破壊検査工学	2		2		
情報理論	2		2		
光通信システム	2		2		
ディジタル信号処理	2		2		
制御工学	2		2		
アンテナ・伝搬工学	2		2		
情報通信工学	2		2		
通信機器･通信システム	2		2		
電気音響工学	2		2		
通信法規	2		2		
電気電子設計製図	2		2		

電気電子工学実験ⅠA	1	1		eコミュニケーションコースは, 電磁気学及び演習Ⅲ 電磁気学及び演習Ⅳ 回路理論及び演習Ⅲ 回路理論及び演習Ⅳ 電気電子計測Ⅱ 電子回路Ⅰ 電子回路Ⅱ 伝送路システム 電気数学Ⅰ 電気数学Ⅱ 電気電子材料 論理ディジタル回路 コンピュータシステム 情報理論 光通信システム ディジタル信号処理 制御工学 アンテナ・伝搬工学 情報通信工学 通信機器･通信システム 通信法規 電気電子設計製図 生産工学実習A 生産工学実習B 過渡現象 科学技術欧文技法 ナノテクノロジ 電気電子工学特別講義 電気電子設計Ⅰ 電気電子設計Ⅱ 数値計算法 情報管理 半導体デバイス工学 ロボットテクノロジ 応用情報処理 イメージテクノロジ のうちから41単位以上を修得しなければならない。また,上記単位数に他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。	
電気電子工学実験ⅠB	1	1			
生産工学実習A	1		1		
生産工学実習B	1		1		
過渡現象	2		2		
科学技術欧文技法	1		1		
電気電子工学実験ⅡA	1	1			
電気電子工学実験ⅡB	1	1			
電気電子工学実験ⅢA	1	1			
電気電子工学実験ⅢB	1	1			
電気電子工学実験ⅣA	1	1			
電気電子工学実験ⅣB	1	1			
ナノテクノロジ	2		2		
ゼミナール	1	1			
電気電子工学特別講義	1		1		
電気電子設計Ⅰ	1		1		
電気電子設計Ⅱ	1		1		
数値計算法	2		2		
情報管理	2		2		
半導体デバイス工学	2		2		
ロボットテクノロジ	2		2		
応用情報処理	2		2		
イメージテクノロジ	2		2		
卒業研究1	3	3			
卒業研究2	3	3			

Ⅲ　土木工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
土木工学基礎及び演習Ⅰ	3	3		必修単位数44単位を含め,合計68単位以上を修得しなければならない。	
土木工学基礎及び演習Ⅱ	3	3			
土木材料学	2		2	土木材料学	

土木生産製図	1	1		応用測量学 地盤工学 施工技術 土木計測及び解析法 鉄筋コンクリート工学 河川工学 橋梁工学 海岸港湾工学 環境工学 道路工学 都市システム工学 構造工学 地震・防災工学 火薬学 水環境浄化システム 資源再生工学 メンテナンス工学 テクニカルイングリッシュⅠ テクニカルイングリッシュⅡ 国際建設情報 のうちから20単位以上， 構造･コンクリート実験 水工・衛生実験 土質・道路実験 のうちから4単位以上，計24単位以上を修得しなければならない。		
土木CAD演習	1	1				
構造力学及び演習Ⅰ	3	3				
構造力学及び演習Ⅱ	3	3				
水理学及び演習Ⅰ	3	3				
水理学及び演習Ⅱ	3	3				
コンクリート工学	2	2				
土木設計製図Ⅰ	2	2				
土木設計製図Ⅱ	2	2				
測量学	2	2				
応用測量学	2		2			
測量実習	2	2				
応用測量実習	2		2			
地盤工学	2		2			
施工技術	2		2			
土木計測及び解析法	2		2			
土質力学及び演習Ⅰ	3	3				
土質力学及び演習Ⅱ	3	3				
鉄筋コンクリート工学	2		2			
河川工学	2		2			
橋梁工学	2		2			
海岸港湾工学	2		2			
環境工学	2		2			
道路工学	2		2			
都市システム工学	2		2			
構造工学	2		2			
地震・防災工学	2		2			
火薬学	2		2			

水環境浄化システム	2		2		
資源再生工学	2		2		
メンテナンス工学	2		2		
ジオインフォマティクス	1		1		
ゼミナール	1	1			
土木技術演習	1		1		
構造･コンクリート実験	2		2		
水工・衛生実験	2		2		
土質・道路実験	2		2		
卒業研究 1	3	3			
卒業研究 2	3	3			
テクニカルイングリッシュⅠ	2		2		
テクニカルイングリッシュⅡ	2		2		
国際建設情報	2		2		
土木工学演習	1	1			

Ⅳ　建築工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
建築設計ⅠA	1	1		必修単位数45単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。 特別演習Ⅰ 建築材料Ⅱ 建築施工Ⅱ 住居学 建築デザインⅡ 建築計画Ⅱ 鉄骨構造 構造設計 建築環境工学Ⅱ 建築設備Ⅱ 建築史Ⅱ 建築教養 建築マネジメント 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ のうちから 17 単位以上，	
建築設計ⅠB	1	1			
建築設計ⅠC	1	1			
特別演習Ⅰ	1		1		
建築設計ⅡA	1	1			
建築設計ⅡB	1	1			
建築構造力学Ⅰ	3	3			
一般構法	1	1			
建築設計ⅢA	1	1			
建築設計ⅢB	1	1			

スタジオ演習Ⅰ	2		2	スタジオ演習Ⅰ スタジオ演習Ⅱ スタジオ演習Ⅲ スタジオ演習Ⅳ スタジオ演習Ⅴ スタジオ演習Ⅵ のうちから6単位以上，計23単位以上を修得しなければならない。	
スタジオ演習Ⅱ	2		2		
スタジオ演習Ⅲ	2		2		
スタジオ演習Ⅳ	2		2		
スタジオ演習Ⅴ	2		2		
スタジオ演習Ⅵ	2		2		
建築実験	2	2			
建築構造力学Ⅱ	3	3			
建築応用力学	2	2			
建築材料Ⅰ	2	2			
建築材料Ⅱ	2		2		
建築計画Ⅰ	2	2			
建築環境工学Ⅰ	2	2			
建築法規	2	2			
建築施工Ⅰ	2	2			
建築施工Ⅱ	2		2		
建築史Ⅰ	2	2			
住居学	2		2		
建築デザインⅡ	2		2		
建築計画Ⅱ	2		2		
鉄筋コンクリート構造	2	2			
鉄骨構造	2		2		
構造設計	2		2		
建築環境工学Ⅱ	2		2		
建築設備Ⅰ	2	2			
建築設備Ⅱ	2		2		
建築デザインⅠ	2	2			

都市地域計画	2	2			
建築史Ⅱ	2		2		
建築教養	2		2		
建築マネジメント	2		2		
建築コンピュータ演習	1	1			
特別演習Ⅱ	1		1		
特別演習Ⅲ	1		1		
卒業研究1	3	3			
卒業研究2	3	3			

Ⅴ　応用分子化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用化学システム入門	2		2	必修単位数9単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。 応用化学システムコースは， 化学プロセス演習 卒業研究演習 卒業研究1 卒業研究2 の10単位を必修とし， 化学熱力学 化学動力学 化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ 分離プロセス工学 のうちから4単位以上， 無機資源化学 有機資源化学 ｸﾞﾘｰﾝ・ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙ・ｹﾐｽﾄﾘｰ のうちから2単位以上， 応用化学システム入門 無機化学Ⅰ 無機化学Ⅱ 基礎無機化学 基礎有機化学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 基礎物理化学	
無機化学Ⅰ	2		2		
無機化学Ⅱ	2		2		
基礎無機化学	2		2		
基礎有機化学	2		2		
有機化学Ⅰ	2		2		
有機化学Ⅱ	2		2		
基礎物理化学	2		2		
化学熱力学	2		2		
量子化学	2		2		
触媒反応工学	2		2		
分析化学Ⅰ	2		2		
分析化学Ⅱ	2		2		
化学動力学	2		2		

化学工学Ⅰ	2		2	化学熱力学 触媒反応工学 分析化学Ⅰ	
化学工学Ⅱ	2		2	分析化学Ⅱ 化学動力学	
無機材料工学	2		2	化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ	
高分子材料工学	2		2	無機材料工学 高分子材料工学	
分析化学実習	3	3		生物化学 無機資源化学	
物性化学実習	3	3		有機資源化学 高分子化学	
創造化学実習	3	3		分子構造解析学 界面化学	
化学プロセス実習	3		3	有機化学Ⅲ 分離プロセス工学	
卒業研究演習	1		1	生物工学 分子生物学	
生物化学	2		2	工業電気化学 ｸﾞﾘｰﾝ･ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙ･ｹﾐｽﾄﾘｰ	
無機資源化学	2		2	分析化学Ⅲ 生体高分子化学	
有機資源化学	2		2	のうちから40単位以上， 情報技術演習	
高分子化学	2		2	化学系工学リテラシー 技術英語Ⅰ	
情報技術演習	1		1	技術英語Ⅱ のうちから3単位以上，計	
分子構造解析学	2		2	59単位以上を修得しなければならない。上記単位数に，他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。	
界面化学	2		2		
有機化学Ⅲ	2		2		
分離プロセス工学	2		2	国際化学技術者コースは， 量子化学	
生物工学	2		2	情報技術演習 化学系工学リテラシー	
分子生物学	2		2	物理化学序論 無機化学序論	
工業電気化学	2		2	有機化学序論 化工熱力学	
ｸﾞﾘｰﾝ･ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙ･ｹﾐｽﾄﾘｰ	2		2	無機化学各論 有機反応化学Ⅰ	
分析化学Ⅲ	2		2	分析化学 機器分析化学	
生体高分子化学	2		2	化学数学 生物有機化学	
化学系工学リテラシー	1		1	化学工学量論 移動現象	
技術英語Ⅰ	1		1	反応速度論 無機固体化学	
技術英語Ⅱ	1		1	有機反応化学Ⅱ 有機機器分析	

卒業研究1	3		3	化学プロセスデザイン実験 エンジニアリング・デザイン型卒業研究演習 化学プロセスデザイン 基礎技術英語 技術英語表現 エンジニアリング・デザイン型卒業研究1 エンジニアリング・デザイン型卒業研究2 の51単位を必修とし， 無機材料工学 無機資源化学 有機資源化学 生物工学 分子生物学 グリーン・サスティナブル・ケミストリー 高分子化学総論 高分子工学 電気化学 有機合成化学 分離工学 プロセス工学 界面・コロイド化学 のうちから8単位以上，計59単位以上を修得しなければならない。		
卒業研究2	3		3			
物理化学序論	2		2			
無機化学序論	2		2			
有機化学序論	2		2			
化工熱力学	2		2			
無機化学各論	2		2			
有機反応化学Ⅰ	2		2			
分析化学	2		2			
機器分析化学	2		2			
化学数学	2		2			
生物有機化学	2		2			
化学工学量論	2		2			
移動現象	2		2			
反応速度論	2		2			
無機固体化学	2		2			
有機反応化学Ⅱ	2		2			
有機機器分析	2		2			
高分子化学総論	2		2			
高分子工学	2		2			
電気化学	2		2			
有機合成化学	2		2			
分離工学	2		2			
プロセス工学	2		2			
界面・コロイド化学	2		2			
化学プロセスデザイン実験	4		4			
エンジニアリング・デザイン型卒業研究演習	2		2			
化学プロセスデザイン	2		2			

基礎技術英語	1		1		
技術英語表現	1		1		
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ･ﾃﾞｻﾞｲﾝ型卒業研究1	3		3		
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ･ﾃﾞｻﾞｲﾝ型卒業研究2	3		3		

Ⅵ　マネジメント工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
マネジメント工学総論	2	2		必修単位数32単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。また，上記単位数に，他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 ビジネスマネジメントコースは， 経営戦略 デジタルマーケティング サプライチェーンマネジメント の6単位を必修とし， 顧客・販売戦略 ビジネスイングリッシュ 管理会計 経営法規 工学基礎 情報科学 改善マネジメント論 リスクマネジメント ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ･ｹｰｽｽﾀﾃﾞｨ プロジェクトマネジメント 商品企画開発 環境マネジメント ビジネスと人工知能 情報システム 品質工学 在庫・物流管理 経営統計 基礎製図学 生産工学概論 のうちから24単位以上，計30単位以上を修得しなければならない。 経営システムコースは， 人間工学 オペレーションズリサーチ 機械学習 デザインエンジニアリング	
経営情報論	2	2			
品質管理	2	2			
人的資源管理	2	2			
アカウンティング	2	2			
経営戦略	2		2		
販売流通管理	2	2			
デジタルマーケティング	2		2		
顧客・販売戦略	2		2		
ビジネスイングリッシュ	2		2		
管理会計	2		2		
経営法規	2		2		
工学基礎	2		2		
情報科学	2		2		
生産技術	2		2		
人間工学	2		2		
改善マネジメント論	2		2		
ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	2		2		

リスクマネジメント	2		2	信頼性工学 経営統計 の12単位を必修とし,	
イノベーション・ケーススタディ	2		2	経営戦略 デジタルマーケティング	
プロジェクトマネジメント	2		2	ビジネスイングリッシュ 工学基礎	
商品企画開発	2		2	情報科学 生産技術	
環境マネジメント	2		2	プロジェクトマネジメント 商品企画開発	
オペレーションズリサーチ	2		2	意思決定論 人間―機械システム	
ビジネスと人工知能	2		2	情報処理基礎 社会シミュレーション	
機械学習	2		2	情報システム 品質工学	
意思決定論	2		2	システム方法論 データベースシステム	
人間―機械システム	2		2	基礎製図学 生産工学概論 のうちから18単位以上, 計30単位以上を修得しなければならない。	
情報処理基礎	2		2		
デザインエンジニアリング	2		2	フードマネジメントコースは, 経営戦略	
社会シミュレーション	2		2	サプライチェーンマネジメント イノベーション・ケーススタディ	
情報システム	2		2	フードサプライシステム の8単位を必修とし,	
信頼性工学	2		2	デジタルマーケティング 顧客・販売戦略	
品質工学	2		2	ビジネスイングリッシュ 管理会計	
システム方法論	2		2	工学基礎 情報科学	
データベースシステム	2		2	人間工学 改善マネジメント論	
在庫・物流管理	2		2	商品企画開発 環境マネジメント	
経営統計	2		2	オペレーションズリサーチ ビジネスと人工知能	
フードサプライシステム	2		2	機械学習 情報システム	
海外市場展開	2		2	品質工学 データベースシステム	
ホスピタリティマネジメント	2		2	在庫・物流管理 経営統計	
				海外市場展開 ホスピタリティマネジメント	
				基礎製図学 生産工学概論	

基礎製図学	2		2	のうちから22単位以上,計30単位以上を修得しなければならない。	
生産工学概論	2		2		
マネジメント工学実験Ⅰ	2	2			
マネジメント工学実験Ⅱ	2	2			
コンピュータ演習Ⅰ	2	2			
コンピュータ演習Ⅱ	2	2			
マネジメント工学実習Ⅰ	2	2			
マネジメント工学実習Ⅱ	2	2			
ゼミナールⅠ	1	1			
ゼミナールⅡ	1	1			
卒業研究1	3	3			
卒業研究2	3	3			

Ⅶ　数理情報工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
モデリング&デザイン	2		2	必修単位数19単位を含め,合計68単位以上を修得しなければならない。シミュレーション･データサイエンスコース及びメディアデザインコースは,上記単位数に,他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 シミュレーション･データサイエンスコースは, モデリング&デザイン 数値シミュレーション 機械学習 数理計画法 数理情報システム実験 の9単位を必修とし, 線形空間論 応用解析学 確率統計解析	
線形空間論	2		2		
カオスと情報処理	2		2		
システム解析	2		2		
応用解析学	2		2		
幾何学	2		2		
グラフィックス幾何学	2		2		
確率統計解析	2		2		
多変量データ解析	2		2		
数値シミュレーション	2		2		

コンピュータアーキテクチャー	2		2	コンピュータアーキテクチャー オペレーティングシステム ソフトウェア工学概論 人工知能 ソフトウェア構築及び演習 オートマトン 計算論 情報ネットワーク 情報セキュリティ プログラミング及び演習Ⅱ オブジェクト指向及び演習 データベースシステム コンパイラ 情報理論 メディア信号処理 数理プログラミング 情報化社会と情報倫理 のうちから23単位以上, カオスと情報処理 システム解析 幾何学 多変量データ解析 計測と制御 ダイナミックス 組合せ最適化 コンピュータグラフィックス 複雑系と創発 のうちから10単位以上, UNIX演習 アルゴリズムとデータ構造演習 のうちから1単位以上,計 43単位以上を修得しなけ ればならない。 メディアデザインコースは, CGデザイン及び演習 ヒューマンインタフェース ディジタル画像設計論 ゲームプログラミング及び演習 Webデザイン の12単位を必修とし, 線形空間論 応用解析学 確率統計解析 コンピュータアーキテクチャー オペレーティングシステム ソフトウェア工学概論 人工知能 ソフトウェア構築及び演習 オートマトン 計算論 情報ネットワーク 情報セキュリティ プログラミング及び演習Ⅱ オブジェクト指向及び演習	
アルゴリズムとデータ構造	2	2			
オペレーティングシステム	2		2		
UNIX演習	1		1		
ソフトウェア工学概論	2		2		
人工知能	2		2		
ソフトウェア構築及び演習	3		3		
オートマトン	2		2		
計算論	2		2		
機械学習	2		2		
離散数学	2	2			
情報ネットワーク	2		2		
情報セキュリティ	2		2		
プログラミング及び演習Ⅰ	3	3			
プログラミング及び演習Ⅱ	3		3		
オブジェクト指向及び演習	3		3		
数理計画法	2		2		
データベースシステム	2		2		
コンパイラ	2		2		
情報理論	2		2		
情報メディア	2		2		
メディア信号処理	2		2		
計測と制御	2		2		
ダイナミックス	2		2		
数理プログラミング	2		2		
組合せ最適化	2		2		
コンピュータグラフィックス	2		2		

複雑系と創発	2		2	データベースシステム コンパイラ 情報理論 メディア信号処理 数理プログラミング 情報化社会と情報倫理 のうちから26単位以上， グラフィックス幾何学 メディアと社会 コンピュータアニメーション マルチメディアデータ論 のうちから4単位以上， UNIX演習 アルゴリズムとデータ構造演習 のうちから1単位以上，計43単位以上を修得しなければならない。 コンピュータサイエンスコースは， コンピュータアーキテクチャー UNIX演習 ソフトウェア工学概論 ソフトウェア構築及び演習 情報ネットワーク 情報セキュリティ プログラミング及び演習Ⅱ オブジェクト指向及び演習 数理計画法 アルゴリズムとデータ構造演習 の21単位を必修とし， オペレーティングシステム 人工知能 オートマトン 計算論 機械学習 データベースシステム コンパイラ 情報理論 情報メディア ヒューマンインタフェース 形式論理 プログラミング言語論 のうちから22単位以上， 線形空間論 カオスと情報処理 確率統計解析 数値シミュレーション 組合せ最適化 コンピュータグラフィックス 情報化社会と情報倫理 インターネットプログラミング のうちから6単位以上，計49単位以上修得しなければならない。	
アルゴリズムとデータ構造演習	1		1		
ゼミナールⅢ	1	1			
ゼミナールⅣ	1	1			
数理情報システム実験	1		1		
情報化社会と情報倫理	2		2		
コンピュータ概論	2	2			
CGデザイン及び演習	3		3		
ヒューマンインタフェース	2		2		
ディジタル画像設計論	2		2		
メディアと社会	2		2		
ゲームプログラミング及び演習	3		3		
Ｗｅｂデザイン	2		2		
コンピュータアニメーション	2		2		
マルチメディアデータ論	2		2		
ゼミナールⅠ	1	1			
ゼミナールⅡ	1	1			
卒業研究1	3	3			
卒業研究2	3	3			
形式論理	2		2		
プログラミング言語論	2		2		
インターネットプログラミング	2		2		

Ⅷ　環境安全工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
景観まちづくり工学	2		2	必修単位数21単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。また，上記単位数に，他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。 有機化学および演習 構造力学および演習 流体力学および演習 物理化学および演習 のうちから6単位以上， 景観まちづくり工学 図学および製図 環境無機化学 メカトロニクス 材料化学 分析化学 エネルギー資源工学 環境物質マネジメント 設計工学 物質安全工学 環境バイオ科学 環境分析学 ライフサイクルアセスメント ランドサーベイ 環境材料工学 材料力学 のうちから16単位以上，計22単位以上修得しなければならない。 環境安全コースは， 環境生態工学 コンストラクションマネジメント の4単位を必修とし， 地域デザイン 国土情報学 防災工学 環境アセスメント 水圏環境工学 環境衛生工学 地盤力学 アセットマネジメント 環境マネジメント のうちから10単位以上，計14単位以上を修得しなければならない。	
エネルギー利用科学	2		2		
有機化学および演習	3		3		
図学および製図	2		2		
環境無機化学	2		2		
構造力学および演習	3		3		
環境エネルギー概論	2	2			
熱エネルギー概論	2		2		
流体力学および演習	3		3		
メカトロニクス	2		2		
材料化学	2		2		
電気エネルギー概論	2		2		
地域デザイン	2		2		
分析化学	2		2		
物理化学および演習	3		3		
国土情報学	2		2		
環境安全工学実験Ⅰ	2	2			
環境安全工学実験Ⅱ	2	2			
ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	1	1			
エネルギー変換システム	2		2		
制御とプログラム	2		2		
エネルギー資源工学	2		2		

環境物質マネジメント	2		2	環境エネルギーコースは, 熱エネルギー概論 電気エネルギー概論 の4単位を必修とし, エネルギー利用科学 エネルギー変換システム 制御とプログラム サスティナブルエネルギー工学 エネルギーネットワーク エネルギー機器工学 エネルギーキャリア 省エネルギー工学 計測とデータ解析 のうちから10単位以上,計14単位以上を修得しなければならない。		
サスティナブルエネルギー工学	2		2			
エネルギーネットワーク	2		2			
設計工学	2		2			
物質安全工学	2		2			
環境バイオ科学	2		2			
防災工学	2		2			
環境分析学	2		2			
環境生態工学	2		2			
ライフサイクルアセスメント	2		2			
環境アセスメント	2		2			
水圏環境工学	2		2			
環境衛生工学	2		2			
環境安全概論	2	2				
エネルギー機器工学	2		2			
サスティナブルエンジニアリング概論	2	2				
ランドサーベイ	2		2			
地盤力学	2		2			
環境材料工学	2		2			
エネルギーキャリア	2		2			
省エネルギー工学	2		2			
材料力学	2		2			
計測とデータ解析	2		2			
コンストラクションマネジメント	2		2			
アセットマネジメント	2		2			
ゼミナールⅢ	1	1				

ゼミナールⅣ	1	1			
ｻｽﾃｨﾅﾌﾞﾙﾊｲﾚﾍﾞﾙｾﾞﾐﾅｰﾙ	1		1		
ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	1		1		
ゼミナールⅠ	1	1			
ゼミナールⅡ	1	1			
環境マネジメント	2		2		
卒業研究 1	3	3			
卒業研究 2	3	3			

Ⅸ　創生デザイン学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
創生デザイン概論	2	2		必修単位数42単位を含め，合計68単位以上を修得しなければならない。また，上記単位数に，他学科の専門教育科目を6単位まで算入することができる。	
デザイン思想史	2	2			
デザイン実験	2		2		
色彩・明視	2	2		プロダクトデザインコースは， デザイン実験 デザイン心理 プログラミング応用 サスティナブルデザイン ユニバーサルデザイン ｺﾝﾋﾟｭﾃｰｼｮﾅﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ 材料力学演習 製品工学 製品生産 商品企画とブランディング エルゴノミクスデザイン 製品設計 構造力学 データアナリシス 照明デザイン ソーシャルデザイン インテリアデザイン 感性工学 サウンドスケープ CAE のうちから20単位以上を修得しなければならない。	
デザイン心理	2		2		
プログラミング応用	2		2		
サスティナブルデザイン	2		2		
ユニバーサルデザイン	2		2		
人間工学	2	2			
ｺﾝﾋﾟｭﾃｰｼｮﾅﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ	2		2		
材料力学演習	2		2		
製品工学	2		2		
製品生産	2		2		
商品企画とブランディング	2		2		
エルゴノミクスデザイン	2		2		

デザイン材料	2	2		空間デザインコースは， デザイン実験 デザイン心理 プログラミング応用 サスティナブルデザイン ユニバーサルデザイン コンピュテーショナルデザイン 材料力学演習 商品企画とブランディング エルゴノミクスデザイン 構造力学 データアナリシス 空間構法 空間計画 照明デザイン 空間設計 ソーシャルデザイン インテリアデザイン 感性工学 サウンドスケープ CAE のうちから20単位以上を修得しなければならない。		
製品設計	2		2		
構造力学	2		2		
インタラクションデザイン	2	2			
データアナリシス	2		2		
空間構法	2		2		
空間計画	2		2		
照明デザイン	2		2		
空間設計	2		2		
ソーシャルデザイン	2		2		
図学	2	2			
プログラミング基礎	2	2			
インテリアデザイン	2		2		
感性工学	2		2		
サウンドスケープ	2		2		
デザインコミュニケーション演習	2	2			
インフォグラフィックス演習	2	2			
デザイン基礎製図	2	2			
プロトタイピング演習	2	2			
デザイン思考演習	2	2			
デザイン製図Ⅰ	2	2			
デザインスタジオⅠ	2	2			
デザイン製図Ⅱ	2	2			
デザインスタジオⅡ	2	2			
創生プロジェクト演習	1		1		
ゼミナールA	1		1		

ゼミナールB	1		1		
CAE	2		2		
CAD演習	2	2			
卒業研究1	3	3			
卒業研究2	3	3			

第11節　工学部

第90条　工学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法で定めた単位数を含め，土木工学科・機械工学科・生命応用化学科・情報工学科は126単位以上，建築学科は127単位以上，電気電子工学科は125単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

２　教養科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
日本語表現法	2		2	8単位以上を修得しなければならない。	
哲学Ⅰ	2		2		
哲学Ⅱ	2		2		
心理学Ⅰ	2		2		
心理学Ⅱ	2		2		
日本国憲法	2		2		
経済学Ⅰ	2		2		
経済学Ⅱ	2		2		
日本の文化	2		2	外国人留学生のみ履修できる。	

３　外国語科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語AⅠ	1	1		必修単位数8単位以上を修得しなければならない。	
英語AⅡ	1	1			
英語AⅢ	1	1			
英語AⅣ	1	1			
英語BⅠ	1	1			
英語BⅡ	1	1			
英語BⅢ	1	1			
英語BⅣ	1	1			
英語CⅠ	1		1		

英語C Ⅱ	1		1		
技術英語	1		1		
基礎日本語Ⅰ	1		1	外国人留学生のみ履修できる。	
基礎日本語Ⅱ	1		1		
日本語講読Ⅰ	1		1		
日本語講読Ⅱ	1		1		

4　体育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
体育・スポーツⅠ	1	1		必修単位数2単位以上を修得しなければならない。	
体育・スポーツⅡ	1	1			
健康・スポーツ概論	2		2		

5　自然科学科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
工科系数学Ⅰ及び演習	3	3		必修単位数7単位以上を修得しなければならない。	
工科系数学Ⅱ	2		2	土木工学科は， 化学Ⅰを必修とし，必修単位数9単位を含む15単位以上を修得しなければならない。	
工科系数学Ⅲ	2		2		
工科系数学Ⅳ	2		2	建築学科は， 必修単位数7単位を含む11単位以上を修得しなければならない。	
工科系数学Ⅴ	2		2	機械工学科は， 工科系数学Ⅱ 工科系数学Ⅲ 工科系数学Ⅳ 化学Ⅰ 化学実験及び演習 を必修とし，必修単位数を含む17単位以上を修得しなければならない。	
工科系数学Ⅵ	2		2		
工科系数学Ⅶ	2		2		
物理学Ⅰ	2	2			
物理学Ⅱ	2		2	電気電子工学科は， 工科系数学Ⅳ 工科系数学Ⅴ 物理学Ⅲ 化学Ⅰ 化学実験及び演習 を必修とし，必修単位数を含む17単位以上を修得しなければならない。	
物理学Ⅲ	2		2		
物理学Ⅳ	2		2		
物理学実験及び演習	2	2			
化学Ⅰ	2		2	生命応用化学科は， 工科系数学Ⅳ 化学Ⅰ 化学Ⅱ 化学実験及び演習 を必修とし，必修単位数15単位を含む19単位以上を修得しなければならない。	
化学Ⅱ	2		2		
化学実験及び演習	2		2		

				情報工学科は， 工科系数学Ⅱ 工科系数学Ⅳ 工科系数学Ⅴ 工科系数学Ⅵ 工科系数学Ⅶ を必修とし，必修単位数17単位を含む19単位以上を修得しなければならない。	

6　専門教育科目

履修方法に基づき，必修科目を含めて所属学科のＡ群から，土木工学科は80単位以上，建築学科は構造・材料系が88単位以上，計画・環境系が89単位以上，機械工学科は70単位以上，電気電子工学科・生命応用化学科・情報工学科は78単位以上を修得しなければならない。

なお，Ｂ群については，10単位を限度として卒業に必要な総単位数に算入することができる（ただし，栽培，工業概論，職業指導Ⅰ，職業指導Ⅱを除く）。

Ⅰ　専門共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
ロハス工学入門	2	2		必修単位数12単位以上を修得しなければならない。	
技術者倫理	2	2			
ゼミナール	2	2			
卒業研究	6	6			

Ⅱ　土木工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数42単位に加え， 製図及び基礎CAD 社会環境デザイン･スキルズ 空間情報学 建設マネジメント及び施工法 のうちから6単位以上， 構造実験 水理実験 水質実験 のうちから4単位以上を修得しなければならない。 社会基盤デザインコースは， 生物と環境の共生概論 構造材料学 交通工学 基礎プログラミング及び演習	
基礎力学及び演習	3	3			
土木基礎力学及び演習	3	3			
コンピュータリテラシー	1	1			
土木基礎数学	2	2			
構造解析学Ⅰ及び演習	3	3			
構造解析学Ⅱ及び演習	3	3			
地盤工学Ⅰ及び演習	3	3			
地盤工学Ⅱ及び演習	3	3			
水理学Ⅰ及び演習	3	3			

水理学Ⅱ及び演習	3	3		土木史及び景観学 道路工学 河川・流域工学 社会基盤保全工学 海岸・港湾工学 地震リスクマネジメント工学 のうちから12単位以上を 修得しなければならない。 環境デザインコースは, 生物と環境の共生概論 環境評価論 基礎プログラミング及び演習 土木史及び景観学 水資源工学 道路工学 河川・流域工学 社会基盤保全工学 環境地盤工学 地震リスクマネジメント工学 のうちから12単位以上を 修得しなければならない。		
統計学	2		2		
測量学Ⅰ	2		2		
測量学Ⅱ	2		2		
空間情報学	2		2		
測量実習Ⅰ	1	1			
測量実習Ⅱ	1	1			
火薬学	2		2		
製図及び基礎 CAD	2		2		
社会環境デザイン･スキルズ	2		2		
建設マネジメント及び施工法	2		2		
地震リスクマネジメント工学	2		2		
構造材料学	2		2		
基礎プログラミング及び演習	3		3		
材料実験	2	2			
土質実験	2	2			
鋼構造学	2	2			
コンクリート構造学及び演習	3	3			
社会基盤保全工学	2		2		
構造実験	2		2		
環境地盤工学	2		2		
道路工学	2		2		
河川・流域工学	2		2		
海岸・港湾工学	2		2		
水理実験	2		2		
環境評価論	2		2		
交通工学	2		2		
社会基盤計画学	2	2			
土木史及び景観学	2		2		
下水道工学	2	2			
社会基盤概論	2		2		
水質実験	2		2		

水資源工学	2		2		
生物と環境の共生概論	2		2		
プレゼミナール	1		1		
B群					
木材加工Ⅰ	2		2		
木材加工Ⅱ	2		2		
金属加工	2		2		
機械工学	2		2		
機械加工概論	2		2		
電気工学	2		2		
電子回路概論	2		2		
栽培	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅲ　建築学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数51単位を修得しなければならない。	
建築計画概論	2	2			
住宅計画	2	2		構造・材料系は,	
建築計画Ⅰ	2	2		構造力学Ⅲ及び演習 木質構造設計法	
建築計画Ⅱ	2		2	鉄筋コンクリート構造	
福祉環境学	2		2	鋼構造 建築基礎構造	
建築設計製図Ⅰ	2	2		の11単位を必修とし,	
建築設計製図Ⅱ	2	2		建築計画Ⅱ	
建築設計演習Ⅰ	2	2		建築造形演習 都市計画Ⅰ	
建築設計演習Ⅱ	2	2		日本建築史	
建築設計演習Ⅲ	2		2	建築環境工学Ⅱ 建築設備Ⅱ	
建築設計演習Ⅳ	2		2	構造力学Ⅳ	
建築設計	2	2		鉄筋コンクリート構造設計法 鋼構造設計法	
建築造形演習	2		2	建築振動学	

インテリアデザイン	2		2	建築材料学Ⅱ 建築材料科学	
人間環境デザイン工学	2		2	建築施工Ⅱ	
都市計画Ⅰ	2		2	建築情報処理演習Ⅱ 建築情報処理演習Ⅲ	
都市計画Ⅱ	2		2	のうちから14単位以上を	
西洋建築史	2	2		修得しなければならない。	
日本建築史	2		2		
近代建築史	2		2	計画・環境系は,	
建築環境・設備概論	2	2		建築計画Ⅱ 建築設計演習Ⅲ 建築設計演習Ⅳ	
建築環境工学Ⅰ	2	2		インテリアデザイン	
建築環境工学Ⅱ	2		2	都市計画Ⅰ 日本建築史	
建築設備Ⅰ	2	2		の12単位を必修とし,	
建築設備Ⅱ	2		2	福祉環境学 建築造形演習	
建築構造・材料概論	2	2		人間環境デザイン工学	
建築構法Ⅰ	2	2		都市計画Ⅱ 近代建築史	
建築構法Ⅱ	2	2		建築環境工学Ⅱ	
構造力学Ⅰ及び演習	3	3		建築設備Ⅱ 木質構造設計法	
構造力学Ⅱ及び演習	3	3		鉄筋コンクリート構造	
構造力学Ⅲ及び演習	3		3	鋼構造 建築基礎構造	
構造力学Ⅳ	2		2	建築材料学Ⅱ	
応用力学Ⅰ及び演習	3	3		建築情報処理演習Ⅱ 建築情報処理演習Ⅲ	
応用力学Ⅱ及び演習	3	3		のうちから14単位以上を	
木質構造設計法	2		2	修得しなければならない。	
鉄筋コンクリート構造	2		2		
鉄筋コンクリート構造設計法	2		2		
鋼構造	2		2		
鋼構造設計法	2		2		
建築基礎構造	2		2		
建築振動学	2		2		
建築材料実験	1	1			
建築材料学Ⅰ	2	2			
建築材料学Ⅱ	2		2		
建築材料科学	2		2		

建築施工Ⅰ	2	2			
建築施工Ⅱ	2		2		
建築情報処理演習Ⅰ	1	1			
建築情報処理演習Ⅱ	2		2		
建築情報処理演習Ⅲ	2		2		
建築実験	1	1			
建築関連法規	2	2			
建築企画	2		2		
特別講義	2		2		
インターンシップ	2		2		
B群					
木材加工Ⅰ	2		2		
木材加工Ⅱ	2		2		
金属加工	2		2		
機械工学	2		2		
機械加工概論	2		2		
電気工学	2		2		
電子回路概論	2		2		
栽培	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅳ　機械工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数33単位に加え， 材料力学Ⅱ及び演習 機械力学Ⅱ及び演習 熱力学Ⅱ及び演習 流れの力学Ⅱ及び演習 のうちから6単位以上を修得しなければならない。 エネルギーエンジニアリングコースは， エネルギー工学 伝熱工学	
材料力学Ⅰ及び演習	3	3			
材料力学Ⅱ及び演習	3		3		
機械力学Ⅰ及び演習	3	3			
機械力学Ⅱ及び演習	3		3		
熱力学Ⅰ及び演習	3	3			
熱力学Ⅱ及び演習	3		3		

流れの力学Ⅰ及び演習	3	3		流体力学 の6単位を必修とする。	
流れの力学Ⅱ及び演習	3		3		
機械工学リテラシー	2	2		メカニカルインテリジェンスコースは, システム制御工学 CAD／CAM ロボット工学 の6単位を必修とする。	
確率・統計	2		2		
生体工学	2		2		
機械要素設計	2	2			
材料加工	2	2		モビリティソリューションコースは, トライボロジー 航空宇宙工学 自動車工学 の6単位を必修とする。	
マテリアルプロセッシング	2		2		
機械材料	2	2			
計測工学	2		2		
材料の強度	2		2	バイオエンジニアリングコースは, 生体工学 ヒューマンダイナミクス 計算力学 の6単位を必修とする。	
コンピュータプログラミング入門	2		2		
計算力学	2		2		
CAD／CAM	2		2		
電気・電子工学概論	2		2		
流体力学	2		2		
企業実習	1		1		
機械工作実習	1	1			
機械工学実験Ⅰ	2	2			
機械工学実験Ⅱ	2	2			
基礎製図	2	2			
機械製図	2	2			
機械設計製図	2	2			
冷凍空調工学	2		2		
流体機械	2		2		
航空宇宙工学	2		2		
自動車工学	2		2		
システム制御工学	2		2		
伝熱工学	2		2		
エネルギー工学	2		2		
トライボロジー	2		2		
ヒューマンダイナミクス	2		2		
ロボット工学	2		2		

ロハス工学	2	2			
B群					
木材加工Ⅰ	2		2		
木材加工Ⅱ	2		2		
金属加工	2		2		
電気工学	2		2		
電子回路概論	2		2		
栽培	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		
職業指導Ⅱ	2		2		

Ⅴ　電気電子工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数30単位を修得しなければならない。	
情報リテラシー	1	1			
電磁気学Ⅰ及び演習	3	3		電子情報通信コースは,	
電磁気学Ⅱ及び演習	3	3		確率・統計 電子回路Ⅱ	
電気回路Ⅰ及び演習	3	3		デジタル回路 半導体デバイス	
電気回路Ⅱ及び演習	3	3		電気電子材料 電気機器Ⅰ	
基礎プログラミング及び演習	2	2		電波法及び電気通信事業法 通信工学	
確率・統計	2		2	電磁波工学	
電気回路Ⅲ	2		2	光量子エレクトロニクス 電波電子応用	
電子回路Ⅰ	2	2		電気音響工学 応用プログラミング及び演習	
電子回路Ⅱ	2		2	電気電子設計製図	
デジタル回路	2		2	コンピュータ工学 情報通信ネットワーク	
電気電子計測Ⅰ	2	2		信号処理 組込みシステム	
電気電子計測Ⅱ	2	2		のうちから28単位以上を修得しなければならない。	
電気電子製作実習	1	1			
半導体デバイス	2		2	電気エネルギーコースは,	
電気電子材料	2		2	確率・統計 電気回路Ⅲ	
電気機器Ⅰ	2		2	電子回路Ⅱ 半導体デバイス	

電気機器Ⅱ	2		2	電気電子材料 電気機器Ⅰ	
パワーエレクトロニクス	2		2	電気機器Ⅱ	
電力工学Ⅰ	2		2	パワーエレクトロニクス 電力工学Ⅰ	
電力工学Ⅱ	2		2	電力工学Ⅱ	
電力応用	2		2	電力応用 電気法規及び施設管理	
電気法規及び施設管理	2		2	制御工学	
電波法及び電気通信事業法	2		2	応用プログラミング及び演習 電気電子設計製図	
通信工学	2		2	コンピュータ工学	
電磁波工学	2		2	信号処理	
企業実習	1		1	組込みシステム のうちから28単位以上を	
光量子エレクトロニクス	2		2	修得しなければならない。	
電波電子応用	2		2		
電気音響工学	2		2		
制御工学	2		2		
応用プログラミング及び演習	2		2		
電気電子基礎実験Ⅰ	1	1			
電気電子基礎実験Ⅱ	1	1			
エレクトロニクス実験	2	2			
エネルギー機器実験	2	2			
電気電子設計製図	2		2		
コンピュータ工学	2		2		
情報通信ネットワーク	2		2		
信号処理	2		2		
組込みシステム	2		2		
電気電子工学入門	2	2			
B群					
木材加工Ⅰ	2		2		
木材加工Ⅱ	2		2		
金属加工	2		2		
機械工学	2		2		
栽培	2		2		
工業概論	2		2		
職業指導Ⅰ	2		2		

職業指導Ⅱ	2		2		
アルゴリズム概論	2		2		
情報システム概論Ⅰ	2		2		
情報工学と職業	2		2		

Ⅵ　生命応用化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数32単位に加え，34単位以上を修得しなければならない。	
環境科学	2		2		
分析化学	2	2			
無機化学Ⅰ	2	2			
無機化学Ⅱ	2	2			
物理化学	2	2			
有機化学Ⅰ	2	2			
有機化学Ⅱ	2	2			
化学工学量論	2	2			
移動現象論	2		2		
無機反応化学	2		2		
生命化学Ⅰ	2	2			
生命化学Ⅱ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅰ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅱ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅲ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅳ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅴ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅵ	2	2			
生命応用化学実験及び演習Ⅶ	2	2			
機器分析化学	2		2		
分子構造解析	2		2		
生命無機化学	2		2		
有機合成化学	2		2		
光機能化学	2		2		

化学情報処理	2		2		
バイオインフォマティクス	2		2		
化学統計学	2		2		
化学熱力学	2		2		
物性化学	2		2		
電気化学	2		2		
生体物質化学	2		2		
生化学	2		2		
生物反応工学	2		2		
細胞生物学	2		2		
有機材料化学	2		2		
高分子合成化学	2		2		
無機材料化学	2		2		
高分子材料	2		2		
分離工学	2		2		
分子生物学	2		2		
ケミカルバイオロジー	2		2		
B群					
化学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	1		1		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	1		1		

Ⅶ　情報工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A群				必修単位数32単位に加え， 大規模ソフトウェア開発法及び演習 ネットワーク管理技術及び演習 コンピュータビジョン及び演習 デジタル形状処理及び演習 のうちから3単位以上， コンピュータグラフィックス演習	
コンピュータ入門及び演習	3	3			
プログラミング入門及び演習	3	3			
プログラミングの基礎及び演習	3	3			

データ構造入門及び演習	3	3		組み込みシステム開発応用演習 データベース応用演習 人工知能応用演習 のうちから1単位以上を修得しなければならない。	
確率統計及び演習	3	3			
数値解析法	2		2		
数値解析法演習	1		1	情報システムコースは, 情報理論 アルゴリズム論 オートマトンと言語及び演習 論理回路及び演習 コンピュータアーキテクチャⅡ WWWとJavaプログラミング及び演習 コンパイラ及び演習 高度オペレーティングシステム データ構造とプログラミング及び演習 プログラミング言語 情報ネットワーク データサイエンス入門 符号とセキュリティ 画像情報処理及び演習 Webコンテンツ及び演習 人工知能Ⅰ のうちから27単位以上を修得しなければならない。	
情報理論	2		2		
アルゴリズム論	2		2		
オートマトンと言語及び演習	3		3		
論理回路及び演習	3		3		
コンピュータアーキテクチャ入門	2	2			
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	2			
コンピュータアーキテクチャⅡ	2		2		
ソフトウェア設計法及び演習	3	3			
データベース工学	2	2			
WWWとJavaプログラミング及び演習	3		3		
コンパイラ及び演習	3		3		
基礎オペレーティングシステム	2	2		情報デザインコースは, 数値解析法 数値解析法演習 情報理論 論理回路及び演習 コンピュータアーキテクチャⅡ WWWとJavaプログラミング及び演習 符号とセキュリティ 人工知能Ⅰ 人工知能Ⅱ データサイエンス入門 情報ネットワーク 画像情報処理及び演習 コンピュータグラフィックス マルチメディア ヒューマンインターフェースと音声 環境と情報 Webコンテンツ及び演習 のうちから27単位以上を修得しなければならない。	
高度オペレーティングシステム	2		2		
データ構造とプログラミング及び演習	3		3		
プログラミング言語	2		2		
大規模ソフトウェア開発法及び演習	3		3		
情報ネットワーク	2		2		
符号とセキュリティ	2		2		
コンピュータネットワーク	2	2			
ネットワーク管理技術及び演習	3		3		
人工知能Ⅰ	2		2		
人工知能Ⅱ	2		2		
データサイエンス入門	2		2		
画像情報処理及び演習	3		3		
コンピュータビジョン及び演習	3		3		
コンピュータグラフィックス	2		2		
マルチメディア	2		2		
情報と職業	2	2			

コミュニケーションスキル	2	2			
ヒューマンインターフェースと音声	2		2		
情報処理演習Ⅰ	1		1		
情報処理演習Ⅱ	1		1		
企業実習	1		1		
デジタル形状処理及び演習	3		3		
環境と情報	2		2		
Web コンテンツ及び演習	3		3		
コンピュータグラフィックス演習	1		1		
データベース応用演習	1		1		
組み込みシステム開発応用演習	1		1		
人工知能応用演習	1		1		
B 群					
代数学Ⅰ	2		2		
代数学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅰ	2		2		
幾何学Ⅱ	2		2		
幾何学Ⅲ	2		2		

第12節　医学部

第91条　医学部における授業科目及び授業時間数，単位数並びに履修方法は，次のとおりである。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2　一般教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（Ⅰ群）					
A　人文社会科学系				Ⅰ群A人文社会科学系，B自然科学系，C総合科学系のうちから,2科目4単位以上を修得しなければならない。 Ⅰ群D国際文化学系のうちから,1科目1単位以上を修得しなければならない。	
医系人文科学入門	2		2		
医系社会科学入門	2		2		
B　自然科学系					
生体分子科学	2		2		
生体理工学	2		2		
数理科学	2		2		
基礎生物学	2		2		
C　総合科学系					
学際的研究	2		2		
D　国際文化学系					
ドイツ語	1		1		
韓国語	1		1		
中国語	1		1		
フランス語	1		1		
（Ⅱ群）					
A　人文社会科学系					
生命倫理学	2	2			
医療法学	2	2			
健康・身体教育学	1	1			
スポーツトレーニング	1	1			
情報科学	2	2			

臨床心理学	1	1			
行動科学	2	2			
B 自然科学系					
自然科学実習・演習	2	2			
医系生物学	3	3			
数学・生物統計学	2	2			
C 総合科学系					
医学序論	2	2			
数理生命科学基礎	2	2			
D 国際文化学系					
英語 1	1	1			
英語 2	2	2			
英語 3	2	2			
英語 4	2	2			
英語 5	2	2			

3 専門教育科目

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
医学英語	10	10			
解剖学Ⅰ（含実習）	88	88			
解剖学Ⅱ（含実習）	135	135			
生理学Ⅰ	22	22			
生理学Ⅱ（含実習）	87	87			
生化学Ⅰ（含実習）	22	22			
生化学Ⅱ（含実習）	67	67			
薬理学（含実習）	61	61			
微生物学（含実習）	52	52			
免疫学（含実習）	22	22			
病理学（含実習）	75	75			
発生生殖医学	22	22			
臨床医学総論	70	70			
呼吸器・胸壁・縦隔	105	105			
心臓・脈管	140	140			
消化器・腹壁・腹膜	175	175			

血液・腫瘍	70	70			
神経・運動器	140	140			
内分泌・代謝・栄養・乳腺	105	105			
アレルギー・膠原病	35	35			
腎・泌尿器・生殖器	175	175			
先天異常・周産期・成長・発達	70	70			
精神医学	70	70			
救急医療	35	35			
皮膚・頭頸部	140	140			
感染性疾患	105	105			
公衆衛生学	45	45			
衛生学	22	22			
法医学	22	22			
医療管理学	22	22			
社会医学演習	70	70			
clinical skills training1	196	196			
clinical skills training2	56	56			
自由選択医学研究 1	140	140			
自由選択医学研究 2	33		33		

4　臨床実習

授業科目	授業時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
初期 clinical clerkship	420	420			
clinical clerkship1	420	420			
clinical clerkship2	455	455			
clinical clerkship3	343	343			
地域中核病院実習	35	35			
社会医学臨床実習	35	35			
選択臨床実習	735	735			

第13節　歯学部

第92条　歯学部における授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は各科目区分より総計196単位以上を修得しなければならない。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2			
日本を考える	2		2		

2　教養科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
歯科医師として求められる基本的な資質					
歯科医学入門1	1	1			
歯科医学入門2	1	1			
英語1	1	1			
英語2	1	1			
英語3	1	1			
スポーツ健康科学1	1	1			
スポーツ健康科学2	1	1			
歯科臨床早期見学実習	1	1			
歯科臨床見学実習	1	1			
歯科臨床体験実習	1	1			
プロフェッショナリズムと行動科学	1	1			
プロフェッショナリズム	1	1			
医療コミュニケーション学	1	1			
研究の実践	1		1		
生涯学習とキャリアデザイン	1	1			
最先端歯科医療学	1	1			
歯科医学を学ぶための基礎					
物理学1	2	2			
物理学2	2	2			
化学	5	5			

生　物　学	5	5			
医療統計学	1	1			
データサイエンス	1	1			

3　専門科目

全身管理					
生　理　学　1	3	3			
生　理　学　2	2	2			
生　化　学　1	1	1			
生　化　学　2	2	2			
生　化　学　3	1	1			
薬　理　学　1	3	3			
薬　理　学　2	4	4			
歯科麻酔学 1	1	1			
歯科麻酔学 2	1	1			
社会と歯学					
衛　生　学　1	2	2			
衛　生　学　2	2	2			
社会歯科学 1	2	2			
社会歯科学 2	1	1			
法　医　学	2	2			
口腔と顎顔面疾患の治療					
解剖学（骨）	1	1			
解剖学（筋）	1	1			
解剖学（内臓）	1	1			
解剖学（神経）	1	1			
解剖学（脈管・感覚器）	1	1			
人体解剖学実習	2	2			
歯の解剖学	2	2			
組織・発生学	4	4			
口腔組織学	3	3			
病　理　学　1	2	2			
病　理　学　2	2	2			
口腔外科学 1	3	3			

口腔外科学２	3	3				
診療の基本						
歯科放射線学１	1	1				
歯科放射線学２	2	2				
口腔内科学１	1	1				
口腔内科学２	1	1				
診査診断学	1	1				
歯と歯周組織の治療						
感染症免疫学１	3	3				
感染症免疫学２	3	3				
保存修復学１	2	2				
保存修復学２	2	2				
歯内療法学１	2	2				
歯内療法学２	2	2				
歯周病学１	2	2				
歯周病学２	2	2				
歯質と歯の欠損治療						
歯科理工学１	2	2				
歯科理工学２	3	3				
顎口腔機能学	1	1				
冠橋義歯補綴学１	2	2				
冠橋義歯補綴学２	3	3				
部分床義歯補綴学１	2	2				
部分床義歯補綴学２	2	2				
全部床義歯補綴学１	1	1				
全部床義歯補綴学２	2	2				
口腔インプラント学	1	1				
小児歯科・矯正歯科治療						
小児歯科学１	2	2				
小児歯科学２	1	1				
歯科矯正学	2	2				
歯科矯正学実習	1	1				
スペシャルニーズデンティストリー						

高齢者歯科学	1	1			
有病者歯科学	1	1			
摂食機能療法学	1	1			
隣接医学１	1	1			
隣接医学２	1	1			
隣接医学３	1	1			
歯科治療の多様化	1	1			
総合科目					
総括講義１	7	7			
総括講義２	12	12			
総括講義３	15	15			
診療参加型臨床実習	20	20			
ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ診療参加型臨床実習	2		2		

第14節　松戸歯学部

第93条　松戸歯学部における授業科目及び単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，履修方法に指定された単位を含め，197単位以上を修得しなければならない。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2	2			

2　教養科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
歯科医学へのとびら	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。 ドイツ文学 美学 心理学 人類学 法学 科学哲学 スポーツの生理学･心理学 生命の文化誌 多様性文化論 のうちから，4単位以上を修得しなければならない。	
世界を考える	2	2			
ドイツ文学	2		2		
美学	2		2		
心理学	2		2		
人類学	2		2		
法学	2		2		
科学哲学	2		2		
スポーツの生理学･心理学	2		2		
生命の文化誌	2		2		
多様性文化論	2		2		

3　外国語科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語1	3	3		必修単位数6単位を修得しなければならない。	
英語2	1	1			
英語3	1	1			
英語4	1	1			

4　保健体育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
保健体育	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	

5　準備教育科目(○印は演習・実験・実習又は実技を含む)

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
○物理学	4	4		必修単位数13単位を修得しなければならない。	
○生命科学	6	6			
数学	3	3			

6　専門科目(○印は演習・実験・実習又は実技を含む)

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
＜医療行動科学領域＞				必修単位数164単位を修得しなければならない。	
医療行動科学1	2	2			
医療行動科学2	2	2			
医療行動科学3	2	2			
医療行動科学4	2	2			
＜基礎歯科医学領域＞					
○解剖学	7	7			
○歯の解剖学	2	2			
○組織・発生学	6	6			
○生理学	5	5			
○生化学	4	4			
薬理学1	1	1			
○薬理学2	3	3			
○微生物・免疫学	4	4			
○病理学	2	2			
○口腔病理学	3	3			
○歯科材料学1	3	3			
歯科材料学2	1	1			
＜社会歯科医学領域＞					
衛生・公衆衛生学	1	1			
社会歯科学	1	1			
医療統計学	1	1			
○口腔衛生学	3	3			
＜臨床歯科医学領域＞					
栄養学	1	1			

○放　射　線　学	4	4			
○歯 科 保 存 学 1	7	7			
○歯 科 保 存 学 2	6	6			
○歯 科 補 綴 学 1	10	10			
○歯 科 補 綴 学 2	4	4			
口腔顎顔面外科学	4	4			
○歯　科　麻　酔　学	2	2			
○小　児　歯　科　学	4	4			
○歯　科　矯　正　学	3	3			
障 害 者 歯 科 学	1	1			
高 齢 者 歯 科 学	1	1			
＜総合医学領域＞					
総　合　医　学	5	5			
＜総合歯科医学領域＞					
歯科医学総合講義 1	2	2			
歯科医学総合講義 2	2	2			
歯科医学総合講義 3	2	2			
歯科医学総合講義 4	5	5			
歯科医学総合講義 5	6	6			
歯科医学総合講義 6	22	22			
＜臨床実習領域＞					
臨　床　実　習	15	15			
課 題 別 臨 床 実 習	3	3			

赤　・・・理科免許状の科目／社会科・地理歴史科免許状の科目
ピンク・・・理科免許状の関連科目／社会科・地理歴史科免許状の関連科目
緑　・・・農業科及び水産科免許状の科目
黄　・・・農業科及び水産科免許状の関連科目／公民科免許状の関連科目
水色　・・・社会科・公民科免許状の共通科目

第15節　生物資源科学部

第94条の１　生物資源科学部における各学科（バイオサイエンス学科，動物学科，海洋生物学科，森林学科，環境学科，アグリサイエンス学科，食品開発学科，食品ビジネス学科，国際共生学科，獣医保健看護学科，獣医学科）の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は,科目区分ごとに履修方法に定めた単位数（学芸員課程科目を除く）を含め，総計124単位以上を，ただし獣医学科については184単位以上を修得しなければならない。

１　全学共通教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

２　教養教育科目（各学科共通）

全学共通教育科目及び教養教育科目のうちから必修科目を含めて，30単位以上（獣医学科及び獣医保健看護学科は24単位以上）を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
言語系科目					
英語ⅠA	1	1		バイオサイエンス学科は基礎化学，基礎生物学，データサイエンスの基礎，動物学科は基礎生物学，環境学科は基礎化学，基礎生物学，アグリサイエンス学科は基礎化学，基礎生物学，獣医保健看護学科は基礎生物学，総合生物学，獣医学科は基礎生物学，総合生物学を必修とする。 言語系科目のうち，外国人留学生は母語を履修することはできない。英語を母語とする外国人留学生は，英語ⅠA，英語ⅠB，英語ⅡA，英語ⅡB，英語ⅢA，英語ⅢB，英語ⅣA，英語ⅣBを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。また，日本語Ⅰ，日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。	
英語ⅠB	1	1			
英語ⅡA	1	1			
英語ⅡB	1	1			
英語ⅢA	1	1			
英語ⅢB	1	1			
英語ⅣA	1	1			
英語ⅣB	1	1			
初級ドイツ語文法A	1		1		
初級ドイツ語文法B	1		1		
初級ドイツ語講読A	1		1		
初級ドイツ語講読B	1		1		
初級ドイツ語会話A	1		1		
初級ドイツ語会話B	1		1		

中級ドイツ語講読 A	1		1				
中級ドイツ語講読 B	1		1				
検定ドイツ語 A	1		1				
検定ドイツ語 B	1		1				
初級フランス語文法 A	1		1	国際共生学科においては，言語系科目のうち，英語以外の外国語の中から一つ選択し，初級文法A・初級文法B及び初級会話A･初級会話Bの4単位を修得しなければならない。			
初級フランス語文法 B	1		1				
初級フランス語会話 A	1		1				
初級フランス語会話 B	1		1				
初級スペイン語文法 A	1		1				
初級スペイン語文法 B	1		1				
初級スペイン語会話 A	1		1				
初級スペイン語会話 B	1		1				
初級中国語文法 A	1		1				
初級中国語文法 B	1		1				
初級中国語会話 A	1		1				
初級中国語会話 B	1		1				
中級中国語文法	1		1				
中級中国語会話	1		1				
初級韓国語文法 A	1		1				
初級韓国語文法 B	1		1				
初級韓国語会話 A	1		1				
初級韓国語会話 B	1		1				
日本語 Ⅰ	1		1				
日本語 Ⅱ	1		1				
人文･社会系科目							
日本語表現の基礎	2		2				
日本の文学	2		2				
哲学入門	2		2				
哲学の現在	2		2				
倫理学入門	2		2				
倫理学の現在	2		2				
心理学入門	2		2				
行動心理学	2		2				

個性の心理学	2		2			
文化人類学入門	2		2			
環境の文化人類学	2		2			
比較文化論	2		2			
比較芸術論	2		2			
法学入門	2		2			
日本国憲法	2		2			
社会学入門	2		2			
政治学入門	2		2			
政治と現代社会	2		2			
経済学入門	2		2			
経済と現代社会	2		2			
地理学入門	2		2			
歴史学入門	2		2			
社会学の現在	2		2			
現代社会と福祉	2		2			
世界の歴史	2		2			
日本の歴史	2		2			
地理学の現在	2		2			
自然系科目						
物理学入門	2		2			
基礎力学	2		2			
基礎化学	2		2			
基礎生物学	2		2			
基礎地球科学	2		2			
統計学入門	2		2			
推計学入門	2		2			
解析学	2		2			
線形代数	2		2			
物理学演習	1		1			
総合生物学	2		2			
総合化学	2		2			

総合地球科学	2		2		
健康･スポーツ系科目					
スポーツ実技Ⅰ	1	1			
スポーツ実技Ⅱ	1		1		
スポーツ実技Ⅲ	1		1		
スポーツ実技Ⅳ	1		1		
スポーツ科学	2		2		
総合系科目					
データサイエンスの基礎	2		2		
情報科学	2		2		
科学史	2		2		
科学技術と社会	2		2		
地球環境を考える	2		2		
生命倫理	2		2		
ボランティア論	1		1		

3　基礎専門科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
海外フィールド実習	1		1		

4　専門教育科目

基礎専門科目及び専門教育科目のうちから必修科目を含めて，94単位以上（獣医学科は160単位以上，獣医保健看護学科は100単位以上）を修得しなければならない。また，許可を得て他学科設置の専門教育科目を修得した者については，20単位を超えない範囲で所属学科の専門教育科目の選択科目を修得したものとみなす。

Ⅰ　バイオサイエンス学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門基礎領域					
アクティブラーニング・PBL科目					
バイオサイエンス入門	2	2			

バイオサイエンス体験	2	2				
バイオサイエンス演習Ⅰ	1		1			
バイオサイエンス演習Ⅱ	1		1			
バイオサイエンス演習Ⅲ	1		1			
バイオサイエンス演習Ⅳ	1		1			
バイオサイエンス英語Ⅰ	1		1			
バイオサイエンス英語Ⅱ	1		1			
バイオ英語プレゼンテーションⅠ	1		1			
バイオ英語プレゼンテーションⅡ	1		1			
専門共通コア科目						
細胞生物学	2	2		バイオサイエンス解析法Ⅰ バイオサイエンス解析法Ⅱ バイオサイエンス解析法Ⅲ のうちから2単位を選択必修とする。		
有機化学	2	2				
分子生物学	2	2				
バイオサイエンス概論	2	2				
微生物学	2	2				
生物の有機化学	2	2				
ゲノム生物学	2	2				
生命とバイオの倫理	2	2				
分析化学	2		2			
生体分子の構造解析	2		2			
AIと生命情報科学	2		2			
バイオサイエンス解析法Ⅰ	2		2			
バイオサイエンス解析法Ⅱ	2		2			
バイオサイエンス解析法Ⅲ	2		2			
バイオインフォマティクス	2		2			
分子間相互作用学	2		2			
生物統計解析学	2		2			
革新的バイオ産業の創出	2		2			
食品衛生学	2		2			
専門科目						

栄　養　科　学	2	2			
分　子　栄　養　学	2	2			
タンパク質と酵素の科学	2	2			
ケミカルバイオロジー	2	2			
ＤＮＡテクノロジー	2	2			
植　物　の　細　胞　生　理	2	2			
微　生　物　生　理　学	2	2			
病　態　生　化　学	2	2			
バイオサイエンス研究Ⅰ	3	3			
バイオサイエンス研究Ⅱ	3	3			
実験系科目					
栄養と健康科学実験Ⅰ	1		1	「栄養と健康科学実験Ⅰ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅰ，微生物と植物実験Ⅰ」，「栄養と健康科学実験Ⅱ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅱ，微生物と植物実験Ⅱ」，「栄養と健康科学実験Ⅲ，発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅲ，微生物と植物実験Ⅲ」から，各1単位を選択必修とする。	
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅰ	1		1		
微生物と植物実験Ⅰ	1		1		
栄養と健康科学実験Ⅱ	1		1		
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅱ	1		1		
微生物と植物実験Ⅱ	1		1		
栄養と健康科学実験Ⅲ	1		1		
発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅲ	1		1		
微生物と植物実験Ⅲ	1		1		
専門応用領域					
栄養・健康科学系科目					
栄　養　と　健　康　科　学	2		2		
人　体　と　生　命　の　科　学	2		2		
食　と　健　康　科　学	2		2		
代　謝　生　化　学	2		2		
栄　養　機　能　学	2		2		
アレルギーの科学	2		2		
サプリメントと薬理学	2		2		
スポーツと健康科学	2		2		

インダストリーと栄養	2		2			
発酵・ケミカルバイオロジー系科目						
バイオマスを知る	2		2			
分子創生の科学	2		2			
発酵科学	2		2			
バイオマスを活かす	2		2			
生理活性物質の科学	2		2			
バイオマス発酵学	2		2			
創薬科学	2		2			
天然物化学	2		2			
サスティナブルイノベーション	2		2			
医薬と香粧品化学	2		2			
微生物・植物系科目						
微生物遺伝学	2		2			
遺伝子とゲノムの情報学	2		2			
植物細胞分子生物学	2		2			
微生物機能利用学	2		2			
インダストリーと微生物	2		2			
植物と微生物の相互作用	2		2			
オミクス解析学	2		2			
エピジェネティクスとゲノム編集	2		2			
植物免疫学	2		2			
植物のシグナル伝達	2		2			
スマートセルインダストリー	2		2			
植物の機能と制御	2		2			
広域基礎科目						
生物資源科学概論	2		2			
生物学概論Ⅰ	2		2			
生物学概論Ⅱ	2		2			
物理学概論Ⅰ	2		2			

物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
職業指導	4		4		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅱ　動物学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基盤領域				フィールド調査実習 動物自然史博物学実習 動物学応用実験 保全生物学実習 のうちから1単位以上を選択必修とする。	
最新の動物学	2	2			
動物の多様性	2	2			
動物細胞生物学	2	2			
生化学	2	2			
動物遺伝学	2	2			
動物生理学	2	2			
動物形態学	2	2			
動物系統分類学	2	2			
動物学基礎実験Ⅰ	1	1			
分子生物学	2	2			
哺乳類・鳥類学	2	2			
昆虫体系学	2	2			
動物学基礎実験Ⅱ	1	1			
両生類・爬虫類学	2	2			
基礎栄養学	2	2			
動物組織学	2	2			

動物科学論文講読	1	1				
生物統計学	2	2				
動物の福祉と倫理	2	2				
応用領域						
動物生命史系科目						
動物行動学	2		2			
動物生態学	2		2			
フィールド生態調査法	2		2			
動物自然史博物学	2		2			
応用昆虫学	2		2			
海岸生物学	2		2			
フィールド調査実習	1		1			
動物学史	2		2			
古動物学	2		2			
動物自然史博物学実習	1		1			
動物地理学	2		2			
動物生命科学系科目						
動物発生学	2		2			
免疫生物学	2		2			
微生物学	2		2			
実験動物学	2		2			
生殖生物学	2		2			
応用免疫学	2		2			
動物学応用実験	1		1			
神経生物学	2		2			
生物情報学	2		2			
再生生物学	2		2			
時間生物学	2		2			
動物バイオテクノロジー	2		2			
動物の保全と環境系科目						
環境科学	2		2			

外来動物管理学	2		2		
野生動物管理学	2		2		
保全生物学	2		2		
動物園飼育管理学	2		2		
動物と社会	2		2		
都市動物学	2		2		
動物心理学	2		2		
保全生物学実習	1		1		
動物の採餌と飼料	2		2		
野生動物と飼育動物の感染症学	2		2		
展開領域					
動物学特別講義	1		1		
動物学演習	1	1			
動物学研究Ⅰ	3	3			
動物学研究Ⅱ	3	3			
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅲ　海洋生物学科					
授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
専門共通系科目				生物機能化学実験 水族生理学実験 漁業生産システム学実験 魚病学実験 水産利用学実験 食品衛生学実験 海洋環境学実験 水族生態学実験 のうちから4科目以上を修得すること。	
海洋生物学概論	2	2			
海洋基礎実習Ⅰ	1	1			
海洋基礎実習Ⅱ	1	1			
水族館論	2		2		
海洋生物展示学	2		2		
海洋基礎生物	2		2		
海洋基礎化学	2		2		
海洋基礎物理	2		2		
小型船舶操縦法実習	1		1		
海洋生物展示学実習	1		1		
海洋生物学演習Ⅰ	1	1			
海洋生物学演習Ⅱ	1	1			
海洋生物学実習Ⅰ	1	1			
海洋生物学実習Ⅱ	1	1			
海洋特別講義	2		2		
水産経済学	2		2		
バイオインフォマティクス論	2		2		
水族統計学	2		2		
学外研修	1		1		
海洋生物学研究Ⅰ	3	3			
海洋生物学研究Ⅱ	3	3			
生命科学系科目					
魚類学	2	2			
無脊椎動物学	2	2			
海生ほ乳類学	2		2		
軟骨魚類学	2		2		
生化学	2	2			
生物機能化学実験	1		1		

水族生理学	2		2			
細胞組織学	2		2			
生物機能化学	2		2			
水族生理学実験	1		1			
水族免疫学	2		2			
栄養生理学	2		2			
生産科学系科目						
増養殖学	2	2				
魚病学	2		2			
水族発生学	2		2			
漁業生産システム学実験	1		1			
漁業生産システム学	2		2			
魚病学実験	1		1			
行動生態学	2		2			
水産資源学	2		2			
水族環境学	2		2			
魚類繁殖行動学	2		2			
魚群行動学	2		2			
遺伝育種学	2		2			
利用科学系科目						
水産利用学	2	2				
水産利用学実験	1		1			
食品衛生学実験	1		1			
水産食品化学	2		2			
生物有機化学	2		2			
海洋微生物学	2		2			
食品微生物学	2		2			
分析化学	2		2			
食品加工学	2		2			
ケミカルバイオロジー	2		2			
食品衛生学	2		2			
環境科学系科目						

海洋環境学	2	2			
プランクトン学	2		2		
藻類学	2		2		
海洋環境学実験	1		1		
深海生物学	2		2		
底生生物学	2		2		
マリントキシン	2		2		
水族生態学実験	1		1		
水族生態学	2		2		
海洋環境化学	2		2		
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
職業指導	4		4		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅳ　森林学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
共通科目				選択科目の実験，実習，演習のうち,「森林生物・機能関連科目」,「森林共生関連科目」,「バイオマス利用関連科目」	
森林概論Ⅰ	2	2			
森林概論Ⅱ	2	2			

実践森林学	2	2		の3つの中から1つ以上の関連科目群について2科目以上を修得すること。	
森林基礎実習	1	1			
森林フィールド実習	1		1		
森林特別演習Ⅰ	1	1			
森林特別演習Ⅱ	1	1			
森林特別演習Ⅲ	1	1			
森林特別演習Ⅳ	1	1			
森林学研究Ⅰ	3	3			
森林学研究Ⅱ	3	3			
森林科学英語	2		2		
森林生物・機能関連科目					
森林植物学	2	2			
森林生態学	2	2			
森林微生物学	2	2			
森林基礎環境学	2	2			
森林育成学	2	2			
森林気象学	2	2			
森林環境修復学	2		2		
森林基礎工学	2		2		
森林土壌学	2		2		
森林動物学	2		2		
森林昆虫学	2		2		
森林生態学実習	1		1		
森林微生物学実習	1		1		
森林病理学	2		2		
森林生物多様性論	2		2		
森林環境保全学	2		2		
森林災害論	2		2		
きのこ学	2		2		
森林育成学実習	1		1		

森林気象学演習	1		1			
森林生物多様性実習	1		1			
森林微生物学実験	1		1			
森林環境保全学演習	1		1			
樹木・木材保存学	2		2			
樹木医概論	2		2			
森林共生関連科目						
森林管理学	2	2				
森林政策学	2	2				
森林計測学	2		2			
森林環境教育論	2		2			
森林バイオマス生産学	2		2			
森林機械学	2		2			
森林測量学	2		2			
森林計測学実習	1		1			
森林測量学実習	1		1			
森林アメニティ論	2		2			
森林ツーリズム論	2		2			
森林ビジネス論	2		2			
森林空間情報学	2		2			
森林空間情報学実習	1		1			
バイオマス利用関連科目						
森林基礎材料学	2	2				
森林基礎成分学	2	2				
木造住宅論	2	2				
森林資源材料学	2		2			
森林資源成分学	2		2			
バイオマス資源利用学	2		2			
森林資源材料学実験	1		1			
森林資源成分学実験	1		1			
インテリアプランニング概論	2		2			
木材構造利用学	2		2			
バイオマス資源利用学実験	1		1			

木材計測学実験	1		1		
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
職業指導	4		4		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅴ　環境学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
共通・基礎分野科目				「地理情報リモートセンシング実習Ⅰ，地理情報リモートセンシング実習Ⅱ」,「水環境学実験Ⅰ，水環境学実験Ⅱ」,「土環境学実験Ⅰ，土環境学実験Ⅱ」,「指標生物学実習Ⅰ，指標生物学実習Ⅱ」,「環境の材料と構造実験Ⅰ，環境の材料と構造実験Ⅱ」,「緑地環境学実習Ⅰ，緑地環境学実習Ⅱ」,「環境アセスメント調査Ⅰ，環境アセスメント調査Ⅱ」の中から2単位を選択必修とする。	
環境の法則	2	2			
環境学概論	2	2			
生態学	2	2			
環境学基礎実験Ⅰ	1	1			
環境学基礎実験Ⅱ	1	1			
自然物質循環学	2	2			
環境計測学	2	2			
環境アセスメント	2	2			
環境計測学実習	1	1			
陸域環境学	2		2		
環境修復学	2	2			

環境学演習Ⅰ	1	1				
環境学演習Ⅱ	1	1				
環境統計学	2		2			
環境のリスクマネジメント	2		2			
専門英語	2		2			
再生可能エネルギー学	2		2			
環境学特別講義	2		2			
環境学演習Ⅲ	1	1				
環境学演習Ⅳ	1	1				
環境学研究Ⅰ	3	3				
環境学研究Ⅱ	3	3				
環境技術者倫理	2		2			
地球環境系科目						
地球環境学	2	2				
大気環境学	2	2				
気象学	2		2			
地球温暖化対策	2		2			
地理情報リモートセンシング実習Ⅰ	1		1			
地理情報リモートセンシング実習Ⅱ	1		1			
自然環境系科目						
植生学	2	2				
生物圏水循環学	2	2				
保全生物学	2	2				
土壌科学分析	2	2				
水質分析法	2	2				
指標生物学	2	2				
土の力学	2		2			
水の流れの科学	2		2			
陸域保全学	2		2			
土壌循環学	2		2			

地域再生学	2		2			
水圏環境学	2		2			
河川生態学	2		2			
環境微生物学	2		2			
湿地環境学	2		2			
水圏環境工学	2		2			
河川環境の防災	2		2			
水圏生物学	2		2			
水環境学実験Ⅰ	1		1			
水環境学実験Ⅱ	1		1			
土環境学実験Ⅰ	1		1			
土環境学実験Ⅱ	1		1			
指標生物学実習Ⅰ	1		1			
指標生物学実習Ⅱ	1		1			
都市環境系科目						
都市環境学	2	2				
緑地環境学	2	2				
環境計画学	2		2			
環境の材料と構造	2		2			
ランドスケープデザイン	2		2			
都市防災学	2		2			
環境保全の施工と管理	2		2			
環境の材料と構造実験Ⅰ	1		1			
環境の材料と構造実験Ⅱ	1		1			
緑地環境学実習Ⅰ	1		1			
緑地環境学実習Ⅱ	1		1			
環境アセスメント調査Ⅰ	1		1			
環境アセスメント調査Ⅱ	1		1			
広域基礎科目						
生物資源科学概論	2		2			
生物学概論Ⅰ	2		2			

生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅵ　アグリサイエンス学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門共通科目					
専門共通コア科目					
アグリサイエンス概論	2	2		動物性食資源コース，植物性食資源コース，フラワーサイエンスコースを置き，動物性食資源コースでは動物科学基礎実験を，植物性食資源コースとフラワーサイエンスコースでは植物科学基礎実験を選択必修とする。	
細胞・発生学	2	2			
生化学	2	2			
農業のすがた	2	2			
分子生物学	2	2			
遺伝学入門	2	2			
ブランド創生学	2	2		動物性食資源コースでは産業動物品種論，動物生理学，飼料作物学，産業動物管理学，動物遺伝育種学，動物繁殖学，栄養・飼養学，動物バイオテクノロジー，産業動物飼育計画論，動物科学応用実験Ⅰ，動物科学応用実験Ⅱを，植物性食資源コースでは植物形態学，植物生態学，植物生理学，作物学Ⅰ，野菜園	
アグリサイエンステクノロジー	2	2			
アグリビジネス・マーケティング論	2	2			
産業動物品種論	2		2		
動物形態学	2		2		
動物生理学	2		2		
植物形態学	2		2		
植物生態学	2		2		

植物生理学	2		2	芸学，植物遺伝育種学，植物病理学，応用昆虫学，作物学Ⅱ，果樹園芸学，土壌・植物栄養学，植物科学応用実験Ⅰ，植物科学応用実験Ⅱを，フラワーサイエンスコースでは植物形態学，植物生態学，植物生理学，フラワー園芸学Ⅰ，色彩・造形学，フラワー装飾学，フラワー園芸学Ⅱ，花壇庭園装飾学，フラワーサイエンス実験Ⅰ，フラワーサイエンス実験Ⅱを選択必修とする。	
作物栽培学	2		2		
農業と環境	2		2		
持続型農業論	2		2		
花文化論	2		2		
飼料作物学	2		2		
生命と技術の倫理	2	2			
生物統計学入門	2	2			
施設園芸学	2		2		
ポストハーベストテクノロジー	2		2		
アグリブランド生産学	2	2			
地域・ブランド農畜産物論	2	2			
作物分子生理学	2		2		
園芸分子生理学	2		2		
フラワー分子生理学	2		2		
草地と放牧	2		2		
スマート農業論	2		2		
アグリサイエンス特別講義	2		2		
実験・実習・演習科目					
ブランド創生フィールドワーク	1	1			
アグリサイエンス基礎実験	1	1			
アグリサイエンス実習Ⅰ	1	1			
アグリサイエンス実習Ⅱ	1	1			
アグリサイエンス演習Ⅰ	1	1			
アグリサイエンス演習Ⅱ	1	1			
アグリサイエンス演習Ⅲ	1	1			
アグリサイエンス演習Ⅳ	1	1			
アグリサイエンス研究Ⅰ	3	3			
アグリサイエンス研究Ⅱ	3	3			
動物性食資源系科目					
専門科目					
産業動物管理学	2		2		

動物遺伝育種学	2		2			
動物繁殖学	2		2			
栄養・飼養学	2		2			
動物バイオテクノロジー	2		2			
産業動物飼育計画論	2		2			
実験・実習系科目						
動物科学基礎実験	1		1			
動物科学応用実験Ⅰ	1		1			
動物科学応用実験Ⅱ	1		1			
植物性食資源系科目						
専門科目						
作物学Ⅰ	2		2			
野菜園芸学	2		2			
植物遺伝育種学	2		2			
植物病理学	2		2			
応用昆虫学	2		2			
作物学Ⅱ	2		2			
果樹園芸学	2		2			
土壌・植物栄養学	2		2			
実験・実習系科目						
植物科学基礎実験	1		1			
植物科学応用実験Ⅰ	1		1			
植物科学応用実験Ⅱ	1		1			
フラワーサイエンス系科目						
専門科目						
フラワー園芸学Ⅰ	2		2			
色彩・造形学	2		2			
フラワー装飾学	2		2			
フラワー園芸学Ⅱ	2		2			
花壇庭園装飾学	2		2			
実験・実習系科目						
フラワーサイエンス実験Ⅰ	1		1			

フラワーサイエンス実験Ⅱ	1		1		
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
職業指導	4		4		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅶ　食品開発学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
食品の開発基盤系科目				食品開発インターンシップ 食品衛生監視員養成講座 研究者・技術者養成講座 TOEIC対策講座 のうちから1科目を選択必修とする。	
食品開発概論	2	2			
食品開発基礎理論Ⅰ	2	2			
食品開発基礎理論Ⅱ	2	2			
食品開発基礎実験	1	1			
食品科学	2	2			
食品開発の歴史	2	2			
キャリアデザインⅠ	2	2			
食品開発演習Ⅰ	1	1			
キャリアデザインⅡ	2	2			
食品開発演習Ⅱ	1	1			
食品開発実習Ⅰ	1	1			
食品開発実習Ⅱ	1	1			

食品開発インターンシップ	2		2			
食品衛生監視員養成講座	2		2			
研究者・技術者養成講座	2		2			
ＴＯＥＩＣ 対策講座	2		2			
フューチャーフードサイエンス	2		2			
食品行政	2		2			
実験統計学	2		2			
バイオインフォマティクス	2		2			
食品開発研究Ⅰ	3	3				
食品開発研究Ⅱ	3	3				
食品の創造開発系科目						
食品素材科学	2		2			
食品資源利用学	2	2				
食品資源利用学実験	1	1				
食品加工学	2	2				
食品加工学実験	1	1				
乳製品科学	2		2			
発酵食品学	2		2			
冷凍食品学	2		2			
食品テクスチャー理論	2		2			
おいしさの科学	2		2			
食品製造プロセス学	2		2			
調理科学	2		2			
宇宙食開発学	2		2			
ブレッド&スイーツサイエンス	2		2			
においの科学	2		2			
食品界面科学	2		2			
食品品質管理論	2		2			
食肉の科学	2		2			
食とバイオテクノロジー	2		2			
食品と健康系科目						
食品機能化学	2	2				

食品機能化学実験	1	1				
食品栄養学	2	2				
食品栄養学実験	1	1				
ライフステージと食	2		2			
スポーツ食品科学	2		2			
新食素材開発論	2		2			
食とアレルギー	2		2			
サプリメントの科学	2		2			
食品成分化学	2		2			
食と脳科学	2		2			
食品と安全管理系科目						
食品衛生学	2	2				
食品衛生学実験	1	1				
食品分析学	2	2				
食品分析学実験	1	1				
食と公衆衛生	2		2			
食品安全学総論	2		2			
食品添加物論	2		2			
分析機器概論	2		2			
食品微生物学	2		2			
食品パッケージの科学	2		2			
食保存の科学	2		2			
広域基礎科目						
生物資源科学概論	2		2			
生物学概論Ⅰ	2		2			
生物学概論Ⅱ	2		2			
物理学概論Ⅰ	2		2			
物理学概論Ⅱ	2		2			
化学概論Ⅰ	2		2			
化学概論Ⅱ	2		2			
生物学実験	2		2			
化学実験	2		2			

物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅷ　食品ビジネス学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門共通系科目					
食品ビジネス基礎演習Ⅰ	1	1			
食品ビジネス基礎演習Ⅱ	1	1			
食品ビジネス学入門	2	2			
調査論	2	2			
マクロ経済学	2		2		
食と農の経済史	2		2		
ミクロ経済学	2		2		
メディアリテラシー	2		2		
フィールドリサーチⅠ	1	1			
フィールドリサーチⅡ	1	1			
食品経済統計学	2		2		
海外フードシステム現地研修	2		2		
食農教育実習	2		2		
産業組織論	2		2		
簿記概論	2		2		
食品ビジネス演習Ⅰ	1	1			
食品ビジネス演習Ⅱ	1	1			
計量経済学	2		2		
金融論	2		2		
食品ビジネス演習Ⅲ	1	1			
食品ビジネス演習Ⅳ	1	1			
食品ビジネス研究Ⅰ	3	3			
食品ビジネス研究Ⅱ	3	3			

食料資源・環境系科目						
食の経済学	2	2				
現代農業論	2	2				
資源と環境の経済学	2	2				
食料貿易論	2		2			
農村資源の保全と活用	2		2			
食料政策	2		2			
世界のフードシステム	2	2				
アグリビジネス論	2	2				
地域経済論	2		2			
地域食品資源論	2		2			
食品産業系科目						
食品企業経営学	2	2				
食品産業論	2	2				
流通経済論	2		2			
食品ビジネス戦略論	2		2			
地域マネジメント論	2		2			
食品マーケティング論	2	2				
組織マネジメント論	2		2			
経営分析論	2		2			
食品関係法	2		2			
食品ビジネス特別講義	2		2			
フードサービス論	2		2			
地域食品企業論	2		2			
食品企業と社会的責任	2		2			
食品デザイン論	2		2			
食文化・食品科学系科目						
食生活論	2		2			
食品栄養学	2		2			
調理学	2		2			
食と素材	2		2			
スローフード論	2		2			
食品加工論	2		2			

フードコーディネート論	2		2		
食品の官能評価・鑑別論	2		2		
調理学実習	2		2		
食と農の社会学	2	2			
日本と世界の食文化	2		2		
フードツーリズム論	2		2		
食物学実験	1		1		
フードコーディネート実習	1		1		
フードスペシャリスト論	2		2		
食品衛生管理学	2		2		
食品安全論	2		2		
食品の企画と開発	2		2		
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
世界史概説Ⅰ	2		2		
世界史概説Ⅱ	2		2		
法律学概論（国際法を含む）	4		4		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
職業指導	4		4		
日本史概説	2		2		
人文地理学	2		2		
自然地理学	2		2		
地誌学概論	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		

Ⅸ　国際共生学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専門基盤領域				選択科目のうち，専門基	

国際共生学系科目				盤領域の国際共生コミュニケーション系科目から4単位以上,国際共生データ分析系科目から3単位以上をそれぞれ修得した上で,専門基盤領域の選択科目から33単位以上修得すること。また,専門応用領域から26単位以上修得すること。	
国際共生学入門	2	2			
国際共生特別講義	2		2		
グローバルスタディーズⅠ	2		2		
グローバルスタディーズⅡ	2		2		
グローバルスタディーズⅢ	2		2		
グローバルスタディーズⅣ	2		2		
グローバルスタディーズⅤ	2		2		
グローバルスタディーズⅥ	2		2		
国際共生コミュニケーション系科目					
共生の英語Ⅰ	1	1		国際共生コミュニケーション系科目の中国語講読,中国語会話,中国語コミュニケーション,中国語作文を履修するためには,教養教育科目言語系科目の初級中国語文法A,初級中国語文法B,初級中国語会話A,初級中国語会話Bをすべて修得しなければならない。	
共生の英語Ⅱ	1	1			
Hospitality English	1		1		
TOEIC English Ⅰ	1		1		
中国語講読	1		1		
中国語会話	1		1		
スペイン語講読	1		1		
スペイン語会話	1		1		
Advanced English Reading	1		1		
TOEIC English Ⅱ	1		1	国際共生コミュニケーション系科目のスペイン語講読,スペイン語会話,スペイン語コミュニケーション,スペイン語作文を履修するためには,教養教育科目言語系科目の初級スペイン語文法A,初級スペイン語文法B,初級スペイン語会話A,初級スペイン語会話Bをすべて修得しなければならない。	
中国語コミュニケーション	1		1		
中国語作文	1		1		
スペイン語コミュニケーション	1		1		
スペイン語作文	1		1		
Business English Communication	1		1		
Advanced English Writing	1		1		
Advanced English Presentation	1		1		
国際共生データ分析系科目					
国際共生情報学	2		2		
国際共生情報学演習	1		1		
生物資源データサイエンス	2		2		

生物資源データサイエンス演習	1		1		
生物資源学系科目					
国際植物資源論	2		2		
国際動物資源論	2		2		
国際バイオ資源論	2		2		
国際環境資源論	2		2		
国際生物資源法規	2		2		
国際共生文化・社会系科目					
世界の飲食文化	2		2		
世界の居住文化	2		2		
歴史と国際共生	2		2		
文化地理学	2		2		
多文化共生論	2		2		
宗教と国際共生	2		2		
産業地理学	2		2		
共生の社会学	2		2		
共生の文化人類学	2		2		
専門応用領域					
国際共生環境系科目					
国際関係論	2		2		
国際政治論	2		2		
環境生態学	2		2		
国際協力論	2		2		
自然環境保全論	2		2		
地球温暖化対策	2		2		
NGO・NPO論	2		2		
環境計画学	2		2		
地球環境と持続可能な開発	2		2		
国際地域共生デザイン論	2		2		
国際共生経済・ビジネス系科目					
ビジネスコミュニケーション論	2		2		
生物資源マーケティング論	2		2		
国際貿易論	2		2		

生物資源ビジネス論	2		2		
生物資源流通論	2		2		
国際経営戦略論	2		2		
国際人材マネジメント論	2		2		
起業と共生	2		2		
国際地域ブランド戦略論	2		2		
国際ツーリズム論	2		2		
総合展開領域					
国際共生フィールドワーク系科目					
国際共生フィールドワーク入門	2	2			
国際共生社会調査論	2	2			
国内フィールドワークⅠ	1		1		
国内フィールドワークⅡ	1		1		
海外フィールドワークⅠ	1		1		
海外フィールドワークⅡ	1		1		
国際共生課題研究・卒業研究系科目					
国際共生学ゼミナールⅠ	1	1			
国際共生学ゼミナールⅡ	1	1			
国際共生学研究Ⅰ	3	3			
国際共生学研究Ⅱ	3	3			
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
世界史概説Ⅰ	2		2		
世界史概説Ⅱ	2		2		
法律学概論（国際法を含む）	4		4		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
日本史概説	2		2		
人文地理学	2		2		
自然地理学	2		2		
地誌学概論	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		

宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		

X　獣医保健看護学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎動物学					
分子生物学	2	2			
獣医倫理・動物福祉論	2	2			
動物形態機能学Ⅰ	2	2			
動物形態機能学Ⅱ	2	2			
動物生理化学	2	2			
動物免疫学	2	2			
動物繁殖学	2	2			
動物品種論	2	2			
動物栄養学	2	2			
動物行動学	2	2			
実験動物学	2	2			
獣医事法規	2	2			
基礎動物看護学					
獣医保健看護学概論	2	2			
動物微生物学	2	2			
動物薬理学	2	2			
動物病理学	2	2			
動物寄生虫病学	2	2			
公衆衛生学	2	2			
人獣共通感染症学	2	2			
愛護・適正飼養学					
愛玩動物学	2	2			
動物生活環境学	2	2			
人と動物の関係学	2	2			

動物医療ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2	2				
適正飼養指導論Ⅰ	2	2				
適正飼養指導論Ⅱ	2	2				
ペット関連産業概論	2	2				
臨床動物看護学						
動物内科看護学Ⅰ	2	2				
動物内科看護学Ⅱ	2	2				
動物臨床検査学	2	2				
動物臨床栄養学	2	2				
動物外科看護学Ⅰ	2	2				
動物内科看護学Ⅲ	2	2				
動物臨床薬理学	2	2				
動物臨床看護学総論	2	2				
動物臨床看護学各論Ⅰ	2	2				
動物臨床看護学各論Ⅱ	2	2				
動物臨床看護学各論Ⅲ	2	2				
動物外科看護学Ⅱ	2	2				
動物臨床看護学各論Ⅳ	2	2				
実習						
動物形態機能学実習	1	1				
動物内科看護学実習Ⅰ	1	1				
動物内科看護学実習Ⅱ	1	1				
動物内科看護学実習Ⅲ	1	1				
動物外科看護学実習Ⅰ	1	1				
動物愛護・適正飼養実習	1	1				
動物臨床検査学実習	1	1				
動物外科看護学実習Ⅱ	1	1				
動物看護学総合実習Ⅰ	1	1				
動物看護学総合実習Ⅱ	2	2				
展開領域						

動物保健看護学演習Ⅰ	1	1			
動物保健看護学演習Ⅱ	1	1			
動物保健看護学演習Ⅲ	1	1			
獣医保健看護学研究Ⅰ	2	2			
獣医保健看護学研究Ⅱ	2	2			
応用領域					
外来動物管理学	2		2		
動物生態学	2		2		
野生動物管理学	2		2		
保全生物学	2		2		
再生生物学	2		2		
都市動物学	2		2		
動物心理学	2		2		
動物地理学	2		2		
動物園飼育管理学	2		2		
広域基礎科目					
生物資源科学概論	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

XI　獣医学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
導入・基礎獣医学					
獣医学概論	2	2			
獣医倫理・動物福祉学	2	2			
獣医解剖学A	2	2			
獣医解剖学B	2	2			
獣医生理学A	2	2			
獣医生理学B	2	2			
獣医生化学A	2	2			
獣医生化学B	2	2			
動物遺伝育種学	2	2			
獣医組織・発生学	2	2			
獣医薬理学A	2	2			
獣医薬理学B	2	2			
動物行動学	2	2			
実験動物学A	2	2			
実験動物学B	1	1			
放射線生物学	1	1			
獣医事法規	2	2			
病態獣医学					
獣医病理学A	2	2			
獣医病理学B	2	2			
獣医病理学C	1	1			
獣医免疫学	2	2			
獣医微生物学A	2	2			
獣医微生物学B	2	2			
獣医寄生虫病学A	2	2			
獣医寄生虫病学B	2	2			

動物感染症学 A	2	2				
動物感染症学 B	2	2				
応用獣医学						
魚病学 A	2	2				
魚病学 B	1	1				
獣医公衆衛生学総論	1	1				
食品衛生学	2	2				
毒性学	2	2				
獣医疫学	1	1				
動物衛生学	2	2				
環境衛生学	1	1				
人獣共通感染症学	2	2				
野生動物学	1	1				
臨床獣医学						
獣医内科学総論	1	1				
獣医臨床病理学	2	2				
獣医内分泌代謝病学	1	1				
獣医血液病学	1	1				
獣医皮膚病学	1	1				
獣医外科学/手術学総論	2	2				
獣医臨床繁殖学 A	2	2				
獣医臨床繁殖学 B	2	2				
獣医呼吸循環器病学	2	2				
獣医消化器病学	2	2				
獣医臨床行動学	1	1				
獣医麻酔学	1	1				
獣医軟部組織外科学	2	2				
獣医運動器病学	1	1				
獣医臨床腫瘍学	1	1				

獣医画像診断学 A	2	2				
獣医画像診断学 B	1	1				
産業動物臨床学 A	1	1				
産業動物臨床学 B	2	2				
馬臨床学	1	1				
獣医臨床薬理学	1	1				
獣医腎泌尿器病学	1	1				
獣医臨床栄養学	1	1				
獣医神経病学	1	1				
獣医眼科学	1	1				
実習						
獣医解剖学実習 A	1	1				
獣医解剖学実習 B	1	1				
獣医組織学実習	1	1				
獣医生理学実習	1	1				
獣医生化学実習	1	1				
獣医微生物学実習	1	1				
獣医薬理学実習	1	1				
実験動物学実習	1	1				
獣医病理学実習 A	1	1				
獣医病理学実習 B	1	1				
獣医寄生虫病学実習	1	1				
毒性学実習	1	1				
動物感染症学実習	1	1				
魚病学実習	1	1				
動物衛生学実習	1	1				
獣医公衆衛生学実習	1	1				
食品衛生学実習	1	1				
小動物内科学実習 A	1	1				

小動物内科学実習 B	1	1				
小動物外科学実習 A	1	1				
小動物外科学実習 B	1	1				
獣医臨床繁殖学実習	1	1				
獣医画像診断学実習	1	1				
産業動物臨床実習	1	1				
総合参加型臨床実習	4	4				
展開領域						
獣医事特別演習	1	1				
獣医学外演習	1	1				
専門獣医学演習 A	1	1				
専門獣医学演習 B	1	1				
総合獣医学 A	6	6				
総合獣医学 B	6	6				
獣医学研究 I	3	3				
獣医学研究 II	3	3				
選択						
分子生物学	2		2			
生物統計学	2		2			
動物品種論	2		2			
牧場実習	1		1			
獣医臨床解剖学	2		2			
エキゾチックアニマル学	2		2			
獣医応用免疫学	2		2			
獣医再生医療学	2		2			
動物園・水族館演習	1		1			
広域基礎科目						
生物資源科学概論	2		2			
生物学概論 I	2		2			

生物学概論Ⅱ	2		2		
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
化学実験	2		2		
物理学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

5　学芸員課程科目

各学科設置の専門教育科目の他に許可を得て次の科目を修得することができる。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
博物館概論	2	2			
博物館教育論	2	2			
生涯学習概論	2	2			
博物館情報･メディア論	2	2			
博物館実習Ⅰ	1	1			
博物館実習Ⅱ	2	2			
博物館経営論	2	2			
博物館資料論	2	2			
博物館資料保存論	2	2			
博物館展示論	2	2			

第94条の２　生物資源科学部における各学科の授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は履修方法に定める単位を含めて，合計124単位以上を，ただし獣医学科については188単位以上を修得しなければならない。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2		2		
日本を考える	2		2		

2　教養教育科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
言語系科目					
英語Ⅰ	2	2		言語系科目，人文・社会系科目，自然系科目，健康・スポーツ系科目，総合系科目から30単位以上を，ただし獣医学科は24単位以上を修得しなければならない。生命農学科は基礎生物学，総合生物学，生命化学科は基礎生物学，基礎化学，化学特論，生命倫理，獣医学科は基礎生物学，総合生物学，動物資源科学科は基礎生物学，食品ビジネス学科は人文・社会系科目から8単位以上，生物環境工学科は解析学，基礎力学を必修とする。 言語系科目のうち，外国人留学生は母国語を履修することはできない。英語を母国語とする外国人留学生は，英語Ⅰ，英語Ⅱ，英語Ⅲ，英語Ⅳを除いた科目から8単位以上を修得しなければならない。また，日本語Ⅰ，日本語Ⅱは外国人留学生のみ履修できる。	
英語Ⅱ	2	2			
英語Ⅲ	2	2			
英語Ⅳ	2	2			
初級ドイツ語文法	2		2		
初級ドイツ語講読	2		2		
初級ドイツ語会話	2		2		
中級ドイツ語講読	2		2		
検定ドイツ語	2		2		
初級フランス語文法	2		2		
初級フランス語会話	2		2		
初級スペイン語文法	2		2		
初級スペイン語会話	2		2		
初級中国語文法	2		2		
初級中国語会話	2		2		
中級中国語文法	1		1		
中級中国語会話	1		1		
初級韓国語文法	2		2		
初級韓国語会話	2		2		
日本語Ⅰ	2		2		
日本語Ⅱ	2		2		
人文・社会系科目					
日本語表現の基礎	2		2		
日本の文学	2		2		

哲学入門	2		2			
哲学の現在	2		2			
倫理学入門	2		2			
倫理学の現在	2		2			
心理学入門	2		2			
行動心理学	2		2			
個性の心理学	2		2			
文化人類学入門	2		2			
環境の文化人類学	2		2			
比較文化論	2		2			
比較芸術論	2		2			
法学入門	2		2			
日本国憲法	2		2			
社会学入門	2		2			
政治学入門	2		2			
政治と現代社会	2		2			
経済学入門	2		2			
経済と現代社会	2		2			
地理学入門	2		2			
歴史学入門	2		2			
社会学の現在	2		2			
現代社会と福祉	2		2			
歴史と現代社会	2		2			
地理学の現在	2		2			
自然系科目						
物理学入門	2		2			
基礎力学	2		2			
基礎化学	2		2			
基礎生物学	2		2			
基礎地球科学	2		2			
統計学入門	2		2			
推計学入門	2		2			
解析学	2		2			

線形代数	2		2		
物理学演習	1		1		
総合生物学	2		2		
生物学実験	1		1		
化学特論	2		2		
化学実験	1		1		
総合地球科学	2		2		
健康・スポーツ系科目					
スポーツ実技Ⅰ	1	1			
スポーツ実技Ⅱ	1		1		
スポーツ実技Ⅲ	1		1		
スポーツ実技Ⅳ	1		1		
スポーツ科学	2		2		
総合系科目					
アルゴリズム入門	1		1		
ネットワーク入門	1		1		
情報科学	2		2		
科学史	2		2		
科学技術と社会	2		2		
地球環境を考える	2		2		
生命倫理	2		2		
ボランティア論	1		1		
教養講座	2		2		

3　基礎専門科目（各学科共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学フィールド実習	1		1		
海外フィールド実習	1		1		
生物資源科学概論	1		1		

4　専門教育科目

全学共通教育科目，基礎専門科目及び専門教育科目のうちから必修科目を含めて，94単位以上（獣医学科は164単位以上）を修得しなければならない。また，許可を

得て他学科設置の専門教育科目及び教職課程科目・学芸員課程科目を修得した者については，30単位を超えない範囲で所属学科の専門教育選択科目を修得したものとみなす。

Ⅰ　生命農学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
植物生理学	2	2			
植物生態学	2	2			
食料生産科学	2		2		
作物生産学Ⅰ	2	2			
作物生産学Ⅱ	2		2		
果樹園芸学	2	2			
果樹分子生理学	2		2		
野菜園芸学	2	2			
野菜生理機能科学	2		2		
花き園芸学	2	2			
花き分子生理学	2		2		
植物育種学	2	2			
土壌科学	2		2		
植物栄養学	2		2		
植物病理学	2	2			
応用昆虫学	2	2			
農薬科学	2		2		
造園緑地学	2	2			
生命農学実験Ⅱ	2	2			
生命農学実習Ⅰ	1	1			
生命農学実習Ⅱ	2	2			
植物環境調節学	2		2		
園芸デザイン演習	2		2		
植物遺伝工学	2		2		

植物医科学	2		2			
害虫制御論	2		2			
実験情報解析演習	2		2			
緑地環境計画学	2		2			
農と緑のまちづくり論	2		2			
景観生態学	2		2			
生命農学演習Ⅰ	2	2				
生命農学演習Ⅱ	2	2				
基礎細胞学	2		2			
植物遺伝学	2	2				
植物病原微生物学	2		2			
生命農学実験Ⅰ	2	2				
ランドスケープ演習	2		2			
自然保護政策論	2		2			
緑地工学	2		2			
都市緑化技術論	2		2			
芝草学	2		2			
分子生物学	2		2			
学外実習	1		1			
生命農学概論	2	2				
植物形態・分類学	2		2			
生物化学	2		2			
分子植物成長制御論	2		2			
分子植物育種学	2		2			
昆虫ゲノム医科学	2		2			
生命農学特別講義	2		2			
エコロジカル・デザイン論	2		2			
園芸福祉論	2		2			
農学原論	2		2			
アグリバイオテクノロジー入門	2		2			

植物生命科学	2	2			
作物生理機能科学	2		2		
アグリバイオテクノロジー実験法	2		2		
アグリバイオインフォマティクス論	2		2		
生命農学実験Ⅲ	2	2			
卒業研究	6	6			

Ⅱ　生命化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生命化学基礎実験	2	2			
生物化学Ⅰ	2	2			
生物化学Ⅱ	2	2			
有機化学	2	2			
生物有機化学	2	2			
物理化学	2	2			
土壌科学	2	2			
植物栄養学	2	2			
酵素化学	2	2			
微生物学	2	2			
栄養化学	2	2			
栄養生化学	2	2			
食品化学	2	2			
分子生物学	2	2			
農薬科学	2		2		
食品機能化学	2	2			
生物有機化学実験	2	2			
微生物学実験	2	2			
栄養生理化学実験	2	2			
食品化学実験	2	2			
発酵化学実験	2	2			

土壌化学実験	2	2				
植物栄養生理学実験	2	2				
食品保蔵学	2	2				
植物病理学	2		2			
応用生物化学	2		2			
肥料動態学	2		2			
環境微生物学	2	2				
生物化学工学	2		2			
飼料学	2		2			
微生物生化学	2	2				
食品衛生学	2	2				
無機化学	2	2				
環境化学	2	2				
植物細胞科学	2		2			
動物細胞科学	2		2			
生命化学概論	2	2				
生命化学フィールド実習	2		2			
植物生理学	2	2				
発酵化学	2	2				
動物生理学	2	2				
作物学	2		2			
土壌生産化学	2		2			
生物統計学	2		2			
バイオインフォマティクス	2		2			
サイエンスプレゼンテーション	2		2			
専門基礎英語	2		2			
専門英語Ⅰ	2		2			
専門英語Ⅱ	2		2			
生命化学実験法Ⅰ	2	2				
生命化学実験法Ⅱ	2	2				
生命化学実験法Ⅲ	2	2				

生命化学実験法Ⅳ	2	2			
卒業研究	6	6			

Ⅲ　獣医学科

獣医学専門科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
獣医解剖学A	2	2			
獣医解剖学B	2	2			
獣医解剖学実習A	1	1			
獣医解剖学実習B	1	1			
獣医組織・発生学	2	2			
獣医組織学実習	1	1			
獣医生理学A	2	2			
獣医生理学B	2	2			
獣医生理学実習	1	1			
獣医生化学A	2	2			
獣医生化学B	2	2			
獣医生化学実習	1	1			
獣医薬理学A	2	2			
獣医薬理学B	2	2			
獣医薬理学実習	1	1			
動物遺伝育種学	2	2			
動物行動学	2	2			
放射線生物学	1	1			
獣医微生物学A	2	2			
獣医微生物学B	2	2			
獣医微生物学実習A	1	1			
獣医微生物学実習B	1	1			
獣医病理学A	2	2			
獣医病理学B	2	2			
獣医病理学C	1	1			

獣医病理学実習A	1	1				
獣医病理学実習B	1	1				
獣医寄生虫病学A	2	2				
獣医寄生虫病学B	2	2				
獣医寄生虫病学実習	1	1				
獣医内科学総論	1	1				
小動物内科学実習A	1	1				
小動物内科学実習B	1	1				
獣医臨床薬理学	1	1				
獣医呼吸循環器病学	2	2				
獣医消化器病学	2	2				
獣医泌尿生殖器病学	2	2				
獣医内分泌代謝病学	1	1				
獣医臨床栄養学	1	1				
獣医神経病学	1	1				
獣医血液免疫病学	1	1				
獣医皮膚病学	1	1				
獣医臨床行動学	1	1				
獣医外科学総論	1	1				
獣医手術学総論	1	1				
小動物外科学実習A	1	1				
小動物外科学実習B	1	1				
獣医麻酔学	1	1				
獣医軟部組織外科学	2	2				
獣医運動器病学	1	1				
獣医臨床腫瘍学	1	1				
獣医眼科学	1	1				
獣医画像診断学A	2	2				
獣医画像診断学B	1	1				
獣医画像診断学実習	1	1				
馬臨床学	1	1				
獣医臨床繁殖学A	2	2				

獣医臨床繁殖学B	2	2				
獣医臨床繁殖学実習	1	1				
動物感染症学A	2	2				
動物感染症学B	2	2				
動物感染症学実習	1	1				
獣医臨床病理学	2	2				
獣医臨床病理学実習	1	1				
獣医公衆衛生学総論	1	1				
人獣共通感染症学	2	2				
食品衛生学	2	2				
獣医公衆衛生学実習	1	1				
食品衛生学実習	1	1				
疫学	2	2				
動物衛生学	2	2				
環境衛生学	2	2				
動物衛生学実習	1	1				
野生動物学	1	1				
実験動物学A	2	2				
実験動物学B	1	1				
実験動物学実習	1	1				
毒性学	2	2				
毒性学実習	1	1				
魚病学A	2	2				
魚病学B	1	1				
魚病学実習	1	1				
獣医免疫学	2	2				
産業動物臨床学A	1	1				
産業動物臨床学B	2	2				
産業動物臨床実習	1	1				
総合参加型臨床実習	6	6				
獣医学概論	2	2				

獣医事法規	2	2			
獣医倫理･動物福祉学	2	2			
基礎獣医学演習	1	1			
総合獣医学演習A	1	1			
総合獣医学演習B	1	1			
総合獣医学演習C	6	6			
総合獣医学演習D	3	3			
専門獣医学演習A	1	1			
専門獣医学演習B	1	1			
専門獣医学演習C	1	1			
臨床研究	6		6	1科目選択必修	
卒業論文	6		6		

獣医学関連科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物統計学	2		2	4単位以上を修得しなければならない。	
分子生物学	2		2		
動物品種論	2		2		
エキゾチックアニマル学演習	1		1	4単位以上を修得しなければならない。	
獣医臨床解剖学演習	1		1		
獣医応用免疫学演習	1		1		
展示動物医学演習	1		1		
獣医再生医療学演習	1		1		
牧場実習	1		1		

Ⅳ　動物資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
動物遺伝学	2	2			
生物統計学	2	2			
基礎生化学	2	2			
動物資源科学概論	2	2			
動物生理学	2	2			
動物形態学	2	2			

動物生理学実験	1		1			
動物形態学実習	1		1			
動物育種学	2	2				
資源動物論	2		2			
動物育種学実習	1		1			
動物生殖学	2	2				
動物生殖学実験	1		1			
動物応用栄養学	2	2				
動物栄養学実験	1		1			
栄養生理学	2	2				
飼料資源学	2	2				
草地・飼料作物学	2		2			
草地･飼料資源学実習	1		1			
微生物学	2	2				
微生物学実習	1		1			
動物衛生学	2	2				
ミルク科学	2	2				
肉と卵の科学	2	2				
動物性食品機能学	2		2			
動物性食品科学実験	1		1			
食品衛生学	2		2			
動物資源経済学	2	2				
動物資源経済学演習	1		1			
畜産経営学	2	2				
情報処理論	2		2			
動物関連法規・政策	2		2			
畜産マーケティング論	2		2			
動物資源科学演習	1	1				
牧場実習	1		1			
細胞・発生生物学	2		2			
実験動物学	2		2			

保全生物学	2		2		
生命工学	2		2		
免疫生物学	2		2		
産乳科学	2		2		
産肉科学	2		2		
家禽学	2		2		
動物疾病学	2		2		
野生動物学	2	2			
動物園学	2		2		
動物行動学	2		2		
アニマルセラピー・動物福祉論	2		2		
化学概論	2	2			
生殖生理学	2	2			
分子生物学	2		2		
伴侶動物学実習	1		1		
野生動物学実習	1		1		
動物資源科学インターンシップ	1		1		
動物生態学	2		2		
動物心理学	2		2		
伴侶動物学	2	2			
犬と猫の科学	2		2		
化学実験の基礎	2		2		
動物資源科学実験	1	1			
卒業研究	6	6			

Ⅴ　食品ビジネス学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
消費者と企業の経済学	2		2		
マクロ経済学	2		2		
調査論	2	2			
現代農業論	2	2			
資源と環境の経済学	2	2			

食品ビジネス学入門	2	2				
食品産業論	2	2				
フィールドリサーチ	2	2				
食品関係法	2		2			
食品ビジネス演習Ⅰ	2	2				
食品ビジネス演習Ⅱ	2	2				
日本と世界の食文化	2		2			
世界のフードシステム	2	2				
食と農の社会学	2	2				
簿記入門	2		2			
会計学の基礎	2		2			
食品経済統計学	2		2			
食生活論	2		2			
食品栄養学	2		2			
食品加工論	2		2			
国際貿易・投資論	2		2			
地域経済論	2		2			
産業組織論	2		2			
食品企業経営学	2	2				
食料政策	2		2			
食品産業の歴史	2		2			
フードサービス論	2		2			
プレゼンテーション入門	2		2			
食品ビジネス特別講義	2		2			
経営分析論	2		2			
アグリビジネス論	2	2				
食品マーケティング論	2	2				
消費者行政	2		2			
食品衛生管理学	2		2			
食品デザイン論	2		2			

食品ビジネス戦略論	2		2		
人材マネジメント論	2		2		
食品ビジネス基礎演習	1	1			
食の経済学	2		2		
食品安全論	2		2		
ロジスティクス論	2		2		
農村資源の保全と活用	2		2		
食品企業と社会的責任	2		2		
ＮＧＯ・ＮＰＯ論	2		2		
食品ビジネスインターンシップ	2		2		
海外フードシステム現地研修	2		2		
スローフード論	2		2		
グリーン･ツーリズム論	2		2		
食品の企画と開発	2		2		
食と素材	2		2		
フードスペシャリスト論	2		2		
フードコーディネート論	2		2		
調理学	2		2		
食品の官能評価･鑑別論	2		2		
調理学実習	2		2		
食物学実験	1		1		
食料生産実習	2		2		
フードコーディネート実習	1		1		
食と農の経済史	2		2		
フィールドリサーチ特別演習	1		1		
食品ビジネス特別演習Ⅰ	1		1		
食品ビジネス特別演習Ⅱ	1		1		
卒業研究	6	6			

Ⅵ　森林資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
森林資源科学概論Ⅰ（生物環境系）	2	2			
森林資源科学概論Ⅱ（資源系）	2	2			
森林資源科学実習	2	2			
樹木学	2	2			
森林統計学	2		2		
森林計測学	2		2		
森林計画学	2	2			
造林学	2		2		
造林学実習	1		1		
山地保全学	2		2		
山地保全学演習	2		2		
自然災害論	2	2			
森林利用学	2	2			
森林利用学実習	1		1		
木材加工学	2		2		
木材計測学実験	1		1		
森林土木学	2		2		
森林測量学	2		2		
森林測量学実習	1		1		
森林航測学実習	1		1		
森林生態学	2	2			
森林生態学実習	1		1		
森林ＧＩＳ	2		2		
木材物理学	2	2			
木材物理学実験	1		1		
環境緑化工学	2		2		
森林土壌科学	2	2			
森林資源化学	2	2			
森林資源化学実験	1		1		
材料としての木材	2		2		

木質材料学	2		2			
森林計測学実習	1		1			
バイオマス資源利用学	2		2			
バイオマス資源利用学実験	1		1			
森林・木材・環境ビジネス論	2		2			
森林基礎力学	2		2			
森林水文気象学演習	2		2			
風致造園学	2		2			
建設材料学	2		2			
樹病学	2		2			
森林動物学	2	2				
森林生物多様性実習	1		1			
森林昆虫学	2	2				
森林生物多様性実験	1		1			
森林水文気象学	2	2				
風致造園学実習	1		1			
建築計画論	2		2			
建築設計製図Ⅰ	2		2			
建築施工論	2		2			
建築法規	2		2			
木造住宅論	2	2				
森林リモートセンシング	2		2			
森林レクリエーション	2		2			
専門英語	2		2			
森林微生物学	2	2				
森林環境教育論	2		2			
森林資源科学インターンシップ	2		2			
木材防腐防虫学	2		2			
特別演習Ⅰ	2	2				
特別演習Ⅱ	2	2				
実践森林資源科学	2		2			
夏季演習林実習	1		1			
冬季演習林実習	1		1			

森林海外実習	2		2		
建築設計製図Ⅱ	2		2		
CAD製図	1		1		
森林生物の多様性と進化	2		2		
森林圏基礎科学	2		2		
森林政策学	2		2		
森林機械学	2		2		
木造建築構法	2		2		
建築史・保存活用論	2		2		
森林基礎有機化学	2		2		
卒業研究	6	6			

Ⅶ　海洋生物資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
海洋環境学	2	2		海洋生物資源広域コースと海洋生物資源応用コースを置く。 海洋生物資源広域コースは実験科目4科目4単位以上を修得しなければならない。海洋生物資源応用コースは 水族館論 細胞生物学 技術者の倫理入門 特別講義 インターンシップ／学外研修 海洋環境化学 海洋環境保全・修復学 フードビジネス論 海洋法規 を必修とし, 海洋環境分野 生物海洋学 プランクトン学 海洋微生物学 海洋環境学実験 分析化学 海洋気象学 深海生物学 から3科目以上 資源生産・管理分野 生物統計学 魚類生態学 行動生態学 水族生態学実験	
生物海洋学	2		2		
基礎有機化学	2		2		
無脊椎動物学	2	2			
魚類学	2	2			
海生ほ乳類学	2		2		
生化学	2	2			
生理生化学	2		2		
生物機能化学実験	1		1		
魚類生態学	2		2		
水族生態学実験	1		1		
水族育成学	2	2			
水族育成病理学実験	1		1		
水産利用学	2	2			
水産利用学実験	1		1		
海洋生物資源科学概論	2	2			
海洋法規	2		2		
海洋環境学実験	1		1		

水族生理学	2		2	海洋生産学実験 魚群行動学 潮間帯の生態学 魚類繁殖行動学 水族の統計解析 から3科目以上 増養殖分野 水族栄養学 海生ほ乳類学 水族生理学 水族病理学 遺伝育種学 水族発生学 水族生理学実験 水族育成病理学実験 増殖環境学実験 水族生体防御学 分子生態学 から4科目以上 資源利用分野 食品微生物学 生物機能化学実験 水産利用学実験 水産食品化学 食品衛生学 食品加工学 公衆衛生学 生理生化学 基礎有機化学 から4科目以上，合計23科目以上を選択必修とする。ただし，実験科目4科目4単位以上を含む。		
水族生理学実験	1		1		
水族病理学	2		2		
海洋気象学	2		2		
水族の統計解析	2		2		
増殖環境学	2	2			
増殖環境学実験	1		1		
食品微生物学	2		2		
水産食品化学	2		2		
食品加工学	2		2		
食品衛生学	2		2		
魚群行動学	2		2		
フードビジネス論	2		2		
特別講義	2		2		
細胞生物学	2		2		
分析化学	2		2		
水族栄養学	2		2		
海洋微生物学	2		2		
公衆衛生学	2		2		
海洋生物資源科学演習Ⅰ	2	2			
海洋生物資源科学演習Ⅱ	2	2			
海洋生物資源科学実習Ⅱ	2	2			
海洋基礎生物	2		2		
海洋基礎化学	2		2		
海洋基礎物理	2		2		
海洋基礎実習Ⅰ	1	1			
海洋基礎実習Ⅱ	1	1			
海洋生産学実験	1		1		
生物統計学	2		2		
海洋環境保全・修復学	2		2		
インターンシップ／学外研修	2		2		
遺伝育種学	2		2		

水族発生学	2		2		
水族生体防御学	2		2		
海洋環境化学	2		2		
漁業生産システム学	2	2			
行動生態学	2		2		
水族館論	2		2		
プランクトン学	2		2		
技術者の倫理入門	2		2		
小型船舶操縦法実習	1		1		
海洋生物資源科学実習Ⅰ	2	2			
分子生態学	2		2		
深海生物学	2		2		
潮間帯の生態学	2		2		
魚類繁殖行動学	2		2		
卒業研究	6	6			

Ⅷ　生物環境工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物環境調節工学	2	2		環境計画コース・生産管理コース・地域環境工学コース（基盤分野・環境分野）の3コースを置き	
図学	2		2		
土木材料	2		2	環境計画コースは	
環境空調工学	2		2	測量学Ⅱ	
地域環境保全学概論	2	2		測量学実習Ⅱ	
地域環境保全学各論	2		2	基礎水理学	
土環境学	2		2	応用水理学	
水環境工学実験	1		1	構造力学Ⅰ	
農地環境整備学	2		2	構造力学Ⅱ	
測量学Ⅰ	2	2		農地環境整備学	
測量学Ⅱ	2		2	地域環境水文学	
測量学実習Ⅰ	2	2		土環境学	
測量学実習Ⅱ	1		1	土質力学	
水資源環境工学	2	2		応用数学	
				数理情報科学	
				灌漑排水環境学	
				土木材料	
				の14科目27単位を必修とする。	
				地域環境工学コースの基盤分野では	
				図学	
				エコロジカルデザイン演習	

灌漑排水環境学	2		2	生物工学 地域環境水文学	
地域環境水文学	2		2	土環境学 測量学Ⅱ	
基礎水理学	2		2	測量学実習Ⅱ 環境化学	
応用水理学	2		2	大気環境科学 環境情報工学	
社会基盤施設工学概論	2	2		基礎水理学 応用水理学	
社会基盤施設工学各論	2		2	構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ	
土木施工	2		2	土質力学 応用数学	
土質力学	2		2	技術者の物理学 農地環境整備学	
土質・材料工学実験	1		1	数理情報科学 環境情報工学演習	
コンクリート工学	2		2	コンクリート工学 ベクトル解析	
農村整備計画学	2	2		灌漑排水環境学 水環境工学実験	
生物地域環境計画学	2		2	土環境工学実験 専門英語	
農業施設学	2	2		生物環境工学インターンシップ 土木設計製図	
農業施設環境学実験	1		1	社会基盤施設工学各論 土木材料	
農産物流通工学	2		2	土質・材料工学実験 技術者倫理	
生物工学	2		2	の32科目58単位を必修とする。	
建築計画学	2		2	地域環境工学コースの環境分野	
環境建築学	2		2	では	
建築構造学	2		2	図学	
構造力学Ⅰ	2		2	エコロジカルデザイン演習	
構造力学Ⅱ	2		2	生物工学	
建築施工	2		2	地域環境水文学	
建築法規	2		2	土環境学	
建築環境工学	2		2	測量学Ⅱ	
建築材料	2		2	測量学実習Ⅱ	
環境エネルギー工学	2		2	環境化学	
生物生産システム工学	2		2	大気環境科学	
生物生産システム工学実験	1		1	環境情報工学	
バイオメカトロニクス	2	2		基礎水理学	
機械工学	2		2	応用水理学	
生物資源プロセス工学	2		2	構造力学Ⅰ 構造力学Ⅱ	
				土質力学	
				応用数学	
				技術者の物理学	
				農地環境整備学	
				数理情報科学	
				環境情報工学演習	

ポストハーベスト工学	2		2	建築設計製図Ⅰ 環境建築学	
建築設計製図Ⅱ	2		2	ベクトル解析 灌漑排水環境学	
建築設計製図Ⅲ	1		1	水環境工学実験 土環境工学実験	
生物生産原論	2	2		専門英語 生物環境工学インターンシップ	
環境情報工学	2		2	地域環境保全学各論 生物地域環境計画学	
環境情報工学演習	1		1	技術者倫理 地域環境GIS演習	
電気・電子工学	2		2	の32科目58単位を必修とする。	
応用数学	2		2		
ベクトル解析	2		2		
数理情報科学	2		2		
バイオマスエネルギー工学	2		2		
大気環境科学	2		2		
動物生態・共生学	2		2		
基礎生態学	2	2			
エコロジカルデザイン演習	1		1		
生物環境工学インターンシップ	2		2		
CAD製図	1		1		
専門英語	2		2		
技術者倫理	2		2		
環境化学	2		2		
技術者の物理学	2		2		
地域環境GIS演習	1		1		
フレッシュマンセミナー	1	1			
建築文化史	2		2		
建築設計製図Ⅰ	2		2		
木造建築構法	2		2		
都市計画	2		2		
建築総合設計製図	1		1		
生物環境工学演習Ⅰ	1	1			
生物環境工学演習Ⅱ	1	1			
土環境工学実験	1		1		
土木設計製図	2		2		
機械設計製図	2		2		

生物環境工学特別講義	2		2		
公害防止管理論	2		2		
海外研修	2		2		
野生動物フィールド実習	1		1		
フィールドワーク論	2		2		
食料機械工学	2		2		
バイオメカトロニクス実習	1		1		
リモートセンシング実習	1		1		
卒業研究	6	6			

Ⅸ　食品生命学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎物理化学	2	2			
有機化学入門	2		2		
基礎有機化学	2	2			
生物化学入門	2		2		
基礎生物化学	2	2			
食品生命学入門	2		2		
食品学	2	2			
食品化学	2	2			
食品化学･分析学実験	1	1			
食品界面科学	2		2		
食品物性学	2		2		
食品衛生学	2	2			
食品疾病予防学	2		2		
食品衛生学･微生物学実験	3	3			
食品分析学	2	2			
機器分析学	2		2		
食品製造学	2	2			
応用微生物学	2	2			
食品製造学実験	2	2			
食品機能化学	2	2			

食品免疫学	2		2			
食品生物化学･工学実験	3	3				
植物性食品原料学	2		2			
動物性食品原料学	2		2			
食品保蔵学	2		2			
食品化学工学	2	2				
食品生産プロセス論	2		2			
化学工学概論	2		2			
食品工学	2	2				
生物化学工学	2		2			
食品環境化学	2		2			
公衆衛生学	2		2			
食品微生物学	2	2				
食品行政	2		2			
食品栄養化学	2	2				
分子栄養学	2	2				
品質管理論	2		2			
実験統計学	2		2			
バイオテクノロジー概論	2		2			
食品添加物論	2		2			
おいしさの科学	2		2			
食品安全学総論	2	2				
食品成分化学	2		2			
健康と食品	2		2			
発酵醸造学	2		2			
動物性食品製造学	2		2			
総合食品開発講座	2		2			
物理化学入門	2		2			
スポーツ食品科学	2		2			
調理科学	2		2			
分子細胞生物学	2	2				
臨床食品科学	2		2			

食品製造実習	1	1			
基礎食品製造実習Ⅰ	1		1		
食品生命学インターンシップ	1		1		
食品科学英語	2		2		
食文化史	2		2		
技術者倫理	2		2		
植物性食品製造学	2		2		
食品生命学	2	2			
基礎分析化学	2		2		
香りの科学	2		2		
容器包装科学	2		2		
食とアレルギー	2		2		
食品衛生監視員養成講座	2		2		
食品機能解析論	2		2		
基礎食品製造実習Ⅱ	1		1		
基礎食品製造実習Ⅲ	1		1		
卒業研究	6	6			

Ｘ　国際地域開発学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際地域開発学入門	2	2		農業・農村開発コースとグローバルビジネスコースを置き，農業・農村開発コースは，農業技術実習，社会調査法を必修とする。 グローバルビジネスコースは，経済・環境情報処理実習，ファイナンス入門を必修とする。 また，開発課題プログラム，農業分野 熱帯園芸学 農業技術の開発と普及 資源作物学実験 農業生態学 作物と食の文化 熱帯生物資源論 農業フィールドワーク 開発課題プログラム，環境分野 環境農学	
環境生態学	2	2			
アジア経済論	2		2		
国際農業開発論	2		2		
グローバルビジネス論	2	2			
国際協力論	2	2			
国際キャリアデザイン	2	2			
熱帯農業論	2		2		
農業経営学	2		2		
スタディ・スキルズA	2	2			
地域研究	2		2		
経済学の基礎	2	2			

アグリビジネス論	2		2	水と土の保全学	
農産物流通論	2		2	環境保全工学実験・実習 環境農学実験	
ファイナンス入門	2		2	地域環境保全工学 環境経済学	
アカウンティング論	2		2	環境情報利用学 開発課題プログラム，アグリビ	
コンピュータリテラシー	2		2	ジネス分野 アカウンティング論	
経済・環境情報処理実習	2		2	農業経済学 農業経営学	
農業生態学	2		2	アグリビジネス論 農村社会学	
環境農学	2		2	農産物流通論 開発課題プログラム，貧困削減	
環境農学実験	1		1	分野 開発プランニング論	
熱帯資源作物学	2	2		アジア経済論 アフリカ経済論	
熱帯生物資源論	2		2	ラテンアメリカ経済論 国際農業開発論	
熱帯園芸学	2		2	参加型評価手法（PCM） 熱帯農業論	
農業フィールドワーク	2		2	開発課題プログラム，共生分野 外国語（スペイン語，中国語ま	
アフリカ経済論	2		2	たはインドネシア語）中級A 外国語（スペイン語，中国語ま	
文化地理学	2		2	たはインドネシア語）中級B 外国語（スペイン語，中国語ま	
参加型評価手法（PCM）	2		2	たはインドネシア語）コミュ ニケーションⅡA	
開発プランニング論	2		2	外国語（スペイン語，中国語ま たはインドネシア語）コミュ	
地域環境保全工学	2		2	ニケーションⅡB 文化地理学	
農業技術の開発と普及	2		2	多文化教育論 エコツーリズム論	
社会調査法	2		2	外国語（スペイン語，中国語ま たはインドネシア語）コミュ	
国際関係論	2		2	ニケーションⅢA 外国語（スペイン語，中国語ま	
農村社会学基礎	2	2		たはインドネシア語）コミュ ニケーションⅢB	
エコツーリズム論	2		2	英語インテンシブプログラム分	
農村社会学	2		2	野 TOEIC対策総合英語ⅠA	
多文化教育論	2		2	TOEIC対策総合英語ⅠB 英語コミュニケーションⅡA	
開発課題研究	2		2	英語コミュニケーションⅡB TOEIC対策総合英語ⅡA	
国際地域開発演習ⅠA	1		1	TOEIC対策総合英語ⅡB 英語コミュニケーションⅢA	
国際地域開発演習ⅡA	1		1	英語コミュニケーションⅢB 英語コミュニケーションⅣA	
英語コミュニケーションⅠ	2	2		英語コミュニケーションⅣB	
英語コミュニケーションⅡA	1		1		
英語コミュニケーションⅡB	1		1		
英語コミュニケーションⅢA	1		1		

英語コミュニケーションⅢB	1		1	のうちから1分野8単位以上修得しなければならない。	
英語コミュニケーションⅣA	1		1		
英語コミュニケーションⅣB	1		1		
スペイン語基礎	2	2			
スペイン語コミュニケーションⅠ	2	2			
スペイン語中級A	1		1		
スペイン語中級B	1		1		
スペイン語コミュニケーションⅡA	1		1		
スペイン語コミュニケーションⅡB	1		1		
スペイン語コミュニケーションⅢA	1		1		
スペイン語コミュニケーションⅢB	1		1		
インドネシア語基礎	2	2			
インドネシア語コミュニケーションⅠ	2	2			
インドネシア語中級A	1		1		
インドネシア語中級B	1		1	いずれか一か国語を選択履修すること。	
インドネシア語コミュニケーションⅡA	1		1		
インドネシア語コミュニケーションⅡB	1		1		
インドネシア語コミュニケーションⅢA	1		1		
インドネシア語コミュニケーションⅢB	1		1		
中国語基礎	2	2			
中国語コミュニケーションⅠ	2	2			
中国語中級A	1		1		
中国語中級B	1		1		
中国語コミュニケーションⅡA	1		1		
中国語コミュニケーションⅡB	1		1		
中国語コミュニケーションⅢA	1		1		
中国語コミュニケーションⅢB	1		1		
専門外書講読	2		2		
環境経済学	2		2		
時事英語A	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅠA	1		1		

水と土の保全学	2		2		
作物と食の文化	2		2		
環境情報利用学	2		2		
資源作物学実験	1		1		
環境保全工学実験・実習	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅡA	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅢA	1		1		
国際地域開発フイールドワークⅣA	1		1		
国際地域開発インターンシップA	1		1		
国際地域開発キャリア研究	2	2			
スタディ・スキルズB	2	2			
国際地域開発フィールドワークⅠB	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅡB	1		1		
国際地域開発演習ⅠB	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅢB	1		1		
国際地域開発インターンシップB	1		1		
国際地域開発演習ⅡB	1		1		
国際地域開発フィールドワークⅣB	1		1		
経営学の基礎	2	2			
時事英語B	1		1		
農業・農村協力研修	2		2		
アグリビジネス研修	2		2		
農業技術実習	2		2		
農業経済学	2		2		
ラテンアメリカ経済論	2		2		
TOEIC対策総合英語ⅠA	1		1		
TOEIC対策総合英語ⅠB	1		1		
TOEIC対策総合英語ⅡA	2		2		
TOEIC対策総合英語ⅡB	2		2		
卒業研究	6	6			

ＸＩ　応用生物科学科					
授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用生物科学トピックス	4	4		免疫生物学 細胞組織形態学 発生再生生物学 発生工学 神経生物学 のうちから2科目4単位 植物機能化学 植物バイオテクノロジー 植物分子生物学 植物環境科学 のうちから2科目4単位 産業微生物学 微生物生態学 微生物バイオテクノロジー 微生物遺伝学 のうちから2科目4単位を選択必修とする。	
基礎遺伝学	2	2			
生物有機化学	2	2			
生物化学入門	2	2			
応用生物科学実験Ⅲ	4	4			
基礎細胞生物学	2	2			
代謝生化学	2	2			
機器分析学	2		2		
植物機能化学	2		2		
応用生物科学実験Ⅳ	4	4			
応用生物科学実験Ⅰ	4	4			
酵素科学	2	2			
免疫生物学	2		2		
核酸・蛋白質概論	2	2			
分子生物学	2	2			
ゲノムダイナミックス	2	2			
生命情報科学	2	2			
微生物生理学	2	2			
応用生物科学実験Ⅱ	4	4			
微生物生態学	2		2		
微生物学概論	2	2			
システム生物学	2		2		
環境バイオテクノロジー	2		2		
植物バイオテクノロジー	2		2		
植物生理学	2	2			
動物生命科学概論	2	2			
細胞シグナル伝達	2	2			
動物生理学	2	2			
発生工学	2		2		

微生物バイオテクノロジー	2		2		
実験動物学	2		2		
応用微生物学	2	2			
植物環境科学	2		2		
生物統計学	2		2		
ゼミナール	2	2			
特別講義Ⅰ	2		2		
特別講義Ⅱ	2		2		
産業微生物学	2		2		
共生生物学	2		2		
生化学・分子生物学実験法	2	2			
食品衛生学	2		2		
細胞組織形態学	2		2		
酵素工学	2		2		
微生物遺伝学	2		2		
植物科学概論	2	2			
分子細胞機能学	2		2		
バイオメディカルサイエンス	2		2		
ケミカルバイオロジー	2		2		
神経生物学	2		2		
発生再生生物学	2		2		
植物分子生物学	2		2		
応用生物科学演習	2	2			
環境衛生学	2		2		
食品機器分析学実験	1		1		
卒業研究	6	6			

ⅩⅡ　くらしの生物学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
くらしの生物学概論	2	2			

植物生理生態学	2	2				
くらしの動物学	2	2				
フレッシュマンセミナー	1	1				
緑地環境学	2	2				
基礎栽培学	2	2				
生物有機化学	2	2				
微生物学	2	2				
分子生物学	2	2				
食品栄養科学	2	2				
生き物	2	2				
くらしの科学実験	1	1				
くらしの科学実習	1	1				
細胞生物学	2		2			
食と健康科学	2		2			
野菜果樹栽培学	2		2			
生き物飼育論	2		2			
動物科学	2		2			
くらしの環境デザイン論	2		2			
園芸学実験・実習	1		1			
発酵科学	2		2			
くらしのバイオテクノロジー	2		2			
食品保存･安全管理学	2		2			
家庭園芸論	2		2			
植物組織細胞培養学	2		2			
まちづくり学	2		2			
応用魚類飼育学	2		2			
応用昆虫飼育学	2		2			
環境緑化実験・実習	1		1			
食品科学実験	1		1			
生き物倫理	2	2				
保全生物学	2		2			
伝統食品論	2		2			

都市農業論	2		2		
機能性農作物論	2		2		
公園緑地利用学	2		2		
ビオトープ管理学	2		2		
愛玩動物飼料学	2		2		
バイオサイエンス実験	1		1		
微生物学実験	1		1		
動物飼育学実験・実習	1		1		
環境修復生物学	2		2		
社会園芸学	2		2		
フラワーデザイン論	2		2		
里地里山学	2		2		
機器分析学	2		2		
公衆衛生学	2		2		
インターンシップ	1		1		
ボランティア活動	1	1			
ゼミナール	2	2			
卒業研究	6	6			

5　教職課程科目

Ⅰ　生命農学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		

地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		
［農業］					
職業指導	4		4		

Ⅱ　生命化学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		
［農業］					
職業指導	4		4		

Ⅲ　獣医学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		

化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅳ　動物資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		
［農業］					
職業指導	4		4		

Ⅴ　食品ビジネス学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［社会・公民］					
日本史概説	2		2		
世界史概説Ⅰ	2		2		
世界史概説Ⅱ	2		2		

地理学概論Ⅰ	2		2		
地理学概論Ⅱ	2		2		
法律学概論（国際法を含む）	2		2		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		
［農業］					
職業指導	4		4		

Ⅵ　森林資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		
［農業］					
職業指導	4		4		

Ⅶ　海洋生物資源科学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		
［水産］					
職業指導	4		4		

Ⅷ　生物環境工学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅸ　食品生命学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［理科］					
物理学概論Ⅰ	2		2		
物理学概論Ⅱ	2		2		
物理学実験	2		2		
化学概論Ⅰ	2		2		
化学概論Ⅱ	2		2		
化学実験	2		2		
生物学概論Ⅰ	2		2		
生物学概論Ⅱ	2		2		
生物学実験	2		2		
地学概論Ⅰ	2		2		
地学概論Ⅱ	2		2		
地学実験	2		2		

Ⅹ　国際地域開発学科

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
［社会・公民］					
日本史概説	2		2		
世界史概説Ⅰ	2		2		
世界史概説Ⅱ	2		2		
地理学概論Ⅰ	2		2		
地理学概論Ⅱ	2		2		
法律学概論（国際法を含む）	2		2		
社会学概論Ⅰ	2		2		
社会学概論Ⅱ	2		2		
倫理学概論Ⅰ	2		2		
倫理学概論Ⅱ	2		2		
宗教社会学Ⅰ	2		2		
宗教社会学Ⅱ	2		2		

［農業］					
職　業　指　導	4		4		

ＸＩ　応用生物科学科

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
［理科］					
物 理 学 概 論 Ⅰ	2		2		
物 理 学 概 論 Ⅱ	2		2		
物 理 学 実 験	2		2		
化 学 概 論 Ⅰ	2		2		
化 学 概 論 Ⅱ	2		2		
化 学 実 験	2		2		
生 物 学 概 論 Ⅰ	2		2		
生 物 学 概 論 Ⅱ	2		2		
生 物 学 実 験	2		2		
地 学 概 論 Ⅰ	2		2		
地 学 概 論 Ⅱ	2		2		
地 学 実 験	2		2		

6　学芸員課程科目

各学科設置の専門教育科目の他に許可を得て次の科目を修得することができる。

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
博 物 館 概 論	2	2			
博 物 館 教 育 論	2	2			
生 涯 学 習 概 論	2	2			
博物館情報･メディア論	2	2			
博 物 館 実 習 Ⅰ	1	1			
博 物 館 実 習 Ⅱ	2	2			
博 物 館 経 営 論	2	2			
博 物 館 資 料 論	2	2			
博物館資料保存論	2	2			
博 物 館 展 示 論	2	2			

第16節　薬学部

第95条　薬学部薬学科における授業科目及びその単位数並びに履修方法は，次のとおりである。卒業に必要な総単位数は，科目区分ごとに履修方法に定める単位数を含め，総計187単位以上を修得しなければならない。

1　全学共通教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自主創造の基礎	2	2		必修単位数2単位を修得しなければならない。	
日本を考える	2		2		

2　総合教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎生物学	1	1		必修単位数17単位を修得しなければならない。	
基礎化学	1	1			
基礎物理学	1	1			
基礎数学	1	1			
情報リテラシー	1	1			
物理学	2	2			
微分・積分とその応用	2	2			
法学入門	2	2			
心の探求	2	2			
医療倫理	2	2			
医療と法	2	2			

3　外国語科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英語Ⅰ	1		1	英語Ⅰ～Ⅴ及び英語会話Ⅰ～Ⅳから8単位以上，ドイツ語Ⅰ・Ⅱ，中国語Ⅰ・Ⅱ及び韓国語Ⅰ・Ⅱから2単位以上を含めて合計10単位以上を修得しなければならない。	
英語Ⅱ	1		1		
英語Ⅲ	1		1		
英語Ⅳ	1		1		
英語Ⅴ	1		1		
英語会話Ⅰ	1		1		
英語会話Ⅱ	1		1		
英語会話Ⅲ	1		1		

英語会話Ⅳ	1		1		
ドイツ語Ⅰ	1		1		
ドイツ語Ⅱ	1		1		
中国語Ⅰ	1		1		
中国語Ⅱ	1		1		
韓国語Ⅰ	1		1		
韓国語Ⅱ	1		1		

4　保健体育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
健康体力論Ⅰ	1		1	健康体力論Ⅰ・Ⅱから1単位以上,スポーツ科学実技Ⅰ～Ⅲから1単位以上を含めて合計2単位以上を修得しなければならない。	
健康体力論Ⅱ	1		1		
スポーツ科学実技Ⅰ	1		1		
スポーツ科学実技Ⅱ	1		1		
スポーツ科学実技Ⅲ	1		1		

5　薬学教育科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
薬学教育A				薬学教育Aから必修単位数148単位,薬学教育Bから必修単位数4単位，選択単位数4単位以上を含めて合計156単位以上を修得しなければならない。	
基礎薬学実習	1	1			
早期臨床体験	1	1			
病気とくすり	2	2			
ヒューマンコミュニケーション	1	1			
薬品物理化学Ⅰ	2	2			
薬品物理化学Ⅱ	2	2			
化学Ⅰ	1	1			
化学Ⅱ	2	2			
薬用植物学	1	1			
細胞生物学Ⅰ	2	2			
細胞生物学Ⅱ	2	2			
機能形態学	2	2			
創薬化学系実習Ⅰ	1	1			
創薬化学系実習Ⅱ	1	1			
創薬化学系実習Ⅲ	1	1			

生物系薬学実習Ⅰ	1	1				
生物系薬学実習Ⅱ	1	1				
薬学と社会Ⅰ	2	2				
薬学と社会Ⅱ	2	2				
薬品分析化学	2	2				
有機化学Ⅰ	2	2				
有機化学Ⅱ	2	2				
有機化学Ⅲ	2	2				
生薬学	2	2				
微生物と疾病	2	2				
生化学	2	2				
分子生物学	2	2				
生理活性分子とシグナル伝達	2	2				
食品安全学	2	2				
薬の効くプロセス	2	2				
疾患と薬物治療Ⅰ	2	2				
疾患と薬物治療Ⅱ	2	2				
疾患と薬物治療Ⅲ	2	2				
疾患と薬物治療Ⅳ	2	2				
疾患と薬物治療Ⅴ	2	2				
衛生薬学実習	1	1				
薬理学実習	1	1				
放射科学	1	1				
臨床分析化学	2	2				
分子構造解析	1	1				
天然医薬品化学	1	1				
医薬品化学	2	2				
免疫	2	2				
環境毒性学	2	2				
生物薬剤学	2	2				
製剤学	2	2				
臨床薬理学	2	2				
医薬品情報学	2	2				
生物統計の基礎と応用	2	2				

漢方医薬学概論	1	1				
薬物動態学・製剤学実習	1	1				
プレ実務実習Ⅰ	1	1				
プレ実務実習Ⅱ	2	2				
生物有機化学	2	2				
健康・環境衛生学	2	2				
感染症と悪性腫瘍	2	2				
ＥＢＭと薬物治療	2	2				
一般用医薬品学	1	1				
薬物動態学	2	2				
実務事前学習Ⅰ	2	2				
実務事前学習Ⅱ	2	2				
実務事前学習Ⅲ	2	2				
実務事前学習Ⅳ	1	1				
分野別統合講義Ⅰ	1	1				
分野別統合講義Ⅱ	1	1				
分野別統合講義Ⅲ	1	1				
分野別統合講義Ⅳ	1	1				
薬学実務実習	20	20				
基礎薬学総合演習講義	1	1				
卒業研究	10	10				
実務薬学総論	2	2				
総合講義	5	5				
薬学教育Ｂ						
特色教育入門Ⅰ（特色Ⅰ～Ⅲ）	2	2				
特色教育入門Ⅱ（特色Ⅰ～Ⅲ）	1	1				
チーム医療入門（特色Ⅰ）	1		1			
健康科学概論（特色Ⅱ）	1		1			
医療経済学（特色Ⅲ）	1		1			
症例検討（特色Ⅰ）	1		1			
地域と薬剤師（特色Ⅱ）	1		1			
医療情報学（特色Ⅲ）	1		1			
高齢者医療概論（特色Ⅰ～Ⅲ）	1	1				

医薬品評価と安全性監視（特色Ⅰ）	1		1		
健康リスク評価概論（特色Ⅱ）	1		1		
経営戦略論（特色Ⅲ）	1		1		
緩和医療（特色Ⅰ）	1		1		
実践感染対策と栄養サポート(特色Ⅰ)	1		1		
急性期医療と薬学的管理（特色Ⅰ）	1		1		
バイオ･先端医療(特色Ⅰ)	1		1		
応用薬剤学（特色Ⅰ）	1		1		
医薬分子化学（特色Ⅰ）	1		1		
生活習慣病と保健薬学（特色Ⅱ）	1		1		
香粧品科学（特色Ⅱ）	1		1		
簡易検査学（特色Ⅱ）	1		1		
漢方医学（特色Ⅱ）	1		1		
薬局経営学（特色Ⅲ）	1		1		
薬剤経済学（特色Ⅲ）	1		1		
医薬品マーケティング（特色Ⅲ）	1		1		
薬学教育Ｃ					
英語検定Ⅰ	1		1		
英語検定Ⅱ	1		1		
海外語学研修Ⅰ	1		1		
海外語学研修Ⅱ	1		1		
特別講義Ⅰ	2		2		
特別講義Ⅱ	2		2		
特別講義Ⅲ	2		2		
特別講義Ⅳ	2		2		
特別講義Ⅴ	2		2		
特別講義Ⅵ	2		2		
キャリアデザインⅠ	1		1		
キャリアデザインⅡ	1		1		
分野別演習講義Ⅰ	1		1		
分野別演習講義Ⅱ	1		1		
分野別演習講義Ⅲ	1		1		
分野別演習講義Ⅳ	1		1		

第95条の２（削除）

第96条（削除）

第97条（削除）

第98条（削除）

第99条（削除）

第100条（削除）

第101条（削除）

第102条（削除）

第103条（削除）

第３章　大 学 院

第１節　総　則

第104条　本大学に，大学院を置く。

２　大学院は，高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し，その深奥を究めて，文化の進展に寄与することを目的とする。

第105条　本大学院の課程は，修士課程，博士課程及び専門職学位課程とする。

２　修士課程は，広い視野に立って精深な学識を授け，専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。

３　博士課程は，専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い，又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

４　専門職学位課程は，高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とする。

５　本大学院の専門職学位課程に，法科大学院を置き，その目的は，専ら法曹養成のための教育を行うこととする。

６　修士課程の標準修業年限は，２年とする。

７　前項の規定にかかわらず，主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であって，教育研究上の必要があり，かつ，昼間と併せて夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育上支障を生じないときは，研究科，専攻又は学生の履修上の区分に応じ，標準修業年限を１年とする。

８　前項に該当する研究科，専攻又は学生の履修上の区分は次のとおりとする。

法学研究科政治学専攻１年コース

国際関係研究科国際関係研究専攻１年コース

９　博士課程の標準修業年限は，５年（医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科は４年）とする。

10　博士課程は，前期２年及び後期３年の課程に区分し，前期２年の課程はこれを修士課程として取り扱う。医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科の博士課程については前期及び後期の区分をしない。

11　法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の標準修業年限は，３年とする。

12　第６項，第７項，第９項及び第11項の規定にかかわらず，学生が職業を有している等の事情により，標準修業年限を超えて第106条第14項に規定する在学年限の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは，その計画的な履修を認めることができる。

13　第117条第６項の規定により，本大学院に入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第１項の規定により入学資格を得た後に，修得した単位に限る。）を本大学院において修得したものとみなす場合であって，当該単位の修得により，本大学院の修士課程又は博士課程（前期及び後期の課程に区分する博士課程における後期の課程を除く）の教育課程の一部を履修したと認めるときは，当該単位数，その修得に要した期間その他を勘案して，１年を超えない範囲で当該学生の在学期間を短縮することができる。ただし，当該課程の在学期間を１年未満に短縮することはできないものとする。

第106条　修士課程は，所定の年限在学し，専攻科目について30単位以上を修得，必要な研究指導を受け，更に修士論文の審査（芸術学研究科，理工学研究科建築学専攻及び生産工学研究科建築工学専攻に限り，特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる）及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。ただし，優れた業績を上げた者については，１年以上在学すれば足りるものとする。

２　修士の学位に付記する専攻分野の名称は，次のとおりである。ただし，学術の専攻分野の名称は，学際領域等専門別に区分しがたい分野を専攻した者について授与する。

研究科名	専攻名	専攻分野の名称
法学研究科	公法学専攻 私法学専攻	法学
	政治学専攻	政治学
新聞学研究科	新聞学専攻	新聞学
	哲学専攻 史学専攻 国文学専攻 中国学専攻	文学

文学研究科	英文学専攻 ドイツ文学専攻 人文地理学専攻	
	社会学専攻	社会学
	教育学専攻	教育学
	心理学専攻	心理学
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻 相関理化学専攻	理学
経済学研究科	経済学専攻	経済学
商学研究科	商学専攻 経営学専攻 会計学専攻	商学
芸術学研究科	文芸学専攻 映像芸術専攻 造形芸術専攻 音楽芸術専攻 舞台芸術専攻	芸術学
国際関係研究科	国際関係研究専攻	国際学
危機管理学研究科	危機管理学専攻	危機管理学
スポーツ科学研究科	スポーツ科学専攻	スポーツ科学
理工学研究科	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻 まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻	工学
	物理学専攻	

	数学専攻 地理学専攻	理学
	情報科学専攻 物質応用化学専攻	工学又は理学
	量子理工学専攻	理学又は工学
生産工学研究科	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻	工学
工学研究科	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻	工学
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	生物資源科学
総合社会情報研究科	国際情報専攻	国際情報
	文化情報専攻	文化情報
	人間科学専攻	人間科学
全研究科		学術

3　博士課程は，所定の年限在学し，専攻科目について30単位以上（修士課程を修了した者については，その修得単位を含む）を修得，必要な研究指導を受け，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし，優れた業績を上げた者については，大学院に３年（修士課程に２年以上在学し当該課程を修了

した者にあっては，当該課程における２年の在学期間を含む。また，第１項ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者及び第105条第７項及び第８項の規定による標準修業年限を１年とした修士課程を修了した者にあっては，修士課程における１年の在学期間を含む）以上在学すれば足りるものとする。

４　前項の規定にかかわらず，総合基礎科学研究科における修得すべき単位数は，32単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），文学研究科における修得すべき単位数は，34単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），生産工学研究科における修得すべき単位数は，35単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した33単位を含む），経済学研究科における修得すべき単位数は，36単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），商学研究科における修得すべき単位数は，40単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した32単位を含む），芸術学研究科及び理工学研究科における修得すべき単位数は，40単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），新聞学研究科及び総合社会情報研究科における修得すべき単位数は42単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），国際関係研究科における修得すべき単位数は，44単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した32単位を含む），工学研究科における修得すべき単位数は，44単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む），生物資源科学研究科における修得すべき単位数は47単位以上（修士課程を修了した者については，当該課程で修得した30単位を含む）とする。

５　前２項の規定にかかわらず，第116条第３項第２号から第８号までの規定により，博士課程の後期３年の課程に入学した者又は専門職学位課程を修了し，博士課程の後期３年の課程に入学した者については，大学院（専門職大学院を除く）に３年（法科大学院の課程を修了した者にあっては，２年）以上在学し（総合基礎科学研究科及び生産工学研究科においては２単位以上，文学研究科においては４単位以上，経済学研究科においては６単位以上，商学研究科においては８単位以上，芸術学研究科及び理工学研究科においては10単位以上，新聞学研究科，国際関係研究科及び総合社会情報研究科においては12単位以上，工学研究科においては14単位以上，生物資源科学研究科においては17単位以上を当該課程で専攻科目について修得し），必要な研究指導を受け，博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与

する。ただし，優れた業績を上げた者については，大学院に１年（標準修業年限が１年以上２年未満の専門職学位課程を修了した者にあっては，３年から当該１年以上２年未満の期間を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。

６　博士の学位に付記する専攻分野の名称は，次のとおりである。ただし，学術の専攻分野の名称は，学際領域等専門別に区分しがたい分野を専攻した者について授与する。

研究科名	専攻名	専攻分野の名称
法学研究科	公法学専攻 私法学専攻	法学
	政治学専攻	政治学
新聞学研究科	新聞学専攻	新聞学
文学研究科	哲学専攻 日本史専攻 外国史専攻 国文学専攻 中国学専攻 英文学専攻 ドイツ文学専攻	文学
	社会学専攻	社会学
	教育学専攻	教育学
	心理学専攻	心理学
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻 相関理化学専攻	理学
経済学研究科	経済学専攻	経済学
商学研究科	商学専攻 経営学専攻 会計学専攻	商学
芸術学研究科	芸術専攻	芸術学
国際関係研究科	国際関係研究専攻	国際関係
	土木工学専攻 交通システム工学専攻	

理工学研究科	建築学専攻 海洋建築工学専攻 まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻	工学
	物理学専攻 数学専攻 地理学専攻	理学
	情報科学専攻 物質応用化学専攻	工学又は理学
	量子理工学専攻	理学又は工学
生産工学研究科	機械工学専攻 電気電子工学専攻 土木工学専攻 建築工学専攻 応用分子化学専攻 マネジメント工学専攻 数理情報工学専攻	工学
工学研究科	土木工学専攻 建築学専攻 機械工学専攻 電気電子工学専攻 生命応用化学専攻 情報工学専攻	工学
医学研究科	生理系 病理系 社会医学系 内科系 外科系	医学

歯学研究科	歯学専攻	歯学
松戸歯学研究科	歯学専攻	歯学
生物資源科学研究科	生物資源生産科学専攻 生物資源利用科学専攻 応用生命科学専攻 生物環境科学専攻 生物資源経済学専攻	生物資源科学
獣医学研究科	獣医学専攻	獣医学
薬学研究科	薬学専攻	薬学
総合社会情報研究科	総合社会情報専攻	総合社会文化
全研究科		学術

7　博士課程に標準修業年限在学し，所定の単位だけを修得して，課程を修了しない者が，引き続き学生として在学する場合は，第14項に定める在学年限の範囲内において，当該大学院分科委員会の許可を受けなければならない。

8　法務研究科専門職学位課程（法科大学院）は，所定の年限在学し，専攻科目について所定の単位を修得し，研究科が別に定める要件を満たした者に専門職学位の学位を授与する。

9　前項の規定にかかわらず，第117条第６項の規定により法務研究科専門職学位課程（法科大学院）に入学する前に修得した単位（学校教育法第102条第１項の規定により入学資格を有した後，修得したものに限る）を法務研究科専門職学位課程（法科大学院）において修得したものとみなす場合であって，当該単位の修得により法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の教育課程の一部を履修したと認めるときは，当該単位数，その履修に要した期間その他を勘案し，１年を超えない範囲で法務研究科専門職学位課程（法科大学院）に在学したものとみなすことができる。

10　第８項の規定にかかわらず，法務研究科専門職学位課程（法科大学院）において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認めるもの（以下「法学既修者」という）に関しては，在学期間については１年を超えない範囲で在学し，単位については専門職大学院設置基準第25条に規定された範囲で修得したとみなすことができる。なお，単位の取扱いについては別に定める。

11　前項の規定により，法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間

は，第９項の規定により在学したとみなす期間と合わせて１年を超えないものとする。

12　第10項の規定により，法学既修者について修得したものとみなすことのできる単位数（専門職大学院設置基準第25条第１項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）は，第117条第８項の規定により修了するために必要な単位数に算入することのできる単位数と合わせて30単位（認定連携法曹基礎課程を修了した者又はこれらの者と同等の学識を有すると認めた者については46単位）（専門職大学院設置基準第21条第１項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）を超えないものとする。

13　専門職学位課程の授与する専門職学位は，次のとおりである。

研　究　科　名	専　　攻　　名	専 門 職 学 位
法　務　研　究　科	法　　務　　専　　攻	法 務 博 士（専門職）

14　大学院における在学年限は，修士課程４年（第105条第７項及び第８項の規定による標準修業年限を１年とした修士課程にあっては２年），博士後期課程６年とする。ただし，医学研究科・歯学研究科・松戸歯学研究科・獣医学研究科及び薬学研究科の在学年限は８年とする。また，法務研究科専門職学位課程（法科大学院）は６年（第106条第10項の規定が適用される法学既修者は４年）とする。

第107条　本章に規定しない事項については，第１章総則による。

第２節　教員及び運営機構

第108条　本大学院の授業及び指導は，大学院教員資格に該当する本大学の教授がこれを行う。ただし，このうち特別の事情がある場合には，准教授，講師又は助教がこれを担当することができる。

第109条　本大学院の学事管理のため，大学院委員会を置く。

２　大学院委員会は，研究科長をもって組織し，各研究科に共通の重要事項の審議に当たる。

３　大学院委員会は，学長が招集し，その議長となる。

第110条　各研究科に分科委員会を置く。

２　分科委員会は，その科の授業科目を担当する専任教員をもって組織する。

第111条　分科委員会は，研究科長が招集し，その議長となる。

第112条　分科委員会は，総会員の半数以上の出席によって成立する。

第113条　分科委員会は，次の事項を審議し，学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

①　学生の入学及び課程の修了に関すること。

②　学位論文の審査及び学位の授与に関すること。

③　前２号に掲げる事項のほか，教育研究に関する重要な事項で，分科委員会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

２　前項第３号の事項については，別に定める「学長裁定」による。

３　分科委員会は，第１項に規定するもののほか，学長及び研究科長がつかさどる教育研究に関する事項について教育研究上の専門的な観点から審議し，並びに学長及び研究科長の求めに応じ，意見を述べることができる。なお，本大学の諸規程において分科委員会が審議することと定められている事項については，分科委員会はこれを審議し，意見を述べなければならない。

４　分科委員会の意見を集約する必要がある場合は，出席者の過半数によるものとする。

第114条　分科委員会における審議とは，論議・検討することを意味し，決定権を含意するものではない。

第115条　大学院の学務は，学長が総轄し，各研究科の学務は，各研究科長がこれを管掌する。

２　研究科長は，当該学部長がこれに当たる。

３　前項の規定にかかわらず，総合社会情報研究科，法務研究科専門職学位課程（法科大学院）の研究科長については，次の各号のとおりとする。

①　総合社会情報研究科については，学長又は当該研究科の教授のうちから学長が任命する者がこれに当たる。

②　法務研究科専門職学位課程（法科大学院）については，当該研究科の教授のうちから学長が任命する者がこれに当たる。ただし，当該研究科の運営上特に必要と大学が認めた場合には，学長又は当該関連学部の学部長がこれに当たることができる。

第３節　入学及び入学資格

第116条　修士課程及び専門職学位課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有し，本大学院の選抜試験に合格した者とする。

①　大学を卒業した者

② 学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者
③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
⑤ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
⑥ 外国の大学等において，修業年限が３年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者
⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
⑧ 文部科学大臣の指定した者
⑨ 学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
⑩ 本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，22歳に達したもの

2 前項の規定にかかわらず，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり，かつ，本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。

3 博士後期課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有し，本大学院の選抜試験に合格した者とする。
① 修士の学位若しくは専門職学位を有する者
② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
④ 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された

者

⑤　国際連合大学の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者

⑥　外国の学校，第４号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し，修士論文又は特定課題の研究成果の審査と試験の合格に代える審査に相当するものに合格し，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

⑦　文部科学大臣の指定した者

⑧　本大学院において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

４　医学研究科・歯学研究科及び松戸歯学研究科博士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有し，本大学院の選抜試験に合格した者とする。

①　大学医学部又は医科大学を卒業した者

②　大学歯学部又は歯科大学を卒業した者

③　大学における修業年限６年の獣医学又は薬学を履修する課程を卒業した者

④　外国において学校教育における18年の課程を修了した者

⑤　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者

⑥　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑦　外国の大学等において，修業年限が５年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑧　文部科学大臣の指定した者

⑨　学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑩　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

５　前項の規定にかかわらず，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり，かつ，本大学院の選抜試験に合格

した者を入学させることができる。

6　獣医学研究科博士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有し，本大学院の選抜試験に合格した者とする。

①　大学における修業年限６年の獣医学を履修する課程を卒業した者

②　大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者

③　外国において学校教育における18年の課程を修了した者

④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者

⑤　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑥　外国の大学等において，修業年限が５年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦　文部科学大臣の指定した者

⑧　学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑨　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

7　前項の規定にかかわらず，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり，かつ，本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。

8　薬学研究科博士課程に入学することのできる者は，次の各号の一に該当する資格を有し，本大学院の選抜試験に合格した者とする。

①　大学における修業年限６年の薬学を履修する課程を卒業した者

②　大学における医学又は歯学を履修する課程を卒業した者

③　外国において学校教育における18年の課程を修了した者

④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者

⑤　我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育におけ

る18年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

⑥　外国の大学等において，修業年限が５年以上である課程を修了することにより，学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦　文部科学大臣の指定した者

⑧　学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

⑨　本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの

9　前項の規定にかかわらず，大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む）であって，本大学の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものであり，かつ，本大学院の選抜試験に合格した者を入学させることができる。

10　本大学院においては，他大学大学院からの編入学及び所属する研究科を変更することはできない。ただし，所属する研究科内において専攻の変更を許可する場合がある。

第４節　教育課程及び履修方法

第117条　本大学院の教育は，授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行うものとする。

２　総合社会情報研究科における授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導は，通信教育により行う。

３　各研究科における授業科目・単位数及び研究指導並びに履修方法は次条以下による。

４　学生が許可を受け，他の研究科又は他大学大学院において履修した授業科目について修得した単位については，当該学生が在籍する研究科の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

５　前項の規定により認定することができる単位数は，15単位を超えないものとする。

６　学生が本大学院に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位については，当該学生が在籍する研究科の授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

7　前項の規定により認定することができる単位数は，15単位を超えないものとする。

8　第４項及び第６項により修得したものとみなす単位は，合わせて20単位を超えない範囲（法務研究科専門職学位課程（法科大学院）については，30単位（認定連携法曹基礎課程を修了した者又はこれらの者と同等の学識を有すると認めた者については46単位）（専門職大学院設置基準第21条第１項ただし書きの規定により30単位を超えて算入できる単位を除く）を超えない範囲）で，修了するために必要な単位数に算入することができる。

9　各研究科において，教育研究上有益と認めるときは，あらかじめ協議の上，学生が他の研究科，他大学大学院の研究科又は研究所等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし，修士課程の学生について認める場合には，当該研究指導を受ける期間は，１年を超えないものとする。

10　第４項から第９項までの規定は，学生が各研究科の許可を受けて外国の大学に留学する場合にこれを準用する。

第117条の２　教育上特別の必要がある場合は，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行う。

2　前項に該当する研究科，専攻は次のとおりとする。

修士課程・博士前期課程

研究科	専攻
法学研究科	公法学専攻 私法学専攻 政治学専攻
新聞学研究科	新聞学専攻
文学研究科	社会学専攻
総合基礎科学研究科	地球情報数理科学専攻
経済学研究科	経済学専攻
国際関係研究科	国際関係研究専攻
	土木工学専攻 交通システム工学専攻 建築学専攻 海洋建築工学専攻

理工学研究科	まちづくり工学専攻 機械工学専攻 精密機械工学専攻 航空宇宙工学専攻 電気工学専攻 電子工学専攻 情報科学専攻 物質応用化学専攻 物理学専攻 数学専攻 量子理工学専攻

博士課程・博士後期課程

研究科	専攻
新聞学研究科	新聞学専攻
芸術学研究科	芸術専攻
歯学研究科	歯学専攻

専門職学位課程

研究科	専攻
法務研究科	法務専攻

第118条　法学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

Ⅰ　公法学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ類				必修を含め，専門研究コースは，Ⅰ類から16単位以上及びⅢ類から4単位以上，総合研究コースはⅠ類から16単位以上及びⅢ類から2単位以上，合計30単位以上を修得しなければならない。	
憲法特殊講義Ⅰ	2		2		
憲法特殊講義Ⅱ	2		2		
行政法特殊講義Ⅰ	2		2		
行政法特殊講義Ⅱ	2		2		
地方自治法特殊講義Ⅰ	2		2		
地方自治法特殊講義Ⅱ	2		2		
税法特殊講義Ⅰ	2		2		
税法特殊講義Ⅱ	2		2		
国際法特殊講義Ⅰ	2		2		
国際法特殊講義Ⅱ	2		2		
刑法特殊講義Ⅰ	2		2		
刑法特殊講義Ⅱ	2		2		
刑事訴訟法特殊講義Ⅰ	2		2		
刑事訴訟法特殊講義Ⅱ	2		2		
刑事政策特殊講義Ⅰ	2		2		
刑事政策特殊講義Ⅱ	2		2		
労働法特殊講義Ⅰ	2		2		
労働法特殊講義Ⅱ	2		2		
独占禁止法特殊講義Ⅰ	2		2		
独占禁止法特殊講義Ⅱ	2		2		
社会保障法特殊講義Ⅰ	2		2		
社会保障法特殊講義Ⅱ	2		2		
裁判法特殊講義Ⅰ	2		2		
裁判法特殊講義Ⅱ	2		2		
法哲学特殊講義Ⅰ	2		2		

法哲学特殊講義Ⅱ	2		2		
法思想史特殊講義Ⅰ	2		2		
法思想史特殊講義Ⅱ	2		2		
法史学特殊講義Ⅰ	2		2		
法史学特殊講義Ⅱ	2		2		
英米法特殊講義Ⅰ	2		2		
英米法特殊講義Ⅱ	2		2		
独法特殊講義Ⅰ	2		2		
独法特殊講義Ⅱ	2		2		
仏法特殊講義Ⅰ	2		2		
仏法特殊講義Ⅱ	2		2		
外国公法特殊講義Ⅰ	2		2		
外国公法特殊講義Ⅱ	2		2		
Ⅱ類					
公法学特論Ⅰ	2		2		
公法学特論Ⅱ	2		2		
公法学特論Ⅲ	2		2		
公法学特論Ⅳ	2		2		
Ⅲ類					
法律学原書研究Ⅰ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(仏)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(仏)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(中)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(中)	1		1		
Ⅳ類					
合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

Ⅱ　私法学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
Ⅰ類				左記のうちから,必修を含め,合計30単位以上を修得しなければならない。 ただし，専門研究コースは,Ⅰ類から16単位以上及びⅣ類から4単位以上修得しなければならない。 総合研究コースは,Ⅰ類から16単位以上及びⅣ類から2単位以上修得しなければならない。 知的財産コースは,Ⅰ類の民法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,民事訴訟法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,特許･実用新案法特殊講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB,意匠法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,商標法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,著作権法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,不正競争防止法特殊講義Ⅰ・Ⅱ,知的財産条約特殊講義Ⅰ・Ⅱ,独占禁止法特殊講義Ⅰ・Ⅱから12単位以上,Ⅱ類から12単位以上及びⅣ類から2単位以上を修得しなければならない。	
民法特殊講義Ⅰ	2		2		
民法特殊講義Ⅱ	2		2		
商法特殊講義Ⅰ	2		2		
商法特殊講義Ⅱ	2		2		
民事訴訟法特殊講義Ⅰ	2		2		
民事訴訟法特殊講義Ⅱ	2		2		
国際私法特殊講義Ⅰ	2		2		
国際私法特殊講義Ⅱ	2		2		
国際取引法特殊講義Ⅰ	2		2		
国際取引法特殊講義Ⅱ	2		2		
特許･実用新案法特殊講義ⅠA	2		2		
特許･実用新案法特殊講義ⅠB	2		2		
特許･実用新案法特殊講義ⅡA	2		2		
特許･実用新案法特殊講義ⅡB	2		2		
意匠法特殊講義Ⅰ	2		2		
意匠法特殊講義Ⅱ	2		2		
商標法特殊講義Ⅰ	2		2		
商標法特殊講義Ⅱ	2		2		
著作権法特殊講義Ⅰ	2		2		
著作権法特殊講義Ⅱ	2		2		
不正競争防止法特殊講義Ⅰ	2		2		
不正競争防止法特殊講義Ⅱ	2		2		
知的財産条約特殊講義Ⅰ	2		2		
知的財産条約特殊講義Ⅱ	2		2		
独占禁止法特殊講義Ⅰ	2		2		
独占禁止法特殊講義Ⅱ	2		2		
国際経済法特殊講義Ⅰ	2		2		
国際経済法特殊講義Ⅱ	2		2		
経済行政法特殊講義Ⅰ	2		2		

経済行政法特殊講義Ⅱ	2		2		
労働法特殊講義Ⅰ	2		2		
労働法特殊講義Ⅱ	2		2		
金融法特殊講義Ⅰ	2		2		
金融法特殊講義Ⅱ	2		2		
社会保障法特殊講義Ⅰ	2		2		
社会保障法特殊講義Ⅱ	2		2		
英米法特殊講義Ⅰ	2		2		
英米法特殊講義Ⅱ	2		2		
独法特殊講義Ⅰ	2		2		
独法特殊講義Ⅱ	2		2		
仏法特殊講義Ⅰ	2		2		
仏法特殊講義Ⅱ	2		2		
外国私法特殊講義Ⅰ	2		2		
外国私法特殊講義Ⅱ	2		2		
Ⅱ類					
知的財産実務特論ⅠA	2		2		
知的財産実務特論ⅠB	2		2		
知的財産実務特論ⅡA	2		2		
知的財産実務特論ⅡB	2		2		
知的財産政策特論Ⅰ	2		2		
知的財産政策特論Ⅱ	2		2	知的財産コースのみ履修できる。	
知的財産ビジネス特論Ⅰ	2		2		
知的財産ビジネス特論Ⅱ	2		2		
知的財産ビジネス特論Ⅲ	2		2		
知的財産ビジネス特論Ⅳ	2		2		
知的財産ビジネス特論Ⅴ	2		2		
知的財産ビジネス特論Ⅵ	2		2		
Ⅲ類					
私法学特論Ⅰ	2		2		
私法学特論Ⅱ	2		2		
私法学特論Ⅲ	2		2		
私法学特論Ⅳ	2		2		

Ⅳ類					
法律学原書研究Ⅰ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(英)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(独)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(仏)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(仏)	1		1		
法律学原書研究Ⅰ(中)	1		1		
法律学原書研究Ⅱ(中)	1		1		
Ⅴ類					
合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

Ⅲ　政治学専攻

（1）　標準コース

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ類				必修を含め,専門研究コースはⅠ類から16単位以上及びⅦ類から4単位以上,総合研究コースはⅠ類から16単位以上及びⅦ類から2単位以上，公共政策コースはⅢ類・Ⅳ類・Ⅴ類・Ⅵ類からそれぞれ4単位以上,合計30単位以上修得をしなければならない。	
政治理論特殊講義Ⅰ	2		2		
政治理論特殊講義Ⅱ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅰ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅱ	2		2		
政治思想史特殊講義Ⅰ	2		2		
政治思想史特殊講義Ⅱ	2		2		
日本政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
日本政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅰ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅱ	2		2		
国際関係論特殊講義Ⅰ	2		2		
国際関係論特殊講義Ⅱ	2		2		
国際協力論特殊講義Ⅰ	2		2		

国際協力論特殊講義Ⅱ	2		2			
地域研究特殊講義Ⅰ	2		2			
地域研究特殊講義Ⅱ	2		2			
行政学特殊講義Ⅰ	2		2			
行政学特殊講義Ⅱ	2		2			
地方自治論特殊講義Ⅰ	2		2			
地方自治論特殊講義Ⅱ	2		2			
政治過程論特殊講義Ⅰ	2		2			
政治過程論特殊講義Ⅱ	2		2			
公共政策論特殊講義Ⅰ	2		2			
公共政策論特殊講義Ⅱ	2		2			
政治機構論特殊講義Ⅰ	2		2			
政治機構論特殊講義Ⅱ	2		2			
財政学特殊講義Ⅰ	2		2			
財政学特殊講義Ⅱ	2		2			
経済政策特殊講義Ⅰ	2		2			
経済政策特殊講義Ⅱ	2		2			
社会政策特殊講義Ⅰ	2		2			
社会政策特殊講義Ⅱ	2		2			
社会保障特殊講義Ⅰ	2		2			
社会保障特殊講義Ⅱ	2		2			
公共経済学特殊講義Ⅰ	2		2			
公共経済学特殊講義Ⅱ	2		2			
Ⅱ類						
政治学特論Ⅰ	2		2			
政治学特論Ⅱ	2		2			
政治学特論Ⅲ	2		2			
政治学特論Ⅳ	2		2			
Ⅲ類						
公共政策論特論	2	2				
公共経営論特論	2		2			
地方自治論特論	2		2			
地方自治法特論	2		2			

行政制度論特論	2		2			
行政組織論特論	2		2			
地方財政論特論	2		2			
Ⅳ類						
政策管理特論	2		2			
政策評価特論	2		2			
政策法務特論	2		2			
危機管理特論	2		2			
人事管理特論	2		2			
公会計特論	2		2			
Ⅴ類						
社会政策特論	2		2			
社会保障特論	2		2			
経済政策特論	2		2			
地域政策特論	2		2			
財政政策特論	2		2			
都市政策特論	2		2			
環境政策特論	2		2			
政策研究特論	2		2			
Ⅵ類						
公共政策特殊演習	2		2			
公共政策実務演習	2		2			
公共政策合同演習	2		2			
Ⅶ類						
政治学原書研究Ⅰ(英)	1		1			
政治学原書研究Ⅱ(英)	1		1			
政治学原書研究Ⅰ(独)	1		1			
政治学原書研究Ⅱ(独)	1		1			
政治学原書研究Ⅰ(仏)	1		1			
政治学原書研究Ⅱ(仏)	1		1			
政治学原書研究Ⅰ(中)	1		1			
政治学原書研究Ⅱ(中)	1		1			
Ⅷ類						

合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

（２）　１年コース

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ類				必修を含めⅢ類・Ⅳ類・Ⅴ類・Ⅵ類からそれぞれ4単位以上，合計30単位以上を修得しなければならない。	
政治理論特殊講義Ⅰ	2		2		
政治理論特殊講義Ⅱ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅰ	2		2		
政治哲学特殊講義Ⅱ	2		2		
政治思想史特殊講義Ⅰ	2		2		
政治思想史特殊講義Ⅱ	2		2		
日本政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
日本政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅰ	2		2		
西洋政治史特殊講義Ⅱ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅰ	2		2		
国際政治学特殊講義Ⅱ	2		2		
国際関係論特殊講義Ⅰ	2		2		
国際関係論特殊講義Ⅱ	2		2		
国際協力論特殊講義Ⅰ	2		2		
国際協力論特殊講義Ⅱ	2		2		
地域研究特殊講義Ⅰ	2		2		
地域研究特殊講義Ⅱ	2		2		
行政学特殊講義Ⅰ	2		2		
行政学特殊講義Ⅱ	2		2		
地方自治論特殊講義Ⅰ	2		2		
地方自治論特殊講義Ⅱ	2		2		
政治過程論特殊講義Ⅰ	2		2		
政治過程論特殊講義Ⅱ	2		2		
公共政策論特殊講義Ⅰ	2		2		
公共政策論特殊講義Ⅱ	2		2		

政治機構論特殊講義Ⅰ	2		2			
政治機構論特殊講義Ⅱ	2		2			
財政学特殊講義Ⅰ	2		2			
財政学特殊講義Ⅱ	2		2			
経済政策特殊講義Ⅰ	2		2			
経済政策特殊講義Ⅱ	2		2			
社会政策特殊講義Ⅰ	2		2			
社会政策特殊講義Ⅱ	2		2			
社会保障特殊講義Ⅰ	2		2			
社会保障特殊講義Ⅱ	2		2			
公共経済学特殊講義Ⅰ	2		2			
公共経済学特殊講義Ⅱ	2		2			
Ⅱ類						
政治学特論Ⅰ	2		2			
政治学特論Ⅱ	2		2			
政治学特論Ⅲ	2		2			
政治学特論Ⅳ	2		2			
Ⅲ類						
公共政策論特論	2	2				
公共経営論特論	2		2			
地方自治論特論	2		2			
地方自治法特論	2		2			
行政制度論特論	2		2			
行政組織論特論	2		2			
地方財政論特論	2		2			
Ⅳ類						
政策管理特論	2		2			
政策評価特論	2		2			
政策法務特論	2		2			
危機管理特論	2		2			
人事管理特論	2		2			
公会計特論	2		2			
Ⅴ類						

社会政策特論	2		2		
社会保障特論	2		2		
経済政策特論	2		2		
地域政策特論	2		2		
財政政策特論	2		2		
都市政策特論	2		2		
環境政策特論	2		2		
政策研究特論	2		2		
Ⅵ類					
公共政策特殊演習	2		2		
公共政策実務演習	2		2		
公共政策合同演習	2		2		
Ⅶ類					
政治学原書研究Ⅰ(英)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(英)	1		1		
政治学原書研究Ⅰ(独)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(独)	1		1		
政治学原書研究Ⅰ(仏)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(仏)	1		1		
政治学原書研究Ⅰ(中)	1		1		
政治学原書研究Ⅱ(中)	1		1		
Ⅷ類					
合同演習	2		2		
専門演習	4	4			
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　公法学専攻

研究指導科目	履修方法	備考
憲法研究 行政法研究 地方自治法研究 税法研究	左記のうちから専攻科目を定め，常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	

国際法研究 刑法研究 刑事訴訟法研究 刑事政策研究 社会保障法研究 裁判法研究 法哲学研究 法思想史研究 法史学研究 外国公法研究 学位論文		

Ⅱ　私法学専攻

研究指導科目	履修方法	備考
民法研究 商法研究 著作権法研究 知的財産権法研究 国際知的財産権法研究 国際私法研究 民事訴訟法研究 労働法研究 独占禁止法研究 経済行政法研究 国際経済法研究 裁判法研究 国際取引法研究 法社会学研究 法哲学研究 法思想史研究 法史学研究 外国私法研究	左記のうちから専攻科目を定め，常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	

不正競争防止法研究 社会保障法研究 学位論文		

Ⅲ　政治学専攻

研究指導科目	履修方法	備考
政治理論研究 政治哲学研究 政治思想史研究 日本政治史研究 西洋政治史研究 国際政治学研究 国際関係論研究 国際協力論研究 地域研究 行政学研究 地方自治論研究 政治過程論研究 公共政策論研究 政治機構論研究 財政学研究 経済政策研究 社会政策研究 メディア論研究 ジャーナリズム論研究 政治コミュニケーション論研究 学位論文	左記のうちから専攻科目を定め，常時指導教授の研究指導を受けなければならない。	

第119条　新聞学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

Ⅰ　新聞学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
Ⅰ類（基幹研究科目）				Ⅰ類から4単位以上，Ⅱ類から4単位以上，Ⅲ類から2単位以上，Ⅳ類から4単位以上，合計30単位以上を修得しなければならない。	
ジャーナリズム理論特殊研究	2		2		
メディア理論特殊研究	2		2		
ジャーナリズム制度（日本）特殊研究	2		2		
メディア制度（日本）特殊研究	2		2		
ジャーナリズム制度（外国）特殊研究	2		2		
メディア制度（外国）特殊研究	2		2		
ジャーナリズム史特殊研究	2		2		
メディア史特殊研究	2		2		
Ⅱ類（展開科目）					
政治ジャーナリズム論特殊講義	4		4		
政治コミュニケーション論特殊講義	4		4		
世論・政治意識とメディア（日本）特殊講義	4		4		
世論・政治意識とメディア（外国）特殊講義	4		4		
メディア社会論特殊講義	4		4		
メディア倫理特殊講義	4		4		
メディア法制特殊講義	4		4		
ジャーナリズム史（日本）特殊講義	4		4		
ジャーナリズム史（外国）特殊講義	4		4		
リスクコミュニケーション論特殊講義	4		4		
比較ジャーナリズム論特殊講義	4		4		
国際コミュニケーション論特殊講義	4		4		
比較コミュニケーション政策論特殊講義	4		4		
中国メディア論特殊講義	4		4		
ウェブ・ジャーナリズム論特殊講義	4		4		
映像ジャーナリズム論特殊講義	4		4		
Ⅲ類（文献研究）					

文献研究（英）	2		2		
文献研究（独）	2		2		
文献研究（仏）	2		2		
文献研究（日）	2		2		
文献研究（中）	2		2		
Ⅳ類（演習科目）					
ジャーナリズム理論演習Ⅰ	1		1		
ジャーナリズム理論演習Ⅱ	1		1		
メディア理論演習Ⅰ	1		1		
メディア理論演習Ⅱ	1		1		
ジャーナリズム調査演習Ⅰ	1		1		
ジャーナリズム調査演習Ⅱ	1		1		
ジャーナリズム調査演習Ⅲ	1		1		
メディア調査演習Ⅰ	1		1		
メディア調査演習Ⅱ	1		1		
メディア調査演習Ⅲ	1		1		
Ⅴ類（研究指導）					
専門演習（研究指導）	4	4			
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　新聞学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
ジャーナリズム理論特殊研究（実証）	2		2	研究指導教員担当の特殊研究及び特殊演習各2単位以上，それ以外の特殊研究及び特殊演習各2単位以上，合計12単位以上を修得しなければならない。	
ジャーナリズム理論特殊研究（規範）	2		2		
ジャーナリズム理論特殊演習（実証）	2		2		
ジャーナリズム理論特殊演習（規範）	2		2		
ジャーナリズム理論特殊演習（社会）	2		2		
ジャーナリズム制度特殊研究（比較）	2		2		
ジャーナリズム制度特殊研究（システム）	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習（比較）	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習（システム）	2		2		
ジャーナリズム制度特殊演習（政策）	2		2		

ジャーナリズム史特殊研究（比較）	2		2		
ジャーナリズム史特殊研究（思想）	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習（比較）	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習（思想）	2		2		
ジャーナリズム史特殊演習（技術）	2		2		
合同演習	2	2			
研究指導	2	2			
学位論文					

第120条　文学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

なお，他専攻，他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は，10単位を上限として，修了に必要な単位数に算入することができる。

Ⅰ　哲学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
哲学特殊講義2	2		2		
哲学特殊講義3	2		2		
哲学特殊講義4	2		2		
宗教学特殊講義1	2		2		
宗教学特殊講義2	2		2		
宗教学特殊講義3	2		2		
宗教学特殊講義4	2		2		
倫理学特殊講義1	2		2		
倫理学特殊講義2	2		2		
倫理学特殊講義3	2		2		
倫理学特殊講義4	2		2		
美学特殊講義1	2		2		
美学特殊講義2	2		2		
美学特殊講義3	2		2		
美学特殊講義4	2		2		
哲学史特殊講義1	2		2		
哲学史特殊講義2	2		2		
哲学史特殊講義3	2		2		
哲学史特殊講義4	2		2		
宗教史特殊講義1	2		2		
宗教史特殊講義2	2		2		
宗教史特殊講義3	2		2		

宗教史特殊講義4	2		2			
倫理学史特殊講義1	2		2			
倫理学史特殊講義2	2		2			
倫理学史特殊講義3	2		2			
倫理学史特殊講義4	2		2			
美学史特殊講義1	2		2			
美学史特殊講義2	2		2			
美学史特殊講義3	2		2			
美学史特殊講義4	2		2			
哲学特殊研究1	2		2			
哲学特殊研究2	2		2			
宗教学特殊研究1	2		2			
宗教学特殊研究2	2		2			
倫理学特殊研究1	2		2			
倫理学特殊研究2	2		2			
美学特殊研究1	2		2			
美学特殊研究2	2		2			
哲学演習1	1		1			
哲学演習2	1		1			
哲学演習3	1		1			
哲学演習4	1		1			
哲学演習5	1		1			
哲学演習6	1		1			
宗教学演習1	1		1			
宗教学演習2	1		1			
宗教学演習3	1		1			
宗教学演習4	1		1			
宗教学演習5	1		1			
宗教学演習6	1		1			
倫理学演習1	1		1			
倫理学演習2	1		1			
倫理学演習3	1		1			
倫理学演習4	1		1			

倫理学演習5	1		1		
倫理学演習6	1		1		
美学演習1	1		1		
美学演習2	1		1		
美学演習3	1		1		
美学演習4	1		1		
美学演習5	1		1		
美学演習6	1		1		
学位論文					

Ⅱ　史学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
日本史特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
日本史特殊講義2	2		2		
日本史特殊講義3	2		2		
日本史特殊講義4	2		2		
日本史特殊講義5	2		2		
日本史特殊講義6	2		2		
日本史特殊講義7	2		2		
日本史特殊講義8	2		2		
東洋史特殊講義1	2		2		
東洋史特殊講義2	2		2		
東洋史特殊講義3	2		2		
東洋史特殊講義4	2		2		
西洋史特殊講義1	2		2		
西洋史特殊講義2	2		2		
西洋史特殊講義3	2		2		
西洋史特殊講義4	2		2		
考古学特殊講義1	2		2		
考古学特殊講義2	2		2		
考古学特殊講義3	2		2		
考古学特殊講義4	2		2		
歴史学特論1	2		2		
歴史学特論2	2		2		

歴史学特論3	2		2			
歴史学特論4	2		2			
日本史特殊研究1	2		2			
日本史特殊研究2	2		2			
日本史特殊研究3	2		2			
日本史特殊研究4	2		2			
日本史特殊研究5	2		2			
日本史特殊研究6	2		2			
日本史特殊研究7	2		2			
日本史特殊研究8	2		2			
東洋史特殊研究1	2		2			
東洋史特殊研究2	2		2			
東洋史特殊研究3	2		2			
東洋史特殊研究4	2		2			
西洋史特殊研究1	2		2			
西洋史特殊研究2	2		2			
西洋史特殊研究3	2		2			
西洋史特殊研究4	2		2			
考古学特殊研究1	2		2			
考古学特殊研究2	2		2			
考古学特殊研究3	2		2			
考古学特殊研究4	2		2			
歴史学課題研究1	2		2			
歴史学課題研究2	2		2			
歴史学課題研究3	2		2			
歴史学課題研究4	2		2			
日本史演習1	2		2			
日本史演習2	2		2			
日本史演習3	2		2			
日本史演習4	2		2			
日本史演習5	2		2			
日本史演習6	2		2			
日本史演習7	2		2			

日本史演習8	2		2		
東洋史演習1	2		2		
東洋史演習2	2		2		
東洋史演習3	2		2		
東洋史演習4	2		2		
西洋史演習1	2		2		
西洋史演習2	2		2		
西洋史演習3	2		2		
西洋史演習4	2		2		
考古学演習1	2		2		
考古学演習2	2		2		
考古学演習3	2		2		
考古学演習4	2		2		
歴史学演習1	2		2		
歴史学演習2	2		2		
歴史学演習3	2		2		
歴史学演習4	2		2		
学位論文					

Ⅲ　国文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
古典文学特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
古典文学特殊講義2	2		2		
古典文学特殊講義3	2		2		
古典文学特殊講義4	2		2		
古典文学特殊講義5	2		2		
古典文学特殊講義6	2		2		
近現代文学特殊講義1	2		2		
近現代文学特殊講義2	2		2		
近現代文学特殊講義3	2		2		
近現代文学特殊講義4	2		2		
日本語学特殊講義1	2		2		
日本語学特殊講義2	2		2		
日本語学特殊講義3	2		2		

古典文学専門演習1	2		2			
古典文学専門演習2	2		2			
古典文学専門演習3	2		2			
古典文学専門演習4	2		2			
古典文学専門演習5	2		2			
古典文学専門演習6	2		2			
近現代文学専門演習1	2		2			
近現代文学専門演習2	2		2			
近現代文学専門演習3	2		2			
近現代文学専門演習4	2		2			
総　合　研　究　1	2		2			
総　合　研　究　2	2		2			
総　合　研　究　3	2		2			
総　合　研　究　4	2		2			
総　合　研　究　5	2		2			
総　合　研　究　6	2		2			
日本語学専門演習1	2		2			
日本語学専門演習2	2		2			
日本語学専門演習3	2		2			
古典文学基礎研究1	2		2			
古典文学基礎研究2	2		2			
古典文学基礎研究3	2		2			
古典文学基礎研究4	2		2			
古典文学基礎研究5	2		2			
古典文学基礎研究6	2		2			
近現代文学基礎研究1	2		2			
近現代文学基礎研究2	2		2			
近現代文学基礎研究3	2		2			
近現代文学基礎研究4	2		2			
日本語学基礎研究1	2		2			
日本語学基礎研究2	2		2			
日本語学基礎研究3	2		2			
日本語教育学特論1	2		2			

日本語教育学特論2	2		2		
日本語教育学特論3	2		2		
日本語教育実習1	3		3		
日本語教育実習2	3		3		
日本語教育学特殊講義1	2		2		
日本語教育学特殊講義2	2		2		
日本語教育学特殊講義3	2		2		
日本語教育学特殊講義4	2		2		
日本語教育学特殊講義5	2		2		
日本語教育学特殊講義6	2		2		
日本語教育学特殊講義7	2		2		
日本語教育学特殊講義8	2		2		
日本語教育学専門演習1	2		2		
日本語教育学専門演習2	2		2		
日本語教育学専門演習3	2		2		
日本語教育学専門演習4	2		2		
日本語教育学専門演習5	2		2		
日本語教育学専門演習6	2		2		
日本語教育学専門演習7	2		2		
日本語教育学専門演習8	2		2		
日本語教育学総合研究1	2		2		
日本語教育学総合研究2	2		2		
日本語教育学総合研究3	2		2		
日本語教育学総合研究4	2		2		
日本語教育学総合研究5	2		2		
日本語教育学総合研究6	2		2		
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(日本語)1	2		2		
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(日本語)2	2		2		
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ指導(日本語)1	2		2		
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ指導(日本語)2	2		2		
学位論文					

Ⅳ　中国学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

中国学概論1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
中国学概論2	2		2		
中国学講義1	2		2		
中国学講義2	2		2		
中国学特論1	2		2		
中国学特論2	2		2		
中国学特殊講義1	2		2		
中国学特殊講義2	2		2		
中国学特殊研究1	2		2		
中国学特殊研究2	2		2		
中国学応用研究1	2		2		
中国学応用研究2	2		2		
中国語学概論1	2		2		
中国語学概論2	2		2		
中国語学講義1	2		2		
中国語学講義2	2		2		
中国語学特論1	2		2		
中国語学特論2	2		2		
中国語学特殊講義1	2		2		
中国語学特殊講義2	2		2		
中国語学特殊研究1	2		2		
中国語学特殊研究2	2		2		
中国文学概論1	2		2		
中国文学概論2	2		2		
中国文学講義1	2		2		
中国文学講義2	2		2		
中国文学特論1	2		2		
中国文学特論2	2		2		
中国文学特殊講義1	2		2		
中国文学特殊講義2	2		2		
中国文学特殊研究1	2		2		
中国文学特殊研究2	2		2		
中国文化概論1	2		2		

中国文化概論2	2		2		
中国文化講義1	2		2		
中国文化講義2	2		2		
中国文化特論1	2		2		
中国文化特論2	2		2		
中国文化特殊講義1	2		2		
中国文化特殊講義2	2		2		
中国文化特殊研究1	2		2		
中国文化特殊研究2	2		2		
学位論文					

V　英文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英米文学特殊講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
英米文学特殊講義2	2		2		
英米文学特殊講義3	2		2		
英米文学特殊講義4	2		2		
英語圏文学特殊講義1	2		2		
英語圏文学特殊講義2	2		2		
英語学特殊講義1	2		2		
英語学特殊講義2	2		2		
英語学特殊講義3	2		2		
英語学特殊講義4	2		2		
英語学講義1	2		2		
英語学講義2	2		2		
英語学講義3	2		2		
英語学講義4	2		2		
英米文学特殊研究1	2		2		
英米文学特殊研究2	2		2		
英米文学特殊研究3	2		2		
英米文学特殊研究4	2		2		
英語圏文学特殊研究1	2		2		
英語圏文学特殊研究2	2		2		
英語圏文学特殊研究3	2		2		

英語圏文学特殊研究4	2		2			
英米文学研究1	2		2			
英米文学研究2	2		2			
英米文学研究3	2		2			
英米文学研究4	2		2			
英語学特殊研究1	2		2			
英語学特殊研究2	2		2			
英語学特殊研究3	2		2			
英語学特殊研究4	2		2			
英語学研究1	2		2			
英語学研究2	2		2			
英語学研究3	2		2			
英語学研究4	2		2			
英語学応用研究1	2		2			
英語学応用研究2	2		2			
英米文学演習1	1		1			
英米文学演習2	1		1			
英米文学演習3	1		1			
英米文学演習4	1		1			
英語圏文学演習1	1		1			
英語圏文学演習2	1		1			
英語圏文学演習3	1		1			
英語圏文学演習4	1		1			
英語学特殊演習1	1		1			
英語学特殊演習2	1		1			
英語学特殊演習3	1		1			
英語学特殊演習4	1		1			
英語学演習1	1		1			
英語学演習2	1		1			
英語学演習3	1		1			
英語学演習4	1		1			
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(英語)1	2		2			
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(英語)2	2		2			

アカデミック・ライティング指導（英語）1	2		2		
アカデミック・ライティング指導（英語）2	2		2		
学　位　論　文					

Ⅵ　ドイツ文学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
ドイツ文学講義1	2		2	30単位以上を修得しなければならない。	
ドイツ文学講義2	2		2		
ドイツ文学講義3	2		2		
ドイツ文学講義4	2		2		
ドイツ文学講義5	2		2		
ドイツ文学講義6	2		2		
ドイツ語学講義1	2		2		
ドイツ語学講義2	2		2		
ドイツ語学講義3	2		2		
ドイツ語学講義4	2		2		
ドイツ語学講義5	2		2		
ドイツ語学講義6	2		2		
ドイツ文化講義1	2		2		
ドイツ文化講義2	2		2		
ドイツ文化講義3	2		2		
ドイツ文化講義4	2		2		
ドイツ文化講義5	2		2		
ドイツ文化講義6	2		2		
ドイツ語教授法講義1	2		2		
ドイツ語教授法講義2	2		2		
ドイツ文学研究1	2		2		
ドイツ文学研究2	2		2		
ドイツ文学研究3	2		2		
ドイツ文学研究4	2		2		
ドイツ文学研究5	2		2		
ドイツ文学研究6	2		2		
ドイツ語学研究1	2		2		
ドイツ語学研究2	2		2		

ドイツ語学研究3	2		2		
ドイツ語学研究4	2		2		
ドイツ語学研究5	2		2		
ドイツ語学研究6	2		2		
ドイツ文化研究1	2		2		
ドイツ文化研究2	2		2		
ドイツ文化研究3	2		2		
ドイツ文化研究4	2		2		
ドイツ文化研究5	2		2		
ドイツ文化研究6	2		2		
ドイツ語教授法研究1	2		2		
ドイツ語教授法研究2	2		2		
ドイツ文学演習1	1		1		
ドイツ文学演習2	1		1		
ドイツ文学演習3	1		1		
ドイツ文学演習4	1		1		
ドイツ文学演習5	1		1		
ドイツ文学演習6	1		1		
ドイツ語学演習1	1		1		
ドイツ語学演習2	1		1		
ドイツ語学演習3	1		1		
ドイツ語学演習4	1		1		
ドイツ語学演習5	1		1		
ドイツ語学演習6	1		1		
ドイツ文化演習1	1		1		
ドイツ文化演習2	1		1		
ドイツ文化演習3	1		1		
ドイツ文化演習4	1		1		
ドイツ文化演習5	1		1		
ドイツ文化演習6	1		1		
ドイツ語教授法演習1	1		1		
ドイツ語教授法演習2	1		1		
学位論文					

Ⅶ　社会学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
【社会学コース科目】				社会学コース及び社会福祉学コースを置く。	
（理論研究領域）					
マスコミ社会学理論基礎研究	2		2	社会学コースは，社会学コース科目を30単位以上修得しなければならない。	
知識社会学理論基礎研究	2		2		
社会学原理基礎研究	2		2		
社会学的・質的調査の基礎研究	2		2	社会福祉学コースは,社会福祉学コース科目(必修単位数12単位を含む）を30単位以上修得しなければならない。	
文化人類学・社会学理論基礎研究	2		2		
文化社会学理論基礎研究	2		2		
マスコミ社会学理論応用研究	2		2		
知識社会学理論応用研究	2		2		
社会学学説応用研究	2		2		
社会学的・質的調査の応用研究	2		2		
文化人類学・社会学理論応用研究	2		2		
文化社会学理論応用研究	2		2		
マスコミ社会学理論基礎演習	1		1		
知識社会学理論基礎演習	1		1		
社会学原理基礎演習	1		1		
社会学的・質的調査の基礎演習	1		1		
文化人類学・社会学理論基礎演習	1		1		
文化社会学理論基礎演習	1		1		
マスコミ社会学理論応用演習	1		1		
知識社会学理論応用演習	1		1		
社会学学説応用演習	1		1		
社会学的・質的調査の応用演習	1		1		
文化人類学・社会学理論応用演習	1		1		
文化社会学理論応用演習	1		1		
（実証研究領域）					
家族社会学実証基礎研究	2		2		
都市・地域・映像社会学研究	2		2		
データサイエンス基礎研究	2		2		

都市社会学実証基礎研究	2		2			
家族社会学実証基礎演習	1		1			
都市・地域・映像社会学演習	1		1			
データサイエンス基礎演習	1		1			
都市社会学実証基礎演習	1		1			
家族社会学実証応用研究	2		2			
都市・地域社会調査論	2		2			
データサイエンス応用研究	2		2			
都市社会学実証応用研究	2		2			
家族社会学実証応用演習	1		1			
都市・地域社会調査演習	1		1			
データサイエンス応用演習	1		1			
都市社会学実証応用演習	1		1			
老年社会学基礎研究	2		2			
老年社会学応用研究	2		2			
老年社会学基礎演習	1		1			
老年社会学応用演習	1		1			
社会学基礎研究	2		2			
社会学基礎演習	1		1			
社会学応用研究	2		2			
社会学応用演習	1		1			
（応用研究領域）						
産業社会学応用基礎研究	2		2			
メディア社会応用基礎研究	2		2			
社会問題論応用基礎研究	2		2			
社会情報論基礎研究	2		2			
産業社会学応用基礎演習	1		1			
メディア社会応用基礎演習	1		1			
社会問題論応用基礎演習	1		1			
社会情報論基礎演習	1		1			
産業社会学応用特殊研究	2		2			
メディア社会応用特殊研究	2		2			
社会問題論応用特殊研究	2		2			

災害情報論特殊研究	2		2		
産業社会学応用特殊演習	1		1		
メディア社会応用特殊演習	1		1		
社会問題論応用特殊演習	1		1		
災害情報論特殊演習	1		1		
【社会福祉学コース科目】					
社会福祉研究法1	2	2			
社会福祉研究法2	2	2			
社会福祉歴史基礎研究	2		2		
社会福祉政策論基礎研究	2		2		
ソーシャルワーク実践理論基礎研究	2		2		
医療ソーシャルワーク基礎研究	2		2		
地域福祉政策研究	2		2		
高齢者福祉基礎研究	2		2		
児童家庭福祉基礎研究	2		2		
障害者福祉基礎研究	2		2		
社会福祉特殊基礎研究1	2		2		
社会福祉特殊基礎研究2	2		2		
社会福祉歴史応用研究	2		2		
社会福祉政策論応用研究	2		2		
ソーシャルワーク実践理論応用研究	2		2		
医療ソーシャルワーク応用研究	2		2		
コミュニティワーク研究	2		2		
高齢者福祉応用研究	2		2		
児童家庭福祉応用研究	2		2		
障害者福祉応用研究	2		2		
社会福祉特殊応用研究1	2		2		
社会福祉特殊応用研究2	2		2		
社会福祉総合研究1	2	2			
社会福祉総合研究2	2	2			
社会福祉総合研究3	2	2			
社会福祉総合研究4	2	2			
学位論文					

Ⅷ　教育学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【教育学コース科目】				教育学コース及び体育学コースを置く。	
教育哲学特論1	2		2		
教育哲学特論2	2		2		
日本教育史特論1	2		2	教育学コースは，教育学コース科目を30単位以上修得しなければならない。	
日本教育史特論2	2		2		
日本教育史特論3	2		2		
日本教育史特論4	2		2	体育学コースは，体育学コース科目（必修単位数4単位を含む）を30単位以上修得しなければならない。	
外国教育史特論1	2		2		
外国教育史特論2	2		2		
外国教育史特論3	2		2		
外国教育史特論4	2		2		
教育社会学特論1	2		2		
教育社会学特論2	2		2		
教育行政学特論1	2		2		
教育行政学特論2	2		2		
社会教育学特論1	2		2		
社会教育学特論2	2		2		
教育方法学特論1	2		2		
教育方法学特論2	2		2		
教育方法学特論3	2		2		
教育方法学特論4	2		2		
比較教育学特論1	2		2		
比較教育学特論2	2		2		
学校論研究1	2		2		
学校論研究2	2		2		
教育内容特論1	2		2		
教育内容特論2	2		2		
学術情報論研究1	2		2		

学術情報論研究2	2		2			
教育哲学研究1	2		2			
教育哲学研究2	2		2			
外国教育史研究1	2		2			
外国教育史研究2	2		2			
教育社会学研究1	2		2			
教育社会学研究2	2		2			
教育行政学研究1	2		2			
教育行政学研究2	2		2			
社会教育学研究1	2		2			
社会教育学研究2	2		2			
比較教育学研究1	2		2			
比較教育学研究2	2		2			
教育内容論研究1	2		2			
教育内容論研究2	2		2			
教育学研究法1	2		2			
教育学研究法2	2		2			
特定課題研究1	4		4			
特定課題研究2	4		4			
教育学特論1	2		2			
教育学特論2	2		2			
教育学特論3	2		2			
教育学特論4	2		2			
教育学特殊研究1	2		2			
教育学特殊研究2	2		2			
教育学特殊研究3	2		2			
教育学特殊研究4	2		2			
教育学特殊研究5	2		2			
教育学特殊研究6	2		2			
教育学応用演習1	1		1			

教育学応用演習2	1		1			
教育学応用演習3	1		1			
教育学応用演習4	1		1			
【体育学コース科目】						
体育学研究方法特論1	2	2				
体育学研究方法特論2	2	2				
体育・スポーツ教育学特論	2		2			
保健体育科授業実践論	2		2			
スポーツ社会学特論	2		2			
スポーツ運動学特論	2		2			
スポーツメンタルトレーニング特論	2		2			
体育・スポーツ史特論	2		2			
スポーツ医学特論	2		2			
スポーツ生理学特論	2		2			
スポーツ心理学特論	2		2			
スポーツ栄養学特論	2		2			
スポーツリハビリテーション特論	2		2			
バイオメカニクス特論	2		2			
メンタルマネジメント特論	2		2			
コーチング原論	2		2			
測定スポーツコーチング特論1	2		2			
測定スポーツコーチング特論2	2		2			
評定スポーツコーチング特論1	2		2			
評定スポーツコーチング特論2	2		2			
判定スポーツコーチング特論1	2		2			
判定スポーツコーチング特論2	2		2			
判定スポーツコーチング特論3	2		2			
判定スポーツコーチング特論4	2		2			
判定スポーツコーチング特論5	2		2			
スポーツ教育学演習	2		2			

保健体育科授業実践演習	2		2		
スポーツ社会学演習	2		2		
スポーツ運動学演習	2		2		
スポーツマネジメント演習	2		2		
体育・スポーツ史演習	2		2		
スポーツ医学演習	2		2		
スポーツ生理学演習	2		2		
スポーツ心理学演習	2		2		
スポーツ栄養学演習	2		2		
スポーツリハビリテーション演習	2		2		
バイオメカニクス演習	2		2		
測定評価学演習	2		2		
コーチング学演習	2		2		
測定スポーツコーチング演習1	2		2		
測定スポーツコーチング演習2	2		2		
評定スポーツコーチング演習1	2		2		
評定スポーツコーチング演習2	2		2		
判定スポーツコーチング演習1	2		2		
判定スポーツコーチング演習2	2		2		
判定スポーツコーチング演習3	2		2		
判定スポーツコーチング演習4	2		2		
判定スポーツコーチング演習5	2		2		
教育実践インターンシップ1	1		1		
教育実践インターンシップ2	1		1		
学位論文					

Ⅸ　心理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コース共通科目】				心理科学コース及び臨床心理学コースを置く。	
心理学研究法特論	2		2		

生理心理学特論	2		2		
認知心理学特論	2		2	心理科学コースは，コース共通科目及び心理科学コース科目を30単位以上修得しなければならない。	
社会心理学特論	2		2		
環境心理学特論	2		2		
心理統計法研究	2		2		
発達心理学特論	2		2		
教育心理学特論	2		2	臨床心理学コースは，コース共通科目及び臨床心理学コース科目を20単位以上修得しなければならない。ただし，臨床心理学コース科目及び公認心理師に関する科目のうち， 心理臨床実践1 心理臨床実践2 心理実践実習A（臨床心理実習1） 臨床心理学特論1 臨床心理学特論2 臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践） 臨床心理査定演習2 臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践） 臨床心理面接特論2 臨床心理基礎実習1 臨床心理基礎実習2 臨床心理実習1 臨床心理実習2 を必修とする。	
人格心理学特論	2		2		
健康心理学特論	2		2		
臨床社会心理学特論	2		2		
老年心理学特論	2		2		
障害者・障害児心理学特論	2		2		
家族心理学特論	2		2		
人間関係学特論	2		2		
精神医学特論2	2		2		
臨床心理学研究法特論	2		2		
保健医療分野に関する理論と支援の展開	2		2		
福祉分野に関する理論と支援の展開	2		2		
教育分野に関する理論と支援の展開	2		2		

司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開（犯罪心理学特論）	2		2			
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2		2			
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2		2			
心の健康教育に関する理論と実践	2		2			
【心理科学コース科目】						
心理的アセスメントに関する理論と実践（心理アセスメント演習）	2		2			
心理支援に関する理論と実践(心理支援演習)	2		2			
【臨床心理学コース科目】						
精神医学特論1	2		2			
投映法特論	2		2			
心理療法特論	2		2			
学校臨床心理学特論	2		2			
臨床心理学特論1	2		2			
臨床心理学特論2	2		2			
臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2		2			
臨床心理査定演習2	2		2			
臨床心理面接特論1（心理支援に関する理論と実践）	2		2			
臨床心理面接特論2	2		2			
臨床心理基礎実習1	1		1			

臨床心理基礎実習2	1		1		
臨床心理実習1	1		1		
臨床心理実習2	1		1		
臨床心理学特別実習1	1		1		
臨床心理学特別実習2	1		1		
臨床心理学特別演習（含実習）1	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)2	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)3	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)4	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)5	1		1		
臨床心理学特別演習(含実習)6	1		1		
心理臨床実践1	1		1		
心理臨床実践2	1		1		
心理臨床実践3	1		1		
学位論文					

〔公認心理師に関する科目〕

授業科目	時間数	必修時間数	選択時間数	履修方法	備考
心理実践実習A(臨床心理実習1)	220		220	臨床心理学コースのみ履修することができる。	
心理実践実習B(臨床心理実習1)	230		230		
心理実践実習C	450		450	心理科学コースのみ履修することができる。	
心理実践実習指導	90		90		

X　人文地理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自然環境の研究Ⅰ	4		4	左記のうちから,30単位以上を選択履修しなければならない。	
自然環境の研究Ⅱ	4		4		
人文地理学史及び研究法	4	4			
人文地理学特殊講義Ⅰ	4		4		
人文地理学特殊講義Ⅱ	4		4		
地方研究Ⅰ	4		4		
地方研究Ⅱ	4		4		
人文地理学特殊演習	4	4			
野外実習	4	4			
論文指導	1		1		
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　哲学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
哲学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
哲学研究2	2	2			
学位論文					

Ⅱ　日本史専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
日本史研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
日本史研究2	2	2			
学位論文					

Ⅲ　外国史専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
外国史研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
外国史研究2	2	2			
学位論文					

Ⅳ　国文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

国文学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
国文学研究2	2	2			
学位論文					

Ⅴ　中国学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
中国学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
中国学研究2	2	2			
学位論文					

Ⅵ　英文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
英文学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
英文学研究2	2	2			
学位論文					

Ⅶ　ドイツ文学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
ドイツ学研究1	2	2		必修単位数4単位を修得しなければならない。	
ドイツ学研究2	2	2			
学位論文					

Ⅷ　社会学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
社会学研究1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
社会学研究2	2		2		
社会福祉学研究1	2		2		
社会福祉学研究2	2		2		
学位論文					

Ⅸ　教育学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
教育学研究1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
教育学研究2	2		2		
体育学研究1	2		2		

体育学研究2 学位論文	2		2		

X　心理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
心理科学研究1	2		2	選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
心理科学研究2	2		2		
臨床心理学研究1	2		2		
臨床心理学研究2	2		2		
学位論文					

第121条　総合基礎科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

なお，他専攻，他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は，10単位を上限として，修了に必要な単位数に算入することができる。

Ⅰ　地球情報数理科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
地球情報数理科学特論Ⅰ	2	2		必修単位数4単位を含め，合計30単位以上を修得しなければならない。	
地球情報数理科学特論Ⅱ	2	2			
地球物理学特論Ⅰ	2		2	A群，B群，C群及びD群のいずれかを選択し，特別研究Ⅰ，Ⅱの8単位，特別講究Ⅰ～Ⅳの4単位を修得しなければならない。	
地球物理学特論Ⅱ	2		2		
地球生物学特論	2		2		
環境情報特論	2		2		
地質科学特論Ⅰ	2		2		
地質科学特論Ⅱ	2		2		
地球物質科学Ⅰ	2		2		
地球物質科学Ⅱ	2		2		
地球化学特論Ⅰ	2		2		
地球化学特論Ⅱ	2		2		
水圏科学特論Ⅰ	2		2		
水圏科学特論Ⅱ	2		2		
気圏科学特論Ⅰ	2		2		
気圏科学特論Ⅱ	2		2		
地球環境特別演習	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅰ	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅱ	2		2		
コンピュータ科学特論Ⅲ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅰ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅱ	2		2		
ソフトウェア科学特論Ⅲ	2		2		
数理情報科学特論Ⅰ	2		2		

数理情報科学特論Ⅱ	2		2				
数理情報科学特論Ⅲ	2		2				
数理情報科学特論Ⅳ	2		2				
代数学特論Ⅰ	2		2				
代数学特論Ⅱ	2		2				
幾何学特論Ⅰ	2		2				
幾何学特論Ⅱ	2		2				
解析学特論Ⅰ	2		2				
解析学特論Ⅱ	2		2				
確率統計特論Ⅰ	2		2				
確率統計特論Ⅱ	2		2				
数学教育学特論Ⅰ	2		2				
数学教育学特論Ⅱ	2		2				
数学教育学特論Ⅲ	2		2				
数学教育学特論Ⅳ	2		2				
数学特別講義Ⅰ	2		2				
数学特別講義Ⅱ	2		2				
現代数学概論Ⅰ	2		2				
現代数学概論Ⅱ	2		2				
現代数学概論Ⅲ	2		2				
特別講義	2		2				
地球環境特別研究Ⅰ	4		4				
地球環境特別研究Ⅱ	4		4				
地球環境特別講究Ⅰ	1		1		A群		
地球環境特別講究Ⅱ	1		1				
地球環境特別講究Ⅲ	1		1				
地球環境特別講究Ⅳ	1		1				
情報科学特別研究Ⅰ	4		4				
情報科学特別研究Ⅱ	4		4				
情報科学特別講究Ⅰ	1		1		B群		
情報科学特別講究Ⅱ	1		1				
情報科学特別講究Ⅲ	1		1				
情報科学特別講究Ⅳ	1		1				

情報数理特別研究Ⅰ	4		4	C群	
情報数理特別研究Ⅱ	4		4		
情報数理特別講究Ⅰ	1		1		
情報数理特別講究Ⅱ	1		1		
情報数理特別講究Ⅲ	1		1		
情報数理特別講究Ⅳ	1		1		
基礎数理特別研究Ⅰ	4		4	D群	
基礎数理特別研究Ⅱ	4		4		
基礎数理特別講究Ⅰ	1		1		
基礎数理特別講究Ⅱ	1		1		
基礎数理特別講究Ⅲ	1		1		
基礎数理特別講究Ⅳ	1		1		
学位論文					

Ⅱ　相関理化学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
相関理化学特論	2		2	30単位以上を修得しなければならない。 A群，B群及びC群のいずれかを選択し，特別研究Ⅰ～Ⅳの8単位，特別講究Ⅰ～Ⅳの4単位を修得しなければならない。	
相対性理論特論	2		2		
統計物理学特論	2		2		
原子核・プラズマ特論	2		2		
凝縮系物理学特論	2		2		
固体スペクトロスコピー	2		2		
複雑系科学特論	2		2		
生物分子モーター科学特論	2		2		
物性物理学特論	2		2		
レーザー・電子光学特論	2		2		
量子力学特論	2		2		
超伝導科学特論	2		2		
生物エネルギー科学特論	2		2		
ナノサイエンス特論	2		2		
錯体化学特論	2		2		
生命情報学特論	2		2		
光化学反応特論	2		2		
物性化学特論	2		2		

分子物性特論	2		2			
分子細胞生物学実験特論	2		2			
バイオ分析化学特論	2		2			
反応有機化学特論	2		2			
有機金属化学特論	2		2			
触媒化学特論	2		2			
生体分子化学特論	2		2			
天然機能分子化学特論	2		2			
動物生理学特論	2		2			
生態環境化学特論	2		2			
糖質化学特論	2		2			
タンパク質化学特論	2		2			
動物遺伝生理学特論	2		2			
構造無機化学特論	2		2			
物理有機化学特論	2		2			
量子化学特論	2		2			
電子化学特論	2		2			
現代生態学特論	2		2			
細胞内ダイナミクス特論	2		2			
特別講義Ⅰ	2		2			
特別講義Ⅱ	2		2			
物理学特別研究Ⅰ	2		2			
物理学特別研究Ⅱ	2		2			
物理学特別研究Ⅲ	2		2			
物理学特別研究Ⅳ	2		2			
物理学特別講究Ⅰ	1		1	A群		
物理学特別講究Ⅱ	1		1			
物理学特別講究Ⅲ	1		1			
物理学特別講究Ⅳ	1		1			
生命科学特別研究Ⅰ	2		2			
生命科学特別研究Ⅱ	2		2			
生命科学特別研究Ⅲ	2		2			
生命科学特別研究Ⅳ	2		2			
生命科学特別講究Ⅰ	1		1	B群		

生命科学特別講究Ⅱ	1		1		
生命科学特別講究Ⅲ	1		1		
生命科学特別講究Ⅳ	1		1		
化学特別研究Ⅰ	2		2	C群	
化学特別研究Ⅱ	2		2		
化学特別研究Ⅲ	2		2		
化学特別研究Ⅳ	2		2		
化学特別講究Ⅰ	1		1		
化学特別講究Ⅱ	1		1		
化学特別講究Ⅲ	1		1		
化学特別講究Ⅳ	1		1		
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　地球情報数理科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
サイエンスコミュニケーション 固体地球科学特別研究 流体地球科学特別研究 地球環境特別研究 コンピュータ科学特別研究 数理情報科学特別研究 ソフトウエア科学特別研究 代数学特別研究 幾何学特別研究 解析学特別研究 学位論文	2	2		必修単位数２単位を修得し，専攻科目を定め，当該学科目の指導教授による研究指導を受けなければならない。	

Ⅱ　相関理化学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
サイエンスコミュニケーション 数理物理学特別研究 物性科学特別研究 複雑系科学特別研究	2	2		必修単位数２単位を修得し，専攻科目を定め，当該学科目の指導教授による研究指導を受けなければならない。	

分子機能化学特別研究					
分子制御化学特別研究					
分子創製化学特別研究					
生理科学特別研究					
進化・生態学特別研究					
分子細胞生物学特別研究					
学位論文					

第122条　経済学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

なお，他専攻，他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は，10単位を上限として，修了に必要な単位数に算入することができる。

経済学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
経済理論部門				経済コース，金融コース，公共経済コース，経営コース，会計コース，税法コースを置き，それぞれ必修単位数8単位を含め，合計30単位以上を修得しなければならない。 経済コースは，経済理論部門，経済史・経済学史部門，応用経済部門及び数理科学・情報部門並びに各コースに指定された特殊講義ＩA～ＩEのうちから14単位以上を修得しなければならない。 金融コースは，経済理論部門，金融部門並びに各コースに指定された特殊講義ＩA～ＩEのうちから14単位以上を修得しなければならない。 公共経済コースは，経済理論部門，公共経済部門並びに各コースに指定された特殊講義ＩA～ＩEのうちから14単位以上を修得しなければならない。	
マクロ経済理論	2		2		
上級マクロ経済理論Ⅰ	2		2		
上級マクロ経済理論Ⅱ	2		2		
ミクロ経済理論	2		2		
上級ミクロ経済理論Ⅰ	2		2		
上級ミクロ経済理論Ⅱ	2		2		
ゲーム理論Ⅰ	2		2		
ゲーム理論Ⅱ	2		2		
行動経済学Ⅰ	2		2		
行動経済学Ⅱ	2		2		
経済成長論Ⅰ	2		2		
経済成長論Ⅱ	2		2		
計量経済学Ⅰ	2		2		
計量経済学Ⅱ	2		2		
組織の経済学Ⅰ	2		2		
組織の経済学Ⅱ	2		2		
数理科学・情報部門					
統計学Ⅰ	2		2		
統計学Ⅱ	2		2		
経済統計学Ⅰ	2		2		
経済統計学Ⅱ	2		2		
経営情報論Ⅰ	2		2		

経営情報論Ⅱ	2		2	会計コースは,会計学部門並びに各コースに指定された特殊講義ⅠA～ⅠEのうちから14単位以上を修得しなければならない。 税法コースは,租税・法律部門並びに各コースに指定された特殊講義ⅠA～ⅠEのうちから14単位以上を修得しなければならない。	
情報処理論Ⅰ	2		2		
情報処理論Ⅱ	2		2		
経済史・経済学史部門					
日本経済史Ⅰ	2		2		
日本経済史Ⅱ	2		2		
西洋経済史Ⅰ	2		2		
西洋経済史Ⅱ	2		2		
経済学史Ⅰ	2		2		
経済学史Ⅱ	2		2		
経済思想史Ⅰ	2		2		
経済思想史Ⅱ	2		2		
応用経済部門					
国際経済論Ⅰ	2		2		
国際経済論Ⅱ	2		2		
開発経済論Ⅰ	2		2		
開発経済論Ⅱ	2		2		
比較経済体制論Ⅰ	2		2		
比較経済体制論Ⅱ	2		2		
景気循環論Ⅰ	2		2		
景気循環論Ⅱ	2		2		
国際貿易論Ⅰ	2		2		
国際貿易論Ⅱ	2		2		
労働経済論Ⅰ	2		2		
労働経済論Ⅱ	2		2		
人口経済論Ⅰ	2		2		
人口経済論Ⅱ	2		2		
産業組織論Ⅰ	2		2		
産業組織論Ⅱ	2		2		
日本経済論Ⅰ	2		2		
日本経済論Ⅱ	2		2		
中国経済論Ⅰ	2		2		
中国経済論Ⅱ	2		2		

空間経済学Ⅰ	2		2			
空間経済学Ⅱ	2		2			
公共経済部門						
経済政策論Ⅰ	2		2			
経済政策論Ⅱ	2		2			
公共経済学Ⅰ	2		2			
公共経済学Ⅱ	2		2			
社会保障論Ⅰ	2		2			
社会保障論Ⅱ	2		2			
福祉経済論Ⅰ	2		2			
福祉経済論Ⅱ	2		2			
公共政策論Ⅰ	2		2			
公共政策論Ⅱ	2		2			
財政学Ⅰ	2		2			
財政学Ⅱ	2		2			
環境経済論Ⅰ	2		2			
環境経済論Ⅱ	2		2			
交通経済論Ⅰ	2		2			
交通経済論Ⅱ	2		2			
法と経済学Ⅰ	2		2			
法と経済学Ⅱ	2		2			
都市経済学Ⅰ	2		2			
都市経済学Ⅱ	2		2			
金融部門						
金融論Ⅰ	2		2			
金融論Ⅱ	2		2			
国際金融論Ⅰ	2		2			
国際金融論Ⅱ	2		2			
金融工学Ⅰ	2		2			
金融工学Ⅱ	2		2			
金融システム論Ⅰ	2		2			
金融システム論Ⅱ	2		2			
クレジットリスクマネジメントⅠ	2		2			

クレジットリスクマネジメントⅡ	2		2			
コーポレートファイナンスⅠ	2		2			
コーポレートファイナンスⅡ	2		2			
経営学部門						
国際経営論Ⅰ	2		2			
国際経営論Ⅱ	2		2			
中小企業論Ⅰ	2		2			
中小企業論Ⅱ	2		2			
基礎経営学Ⅰ	2		2			
基礎経営学Ⅱ	2		2			
経営学Ａ Ⅰ	2		2			
経営学Ａ Ⅱ	2		2			
経営学Ｂ Ⅰ	2		2			
経営学Ｂ Ⅱ	2		2			
経営学Ｃ Ⅰ	2		2			
経営学Ｃ Ⅱ	2		2			
経営戦略論Ⅰ	2		2			
経営戦略論Ⅱ	2		2			
経営組織論Ⅰ	2		2			
経営組織論Ⅱ	2		2			
生産管理論Ⅰ	2		2			
生産管理論Ⅱ	2		2			
人的資源管理論Ⅰ	2		2			
人的資源管理論Ⅱ	2		2			
経営史Ⅰ	2		2			
経営史Ⅱ	2		2			
マーケティング論Ⅰ	2		2			
マーケティング論Ⅱ	2		2			
会計学部門						
会計学Ⅰ	2		2			
会計学Ⅱ	2		2			
管理会計論Ⅰ	2		2			
管理会計論Ⅱ	2		2			

財務会計論ＡⅠ	2		2			
財務会計論ＡⅡ	2		2			
財務会計論ＢⅠ	2		2			
財務会計論ＢⅡ	2		2			
財務会計論ＣⅠ	2		2			
財務会計論ＣⅡ	2		2			
監査論Ⅰ	2		2			
監査論Ⅱ	2		2			
原価計算論Ⅰ	2		2			
原価計算論Ⅱ	2		2			
金融会計論Ⅰ	2		2			
金融会計論Ⅱ	2		2			
公会計論Ⅰ	2		2			
公会計論Ⅱ	2		2			
租税・法律部門						
商法Ⅰ	2		2			
商法Ⅱ（企業法）	2		2			
法人税法Ⅰ	2		2			
法人税法Ⅱ	2		2			
所得税法Ⅰ	2		2			
所得税法Ⅱ	2		2			
資産税法	2		2			
国際課税	2		2			
消費税法	2		2			
国税通則法	2		2			
国税徴収法	2		2			
地方税法	2		2			
税務会計	2		2			
租税法総論	2		2			
企業取引課税	2		2			
国税争訟	2		2			
共通						
外国書研究Ⅰ	2		2			

外国書研究Ⅱ	2		2		
特殊講義ⅠA	2		2	修得できる単位数は10単位までとする。	
特殊講義ⅠB	2		2		
特殊講義ⅠC	2		2		
特殊講義ⅠD	2		2		
特殊講義ⅠE	2		2		
特殊講義ⅡA	2		2		
特殊講義ⅡB	4		4		
演習	8	8			
学位論文					

2　博士後期課程

履修方法に基づき，6単位以上を修得しなければならない。

経済学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
専攻分野					
理論経済学研究	2		2	専攻分野から専攻科目2単位,当該学科目担当の指導教授による特別演習2単位及び特別研究指導Ⅰ2単位の合計6単位以上を修得しなければならない。	
統計学研究	2		2		
経済学研究	2		2		
経済政策論研究	2		2		
財政学研究	2		2		
金融論研究	2		2		
経営学研究	2		2		
会計学研究	2		2		
商学研究	2		2		
税法研究	2		2		
情報科学研究	2		2		
演習・特別指導					
特別演習	2	2			
特別研究指導Ⅰ	2	2			
特別研究指導Ⅱ	2		2		
特別研究指導Ⅲ	2		2		
学位論文					

第123条　商学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，32単位以上を修得しなければならない。

なお，他専攻，他研究科又は他大学院の授業科目の履修により修得した単位及び本研究科入学前既修得の単位は，10単位を上限として，修了に必要な単位数に算入することができる。

Ⅰ　商学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
商学(総論)特殊講義 A	2		2	外国文献研究2単位及び商学演習4単位を含め,合計32単位以上を修得しなければならない。 外国文献研究は,外国文献研究(英)を必修とするが,日本語を母語としない場合に限り，外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち，いずれかを修得しなければならない。	
商学(総論)特殊講義 B	2		2		
マーケティング論特殊講義 A	2		2		
マーケティング論特殊講義 B	2		2		
サービス・マーケティング特殊講義 A	2		2		
サービス・マーケティング特殊講義 B	2		2		
マーケティング・マネジメント特殊講義 A	2		2		
マーケティング・マネジメント特殊講義 B	2		2		
グローバル・マーケティング特殊講義 A	2		2		
グローバル・マーケティング特殊講義 B	2		2		
エリア・マーケティング特殊講義 A	2		2		
エリア・マーケティング特殊講義 B	2		2		
消費者行動論特殊講義 A	2		2		
消費者行動論特殊講義 B	2		2		
ブランド・マネジメント特殊講義 A	2		2		
ブランド・マネジメント特殊講義 B	2		2		
商業史特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
商業史特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
商業史特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
商業史特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
金融史特殊講義 A	2		2		
金融史特殊講義 B	2		2		
産業経済論特殊講義 A	2		2		

産業経済論特殊講義 B	2		2			
協同組合論特殊講義 A	2		2			
協同組合論特殊講義 B	2		2			
社会保障論特殊講義 A	2		2			
社会保障論特殊講義 B	2		2			
貿易論特殊講義 A	2		2			
貿易論特殊講義 B	2		2			
戦略マーケティング特殊講義 A	2		2			
戦略マーケティング特殊講義 B	2		2			
物流論特殊講義 A	2		2			
物流論特殊講義 B	2		2			
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義 A	2		2			
マーケティング・コミュニケーション論特殊講義 B	2		2			
マーケティング・リサーチ特殊講義 A	2		2			
マーケティング・リサーチ特殊講義 B	2		2			
観光マーケティング特殊講義 A	2		2			
観光マーケティング特殊講義 B	2		2			
国際ビジネス論特殊講義 A	2		2			
国際ビジネス論特殊講義 B	2		2			
金融論特殊講義 A	2		2			
金融論特殊講義 B	2		2			
企業金融論特殊講義 A	2		2			
企業金融論特殊講義 B	2		2			
金融機関論特殊講義 A	2		2			
金融機関論特殊講義 B	2		2			
証券市場論特殊講義 A	2		2			
証券市場論特殊講義 B	2		2			
国際金融論特殊講義 A	2		2			
国際金融論特殊講義 B	2		2			
保険論特殊講義 A	2		2			
保険論特殊講義 B	2		2			
商学演習	4	4				

関連科目					
マクロ経済学特殊講義 A	2		2		
マクロ経済学特殊講義 B	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 A	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2		
財政学特殊講義 A	2		2		
財政学特殊講義 B	2		2		
リサーチ・メソドロジーA	2		2		
リサーチ・メソドロジーB	2		2		
外国文献研究(英)	2		2		
外国文献研究(日)	2		2		
外国文献研究(独)	2		2		
外国文献研究(仏)	2		2		
外国文献研究(中)	2		2		
ワークショップ A	2		2		
ワークショップ B	2		2		
フィールド・スタディA	2		2		
フィールド・スタディB	2		2		
学位論文					

Ⅱ　経営学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
経営学特殊講義(Ⅰ)A	2		2	外国文献研究2単位及び経営学演習4単位を含め，合計32単位以上を修得しなければならない。 外国文献研究は,外国文献研究(英)を必修とするが,日本語を母語としない場合に限り，外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち，いずれかを修得しなければならない。	
経営学特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
経営学特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
経営学特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
企業形態論特殊講義 A	2		2		
企業形態論特殊講義 B	2		2		
企業倫理論特殊講義 A	2		2		
企業倫理論特殊講義 B	2		2		
経営経済学特殊講義 A	2		2		
経営経済学特殊講義 B	2		2		
経営学説史特殊講義 A	2		2		

経営学説史特殊講義 B	2		2			
産業・組織心理学特殊講義A	2		2			
産業・組織心理学特殊講義B	2		2			
経営管理論特殊講義(Ⅰ)A	2		2			
経営管理論特殊講義(Ⅰ)B	2		2			
経営管理論特殊講義(Ⅱ)A	2		2			
経営管理論特殊講義(Ⅱ)B	2		2			
経営戦略論特殊講義 A	2		2			
経営戦略論特殊講義 B	2		2			
生産管理論特殊講義 A	2		2			
生産管理論特殊講義 B	2		2			
人的資源管理論特殊講義(Ⅰ)A	2		2			
人的資源管理論特殊講義(Ⅰ)B	2		2			
人的資源管理論特殊講義(Ⅱ)A	2		2			
人的資源管理論特殊講義(Ⅱ)B	2		2			
経営財務論特殊講義 A	2		2			
経営財務論特殊講義 B	2		2			
情報マネジメント論特殊講義 A	2		2			
情報マネジメント論特殊講義 B	2		2			
テクノロジー・マネジメント特殊講義A	2		2			
テクノロジー・マネジメント特殊講義B	2		2			
経営分析論特殊講義 A	2		2			
経営分析論特殊講義 B	2		2			
経 営 史 特 殊 講 義 A	2		2			
経 営 史 特 殊 講 義 B	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅰ)A	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅰ)B	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅱ)A	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅱ)B	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅲ)A	2		2			
経営組織論特殊講義(Ⅲ)B	2		2			
ベンチャー企業経営論特殊講義A	2		2			

ベンチャー企業経営論特殊講義B	2		2		
中小企業経営論特殊講義A	2		2		
中小企業経営論特殊講義B	2		2		
グローバル・マネジメント論特殊講義A	2		2		
グローバル・マネジメント論特殊講義B	2		2		
医療経営管理論特殊講義A	2		2		
医療経営管理論特殊講義B	2		2		
経営学演習	4	4			
関連科目					
マクロ経済学特殊講義 A	2		2		
マクロ経済学特殊講義 B	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 A	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2		
財政学特殊講義 A	2		2		
財政学特殊講義 B	2		2		
リサーチ・メソドロジーA	2		2		
リサーチ・メソドロジーB	2		2		
外国文献研究(英)	2		2		
外国文献研究(日)	2		2		
外国文献研究(独)	2		2		
外国文献研究(仏)	2		2		
外国文献研究(中)	2		2		
ワークショップ A	2		2		
ワークショップ B	2		2		
フィールド・スタディ A	2		2		
フィールド・スタディ B	2		2		
学位論文					

Ⅲ　会計学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
財務会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2	外国文献研究2単位及び会計学演習4単位を含め，合計32単位以上を修得しなければならない。	
財務会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
財務会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		

財務会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2	外国文献研究は,外国文献研究(英)を必修とするが,日本語を母語としない場合に限り，外国文献研究(日)を修得することができる。 リサーチ・メソドロジーA又はリサーチ・メソドロジーBのうち，いずれかを修得しなければならない。	
制度会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
制度会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
制度会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
制度会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
簿記論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
簿記論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
簿記論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
簿記論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
原価計算論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
原価計算論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
原価計算論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
原価計算論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
管理会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
管理会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
管理会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
管理会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
税務会計論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
税務会計論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
税務会計論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
税務会計論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
監査論特殊講義(Ⅰ)A	2		2		
監査論特殊講義(Ⅰ)B	2		2		
監査論特殊講義(Ⅱ)A	2		2		
監査論特殊講義(Ⅱ)B	2		2		
財務諸表分析論特殊講義A	2		2		
財務諸表分析論特殊講義B	2		2		
国際会計論特殊講義 A	2		2		
国際会計論特殊講義 B	2		2		
会計学演習	4	4			
関連科目					
マクロ経済学特殊講義 A	2		2		
マクロ経済学特殊講義 B	2		2		

ミクロ経済学特殊講義 A	2		2		
ミクロ経済学特殊講義 B	2		2		
財政学特殊講義 A	2		2		
財政学特殊講義 B	2		2		
リサーチ・メソドロジーA	2		2		
リサーチ・メソドロジーB	2		2		
外国文献研究(英)	2		2		
外国文献研究(日)	2		2		
外国文献研究(独)	2		2		
外国文献研究(仏)	2		2		
外国文献研究(中)	2		2		
ワークショップ A	2		2		
ワークショップ B	2		2		
フィールド・スタディ A	2		2		
フィールド・スタディ B	2		2		
学位論文					

２　博士後期課程

履修方法に基づき，８単位を修得しなければならない。

Ⅰ　商学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
関連科目				必修単位数8単位を修得し,研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
商学特殊研究					
商業史特殊研究					
マーケティング特殊研究					
貿易論特殊研究					
物流論特殊研究					
金融論特殊研究					
保険論特殊研究					

流通システム論特殊研究					
学　位　論　文					

Ⅱ　経営学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
関連科目				必修単位数8単位を修得し,研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
経営学特殊研究					
人的資源管理論特殊研究					
経営組織論特殊研究					
中小企業経営論特殊研究					
企業形態論特殊研究					
企業倫理論特殊研究					
経営管理論特殊研究					
経営史特殊研究					
経営分析論特殊研究					
学　位　論　文					

Ⅲ　会計学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
関連科目				必修単位数8単位を修得し,研究指導教員担当の特殊研究による研究指導を受けなければならない。	
理論構築特殊研究A	2	2			
理論構築特殊研究B	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究A	2	2			
グローバル・リサーチ特殊研究B	2	2			
財務会計論特殊研究					
管理会計論特殊研究					
税務会計論特殊研究					
監査論特殊研究					
財務諸表分析論特殊研究					
学　位　論　文					

第124条　芸術学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

Ⅰ　文芸学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論部門					
文芸学特論Ⅰ	4		4	左記のうちから，分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
文芸学特論Ⅱ	4		4		
哲学特論	4		4		
芸術心理学特論	4		4		
文芸情報学特論	4		4		
マスコミュニケーション論	4		4		
メディア論	4		4		
文芸史特論	4		4		
芸術社会学特論	4		4		
文芸表現特論	4		4		
B 研究・創作部門					
外国文芸特殊研究	4		4	1科目選択必修	
日本文芸特殊研究	4		4		
文芸創作特殊研究	4		4		
外国文芸特論Ⅰ	4		4		
外国文芸特論Ⅱ	4		4		
日本文芸特論Ⅰ	4		4		
日本文芸特論Ⅱ	4		4		
文芸創作特論Ⅰ	4		4		
文芸創作特論Ⅱ	4		4		
C 関連領域部門					
芸術学特論	4		4		
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		

日本美術史特論Ⅰ	2		2		
日本美術史特論Ⅱ	2		2		
西洋美術史特論Ⅰ	2		2		
西洋美術史特論Ⅱ	2		2		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅱ　映像芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論部門					
映像特論	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
写真史特論	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
映像構成特論	4		4		
映像技術特論	4		4		
映像音響特論	4		4		
映像教育研究	4		4		
B 演習・実習部門					
映像表現研究Ⅰ	4		4	1科目選択必修	
写真特殊研究Ⅰ	4		4		
映画特殊研究Ⅰ	4		4		
放送特殊研究Ⅰ	4		4		
映像メディア特殊研究Ⅰ	4		4		
映像作品特殊研究Ⅰ	4		4		
映像技術特殊研究Ⅰ	4		4		

映像表現研究Ⅱ	2		2			
写真特殊研究Ⅱ	2		2			
映画特殊研究Ⅱ	2		2			
放送特殊研究Ⅱ	2		2			
映像メディア特殊研究Ⅱ	2		2			
映像作品特殊研究Ⅱ	2		2			
映像技術特殊研究Ⅱ	2		2			
C 関連領域部門						
芸術学特論	4	4				
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2			
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2			
文芸学特論Ⅰ	4		4			
文芸学特論Ⅱ	4		4			
哲学特論	4		4			
芸術心理学特論	4		4			
文芸情報学特論	4		4			
マスコミュニケーション論	4		4			
メディア論	4		4			
文芸史特論	4		4			
芸術社会学特論	4		4			
造形特論	4		4			
建築造形特論	4		4			
デザイン史特論Ⅰ	2		2			
デザイン史特論Ⅱ	2		2			
建築デザイン史特論Ⅰ	2		2			
建築デザイン史特論Ⅱ	2		2			
日本美術史特論Ⅰ	2		2			
日本美術史特論Ⅱ	2		2			
西洋美術史特論Ⅰ	2		2			
西洋美術史特論Ⅱ	2		2			
音楽芸術特論Ⅰ	4		4			
音楽芸術特論Ⅱ	4		4			
日本音楽史特論	4		4			

西洋音楽史特論	4		4		
情報音楽特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
舞台芸術特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
舞踊史特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
映像文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅲ 造形芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論部門					
造形特論	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。ただし,デザイン実務研究は修了に必要な単位数に算入しない。	
建築造形特論	4		4		
日本美術史特論Ⅰ	2		2		
日本美術史特論Ⅱ	2		2		
西洋美術史特論Ⅰ	2		2		
西洋美術史特論Ⅱ	2		2		
デザイン史特論Ⅰ	2		2		
デザイン史特論Ⅱ	2		2		
建築デザイン史特論Ⅰ	2		2		
建築デザイン史特論Ⅱ	2		2		
美術教育研究Ⅰ	2		2		
美術教育研究Ⅱ	2		2		
B 演習・実習部門					

造形芸術研究Ⅰ(絵画･版画)	4		4	1科目選択必修	
造形芸術研究Ⅰ(彫刻)	4		4		
造形芸術研究Ⅰ(デザイン)	4		4		
造形理論研究Ⅰ	4		4		
造形芸術研究Ⅱ(絵画･版画)	2		2	1科目選択必修	
造形芸術研究Ⅱ(彫刻)	2		2		
造形芸術研究Ⅱ(デザイン)	2		2		
造形理論研究Ⅱ	2		2		
絵画特殊研究Ⅰ	2		2		
絵画特殊研究Ⅱ	2		2		
版画特殊研究Ⅰ	2		2		
版画特殊研究Ⅱ	2		2		
彫刻特殊研究Ⅰ	2		2		
彫刻特殊研究Ⅱ	2		2		
デザイン特殊研究Ⅰ	2		2		
デザイン特殊研究Ⅱ	2		2		
デザイン特殊研究Ⅲ	2		2		
絵画作品研究Ⅰ	2		2		
絵画作品研究Ⅱ	2		2		
版画作品研究Ⅰ	2		2		
版画作品研究Ⅱ	2		2		
彫刻作品研究Ⅰ	2		2		
彫刻作品研究Ⅱ	2		2		
デザイン作品研究Ⅰ	2		2		
デザイン作品研究Ⅱ	2		2		
デザイン作品研究Ⅲ	2		2		
デザイン作品研究Ⅳ	2		2		
デザイン実務研究	4		4		
C 関連領域部門					
芸術学特論	4		4		
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
文芸学特論Ⅰ	4		4		

哲学特論	4		4		
文芸情報学特論	4		4		
映像特論	4		4		
写真史特論	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
音楽芸術特論Ⅰ	4		4		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		
情報音楽特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
舞台芸術特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
芸術心理学特論	4		4		
芸術社会学特論	4		4		
造形文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅳ　音楽芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論部門					
音楽芸術特論Ⅰ	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
音楽芸術特論Ⅱ	4		4		
日本音楽史特論	4		4		
西洋音楽史特論	4		4		
情報音楽特論	4		4		

音楽教育特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
B 演習・実習部門					
作曲特殊研究	4		4		
声楽特殊研究	4		4		
器楽特殊研究	4		4		
音楽学研究	4		4	1科目選択必修	
音楽教育研究	4		4		
情報音楽研究	4		4		
音楽理論研究Ⅰ	2		2		
音楽理論研究Ⅱ	2		2		
音楽表現研究Ⅰ	2		2		
音楽表現研究Ⅱ	2		2		
音楽作品研究	2		2		
指揮研究	2		2		
C 関連領域部門					
芸術学特論	4	4			
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
造形特論	4		4		
映像特論	4		4		
映像構成特論	4		4		
映像音響特論	4		4		
放送史特論	4		4		
演劇史特論	4		4		
舞踊史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
日本美術史特論Ⅰ	2		2		
日本美術史特論Ⅱ	2		2		
西洋美術史特論Ⅰ	2		2		
西洋美術史特論Ⅱ	2		2		
文芸史特論	4		4		
哲学特論	4		4		

音楽文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

Ⅴ 舞台芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史部門					
舞台芸術特論	4		4	左記のうちから,分野を問わず30単位以上を選択履修しなければならない。	
演劇史特論	4		4		
舞踊史特論	4		4		
民俗芸能特論	4		4		
古典劇特論	4		4		
応用演劇特論	4		4		
アート･マネージメント特論	4		4		
B 演習・実習部門					
舞台表現研究	4		4	1科目選択必修	
舞踊特殊研究	4		4		
戯曲特殊研究	4		4		
舞台演出特殊研究	4		4		
舞台美術特殊研究	4		4		
古典演劇特殊研究	4		4		
民俗芸能特殊研究	4		4		
応用演劇特殊研究	4		4		
C 関連領域部門					
芸術学特論	4	4			
リサーチ特殊研究Ⅰ	2		2		
リサーチ特殊研究Ⅱ	2		2		
メディア論	4		4		
映像特論	4		4		

造形特論	4		4		
音楽芸術特論Ⅰ	4		4		
音楽芸術特論Ⅱ	4		4		
映画史特論	4		4		
放送史特論	4		4		
映像音響特論	4		4		
音楽心理学特論	4		4		
演劇文献原典講読	4		4		
D 連携研究部門					
連携理論研究Ⅰ	2		2		
連携理論研究Ⅱ	2		2		
連携表現研究Ⅰ	2		2		
連携表現研究Ⅱ	2		2		
学位論文・作品・制作					

2　博士後期課程

Ⅰ　芸術専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
A 理論・歴史研究領域				A理論・歴史研究領域から必修単位を含めて4単位以上，B表現研究領域から2単位以上及びC特定研究領域4単位の合計10単位以上を履修しなければならない。	
芸術学特殊研究	2	2			
映像理論特殊研究	2		2		
写真史特殊研究	2		2		
映画史特殊研究	2		2		
写真技術特殊研究	2		2		
映像技術特殊研究	2		2		
造形理論特殊研究	2		2		
美術史特殊研究	2		2		
デザイン史特殊研究	2		2		
文芸理論特殊研究	2		2		
文芸史特殊研究	2		2		
舞台芸術理論特殊研究	2		2		
演劇史特殊研究	2		2		
メディア・コミュニケーション特殊研究	2		2		

音楽理論特殊研究	2		2		
音楽史特殊研究	2		2		
芸術教育特殊研究	2		2		
B 表現研究領域					
映像表現特別研究	2		2		
造形表現特別研究	2		2		
文芸表現特別研究	2		2		
舞台表現特別研究	2		2		
音楽表現特別研究	2		2		
C 特定研究領域					
芸術研究特別演習	4	4			
学位論文					

第125条　国際関係研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

国際関係研究専攻

(1)　標準コース

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際関係分野 国際関係論関連				国際関係分野，国際文化分野からそれぞれ4単位以上合計32単位以上を履修しなければならない。	
国際関係研究A1	2		2		
国際関係研究A2	2		2		
国際関係研究B1	2		2		
国際関係研究B2	2		2		
国際関係研究C1	2		2		
国際関係研究C2	2		2		
安全保障研究1	2		2		
安全保障研究2	2		2		
戦略論研究1	2		2		
戦略論研究2	2		2		
地域研究A1	2		2		
地域研究A2	2		2		
地域研究B1	2		2		
地域研究B2	2		2		
地域研究C1	2		2		
地域研究C2	2		2		
国際関係法関連					
国際法研究A1	2		2		
国際法研究A2	2		2		
国際法研究B1	2		2		

国際法研究B2	2		2			
国際私法研究1	2		2			
国際私法研究2	2		2			
比較法研究1	2		2			
比較法研究2	2		2			
国際経済関連						
国際経済研究A1	2		2			
国際経済研究A2	2		2			
国際経済研究B1	2		2			
国際経済研究B2	2		2			
国際経済研究C1	2		2			
国際経済研究C2	2		2			
地域経済研究A1	2		2			
地域経済研究A2	2		2			
地域経済研究B1	2		2			
地域経済研究B2	2		2			
地域経済研究C1	2		2			
地域経済研究C2	2		2			
国際貿易研究1	2		2			
国際貿易研究2	2		2			
国際経営研究A1	2		2			
国際経営研究A2	2		2			
国際経営研究B1	2		2			
国際経営研究B2	2		2			
国際金融研究1	2		2			
国際金融研究2	2		2			
国際投資研究1	2		2			

国際投資研究2	2		2			
地域産業振興研究1	2		2			
地域産業振興研究2	2		2			
国際環境・資源関連						
国際環境研究1	2		2			
国際環境研究2	2		2			
国際資源研究1	2		2			
国際資源研究2	2		2			
国際協力関連						
国際協力研究1	2		2			
国際協力研究2	2		2			
国際開発研究1	2		2			
国際開発研究2	2		2			
国際IT・情報関連						
情報管理研究1	2		2			
情報管理研究2	2		2			
国際IT戦略研究1	2		2			
国際IT戦略研究2	2		2			
国際文化分野						
地域文化関連						
地域文化研究A1	2		2			
地域文化研究A2	2		2			
地域文化研究B1	2		2			
地域文化研究B2	2		2			
地域文化研究C1	2		2			
地域文化研究C2	2		2			
地域文化研究D1	2		2			

地域文化研究D2	2		2			
地域文化研究E1	2		2			
地域文化研究E2	2		2			
地域文化研究F1	2		2			
地域文化研究F2	2		2			
地域文化研究G1	2		2			
地域文化研究G2	2		2			
地域文化研究H1	2		2			
地域文化研究H2	2		2			
比較文化関連						
比較文化研究A1	2		2			
比較文化研究A2	2		2			
比較文化研究B1	2		2			
比較文化研究B2	2		2			
比較文化研究C1	2		2			
比較文化研究C2	2		2			
比較文化研究D1	2		2			
比較文化研究D2	2		2			
比較文化研究E1	2		2			
比較文化研究E2	2		2			
比較文化研究F1	2		2			
比較文化研究F2	2		2			
国際表象文化関連						
国際表象文化研究A1	2		2			
国際表象文化研究A2	2		2			
国際表象文化研究B1	2		2			
国際表象文化研究B2	2		2			

国際表象文化研究C1	2		2		
国際表象文化研究C2	2		2		
比較社会関連					
比較社会研究A1	2		2		
比較社会研究A2	2		2		
比較社会研究B1	2		2		
比較社会研究B2	2		2		
比較社会研究C1	2		2		
比較社会研究C2	2		2		
比較社会研究D1	2		2		
比較社会研究D2	2		2		
比較社会研究E1	2		2		
比較社会研究E2	2		2		
翻訳学関連					
翻訳理論1	2		2		
翻訳理論2	2		2		
翻訳法1	2		2		
翻訳法2	2		2		
外国文献研究A1	2		2		
外国文献研究A2	2		2		
外国文献研究B1	2		2		
外国文献研究B2	2		2		
外国文献研究C1	2		2		
外国文献研究C2	2		2		
特別講座Ⅰ	2		2		
特別講座Ⅱ	2		2		
研究指導Ⅰ	4	4			
研究指導Ⅱ	4	4			

学　位　論　文					

(2)　1年コース

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
国際関係分野				国際関係分野,国際文化分野からそれぞれ4単位以上合計32単位以上を履修しなければならない。	
国際関係論関連					
国際関係研究A1	2		2		
国際関係研究A2	2		2		
国際関係研究B1	2		2		
国際関係研究B2	2		2		
国際関係研究C1	2		2		
国際関係研究C2	2		2		
安全保障研究1	2		2		
安全保障研究2	2		2		
戦略論研究1	2		2		
戦略論研究2	2		2		
地域研究A1	2		2		
地域研究A2	2		2		
地域研究B1	2		2		
地域研究B2	2		2		
地域研究C1	2		2		
地域研究C2	2		2		
国際関係法関連					
国際法研究A1	2		2		
国際法研究A2	2		2		
国際法研究B1	2		2		
国際法研究B2	2		2		
国際私法研究1	2		2		

国際私法研究2	2		2			
比較法研究1	2		2			
比較法研究2	2		2			
国際経済関連						
国際経済研究A1	2		2			
国際経済研究A2	2		2			
国際経済研究B1	2		2			
国際経済研究B2	2		2			
国際経済研究C1	2		2			
国際経済研究C2	2		2			
地域経済研究A1	2		2			
地域経済研究A2	2		2			
地域経済研究B1	2		2			
地域経済研究B2	2		2			
地域経済研究C1	2		2			
地域経済研究C2	2		2			
国際貿易研究1	2		2			
国際貿易研究2	2		2			
国際経営研究A1	2		2			
国際経営研究A2	2		2			
国際経営研究B1	2		2			
国際経営研究B2	2		2			
国際金融研究1	2		2			
国際金融研究2	2		2			
国際投資研究1	2		2			
国際投資研究2	2		2			
地域産業振興研究1	2		2			

地域産業振興研究2	2		2			
国際環境・資源関連						
国際環境研究1	2		2			
国際環境研究2	2		2			
国際資源研究1	2		2			
国際資源研究2	2		2			
国際協力関連						
国際協力研究1	2		2			
国際協力研究2	2		2			
国際開発研究1	2		2			
国際開発研究2	2		2			
国際IT・情報関連						
情報管理研究1	2		2			
情報管理研究2	2		2			
国際IT戦略研究1	2		2			
国際IT戦略研究2	2		2			
国際文化分野						
地域文化関連						
地域文化研究A1	2		2			
地域文化研究A2	2		2			
地域文化研究B1	2		2			
地域文化研究B2	2		2			
地域文化研究C1	2		2			
地域文化研究C2	2		2			
地域文化研究D1	2		2			
地域文化研究D2	2		2			
地域文化研究E1	2		2			

地域文化研究E2	2		2			
地域文化研究F1	2		2			
地域文化研究F2	2		2			
地域文化研究G1	2		2			
地域文化研究G2	2		2			
地域文化研究H1	2		2			
地域文化研究H2	2		2			
比較文化関連						
比較文化研究A1	2		2			
比較文化研究A2	2		2			
比較文化研究B1	2		2			
比較文化研究B2	2		2			
比較文化研究C1	2		2			
比較文化研究C2	2		2			
比較文化研究D1	2		2			
比較文化研究D2	2		2			
比較文化研究E1	2		2			
比較文化研究E2	2		2			
比較文化研究F1	2		2			
比較文化研究F2	2		2			
国際表象文化関連						
国際表象文化研究A1	2		2			
国際表象文化研究A2	2		2			
国際表象文化研究B1	2		2			
国際表象文化研究B2	2		2			
国際表象文化研究C1	2		2			
国際表象文化研究C2	2		2			

比較社会関連					
比較社会研究A1	2		2		
比較社会研究A2	2		2		
比較社会研究B1	2		2		
比較社会研究B2	2		2		
比較社会研究C1	2		2		
比較社会研究C2	2		2		
比較社会研究D1	2		2		
比較社会研究D2	2		2		
比較社会研究E1	2		2		
比較社会研究E2	2		2		
翻訳学関連					
翻訳理論1	2		2		
翻訳理論2	2		2		
翻訳法1	2		2		
翻訳法2	2		2		
外国文献研究A1	2		2		
外国文献研究A2	2		2		
外国文献研究B1	2		2		
外国文献研究B2	2		2		
外国文献研究C1	2		2		
外国文献研究C2	2		2		
特別講座Ⅰ	2		2		
特別講座Ⅱ	2		2		
研究指導Ⅰ	4	4			
研究指導Ⅱ	4	4			
学位論文					

2　博士後期課程

国際関係研究専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際関係分野				国際関係分野,国際文化分野からそれぞれ４単位以上合計12単位以上を履修し，指導教授の特別指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受けなければならない。	
国際関係特別研究	4		4		
国際政治特別研究	4		4		
地域統合特別研究	4		4		
国際経済特別研究	4		4		
日米経済特別研究	4		4		
国際貿易特別研究	4		4		
国際経営特別研究	4		4		
国際金融特別研究	4		4		
国際開発協力特別研究	4		4		
国際環境･資源特別研究	4		4		
国際文化分野					
日米関係史特別研究	4		4		
西洋文化特別研究	4		4		
東洋文化特別研究	4		4		
日英比較文化・文学特別研究	4		4		
日米比較文化・文学特別研究	4		4		
日独比較文化・文学特別研究	4		4		
日仏比較文化・文学特別研究	4		4		
日本比較文化・文学特別研究	4		4		
異文化コミュニケーション特別研究	4		4		
特別研究指導Ⅰ					
特別研究指導Ⅱ					
特別研究指導Ⅲ					
学位論文					

第125条の２　危機管理学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

１　修士課程

危機管理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基盤科目				必修を含め，指導人材コースはコア科目から８単位以上及び発展科目から12単位上，実務コースはコア科目から８単位以上及び発展科目から コンプライアンス実務特講 レピュテーションリスク実務特講 国際人道支援実務特講 地域防災連携実務特講 から６単位以上選択必修とし，12単位以上，合計32単位以上を修得しなければならない。	
危機管理学方法論１(リスクリテラシー)	2	2			
危機管理学方法論２(比較研究・外書)	2	2			
アカデミック・ライティング＆リサーチ	2	2			
研究倫理	2	2			
リーガルマインド	2		2		
講義科目					
コア科目					
危機管理法制１(企業・取引)	2		2		
危機管理法制２(企業・組織)	2		2		
危機管理法制３(企業・経済)	2		2		
危機管理法制４(行政・国家)	2		2		
危機管理法制５(行政・地域)	2		2		
危機管理法制６(行政・国際)	2		2		
発展科目					
リスクコミュニケーション特講	2		2		
リスク・政策分析特講	2		2		
情報戦略特講	2		2		
防災・減災政策特講	2		2		
リスク心理特講	2		2		
企業リスクマネジメント特講	2		2		
リスクファイナンス法特講	2		2		
ロジスティクス法特講	2		2		
企業広報特講	2		2		
社会安全・治安維持特講	2		2		

犯罪・刑事司法特講	2		2		
テロリズム対策特講	2		2		
災害救援･官民協力特講	2		2		
コンプライアンス実務特講	2		2		
レピュテーションリスク実務特講	2		2		
国際人道支援実務特講	2		2		
地域防災連携実務特講	2		2		
統合演習科目					
危機管理学研究演習Ⅰ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅱ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅲ	1	1			
危機管理学研究演習Ⅳ	1	1			

第125条の３　スポーツ科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

１　修士課程

スポーツ科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基本科目				必修を含め，合計30単位以上を修得しなければならない。	
スポーツ科学総論1	2	2			
スポーツ科学総論2	2	2			
スポーツ科学研究法	2	2			
専門科目					
スポーツ科学分野					
バイオメカニクス特論	2		2		
運動生理学特論	2		2		
スポーツ栄養学特論	2		2		
スポーツリハビリテーション特論	2		2		
スポーツ医学特論	2		2		
コーチング学特論	2		2		
トレーニング学特論	2		2		
スポーツ心理学特論	2		2		
スポーツ社会学特論	2		2		
関連分野					
スポーツ統計学特論	2		2		
スポーツ英語演習Ⅰ	2		2		
スポーツ英語演習Ⅱ	2		2		
スポーツマネジメント特論	2		2		
研究指導					
特別研究Ⅰ	4	4			
特別研究Ⅱ	4	4			

第126条　理工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

Ⅰ　土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
土木工学基礎特論	2	2		特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中，必修科目2単位，A群から2単位以上及びB群から8単位以上を含め14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
(A群)					
公共政策特論	2		2	このうちから，2単位以上を修得しなければならない。	
設計事業特論	2		2		
建設事業特論	2		2		
(B群)					
計算力学演習Ⅰ	1		1	このうちから，8単位以上を修得しなければならない。	
計算力学演習Ⅱ	1		1		
固体の有限要素法演習	1		1		
地震応答解析演習	1		1		
地震応答解析法	2		2		
耐震設計法	2		2		
固体の連続体力学と有限要素法	2		2		
コンクリート材料の特性	2		2		
土質力学特論	2		2		
土質動力学特論	2		2		
土木計画数理特論	2		2		
都市計画特論	2		2		
都市交通計画特論	2		2		
水理学･流体力学演習	1		1		
応用水理学演習	1		1		

基礎水理学特論	2		2		
水理学特論	2		2		
河川水理学特論	2		2		
海岸流体力学特論	2		2		
環境解析学特論	2		2		
環境反応学特論	2		2		
風工学特論	2		2		
構造同定と振動制御	2		2		
構造メンテナンス工学	2		2		
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造の設計検証と維持管理	2		2		
構造デザイン論	2		2		
ｺﾝｸﾘｰﾄの耐久性と維持管理ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	2		2		
ジオシンセティックス材料	2		2		
地盤防災特論	2		2		
地盤工学特論	2		2		
土木地質学特論	2		2		
社会資本制度特論	2		2		
インフラ整備政策特論	2		2		
交通プロジェクト評価特論	2		2		
港湾・空港政策特論	2		2		
海岸・港湾工学特論	2		2		
環境技術･低炭素事業論	2		2		
水環境学特論	2		2		
空間情報工学特論	2		2		
土木工学特別演習	2		2		
土木構造学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
土質力学特別研究	6		6		
土木計画学特別研究	6		6		
河海工学特別研究	6		6		
環境工学特別研究	6		6		
土木材料特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅱ　交通システム工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
				特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中,各領域から必修科目2単位を含め6単位以上,演習1又は演習2のいずれか2単位を修得しなければならない。	
(交通システム施設工学領域)					
エンジニアリング基礎特論	2	2			
構 造 工 学 特 論	2		2		
交 通 地 盤 工 学 特 論	2		2	必修科目2単位を含め6単位以上を修得しなければならない。	
コンクリート工学特論	2		2		
交通施設メンテナンス工学特論	2		2		
エンジニアリングセンシング技術特論	2		2		
(交通システム計画・工学領域)					
インフラ整備政策特論	2		2		
交通プロジェクト評価特論	2		2		
交通システム政策特論	2		2		
Transportation Systems Analysis and Planning	2		2		
交　通　流　理　論	2		2		
交通システム工学特論	2		2	必修科目2単位を含め6単位以上を修得しなければならない。	
都 市 交 通 計 画 特 論	2		2		
空間情報システム工学特論	2		2		
社 会 環 境 通 論	2		2		
交 通 環 境 工 学 特 論	2		2		
データ処理プロファイリング特論	2		2		
交通システム計画･工学特論	2	2			
Academic Writing and Presentation for Engineers Ⅰ	2		2		
Academic Writing and Presentation for Engineers Ⅱ	2		2		
交通システム施設工学演習A	1		1	演習1	
交通システム施設工学演習B	1		1		

交通システム計画・工学演習A	1		1	演習2	
交通システム計画・工学演習B	1		1		
交通システム施設工学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
交通システム計画・工学特別研究	6		6		
学　位　論　文					

Ⅲ　建築学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
建築保存修復学特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。また,建築学インターンシップⅠ～Ⅴについては修了に必要な単位数に算入しない。	
建築史意匠特論	2		2		
近代建築史特論	2		2		
建築構造特論Ⅰ	2		2		
建築構造特論Ⅱ	2		2		
木質構造特論	2		2		
建築構造解析特論	2		2		
空間構造デザイン特論	2		2		
荷重・安全特論	2		2		
耐震設計特論	2		2		
構造動力学特論	2		2		
地震工学特論	2		2		
塑性解析特論	2		2		
建築基礎構造特論Ⅰ	2		2		
建築基礎構造特論Ⅱ	2		2		
鉄筋コンクリート工学特論	2		2		
軽量構造特論	2		2		
建築材料特論Ⅰ	2		2		
建築材料特論Ⅱ	2		2		
防災工学特論	2		2		
建築計画特論Ⅰ	2		2		
建築計画特論Ⅱ	2		2		
建築設計計画特論	2		2		
都市計画特論	2		2		
都市居住環境特論	2		2		

都市デザイン特論	2		2		
都市再生特論	2		2		
建築環境工学特論Ⅰ	2		2		
建築環境工学特論Ⅱ	2		2		
建築環境工学特論Ⅲ	2		2		
建築環境工学特論Ⅳ	2		2		
建築構造設計演習	2		2		
建築構造計画演習Ⅰ	2		2		
建築構造計画演習Ⅱ	2		2		
建築設備計画演習	2		2		
建築設計演習	2		2		
建築デザインⅠ	4		4		
建築デザインⅡ	4		4		
サスティナブルデザイン特論	2		2		
設計方法特論	2		2		
建築設計マネージメント特論	2		2		
司法と建築	2		2		
建築学特別講義	2		2		
建築設計ワークショップ	2		2		
建築プログラミング	2		2		
建築学インターンシップⅠ	4		4		
建築学インターンシップⅡ	4		4		
建築学インターンシップⅢ	4		4		
建築学インターンシップⅣ	4		4		
建築学インターンシップⅤ	4		4		
建築学特別演習	4		4		
建築史特別研究	6		6		
建築計画特別研究	6		6		
建築設計特別研究	6		6		
都市計画特別研究	6		6	このうちから，いずれか6単位を修得すること。	
環境工学特別研究	6		6		
建築材料学特別研究	6		6		
建築構造学特別研究	6		6		
防災工学特別研究	6		6		

学位論文・制作					

Ⅳ　海洋建築工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（環境系科目群）				特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし，特別研究以外の単位中，必修科目2単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。また，海洋建築工学インターンシップⅠ・Ⅱ及び海洋工学特論Ⅰ～Ⅳについては修了に必要な単位数に算入しない。	
海洋環境工学特論Ⅰ（海洋物理環境）	2		2		
海洋環境工学特論Ⅱ（海洋化学生物環境）	2		2		
海洋環境マネジメント特論	2		2		
海洋システム工学特論	2		2		
海洋計測工学特論	2		2		
水波工学特論	2		2		
（計画系科目群）					
海洋建築計画特論	2		2		
海洋建築デザイン特論	2		2		
海洋建築ユニバーサルデザイン特論	2		2		
ウォーターフロント計画特論	2		2		
親水環境計画特論	2		2		
港湾空間計画特論	2		2		
海洋空間利用計画特論	2		2		
沿岸防災計画特論	2		2		
（構造系科目群）					
海洋建築構造工学特論Ⅰ（構造システム工学）	2		2		
海洋建築構造工学特論Ⅱ（地震リスク評価）	2		2		
耐震構造設計特論	2		2		
コンクリート構造工学特論	2		2		
応答制御構造設計特論	2		2		
地盤基礎工学特論	2		2		
浮体工学特論	2		2		
海洋構造物建設特論	2		2		
海洋構造物設計特論	2		2		
沿岸構造物設計特論	2		2		
（総合科目群）					
海洋建築工学特別講義Ⅰ	2		2		

海洋建築工学特別講義Ⅱ	2		2		
海洋建築技術者倫理	2		2		
海洋建築プロジェクトマネジメント	2		2		
計算工学特論Ⅰ	2		2		
計算工学特論Ⅱ	2		2		
海洋建築情報システム工学特論	2		2		
海洋工学特論Ⅰ	2		2		
海洋工学特論Ⅱ	2		2		
海洋工学特論Ⅲ	2		2		
海洋工学特論Ⅳ	2		2		
海洋建築工学インターンシップⅠ	3		3		
海洋建築工学インターンシップⅡ	3		3		
海洋建築特別演習	2	2			
海洋環境工学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
海洋空間利用計画特別研究	6		6		
海洋建築構造工学特別研究	6		6		
海洋建築工学特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅴ　まちづくり工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
まちづくり政策特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中，必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
プロジェクトマネジメント特論	2		2		
都市デザイン特論	2		2		
市街地整備特論	2		2		
地域・都市経営特論	2		2		
環境心理学特論	2		2		
まちづくり特別講義	2		2		
環境まちづくり特論	2		2		
治水とまちづくり特論	2		2		
防災まちづくり特論	2		2		
景観まちづくり特論	2		2		
観光まちづくり特論	2		2		

景観・観光行政特論	2		2		
歴史まちづくり特論	2		2		
社会と福祉まちづくり特論	2		2		
健康･医療とまちづくり特論	2		2		
福祉と支援テクノロジー特論	2		2		
まちづくりプロジェクト演習	1		1		
インターンシップ	1		1		
まちづくり工学特別演習Ⅰ	2	2			
まちづくり工学特別演習Ⅱ	2	2			
都市･地域マネジメント工学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
環境･防災まちづくり工学特別研究	6		6		
景観･観光まちづくり工学特別研究	6		6		
健康･福祉まちづくり工学特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅵ　機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用弾性学特論Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
応用弾性学特論Ⅱ	2		2		
弾塑性学Ⅰ	2		2		
弾塑性学Ⅱ	2		2		
塑性力学特論Ⅰ	2		2		
塑性力学特論Ⅱ	2		2		
機械力学特論	2		2		
振動工学特論Ⅰ	2		2		
振動工学特論Ⅱ	2		2		
生産工学特論Ⅰ	2		2		
生産工学特論Ⅱ	2		2		
塑性加工学特論Ⅰ	2		2		
塑性加工学特論Ⅱ	2		2		
工作法特論	2		2		
熱工学特論Ⅰ	2		2		
熱工学特論Ⅱ	2		2		

熱工学特論Ⅲ	2		2		
熱工学特論Ⅳ	2		2		
機械工学特別講義Ⅰ	2		2		
機械工学特別講義Ⅱ	2		2		
自動車工学特論Ⅰ	2		2		
自動車工学特論Ⅱ	2		2		
自動車工学特論Ⅲ	2		2		
流体工学特論Ⅰ	2		2		
流体工学特論Ⅱ	2		2		
流体工学特論Ⅲ	2		2		
静粛工学特論	2		2		
数値流体力学	2		2		
混相流体力学	2		2		
制御工学特論	2		2		
機械材料Ⅰ	2		2		
機械材料Ⅱ	2		2		
熱機関特論Ⅰ	2		2		
熱機関特論Ⅱ	2		2		
応用数学Ⅰ	2		2		
応用数学Ⅱ	2		2		
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ・ｽｷﾙⅠ	2		2		
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ・ｽｷﾙⅡ	2		2		
機械工学演習	2		2		
弾塑性学特別研究	6		6	このうちから，いずれか6単位を修得すること。	
熱工学特別研究	6		6		
流体工学特別研究	6		6		
工作法特別研究	6		6		
熱機関特別研究	6		6		
自動車工学特別研究	6		6		
機械力学特別研究	6		6		
金属材料特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅶ　精密機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
精密計測特論Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
精密計測特論Ⅱ	2		2		
制御工学特論	2		2		
システム工学特論Ⅰ	2		2		
システム工学特論Ⅱ	2		2		
ロボット制御工学特論Ⅰ	2		2		
ロボット制御工学特論Ⅱ	2		2		
ロボットシステム特論Ⅰ	2		2		
ロボットシステム特論Ⅱ	2		2		
人間工学特論Ⅰ	2		2		
人間工学特論Ⅱ	2		2		
エネルギー変換工学特論Ⅰ	2		2		
エネルギー変換工学特論Ⅱ	2		2		
薄板構造力学特論	2		2		
材料加工学特論Ⅰ	2		2		
材料加工学特論Ⅱ	2		2		
微小機械設計特論Ⅰ	2		2		
微小機械設計特論Ⅱ	2		2		
マイクロシステム特論Ⅰ	2		2		
マイクロシステム特論Ⅱ	2		2		
半導体集積回路特論Ⅰ	2		2		
半導体集積回路特論Ⅱ	2		2		
物質工学特論Ⅰ	2		2		
物質工学特論Ⅱ	2		2		
安全設計工学特論	2		2		
情報素子特論	2		2		
音波工学特論	2		2		
応用数学Ⅰ	2		2		
応用数学Ⅱ	2		2		
有限要素法	2		2		
精密機械工学特別講義	2		2		

計測工学特別研究	6		6	このうちから，いずれか6単位を修得しなければならない。	
制御工学特別研究	6		6		
人間工学特別研究	6		6		
熱流体工学特別研究	6		6		
機械加工学特別研究	6		6		
微小機械設計特別研究	6		6		
マイクロシステム特別研究	6		6		
電子・機能性材料特別研究	6		6		
精密工学特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅷ　航空宇宙工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用数学Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
応用数学Ⅱ	2		2		
流体力学特論Ⅰ	2		2		
流体力学特論Ⅱ	2		2		
流体力学特論Ⅲ	2		2		
流体力学特論Ⅳ	2		2		
流体力学特論Ⅴ	2		2		
宇宙推進システム	2		2		
最適化手法Ⅰ	2		2		
最適化手法Ⅱ	2		2		
応用流体力学特論Ⅰ	2		2		
応用流体力学特論Ⅱ	2		2		
応用流体力学特論Ⅲ	2		2		
航空宇宙推進工学特論Ⅰ	2		2		
航空宇宙推進工学特論Ⅱ	2		2		
航空宇宙推進工学特論Ⅲ	2		2		
安全工学特論	2		2		
宇宙機力学特論	2		2		
航空宇宙制御論Ⅰ	2		2		
航空宇宙制御論Ⅱ	2		2		

航空宇宙制御論Ⅲ	2		2		
航空原動機	2		2		
飛行力学特論	2		2		
柔軟構造解析	2		2		
システム工学特論	2		2		
破壊力学	2		2		
極限環境材料学	2		2		
宇宙機システム工学	2		2		
航空宇宙材料工学特論	2		2		
航空宇宙材料強度学	2		2		
宇宙航行力学	2		2		
宇宙科学	2		2		
宇宙環境工学	2		2		
航空宇宙工学特別研究	6		6	このうちから，いずれか6単位を修得しなければならない。	
流体工学特別研究	6		6		
制御工学特別研究	6		6		
熱工学特別研究	6		6		
構造工学特別研究	6		6		
学位論文					

Ⅸ　電気工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気機器特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
パワーエレクトロニクス特論	2		2		
制御工学特論	2		2		
現代制御特論	2		2		
エネルギー工学特論	2		2		
電力システム	2		2		
エネルギー環境工学特論	2		2		
列車制御特論	2		2		
電子デバイス特論	2		2		
機能デバイス特論	2		2		
メディカルエレクトロニクス	2		2		

計測工学特論	2		2		
画像処理特論	2		2		
電子回路CAD特論	2		2		
コンピュータグラフィックス	2		2		
回路とシステム特論	2		2		
信号処理特論	2		2		
情報工学特論	2		2		
電磁理論特論	2		2		
電磁波工学特論	2		2		
光エレクトロニクス特論	2		2		
光センシング特論	2		2		
量子エレクトロニクス	2		2		
音響工学特論	2		2		
超音波工学特論	2		2		
物性科学特論	2		2		
応用物性工学特論	2		2		
量子デバイス工学特論	2		2		
超伝導特論	2		2		
レーザ工学特論	2		2		
放電プラズマ工学特論	2		2		
先端科学技術特論	2		2		
電気工学特別講義	2		2		
エネルギー・制御特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
通信・情報・音響特別研究	6		6		
材料・エレクトロニクス特別研究	6		6		
学位論文					

X　電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気・電子回路特論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
符号理論特論	2		2		
パターン認識特論	2		2		
オートマトン論	2		2		

電子計測工学特論	2		2		
制御基礎論	2		2		
制御工学特論	2		2		
電磁波工学特論	2		2		
宇宙通信システム工学	2		2		
マイクロ波素子	2		2		
磁気工学特論	2		2		
磁気物性工学特論	2		2		
電子材料特論Ⅰ	2		2		
電子材料特論Ⅱ	2		2		
半導体集積回路Ⅰ	2		2		
半導体集積回路Ⅱ	2		2		
量子エレクトロニクス	2		2		
光システム	2		2		
情報通信システム特論	2		2		
画像工学特論	2		2		
通信理論特論	2		2		
通信制御特論	2		2		
システム工学特論	2		2		
電子システム工学	2		2		
信頼性工学	2		2		
メディカルエレクトロニクス	2		2		
音波工学特論	2		2		
光工学特論	2		2		
情報ネットワーク特論	2		2		
コンピュータシステム特論	2		2		
情報・記憶素子特論	2		2		
電子物理計測・分析	2		2		
回路･制御工学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
電子材料･デバイス工学特別研究	6		6		
情報工学特別研究	6		6		
通信･光工学特別研究	6		6		
学位論文					

ＸＩ　情報科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報論	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
数値解析特論	2		2		
シミュレーション特論	2		2		
オートマトン論	2		2		
システム工学特論	2		2		
符号理論特論	2		2		
言語理論	2		2		
データベース	2		2		
画像工学特論	2		2		
パターン認識特論	2		2		
人工知能Ⅰ	2		2		
人工知能Ⅱ	2		2		
人工心システム特論Ⅰ	2		2		
人工心システム特論Ⅱ	2		2		
組込システム特論	2		2		
情報・記憶素子特論	2		2		
光工学特論	2		2		
コンピュータシステム特論	2		2		
ソフトウェア工学特論	2		2		
情報通信システム特論	2		2		
情報ネットワーク特論	2		2		
情報メディア論	2		2		
コンピュータグラフィックス	2		2		
メディカルエレクトロニクス	2		2		
生体情報科学	2		2		
マン･マシンシステム	2		2		
交通情報応用工学	2		2		
情報科学特別講義	2		2		

情報処理・ソフトウェア工学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
組込みシステム・システム工学特別研究	6		6		
情報メディア・ネットワーク特別研究	6		6		
知能・情報システム特別研究	6		6		
学　位　論　文					

ⅩⅡ　物質応用化学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
（物質化学領域）				特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。	
無機化学特論Ⅰ	2		2	ただし，特別研究以外の単位中，必修科目6単位，各領域から4単位以上合計12単位以上，応用化学特別講義Ⅱ～Ⅳのうちから2単位以上，修得しなければならない。 このうちから，4単位以上を修得しなければならない。	
無機化学特論Ⅱ	2		2		
物理化学特論Ⅰ	2		2		
物理化学特論Ⅱ	2		2		
有機機能材料特論	2		2		
有機物質化学特論	2		2		
有機合成化学特論	2		2		
（応用化学領域）					
無機材料化学特論	2		2	このうちから，4単位以上を修得しなければならない。	
分析化学特論Ⅰ	2		2		
分析化学特論Ⅱ	2		2		
資源環境工学特論	2		2		
エネルギー資源化学特論	2		2		
化学工学特論Ⅰ	2		2		
化学工学特論Ⅱ	2		2		
化学工学特論Ⅲ	2		2		
高分子合成化学特論	2		2		
高分子構造特論	2		2		
高分子物性特論	2		2		
環境化学特論	2		2		

（生命化学領域）					
生化学特論	2		2	このうちから，4単位以上を修得しなければならない。	
有機応用化学特論	2		2		
資源天然物化学特論	2		2		
微生物生理学	2		2		
生体高分子特論	2		2		
細胞生物学特論	2		2		
応用化学特別講義Ⅰ	2	2			
応用化学特別講義Ⅱ	2		2	このうちから，2単位以上を修得しなければならない。	
応用化学特別講義Ⅲ	2		2		
応用化学特別講義Ⅳ	2		2		
応用化学特別演習Ⅰ	2	2			
応用化学特別演習Ⅱ	2	2			
物質化学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
応用化学特別研究	6		6		
生命化学特別研究	6		6		
学位論文					

ⅩⅢ　物理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
素粒子物理学Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中，必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
素粒子物理学Ⅱ	2		2		
量子力学特論Ⅰ	2		2		
量子力学特論Ⅱ	2		2		
一般相対論Ⅰ	2		2		
一般相対論Ⅱ	2		2		
原子核物理学Ⅰ	2		2		
原子核物理学Ⅱ	2		2		
原子核反応論特論Ⅰ	2		2		
原子核反応論特論Ⅱ	2		2		
統計物理学特論Ⅰ	2		2		
統計物理学特論Ⅱ	2		2		
多体問題特論Ⅰ	2		2		

多体問題特論Ⅱ	2		2			
物性物理学特論Ⅰ	2		2			
物性物理学特論Ⅱ	2		2			
超伝導特論Ⅰ	2		2			
超伝導特論Ⅱ	2		2			
低温物理学特論	2		2			
プラズマ物理学特論Ⅰ	2		2			
プラズマ物理学特論Ⅱ	2		2			
高温プラズマ加熱特論Ⅰ	2		2			
高温プラズマ加熱特論Ⅱ	2		2			
量子物理学	2		2			
電磁力学	2		2			
統計力学	2		2			
固体電子論Ⅰ	2		2			
固体電子論Ⅱ	2		2			
科学史特論Ⅰ	2		2			
科学史特論Ⅱ	2		2			
場の理論特論Ⅰ	2		2			
場の理論特論Ⅱ	2		2			
非線形物理学	2		2			
宇宙物理学特論Ⅰ	2		2			
宇宙物理学特論Ⅱ	2		2			
天体物理学特論Ⅰ	2		2			
天体物理学特論Ⅱ	2		2			
高エネルギー宇宙物理学特論Ⅰ	2		2			
高エネルギー宇宙物理学特論Ⅱ	2		2			
磁気流体力学Ⅰ	2		2			
磁気流体力学Ⅱ	2		2			
数理情報学特論	2		2			
生物物理学特論Ⅰ	2		2			
生物物理学特論Ⅱ	2		2			
量子ビーム科学特論Ⅰ	2		2			
量子ビーム科学特論Ⅱ	2		2			

物理学講究Ⅰ	2	2			
物理学講究Ⅱ	2	2			
場の理論特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
量子ビーム科学特別研究	6		6		
物性物理学理論特別研究	6		6		
プラズマ物理学特別研究	6		6		
物性物理学実験特別研究	6		6		
生物物理学特別研究	6		6		
科学史特別研究	6		6		
宇宙物理学特別研究	6		6		
数理情報学特別研究	6		6		
学位論文					

ⅩⅣ　数学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
解析学特論ⅠA	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中，必修科目4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
解析学特論ⅠB	2		2		
解析学特論ⅡA	2		2		
解析学特論ⅡB	2		2		
解析学特論ⅢA	2		2		
解析学特論ⅢB	2		2		
幾何学特論ⅠA	2		2		
幾何学特論ⅠB	2		2		
幾何学特論ⅡA	2		2		
幾何学特論ⅡB	2		2		
代数学特論ⅠA	2		2		
代数学特論ⅠB	2		2		
代数学特論ⅡA	2		2		
代数学特論ⅡB	2		2		
応用数学特論ⅠA	2		2		
応用数学特論ⅠB	2		2		
応用数学特論ⅡA	2		2		

応用数学特論ⅡB	2		2		
応用数学特論ⅢA	2		2		
応用数学特論ⅢB	2		2		
確率及び統計学特論A	2		2		
確率及び統計学特論B	2		2		
応用解析学特論A	2		2		
応用解析学特論B	2		2		
計算数学特論A	2		2		
計算数学特論B	2		2		
数学特別演習A	2	2			
数学特別演習B	2	2			
応用数学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
幾何学特別研究	6		6		
解析学特別研究	6		6		
代数学特別研究	6		6		
学位論文					

ＸＶ　地理学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
自然地理学特論Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし,特別研究以外の単位中,調査法1又は調査法2のいずれか4単位を含めて14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
自然地理学特論Ⅱ	2		2		
自然環境変遷学特論Ⅰ	2		2		
自然環境変遷学特論Ⅱ	2		2		
人文地理学特論Ⅰ	2		2		
人文地理学特論Ⅱ	2		2		
歴史地理学特論Ⅰ	2		2		
歴史地理学特論Ⅱ	2		2		
経済地理学特論Ⅰ	2		2		
経済地理学特論Ⅱ	2		2		
産業地理学特論Ⅰ	2		2		
産業地理学特論Ⅱ	2		2		
自然災害科学特論Ⅰ	2		2		
自然災害科学特論Ⅱ	2		2		

社会地理学特論Ⅰ	2		2			
社会地理学特論Ⅱ	2		2			
文化地理学特論Ⅰ	2		2			
文化地理学特論Ⅱ	2		2			
観光地理学特論Ⅰ	2		2			
観光地理学特論Ⅱ	2		2			
地域景観特論Ⅰ	2		2			
地域景観特論Ⅱ	2		2			
地誌学特論Ⅰ	2		2			
地誌学特論Ⅱ	2		2			
比較地域特論Ⅰ	2		2			
比較地域特論Ⅱ	2		2			
地理情報科学特論Ⅰ	2		2			
地理情報科学特論Ⅱ	2		2			
地理情報技術特論Ⅰ	2		2			
地理情報技術特論Ⅱ	2		2			
環境地理学特論Ⅰ	2		2			
環境地理学特論Ⅱ	2		2			
環境情報科学特論Ⅰ	2		2			
環境情報科学特論Ⅱ	2		2			
気候環境学特論Ⅰ	2		2			
気候環境学特論Ⅱ	2		2			
地球科学特論Ⅰ	2		2			
地球科学特論Ⅱ	2		2			
プロセス地形学特論Ⅰ	2		2			
プロセス地形学特論Ⅱ	2		2			
人文地理学特別講義	2		2			
自然地理学特別講義	2		2			
地理情報科学特別講義	2		2			
人文地理学調査法Ⅰ	2		2	調査法1		
人文地理学調査法Ⅱ	2		2			
自然地理学調査法Ⅰ	2		2	調査法2		
自然地理学調査法Ⅱ	2		2			

自然地理学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
人文地理学特別研究	6		6		
地理情報科学特別研究	6		6		
学位論文					

ⅩⅥ　量子理工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
量子力学Ⅰ	2		2	特別研究6単位を含めて30単位以上を修得しなければならない。 ただし，特別研究以外の単位中，必修科目4単位及び先端科学技術特論・量子科学フロンティアのいずれか2単位を含め14単位以上は左記の授業科目から修得しなければならない。	
量子力学Ⅱ	2		2		
統計物理学Ⅰ	2		2		
統計物理学Ⅱ	2		2		
力学特論	2		2		
電磁気学特論	2		2		
計測工学特論	2		2		
量子力学特論Ⅰ	2		2		
量子力学特論Ⅱ	2		2		
素粒子物理学Ⅰ	2		2		
素粒子物理学Ⅱ	2		2		
場の理論特論Ⅰ	2		2		
場の理論特論Ⅱ	2		2		
加速器科学Ⅰ	2		2		
加速器科学Ⅱ	2		2		
放射線科学	2		2		
マイクロ波物理学	2		2		
X線光学	2		2		
核融合特論	2		2		
原子力エネルギー工学	2		2		
プラズマ科学	2		2		
原子光学特論	2		2		
量子情報科学	2		2		
量子光学	2		2		
光エレクトロニクス	2		2		
非線形物理学	2		2		

計算機シミュレーションⅠ	2		2		
計算機シミュレーションⅡ	2		2		
先端科学技術特論	2		2	このうちから，2単位以上を修得しなければならない。	
量子科学フロンティア	2		2		
量子理工学講究Ⅰ	2	2			
量子理工学講究Ⅱ	2	2			
加速器･放射線科学特別研究	6		6	このうちから,いずれか6単位を修得しなければならない。	
プラズマ・核融合科学特別研究	6		6		
素粒子論・量子論特別研究	6		6		
量子物性科学特別研究	6		6		
非線型数理シミュレーション特別研究	6		6		
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
土木工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
土木構造学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
土質力学特別研究	8		8		
土木計画学特別研究	8		8		
河海工学特別研究	8		8		
環境工学特別研究	8		8		
土木材料特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅱ　交通システム工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
交通システム工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
交通システム施設工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
交通システム計画・工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅲ　建築学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
建築学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
建築史特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
建築計画特別研究	8		8		
都市計画特別研究	8		8		
環境工学特別研究	8		8		
建築材料学特別研究	8		8		
建築構造学特別研究	8		8		
防災工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅳ　海洋建築工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
海洋建築工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
海洋環境工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
海洋空間利用計画特別研究	8		8		
海洋建築構造工学特別研究	8		8		
海洋建築工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅴ　まちづくり工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
まちづくり工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
都市・地域マネジメント工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
環境・防災まちづくり工学特別研究	8		8		
景観・観光まちづくり工学特別研究	8		8		
健康・福祉まちづくり工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅵ　機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
機械工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
弾塑性学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
熱工学特別研究	8		8		
流体工学特別研究	8		8		
工作法特別研究	8		8		
熱機関特別研究	8		8		
自動車工学特別研究	8		8		
機械力学特別研究	8		8		
金属材料特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅶ　精密機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
精密機械工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
計測工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
制御工学特別研究	8		8		
人間工学特別研究	8		8		
熱流体工学特別研究	8		8		
機械加工学特別研究	8		8		
微小機械設計特別研究	8		8		
マイクロシステム特別研究	8		8		
電子・機能性材料特別研究	8		8		
精密工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅷ　航空宇宙工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
航空宇宙工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	

航空宇宙工学特別研究	8		8		
流体工学特別研究	8		8		
制御工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
熱工学特別研究	8		8		
構造工学特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅸ　電気工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
エネルギー・制御特別研究	8		8		
通信・情報・音響特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
材料・エレクトロニクス特別研究	8		8		
学位論文					

Ⅹ　電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電子工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
回路・制御工学特別研究	8		8		
電子材料・デバイス工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
情報工学特別研究	8		8		
通信・光工学特別研究	8		8		
学位論文					

ⅩⅠ　情報科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
情報科学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
情報処理・ソフトウェア工学特別研究	8		8		
組込みシステム・システム工学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
情報メディア・ネットワーク特別研究	8		8		
知能・情報システム特別研究	8		8		

学　位　論　文					

ＸⅡ　物質応用化学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物質応用化学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
物質化学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
応用化学特別研究	8		8		
生命化学特別研究	8		8		
学　位　論　文					

ＸⅢ　物理学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
物理学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
場の理論特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
量子ビーム科学特別研究	8		8		
物性物理学理論特別研究	8		8		
プラズマ物理学特別研究	8		8		
物性物理学実験特別研究	8		8		
生物物理学特別研究	8		8		
科学史特別研究	8		8		
宇宙物理学特別研究	8		8		
数理情報学特別研究	8		8		
学　位　論　文					

ＸⅣ　数学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
数学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
応用数学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
幾何学特別研究	8		8		
解析学特別研究	8		8		
代数学特別研究	8		8		

学　位　論　文					

ＸＶ　地理学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
地理学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
自然地理学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
人文地理学特別研究	8		8		
地理情報科学特別研究	8		8		
学　位　論　文					

ＸＶＩ　量子理工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
量子理工学特別講義	2	2		必修科目2単位及び特別研究8単位を修得しなければならない。	
加速器･放射線科学特別研究	8		8	このうちから,いずれか8単位を修得しなければならない。	
プラズマ・核融合科学特別研究	8		8		
素粒子論・量子論特別研究	8		8		
量子物性科学特別研究	8		8		
非線型数理シミュレーション特別研究	8		8		
学　位　論　文					

第127条　生産工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，33単位以上を修得しなければならない。

Ⅰ　生産工学系科目（各専攻共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
横断科目				必修単位数５単位以上，選択単位数は，横断科目から６単位以上，計13単位以上修得しなければならない。	
電磁気・モーター技術特講	2		2		
インフラメンテナンス特講	2		2		
地球環境特講	2		2		
医療工学特講	2		2		
データサイエンス特講	2		2		
産業社会論特講	2		2		
生産技術マネジメント特講	2		2		
リスクマネジメント特講	2		2		
エネルギーマネジメント特講	2		2		
基盤科目					
技術者英語特講	1	1			
応用数理特講	2		2		
応用物理学特講	2		2		
物性化学特講	2		2		
実習科目					
生産工学特別演習Ⅰ	2	2			
生産工学特別演習Ⅱ	2	2			
生産工学特別実習	2		2		

Ⅱ　機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用数学Ⅰ	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に，他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
応用数学Ⅱ	2		2		
機械力学特講Ⅰ	2		2		
機械力学特講Ⅱ	2		2		

構造力学特講	2		2		
弾性学特講Ⅰ	2		2		
弾性学特講Ⅱ	2		2		
計算力学特講	2		2		
熱力学特講Ⅰ	2		2		
熱力学特講Ⅱ	2		2		
伝熱工学特講	2		2		
流体工学特講Ⅰ	2		2		
流体工学特講Ⅱ	2		2		
機械材料学特講	2		2		
機械加工学特講	2		2		
材料加工学特講	2		2		
制御工学特講Ⅰ	2		2		
制御工学特講Ⅱ	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
機械工学特別研究Ⅰ	3	3			
機械工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

Ⅲ　電気電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
電気電子数学特講	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に，他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
電磁場論特講	2		2		
回路網理論特講	2		2		
電子回路特講	2		2		
磁気物性工学特講	2		2		
ナノ半導体デバイス特講	2		2		
エネルギー変換特講	2		2		
制御工学特講	2		2		
電気音響工学特講	2		2		
非破壊検査工学特講	2		2		
照明工学特講	2		2		

光電子工学特講	2		2		
電磁波工学特講	2		2		
ワイヤレス通信工学特講	2		2		
システム工学特講	2		2		
ロボット工学特講	2		2		
人工知能特講	2		2		
イメージ工学特講	2		2		
超音波工学特講	2		2		
車両駆動エレクトロニクス特講	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
電気電子工学特別研究Ⅰ	3	3			
電気電子工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

Ⅳ　土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
構造力学特講	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に，他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
構造工学特講	2		2		
耐震工学特講	2		2		
水理学特講	2		2		
水工学特講	2		2		
環境マネジメント工学特講	2		2		
土質力学特講	2		2		
地盤工学特講	2		2		
道路工学特講	2		2		
コンクリート工学特講	2		2		
鉄筋コンクリート工学特講	2		2		
資源システム工学	2		2		
土木システム計画学	2		2		
建設マネジメント	2		2		
地域社会論	2		2		
国土情報工学特講	2		2		

横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
土木工学特別研究Ⅰ	3	3			
土木工学特別研究Ⅱ	3	3			
学　位　論　文					

Ⅴ　建築工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
建　築　史　特　講	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に，他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。ただし，インターンシップⅠ～Ⅱについては，修了に必要な単位数に算入しない。	
建築構造学特講Ⅰ	2		2		
建築構造学特講Ⅱ	2		2		
建築構造学特講Ⅲ	2		2		
建築構造学特講Ⅳ	2		2		
建　築　材　料　学　特　講	2		2		
建　築　施　工　特　講	2		2		
建　築　計　画　特　講	2		2		
都市地域空間計画特講	2		2		
建築デザイン特講	2		2		
建築環境工学特講	2		2		
建　築　設　備　特　講	2		2		
建築マネジメント特講	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅰ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅱ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅲ	2		2		
大学院スタジオ演習Ⅳ	2		2		
インターンシップⅠ	4		4		
インターンシップⅡ	4		4		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
建築工学特別研究Ⅰ	3	3			
建築工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文・制作					

Ⅵ　応用分子化学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
無機材料物性学	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に，他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
高分子工学特講	2		2		
機能性無機材料	2		2		
高分子材料化学特講	2		2		
分析化学特講	2		2		
資源利用化学	2		2		
有機反応論	2		2		
応用分子化学特講Ⅰ	2		2		
応用分子化学特講Ⅱ	2		2		
光機能性物質化学	2		2		
流体熱力学物性	2		2		
分子生物化学	2		2		
遺伝子工学	2		2		
微生物生産工学	2		2		
生体機能化学	2		2		
高分子物性特講	2		2		
分離システム工学	2		2		
化学安全工学	2		2		
有機金属化学	2		2		
有機元素化学	2		2		
化学プラント工学	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
応用分子化学特別研究Ⅰ	3	3			
応用分子化学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

Ⅶ　マネジメント工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
販売流通管理特講	2		2	必修単位数６単位以上，選択単位数14単位以上，計20単位以上修得しなけ	
情報システム論特講	2		2		

組織行動論特講	2		2	ればならない。上記単位数に,他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
情報工学特講	2		2		
Ｕ　Ｘ　特　講	2		2		
開発・生産・流通システム特講	2		2		
生産管理特講	2		2		
品質管理特講	2		2		
品質工学特講	2		2		
人間工学特講	2		2		
安全人間工学特講	2		2		
戦略・マーケティング工学特講	2		2		
感性工学特講	2		2		
デザインエンジニアリング特講	2		2		
環境マネジメントシステム特講	2		2		
人間・機械システム特講	2		2		
ビジネスシミュレーション特講	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
マネジメント工学特別研究Ⅰ	3	3			
マネジメント工学特別研究Ⅱ	3	3			
学　位　論　文					

Ⅷ　数理情報工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
応用数学特講	2		2	必修単位数６単位以上,選択単位数14単位以上,計20単位以上修得しなければならない。上記単位数に,他専攻の専攻科目を６単位まで算入することができる。	
メディアデザイン工学特講	2		2		
数値解析特講	2		2		
数理計画法特講	2		2		
固体力学特講	2		2		
流体力学特講	2		2		
計算力学特講	2		2		
数値計算法特講	2		2		

ダイナミックシステム特講	2		2		
応用代数学特講	2		2		
統計解析特講	2		2		
振動学特講	2		2		
非線形振動学特講	2		2		
情報理論特講	2		2		
情報数学特講	2		2		
情報論理特講	2		2		
インタラクティブシステム特講	2		2		
メディアシステム工学特講	2		2		
複雑知能システム特講	2		2		
アルゴリズム特講	2		2		
インタラクションデザイン特講	2		2		
セマンティック・ウェブ特講	2		2		
画像解析特講	2		2		
情報ネットワーク特講	2		2		
知能工学特講	2		2		
情報セキュリティ特講	2		2		
アルゴリズミックデザイン特講	2		2		
人間・空間センシング特講	2		2		
機械学習特講	2		2		
横断プログラム特別演習Ⅰ	1		1		
横断プログラム特別演習Ⅱ	1		1		
数理情報工学特別研究Ⅰ	3	3			
数理情報工学特別研究Ⅱ	3	3			
学位論文					

2　博士後期課程

履修方法に基づき，２単位以上を修得しなければならない。

Ⅰ　機械工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
機械工学特別特講 弾性学特別研究 機械力学特別研究 熱･流体工学特別研究 生産加工学特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 弾性学特別研究 機械力学特別研究 熱・流体工学特別研究 生産加工学特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅱ　電気電子工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
電気電子工学特別講義 電気エネルギーシステム工学特別研究 電子情報通信工学システム特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 電気エネルギーシステム工学特別研究 電子情報通信工学システム特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅲ　土木工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
土木工学特別特講 構造工学特別研究 水工学特別研究 地盤工学特別研究 建設材料学特別研究 計画・施工特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 構造工学特別研究 水工学特別研究 地盤工学特別研究 建設材料学特別研究 計画・施工特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅳ　建築工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　　考
建築工学特別特講 建築構造学特別研究	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。	

建築材料学特別研究 建築設計計画特別研究 建築環境工学特別研究 学　位　論　文				建築構造学特別研究 建築材料学特別研究 建築設計計画特別研究 建築環境工学特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅴ　応用分子化学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
応用分子化学特別総論 高分子工学特別研究 応用生化学特別研究 有機応用化学特別研究 化学工学特別研究 無機応用化学特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 高分子工学特別研究 応用生化学特別研究 有機応用化学特別研究 化学工学特別研究 無機応用化学特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅵ　マネジメント工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
マネジメント工学特別特講 生産･品質工学特別研究 流通･経営戦略特別研究 安全･人間工学特別研究 経営･情報システム特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 生産･品質工学特別研究 流通･経営戦略特別研究 安全･人間工学特別研究 経営･情報システム特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

Ⅶ　数理情報工学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
数理情報工学特別特講 数理工学特別研究 情報工学特別研究 計算工学特別研究 メディアデザイン工学特別研究 学　位　論　文	2	2		必修単位数２単位修得しなければならない。 数理工学特別研究 情報工学特別研究 計算工学特別研究 メディアデザイン工学特別研究 のうち，いずれかの研究指導を受けなければならない。	

第128条　工学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士前期課程

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

なお，他専攻の授業科目の履修により修得した単位は，10単位を上限として修了に必要な単位数に算入することができる。

Ⅰ　工学系科目（各専攻共通）

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者共通科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。 ただし,インターナショナル･エンジニアリングコース履修者は,上記の履修方法によらず, LOHAS Engineering, Seminar in EngineeringⅠ, Seminar in EngineeringⅡ, Research in EngineeringⅠ, Research in EngineeringⅡ, Master's Thesis, を必修とし,14単位を修得しなければならない。	
ロハス工学特論	2	2			
LOHAS Engineering	2		2		
【研究関連科目】					
工学セミナーⅠ	2	2			
工学セミナーⅡ	2	2			
工学特別研究Ⅰ	4	4			
工学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					
Seminar in EngineeringⅠ	2		2		
Seminar in EngineeringⅡ	2		2		
Research in EngineeringⅠ	4		4		
Research in EngineeringⅡ	4		4		
Master's Thesis					

Ⅱ　土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位以上,技術者応用科目(A,B,C分野)のうち，専攻分野から4単位以上,専攻以外の分野から2単位以上を含めて8単位以上，合計16単位以上を修得しなければならない。 ただし，インターナショナル･エンジニアリングコース	
構造工学特論	2		2		
水理学特論	2		2		
有限要素解析特論	2		2		
構造信頼性設計特論	2		2		
地盤工学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
A　地盤･構造･防災分野					

岩盤工学特論	2		2	履修者は，上記の履修方法によらず， Structural Engineering, Concrete and Road Engineering, Water Quality Control Engineering, Hydrology and River Engineering, Geotechnical Engineering, History of Civil Engineering, を必修とし，12単位を修得しなければならない。	
社会インフラメンテナンス工学特論	2		2		
コンクリート構造学特論	2		2		
道路工学特論	2		2		
B　環境分野					
水質保全工学特論	2		2		
水文・河川工学特論	2		2		
水環境工学特論	2		2		
環境水理学特論	2		2		
C　地域・交通計画分野					
土木史特論	2		2		
交通工学特論	2		2		
地域計画特論	2		2		
E　インターナショナル分野					
Structural Engineering	2		2		
Concrete and Road Engineering	2		2		
Water Quality Control Engineering	2		2		
Hydrology and River Engineering	2		2		
Geotechnical Engineering	2		2		
History of Civil Engineering	2		2		

Ⅲ　建築学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。 ただし，インターナショナル・エンジニアリングコース履修者は，上記の履修方法によらず， Seismic Design of RC Buildings, Finite Element Method for Engineers, Advanced Building Materials, Building Materials and Sustainability, を必修とし，8単位を修得しなければならない。	
建築設計計画特論Ⅰ	2		2		
都市計画特論	2		2		
建築環境工学特論	2		2		
建築材料学特論Ⅰ	2		2		
構造設計工学特論Ⅰ	2		2		
構造解析特論Ⅰ	2		2		
建築設備防災特論	2		2		
【技術者応用科目】					
建築意匠特論	2		2		

建築設計計画特論Ⅱ	2		2		
地域計画特論	2		2		
住環境学特論	2		2		
建築マネジメント特論	2		2		
建築材料学特論Ⅱ	2		2		
構造設計工学特論Ⅱ	2		2		
構造解析特論Ⅱ	2		2		
建築史特論	2		2		
建築職業倫理特論	2		2		
Seismic Design of RC Buildings	2		2		
Finite Element Method for Engineers	2		2		
Advanced Building Materials	2		2		
Building Materials and Sustainability	2		2		
【インターンシップ科目】					
建築設計計画特別実習	3		3		
建築構造設計特別実習	3		3		
インターンシップⅠ	4		4		
インターンシップⅡ	4		4		

Ⅳ　機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。 ただし，インターナショナル･エンジニアリングコース履修者は，上記の履修方法によらず， Material Science, Solid Mechanics, Advanced topics in fluid dynamics, Impact and Cellular Biomechanics, を必修とし，8単位を修得しなければならない。	
材料力学特論	2		2		
熱工学特論	2		2		
流体力学特論	2		2		
機械力学特論	2		2		
機械材料特論	2		2		
材料加工学特論	2		2		
制御工学特論	2		2		
先端機械工学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
材料強度学特論	2		2		
生体材料学特論	2		2		

トライボロジー特論	2		2		
数値流体力学特論	2		2		
バイオメカニクス特論	2		2		
機械システム設計特論	2		2		
医用機械工学特論	2		2		
エネルギー変換工学特論	2		2		
Material Science	2		2		
Solid Mechanics	2		2		
Advanced topics in fluid dynamics	2		2		
Impact and Cellular Biomechanics	2		2		

Ⅴ　電気電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位以上を修得しなければならない。	
電磁気学特論	2		2		
電子回路特論	2		2		
量子工学特論	2		2		
制御工学特論	2		2		
半導体デバイス特論	2		2		
知能情報工学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
パワーエレクトロニクス特論	2		2		
電気エネルギー発生工学特論	2		2		
電気機器特論	2		2		
光通信ネットワーク特論	2		2		
通信工学特論	2		2		
映像メディア工学特論	2		2		
電磁波工学特論	2		2		
生体電子計測特論	2		2		
光エレクトロニクス特論	2		2		
数値解析特論	2		2		

Ⅵ　生命応用化学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

【技術者専門科目】				技術者専門科目から6単位以上を修得しなければならない。	
生体無機化学特論	2		2		
糖質化学特論	2		2		
光物理化学特論	2		2		
生命分子工学特論	2		2		
有機材料化学特論	2		2		
分光分析化学特論	2		2		
医用分子工学特論	2		2		
分子細胞遺伝学特論	2		2		
【技術者応用科目】					
無機材料化学特論	2		2		
高分子合成化学特論	2		2		
化学工学物性特論	2		2		
生物有機化学特論	2		2		
応用生物工学特論	2		2		
計算化学特論	2		2		
反応物理化学特論	2		2		
有機金属化学特論	2		2		

Ⅶ　情報工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【技術者専門科目】				技術者専門科目から8単位以上を修得しなければならない。	
情報数学特論	2		2		
オペレーティングシステム特論	2		2		
情報通信特論Ⅰ	2		2		
データベース工学特論	2		2		
アルゴリズムとデータ構造特論	2		2		
オートマトンと言語特論	2		2		
【技術者応用科目】					
ネットワーク工学特論	2		2		
情報通信特論Ⅱ	2		2		
ソフトウェア工学特論	2		2		
知能情報処理特論	2		2		

コンピュータビジョン特論	2		2		
環境リモートセンシング特論	2		2		
デジタル形状処理特論	2		2		
画像信号処理特論	2		2		
システムアーキテクチャ設計特論	2		2		
情報共有とナレッジマネジメント特論	2		2		
数値解析法特論	2		2		
情報ネットワーク特論	2		2		

2　博士後期課程

履修方法に基づき，14単位を修得しなければならない。

Ⅰ　土木工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
土木工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
土木工学セミナーⅠ	2	2			
土木工学セミナーⅡ	2	2			
土木工学特別研究Ⅰ	4	4			
土木工学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

Ⅱ　建築学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
建築学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
建築学セミナーⅠ	2	2			
建築学セミナーⅡ	2	2			
建築学特別研究Ⅰ	4	4			
建築学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

Ⅲ　機械工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
機械工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
機械工学セミナーⅠ	2	2			
機械工学セミナーⅡ	2	2			
機械工学特別研究Ⅰ	4	4			
機械工学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

Ⅳ　電気電子工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
電気電子工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
電気電子工学セミナーⅠ	2	2			
電気電子工学セミナーⅡ	2	2			
電気電子工学特別研究Ⅰ	4	4			
電気電子工学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

Ⅴ　生命応用化学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
生命応用化学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
生命応用化学セミナーⅠ	2	2			
生命応用化学セミナーⅡ	2	2			
生命応用化学特別研究Ⅰ	4	4			
生命応用化学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

Ⅵ　情報工学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考

【コースワーク科目】				必修単位数14単位を修得しなければならない。	
情報工学特別講義	2	2			
【研究関連科目】					
情報工学セミナーⅠ	2	2			
情報工学セミナーⅡ	2	2			
情報工学特別研究Ⅰ	4	4			
情報工学特別研究Ⅱ	4	4			
学位論文					

第129条　医学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士課程

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

Ⅰ　生理系

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（主科目）				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
形態生理学	16		16		
機能生理学	16		16		
分子細胞生理学	16		16		
神経科学	16		16		
発生生殖医学	16		16		
宇宙医学	16		16		
宇宙航空環境医学	16		16		
薬理学	16		16		
細胞再生・移植医学	16		16		
遺伝子・ゲノム医学	16		16		
（副科目）					
形態生理学	10		10		
機能生理学	10		10		
分子細胞生理学	10		10		
神経科学	10		10		
発生生殖医学	10		10		
宇宙医学	10		10		
宇宙航空環境医学	10		10		
薬理学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		
形態病理学	10		10		
免疫細胞学	10		10		

人工臓器・移植医学	10		10		
腫瘍科学	10		10		
感染制御科学	10		10		
病態代謝学	10		10		
中毒学	10		10		
分子病態学	10		10		
分子細胞免疫・アレルギー学	10		10		
衛生・公衆衛生学	10		10		
環境医学	10		10		
医療管理学	10		10		
法医学	10		10		
健康科学・スポーツ医学	10		10		
呼吸器内科学	10		10		
血液内科学	10		10		
膠原病リウマチ学	10		10		
循環器内科学	10		10		
腎臓内科学	10		10		
内分泌代謝内科学	10		10		
糖尿病内科学	10		10		
消化器内科学	10		10		
感染症内科学	10		10		
小児科学	10		10		
循環器小児科学	10		10		
新生児小児科学	10		10		
神経内科学	10		10		
皮膚科学	10		10		
精神医学	10		10		
放射線治療学	10		10		
放射線診断学	10		10		
臨床検査診断学	10		10		

総合診療学	10		10			
リハビリテーション医学	10		10			
呼吸器外科学	10		10			
消化器外科学	10		10			
循環器外科学	10		10			
乳腺内分泌外科学	10		10			
小児外科学	10		10			
整形外科学	10		10			
産婦人科学	10		10			
耳鼻咽喉科学	10		10			
眼科学	10		10			
泌尿器科学	10		10			
脳神経外科学	10		10			
麻酔科学	10		10			
救急医学	10		10			
再建外科学	10		10			
（選択科目）						
実験医学序論(1)	1		1			
実験医学序論(2)	1		1			
実験動物学	1		1			
機器分析学	1		1			
生物統計学	1		1			
社会医学概論	1		1			
細胞生物学	1		1			
病態生物学	1		1			
医学医療総論	1		1			
放射線基礎科学	1		1			
がんの生物学	1		1			
腫瘍病理診断学概論	1		1			
がん患者の緩和ケア	1		1			
がん化学療法概論	1		1			
EBM実践法	1		1			

医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医学英語	1		1		

Ⅱ　病理系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（主科目）				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
形態病理学	16		16		
免疫細胞学	16		16		
人工臓器・移植医学	16		16		
腫瘍科学	16		16		
感染制御科学	16		16		
病態代謝学	16		16		
中毒学	16		16		
分子病態学	16		16		
分子細胞免疫・アレルギー学	16		16		
（副科目）					
形態生理学	10		10		
機能生理学	10		10		
分子細胞生理学	10		10		
神経科学	10		10		
発生生殖医学	10		10		
宇宙医学	10		10		
宇宙航空環境医学	10		10		
薬理学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		

形態病理学	10		10			
免疫細胞学	10		10			
人工臓器・移植医学	10		10			
腫瘍科学	10		10			
感染制御科学	10		10			
病態代謝学	10		10			
中毒学	10		10			
分子病態学	10		10			
分子細胞免疫・アレルギー学	10		10			
衛生・公衆衛生学	10		10			
環境医学	10		10			
医療管理学	10		10			
法医学	10		10			
健康科学･スポーツ医学	10		10			
呼吸器内科学	10		10			
血液内科学	10		10			
膠原病リウマチ学	10		10			
循環器内科学	10		10			
腎臓内科学	10		10			
内分泌代謝内科学	10		10			
糖尿病内科学	10		10			
消化器内科学	10		10			
感染症内科学	10		10			
小児科学	10		10			
循環器小児科学	10		10			
新生児小児科学	10		10			
神経内科学	10		10			
皮膚科学	10		10			
精神医学	10		10			
放射線治療学	10		10			

放射線診断学	10		10		
臨床検査診断学	10		10		
総合診療学	10		10		
リハビリテーション医学	10		10		
呼吸器外科学	10		10		
消化器外科学	10		10		
循環器外科学	10		10		
乳腺内分泌外科学	10		10		
小児外科学	10		10		
整形外科学	10		10		
産婦人科学	10		10		
耳鼻咽喉科学	10		10		
眼科学	10		10		
泌尿器科学	10		10		
脳神経外科学	10		10		
麻酔科学	10		10		
救急医学	10		10		
再建外科学	10		10		
造血器腫瘍学	5		5	がんに特化した専門医養成プログラム選択者のみ履修可能	
がん薬物動態学	5		5		
放射線腫瘍治療学	5		5		
（選択科目）					
実験医学序論(1)	1		1		
実験医学序論(2)	1		1		
実験動物学	1		1		
機器分析学	1		1		
生物統計学	1		1		
社会医学概論	1		1		
細胞生物学	1		1		
病態生物学	1		1		
医学医療総論	1		1		
放射線基礎科学	1		1		

がんの生物学	1		1		
腫瘍病理診断学概論	1		1		
がん患者の緩和ケア	1		1		
がん化学療法概論	1		1		
EBM実践法	1		1		
医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医学英語	1		1		

Ⅲ　社会医学系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（主科目）				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
衛生・公衆衛生学	16		16		
環境医学	16		16		
医療管理学	16		16		
法医学	16		16		
健康科学・スポーツ医学	16		16		
（副科目）					
形態生理学	10		10		
機能生理学	10		10		
分子細胞生理学	10		10		
神経科学	10		10		
発生生殖医学	10		10		
宇宙医学	10		10		
宇宙航空環境医学	10		10		
薬理学	10		10		
細胞再生・移植医学	10		10		
遺伝子・ゲノム医学	10		10		

形態病理学	10		10			
免疫細胞学	10		10			
人工臓器・移植医学	10		10			
腫瘍科学	10		10			
感染制御科学	10		10			
病態代謝学	10		10			
中毒学	10		10			
分子病態学	10		10			
分子細胞免疫・アレルギー学	10		10			
衛生・公衆衛生学	10		10			
環境医学	10		10			
医療管理学	10		10			
法医学	10		10			
健康科学・スポーツ医学	10		10			
呼吸器内科学	10		10			
血液内科学	10		10			
膠原病リウマチ学	10		10			
循環器内科学	10		10			
腎臓内科学	10		10			
内分泌代謝内科学	10		10			
糖尿病内科学	10		10			
消化器内科学	10		10			
感染症内科学	10		10			
小児科学	10		10			
循環器小児科学	10		10			
新生児小児科学	10		10			
神経内科学	10		10			
皮膚科学	10		10			
精神医学	10		10			
放射線治療学	10		10			
放射線診断学	10		10			

臨床検査診断学	10		10			
総合診療学	10		10			
リハビリテーション医学	10		10			
呼吸器外科学	10		10			
消化器外科学	10		10			
循環器外科学	10		10			
乳腺内分泌外科学	10		10			
小児外科学	10		10			
整形外科学	10		10			
産婦人科学	10		10			
耳鼻咽喉科学	10		10			
眼科学	10		10			
泌尿器科学	10		10			
脳神経外科学	10		10			
麻酔科学	10		10			
救急医学	10		10			
再建外科学	10		10			
（選択科目）						
実験医学序論(1)	1		1			
実験医学序論(2)	1		1			
実験動物学	1		1			
機器分析学	1		1			
生物統計学	1		1			
社会医学概論	1		1			
細胞生物学	1		1			
病態生物学	1		1			
医学医療総論	1		1			
放射線基礎科学	1		1			
がんの生物学	1		1			
腫瘍病理診断学概論	1		1			
がん患者の緩和ケア	1		1			
がん化学療法概論	1		1			

EBM実践法	1		1		
医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医学英語	1		1		

Ⅳ　内科系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（主科目）				それぞれ選択により，主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め，合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
呼吸器内科学	16		16		
血液内科学	16		16		
膠原病リウマチ学	16		16		
循環器内科学	16		16		
腎臓内科学	16		16		
内分泌代謝内科学	16		16		
糖尿病内科学	16		16		
消化器内科学	16		16		
感染症内科学	16		16		
小児科学	16		16		
循環器小児科学	16		16		
新生児小児科学	16		16		
神経内科学	16		16		
皮膚科学	16		16		
精神医学	16		16		
放射線治療学	16		16		
放射線診断学	16		16		
臨床検査診断学	16		16		
総合診療学	16		16		

リハビリテーション医学	16		16			
（副科目）						
形態生理学	10		10			
機能生理学	10		10			
分子細胞生理学	10		10			
神経科学	10		10			
発生生殖医学	10		10			
宇宙医学	10		10			
宇宙航空環境医学	10		10			
薬理学	10		10			
細胞再生・移植医学	10		10			
遺伝子・ゲノム医学	10		10			
形態病理学	10		10			
免疫細胞学	10		10			
人工臓器・移植医学	10		10			
腫瘍科学	10		10			
感染制御科学	10		10			
病態代謝学	10		10			
中毒学	10		10			
分子病態学	10		10			
分子細胞免疫・アレルギー学	10		10			
衛生・公衆衛生学	10		10			
環境医学	10		10			
医療管理学	10		10			
法医学	10		10			
健康科学・スポーツ医学	10		10			
呼吸器内科学	10		10			
血液内科学	10		10			
膠原病リウマチ学	10		10			
循環器内科学	10		10			
腎臓内科学	10		10			

内分泌代謝内科学	10		10		
糖尿病内科学	10		10		
消化器内科学	10		10		
感染症内科学	10		10		
小児科学	10		10		
循環器小児科学	10		10		
新生児小児科学	10		10		
神経内科学	10		10		
皮膚科学	10		10		
精神医学	10		10		
放射線治療学	10		10		
放射線診断学	10		10		
臨床検査診断学	10		10		
総合診療学	10		10		
リハビリテーション医学	10		10		
呼吸器外科学	10		10		
消化器外科学	10		10		
循環器外科学	10		10		
乳腺内分泌外科学	10		10		
小児外科学	10		10		
整形外科学	10		10		
産婦人科学	10		10		
耳鼻咽喉科学	10		10		
眼科学	10		10		
泌尿器科学	10		10		
脳神経外科学	10		10		
麻酔科学	10		10		
救急医学	10		10		
再建外科学	10		10		
造血器腫瘍学	5		5	がんに特化した専門医養成プログラム選択者のみ履修可能	
がん薬物動態学	5		5		
放射線腫瘍治療学	5		5		

（選択科目）					
実験医学序論(1)	1		1		
実験医学序論(2)	1		1		
実験動物学	1		1		
機器分析学	1		1		
生物統計学	1		1		
社会医学概論	1		1		
細胞生物学	1		1		
病態生物学	1		1		
医学医療総論	1		1		
放射線基礎科学	1		1		
がんの生物学	1		1		
腫瘍病理診断学概論	1		1		
がん患者の緩和ケア	1		1		
がん化学療法概論	1		1		
EBM実践法	1		1		
医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医学英語	1		1		

Ⅴ　外科系

履修方法に基づき，30単位以上を修得しなければならない。

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（主科目）				それぞれ選択により,主科目16単位以上，副科目10単位以上，選択科目4単位以上を含め,合計30単位以上を修得し学位論文を提出して審査を受けるものとする。	
呼吸器外科学	16		16		
消化器外科学	16		16		
循環器外科学	16		16		
乳腺内分泌外科学	16		16		
小児外科学	16		16		

整形外科学	16		16			
産婦人科学	16		16			
耳鼻咽喉科学	16		16			
眼科学	16		16			
泌尿器科学	16		16			
脳神経外科学	16		16			
麻酔科学	16		16			
救急医学	16		16			
再建外科学	16		16			
（副科目）						
形態生理学	10		10			
機能生理学	10		10			
分子細胞生理学	10		10			
神経科学	10		10			
発生生殖医学	10		10			
宇宙医学	10		10			
宇宙航空環境医学	10		10			
薬理学	10		10			
細胞再生・移植医学	10		10			
遺伝子・ゲノム医学	10		10			
形態病理学	10		10			
免疫細胞学	10		10			
人工臓器・移植医学	10		10			
腫瘍科学	10		10			
感染制御科学	10		10			
病態代謝学	10		10			
中毒学	10		10			
分子病態学	10		10			
分子細胞免疫・アレルギー学	10		10			
衛生・公衆衛生学	10		10			

環境医学	10		10		
医療管理学	10		10		
法医学	10		10		
健康科学･スポーツ医学	10		10		
呼吸器内科学	10		10		
血液内科学	10		10		
膠原病リウマチ学	10		10		
循環器内科学	10		10		
腎臓内科学	10		10		
内分泌代謝内科学	10		10		
糖尿病内科学	10		10		
消化器内科学	10		10		
感染症内科学	10		10		
小児科学	10		10		
循環器小児科学	10		10		
新生児小児科学	10		10		
神経内科学	10		10		
皮膚科学	10		10		
精神医学	10		10		
放射線治療学	10		10		
放射線診断学	10		10		
臨床検査診断学	10		10		
総合診療学	10		10		
リハビリテーション医学	10		10		
呼吸器外科学	10		10		
消化器外科学	10		10		
循環器外科学	10		10		
乳腺内分泌外科学	10		10		
小児外科学	10		10		
整形外科学	10		10		

産婦人科学	10		10		
耳鼻咽喉科学	10		10		
眼科学	10		10		
泌尿器科学	10		10		
脳神経外科学	10		10		
麻酔科学	10		10		
救急医学	10		10		
再建外科学	10		10		
（選択科目）					
実験医学序論(1)	1		1		
実験医学序論(2)	1		1		
実験動物学	1		1		
機器分析学	1		1		
生物統計学	1		1		
社会医学概論	1		1		
細胞生物学	1		1		
病態生物学	1		1		
医学医療総論	1		1		
放射線基礎科学	1		1		
がんの生物学	1		1		
腫瘍病理診断学概論	1		1		
がん患者の緩和ケア	1		1		
がん化学療法概論	1		1		
EBM実践法	1		1		
医療倫理学	1		1		
臨床心理学	1		1		
医療安全管理学	1		1		
臨床研究・教育・指導法	1		1		
ヒトの自然科学認識論（概論）	1		1		
医学英語	1		1		

第130条　歯学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士課程

歯学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
口腔構造機能学分野				各分野の中から主科目20単位以上，副科目4単位以上，選択科目のうちから必修科目2単位を含め6単位以上，合計30単位以上を履修し，学位論文を提出しなければならない。	
（主科目）					
解剖学	20		20		
発生・組織学	10		10		
口腔解剖学	10		10		
口腔生理学	10		10		
生理学	10		10		
歯科薬理学	10		10		
薬理学	10		10		
口腔外科学	20		20		
歯科矯正学	20		20		
歯科麻酔学	20		20		
（副科目）					
解剖学	4		4		
発生・組織学	4		4		
口腔解剖学	4		4		
口腔生理学	4		4		
口腔生化学	4		4		
口腔病理学	4		4		
感染症免疫学	4		4		
歯科薬理学	4		4		
歯科理工学	4		4		
口腔外科学	4		4		
総義歯補綴学	4		4		
局部床義歯学	4		4		
クラウン･ブリッジ学	4		4		
歯科放射線学	4		4		

歯科麻酔学	4		4			
口腔内科学	4		4			
その他許可を得た科目	4		4			
（選択科目）						
衛生学	4		4			
保存修復学	4		4			
歯内療法学	4		4			
歯周病学	4		4			
歯科矯正学	4		4			
小児歯科学	4		4			
摂食機能療法学	4		4			
統合科目Ⅰ	4		4			
総合特別講義	2	2				
その他許可を得た科目	4		4			
応用口腔科学分野						
（主科目）						
口腔生化学	10		10			
生化学	10		10			
口腔病理学	10		10			
病理学	10		10			
歯科理工学	20		20			
保存修復学	20		20			
歯内療法学	20		20			
歯周病学	20		20			
総義歯補綴学	20		20			
局部床義歯学	20		20			
クラウン･ブリッジ学	20		20			
（副科目）						
口腔解剖学	4		4			
口腔生理学	4		4			
口腔生化学	4		4			
感染症免疫学	4		4			
口腔病理学	4		4			

歯科薬理学	4		4			
歯科理工学	4		4			
保存修復学	4		4			
歯内療法学	4		4			
歯周病学	4		4			
総義歯補綴学	4		4			
局部床義歯学	4		4			
クラウン･ブリッジ学	4		4			
その他許可を得た科目	4		4			
（選択科目）						
発生・組織学	4		4			
口腔衛生学	4		4			
口腔外科学	4		4			
歯科矯正学	4		4			
口腔内科学	4		4			
歯科放射線学	4		4			
摂食機能療法学	4		4			
統合科目Ⅱ	4		4			
総合特別講義	2	2				
その他許可を得た科目	4		4			
口腔健康科学分野						
（主科目）						
感染症免疫学	20		20			
口腔衛生学	10		10			
衛生学	10		10			
歯科法医学	10		10			
法医学	10		10			
歯科放射線学	20		20			
小児歯科学	20		20			
口腔内科学	20		20			
摂食機能療法学	20		20			
（副科目）						
発生・組織学	4		4			

口腔解剖学	4		4		
口腔生理学	4		4		
口腔生化学	4		4		
口腔病理学	4		4		
感染症免疫学	4		4		
歯科薬理学	4		4		
歯科理工学	4		4		
口腔衛生学	4		4		
歯科法医学	4		4		
口腔外科学	4		4		
保存修復学	4		4		
歯内療法学	4		4		
歯周病学	4		4		
歯科放射線学	4		4		
小児歯科学	4		4		
歯科麻酔学	4		4		
口腔内科学	4		4		
摂食機能療法学	4		4		
その他許可を得た科目	4		4		
（選択科目）					
病理学	4		4		
総義歯補綴学	4		4		
局部床義歯学	4		4		
クラウン･ブリッジ学	4		4		
統合科目Ⅲ	4		4		
総合特別講義	2	2			
その他許可を得た科目	4		4		

第131条　松戸歯学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士課程

歯学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
発育発達全身疾患学系				所属する学系のうちから，専攻科目を定め，同一専攻科目のⅠ～Ⅳの4科目24単位以上，演習科目から3科目3単位以上，共通科目のうちから必修科目を含め3科目3単位以上，合計30単位以上を修得の上，学位論文を提出しなければならない。	
小児歯科学Ⅰ	6		6		
小児歯科学Ⅱ	6		6		
小児歯科学Ⅲ	6		6		
小児歯科学Ⅳ	6		6		
歯科矯正学Ⅰ	6		6		
歯科矯正学Ⅱ	6		6		
歯科矯正学Ⅲ	6		6		
歯科矯正学Ⅳ	6		6		
障害者歯科学Ⅰ	6		6		
障害者歯科学Ⅱ	6		6		
障害者歯科学Ⅲ	6		6		
障害者歯科学Ⅳ	6		6		
歯科麻酔学Ⅰ	6		6		
歯科麻酔学Ⅱ	6		6		
歯科麻酔学Ⅲ	6		6		
歯科麻酔学Ⅳ	6		6		
医科病態学Ⅰ	6		6		
医科病態学Ⅱ	6		6		
医科病態学Ⅲ	6		6		
医科病態学Ⅳ	6		6		
口腔病態制御学系					
歯周治療学Ⅰ	6		6		
歯周治療学Ⅱ	6		6		
歯周治療学Ⅲ	6		6		
歯周治療学Ⅳ	6		6		
生化学・分子生物学Ⅰ	6		6		
生化学・分子生物学Ⅱ	6		6		

生化学・分子生物学Ⅲ	6		6			
生化学・分子生物学Ⅳ	6		6			
微生物学・免疫学Ⅰ	6		6			
微生物学・免疫学Ⅱ	6		6			
微生物学・免疫学Ⅲ	6		6			
微生物学・免疫学Ⅳ	6		6			
薬理学・歯科薬理学Ⅰ	6		6			
薬理学・歯科薬理学Ⅱ	6		6			
薬理学・歯科薬理学Ⅲ	6		6			
薬理学・歯科薬理学Ⅳ	6		6			
衛生学Ⅰ	6		6			
衛生学Ⅱ	6		6			
衛生学Ⅲ	6		6			
衛生学Ⅳ	6		6			
組織細胞再生学系						
組織・発生学Ⅰ	6		6			
組織・発生学Ⅱ	6		6			
組織・発生学Ⅲ	6		6			
組織・発生学Ⅳ	6		6			
生理学Ⅰ	6		6			
生理学Ⅱ	6		6			
生理学Ⅲ	6		6			
生理学Ⅳ	6		6			
歯内療法学Ⅰ	6		6			
歯内療法学Ⅱ	6		6			
歯内療法学Ⅲ	6		6			
歯内療法学Ⅳ	6		6			
先端材料修復学系						
歯科生体材料学Ⅰ	6		6			
歯科生体材料学Ⅱ	6		6			
歯科生体材料学Ⅲ	6		6			
歯科生体材料学Ⅳ	6		6			
保存修復学Ⅰ	6		6			
保存修復学Ⅱ	6		6			

保存修復学Ⅲ	6		6			
保存修復学Ⅳ	6		6			
口腔顎脳再建学系						
有床義歯補綴学Ⅰ	6		6			
有床義歯補綴学Ⅱ	6		6			
有床義歯補綴学Ⅲ	6		6			
有床義歯補綴学Ⅳ	6		6			
顎機能・冠橋義歯補綴学Ⅰ	6		6			
顎機能・冠橋義歯補綴学Ⅱ	6		6			
顎機能・冠橋義歯補綴学Ⅲ	6		6			
顎機能・冠橋義歯補綴学Ⅳ	6		6			
解剖学Ⅰ	6		6			
解剖学Ⅱ	6		6			
解剖学Ⅲ	6		6			
解剖学Ⅳ	6		6			
顎顔面・口腔外科学Ⅰ	6		6			
顎顔面・口腔外科学Ⅱ	6		6			
顎顔面・口腔外科学Ⅲ	6		6			
顎顔面・口腔外科学Ⅳ	6		6			
病態診断検査学系						
歯科臨床検査医学Ⅰ	6		6			
歯科臨床検査医学Ⅱ	6		6			
歯科臨床検査医学Ⅲ	6		6			
歯科臨床検査医学Ⅳ	6		6			
放射線学Ⅰ	6		6			
放射線学Ⅱ	6		6			
放射線学Ⅲ	6		6			
放射線学Ⅳ	6		6			
口腔診断学Ⅰ	6		6			
口腔診断学Ⅱ	6		6			
口腔診断学Ⅲ	6		6			
口腔診断学Ⅳ	6		6			
口腔病理学Ⅰ	6		6			
口腔病理学Ⅱ	6		6			

口腔病理学Ⅲ	6		6		
口腔病理学Ⅳ	6		6		
共通科目					
研究安全倫理	1	1			
リサーチデザイン	1	1			
電子顕微鏡学	1		1		
生物統計学	1		1		
画像科学	1		1		
基礎医化学	1		1		
研究手法	1		1		
実験動物学	1		1		
演習科目					
歯学特別演習Ⅰ	1		1		
歯学特別演習Ⅱ	1		1		
歯学特別演習Ⅲ	1		1		
歯学特別演習Ⅳ	1		1		

第132条　生物資源科学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。ただし，他専攻の授業科目は，許可を得て，10単位を超えない範囲で履修することができる。

１　博士前期課程

Ⅰ　生物資源生産科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから,必修科目を含め30単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，5分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
（植物生産科学分野）					
植物資源生産学特講	2		2		
植物保護学特講	2		2		
植物資源生産学演習	1		1		
植物保護学演習	1		1		
（動物生産科学分野）					
動物資源生産学特講	2		2		
動物資源開発学特講	2		2		
動物資源生産学演習	1		1		
動物資源開発学演習	1		1		
（水圏生物生産科学分野）					
水圏生物資源学特講	2		2		
水圏生物生産学特講	2		2		
水圏生物資源学演習	1		1		
水圏生物生産学演習	1		1		
（森林生産科学分野）					
森林資源生産学特講	2		2		
森林資源管理学特講	2		2		
森林資源生産学演習	1		1		
森林資源管理学演習	1		1		
（生産環境工学分野）					
生物環境調節工学特講	2		2		
生産･流通環境工学特講	2		2		
生物環境調節工学演習	1		1		

生産･流通環境工学演習	1		1		
生物資源生産科学特別講義Ⅰ	4	4			
生物資源生産科学特別研究Ⅰ	10	10			
学　位　論　文					

Ⅱ　生物資源利用科学専攻

授　業　科　目	単位数	必　修 単位数	選　択 単位数	履　修　方　法	備　考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから,必修科目を含め30単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
（生物資源利用学分野）					
生物資源利用学特講Ⅰ	2		2		
生物資源成分機能学特講	2		2		
生物資源利用学演習Ⅰ	1		1		
生物資源成分機能学演習	1		1		
（生物資源利用化学分野）					
生物資源利用化学特講Ⅰ	2		2		
生物有機化学特講	2		2		
生物資源利用化学演習Ⅰ	1		1		
生物有機化学演習	1		1		
（微生物利用学分野）					
微生物利用学特講	2		2		
微生物学特講	2		2		
微生物利用学演習	1		1		
微生物学演習	1		1		
（食品科学分野）					
食品成分化学特講	2		2		
食品製造科学特講	2		2		
食品成分化学演習	1		1		
食品製造科学演習	1		1		
生物資源利用科学特別講義Ⅰ	4	4			
生物資源利用科学特別研究Ⅰ	10	10			
学　位　論　文					

Ⅲ　応用生命科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから,必修科目を含め30単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
（生体分子科学分野）					
分子生物学特講	2		2		
生体分子化学特講	2		2		
分子生物学演習	1		1		
生体分子化学演習	1		1		
（細胞生物科学分野）					
細胞生物学特講	2		2		
細胞遺伝育種学特講	2		2		
細胞生物学演習	1		1		
細胞遺伝育種学演習	1		1		
（生体機能科学分野）					
生体機能学特講	2		2		
生体制御学特講	2		2		
生体機能学演習	1		1		
生体制御学演習	1		1		
（分子生態科学分野）					
分子生態学特講	2		2		
資源生命工学特講	2		2		
分子生態学演習	1		1		
資源生命工学演習	1		1		
応用生命科学特別講義Ⅰ	4	4			
応用生命科学特別研究Ⅰ	10	10			
学位論文					

Ⅳ　生物環境科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから,必修科目を含め30単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければ	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
（ストレス耐性科学分野）					

環境ストレス生理学特講	2		2	ならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
環境修復生物学特講	2		2		
環境ストレス生理学演習	1		1		
環境修復生物学演習	1		1		
（環境計画学分野）					
緑地環境計画学特講	2		2		
地域環境計画学特講	2		2		
緑地環境計画学演習	1		1		
地域環境計画学演習	1		1		
（環境創造保全学分野）					
環境創造学特講	2		2		
環境生態学特講	2		2		
環境創造学演習	1		1		
環境生態学演習	1		1		
（環境情報科学分野）					
環境資源情報学特講	2		2		
環境保全情報学特講	2		2		
環境資源情報学演習	1		1		
環境保全情報学演習	1		1		
生物環境科学特別講義Ⅰ	4	4			
生物環境科学特別研究Ⅰ	10	10			
学位論文					

Ⅴ　生物資源経済学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
生物資源科学特論Ⅰ	4	4		左記のうちから,必修科目を含め30単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源科学特論Ⅱ	4		4		
（生物資源・食品経済学分野）					
生物資源経済学特講	2		2		
食品産業論特講	2		2		
生物資源経済学演習	1		1		
食品産業論演習	1		1		
（食品流通･経営学分野）					

生物資源経営学特講	2		2		
マーケティング特講	2		2		
生物資源経営学演習	1		1		
マーケティング演習	1		1		
(国際食料資源経済学分野)					
国際資源経済論特講	2		2		
国際フードシステム論特講	2		2		
国際資源経済論演習	1		1		
国際フードシステム論演習	1		1		
(国際地域開発学分野)					
国際農業開発論特講	2		2		
農村開発論特講	2		2		
国際農業開発論演習	1		1		
農村開発論演習	1		1		
生物資源経済学特別講義Ⅰ	4	4			
生物資源経済学特別研究Ⅰ	10	10			
学位論文					

2　博士後期課程

Ⅰ　生物資源生産科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(植物生産科学分野)				左記のうちから,必修科目を含め17単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，5分野のうち1分野を選択必修とする。	
植物生産科学特講	2		2		
植物生産科学演習	1		1		
(動物生産科学分野)					
動物生産科学特講	2		2		
動物生産科学演習	1		1		
(水圏生物生産科学分野)					
水圏生物生産科学特講	2		2		
水圏生物生産科学演習	1		1		
(森林生産科学分野)					
森林生産科学特講	2		2		
森林生産科学演習	1		1		

（生産環境工学分野）					
生産環境工学特講	2		2		
生産環境工学演習	1		1		
生物資源生産科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物資源生産科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅱ　生物資源利用科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（生物資源利用学分野）				左記のうちから，必修科目を含め17単位以上を修得した上，学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源利用学特講Ⅱ	2		2		
生物資源利用学演習Ⅱ	1		1		
（生物資源利用化学分野）					
生物資源利用化学特講Ⅱ	2		2		
生物資源利用化学演習Ⅱ	1		1		
（微生物利用科学分野）					
微生物利用科学特講	2		2		
微生物利用科学演習	1		1		
（食品科学分野）					
食品科学特講	2		2		
食品科学演習	1		1		
生物資源利用科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物資源利用科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅲ　応用生命科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
（生体分子科学分野）				左記のうちから，必修科目を含め17単位以上を修得した上，学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生体分子科学特講	2		2		
生体分子科学演習	1		1		
（細胞生物科学分野）					
細胞生物科学特講	2		2		
細胞生物科学演習	1		1		
（生体機能科学分野）					

生体機能科学特講	2		2		
生体機能科学演習	1		1		
(分子生態科学分野)					
分子生態科学特講	2		2		
分子生態科学演習	1		1		
応用生命科学特別講義Ⅱ	4	4			
応用生命科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅳ　生物環境科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(ストレス耐性科学分野)				左記のうちから,必修科目を含め17単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
ストレス耐性科学特講	2		2		
ストレス耐性科学演習	1		1		
(環境計画学分野)					
環境計画学特講	2		2		
環境計画学演習	1		1		
(環境創造保全学分野)					
環境創造保全学特講	2		2		
環境創造保全学演習	1		1		
(環境情報科学分野)					
環境情報科学特講	2		2		
環境情報科学演習	1		1		
生物環境科学特別講義Ⅱ	4	4			
生物環境科学特別研究Ⅱ	10	10			
学位論文					

Ⅴ　生物資源経済学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(生物資源・食品経済学分野)				左記のうちから,必修科目を含め17単位以上を修得した上,学位論文の審査及び試験に合格しなければならない。ただし，4分野のうち1分野を選択必修とする。	
生物資源・食品経済学特講	2		2		
生物資源・食品経済学演習	1		1		
(食品流通・経営学分野)					
食品流通・経営学特講	2		2		

食品流通･経営学演習	1		1		
（国際食料資源経済学分野）					
国際食料資源経済学特講	2		2		
国際食料資源経済学演習	1		1		
（国際地域開発学分野）					
国際地域開発学特講	2		2		
国際地域開発学演習	1		1		
生物資源経済学特別講義Ⅱ	4	4			
生物資源経済学特別研究Ⅱ	10	10			
学　位　論　文					

第133条　獣医学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士課程

獣医学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
獣医比較形態学分野				6分野のうち1分野の特別講義，特別演習，特別研究計12単位，獣医学特論6単位及び他分野から12単位以上合計30単位以上を選択履修し，学位論文を提出しなければならない。	
獣医比較形態学特別講義	2		2		
獣医比較形態学特別演習	5		5		
獣医比較形態学特別研究	5		5		
獣医比較機能学分野					
獣医比較機能学特別講義	2		2		
獣医比較機能学特別演習	5		5		
獣医比較機能学特別研究	5		5		
獣医感染制御学分野					
獣医感染制御学特別講義	2		2		
獣医感染制御学特別演習	5		5		
獣医感染制御学特別研究	5		5		
獣医疾病予防学分野					
獣医疾病予防学特別講義	2		2		
獣医疾病予防学特別演習	5		5		
獣医疾病予防学特別研究	5		5		
獣医病態制御学分野					
獣医病態制御学特別講義	2		2		
獣医病態制御学特別演習	5		5		
獣医病態制御学特別研究	5		5		
獣医病態情報学分野					
獣医病態情報学特別講義	2		2		
獣医病態情報学特別演習	5		5		
獣医病態情報学特別研究	5		5		
獣医学特論	6	6			

第134条　薬学研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

1　博士課程

薬学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
医療薬学特論Ⅰ	1	1		必修単位28単位以上，選択科目2単位以上，計30単位以上を修得し学位論文を提出しなければならない。	
医療薬学特論Ⅱ	1	1			
病態科学特論Ⅰ	1	1			
病態科学特論Ⅱ	1	1			
解析学特論	1	1			
生命科学特論	1	1			
製剤設計学特論	1	1			
臨床薬物動態学特論	1	1			
創薬化学特論	1	1			
アカデミック・ライティング	1	1			
天然薬物化学特論	1		1		
環境衛生学特論	1		1		
病院実務実習	6		6		
実践薬学分野研究	2		2		
応用薬学分野研究	2		2		
基礎薬学分野研究	2		2		
薬学特別研究	18	18			
学位論文					

第135条　総合社会情報研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

１　博士前期課程

各専攻共に専攻の授業科目及び共通科目から，必修科目を含めて30単位以上を修得しなければならない。ただし，そのうち，８単位以上を面接授業で修得しなければならない。

各専攻ともに，他専攻の授業の選択科目を履修した場合，４単位を上限に修了に必要な単位数に加算することができる。

Ⅰ　国際情報専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
国際情報論特講	4	4			
現代政治学特講	4		4		
国際法特講	4		4		
国際政治論特講	4		4		
多文化共生論	4		4		
国際関係論特講	4		4		
行政論特講	4		4		
危機管理論特講	4		4		
組織倫理論特講	4		4		
日本政治史論特講	4		4		
都市計画論特講	4		4		
地方共生論特講	4		4		
知的財産論特講	4		4		
国際メディア論特講	4		4		
日中比較社会論特講	4		4		
経済理論特講	4		4		
国際経済政策論特講	4		4		
グローバル経営戦略論特講	4		4		
現代ファイナンス論特講	4		4		
アカウンティング論特講	4		4		
マーケティング論特講	4		4		
人材マネジメント論特講	4		4		

多国籍企業論特講	4		4		
流通ビジネス論特講	4		4		
ビジネス法特講	4		4		
ファミリービジネス論特講	4		4		
ファミリーガバナンス論特講	4		4		
事業承継論特講	4		4		
事業創造論特講	4		4		
地方創生・振興論特講	4		4		
ローカルビジネス論特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

Ⅱ　文化情報専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
文化情報論特講	4	4			
比較文学特講	4		4		
世界文学特講	4		4		
翻訳論特講	4		4		
メディア文化論特講	4		4		
日本文化論特講Ⅰ	4		4		
日本文化論特講Ⅱ	4		4		
アジア文化論特講	4		4		
英語圏文化論特講	4		4		
言語教育学特講	4		4		
言語教育研究特講	4		4		
言語学特講	4		4		
異文化間コミュニケーション論特講	4		4		
社会言語学特講	4		4		
第二言語習得論特講	4		4		
言語教育工学特講	4		4		
言語教育デザイン論特講	4		4		
日本語学特講	4		4		
日本語教育方法論特講	4		4		
日本語教育研究法特講	4		4		

英語学特講	4		4		
英語教育方法論特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

Ⅲ　人間科学専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
人間科学特講	4	4			
社会哲学特講	4		4		
哲学史特講	4		4		
宗教哲学特講	4		4		
科学哲学特講	4		4		
生命倫理学特講	4		4		
社会思想史特講	4		4		
心理学史特講	4		4		
心理学研究法特講	4		4		
認知心理学特講	4		4		
社会心理学特講	4		4		
産業・組織心理学特講	4		4		
臨床心理学特講	4		4		
医療心理学特講	4		4		
行動分析学特講	4		4		
コミュニケーション心理学特講	4		4		
生涯学習論特講	4		4		
学校教育学特講	4		4		
教育心理学特講	4		4		
教育臨床学特講	4		4		
生徒指導論特講	4		4		
教育評価論特講	4		4		
健康科学特講	4		4		
安全学特講	4		4		
人間工学特講	4		4		
環境生理学特講	4		4		
スポーツ運動学特講	4		4		

スポーツ医学特講	4		4		
スポーツ心理学特講	4		4		
コーチング学特講	4		4		
特別研究	6	6			
学位論文					

Ⅳ　共通科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
調査分析特講	4		4		
統計基礎Ⅰ	2		2		
統計基礎Ⅱ	2		2		
ゲーム理論	2		2		

① 各専攻における授業方法は，指定教材等による授業，面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

② 指定教材等による授業は，研究課題を設け，次の方法で指導する。

(1) 教材は，必要に応じてシラバス等で指定する。

(2) 研究指導書は，各授業科目により必要に応じて配布する。

(3) 学生は所定の研究課題について，報告書（リポート）を提出し，研究指導を受け，合格しなければならない。

(4) 報告書(リポート)に対しては，担当教員が添削し，講評を行った上返送する。

(5) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。

③ 面接授業は，所定の施設において行う。実施する時期，場所及び科目等については，別に定める。

④ メディアを利用して行う授業は，指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。

⑤ 各授業科目を履修した者は，指定の時期及び場所において，当該授業科目の試験又はスクーリング試験を受けなければならない。

２　博士後期課程

12単位以上を修得しなければならない。

Ⅰ　総合社会情報専攻

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
(国際情報分野)					

現代政治学特殊研究	4		4			
国際法特殊研究	4		4			
国際政治論特殊研究	4		4			
危機管理論特殊研究	4		4			
日本政治史論特殊研究	4		4			
国際メディア論特殊研究	4		4			
開発政策論特殊研究	4		4			
日中比較社会論特殊研究	4		4			
経済理論特殊研究	4		4			
国際経済政策論特殊研究	4		4			
国際経営論特殊研究	4		4			
流通経営論特殊研究	4		4			
ファミリービジネス論特殊研究	4		4			
（文化情報分野）						
比較文学特殊研究	4		4			
翻訳論特殊研究	4		4			
日本文化特殊研究	4		4			
アジア文化特殊研究	4		4			
言語教育学特殊研究	4		4			
言語学特殊研究	4		4			
異文化間コミュニケーション論特殊研究	4		4			
第二言語習得論特殊研究	4		4			
言語教育方法論特殊研究	4		4			
（人間科学分野）						
社会哲学特殊研究	4		4			
宗教哲学特殊研究	4		4			
生命倫理特殊研究	4		4			
近現代哲学特殊研究	4		4			
社会思想史特殊研究	4		4			
教育思想史特殊研究	4		4			
比較心理学特殊研究	4		4			
産業・組織心理学特殊研究	4		4			
行動分析学特殊研究	4		4			

教育学特殊研究	4		4		
教育認識論特殊研究	4		4		
健康科学特殊研究	4		4		
特別研究指導					
学位論文					

① 授業方法は，指定教材等による授業，面接授業及びメディアを利用して行う授業のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

② 指定教材等による授業は，研究課題を設け，次の方法で指導する。

(1) 教材は，必要に応じてシラバス等で指定する。

(2) 研究指導書は，各授業科目により必要に応じて配布する。

(3) 学生は所定の研究課題について，報告書（リポート）を提出し，研究指導を受け，合格しなければならない。

(4) 報告書（リポート）に対しては，担当教員が添削し，講評を行った上返送する。

(5) 研究課題の質疑は所定の通信手段をもって行う。

③ 面接授業は，所定の施設において行う。実施する時期，場所及び科目等については，別に定める。

④ メディアを利用して行う授業は，指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段により行う。

第136条　法務研究科における授業科目及び単位数並びにその履修方法は，次のとおりである。

１　専門職学位課程

Ⅰ　法務専攻

科目区分ごとに履修方法で定めた単位数のほか，②法律実務基礎科目（修得すべき単位数12単位を除く），③基礎法学・隣接科目（修得すべき単位数４単位を除く）及び④展開・先端科目（修得すべき単位数12単位を除く）のうちから６単位以上を含め，96単位以上を修得しなければならない。

①　法律基本科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
公法系				必修単位数46単位のほか， 公法系演習Ⅰ 公法系演習Ⅱ 公法系演習Ⅲ のうちから4単位以上， 民事法系演習Ⅰ 民事法系演習Ⅱ 民事法系演習Ⅲ のうちから4単位以上， 民事法系演習Ⅳ 民事法系演習Ⅴ のうちから2単位以上， 民事法系演習Ⅵ 民事法系演習Ⅶ のうちから2単位以上， 刑事法系演習Ⅰ 刑事法系演習Ⅱ 刑事法系演習Ⅲ のうちから4単位以上，計16単位以上を含め，合計62単位以上を修得しなければならない。	
憲法基礎演習	1	1			
憲法Ⅰ	2	2			
憲法Ⅱ	2	2			
行政法	2	2			
憲法総合	2	2			
行政法総合	2	2			
公法系演習Ⅰ	2		2		
公法系演習Ⅱ	2		2		
公法系演習Ⅲ	2		2		
民事系					
民法基礎演習	2	2			
民法Ⅰ	2	2			
民法Ⅱ	2	2			
民法Ⅲ	2	2			
民法Ⅳ	2	2			
民法Ⅴ	2	2			
会社法	2	2			
民事訴訟法	2	2			
民法総合Ⅰ	2	2			
民法総合Ⅱ	2	2			
商法総合	2	2			

民事訴訟法総合	2	2			
民事法系演習Ⅰ	2		2		
民事法系演習Ⅱ	2		2		
民事法系演習Ⅲ	2		2		
民事法系演習Ⅳ	2		2		
民事法系演習Ⅴ	2		2		
民事法系演習Ⅵ	2		2		
民事法系演習Ⅶ	2		2		
刑事系					
刑法基礎演習	1	1			
刑法Ⅰ	2	2			
刑法Ⅱ	2	2			
刑事訴訟法	2	2			
刑法総合	2	2			
刑事訴訟法総合	2	2			
刑事法系演習Ⅰ	2		2		
刑事法系演習Ⅱ	2		2		
刑事法系演習Ⅲ	2		2		

② 法律実務基礎科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
法曹倫理	2	2		必修単位数10単位を含め，合計12単位以上を修得しなければならない。	
要件事実と事実認定の基礎	2	2			
刑事事実認定論	2	2			
民事訴訟実務の基礎	2	2			
刑事訴訟実務の基礎	2	2			
法情報調査	2		2		
法文書作成	2		2		
クリニック・ローヤリング	2		2		
エクスターンシップ	2		2		
企業法務	2		2		

③ 基礎法学・隣接科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
基礎法学科目				選択単位数4単位以上を修得しなければならない。	
法哲学	2		2		
法制史	2		2		
英米法	2		2		
独法	2		2		
隣接科目					
立法学	2		2		
政治学	2		2		
会計学	2		2		

④　展開・先端科目

授業科目	単位数	必修単位数	選択単位数	履修方法	備考
労働法Ⅰ	2		2	選択単位数のうち, 労働法Ⅰ 労働法Ⅱ 労働法演習 経済法 経済法演習 国際公法 国際私法Ⅰ 国際私法Ⅱ 国際私法演習 知的財産法Ⅰ 知的財産法Ⅱ 知的財産法演習 租税法 租税法演習 倒産法Ⅰ 倒産法Ⅱ 倒産法演習 環境法 環境法演習 のうちから4単位以上を含め,合計12単位以上修得しなければならない。	
労働法Ⅱ	2		2		
労働法演習	2		2		
経済法	2		2		
経済法演習	2		2		
国際公法	2		2		
国際私法Ⅰ	2		2		
国際私法Ⅱ	2		2		
国際私法演習	2		2		
国際取引法	2		2		
知的財産法Ⅰ	2		2		
知的財産法Ⅱ	2		2		
知的財産法演習	2		2		
租税法	2		2		
租税法演習	2		2		
民事執行法･民事保全法	2		2		
倒産法Ⅰ	2		2		
倒産法Ⅱ	2		2		
倒産法演習	2		2		
事業再生法	2		2		

事業再生法演習	2		2		
消費者法	2		2		
保険法	2		2		
金融商品取引法	2		2		
環境法	2		2		
環境法演習	2		2		
法医学	2		2		
医療と法	2		2		
医療紛争論	2		2		
地方自治法	2		2		
情報法	2		2		
経済刑法	2		2		
外書講読	2		2		

第５節　科目等履修生・聴講生・特別聴講学生及び研究生

第137条　大学院修士課程及び大学院専門職学位課程の授業科目中の１科目又は数科目の履修を希望する者に対して，科目等履修生として入学を許可することがある。

２　科目等履修生の出願手続等については，別に定める。

第138条　科目等履修生は，履修した授業科目について試験を受けることができる。試験に合格した者には，所定の単位を与えることができる。

第139条　大学院修士課程の授業科目中の１科目又は数科目の聴講を希望する者に対して，聴講生として入学を許可することがある。

２　聴講生の出願手続等については，別に定める。

第140条　国内又は国外の他の大学院の学生が大学院研究科の授業科目の履修を希望するときは，特別聴講学生として入学を許可することがある。

２　特別聴講学生の出願手続等については，別に定める。

第141条　各研究科において，特殊な事項に関する研究に従事しようとする者に対して，研究生として入学を許可することがある。

２　研究生の出願手続等については，別に定める。

第142条　国内又は国外の他の大学院の学生が各研究科において，特殊な事項に関する研究に従事しようとするときは，特別研究学生として入学を許可することがある。

２　特別研究学生の出願手続等については，別に定める。

附　則

1　この学則は，令和５年４月１日から施行する。

2　令和２年４月１日施行の学則については，第20条から第22条，第25条，第28条から第30条，第34条，第36条，第40条，第51条，第77条，第105条，第106条（第２項，第４項，第５項及び第６項を除く）及び第116条は，入学年度にかかわらず，この規定を適用する。

3　工学部土木工学科，建築学科，生命応用化学科及び情報工学科の収容定員は，第12条の規定にかかわらず，令和４年度から令和６年度までの間，次のとおりとする。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度
土木工学科	610	620	630
建築学科	730	740	750
生命応用化学科	610	580	550
情報工学科	730	740	750

4　医学部医学科の毎年入学定員及び収容定員は，第12条の規定にかかわらず，「地域の医師確保等の観点からの令和４年度医学部入学定員の増加について（令和３年８月16日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知)」及び「地域の医師確保等の観点からの令和５年度医学部入学定員の増加について(令和４年８月29日付け文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知)」に基づき，令和５年度から令和10年度までの間，次のとおりとする。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
毎年入学定員	135	120	120	120	120	120
収容定員	740	740	740	740	740	735

5　生物資源科学部各学科（獣医学科を除く）の収容定員は，第12条の規定にかかわらず，令和５年度から令和７年度までの間，次のとおりとする。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
バイオサイエンス学科	210	420	630
動物学科	136	272	408
海洋生物学科	146	292	438
森林学科	120	240	360
環境学科	130	260	390
アグリサイエンス学科	140	280	420

食品開発学科	146	292	438
食品ビジネス学科	554	564	574
国際共生学科	146	292	438
獣医保健看護学科	80	160	240
生命農学科	390	260	130
生命化学科	390	260	130
動物資源科学科	408	272	136
森林資源科学科	390	260	130
海洋生物資源科学科	408	272	136
生物環境工学科	390	260	130
食品生命学科	408	272	136
国際地域開発学科	390	260	130
応用生物科学科	378	252	126
くらしの生物学科	240	160	80

6　大学院危機管理学研究科危機管理学専攻修士課程の収容定員は，第12条第２項の規定にかかわらず，令和５年度は，次のとおりとする。

	令和５年度
危機管理学専攻	8

7　大学院スポーツ科学研究科スポーツ科学専攻修士課程の収容定員は，第12条第２項の規定にかかわらず，令和５年度は，次のとおりとする。

	令和５年度
スポーツ科学専攻	8

8　危機管理学部危機管理学科の学位に付記する専攻分野の名称は，令和３年度以前の入学者については，従前の例による。

9　教育公務員特例法等の一部を改正する法律（平成28年11月28日法律第87号）附則第五条（教育職員免許法の一部改正に伴う経過措置）の適用を受けない者は，教職課程に関して，本学則の適用を受けるものとする。

10　平成30年度以前から在学する学生については，教職課程の履修に関して，本学則に定める授業科目を履修する必要があると認められる場合，本学則に定める授業科目を履修することができるものとする。

11　令和元年度以前から在学する学生については，文理学部社会教育主事コースの履修に関しては，本学則に定める授業科目を履修する必要があると認められる場合，本学則に定める授業科目を履修することができるものとする。

別表１の１

教育研究上の目的（大学）
法学部第一部
法律の知識を基礎として，高水準の実践的な専門教育と国際的教養人としての教養教育に努め，高い倫理観と優れた人格を備えた法律的なものの考え方ができる人材を養成する。また，高度な職業意識と専門的な能力を兼ね備えた人材を養成する。 （法律学科） 社会全般に対する広範な知識をもとに，自ら問題を摘示する能力，いわゆるリーガルマインドと称される論理的思考能力，問題解決能力を身につけ，グローバル化が進み，価値観が多様化する現代社会の中で生起する様々な問題に対して，一定のルールに従い解決する能力を発揮することができる人材を養成する。 （政治経済学科） 現代社会において必要不可欠な政治・経済・法律に関する幅広い知識と理論を基礎として，自分独自の視点で問題を見きわめる能力や論理的・批判的な思考能力，社会に存在する諸問題を解決していく能力,そして自己を省察する能力を身につけ，国や地方の公共団体，民間企業，NGO/NPO，マスメディア，そして国際的なフィールドなど，社会のあらゆる場面において実践的な能力を発揮することができる人材を養成する。 （新聞学科） 法律学，政治学などの知識を踏まえ，新聞学（ジャーナリズム・メディア・情報・コミュニケーションに関わる学際領域）の基礎理論を把握し，グローバル化，ネットワーク化する現代社会を理解するための思考法を身につけ，専門的学知を用いて真理を探求することのできる能力と，人間社会の相互理解や自由と平等に寄与する能力を涵養し，研究者やジャーナリスト，情報の誠実で責任ある担い手となる人材を養成する。 （経営法学科） 経営と法に関する確固たる知識と世界に発信できる語学力・コミュニケーション能力に基づいて，国内外の経営活動・企業活動の発展に貢献することの重要性と必要性を認識し，自らの考えを述べることができる力を涵養することによって，企業が直面する様々な課題に対処することができる力を身につけ，国内外の経営活動・企業活動における経営と法に関する体系的知識を修得し，実務的観点に立って問題を解決することができる人材を養成する。 （公共政策学科） 公共政策，行政，法律，政治，経済の知識を基礎として，公共に関わる分野，国及び自治体の機能，政策の分析方法・技法に関する知識・理解の上に，公共政策の立案・実施や政策効果の分析に係る能力を身につけ，国及び地方の行政組織で活躍する公務員，公共・公益分野を中心とする民間企業や「新しい公共」の担い手となる諸団体（NPO法人，福祉団体，学校・教育機関など）でリーダーシップを発揮できる人材を養成する。
法学部第二部
（法律学科） 社会全般に対する広範な知識をもとに，自ら問題を摘示する能力，いわゆるリーガルマインドと称される論理的思考能力，問題解決能力を身につけ，グローバル化が進み，価値観が多様化する現代社会の中で生起する様々な問題に対して，一定のルールに従い解決する能力を発揮することができる人材を養成する。

文　理　学　部

文理学部は，人文学をはじめ社会科学や理学に関する幅広い学問領域をカバーし,「文と理」の横断，融合を目指した教育を基本として，各学科による個々の専門に応じた教育・研究を行う。そのために，

①学際的な専門知（Interdisciplinary Expertise）
②学びと教えの循環（“Peer to Peer” Learning）
③他者への想像力（Imagination for Others）

の 3 つの柱を組み合わせた教育・研究を通して，グローバル化した 21 世紀を生きぬき，自由でしなやかに社会をリードすることができる多様性とアイデンティティ(Diversity and Identities)を形成する。

これにより，専門的な知識や技術とともに，境界を超えた柔軟で学際的な思考と創造力，そして対等に開かれた学びのネットワークを通じて，既成概念を超えた新しい協働の場を作り，正解のない困難な課題に立ち向かうことのできる創造的かつ実践的な知の担い手としての人材を養成する。

(哲学科)

哲学・倫理学・美学・宗教学の理論と方法を学ぶことを通じて，人間の価値と文化的実践に関わる総合的・体系的研究を行う。特に，古今の哲学者の著作や資料を厳密に読み解くことを基本としながら,思想全般にわたる幅広い知識を身につけて,鋭い思考力と複眼的なものの見方を養う。それによって，多様化する現代社会の中で自ら問題を発見し，分析して解決することができる人材を養成する。

(史学科)

現代社会の様々な問題を解決するためには，過去の経緯を踏まえることが必要である。ゼミナール制を基本とした充実した教育環境の下で，歴史及びその研究法を習得し，歴史的視点と，より正確な歴史像把握の方法を身に付け，豊かな現代社会の構築に寄与する人材を養成する。

(国文学科)

日本語学・日本文学の各分野における多角的で総合的な研究に基づく教育のもと，中学校・高等学校等の国語科・書道科教員をはじめとして，日本語・日本文学・日本文化に関する深い知識と，それらを駆使した優れた思考力，対話力，文章力，プレゼンテーション能力をもった，社会的に有為な人材を養成する。

(中国語中国文化学科)

本学科では,「読む・書く・聞く・話す」などすべての面で実用にたえる中国語の教育を行う。さらに，長い歴史と広い領域にわたる多様な中国文化を理解し，東アジアを主とする国際社会で活躍できる人材を養成する。

(英文学科)

高度な英語運用能力と英米文学及び英語学の知識に基づく豊かな教養を備え，国際社会の場をはじめ各方面で活躍できる能力を持つ人材を養成する。具体的には，コミュニケーション中心の科目群の学修を通して社会に十分通用する英語運用能力を身に付けさせ，英米の文学・文化・言語の専門知識に裏打ちされた多様な価値観を持つ，個性豊かな人材を養成する。

(ドイツ文学科)

1959（昭和 34）年の学科創設以来の研究と教育の蓄積を活かし，ドイツ語力を基盤にしたドイツ，オーストリア，スイスなどのドイツ語圏の文学・言語学・文化についての専門的な指導を行い，また実用ドイツ語力を身に付けられるようドイツ語ネイティヴ教員による授業を多数開講するほか，ドイツ語技能検定試験や海外語学研修も単位認定をする形で受験・参加を奨励し，国際的な広い視野と豊かな感性並びに柔軟な判断力を備えた有為な人材を養成する。

(社会学科)

1920（大正 9）年の学科創設以来,「文と理」の横断・融合を目指す文理学部の中で，自然科学と異なる問題意識から出発した社会科学において独自の特徴を有する社会学の強みを活かし，理論と実証と実践のいずれをも重視する学風を築き上げてきた。このような伝統の下で，グローバル化する現代社会における問題や課題を見いだし，その解決に力を発揮することで，自由でしなやかな社会の構想を具体化する人材の養成を目指す。具体的には，①社会学の理論・学説と方法を深く学び身に付け，②社会学的な思考力や想像力を培い，③現実社会を的確に調査・分析し考察する力を高め，④企画立案と課題解決のための力を養成する。

(社会福祉学科)

社会福祉のあり方は，社会の変化や人々の価値観の多様化，その時々の経済情勢などに対応することが求められる。また，社会福祉の主体は，行政機関，非営利団体，地域の組織や住民，社会的企業など多岐にわたる。

こうした社会の状況を踏まえつつ，社会福祉学の理念や制度，社会福祉の実践（ソーシャルワーク）を融合した教育研究を実現することで,変化･多様化するニーズに柔軟に対応し，さまざまな主体との協働によって，人々が幸せに生活することができる福祉社会の創造に貢献できる人材の養成を目的とする。

このため，多彩な福祉専門領域の教育研究を通じて，社会福祉の理論や相談援助に関する価値・知識・技術を体系的に学ぶとともに，それぞれの学生のキャリア形成も見据えつつ，社会問題の解決を目指した多様な分野の理論や実践に触れることで，高い専門性，豊かな人間性と福祉マインド，地域における協働を通じた社会問題の解決に取り組む実践力を育む。

(教育学科)

教育については，原理的かつ総合的に学習することにより，教職をはじめとする多様な分野において活躍し得る人材を養成する。研究については，教育に関する幅広い視野と問題意識をもつ多くの教員を擁し，各分野における最前線の研究活動を通じて，その成果を学生に還元する。

(体育学科)

体育・スポーツ・健康を取り巻く様々な学問領域における最先端の研究成果を活かしながら，優れた運動技能と高度な科学的知識・技術及び実践力を備えた，活力あふれる人間性豊かな専門家を養成する。

(心理学科)

基礎と応用の両領域で，バランスのとれた心理学の知識を身に付け，社会貢献ができる人材育成を目標にしている。また，公認心理師コースにおいては，医療・福祉・教育・司法・産業等の領域で心理学的な専門的支援を担う公認心理師として活躍できる人材を養成することを目標にしている。そのために,「人間のこころ」を科学的に理解する心理学的知識や方法を習得し，実社会に応用できる力を身につけ，自身で能動的に考え，行動する能力を育成する。そして,「社会の中で役に立つ心理学」を実践する人材を養成する。

(地理学科)

自然地理学，地理情報学，人文地理学，地誌学の 4 つの分野において，実験や野外実習を通じて地域調査の方法を身につけるとともに，GIS やリモートセンシングなどを用いた分析・問題解決能力を養成する。とくに，環境保全計画や災害対策，産業立地計画，地域政策，シンクタンク，観光業界，中学・高等学校の教育職などの諸分野で活躍できる人材を養成する。

(地球科学科)

気象学，水圏科学，地球化学，地質学，地球物理学などの地球科学的な知識と技術に基づき，自然災害問題や地球環境問題の具体的な課題に対処できる基礎的能力をもった人材や，幅広い地球科学的教養を身に付け社会の様々な領域で活躍できる人材を養成する。

(数学科)

抽象的な数学から実際に役立つ応用数学まで幅広い数学の教育・研究を行っている。抽象的な数学を学ぶことから発想力や，正確な論理を展開する力を習得し，応用数学を学ぶことから直ちに社会に役立つ数学の運用力を習得することで，教員や柔軟性と応用力を備えた即戦力となる人材を養成する。

（情報科学科）
　情報科学に関連する知識・技術を基礎から指導することにより，物事を論理的に分析・理解し，原理的側面から問題解決を行う能力と新しい情報技術に対応できる能力を養う。また，新しい情報技術を創出し，情報社会の発展に寄与できる資質を養成する。
（物理学科）
　現代の先端科学技術の発展に十分対処できる基礎的・専門的な学力・知識を備えた科学技術者を養成し，企業，教育・研究機関，産業界に人材を提供する。科学の基礎である物理学を学ぶことによって，技術力，計算力，思考力及び判断力を養い，未来の科学技術及び産業界の発展に貢献できる能力を養成する。また，理科の教員を養成し，次世代の教育に貢献する。
（生命科学科）
　人間社会が直面している健康と医療・エネルギー・食糧・環境・自然再生などの問題は，生命科学と密接に関連している。そこで，分子から生態系にいたる様々なレベルで，生物の「生きる」メカニズムを体系的に学ぶことによって，このような諸問題に対応できる人材を養成する。また，理科の教員を養成し，次世代の教育に貢献する。
（化学科）
　21 世紀における資源やエネルギー源の枯渇，食糧不足，人口問題，環境問題など，人類が繁栄するために解決しなければならない諸問題に対して，化学が果たす役割は大きい。このようなニーズに応えるため，化学のみならず他の分野との境界領域に踏み込める基礎的な知識と力量を身に付け，関連分野でも活躍できる化学技術者・研究者を養成する。また，理科の教員を養成し，次世代の教育に貢献する。

経　済　学　部

　自立した個人の自主的な努力を原則に，教職員と学生が一体になって，変化する経済的社会的環境に対し，人間としての生きる力，愛する力，考える力を養い，その全人格的能力を自由かつ多様に伸長することを図る。そのことを通して，経済諸現象を経済・経営・会計の諸分野で分析できる能力を養い，国際的視野を持って高度情報化時代に対応できる健全かつ高度な専門職業人・社会人を養成する。
（経済学科）
　経済学を系統的かつ体系的に学ぶために，基礎的教養・知識を修得しつつ，近代経済学の基礎理論を理解し，これを土台に，専門的能力を養成することによって，経済現象を経済学的に分析し，論理的に叙述する力を涵養し，変化の激しい経済社会に常に対応できる豊かな教養と専門知識を備えた人材を養成する。
（産業経営学科）
　経済及び経営の専門的基礎力と広い視野からの社会的基礎力を養い，これを土台に，応用力を身に付けることによって，柔軟で倫理観にあふれたビジネスリーダーを養成するとともに，ビジネス社会における各組織の中で，主体的に問題を発見し，その解決のための諸方法を展開できる人材を養成する。
（金融公共経済学科）
　現代経済のインフラストラクチュアともいうべき金融システム，公共システムを対象として，系統的な近代経済学の知識，特にミクロ経済理論を応用して現実の金融，公共経済の働きを理解する能力の習得や，金融部門，公共部門での交渉力，企画立案能力の獲得をねらった，高度で実践的な教育サービスを提供する。そのことを通して，今後のわが国の成長や発展に大きく寄与する，知識と実務能力，金融技術，政策立案技術を備えた人材を養成する。

商　　学　　部

激しく変動する市場経済の下でビジネスを行うには商品，人的資源，資金，情報にかかわる知識と実践的技能の習得が必要である。そのため，実学としてビジネスの理論を学修するとともに，幅広い教養に裏打ちされた職に就く力（就職力）を身に付け，国内だけでなく広く世界を視野に入れて，営利企業，非営利組織，行政で活躍できる専門能力，人間力をもった人材を養成する。

(商業学科)

商業学は，グローバル化や IT 化などの時代の変化に対応して進化をとげつつある。ビジネス・経済にかかわる専門的な知識を基に，マーケティング，流通，貿易，金融，ビジネス法務など多様な科目群を総合的・体系的に学ぶとともに，実践への応用力を養い，激動する市場環境に対応できる的確な判断力，問題解決能力を備えた人材を養成する。

(経営学科)

21 世紀は，市場化が従来の社会，行政領域などに一層進むと予想される。市場経済の担い手は企業組織を中心とするが，これらに加えて多様な非営利組織など様々な特定の組織が参加することになろう。これら市場化の進展に対応する各種の事業組織の創設，組織化，運営，評価などを専門的に行う人材を養成する。

(会計学科)

企業の経営活動の動きを貨幣額，物量という側面から把握した情報を，経営管理に役立て，株主などのステークホルダーに企業成果などの財務内容を開示する役割を果たすのが，会計の中心的役割である。このため，社会における会計学の意義と役割を認識し，国際的な視野で，会計学の理論と実践に関する専門的知識を習得し，ビジネス社会をリードできる人材を養成する。また同時に，公認会計士や税理士を目指す職業会計人も養成する。

芸　術　学　部

芸術総合学部としての特徴と伝統を保持するとともに，21 世紀における芸術の持つ社会的先導性にかんがみ，学科の各々の専門教育をさらに充実・発展させ，同時に，学科の垣根を越えた総合的なカリキュラムを展開することで，芸術・文化全般にわたる広い視野を持った人材を養成する。

(写真学科)

撮影・プリント，展示などの実践技術および写真史・写真作品研究，写真芸術などの表現まで徹底した基礎教育を行い，技術・応用力をもった創造性を兼ね備えた人材を養成する。その上に，社会や諸芸術に対する自己の考えを有する社会に貢献できる写真家，写真研究家などのスペシャリストを養成する。

(映画学科)

デジタル技術の進歩で新たな時代を迎えた映像文化を，理論・評論，映像，脚本，監督，撮影・録音，演技分野で，「芸術創造」と「情報伝達」の両面から探求し，高度な専門知識と技術を身に付けた創作者，技術者，研究者などの映画・映像のスペシャリストを養成する。

(美術学科)

美術にかかわる諸分野の専門家を養成する。多様化する芸術の現状を見据え，創作と理論，歴史研究や作品研究，表現技術の習得をしながら，作家としての自立を模索していく。また，自己の外側の世界に積極的に関心を持ち，視野を広げ創造を喚起して，自分自身の表現の主題を明確にしていく。

(音楽学科)

従来の音楽専門教育に加え，幅広い視野と教養を身に付けさせる教育を行っている。演奏や創作といった音楽教育もさることながら，時代に即した諸関連芸術分野の習得によって，次世代の音楽芸術を担う人材を養成する。

（文芸学科）
　文章芸術の持つ精神的及び文化的な意義を考究し，かつ自らその実践者，すなわち創作者となるよう指導，督励することが教育・研究の主目的である。現代の広範なメディア状況のなかで，文芸創作から社会・文化評論，ジャーナリズム，広告など，文章を通じた多様な表現現場において，第一線で活躍できる創造力豊かな人材を養成する。
（演劇学科）
　「理論と実践」「基礎と応用」「専門と総合」のバランスに配慮したカリキュラム体系，並びに学生の個性・習熟度に応じた教育体制を整備し，現代社会における演劇・舞台芸術の役割についての高い見識と，その新しい可能性をひらいていくための技術・創造力を兼ね備えた人材を養成する。
（放送学科）
　多様化する情報，進化する放送技術の中で，学生個々の感性を刺激し，魅力的で独創的な作品を創作することによって，自由に自己表現できる人材を養成する。併せて，放送メディアに関する専門知識と情報伝達技術を身に付け，放送について深く理解し，理論的に考察できる人材，独創的で豊かな発想力をもつ人材，さらに放送を基盤とした多様なメディアに対応できる有能な人材を養成する。
（デザイン学科）
　少人数教育を基本とし，感性豊かな創造力を育み，新しい時代への視野と洞察力を養う。学生一人ひとりの個性を伸ばし，実践的なデザイン創作活動と斬新な研究からデザインの価値を生み出し，文化の質の向上を導くことで社会に貢献する人材を養成する。

国際関係学部

　日本大学の教育理念「自主創造」を実践するとともに，国際社会で活躍するために必要な問題解決能力,社会の各分野で提言できる政策能力,高いコミュニケーション能力を兼ね備えた，国際交流や国際社会の様々な分野で活躍できる人材を養成する。
（国際総合政策学科）
　国際交流や国際社会の様々な分野で，困難な問題に対しても，高度な意志決定ができる人材を養成する。国際人として欠かすことのできない英語をはじめとした外国語能力を向上させるために基礎教育を徹底して行う。総合的な教養力を養うとともに，国際関係，国際ビジネス，グローバルスタディ，グローバル観光の４つの履修コースを柱として，国際実務に必要な専門知識とスキルを養成する。
（国際教養学科）
　多文化共生社会において，異文化理解を深めるための専門知識と英語を中心とした外国語の実践的な運用能力のある人材を養成する。様々な国・地域における高度な文化的専門知識を養うとともに，国際文化，国際コミュニケーション，グローバルスタディ，グローバル観光の４つの履修コースを柱として，実務に耐える応用力を養成する。

危機管理学部

　グローバル化した現代社会を取り巻く様々な危機と向き合い，人々の生命や生活を守る強い信念と高い志を基に，リーガルマインド（法を用いて紛争や問題を解決する能力）とリスクリテラシー（危機管理能力）とを融合させた学識をもって主体的に行動し，日本の秩序の維持と国民の安全，さらには世界の平和の実現に向けて問題解決を実践する人材を養成する。
（危機管理学科）

現代社会で発生する多様な問題に対して，国，地方公共団体，民間企業，メディア，NGO，国際機関などそれぞれの職場において平常時から危機管理の観点を持って主体的に関わり，自然災害，事故，事件や紛争など危機の現場においてリーガルマインドとリスクリテラシーを用いて危機管理を実践するために必要な広い教養と専門知識を備えた人材を養成する。

スポーツ科学部

スポーツに関連する多様な学問領域における最先端の研究成果を活かしながら，スポーツ経験を基盤とする優れたスポーツ技能と科学的知識を備えた世界的レベルの競技者や，人間性豊かな反省的実践家の養成により，広く社会貢献することを教育研究上の目的とする。

(競技スポーツ学科)

「競技スポーツにおける実践力のある反省的実践家の養成」を教育理念に掲げ，教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い，国内のみならず，国際的競技会で活躍できる優秀なスポーツ選手の育成や，競技スポーツ分野で活躍できる反省的実践家の指導者を養成する。

理　工　学　部

理工学部の教育理念「自由闊達な精神，豊かな創造性及び旺盛な探究心を持ち，人類の平和と福祉に貢献できる，誇りある人材を養成する」に基づき，理学と工学の連携下，先端技術の創成と情報化・国際化に対応できる教養・基礎教育と，理論と応用を体系的に修得できる実践的な専門教育を実施する。これにより豊かな人間力（教養と高い倫理観）とともに，質の高い学士力を培い，個性・特色ある人材を養成する。

(土木工学科)

心身ともに健全な文化人，土木工学のどの分野にとっても必要な基礎知識を身に付けた土木技術者，進路により適した応用能力を身に付けた土木技術者，伝統を引継ぎ，実社会で多方面に活躍する実践的な土木技術者を養成する。

(交通システム工学科)

高い倫理観を持ち，地球環境の維持と公共の福祉の向上を理解し，歴史や文化に配慮して，持続可能な美しい地域社会の構築と運営に貢献できる交通・建設エンジニア及び交通・都市・環境マネージャーを養成する。そのために，安全かつ快適で豊かな社会の形成に資する交通システムの創造や整備，維持管理，運営，経営を行う総合力と専門能力を養うための教育と研究を行う。

(建築学科)

人類の未来につながる理想的な環境の創出に寄与できる，幅広い視野と豊かな創造性を持つ人材を養成する。このことから，基礎的な建築教育と専門的な素養を深める教育の両方の実施を基本とし，研究者，建築家，建築構造設計者，環境・設備技術者，建築工事監理技術者，建築生産管理技術者，不動産企画・開発者等を目指す学生に対応する教育プログラムを実施する。

(海洋建築工学科)

建築学の基礎知識を修得するとともに，海洋及び沿岸域の環境を理解し，防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造，快適かつ自然環境や景観に配慮した都市・建築計画などの海洋建築工学の専門知識を学ぶ。これらの学問を十分に活用し，高い倫理観を持って人と地球環境に優しい建築物や都市空間を計画・設計・施工できる建築家・技術者を養成する。

(まちづくり工学科)

大都市から山間部や沿岸地域まで幅広い地域を対象として，そこに暮らす人々のニーズを把握したうえで将来像を提案し，それを実現に向かわせるまちづくりの専門家，技術者を養成する。そのために，まちを創造・整備する工学的技術に加え，景観・観光・福祉といった学際的専門分野を理解することで持続可能なまちづくり理論を修得するとともに，演習等を通じてまちづくりの実践的な思考と技術を養うための教育と研究を展開する。

(機械工学科)

機械工学はものづくりを通して，人間生活を豊かにするための総合的な学問である。その機械工学を構成している自然法則の基礎的な理論や概念に立脚し，高度情報化した社会のニーズに応えることのできる創造性豊かな技術者を養成する。

(精密機械工学科)

機械工学に加え電気・電子工学を基礎として，ロボティクスやメカトロニクスに代表される自動化技術，計測制御技術，及びマイクロマシンやマイクロシステムに代表される超微細加工技術，集積化技術を包含した先端の技術分野の研究を行い，さらに新しい技術分野の展開にも対応できる，創造力がありものつくりに強く，骨太で人間性豊かな，かつ環境・福祉にも関心を持つ研究者・技術者を養成する。

(航空宇宙工学科)

航空宇宙工学は，航空機や宇宙機のような大規模で複雑なシステムを対象とし，最先端技術の開発が求められる先駆性，宇宙環境のような極限条件下での高度な信頼性・安全性が求められる極限性，様々な分野の最先端技術が複合的に組合わされた総合性を特徴とする。このような特徴を有する航空宇宙工学の修得を通じて，自啓自発の精神を持ち，科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。

(電気工学科)

豊かな感性と創造性を育むことを理念とし，電気工学を網羅する「エネルギー，エレクトロニクス，情報・通信」を修得することにより，自由な発想と学際的視野も持つ，科学技術の未来を拓く研究者，生活を豊かにする優れた技術者を養成する。

(電子工学科)

電子工学分野の豊富な知識と技術を有し，広い視野に立って科学と自然を理解し，意欲的に課題を発見して解決する能力，並びにコミュニケーション能力や応用力を備え，日々進展する最先端電子工学をリードできる高度な専門性をもつ人材を養成する。

(応用情報工学科)

情報工学の確かな基礎力を有し，ソフトウェアのみならずハードウェアのスキルを身に付け，意欲的に課題を発見して解決する能力，並びにリーダシップ・コミュニケーション能力を備え，情報処理・ネットワーク・組込システムをはじめとする情報技術の世界で将来を担う人材を養成する。

(物質応用化学科)

化学技術の向上は人々の生活を豊かにすることを目標にしており，そのために限りある資源・エネルギーを有効に使い，地球環境を守るための新しい物質変換やエネルギー再生システムの開発が必要である。これを目指し，必要な基礎知識と基礎技術を身に付け，外部に開かれた柔軟な発想によって，新しい物質や技術を開発できる化学技術者を養成する。

(物理学科)

物理学の思考方法を体得し，科学を論理的に考える力，応用力を持ち，学究に対する世界に通じるフロンティア精神を有する次世代の最先端を切り拓く，科学・技術の創成に貢献する人材を養成する。このために，物理学の基本法則の理解と実験による体験を重視し，学生個々が持つ能力を引き出し，広い視野を持ち，未知なる問題を創造的に解決する能力を身に付けさせる教育研究を行う。

（数学科）
現代のあらゆる科学技術の根幹をなす数学と，コンピュータ科学の基礎理論を学ぶことを通して，真理を重んじ追究する数理科学者を養成する。知的活動の真髄である数学のことばを身に付け，情報化された社会が必要とする高度な数理技術・情報処理技術に柔軟に対応でき，夢と目的意識を持つ人材を育てるプログラムを提供する。幅広い教育を実践する能力のある，中学校・高等学校の優秀な教員を養成することも，大切な教育目的である。

生 産 工 学 部

幅広い教養と経営管理能力を持ち，学生個々の個性・能力を生かして人類の幸福と安全を実現するために考え行動し，社会に貢献できる技術者を養成する。
このために，技術の進歩に対応できる基礎学力と応用能力，及び技術の社会と自然に及ぼす効果と影響について多面的に考える能力を培う。
（機械工学科）
機械工学は生産活動の基盤を支える学問であり，我々の生活を豊かにしてきた。近年，“機械”は人間や自然環境との調和を図ることが重要視され，長期的，広域的視野を持った技術者が必要とされている。このような背景から，機械の面白さやものづくりの楽しさを体感した経験を持ち，ものの作り方や使われ方を知り，自分が作りたいものを具体化して社会の理解を得ながら，ものづくりの現場をグローバルな視点からマネジメントできる人材を養成する。
（電気電子工学科）
産業構造の変革と高度情報化社会の進展に伴って，電気電子工学の進歩は著しく，また多様化している。これに対応できるように基礎学力と専門領域の知識を身に付け，さらに経営・管理工学を学び，実験・実習を通じて問題解決能力が高く，創造性豊かで，しかも経営能力も有する技術者を養成する。
（土木工学科）
土木分野に関する理論・現象を実験・実習・設計を通して習得するとともに，実社会における生産実習（企業体験）と経営や安全管理の基礎を学び，専門職の実務に対応できる基本能力を備えた技術者を養成する。さらに，習得した知識の集大成として，土木分野の課題を探究・創造・解決するプロセスを学び，土木技術者としての総合能力を養成する。
（建築工学科）
建築の基礎となる，「計画」，「構造」，「環境・設備」，「材料・施工」の総合的知識を持ち，高い倫理観のみならず，国際感覚，問題解決能力，応用能力，創造力，さらには発表能力・対話能力に重点をおいて，徹底的に教育指導をし，国際化が進む社会の要請に応えうる，そして経営能力も有する人材を養成する。
（応用分子化学科）
地球上に存在する物質は，わずか 100 種類ほどの元素の組み合わせによって成り立っている。これらの物質を対象に，豊かで安全な社会を維持させるために資源と環境を調和させながら，材料の無限の可能性を追求する教育研究を行っている。これによって，物質的な学問知識に加え，必要な特性を持つ素材を生み出す「分子デザイン能力」，環境に優しいものづくりのための「グリーンケミストリー」の概念，及び技術者としての倫理観を備え，製品化に向けた計画から生産するまでの「マネジメント能力」を身に付けた化学技術者を養成する。
（マネジメント工学科）

自然・社会・人間科学などの科学技術を応用した工学的知識をベースに，健全な企業経営の推進，自然・社会環境の向上，人にやさしい製品やシステムの開発・設計そして運用などにかかわる工学的理論や方法論を教育研究し，経済社会の活動を効果的に進めるため，グローバル化にも対応した経営・管理技術を身に付けた人材を養成する。

(数理情報工学科)

IT（情報技術）並びに ICT（情報通信技術）が，既存の生産活動並びにビジネスの仕組みを大きく変えるエンジンであるという認識に立ち，インターネットの活用法，各種プログラミング技法，ソフトウェア構築法などの情報処理能力，並びにシステム工学・数理工学に裏付けられた問題発見・解決能力を習得した人材を養成する。

(環境安全工学科)

地球規模の視野を持ち，持続発展可能な社会の実現のために工学分野を複合的に学び，環境共生とエネルギーに関する知識と応用能力及び技術が社会と自然に及ぼす効果と影響について，サステイナブル（持続可能）な視点から考え行動できる総合能力を有する技術者を養成する。

(創生デザイン学科)

自然科学をベースとする工学知識や技術，芸術を基礎とする感覚や技法，その両方を駆使して人と人工物の理想的な関係を築くことこそがデザインであると捉え，これを実践できる人材を育成することを目標とする。これを実現するために，統合された理論的なデザインの方法である「デザイン思考」の重要なステップ「共感」「問題定義」「創造」「プロトタイピング」「テスト」をカリキュラムに取り入れ，社会全般を見渡して，新しい商品やしくみを提案したり，開発できるデザイン・エンジニアを養成する。

工　学　部

基礎教育の徹底により，工学の基礎力を修得し，自主的に考察し判断できる発想力及び解析能力を培う。さらに，工業技術が社会と環境に及ぼす影響を理解することにより，高い倫理観をもって調和のとれた持続可能な社会の実現に貢献できる人間性豊かな技術者を養成する。

また，教育研究活動を通じて地球環境の保護と健康的な生活に工学の立場から寄与し，その成果を社会と地域に還元する。

(土木工学科)

社会基盤や環境の保全と防災力の向上，資源の循環など，これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で，ものづくりに関する基礎技能，自然環境との共生を図る意識及び高い倫理観を有し，社会基盤の整備に実践的に従事できる人間性豊かな技術者を養成する。

(建築学科)

建築学に関する幅広い知識と，専門性の高い技術，さらに創造力豊かな芸術性を修得して，広く地域社会に通用する協調性のある人間性を身に付けるとともに，建築が果たすべき社会的使命としての倫理観や責任感を持った，実践力や指導力のある建築技術者，建築士，デザイナー，研究者，公務員，教員などの人材を養成する。

(機械工学科)

機械工学の基礎と専門分野の知識と技術の修得に重点を置き，機械と人間，社会，自然との関係を深く理解し，地球環境保護，エネルギー・資源再利用などの課題に対応でき，健康で持続可能な暮らしを実現するための知識を身に付けた機械エンジニアを養成する。

(電気電子工学科)

電気電子技術に関して社会貢献できる能力と物事を総合的に判断し得る能力を養うと共に，課題解決のためのチームワーク力と論理的思考力を身に付けることによって，今後の社会環境の変化により生じる新たな要望に対して良識ある倫理観をもって対応でき，かつ国際的視野に立って活躍するために必要なコミュニケーション能力に秀でた第一線で活躍できる情報通信・電気・電子分野の技術者を養成する。

（生命応用化学科）

21 世紀を切り開く持続可能な社会システムの実現を目指し，生命・材料・環境等に関わる化学の応用分野の幅広い知識及び実験技術を修得し，高い倫理観と問題解決能力を有する人材を育成することで，生命や環境に配慮した化学製品や医薬品などの開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動等に従事・貢献できる応用化学・環境化学・生命化学の技術者，教員，公務員，研究者等を養成する。

（情報工学科）

情報社会の基盤づくりに貢献できる技術者となるために，自然科学の知識を基礎として，プログラミング，ネットワーク，計算機システム，メディア処理，情報解析などの情報処理に関する基礎技術を修得し，問題を論理的に分析し目標の実現を図る論理的思考能力と実務処理能力を身に付け，他者との的確なコミュニケーション能力を有する人材を養成する。

医　学　部

医学を修める者の社会的責務を自覚し，常に自ら考え研鑽し，豊かな知識・教養に基づき社会に貢献する高い人間力を有する医師を育てる。さらに高い倫理感のもとに，論理的・批判的思考力を有し，世界へ発信できる学際的視野を持った研究者，豊かな個性を引き出し，次世代リーダーを育成する熱意ある教育者の育成を目的とする。

（医学科）

すべての人を平等に愛し，自己犠牲・献身を惜しまない心を持ち，醫学・醫療の道を通じて社会に貢献する者に相応しい資質と能力を備えた人材を育成する。

歯　学　部

歯学部の前身である東洋歯科医学校の創設者である佐藤運雄先生の唱えた「歯学を口腔に止めず，常に全身と関連づけて学ぶ」という医学的歯学を校是とした教育を基盤としている。さらに，人間教育としては，師による人格の教化と切磋琢磨を基本としている。

また，医療人として，生涯にわたり自己の資質の向上に努め，社会に有為なスキルの高い歯科医師を養成する。

（歯学科）

専門的知識や的確な医療技術と豊かな人間性を有する歯科医師を養成する。すなわち，幅広い教養と総合的な判断力の上に立って，常に最新の科学的情報を基にして問題を探究する能力の高揚と，診療に際して患者本位の歯科医療に携わることのできるスキルを備えた歯科医師を養成する。

松 戸 歯 学 部

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし，それを具現化した「オーラルサイエンス（口腔科学)」の学びを礎に，自主創造の能力を養い，豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち，論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し，歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。

（歯学科）

口腔と全身の健康維持，増進に寄与するために，社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え，あらゆる職種と協働し，地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。

生物資源科学部

今日，世界は食糧問題や環境問題をはじめ新興感染症など，多くの解決すべき問題を抱えている。生物資源科学部は，「生産・利用科学」，「生命科学」，「環境科学」の３分野を基軸として，自然や生物との共生を図り，人間活動を重視した教育研究を行っている。対象とする生物資源は，これらの問題を解決し，持続可能な社会を実現させる上で必須である。これらの教育と研究を通して，グローバルな視点をもち，課題を主体的に解決できる能力，優れた科学技術を備えた人間性豊かな人材を養成する。

(バイオサイエンス学科)

生物が持つ多様な情報・物質・機能を最大限に活用するためのバイオサイエンスに関する豊富な知識と，IT や AI を融合した先端的バイオテクノロジーを応用して様々な課題を主体的に解決し,持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(動物学科)

幅広い動物学の教育研究活動を通して，生態系の重要な要素としての動物の地位と動物が有する様々な潜在能力を理解し，近年の環境問題の解決から動物が有する特異的能力の人類の文化的生活への応用を考え，実践できる人材を養成する。動物学が包含する専門分野のスペシャリスト養成のみならず，多様化する社会の幅広い分野に対応できる，優れた思考力・応用力・適応力を有した動物学に関するジェネラリストを養成する。

(海洋生物学科)

海洋生物と海洋環境の持続的な維持・管理，生物資源としての海洋生物の効率的な生産及び利用を中心に，関連する生命科学，生産科学，利用科学及び環境科学分野の知識・技術を身につけた人材を養成する。さらに，海洋生物とこれを取り巻く環境の保全や人類の豊かな生活の調和を創造できる能力を持った人材を養成する。

(森林学科)

森林環境とその管理に関わる諸問題を解決するために，森林及び自然環境に関する幅広い基礎知識を持ち，論理的な思考と現場での応用力を備えた人材の養成を目標としている。さらに，これらの豊富な知識，持続可能な森林の利用に関する技術を駆使して，環境に配慮した森林の活用，循環型社会の実現に貢献できる人材を養成する。

(環境学科)

地球環境や地域環境，生態系が日常のくらしと調和した社会を創造できる人材や，バイオマスエネルギー開発など生物環境を科学的な観点から考察して，環境条件を持続させながら都市や社会を発展させることができる人材を養成する。

(アグリサイエンス学科)

世界に通用する次世代の高品質な農産物の生産及びブランド化を目的としたアグリビジネスに関する幅広い知識，高度な専門技術を身に付けた人材を養成する。

(食品開発学科)

新たな食品を創造するために，最先端の食品製造，並びに食品の栄養・機能を理解し，健康の維持・増進に役立ち，おいしくて安全な食品を開発することができる技術者・研究者を養成する。また，食品産業界を牽引し，国民の健康増進にも貢献できる人材の養成を行う。

(食品ビジネス学科)
日本と世界の食料問題の解決と新たな食の創造に関する諸問題に貢献し，フードシステム，フードビジネスのリーダーとなるべき人材の育成を目指している。すなわち，食品に関する生産，加工，流通，消費に至るフードシステム形成の理論と技術教育を重視し，食品に関する科学及び技術を総合的に学び,「食」の専門家として社会に貢献できる人材を養成する。
(国際共生学科)
グローバル化・多様化の時代に不可欠な「多角的な視点から共生を図ることができる知識・思考力を備えた人材の育成」を学科の教育理念に掲げ，教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い，かつ高度な専門的研究も行う。これによって，共生に関する知識・思考力を活かして国内外の生物資源を扱う産業分野で活躍できる人材，国際交流・国際協力に貢献できる人材を養成する。
(獣医保健看護学科)
愛玩動物の診療補助，適正な飼養，疾病の予防，リハビリテーション，公衆衛生など，動物の健康管理や看護に必要な専門知識と技術を幅広く修得し，獣医師と協働して実践的に活躍できる愛玩動物看護師を養成する。
(獣医学科)
獣医学は，動物医療を根幹として，動物の健康維持・増進を図るとともに，ヒトの健康と福祉に貢献することを目的としている。その達成のために，生命活動のメカニズムの探求や疾病の診断・治療・予防はもとより，公衆衛生，野生動物の保護及び環境保全など幅広い領域に対し，社会のニーズに応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成する。
(生命農学科)
生産科学，生命科学，環境科学の 3 分野を体系的に教育し，農学を基盤として植物を中心とした分子生物学から生態学を含めた生命現象に関して，体系的な教育と先端的研究を行っている。特に，農学の中心となる生命科学分野を重点的に展開し，さらに緑地環境科学の分野を利用した技術が習得でき，それらの知識と技術を持った未来の農を担う人材を育成する。
(生命化学科)
動物・植物・微生物など全ての生命体とそれらを取り巻く資源，食料，環境などの多彩な分野に関して，化学的な視点に立って基礎から応用へと結びつける教育・研究を行う。豊富な実験実習と演習を通して高い技術力と実践能力を身につけ，また，化学的視点に立った講義を通して生命に係わる多様な問題に対応できる論理的な思考能力を養い，社会に貢献できる研究者，技術者を養成する。
(動物資源科学科)
動物が有する種々の能力及び機能に関する研究と教育を推進し，それらを応用して人類社会のために貢献することを目的としている。この目的を達成するために，学科の教育・研究の分野を動物生命科学，動物生産科学，動物環境科学及びそれらの学際領域としている。この教育・研究をとおして，多様化する社会の幅広い分野においても対応し得る応用力と思考力を有した人材を養成する。
(森林資源科学科)
森林環境，森林資源管理などにかかわる諸問題について，基礎知識を持ち，論理的な思考と現場での応用力と設計力を備え，専門家としての倫理観を持った人材の育成を目標としている。すなわち，森林及び自然環境を学ぶとともに，人類の共通財産としての持続可能な資源の利用方法を習得し，森林を活用した新たな循環型社会の実現に貢献できる人材を養成する。
(海洋生物資源科学科)

海洋生物資源の持続的かつ有効な維持管理を図るとともに効率的な生産及び利用に関連する生命科学，資源生産学並びに環境科学分野の知識を広く修める教育に重点を置いている。すなわち，幅広い教養と社会全体を見渡せる総合的判断力と，海洋生物環境の保全と人類の豊かな生活の調和を創造でき，かつ国際的にも通用する人材を養成する。

(生物環境工学科)

自然のシステムを活用し，生物資源を適切に利用した生産，生活環境の創造とその応用技術を多面的に学習することを基本としている。すなわち，水・土環境や地域環境，環境配慮型土木的技術，生態系と調和した計画・設計を可能とする環境配慮型建築を創造できる人材やバイオマスエネルギー開発など生物環境を工学的な観点から創造できる人材を養成する。

(食品生命学科)

新たな食品を創造する最先端の研究を展開し，基礎となる食品科学と生命科学とのかかわりを理解し，健康維持に役立ち，安全な食品を創造開発できる教育・研究を行う。また，食と生命に関する豊かな知識を持つ人材の養成に力を入れている。さらに，豊富な実験・実習を通じ実践的な知識を持ち，食品産業界を担っていく新しい知識と技術を兼ね備え，社会に貢献できる技術者，研究開発者を養成する。

(国際地域開発学科)

開発途上国の第一次産業を中心とした経済・社会開発，農業技術協力を含む農村開発，環境保全などの分野での人材の養成を目指す。さらに，問題解決能力，コミュニケーション能力及び国際感覚などを身に付け，農業・農村開発分野の専門家，国際機関の職員や現地進出企業など国内外で世界平和や国際貢献に尽力できる実践力を備えた人材を養成する。

(応用生物科学科)

生命体やそれを取り巻く環境について，基礎から応用まで広い分野の研究と教育を行なっている。近年，微生物・植物・動物のゲノム解析に基づく生命科学の生物産業への応用研究が社会から期待されており，この社会の要望に応えるようバイオサイエンスの専門的知識・技術を幅広く習得し，社会で実践的に活躍できる人材を養成する。

(くらしの生物学科)

「生産・利用科学」「生命科学」「環境科学」の 3 つの分野を総合的かつ横断的に教授し，生物学に関する幅広い専門知識や技術を修得させるとともに地域との協働をはじめとした実践的な教育を実施して，優れたコミュニケーション能力，マネジメント能力を修得させ，自ら判断し，安全で安心な生活や持続型社会の創造に積極的に貢献できる生き抜く力を持った人材を養成する。

薬　学　部

「人類の保健，医療及び福祉に貢献する新しい薬学を創造する」という理念に基づいて，高度医療社会のニーズに応える医療薬学に重点を置いた特色ある教育・研究を推進し，医療人としての倫理観と高い専門性を備え，人の健康と医療の向上に貢献できる自主創造の気風を身に付けた薬剤師を養成する。

(薬学科)

薬学教育 6 年制の課程において，医薬品の安全かつ有効な活用，創薬科学，健康と環境に関する教育・研究を実践し，確かな薬学の基礎を身に付け，独創性と応用力並びに医療人としての心を育て，医療の担い手としての実践力を備えた薬剤師を養成する。

別表１の２

教育研究上の目的（大学院）
法 学 研 究 科
社会科学を主な研究対象とし，現代における多様な社会現象を，高度な学理をもって法学・政治学的に究明するとともに，幅広い教養を身につけた専門性豊かな研究者の養成，社会の要請に応えた高度専門職業人の養成をなし，社会人の再教育によるキャリアアップを目指すための高度な教育を提示する。 （公法学専攻／博士前期課程） 公法に関連する多様な講座を配し，国家（立法・行政・司法）組織，地方自治体ならびに国際組織において活躍し得る人材の専門知識を向上すべく，公法等の理解と応用する能力を養成する。さらに，高等教育機関や研究機関において，公法分野の専門的研究を志す者，その他公法分野に関する専門的職業を志す者に対して，その実現に不可欠な教育を提示する。 （公法学専攻／博士後期課程） 公法分野に係る専門的教育により，将来，研究者又は高度な専門的職業に従事する志をもつ者に対して，専門的知識の修得のために必要な研究指導を行い，研究成果としての論文作成の指導を行う。 （私法学専攻／博士前期課程） 大学教育で学んだ専門知識を更に確実なものとし，これを応用しうる教育を行う。修了後には研究者，公務員，税理士あるいは一般企業の法務業務に携わる法律専門職として活躍し得る人材を養成する。このために法の歴史的発展や比較法の研究による法制度の理解を図り，法解釈の手法とその実践を試み，判例研究などの方法を通じての生きた法を理解する教育・研究を行う。 （私法学専攻／博士後期課程） 研究者として活躍し得る人材，これに準ずる専門職に従事する人材を養成する。この目的の達成のために研究対象とする法の立法過程の研究，外国法の研究もしくは判例研究などを通じての法の運用状態を調査することを支援し，研究成果としての論文作成の指導を行う。 （政治学専攻／博士前期課程） 政治学を中心に隣接領域の多様な学科目を設置し，高度な専門知識と独創性を有する研究者を養成する。また，広い視野と高い専門知識を備えた高度専門職業人，政治に造形の深い市民の養成をなす。 （政治学専攻／博士後期課程） 有為な人材が研究者への第一歩を踏み出し，本格的な研究者に育つために必要な深化した専門的教育を行い，研究成果としての論文作成の指導を行う。また，教育機関及び研究機関に従事するにふさわしい，幅広い視野，深い学識，高度な専門性を備えた人材を養成する。
新 聞 学 研 究 科
高度情報化された民主的社会におけるジャーナリズム及びメディアの公共的な重要性に鑑み，新聞学のより専門的な知識及び実践能力の涵養に努め，もって民主主義及び民主的社会の発展に資するという理念に基づき，新聞学に関する優れた研究・開発能力を持つ研究者，教員を養成すること及び新聞学に基づく高度な専門的知識・能力を持つ人材を養成する。 （新聞学専攻／博士前期課程）

現代社会における多種多様なジャーナリズム及びメディア現象を解明するため，理論，制度及び歴史の研究を基軸として，批判的思考力に裏打ちされた専門知及び実践知の涵養と修得を目指す。このため，様々な課題の中で，新たな公共性原理に基づくジャーナリズム及びメディア秩序の再構築を重要な課題として指導を行う。
（新聞学専攻／博士後期課程）
高度情報化された民主的社会におけるジャーナリズム及びメディアの公共的な重要性に鑑み，新聞学のより専門的な知職及び実践能力の涵養に努め，もって民主主義及び民主的社会の発展に資するという理念に基づき，停滞なき進展，変貌を遂げている新知識基盤社会において，新聞学に基づく高度専門職業人として，現在及び将来に出現する諸問題に有効かつ適切に対応できる人材，新聞学に基づく高度な専門的知識の開発と蓄積によって培われた洞察力，分析力及び問題解決能力を有した人材，博士号取得後，単に教育・研究機関に奉職するのみならず，企業，行政，教育及び国際機関における中核なポジションで活躍できる人材を養成することを目的とする。

文 学 研 究 科

人文科学・社会科学の学問をそれぞれの学問的な特性を尊重しつつ，理論的な探求から実証的研究，先端的な実験・実習までをとり込んだ創造的かつ実践的なカリキュラムを用意し，言語と人間，歴史と文化，心と身体といった普遍的なテーマについて思索を積み重ね，社会的貢献度の高い研究者・教育者など，ゆたかな知性と感性を持った人材を養成する。
（哲学専攻／博士前期課程）
哲学・宗教学・倫理学・美学の各分野を柱にした講義と演習によって学識を養い，人材を養成する。
（哲学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い，個人指導を中心に，さらに深い研究能力を身につけ，人材を養成する。
（史学専攻／博士前期課程）
日本史・東洋史・西洋史・考古学に分かれ，自己の研究を深め，学識豊かな人材を養成する。
（日本史専攻／博士後期課程）
日本史，または，考古学の分野において，自己の研究課題についてさらに専門的に研究し，それぞれが研究者として自立できるように指導し，より高度な学識を持った人材を養成する。
（外国史専攻／博士後期課程）
東洋史，または，西洋史の分野において，自己の研究課題についてさらに専門的に研究し，それぞれが研究者として自立できるように指導し，より高度な学識を持った人材を養成する。
（国文学専攻／博士前期課程）
日本文学と日本語学の，上代から現代までを研究対象とし，実証的な研究及び最新の理論に基づく研究をし，人材を養成する。
（国文学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い，さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い，人材を養成する。
（中国学専攻／博士前期課程）

中国及び中国語圏の言語と文化について，古代から現代までを研究対象とし，文献学的な実証研究及び先進的な理論に基づく研究，及び専門的かつ多様な学識とその運用能力の修得，養成を図る教育を行い，高度な学識と広い視野に立ち，柔軟で自立的な判断力を持つ中国学の専門家を養成する。
（中国学専攻／博士後期課程）
中国学に関する専門的で幅広い教養の上に立ち，専攻領域においてさらに高度な研究能力を養い，研究の発展に必要な学識をいっそう深め，人文科学の発展に寄与し得る，自立した研究活動を行うことができる中国学の専門的研究者を養成する。
（英文学専攻／博士前期課程）
英米文学・英語学・英語教育の各分野に関する講義と演習を通して学識を養い，その研究の基礎を築き，各方面で活躍できる専門家を養成する。
（英文学専攻／博士後期課程）
専攻分野について，研究者として自立した研究活動を行い，さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を深め，人材を養成する。
（ドイツ文学専攻／博士前期課程）
ドイツ語圏の文学・文化・語学の研究及び高度なドイツ語力の養成を目的とし，柔軟な判断力を備えたドイツ研究の専門家を養成する。
（ドイツ文学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い，さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い，人材を養成する。
（社会学専攻／博士前期課程）
社会学コースでは，現代のさまざまな社会現象を分析・解明することを主たる研究目的とし，社会福祉学コースでは，社会保障及び社会福祉問題等の解決・調整を図ることを主たる目的とする。本専攻では，それぞれの学問分野を柱に，幅広い知識と視野を身に付けた人材を養成する。
（社会学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い，さらに高度な研究能力及び基礎となる豊かな学識を養い，人材を養成する。
（教育学専攻／博士前期課程）
教育学及び体育学の学問分野を柱に，基礎的研究能力を有する研究者の養成を目指すとともに，高度な専門知識をもった人材を養成する。
（教育学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として高度な研究能力をもつ，研究活動を自立的に遂行しうる優れた研究者を養成する。
（心理学専攻／博士前期課程）
心理科学及び臨床心理学の学問分野を柱に，基礎から応用まで幅広く学べるカリキュラムで研究を行い，心理科学コースでは心理科学の研究者や科学的視点をもつ公認心理師として，臨床心理学コースでは公認心理師及び臨床心理士として社会に貢献できる人材を養成する。
（心理学専攻／博士後期課程）
専攻分野について研究者として高度な研究能力をもつ，研究活動を自立的に遂行しうる優れた研究者を養成する。

総合基礎科学研究科

本研究科の目標は自然と人間との共生という理念のもとに，地球に優しい科学・技術の探求と確立を目指すところにある。本研究科は，以下の 2 専攻から構成され，多彩な境界領域で接する両専攻が横断的に結ばれているところに特色があり，それぞれの学問領域を融合させた総合的な教育・研究を通じて，以下に記した特色ある人材の養成を目指している。

1　専門分野に対して，深い学識と優れた思考力を持つ人材の養成
2　専門分野や関連分野を幅広く理解し，それらを柔軟に応用できる人材の養成
3　新しい社会や産業の動向を迅速に解析し，広範な知識と能力を発揮できる人材の養成
4　学際的学問領域の学習を通じて，新しい学問の芽を育てる創造性豊かな人材の養成
5　国際的視野と見識で新しい科学技術の問題を正視できる人材の養成

（地球情報数理科学専攻／博士前期課程）

研究科の目的に沿うべく，本専攻においては，地球環境部門，情報科学部門，基礎数理部門を主な研究部門とし，これら 3 部門の複合化を目指している。

（地球情報数理科学専攻／博士後期課程）

研究科の目的に沿うべく，本専攻は，地球環境部門，情報科学部門，基礎数理部門から成り，3 部門の複合化を目指し，3 部門が学際的に協力し合うことを目標としている。

地球環境部門：地球を構成する物質の研究に基礎を置くと同時に，地球各圏の相互関係の解明を目指す

情報科学部門：コンピュータ科学・ソフトウェア科学・数理情報科学における，様々な課題の解決を目指す

基礎数理部門：情報科学，地球科学と関連させながら，基礎数学の側面から数理科学の発展を目指す

（相関理化学専攻／博士前期課程）

研究科の目的に沿うべく，本専攻は，物理学，化学及び生命科学という幅広い自然科学分野におけるさまざまな対象の構造・相互作用・反応・機能等に関し，基礎と応用の両面から理論的・実験的研究と教育を行う。

本専攻は，物理学部門，化学部門及び生命科学部門の 3 部門からなり，それぞれの部門が学際的に相互に補完するように構成されている。

（相関理化学専攻／博士後期課程）

研究科の目的に沿うべく，高度な知識と技能をもつ研究者の養成を行う。

物理学部門：理論的・実験的に物理現象の統一的解明を目指す

化学部門：「化学」の領域は大変に広く，種々の物質や現象の化学的解明を目指す

生命科学部門：様々な生命現象を対象とし，分子レベルから生態系レベルでの解明を目指す

経 済 学 研 究 科

経済学及びその関連学術分野（経営・会計・情報等）における専門的な理論並びに応用の研究を進めるとともに，学術界や実業界においてプロフェッショナルとして求められる高度の専門知識・能力を備えた人材を養成する。このため，①研究者の養成，②高度専門職業人の養成，③社会人の職業的再教育・実務的専門知識の涵養を 3 本柱とし，加えて，学生の資格取得ニーズにも積極的支援を行う。

（経済学専攻／博士前期課程）

経済学及びその関連学術分野における，①専門学識の教授及び研究能力の涵養を通じた研究者の養成，②資格取得を含め目的に沿った専門知識・能力の涵養を通じた高度専門職業人の養成，③社会人の職業的再教育・実務的専門知識の涵養を 3 本柱としており，加えて，学生の資格取得ニーズにも積極的支援を行う。

（経済学専攻／博士後期課程）

経済学及びその関連学術分野において，研究者又はその他の高度な専門性が求められる職業に従事する者に対し，適切な指導を通じ，高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を涵養する。

商 学 研 究 科

商学，経営学，会計学の分野において先進的な研究を担うことのできる研究者の養成と，これらの分野における高度の専門的知識を身につけた専門職業人を養成することを使命としている。先人が構築した知の伝統を正しく継承し，鋭い問題意識をもって新たな知のフロンティアを切り開いていく優れた研究者を養成すると共に，実務界において高度な専門的知識と真に創造的な問題解決能力を基礎にリーダーシップを発揮できる人材を養成する。

（商学専攻／博士前期課程）

マーケティング，流通，金融など幅広い分野について網羅するので，応用経済学の理論と手法を活かして，それぞれの分野における理論的・実践的課題に応える研究を行う。いずれの分野でも現実の動きは激しいが，その追跡に終始することなく，先行研究を丹念に渉猟し理解するよう指導する。それが研究者としての，また社会における指導的役割を担う人材としての不可欠な素養だからである。

（商学専攻／博士後期課程）

各自が選んだテーマについての専門的知識を深め，自立した研究者として学術的研究を進めていく能力を身につけさせる。そのためにも，内外の文献を探索し理解する能力を身につけると共に，指導教員との真剣な討議，学会での研究報告などが必要である。与えられた時間を十分に活用することによって，独創的な研究成果が得られるものと考える。

（経営学専攻／博士前期課程）

営利組織である企業だけではなく，非営利組織である病院，NPO，公共部門をも対象として，経営戦略，組織と管理，財務管理，人的資源管理，販売管理，生産管理など経営の諸領域について，理論的かつ実践的な研究を行う。とくに，グローバルな視野に立ち，変動する環境の変化に迅速に対応しうる経営上の専門能力を有する人材，及び研究者をめざす人材を養成する。

（経営学専攻／博士後期課程）

経営学の最新の理論的成果を吸収しつつ，自立した研究者として学術研究を進展させることのできる人材を養成する。そのために，指導教授の下で，綿密な文献研究やフィールドワークを含む分析技法の習得を基盤として，独創的な研究成果を内外の学会で発表するとともに，学会機関誌などへ掲載するよう指導する。

（会計学専攻／博士前期課程）

会計学，原価計算，監査などを中心としており，各分野のコアを形成する理論をさまざまな角度から探究するとともに，会計実践及び会計実務に役立つ最新の会計問題の解明も十分視野に入れた研究を進める。研究者の方向あるいは会計専門家としての方向のいずれに進んでも，対応できる資質と判断力を身につけさせる。

（会計学専攻／博士後期課程）

将来研究者として自立できるようにするための研究指導を行う。その目的に向かって，各自の選択した研究テーマに即して先行研究を十分に渉猟し，かつ独創的な観点から鋭い分析力と理論構築を可能とする研究指導を行っている。また，研究成果を定期的にチェックするために研究発表の機会を与えて，研究に対するサポート体制も整えている。

芸術学研究科

21世紀の芸術は，すべての領域における融合を必然としている。芸術の現状を視野に置きながら，芸術の理論と歴史の研究と想像力を養い，併せて専門及び学際的課題を含む応用領域の研究を行っている。専門分野の更なる研究と創作等を行うとともに，隣接領域の芸術と触れ合い，広い視野をもって芸術を理解することで，幅広い知識と技術を持った，次代の芸術をリードする人材を養成する。

(文芸学専攻／博士前期課程)

現代文学を研究・創作の両面から考え，隣接ジャンルとの関係で幅広くとらえて文学の未来を探らせる。文学のみならず広義の文化研究の領域でも新研究を求めていく。そのためのあらゆる試みを可能にして，文壇・論壇・学界の新しい担い手を養成する。

(映像芸術専攻／博士前期課程)

今日の情報環境の中で役割が拡大してきている写真，映画，TV等各専門領域・専門分野の深化・総合化を図る。映像の各分野の歴史研究や作品研究，さらに各メディアの総合化の実験，他の芸術領域との統合を図るなど，高度な創作活動，理論的研究を通じて，より新しく専門的な表現実験に意欲的に取り組む人材，専門的な教育研究に従事する人材の養成と新たな総合的研究領域の形成を図る。

(造形芸術専攻／博士前期課程)

デザイン，美術，美学美術史の分野における専門家を養成する。創作研究，作品分析研究，歴史研究を多角的に追求し，平面，立体，映像等表現の伝統的及び現代的技法を習得する。芸術の根源的な営為への想像力を馳せる力を養う一方で，文献学の基礎的方法も学ぶ。国際的な視野を持ち，社会との連携も視野に入れつつ，IT時代に即応した先端的表現領域や，造形関連分野境界領域での表現の独創性も追求する。

(音楽芸術専攻／博士前期課程)

音楽は，芸術文化の中で重要な部分を形成するばかりでなく，社会がますます複雑化し，多様化するにつれて，演劇，舞踊，映画，放送などといった諸分野との結びつきも，さらに密接になってきている。文化の国際化にともなう，まったく新しい形の活動も，めざましい。現実を見据え，いっそう高度な演奏，創作，研究を実践し，あるいは教育に当たることのできる人材を養成する。

(舞台芸術専攻／博士前期課程)

演劇の実践教育及びその芸術表現を基盤に，戯曲，演出，舞台美術の空間表現と，演技，舞踊など身体表現の教育研究を主眼とする。ことに，映像メディアを活用した身体表現や創作実験の場の提供による表現など創造的研究を行う。従来の西洋演劇を中心にした学問体系のみならず日本の伝統芸能，民俗芸術等を基盤として，これらの歴史研究，調査研究を実施し，高度な専門知識と実践的能力を有する人材を養成する。

(芸術専攻／博士後期課程)

近年の芸術は，異なった分野・領域の芸術が，先端的なメディア等を介在しながらクロスし，さらに密接な関係が成立している。専門の分野をより深く研究することを目的としつつ，どの分野からでも自らの研究に必要な他分野も研究し，新たな表現と理論の開発にも有効に機能するよう，芸術の学問と創作研究を確立し，自立した研究活動と高度な専門的活動に従事するに必要な高度な表現研究能力と豊かな学識を持った人材を養成する。

国際関係研究科

現在，国際社会はグローバル化が進行する一方で，地域格差の拡大・民族対立や紛争・環境破壊など様々な問題が深刻化し，複雑な事態に直面している。国際関係研究科では，問題解決の糸口を探ると同時に，グローバリズムとリージョナリズムの調和を図り，これまでの価値観や研究手法にとらわれず，学際的な視点と柔軟な発想から，諸問題に対しダイナミックにアプローチできる研究者を養成するとともに，国際交流や国際援助を活動の場とする高度専門職業人を養成する。

（国際関係研究専攻／博士前期課程）

世界の各地域における諸問題に対し，政治・経済・法律・開発・環境・情報等の視点から研究を行う「国際関係」部門と，各国の文化・文学の比較や異文化間コミュニケーション等の文化的フィールドから研究を行う「国際文化」部門の双方の領域を視野に入れ，総合的・学際的なアプローチを試みることにより，専攻分野における研究能力を養い，専門性を要する職業等に必要な高度の能力を持つ人材を養成する。

（国際関係研究専攻／博士後期課程）

世界が直面している諸問題は，政治・経済・文化等の複雑な要因から構成されており，これらの問題に対しては，社会科学・人文科学の成果を結集した総合的・学際的研究が必要である。このような認識のもとに新領域の国際関係研究を確立し，地域研究を行い，国際関係に精通した研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有し，国際社会に貢献できる人材を養成する。

危機管理学研究科

災害，テロ，国際紛争等，複雑化した現代の様々な危機に，法学を中核とし，政治学，国際関係学等の社会科学の知見を統合した危機管理学の学識を適用して的確に対処し，翻ってレジリエントな社会の創造に貢献する，指導的人材及び高度専門職業人を養成する。

（危機管理学専攻／修士課程）

拡大するグローバルな危機と，ローカルな社会課題と向き合い，社会・自然環境の劇的変化に対応しつつ，世界に指針を示し，リーダーシップを発揮できる危機管理人材へのニーズに応えて，①危機や社会課題を学術的に探求し，危機管理を解明し普及させる指導的人材，及び②危機管理の実践的知識とを有する高度専門職業人として，危機管理の適用法を立案し，実践することのできる有為な人材を養成する。

スポーツ科学研究科

スポーツ科学に関する研究を通して諸問題を認識するとともに，課題を概念化しそれを解決していく反省的実践家として，競技スポーツにおける課題解決能力を高め，国内外からの知見から競技力向上に関する高度な専門性を身につけ，グローバルにスポーツ科学研究を実践できる能力を持った人材を養成する。

（スポーツ科学専攻／修士課程）

スポーツ科学専攻では，競技スポーツの諸課題に対応するスポーツ科学の高度な専門的知識を修得し，スポーツ科学の研究成果を競技スポーツの現場において実践できる能力を持った人材を養成する。

理工学研究科

自然環境を護り，社会倫理を尊び，学術の理論及び技術の深奥を究め，世界の平和と人類の福祉に貢献できる高度な専門的能力を有する人材を養成する。

（土木工学専攻／博士前期課程）

人間生活を支える基盤施設とそのシステムの建設とマネジメントに関する理論と応用を学び，自然環境との調和や資源の有効活用に努め，快適な社会を提供できる，広い視野と自由な精神をもったシビルエンジニアにして，実践的な専門性を要する職業に必要な高度の能力ないし研究能力を有する人材を養成する。
（土木工学専攻／博士後期課程）
人間生活を支える基盤施設とそのシステムの建設とマネジメントに関する理論と応用を学び，自然環境との調和や資源の有効活用に努め，快適な社会を提供できる，広い視野と自由な精神をもったシビルエンジニアにして，研究者として自立して研究活動を行うことができ，高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を有する人材を養成する。
（交通システム工学専攻／博士前期課程）
交通・都市・環境の調和と共生が実現できる地域社会の構築と運営のために，情報化社会に即したシステマティックに，かつ，専門的な視野に立つ教育・研究を行い，広く人類の福祉に貢献し得る交通工学及び社会基盤工学分野の研究者・技術者を養成する。
（交通システム工学専攻／博士後期課程）
交通・都市・環境の調和と共生が実現できる地域社会の構築と運営のために，情報化社会に即したシステマティックに，かつ，専門的な視野に立つ高度な教育・研究を行い，広く人類の福祉に貢献し得る交通工学及び社会基盤工学分野の学識豊かな研究者・技術者を養成する。
（建築学専攻／博士前期課程）
国際的な視野，公正な倫理観，豊かな創造性あるいは芸術性を備え，環境に調和した持続的都市・安全で美しく機能的な建築空間の構築に貢献できる，高度な専門的能力を有するプランナー・デザイナー及び技術者を養成する。
（建築学専攻／博士後期課程）
国際的な視野，公正な倫理観を持ち，高度な専門的業務に従事するに必要な豊かな学識と自立して研究活動を行うことのできる能力を備え，環境に調和した持続的都市・安全で美しく機能的な建築空間の創造に貢献できる人材を養成する。
（海洋建築工学専攻／博士前期課程）
建築工学と海洋工学が融合した海洋建築工学のより高度な知識を修得するとともに，海洋及び沿岸域の環境評価，防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造，快適かつ自然環境や景観に配慮した建築物や都市空間・海洋空間の利用・計画・設計・施工に貢献できる，倫理観の高い研究者・技術者を養成する。
（海洋建築工学専攻／博士後期課程）
建築工学と海洋工学が融合した海洋建築工学のより高度な知識に基づき，海洋及び沿岸域の環境評価，防災安全に優れ多様な立地環境に適合できる建築構造，快適かつ自然環境や景観に配慮した建築物や都市空間・海洋空間を利用・計画・設計・施工に貢献できる，倫理観の高い自立した研究者・技術者を養成する。
（まちづくり工学専攻／博士前期課程）
土木工学・建築学・都市工学・造園学という既存の学問とともに，景観学・観光学・福祉工学・防災工学・環境学・情報学といった学際的学問を融合した教育・研究を推進することによって，まちづくり分野の指導的立場に立つとともに，国際的にも活躍できるような高度な専門的能力を有する技術者（まちづくりプランナー，まちづくりデザイナー，まちづくりプロデューサー）及び研究者を養成する。
（まちづくり工学専攻／博士後期課程）

土木工学・建築学・都市工学・造園学といった既存の学問を基盤として，景観学・観光学・福祉工学・防災工学・環境学・情報学といったまちづくり分野における学際的学問を包含しつつ，自立して研究活動を推進することにより，まちづくり分野の学問の深淵に臨み，持続可能なまちづくりを実現することのできる技術と能力及び豊かな感性と学識並びに経験を備えた研究者・技術者・教育者を養成する。

(機械工学専攻／博士前期課程)

人間生活を環境と安全の側面から豊かにするために，機械工学と自然科学の基礎理論を総合的に使って，社会のニーズに応える創造性豊かな「ものづくりとそのための研究」ができる技術者を養成する。弾塑性学，熱工学，流体工学，工作法，熱機関，自動車工学，機械力学，金属材料のいずれかの分野において，学部の学生と研究グループを組んで自由闊達な議論をしながら，研究計画を立て問題を解決できる能力を養い，現象に対する観察能力，調査能力，問題点の発見能力，指導力，協調性，説明能力，報告書作成能力をもつ人材を養成する。

(機械工学専攻／博士後期課程)

人間生活を環境と安全の側面から豊かにするために，機械工学と自然科学の基礎理論を総合的に使って，社会のニーズに応える創造性豊かな「ものづくりとそのための研究」ができる高度な研究者・技術者を養成する。弾塑性学，熱工学，流体工学，工作法，熱機関，自動車工学，機械力学，金属材料のいずれかの分野において，主体的に選定した研究テーマの下で，研究計画を立て問題を解決し，現象に対する観察能力，調査能力，問題点の発見能力，指導力，協調性，説明能力，報告書作成能力を養い，自立して研究を遂行できる人材を養成する。

(精密機械工学専攻／博士前期課程)

機械工学に加えて電気・電子工学を基礎として，知的メカトロニクスやロボティクスに代表される自動化技術，微細加工，マイクロマシン（MEMS），などの分野における高度な専門知識と研究能力を養う。また，広い視野に立った豊かな学識を有し，高度な専門性のある業務や新技術の展開に対応でき，人間性豊かな創造力のある技術者・研究者を養成する。

(精密機械工学専攻／博士後期課程)

機械工学に加えて電気・電子工学を基礎として，知的メカトロニクスやロボティクスに代表される自動化技術，微細加工，マイクロマシン（MEMS），などの分野における高度な専門知識と研究能力を養う。また，広い視野に立った豊かな学識を有し，自立して研究活動を行い，かつ高度な専門性のある業務に従事できる人間性豊かな創造力のある技術者・研究者を養成する。

(航空宇宙工学専攻／博士前期課程)

先駆性，極限性，総合性を特徴とする航空宇宙工学の修得を通じて，自啓自発の精神を持ち，科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。また，技術者倫理を含む人間形成に必要な素養を身に付けることで，世界の平和，人類の福祉及び地球環境の保護に貢献できる高度な技術者を養成する。

(航空宇宙工学専攻／博士後期課程)

先駆性，極限性，総合性を特徴とする航空宇宙工学の修得を通じて，自啓自発の精神を持ち，科学・技術の発展に貢献できる技術者を養成する。また，技術者倫理を含む人間形成に必要な素養を身に付けることで，世界の平和，人類の福祉及び地球環境の保護に貢献できる高度な技術者を養成する。さらに，深淵な専門知識を修め，自立して研究を遂行し，将来の国際的研究指導者として活躍し得る研究者を養成する。

（電気工学専攻／博士前期課程）
　電気工学が関わる諸分野において，基礎から応用に渡る幅広い研究を行う科学技術の担い手として，改革の時代に柔軟に対応できる豊かな学識と電気工学に関する基礎的な専門能力及び国際的に活躍することのできる実力を備えた研究者・技術者を養成する。
（電気工学専攻／博士後期課程）
　未来社会を根底で支える電気工学が関わる諸分野において，先端的な幅広い研究を行う科学技術の担い手として，改革の時代に柔軟に対応できる豊かな学識と電気工学に関する高度な専門能力を有する自己啓発的な人材及び国際的に活躍することのできる実力を備えた研究者・技術者を養成する。
（電子工学専攻／博士前期課程）
　回路・制御，材料・素子，通信・光，情報工学にまたがる幅広い電子技術の基礎知識を関連付けながら，最新のトピックスや技術動向を学び，電子基礎，電子工学，電子材料，通信工学，情報処理に関わる先端的テーマを掲げる研究を遂行することによって，研究開発，専門業務に携わることのできる技術力，語学・発表能力を備えた未来志向の研究者・技術者を養成する。
（電子工学専攻／博士後期課程）
　電子基礎，電子工学，電子材料，通信工学，情報処理の諸分野において，世界に先駆ける先端的テーマを掲げる研究を計画・遂行・完成することによって，次世代の広範な電子技術を駆使，発展させる独創的研究開発，高度な専門業務を遂行するに十分な学識と能力を備えた研究者・技術者を養成する。
（情報科学専攻／博士前期課程）
　数理科学，計算機技術を駆使し，次世代の情報科学及び広範な工学分野の発展のために，独創的な研究，開発，高度な専門業務を遂行する能力を備えた研究者・技術者を養成する。
（情報科学専攻／博士後期課程）
　豊かな学識をもって，次世代の情報科学及び広範な工学分野の発展を担う，独創性と創造力に秀でた研究者，高度技術者を養成する。
（物質応用化学専攻／博士前期課程）
　国際的視野に立ち，創造的な研究開発能力を発揮できる科学技術者を養成する。
（物質応用化学専攻／博士後期課程）
　化学に関する独創的・国際的な研究開発能力ならびに時代の変化に対応できる豊かな学識と高い倫理観を有し，化学技術の進歩を推進するための自律的な行動力とコミュニケーション能力をもった指導者となりえる人材を養成する。
（物理学専攻／博士前期課程）
　現代科学・技術の様々な分野において基礎となる物理学の専門知識と論理的な思考法，科学・技術の課題の解決法を修得し，豊かな人間性，国際性，社会倫理観を身に付けた人材を養成する。
（物理学専攻／博士後期課程）
　物理学の高度で最新の専門知識と思考法を修得し，科学者としての社会倫理観を身に付け，現代科学・技術の様々の分野における研究課題を解決する能力，自立して研究を進める能力，新しい分野を切り開く応用力をもつ人材を養成する。
（数学専攻／博士前期課程）
　現代数学の幅広い分野から，個々の学生の志望，性格に適したテーマを選択し，論理的分析力，発表力を体得した数学応用者，教育者，研究者を養成する。
（数学専攻／博士後期課程）

現代数学の幅広い分野から，個々の学生の自主的な選択のもとに主題を定め，数学の深い知識，論理的分析力，発表力を涵養し，学界及び産業界にて活躍できる人材を養成する。
(地理学専攻／博士前期課程)
地形や気候を扱う自然地理学，農山村や都市を対象とする人文地理学，GIS（地理情報システム）を中核とする地理情報科学，環境地理学，これらを統合する地誌学などの分野において，実務的技術を修得して，実験実習やフィールドワークを重視した研究を行うことのできる，創造性豊かで実践的かつ高度な研究能力を備えた研究者，教育者，実務者などを養成する。
(地理学専攻／博士後期課程)
地理学の各専攻分野において豊かな学識を有し，研究者として自立して研究活動を行うことのできる高度な研究能力を備えた人材を養成する。
(量子理工学専攻／博士前期課程)
現代物理学の根幹となっている量子力学に基づき，加速器科学・素粒子論・場の理論・物性科学・エネルギー科学・情報科学・生命科学などの量子科学を考究するとともに，その工学的・学際的領域への応用力を培う教育を行う。これら量子科学の根底的理解を通じて，従来の粋を越えた新しい科学技術に対応できる能力を養い，社会に貢献できる技術者及び研究者となる人材を養成する。
(量子理工学専攻／博士後期課程)
現代物理学の根幹となっている量子力学に基づき，加速器科学・素粒子論・場の理論・物性科学・エネルギー科学・情報科学・生命科学などの量子科学を考究するとともに，その工学的・学際的領域に応用・展開する力を培う教育を行う。これら量子科学の根底的理解を通じて，従来の枠を越えた新しい科学技術を創造できる豊かな能力を養い，率先して社会に貢献できる技術者及び研究者を養成する。

生産工学研究科

技術革新に適応する生産工学の先進教育と研究活動の場を提供して，高度な実践的・創造的な能力を備えた指導的な技術者・研究者を養成する。
(機械工学専攻／博士前期課程)
他分野の技術との融合により急速に進歩する機械工学の技術者養成のために，専門的な研究指導と学際的な教育を合わせて行う。特に，飛躍的に発展を遂げつつある科学技術に対応できる柔軟で斬新な発想力，創造性豊かな能力及び協調性を身につけた高度の技術者・研究者を養成する。
(機械工学専攻／博士後期課程)
広い知識と深い探求心を養い，将来社会で認められる研究者への道を切り開くことができる人材養成を目的とする。特に，各大学院生がこれまでに培った発想力，創造性，協調性等を基に，これらをさらに飛躍させるための斬新で独創的な研究に対する指導を通じて能力養成を行う。また，その成果を広く関連の学協会に問い，社会において高い評価が得られる研究者を養成する。
(電気電子工学専攻／博士前期課程)
さらに一歩進んだ電気・電子・情報通信工学に係る学問を探求できる広い視野と深い学識を備え，論理的思考と創造力を基礎として新しい技術的領域に寄与できる技術者と研究者を養成する。
(電気電子工学専攻／博士後期課程)
広い視野と電気・電子・情報通信工学に係る深い学識を備え，自らの創造力により課題を設定し，目標に向かって計画的に研究・開発を遂行できる能力を備えた研究者を養成する。

（土木工学専攻／博士前期課程）
　土木技術をはじめ地球環境や生態系の保存，安心・安全な地域社会や市民生活などについて高度な専門的知識を教授する。そしてこれらの学識と，教員の個別指導による研究活動を通じて，国際的視野に立ち，企業等において技術的課題に挑戦できる指導的技術者を養成するとともに，研究者として自立できる人材開発をする。
（土木工学専攻／博士後期課程）
　土木工学分野における高度かつ複合的な研究課題に取り組めるように，指導教員の指導のもとで，土木工学の専門家として論理的な現象把握による研究遂行能力とともに独創的研究能力を持つ人材を養成する。
（建築工学専攻／博士前期課程）
　実学教育の理念に根ざし，建築工学に関わる専門的基礎知識，及び一般教養を基にして，社会の要請に十分応え得る建築技術者・デザイナーを養成するために，優れた総合能力と高度な実学的専門知識を，建築分野の各領域の研究を通し習得する。
（建築工学専攻／博士後期課程）
　より高度，かつ普遍性を有する建築工学に関わる専門的知見を，創造的な学術研究を通し明らかにすることにより，建築工学分野の実学的発展に資すると共に，建築界において指導的かつ実践能力に優れた人材を養成する。
（応用分子化学専攻／博士前期課程）
　化学の専門知識を体系的に身につけるとともに，物質の物理化学的性質及び化学反応を分子論に基づいて理解し，グリーンケミストリーを基礎とした機能性材料の創出，化学プロセス及び化学計測システムの開発に携わることのできる研究者・技術者を養成する。また，化学及びその関連領域における諸問題の解決に積極的に取り組み，産業界等で活躍することのできる上級化学技術者として必要な社会性・国際性を養う。
（応用分子化学専攻／博士後期課程）
　化学及びその関連分野に関する広範かつ高度な学識を備え，精密合成，化学計測などの先端技術を駆使して，研究を自立して論理的に行うことのできる第一線の化学研究者を養成する。また，新しい機能性材料や化学技術の開発を国際的視野から先導的に推進する能力，問題解決のための優れた計画・設計能力，そして化学技術が社会や地球環境に及ぼす影響を判断できる高い倫理観を身につける。
（マネジメント工学専攻／博士前期課程）
　高品質の製品やサービスを効率よく生産・提供する方法を研究し，開発から生産，流通，廃棄に至る一貫した管理技術を修得させる。また品質や生産の管理だけでなく，組織の意思決定のプロセスにおける最適化や情報獲得の技術も教育する。企業や組織，社会システムや地球環境も含め，人が関わるあらゆるシステムを最適にマネージするための技術を研究・教育し，新しい産業社会に対応できる管理能力を備えた技術者を養成する。
（マネジメント工学専攻／博士後期課程）
　物及びサービスの企画・開発から生産，流通，廃棄に至る一貫したプロセスを最適化する方法，さらにこの最適化を可能にするための組織の構造と運用技術を研究・教育する。最適化の観点は，それらの過程及び結果から人間の受ける精神的・肉体的ストレスが低く，地球環境の持続可能性が高いことである。多様な価値観を調和させ，プロセスの最適化を達成するための問題発見・問題解決ができる自立した研究者・教育者を養成する。
（数理情報工学専攻／博士前期課程）

情報化時代に適応する数理情報工学の先進的教育・研究を通して，様々な問題に共通する数理的な構造を解明し，さらに問題解決のための数理的な手法と情報工学の活用について学ぶ。これによって，情報化社会における生産に関連したあらゆる場面で，高度に進化したシステムを扱うことのできる新しいタイプの実践的な能力を備えた技術者，教育者を養成する。

(数理情報工学専攻／博士後期課程)

情報化時代に適応する数理情報工学の先進的教育・研究を通して，現代社会における高度で困難な問題の数理的な構造を解明し，情報工学を活用した数理的な手法を開発する。そのために，数理工学と情報工学を活用して，情報化社会における生産に関連したあらゆる場面で，高度に進化したシステムを扱い，問題を解決することができる新しいタイプの創造的な技術者，研究者，教育者を養成する。

工 学 研 究 科

学問や科学技術の深奥を究め，人類の福祉向上及び人と自然が共生できる豊かな社会の構築に貢献でき，幅広い知識を有する，高度専門職業人及び工学研究者を育成し，もって社会からの負託に応える。

(土木工学専攻／博士前期課程)

社会資本の整備が一段落を迎えた土木工学において，今後は構造物の構築以外に，維持管理，環境や気候変動に伴う災害制御などの分野に社会の要請が高まっている。そこで，基礎的知識を技術者専門科目において修得した上に，さらにより高度な技術者応用科目をも加えることにより，これらの要求に対応可能な実践的な人材を育成する。

(土木工学専攻／博士後期課程)

本課程では，環境保全・整備や防災等に関する社会からの様々な要請に応えられるよう，多分野にわたる特別研究（地盤・構造・コンクリート系，環境・水理系，計画系）を設置している。これらの研究を通じて高度な知識を修得すると共に，実践的に技術指導可能な，また，自立して研究可能な技術者，研究者を育成する。

(建築学専攻／博士前期課程)

安心して暮らせる豊かな生活環境の創造に向けて，学部で修得した教養及び建築学の基礎的な知識をもとに，建築学の各専門分野についてより高度な知識を修得すると共に，建築学の多様な研究や設計の課題に対して自ら探求してまとめ上げる力を養い，社会の要請に適応できる優れた人材を育成する。

(建築学専攻／博士後期課程)

建築学の各専門領域における最新の学術的動向を踏まえて，国内外に通用する企画力や応用力を養うと共に，建築構造学の研究，防災や新材料の研究，建築人間工学の研究，都市環境に関する研究，建築歴史・意匠の研究など，広範な専門領域から独創的な研究課題を自ら深耕して，社会の要請に適応できる自立した研究者，技術者を育成する。

(機械工学専攻／博士前期課程)

高度な機械工学の基礎を修得すると共に，さらにその発展分野であるロボティクス，環境・エネルギー，ナノテクノロジー，バイオメディカル，福祉工学など機械工学の最先端分野についても学修する。また，MOT，技術者倫理などを学ぶことにより，社会の発展と人類の福祉とに貢献できる技術者，研究者を育成する。

(機械工学専攻／博士後期課程)

高度な機械工学の基礎を修得すると共に，さらにその発展分野であるロボティクス，環境・エネルギー，ナノテクノロジー，バイオメディカル，福祉工学など機械工学の最先端分野についても学修する。また，研究，学位論文作成などを通じて，自立して研究できる技術者，研究者，教育者を育成する。

（電気電子工学専攻／博士前期課程）
　人類社会における電気の貢献は計り知れないし，その役割も多岐にわたることから，これからの未来社会においては電気の技術革新が重要となる。このため，技術の発展と進歩によって優れた人材が求められているので，高度な電気電子の知識の修得を通じて，新しい分野を開拓する科学技術の担い手となり得る想像力と独創性が豊かで自己啓発的な精神を持ち，社会の発展に貢献でき，自立した技術者を育成する。
（電気電子工学専攻／博士後期課程）
　博士後期課程では電気の先端的な研究を通じて，世界に貢献できる優れた博士論文をまとめるための研究計画と実行，及び洞察力を養うことを目的に，高度な電気電子の知識の修得のみならず新しい分野を開拓するフロンティア精神に富み，科学技術の担い手となり得る想像力と独創性豊かで自己啓発的な精神を持ち，社会の発展に貢献できる自立した研究者を育成する。
（生命応用化学専攻／博士前期課程）
　21 世紀を切り開く社会システムの実現へ向け，国際的な視野に立ち，化学の専門知識を体系的に身につけると共に，環境に配慮した化学製品の開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動などに従事し，循環型で持続可能な社会の実現に貢献できる柔軟で斬新な発想力・創造力及び協調性を身につけた高度な応用化学技術者を育成する。
（生命応用化学専攻／博士後期課程）
　21 世紀を切り開く社会システムの実現へ向け，国際的な視野に立ち，化学の専門知識を体系的に身につけると共に，環境に配慮した化学製品の開発・生産・普及活動及び環境保全・リサイクル活動などに従事し，循環型で持続可能な社会の実現に貢献できる柔軟で斬新な発想力・想像力及び協調性を身につけ，自立して研究を遂行できる研究者を育成する。
（情報工学専攻／博士前期課程）
　情報システムと情報処理に関する先進的な教育・研究を通じて，論理的に物事を考える習慣をつけると共に，他者との的確なコミュニケーションを図りながら，問題を正しく認識し，その解決に向けて努力することができる技術者を育成する。また，情報技術者としての責任と義務を自覚し，高度な情報システムを扱うことができ，もって，人類社会並びに情報工学とその周辺技術の発展に貢献できることを目的とする。
（情報工学専攻／博士後期課程）
　情報システムと情報処理に関する先進的な教育・研究を通じて，論理的に物事を考える習慣をつけると共に，他者との的確なコミュニケーションを図りながら，問題の本質をとらえ，その解決に向けて努力することができる自立した研究者を育成する。また，情報技術者としての責任と義務を自覚し，高度な情報システムを開発することができ，もって，人類社会並びに情報工学とその周辺技術の発展に貢献できることを目的とする。

医 学 研 究 科

「自ら学ぶ」「自ら考える」「自ら道を開く」姿勢を持って，独創性の高い研究を行い，人類の知の体系に貢献する医学研究者及び研究指導者を養成する。統合的学科目や臨床系の教員が担当する基礎系学科目などを配置し，新たな学際的研究にも対応できる専攻科目体系を構築し，多様化の進む医学研究に対応する教員組織の充実を図り，国際的に通用する高度な先進的医学研究を推進し，大学院教育の充実を図る。

（生理系／博士課程）
　生理系の各専攻は生命現象の本質を研究することを目的として設置されている。研究を進めるために採られる方法は様々であるが，できるだけ多くの研究方法を理解して有機的に応用することによって，より成果の上がるよう努めている。また得られる成果が医療面でも利用され，人類の福祉と幸福に寄与できるよう考慮されている。なお，本系の修了者には将来研究指向の医師ばかりでなく，研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。
（病理系／博士課程）
　病理系の研究分野は形態病理学より始まり，微生物学，免疫学，腫瘍学，病態代謝学，臨床応用に直接関連した人工臓器・移植医学まで病理系に特化した専門性を有する研究内容を有している。従って，病理系研究課程を通して育成される人材は，将来その分野の指導的役割を発揮することが求められると共に，当該分野における専門性を広く基礎並びに臨床医学の発展に還元できる能力と使命感とを有する人材を養成する。
（社会医学系／博士課程）
　社会・環境と健康・疫病との関係を理解し，社会的に役立つ研究を行なうために，疫学的手法（公衆衛生）・実験的手法（環境医学）などを研究に応用する能力を身につけさせる。
　また，医療制度の現況を把握し，医療経営の基本となる医療の質と効率を定量的に評価し，医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を育てる。その他に裁判と関連する親子鑑定・個人識別・法医解剖の必要性を認識し，実践できる人材を養成する。
（内科系／博士課程）
　内科系医学はあらゆる疾患の病態解明，診断法・予防法・内科的治療法の確立を図ることが中心をなす。日々医療を取り巻く状況が変化する中で，ますます高度化・複雑化する内科学の各分野の基礎研究を通して，医科学の進歩に対応し，科学的に明確な根拠に基づいた質の高い優れた各分野の医療を実践できる専門医と，高度な水準の医学研究に基づきより深い科学的洞察力及び研究マインドと指導力とを兼ね備えた研究指導者を養成する。
（外科系／博士課程）
　外科系医学は疾病に対して観血的手技を用いて人体の恒常性の回復を図ることが中心をなす。したがって，外科系医学においては疾患の病態のみならず観血的侵襲そのものによる病態生理の探究が求められる。さらに，損なわれた臓器または組織の機能の回復・代替補填を図るための生理学，薬理学的対応及び人工臓器・組織にわたる広範な知識が必要である。大学院課程では斯かる外科系医学に求められる臨床，基礎的研究を行う人材を養成する。

歯 学 研 究 科

　歯科医学の教育・研究活動に必要な深い教養と高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識とともに，歯科医学の発展に寄与しうる教育・研究を指導する能力を養うことを目的とする。
　専攻分野の教育者及び研究者として自立した活動を行い，さらに歯科医学教育・先端的歯科診療等の指導に従事するために必要な深い教養と高度の研究能力の養成及びその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とする。
（歯学専攻／博士課程）

多岐にわたる歯科医学の高度にしてより幅広い知識と先進的医療技術を有す教育者及び研究者の育成を図るべく，口腔構造機能学分野，応用口腔科学分野，口腔健康科学分野の 3 分野を設置している。これらは，歯科基礎系と歯科臨床系を融合した分野であり，学際領域の推進により複数の教員による指導体制のもとに，教育及び臨床に直結した歯学研究，専門医養成することを目的とする。

松戸歯学研究科

歯科医学の進歩に伴い，これまでの不可逆的な治療から，予防あるいは再生治療へと変わりつつある。それらの変化に的確に対応し，科学する能力を持った臨床医を育てること，未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を養成する。

また，情報を整合的に解釈して診療にフィードバックできる臨床医あるいは研究者を養成する。

（歯学専攻／博士課程）

歯科医療の様々な問題に対して，科学的アプローチを行い，解決を導き出す能力を持った研究者を養成する。また最先端の研究成果の取り込みを行うことにより，それらの情報を歯科医療の現場にフィードバックし，口腔疾患の診断，治療，予防に役立てることができるような臨床医，未来の歯科医学を担う教育・研究者を養成する。

生物資源科学研究科

優れた研究者と高度の専門技術者の育成に主眼を置き，充実した教育研究指導体制の下で，基礎科学を応用領域にまで発展し得る力量を備えた人材を養成する。特に新しい産業構造・社会の変化に迅速に対応出来る総合的な知識と創造性豊かな人材，また国際的視野で新しい科学・技術上の問題を総合的に解決出来る見識豊かな人材などの養成を教育・研究指導の目的とする。

（生物資源生産科学専攻／博士前期課程）

植物生産科学，動物生産科学，水圏生物生産科学，森林生産科学，生産環境工学の各分野から構成される生物資源生産科学に関する知識を教授する。また，生物生産に関わる事項について生物資源と生物環境の両面から総合的に捉え，生物資源を持続的，かつ有効に管理・活用するための研究指導を行ない，広い視野から問題点を把握し，応用力を発揮しうる人材の養成を目指す。

（生物資源生産科学専攻／博士後期課程）

生物資源生産に関わる各分野での基礎・応用研究をさらに発展させ，高度な問題解決能力と創造力に富んだ専門技術者と優れた研究能力を発揮できる専門の研究者の養成を目指す。

（生物資源利用科学専攻／博士前期課程）

生物資源利用学，生物資源利用化学，微生物利用科学，食品科学の 4 分野から構成される生物資源利用に関する知識を教授する。また，生物資源の利用に関わる課題や生物資源を有効利用する技術の開発を研究課題として，広い視野から問題点を把握し，その解決の取り組みにあたって応用力を発揮しうる人材の養成を目指す。

（生物資源利用科学専攻／博士後期課程）

生物資源利用に関わる諸問題について各分野から総合的に捉えた講義と研究指導を行なう。生物資源を有効に利活用できる技術の開発を可能にする専門技術者と優れた研究能力と広い視野をもち，問題を把握し，応用力を発揮して解決できる有能な研究者を養成する。

（応用生命科学専攻／博士前期課程）

生命工学的手法による生物及び生体機能の開発・応用と，環境に配慮した新たな生物資源の創製に関する基礎ならびに応用研究の手法・技術を指導し，当該分野における研究能力，または高度の専門性を要する職業等に必要な能力を有する人材を養成する。特に本課程では，生体分子科学，細胞生物科学，生体機能科学，分子生態科学の各分野に関わる講義と演習を行い，これらの専門分野の総合的学習による広い視野に立った学識を教授する。

(応用生命科学専攻／博士後期課程)

生体分子科学分野では生体分子の動態と生物学的機能，細胞生物科学分野では細胞機能の解明及び遺伝子資源の継続的利用，生体機能科学分野では生体諸機能の発現と制御，分子生態科学分野では環境中における生物機能の解析，開発，利用に関する学識の教授と，研究を指導する。これにより各分野において自立して研究活動を行い，また高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力と豊かな学識を有する人材を養成する。

(生物環境科学専攻／博士前期課程)

ストレス耐性科学，環境計画学，環境創造保全学，環境情報科学の 4 分野から構成される生物環境科学に関わる講義・演習を通して，専門分野の基礎・応用的手法・技術を習得させる。もって人類の環境との共生・保全に貢献することができるような研究能力，または高度な専門性を要する職業等に必要な能力を備えた有為な人材を養成する。

(生物環境科学専攻／博士後期課程)

生物環境科学に関する基礎的能力，すなわち環境を構成する自然的側面と人為的側面との関係を分析する知識・手法に基づき，環境に関わる情報・解析科学，シミュレーション，計画学さらには環境倫理学を含む総合的で高度な研究へと発展させる。また，豊かな学識と優れた研究能力と専門技術を備えるのみならず，国内外の環境との共生のための環境政策に関わる提言能力をも有する人材を養成する。

(生物資源経済学専攻／博士前期課程)

生物資源・食品経済学，食品流通・経営学，国際食料資源経済学，国際地域開発学の各分野から構成される生物資源経済学を学ぶことで，国内外における生物資源，特に生産・流通・消費に関する研究手法や理論を習得し，この分野の研究能力と専門技術を備えた農業，食品産業及び国際協力分野における優秀な人材を養成する。

(生物資源経済学専攻／博士後期課程)

専門性に富みかつ高度な知識を学び，国内外における生物資源，特に生産・流通・消費に関する理論や実態を研究することで，この分野の優れた研究能力を持つ研究者や，高度な専門技術を備えた国際協力分野におけるリーダーとなりうる人材を養成する。

獣医学研究科

「獣医比較形態学」，「獣医比較機能学」，「獣医感染制御学」，「獣医疾病予防学」，「獣医病態制御学」，「獣医病態情報学」の 6 つの分野において，高度で専門的な知識，実践的な技術並びに理論感を有し，創造性豊かで国際的に貢献できる人材の養成を行なう。

(獣医学専攻／博士課程)

臨床系は，主として動物病院及び医科学を活用し，そこに保有する MRI，X 線 CT，放射線治療器など最先端の医療機器を用いて，高度の医療技術と知識を持った獣医療専門家を育成する。応用系は，動物医科学センターを主な教育研究の場として，感染症の診断・メカニズムの解明や疾病制御・予防に関する最新の知識の教授と高度な技術の習得によって，専門性を有した応用獣医学と臨床獣医学に貢献できる人材を育成する。基礎系においては生命科学に関する質の高い基礎研究の指導を通して能力の高い人材を養成する。

薬 学 研 究 科
ライフサイエンスを中心とした基礎科学の発展に伴って疾病の解明が進み，医療における診断，治療技術も著しく高度化している。また，老齢人口の増加など社会構造の変化により，医療に貢献できる薬学が一層求められている。このような多岐に亘る社会的要請に応え，薬学分野における高度な専門知識と技術を涵養し，独創的な研究活動を通じて国際的な競争力及び自立して研究を遂行し発展させる能力を修得させ，将来，医療の分野で指導的役割を果たす質の高い薬学研究者・薬剤師を養成することを目的とする。 （薬学専攻／博士課程） 医療に関連した臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした広範な専門的知識と技術を涵養し，自ら研究課題を解決できる能力及び高度な医療を担うための能力を修得させ，将来，指導的立場で活躍し，社会に貢献できる人材を養成する。
総合社会情報研究科（通信制）
科学技術の革新，社会制度の変革，知的パラダイムの転換等が急進展する状況下，現代社会の種々の活動領域で，高度な専門的かつ総合的な認識力・判断力をもってそれぞれの専門分野で指導的立場に立つ職業人の養成，及び既成の枠を超えて諸科学間の有機的な関連を獲得できる独創的な学問研究者の育成を目指す。IT の特性を最大限に生かして各人のグレードアップを図り，学際性と専門性との両立を可能にする教育を目的とする。 （国際情報専攻／博士前期課程） 国際化・グローバル化を特質とする現代において，国際情勢の帰趨と世界の中の日本のあり方に対する広い視野と鋭敏な感覚を持ち，経営・経済・政治・行政・国際関係・言論等の分野で指導的，先端的な役割を演ずる人材を育てる。企業経営，ファミリービジネス，国際経済・金融，国際マクロ経済等の領域と，国際協力，国際政治・関係等の領域を周到にカバーしながら，国際社会の現実的動態，国際社会と日本との連関等に関する学問的認識の獲得を教育の目的とする。 （文化情報専攻／博士前期課程） 多様な文化に対する適正な理解だけでなく，時代・地域・社会を超えて伝播し，変容を遂げる文化の可変的・動態的特質についても十分な理解に至るよう，近年の学際的・超域的文化研究の成果をもって教授する。21 世紀のさらなるグローバル化の時代にあって，修得した識見を国内外に発信し，あるいは教授することで，教育，メディア，翻訳，コミュニケーション等の様々な領域で社会への還元を果たし得る文化エキスパートの養成を教育の目的とする。 （人間科学専攻／博士前期課程） 政治・社会から教育・宗教にいたる諸領域において，現代社会の根本的なニーズに対応し人間存在の基本問題について十全の認識・洞察をもった問題解決型の人材を育成することがねらいである。哲学，教育学，心理学，医療・健康科学及びスポーツ科学の 5 つの領域・分野に亘って周到な注意を払うことによって，人間存在の現代的意義を理解しながら，各人の専門分野についての学問的認識を深化させることを教育の目的とする。 （総合社会情報専攻／博士後期課程） 世界や社会の状況が大きな変貌を遂げ，また精神的，知的な枠組みが急激に転換しつつある中で，それぞれの専門領域において，総合性と専門性とを兼ね備えた高度な知見に立って主導的役割を演じる社会的職業人及び学問研究者の養成を目的とする。1 つの専攻を国際情報，文化情報及び人間科学の 3 つの「分野」に分け，高度な専門性を追求しながら，他分野の諸科学にも周到な注意を払い，専門性に見合う総合性の樹立を目指す。

法務研究科（法科大学院）
本研究科の目的は，法学の理論・知識をふまえた法律実務処理の基礎的能力のみならず，人間に対する深い洞察力，健全な社会常識を備えた法曹の育成にある。倫理観，正義感の涵養を通じて，市民から信頼され，また企業活動のコンプライアンス等に通じた法律実務家を養成するとともに，総合大学の総合力，多様性を活かし，医療・環境・知的財産等の専門分野への道を開くことを目指す。 （法務専攻（専門職学位課程）） 理論と実務が密接に連携した双方向教育を展開し，法律基本科目の十分な理解，法律実務科目の習得の上に，多様な法的問題に柔軟に対応でき，法化社会の実現に資する専門性の高い法曹を養成する。

別表２の１

学部＼項目		◎入学金	授　業　料	実　験　実　習　料	施設設備資金	教育充実料
学部	法　学　部	260,000	810,000②		1～4年次 各190,000②	
	文理学部（文学系）	260,000	830,000②	哲学・英文 ・ドイツ文　10,000② 史学・国文　20,000② 中国語中国文化 ・社会・教育　25,000② 社会福祉　60,000② 体育　80,000② 心理　70,000②	1～4年次 各190,000② 社会福祉 1～4年次 各200,000② 体育・心理 1～4年次 各220,000② 地理 1～4年次 各240,000②	
			1,060,000②	地理　60,000②		
	文理学部（理学系）	260,000	1,100,000②	物理　110,000② 生命科・化　140,000② 数学　70,000② 情報科　80,000② 地球科　60,000②	1～4年次 各240,000②	
	経済学部	260,000	810,000②		1～4年次 各170,000②	
	商　学　部	260,000	810,000②		1～4年次 各170,000②	
	芸術学部	260,000	1,110,000②	写真　100,000②	1～4年次 各400,000②	
				音楽　120,000②		
				演劇　70,000②		
			1,140,000②	（監督・撮影録音コース） 150,000② （演技コース） 映画　80,000② （映像表現理論コース） 100,000②		
				放送　100,000②		
			1,100,000②	美術　120,000②		
				デザイン　90,000②		
			1,040,000②	文芸　50,000②		
	国際関係学部	260,000	890,000②		1～4年次 各200,000②	
	危機管理学部	260,000	860,000②		1～4年次 各200,000②	
	スポーツ科学部	260,000	800,000②	100,000②	1～4年次 各300,000②	
	理工学部	260,000	1,150,000②	数学　60,000② 土木・交通システム・建築・海洋建築・まちづくり・機械・精密機械・航空宇宙・電気・電子・応用情報・物質応用化学・物理　100,000②	1～4年次 各220,000②	

(昼)	生産工学部	260,000	1,100,000②	1年 80,000② 2年 90,000② 3年 100,000② 4年 100,000②	1～4年次 各220,000②	
	工　学　部	260,000	1,100,000②	1年 80,000② 2～4年 100,000②	1～4年次 各220,000②	
	医　学　部	1,000,000	2,500,000②	1年 350,000 2～6年 各350,000②	1～6年次 各1,500,000②	1年次 1,000,000 2～6年次各 1,000,000②
	歯　学　部	600,000	3,500,000②		1～6年次 各1,200,000②	1年次 1,600,000② 2～3年次各 600,000②
	松戸歯学部	600,000	3,500,000②		1～6年次 各800,000②	1年次 2,000,000② 2年次 1,000,000②
	生物資源科学部 食品ビジネス・国際共生・国際地域開発	260,000	850,000②	100,000②	1～4年次 各170,000②	
	生物資源科学部 獣医	260,000	1,500,000②	300,000②	1～6年次 各350,000②	
	生物資源科学部 その他の学科	260,000	1,050,000②	150,000②	1～4年次 各200,000②	
	薬　学　部	400,000	1,400,000②		1～6年次 各650,000②	
学部(夜)	法　学　部	160,000	470,000②		1～4年次 各100,000②	

（備考）１　金額の単位は円

２　金額はすべて年額。ただし◎印は入学初年度のみ納入

３　○印の中の数字は分納回数

４　この表は，令和５年４月の入学者から適用する。

別表２の２

研究科（課程）＼項目	◎入学金	授　業　料	実　験　実　習　料	施設設備資金	教　育 充実料
大学院 法学研究科（博士前期・後期）	200,000	580,000②		前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
（政治学専攻前期1年コース）	200,000	850,000②		150,000②	
新聞学研究科（博士前期・後期）	200,000	580,000②		150,000②	
文学研究科（博士前期・後期）	200,000	580,000②	教育学専攻　15,000② 心理学専攻　60,000②	前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
総合基礎科学研究科（博士前期・後期）	200,000	700,000②	80,000②	各300,000②	
経済学研究科（博士前期・後期）	200,000	730,000②		前期1～2年次 各170,000② 後期1～3年次	
商学研究科（博士前期・後期）	200,000	580,000②		前期1～2年次 各150,000② 後期1～3年次	
芸術学研究科（博士前期）	200,000	文芸 600,000② 映像 680,000② 造形 710,000② 音楽 710,000② 舞台 680,000②	文芸学専攻　40,000② 映像芸術専攻　100,000② 造形芸術専攻　90,000② 音楽芸術専攻　110,000② 舞台芸術専攻　70,000②	1～2年次 各200,000②	
（博士後期）	200,000	700,000②		1～3年次 各200,000②	
国際関係研究科（博士前期・後期）	200,000	博士前期 750,000② 博士後期 700,000②		前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
（前期1年コース）	200,000	1,100,000②		200,000②	
危機管理学研究科（修士）	200,000	580,000②		1～2年次 各150,000②	
スポーツ科学研究科（修士）	200,000	580,000②	15,000②	1～2年次 各150,000②	
理工学研究科（博士前期・後期）	200,000	博士前期 750,000② 博士後期 630,000②	数学専攻　40,000② その他の専攻　80,000②	前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次	
地理学専攻（博士前期・後期）	200,000	620,000②	50,000②	前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
生産工学研究科（博士前期・後期）	200,000	博士前期 700,000② 博士後期 630,000②	80,000②	前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次	
工学研究科（博士前期・後期）	200,000	博士前期 700,000② 博士後期 630,000②	80,000②	前期1～2年次 各300,000② 後期1～3年次	

	医学研究科（博士）	200,000	700,000②		◎500,000	
	歯学研究科（博士）	200,000	800,000②		◎400,000	
	松戸歯学研究科（博士）	200,000	700,000②		◎500,000	
	生物資源科学研究科（博士前期・後期）	200,000	800,000②		前期1～2年次 各200,000② 後期1～3年次	
	生物資源経済学専攻	200,000	700,000②		前期1～2年次 各100,000② 後期1～3年次	
	獣医学研究科（博士）	200,000	850,000②		1～4年次 各200,000②	
	薬学研究科（博士）	200,000	600,000②		◎ 500,000	
	総合社会情報研究科（博士前期）	200,000	645,000②		1～2年次 各150,000②	
	（博士後期）	200,000	600,000②		1～3年次 各150,000②	
	法務研究科（専門職学位）	250,000	980,000②		1～3年次 各100,000②	

（備考）１　金額の単位は円

２　金額はすべて年額。ただし◎印は入学初年度のみ納入

３　○印の中の数字は分納回数

４　この表は，令和５年４月の入学者から適用する。

別表３

証明手数料

種　　類	摘　　要	金　額（円）	備　　考
在　学　証　明　書	1通につき	100	
成　績　証　明　書	〃	200	
卒　業　証　明　書	〃	200	
卒　業　見　込　証　明　書	〃	100	
身　上　証　明　書	〃	100	
人　物　調　査　書	〃	100	
健　康　診　断　書	〃	100	
英文証明書（オリジナル）	〃	600	
英文証明書（コ　ピ　ー）	〃	200	
教員免許状取得見込証明書	〃	100	
教　職　単　位　証　明　書	〃	100	